

---

令和4年度  
福岡市高齢者実態調査  
報告書

---

令和5年7月

福岡市 福祉局

# 目次

## I. 調査概要

1. 調査目的	1
2. 調査概要	1
3. 回収結果	2
4. 集計の見方	2

## II. 調査結果

### 第1章 高齢者一般調査共通設問

1. 回答者の属性	3
(1) 調査の回答者	3
(2) 性別	5
(3) 年齢	5
(4) 居住地区	6
(5) 家族の状況	7
(6) 世帯年間総収入額	10
(7) 要介護度	12
2. 情報通信機器利用状況	14
(1) 情報通信機器利用状況	14

### 第2章 高齢者一般調査A

1. 日常生活について	19
(1) 外出	19
(2) 自動車運転免許	23
(3) 外出の際に困っていること	24
(4) 心配事や悩み事の相談相手	25
(5) 近所付き合い	27
(6) 孤立死	28
(7) 孤立死防止策	30
(8) 地域福祉活動の参加状況	32
(9) 災害時における一人での避難	33
(10) 災害時や緊急時に手助けを頼める人の有無	35
(11) 災害時の心配事や問題点	36
(12) 保健・医療・福祉の情報源	38
(13) 経済的な不安	40

2. 生きがいや社会活動について.....	41
(1) 生きがい.....	41
(2) ボランティア活動.....	44
(3) 老人クラブ活動.....	47
(4) グループ活動への参加.....	50
(5) 仕事.....	58
(6) 社会参加.....	66
(7) 高齢者乗車券.....	70
(8) 老人福祉センター.....	72

### 第3章 高齢者一般調査B

1. 現在の住まいについて.....	74
(1) 居住の状況.....	74
(2) 住まいの困りごと.....	76
(3) 住み替え.....	78
(4) 住み替えで困ったこと.....	80
2. 健康・福祉などについて.....	82
(1) 健康状態と運動習慣.....	82
(2) 運動以外の健康づくり習慣.....	89
(3) フレイルの認知度.....	93
(4) 直近2年間の生活・体調の変化.....	94
(5) 歯科の定期健診の有無.....	97
(6) 歯の本数.....	98
(7) 咀嚼の状況.....	99
(8) 入れ歯・ブリッジの使用状況.....	100
(9) 口腔の健康状態.....	101
(10) 歯みがきの頻度.....	102
(11) 歯間部清掃用器具の使用状況.....	103
(12) 認知症への不安・相談先.....	104
(13) 認知症を正しく理解する行動.....	108
(14) 認知症に関して知りたい内容.....	109
(15) 認知症対策として充実してほしいこと.....	110
(16) 福岡市が認知症の人にとって暮らし続けることができるまちであるかの認識.....	112
(17) 健康づくりで福岡市に力を入れてほしいこと.....	113
3. いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）について.....	114
(1) いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の認知度.....	114
4. 権利擁護について.....	116
(1) 高齢者虐待の通報義務の認知度.....	116

(2) 成年後見制度の認知度	116
5. 医療について	117
(1) かかりつけ医の有無	117
(2) 在宅医療への関心	118
(3) 在宅医療の希望	119
(4) 最期を迎えたい場所	121
6. これからについて	122
(1) 住み慣れた地域で暮らし続けることができると思うか	122
(2) 今後の介護意向	123
(3) 医療や介護が必要になったとき不安なこと	125
(4) 終活について	126
(5) 行政に力をいれてほしい高齢者に関する施策	127
(6) 介護サービスの利用	129

#### 第4章 介護サービス調査共通設問

1. 回答者の属性	131
(1) 調査の回答者	131
(2) 性別	132
(3) 年齢	132
(4) 居住地区	134
(5) 家族の状況	134
(6) 世帯年間総収入額	136
(7) 要介護度	137
(8) 現在の傷病	138
(9) 介護が必要になったときの原因	139
(10) 家族・親族からの介護の状況	140
2. 日常生活について	141
(1) 住居形態	141
(2) 現在の住まいで困っていること	142
(3) 施設入所・入居の検討状況	143
(4) 現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス	144
(5) 今後の住宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス	146
3. 現在利用している医療について	148
(1) かかりつけ医の有無	148
(2) 在宅医療への関心	148
(3) 訪問診療の利用の有無	150
(4) 在宅医療の希望	152

4. 今後の介護・医療について.....	153
(1) 今後、どのような介護を受けたいか.....	153
(2) 最期を迎えたい場所.....	154
(3) 単身者となった場合に希望する「見守り」の内容.....	155
(4) 近隣住民の訪問による「見守り」の希望回数.....	155
5. 介護保険制度全般について.....	156
(1) 介護保険制度全体の満足度.....	156
(2) 介護保険制度で不満に思うこと.....	157
(3) 介護保険制度でわかりにくいこと.....	158
(4) 介護や福祉サービスについての相談先.....	159
6. 現在の高齢者サービスについて.....	160
(1) 高齢者サービス.....	160
7. 家族の回答.....	162
(1) 主な介護者.....	162
(2) 主な介護者の性別.....	162
(3) 主な介護者の同居状況.....	163
(4) 主な介護者の年齢.....	163
(5) 介護離職の状況.....	164
(6) 主な介護者の勤務状況.....	165
(7) 介護についての相談先.....	177
(8) 主な介護者が行っている介護の内容.....	178
(9) 現在の生活を継続するために主な介護者が不安に感じる介護の内容.....	182
(10) 今後の介護の仕方.....	185
(11) 在宅で介護を続けるために必要性が高いサービスの内容.....	186
(12) 在宅で介護を続けるために必要な支援の内容.....	187
(13) 高齢者虐待の通報義務の認知度.....	188
(14) 「成年後見制度」の認知度.....	188

## 第5章 介護保険在宅サービス利用者調査

1. 現在利用している介護保険サービスについて.....	189
(1) 令和4年10月の介護保険サービス利用.....	189
(2) 1か月あたりの利用料金.....	192
(3) 利用額上限までの利用.....	193
2. 今後の介護・医療について.....	195
(1) 在宅生活で必要性が高いサービス.....	195
3. 介護保険制度全般について.....	197
(1) 介護サービス事業者を選ぶ際に重視すること.....	197
(2) 小規模多機能型居宅介護の認知度.....	198
(3) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの認知度.....	198
4. 家族の回答.....	199
(1) 介護保険サービスを利用する上で困っていること.....	199

## 第6章 介護保険在宅サービス未利用者調査

1. 日常生活について.....	200
(1) 日常生活の支援者.....	200
(2) 日常の買い物の頻度.....	202
(3) 日常の買い物で困っていることの有無.....	202
2. 介護保険サービスについて.....	203
(1) 介護保険の在宅サービスの利用状況.....	203
(2) 在宅で生活する上で困っていること.....	205
(3) 今後の介護サービスの利用意向.....	206

## 第7章 介護保険施設等サービス利用者調査

1. 回答者の属性.....	207
(1) 施設の種類.....	207
(2) 施設入所前の居住状況.....	208
(3) 施設への入所を希望した理由.....	210
2. 利用している介護保険施設・グループホームについて.....	211
(1) 利用者負担段階.....	211
(2) 利用者負担額.....	212
(3) 利用料金の負担者.....	213
(4) 現在の負担額をどう思うか.....	214
(5) 利用料金とサービスとの関係性.....	216
(6) 施設などを選ぶときに重視する点.....	217
(7) 現在の施設への満足度.....	219

## 第8章 介護支援専門員調査

1. 回答者の属性	221
(1) 性別	221
(2) 年齢	221
(3) 介護支援専門員としての経験年数	222
(4) 介護支援専門員としての経験事業所数	222
(5) 介護支援専門員以外に取得している資格	223
(6) 勤務状況	224
(7) 事業所の法人種別	225
(8) 事業所の介護支援専門員数	226
2. ケアマネジメントについて	227
(1) 給付管理件数	227
(2) 保険外サービスを組み合わせたケアプラン	228
(3) 介護サービス受給者に必要な「見守り」サービス	233
(4) 充実が必要な「見守り」サービス	234
(5) 不足している認知症患者の支援体制	235
(6) 在宅での生活が困難なケース	236
(7) 小規模多機能型居宅介護を計画に位置付けた経験	238
(8) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護を計画に位置付けた経験	240
(9) 計画作成で利用しにくいサービス	242
(10) 計画作成で過剰なサービス	243
(11) 計画作成で不足しているサービス	244
(12) 情報収集や連絡・調整の方法	245
(13) 医療機関からの情報収集の方法	246
(14) 自立につながる支援ができたケアプラン	247
(15) 計画作成での相談相手	249
(16) 計画作成での相談内容	250
(17) 計画作成の際に重視していること	251
(18) 事業所紹介の際に重視していること	252
3. 介護予防・生活支援サービス事業について	253
(1) 訪問サービスについて	253
(2) 通所サービスについて	255
(3) サービス選択のフローチャートについて	257
(4) 生活支援型サービスの普及に有効な方法	259
4. 他機関との連携について	260
(1) 主治医との連携	260
(2) 地域ケア会議	263
(3) 複雑化した課題の相談先	264

5. 処遇困難事例などへの対応について.....	265
(1) 区役所や地域包括支援センターへの相談の有無.....	265
(2) 成年後見制度が必要と思われる場合の相談先.....	266
(3) 成年後見制度の利用が必要と考えられる方の時期別人数.....	267
6. 行政の役割について.....	269
(1) 行政の役割.....	269

### Ⅲ. 調査票

1. 高齢者一般調査A.....	271
2. 高齢者一般調査B.....	282
3. 介護保険在宅サービス利用者調査.....	293
4. 介護保険在宅サービス未利用者調査.....	305
5. 介護保険施設等サービス利用者調査.....	316
6. 介護支援専門員調査.....	321



# I. 調查概要



## 1. 調査目的

福岡市に在住する高齢者などの保健福祉に関するニーズ・意識などを把握することにより、「第9期介護保険事業計画」の策定に必要な基礎的データを収集・分析するとともに、本市の高齢者福祉施策の向上に資することを目的とする。

## 2. 調査概要

調査種別	対象者・調査人数	発送日	回収期限
高齢者一般調査A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内在住の60歳以上(令和4年10月時点)の者</li> <li>・3,000人(住民基本台帳から無作為抽出)</li> </ul>	令和5年 1月31日	令和5年 2月20日 郵送着まで
高齢者一般調査B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内在住の60歳以上(令和4年10月時点)の者</li> <li>・3,000人(住民基本台帳から無作為抽出)</li> </ul>		
介護保険在宅サービス利用者調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険在宅サービス利用者(令和4年10月時点)</li> <li>・3,000人(無作為抽出)</li> </ul>		
介護保険在宅サービス未利用者調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅の要介護認定者のうち、サービス未利用者(令和4年10月時点)</li> <li>・2,000人(無作為抽出)</li> </ul>		
介護保険施設等サービス利用者調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の介護保険施設、グループホーム入所者(令和4年10月時点)</li> <li>・1,500人(無作為抽出)</li> </ul>		
介護支援専門員調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の居宅介護支援事業所、いきいきセンターふくおか(地域包括支援センター)所属の介護支援専門員(令和4年12月時点)</li> <li>・1,448人</li> </ul>		

### 3. 回収結果

調査種別	配布数	回収数	回収率	有効回収数	有効回収率
高齢者一般調査A	3,000	1,801	60.0%	1,798	59.9%
高齢者一般調査B	3,000	1,786	59.5%	1,786	59.5%
介護保険在宅サービス利用者調査	3,000	1,476	49.2%	1,474	49.1%
介護保険在宅サービス未利用者調査	2,000	1,217	60.9%	1,211	60.6%
介護保険施設等サービス利用者調査	1,500	870	58.0%	733	48.9%
介護支援専門員調査	1,448	1,006	69.5%	1,006	69.5%

※回収された調査票から白紙のものを除いた有効票のみを集計に使用している。

### 4. 集計の見方

- (1) 集計結果は、標本数（図ではNと表示）を基数として百分比（%）を算出し、小数点第1位（第2位を四捨五入）までを図表に表している。
- (2) 小数点第2位を四捨五入しているため、構成比の計が100%とならない場合がある。また複数回答の質問においては、百分比の合計が100%を超える場合がある。
- (3) 図表中の「N」（Number of casesの略）とは設問に対する回答件数の総数を示しており、回答者の構成比（%）を算出するための基数である。
- (4) 図表の表頭、表側部分の文章は、適宜簡略化している場合があるので、必要に応じて巻末の調査票を参照のこと。
- (5) グラフ内の数値の単位はすべて%である。
- (6) 2つ以上の選択肢を合計して表している比率は、各選択肢の割合を合計して算出している。
- (7) 文中の選択肢の表記は「」で行い、2つ以上のものを合計して表す選択肢は『』で表記している。

## II. 調查結果

---



## 第1章 高齢者一般調査共通設問

「高齢者一般調査A」「高齢者一般調査B」の2つの調査に共通する設問については、各調査別の傾向が比較できるように「共通設問」として掲載した。

### 1. 回答者の属性

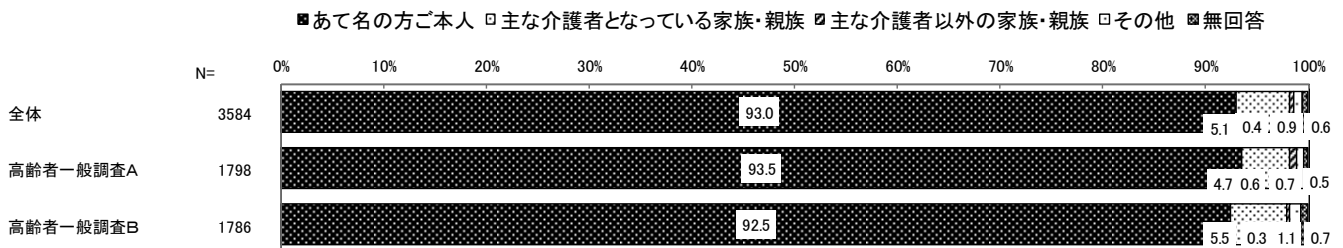
#### (1) 調査の回答者

<高齢者一般調査A>問1

<高齢者一般調査B>問1

現在、この調査票にご記入頂いている方は、どなたですか。(○は1つ)

【図表 1-1-1 調査の回答者】



調査の回答者は、全体で「本人」が93.0%で最も高く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」が5.1%となっている。

【図表 1-1-2 調査の回答者×性別・年齢別・世帯構成別】

		回答数	あて名の方ご本人	主な介護者となつて いる家族・親族	主な介護者以外の家 族・親族	その他	無回答	
							(%)	
高齢者一般調査 A	全体	1798	93.5	4.7	0.6	0.7	0.5	
	性別	男性	780	96.3	2.4	0.4	0.5	0.4
		女性	1007	91.8	6.4	0.8	0.9	0.2
	年齢別	60～64歳	327	98.5	1.2	0.0	0.3	0.0
		65～69歳	366	98.4	0.8	0.0	0.5	0.3
		70～74歳	405	96.8	2.2	0.2	0.7	0.0
		75～79歳	319	94.7	3.1	0.6	1.3	0.3
		80～84歳	205	90.2	5.9	2.9	1.0	0.0
		85～89歳	116	75.9	20.7	0.9	0.0	2.6
		90歳以上	56	57.1	39.3	1.8	1.8	0.0
	世帯構成別	一人暮らし世帯	415	93.0	4.6	1.2	0.7	0.5
		夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	597	96.5	2.7	0.2	0.5	0.2
		夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	115	97.4	2.6	0.0	0.0	0.0
		夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	86	96.5	2.3	1.2	0.0	0.0
あなたとその他の高齢者のみの世帯		61	80.3	16.4	0.0	1.6	1.6	
二世帯同居世帯		335	91.3	7.8	0.0	0.9	0.0	
三世帯同居世帯		46	95.7	4.3	0.0	0.0	0.0	
その他の世帯	116	92.2	4.3	1.7	1.7	0.0		
高齢者一般調査 B	全体	1786	92.5	5.5	0.3	1.1	0.7	
	性別	男性	775	94.3	4.1	0.0	1.0	0.5
		女性	994	91.8	6.5	0.5	1.0	0.2
	年齢別	60～64歳	328	97.9	1.2	0.3	0.3	0.3
		65～69歳	350	98.6	1.1	0.0	0.3	0.0
		70～74歳	417	96.6	1.9	0.0	0.7	0.7
		75～79歳	300	93.7	5.0	0.0	1.3	0.0
		80～84歳	209	88.5	8.1	1.0	1.4	1.0
		85～89歳	107	78.5	17.8	0.9	2.8	0.0
		90歳以上	65	47.7	44.6	1.5	6.2	0.0
	世帯構成別	一人暮らし世帯	415	93.7	3.6	0.7	1.7	0.2
		夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	569	93.8	4.7	0.2	0.5	0.7
		夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	120	99.2	0.8	0.0	0.0	0.0
		夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	100	97.0	1.0	0.0	1.0	1.0
あなたとその他の高齢者のみの世帯		72	84.7	15.3	0.0	0.0	0.0	
二世帯同居世帯		308	90.9	8.4	0.0	0.6	0.0	
三世帯同居世帯		56	85.7	14.3	0.0	0.0	0.0	
その他の世帯	114	86.8	7.0	0.9	5.3	0.0		

年齢別にみると、高齢者一般調査 A、高齢者一般調査 Bともに、85～89 歳、90 歳以上では、「主な介護者となっている家族・親族」の割合が高くなっており、90 歳以上では 4 割前後となっている。

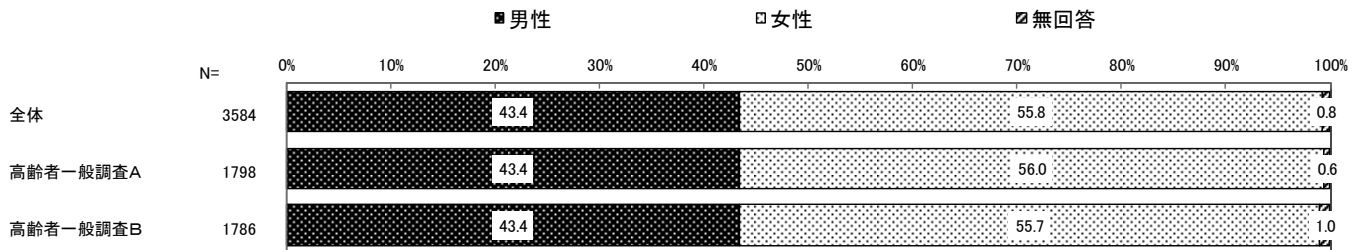
(2) 性別

<高齢者一般調査A>問2

<高齢者一般調査B>問2

あなたの性別は。(○は1つ)

【図表 1-2-1 性別】



回答者は、高齢者一般調査Aでは「男性」が43.4%、「女性」が56.0%、高齢者一般調査Bでは「男性」が43.4%、「女性」が55.7%となっている。

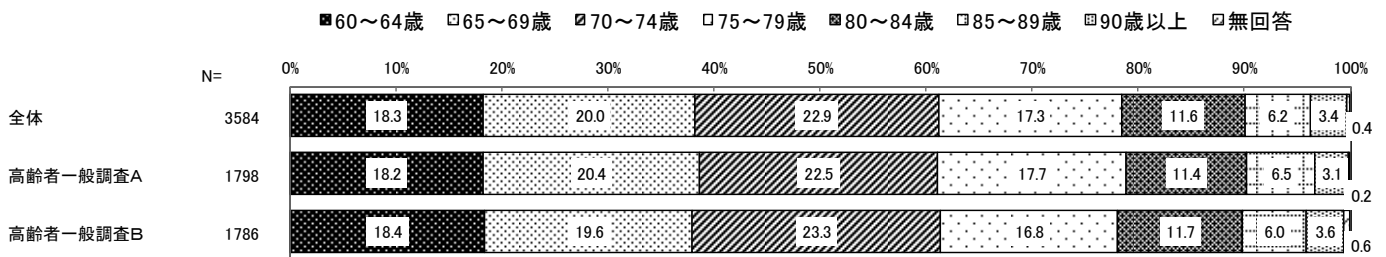
(3) 年齢

<高齢者一般調査A>問3

<高齢者一般調査B>問3

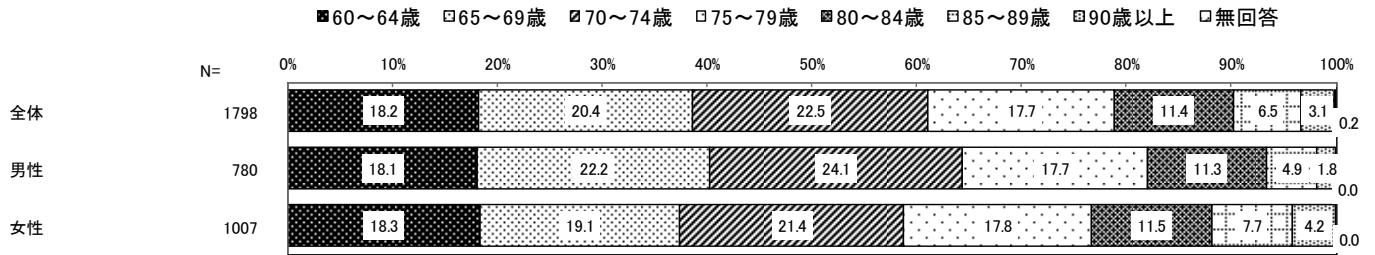
あなたの年齢は。(令和4年10月1日現在)(○は1つ)

【図表 1-3-1 年齢】

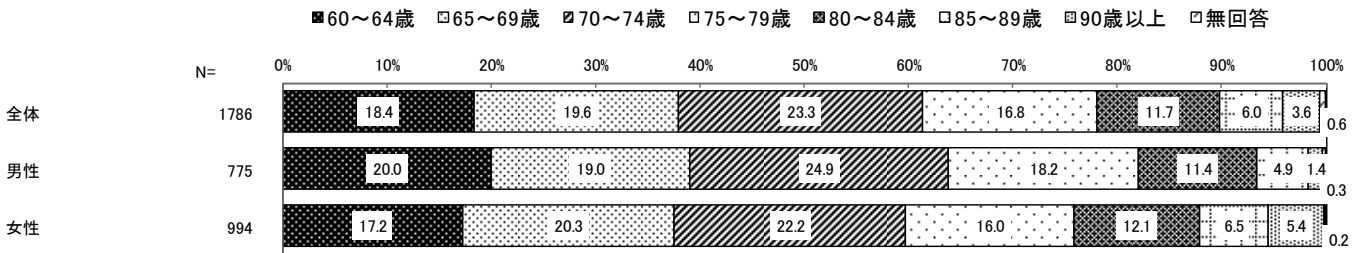


『65歳以上の高齢者』は、高齢者一般調査Aでは81.6%、高齢者一般調査Bでは81.0%となっている。『75歳以上の後期高齢者』は、高齢者一般調査Aでは38.7%、高齢者一般調査Bでは38.1%となっている。

【図表 1-3-2 年齢×性別＜高齢者一般調査A＞】



【図表 1-3-3 年齢×性別＜高齢者一般調査B＞】



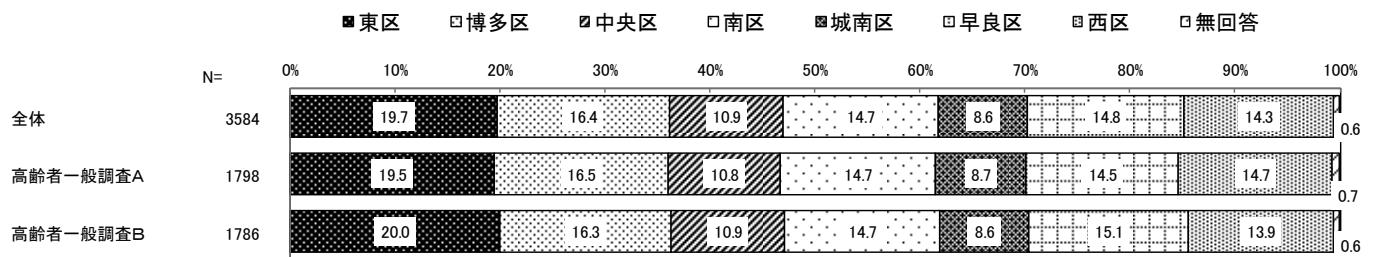
(4) 居住地区

＜高齢者一般調査A＞問4

＜高齢者一般調査B＞問4

あなたのお住いの区は。(町名まで記入してください。)

【図表 1-4-1 居住地区】



(5) 家族の状況

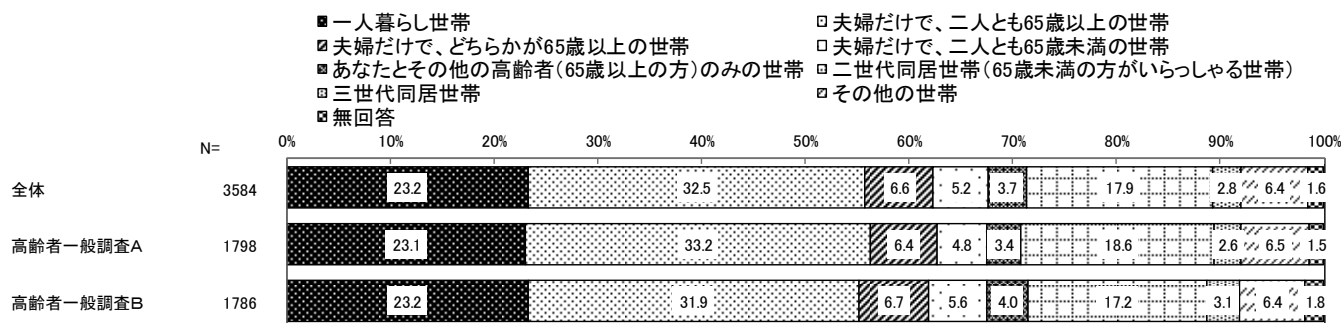
① 世帯構成

< 高齢者一般調査A > 問5

< 高齢者一般調査B > 問5

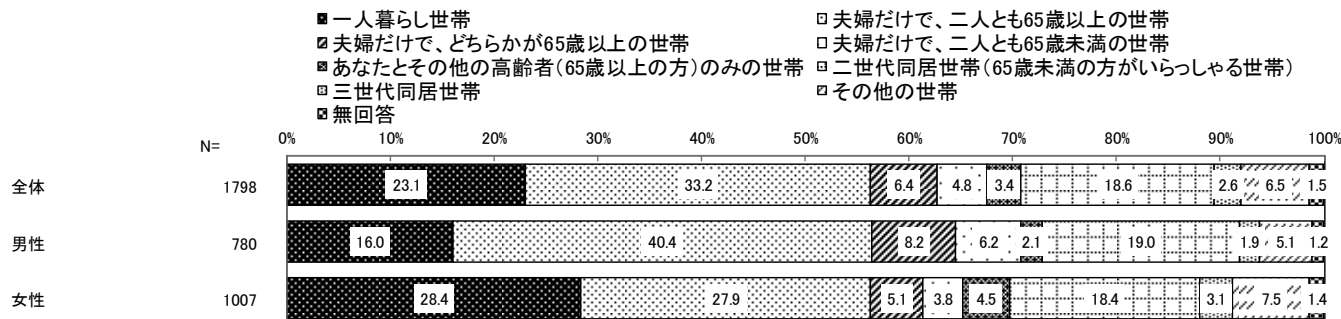
あなたのご家族の状況は。(○は1つ)

【図表 1-5-1 世帯構成】

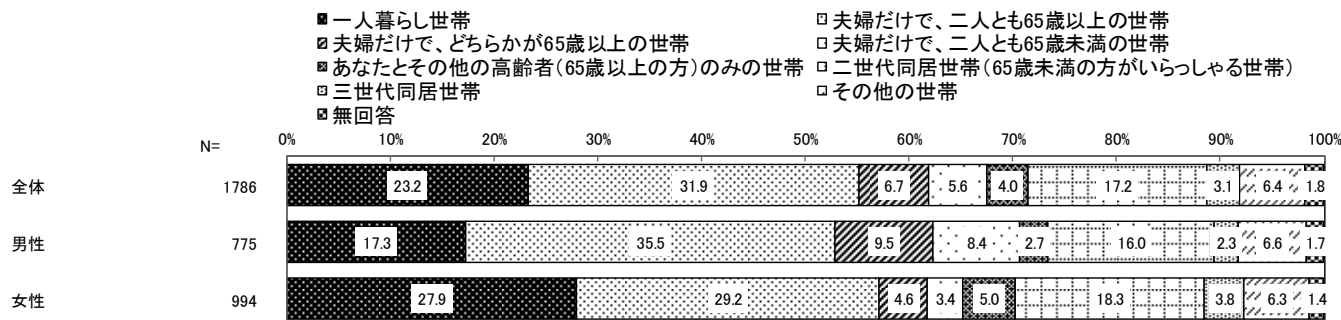


「一人暮らし世帯」は、高齢者一般調査Aでは23.1%、高齢者一般調査Bでは23.2%となっている。

【図表 1-5-2 世帯構成×性別< 高齢者一般調査A >】



【図表 1-5-3 世帯構成×性別< 高齢者一般調査B >】



【図表 1-5-4 世帯構成×性別・年齢別】

		回答数	一人暮らし世帯	も夫婦だけで、二人帯と	帯か夫婦だけで、どちら	も夫婦だけで、二人帯と	あなたとその他の高	二世帯同居世帯	三世帯同居世帯	その他の世帯	無回答	
高齢者一般調査A	全体	1798	23.1	33.2	6.4	4.8	3.4	18.6	2.6	6.5	1.5	
	性別	男性	780	16.0	40.4	8.2	6.2	2.1	19.0	1.9	5.1	1.2
		女性	1007	28.4	27.9	5.1	3.8	4.5	18.4	3.1	7.5	1.4
	年齢別	60～64歳	327	19.0	2.1	13.5	24.5	3.4	24.2	3.7	9.2	0.6
		65～69歳	366	17.5	39.6	11.5	0.0	4.1	19.1	2.5	4.4	1.4
		70～74歳	405	22.7	42.0	5.2	0.5	3.2	16.0	2.5	6.2	1.7
		75～79歳	319	22.9	48.6	1.3	0.6	2.5	16.3	1.9	5.0	0.9
		80～84歳	205	31.2	39.5	2.0	0.5	2.0	16.6	0.5	5.9	2.0
		85～89歳	116	35.3	25.0	0.0	0.0	0.9	20.7	5.2	12.1	0.9
90歳以上		56	33.9	17.9	0.0	1.8	16.1	19.6	3.6	5.4	1.8	
高齢者一般調査B	全体	1786	23.2	31.9	6.7	5.6	4.0	17.2	3.1	6.4	1.8	
	性別	男性	775	17.3	35.5	9.5	8.4	2.7	16.0	2.3	6.6	1.7
		女性	994	27.9	29.2	4.6	3.4	5.0	18.3	3.8	6.3	1.4
	年齢別	60～64歳	328	18.6	0.9	14.0	29.6	4.0	17.1	4.0	11.0	0.9
		65～69歳	350	17.7	39.7	14.3	0.3	5.4	13.7	2.0	5.7	1.1
		70～74歳	417	20.4	47.0	3.1	0.0	2.6	17.0	2.9	5.5	1.4
		75～79歳	300	25.0	42.3	2.3	0.3	2.0	18.0	4.0	4.7	1.3
		80～84歳	209	31.6	34.0	1.0	0.0	2.4	21.1	2.4	4.3	3.3
		85～89歳	107	38.3	25.2	1.9	0.0	3.7	21.5	1.9	5.6	1.9
90歳以上		65	38.5	7.7	0.0	1.5	21.5	15.4	7.7	7.7	0.0	

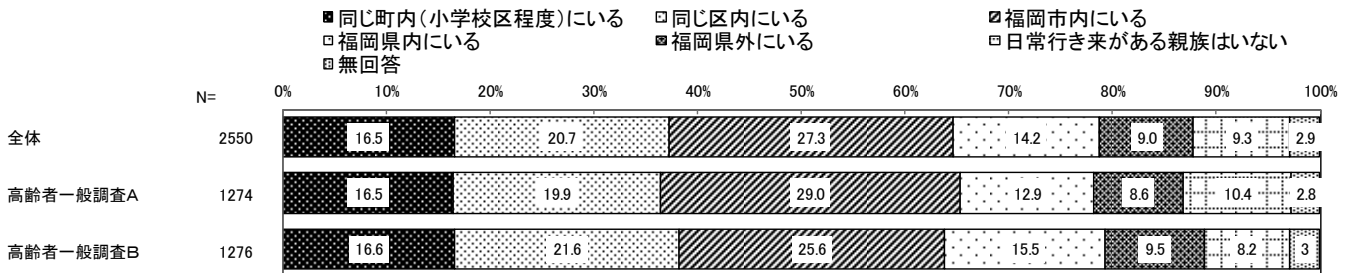
性別にみると、高齢者一般調査A、高齢者一般調査Bともに、女性の方が男性より「一人暮らし世帯」の割合が高くなっている。

年齢別にみると、高齢者一般調査A、高齢者一般調査Bともに、80～84歳、85～89歳、90歳以上では「一人暮らし世帯」の割合が他と比べて高くなっており、90歳以上では「あなたとその他の高齢者のみの世帯」の割合も他と比べて高くなっている。

②行き来のある親族のいる場所

<高齢者一般調査A>【問5】で「1」～「5」と答えた方にうかがいます。問5-1  
 <高齢者一般調査B>【問5】で「1」～「5」と答えた方にうかがいます。問5-1  
 あなたには、日常行き来がある親族の方が近くにいらっしゃいますか。  
 2か所以上にいらっしゃる方は一番近いところをお答えください。(〇は1つ)

【図表 1-5-5 行き来のある親族のいる場所】



「一人暮らし世帯」と「夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯」、「夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯」、「夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯」、「あなたとその他の高齢者(65歳以上の方)のみの世帯」を合わせた『高齢者のみで暮らす世帯』のうち、日常行き来がある親族のいる場所が『福岡市内』であるのは、高齢者一般調査Aでは65.4%、高齢者一般調査Bでは63.8%となっている。

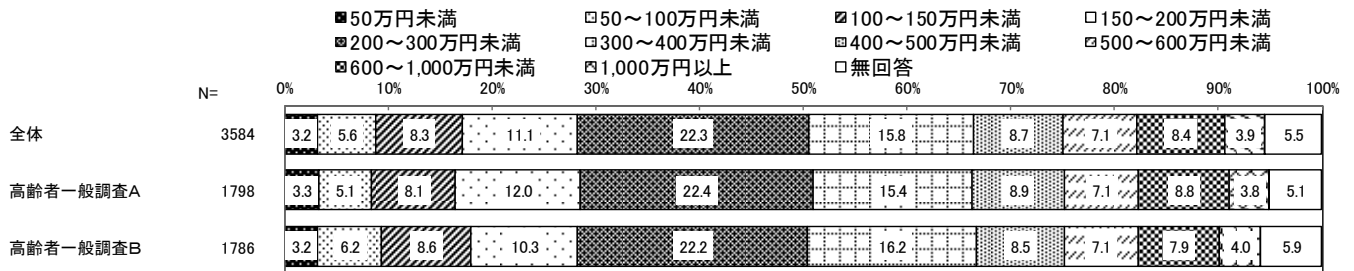
(6) 世帯年間総収入額

< 高齢者一般調査A > 問6

< 高齢者一般調査B > 問6

あなたの世帯全員の年間総収入額（税込み）はどれくらいですか。（〇は1つ）

【図表 1-6-1 世帯年間総収入額】



世帯年間総収入額は、高齢者一般調査Aでは「200～300万円未満」が22.4%で最も高く、次いで「300～400万円未満」が15.4%、「150～200万円未満」が12.0%となっている。

高齢者一般調査Bでも「200～300万円未満」が22.2%で最も高く、次いで「300～400万円未満」が16.2%、「150～200万円未満」が10.3%となっている。

【図表 1-6-2 世帯年間総収入額×性別・年齢別・世帯構成別・経年比較】

		回答数	50万円未満	50万円～59万円未満	60万円～69万円未満	70万円～79万円未満	80万円～89万円未満	90万円～99万円未満	100万円～149万円未満	150万円～199万円未満	200万円以上	無回答	(%)
全体		3584	3.2	5.6	8.3	11.1	22.3	15.8	8.7	7.1	8.4	3.9	5.5
高齢者一般調査 A	全体	1798	3.3	5.1	8.1	12.0	22.4	15.4	8.9	7.1	8.8	3.8	5.1
	性別 男性	780	2.7	2.6	5.0	9.4	25.8	18.3	11.2	8.3	9.1	4.7	2.9
	性別 女性	1007	3.7	7.1	10.3	14.0	19.8	13.2	7.2	6.2	8.6	3.1	6.9
	年齢別 60～64歳	327	3.1	4.3	4.3	4.9	13.5	15.3	11.0	13.1	18.3	9.2	3.1
	年齢別 65～69歳	366	3.3	3.3	6.0	9.3	20.5	19.4	11.7	6.8	11.7	3.3	4.6
	年齢別 70～74歳	405	3.7	4.4	9.1	13.6	26.4	11.6	8.6	5.7	6.4	4.0	6.4
	年齢別 75～79歳	319	1.9	7.2	10.0	16.0	23.8	16.0	7.5	5.3	5.0	1.3	6.0
	年齢別 80～84歳	205	4.9	5.4	9.3	17.1	30.2	15.1	3.9	2.9	3.4	2.9	4.9
	年齢別 85～89歳	116	2.6	7.8	12.9	12.1	21.6	14.7	9.5	7.8	4.3	0.0	6.9
	年齢別 90歳以上	56	5.4	7.1	10.7	16.1	23.2	17.9	5.4	7.1	3.6	0.0	3.6
	世帯構成別 一人暮らし世帯	415	5.8	15.2	22.7	19.5	19.3	6.3	3.1	1.0	1.7	1.0	4.6
	世帯構成別 夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	597	2.2	1.5	3.2	11.7	31.3	21.6	9.9	5.2	5.7	2.3	5.4
	世帯構成別 夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	115	0.9	4.3	0.9	7.0	24.3	13.9	18.3	10.4	6.1	11.3	2.6
	世帯構成別 夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	86	1.2	0.0	1.2	3.5	11.6	23.3	9.3	14.0	25.6	8.1	2.3
世帯構成別 あなたと他の高齢者のみの世帯	61	9.8	3.3	9.8	21.3	21.3	14.8	3.3	4.9	0.0	1.6	9.8	
世帯構成別 二世帯同居世帯	335	1.5	0.9	3.9	7.8	15.8	14.9	12.8	14.9	16.7	6.3	4.5	
世帯構成別 三世帯同居世帯	46	2.2	2.2	4.3	2.2	19.6	13.0	10.9	6.5	30.4	4.3	4.3	
世帯構成別 その他の世帯	116	6.0	6.0	4.3	9.5	14.7	17.2	6.0	10.3	14.7	5.2	6.0	
高齢者一般調査 B	全体	1786	3.2	6.2	8.6	10.3	22.2	16.2	8.5	7.1	7.9	4.0	5.9
	性別 男性	775	2.7	3.6	6.7	9.4	25.7	16.5	9.7	7.6	9.3	5.2	3.6
	性別 女性	994	3.5	8.0	9.9	11.1	19.5	16.1	7.6	6.7	6.9	3.0	7.5
	年齢別 60～64歳	328	4.3	4.0	4.6	6.1	14.6	13.7	12.5	10.7	18.6	7.9	3.0
	年齢別 65～69歳	350	1.4	5.1	6.3	9.4	23.7	16.3	10.9	8.3	8.0	6.0	4.6
	年齢別 70～74歳	417	1.2	3.8	9.6	10.3	25.7	19.9	8.9	7.7	5.0	2.9	5.0
	年齢別 75～79歳	300	3.0	5.7	10.7	12.3	25.0	17.7	6.3	4.3	5.7	1.7	7.7
	年齢別 80～84歳	209	5.7	12.9	9.1	15.3	22.0	14.4	5.3	4.8	3.3	1.9	5.3
	年齢別 85～89歳	107	8.4	8.4	15.9	10.3	24.3	9.3	1.9	4.7	2.8	1.9	12.1
	年齢別 90歳以上	65	4.6	13.8	9.2	10.8	16.9	16.9	4.6	3.1	4.6	1.5	13.8
	世帯構成別 一人暮らし世帯	415	7.2	18.1	18.1	17.3	20.0	5.8	1.7	2.2	1.7	1.2	6.7
	世帯構成別 夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	569	1.6	3.2	5.6	9.1	32.5	21.3	8.6	5.4	4.0	3.5	5.1
	世帯構成別 夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	120	4.2	2.5	1.7	11.7	18.3	20.8	12.5	7.5	11.7	3.3	5.8
	世帯構成別 夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	100	2.0	2.0	5.0	4.0	15.0	11.0	18.0	11.0	18.0	12.0	2.0
世帯構成別 あなたと他の高齢者のみの世帯	72	1.4	5.6	22.2	9.7	18.1	19.4	8.3	5.6	1.4	2.8	5.6	
世帯構成別 二世帯同居世帯	308	1.0	1.9	3.6	7.5	15.9	21.4	11.0	12.3	15.6	4.9	4.9	
世帯構成別 三世帯同居世帯	56	5.4	0.0	1.8	0.0	12.5	14.3	16.1	17.9	19.6	8.9	3.6	
世帯構成別 その他の世帯	114	2.6	0.9	4.4	7.9	17.5	15.8	8.8	11.4	14.0	7.0	9.6	
経年	令和元年度	3630	2.7	4.5	9.3	10.0	23.3	16.3	10.1	6.7	7.4	4.4	5.3
	平成28年度	3783	2.4	5.4	7.7	10.4	23.9	17.0	9.2	6.4	7.2	4.2	6.2
	平成25年度	2985	2.6	5.7	9.8	10.9	20.8	17.5	9.4	5.9	6.2	4.2	6.9
	平成22年度	2939	2.7	5.4	8.7	11.0	20.6	18.9	10.2	6.5	7.8	3.4	4.9

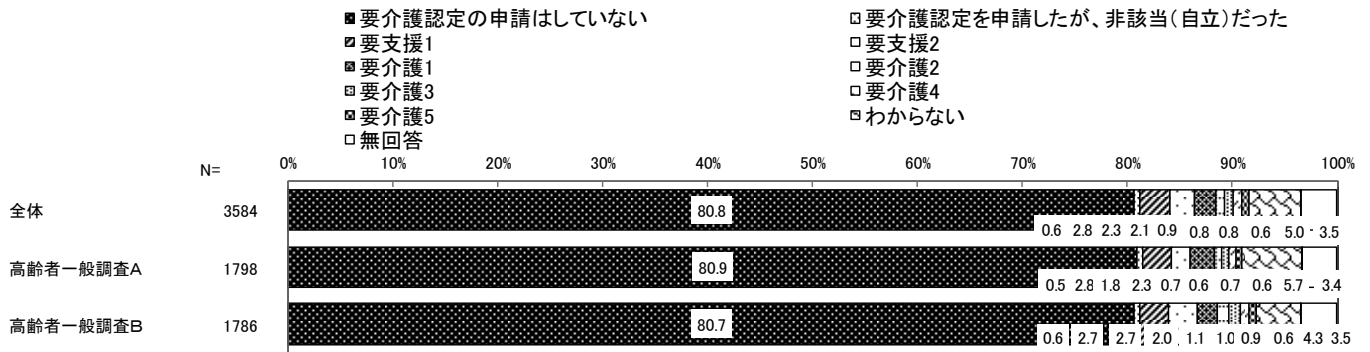
(7) 要介護度

<高齢者一般調査A>問7

<高齢者一般調査B>問7

あなたの介護保険の要介護度は次のどれですか。(○は1つ)

【図表 1-7-1 要介護度】



要介護度は、高齢者一般調査Aでは「要介護認定の申請はしていない(65歳未満のため申請をしていない方も含みます)」が80.9%で最も高く、次いで「わからない」が5.7%となっている。

高齢者一般調査Bでも「要介護認定の申請はしていない(65歳未満のため申請をしていない方も含みます)」が80.7%で最も高く、次いで「わからない」が4.3%となっている。

【図表 1-7-2 要介護度×性別・年齢別・世帯構成別・経年比較】

		回答数	要介護ない 認定の申請は	要介護認定 を申請し たが、非該当 （自認し	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	わからない	無回答
全体		3584	80.8	0.6	2.8	2.3	2.1	0.9	0.8	0.8	0.6	5.0	3.5
高齢者一般調査 A	全体	1798	80.9	0.5	2.8	1.8	2.3	0.7	0.6	0.7	0.6	5.7	3.4
	性別												
	男性	780	83.6	0.3	2.6	1.3	1.3	0.5	0.5	0.1	0.4	7.3	2.2
	女性	1007	79.1	0.7	3.0	2.3	3.0	0.7	0.7	1.1	0.7	4.5	4.3
	年齢別												
	60～64歳	327	93.3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3	4.3	1.8
	65～69歳	366	91.0	0.5	0.3	0.5	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	4.4	3.0
	70～74歳	405	83.7	0.0	0.7	1.7	1.0	0.7	0.0	0.5	0.2	8.6	2.7
	75～79歳	319	82.4	0.9	2.5	1.6	1.3	0.3	0.6	0.3	0.3	5.6	4.1
	80～84歳	205	67.8	0.5	6.3	2.0	5.9	0.5	2.0	1.0	2.4	5.9	5.9
	85～89歳	116	53.4	0.9	14.7	8.6	7.8	0.0	2.6	1.7	0.9	5.2	4.3
	90歳以上	56	25.0	3.6	14.3	8.9	16.1	12.5	3.6	8.9	1.8	1.8	3.6
	世帯構成別												
	一人暮らし世帯	415	73.7	0.7	5.3	2.7	2.9	1.0	1.0	0.7	0.2	9.2	2.7
夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	597	85.4	0.7	2.2	1.3	1.3	0.5	0.5	0.2	0.3	4.5	3.0	
夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	115	90.4	0.0	1.7	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	1.7	
夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	86	91.9	0.0	1.2	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	1.2	3.5	0.0	
あなたとその他の高齢者のみの世帯	61	70.5	1.6	3.3	0.0	9.8	0.0	0.0	3.3	1.6	6.6	3.3	
二世帯同居世帯	335	81.8	0.0	2.1	1.8	2.1	1.2	0.9	1.2	0.9	3.3	4.8	
三世帯同居世帯	46	82.6	0.0	0.0	4.3	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	4.3	6.5	
その他の世帯	116	79.3	0.9	1.7	3.4	2.6	0.0	0.9	1.7	0.0	6.0	3.4	
高齢者一般調査 B	全体	1786	80.7	0.6	2.7	2.7	2.0	1.1	1.0	0.9	0.6	4.3	3.5
	性別												
	男性	775	83.4	0.6	2.8	1.4	1.0	0.5	1.0	0.6	0.4	5.0	3.1
	女性	994	79.1	0.6	2.6	3.8	2.4	1.5	0.9	1.1	0.7	3.8	3.4
	年齢別												
	60～64歳	328	95.7	0.6	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	1.5	1.2
	65～69歳	350	91.1	0.3	0.6	0.6	0.0	0.3	0.3	0.3	0.0	4.9	1.7
	70～74歳	417	85.1	1.0	1.2	1.0	0.7	0.0	0.2	0.0	0.5	6.0	4.3
	75～79歳	300	81.7	0.0	3.0	2.3	1.7	1.0	0.7	1.0	0.7	5.0	3.0
	80～84歳	209	64.1	1.0	7.7	5.7	5.3	2.9	1.9	1.0	0.5	4.3	5.7
	85～89歳	107	47.7	1.9	8.4	11.2	10.3	2.8	1.9	3.7	0.9	4.7	6.5
	90歳以上	65	30.8	0.0	9.2	16.9	6.2	9.2	9.2	9.2	4.6	1.5	3.1
	世帯構成別												
	一人暮らし世帯	415	74.2	1.4	4.6	4.1	2.9	1.9	0.5	1.0	0.2	6.0	3.1
夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	569	83.8	0.7	1.8	2.5	1.4	0.9	0.7	0.9	0.4	3.3	3.7	
夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	120	88.3	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	2.5	
夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	100	97.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	
あなたとその他の高齢者のみの世帯	72	70.8	0.0	2.8	6.9	2.8	4.2	1.4	1.4	2.8	4.2	2.8	
二世帯同居世帯	308	83.1	0.0	1.9	3.6	2.3	1.0	1.0	0.6	0.6	2.6	3.2	
三世帯同居世帯	56	83.9	0.0	3.6	0.0	1.8	0.0	3.6	1.8	1.8	1.8	1.8	
その他の世帯	114	70.2	0.0	2.6	1.8	1.8	0.0	4.4	2.6	1.8	8.8	6.1	
経年	令和元年度	3630	80.7	0.6	3.1	2.7	1.8	1.7	0.9	1.0	0.5	4.0	2.8
	平成28年度	3783	76.0	0.9	3.8	1.9	2.4	1.5	1.2	0.9	1.1	5.1	5.3
	平成25年度	2985	68.7	14.0	3.4	1.4	2.0	1.4	0.8	0.7	0.4	3.0	4.2
	平成22年度	2939	77.5	6.0	3.8	0.0	1.8	1.6	0.8	0.6	0.6	2.6	4.6
	平成19年度	3161	73.3	8.8	4.0	0.0	2.9	1.5	0.9	0.6	0.7	4.0	3.4

## 2. 情報通信機器利用状況

### (1) 情報通信機器利用状況

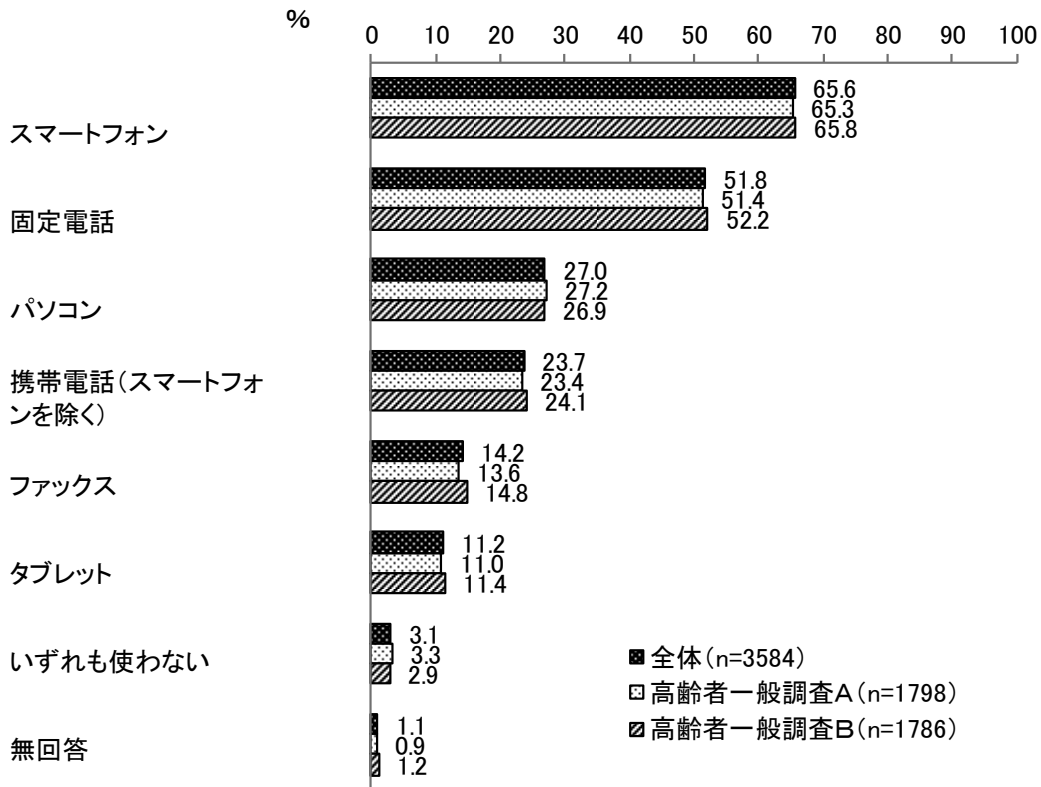
#### ①利用している情報通信機器

<高齢者一般調査A>問8

<高齢者一般調査B>問8

あなたが、ふだん利用している情報通信機器はどれですか。(〇はいくつでも)

【図表 1-8-1 利用している情報通信機器】



利用している情報通信機器は、全体で「スマートフォン」が65.6%で最も高く、次いで「固定電話」が51.8%、「パソコン」が27.0%となっている。

【図表 1-8-2 利用している情報通信機器×性別・年齢別・世帯構成別】

(%)

		回答数	固定電話	ファックス	携帯電話(スマートフォンを除く)	スマートフォン	タブレット	パソコン	いずれも使わない	無回答
全体		3584	51.8	14.2	23.7	65.6	11.2	27.0	3.1	1.1
高齢者一般調査 A	全体	1798	51.4	13.6	23.4	65.3	11.0	27.2	3.3	0.9
	性別									
	男性	780	46.8	14.2	23.8	70.6	11.3	37.6	2.2	0.4
	女性	1007	55.2	13.2	22.6	61.5	10.7	19.4	4.3	1.3
	年齢別									
	60～64歳	327	33.0	11.6	11.0	88.4	15.9	41.9	1.2	0.3
	65～69歳	366	38.8	13.9	14.5	84.4	18.3	38.0	0.5	0.8
	70～74歳	405	52.1	13.1	25.2	68.1	10.9	26.9	2.2	0.2
	75～79歳	319	61.8	16.6	27.0	59.9	6.9	22.6	2.8	1.9
	80～84歳	205	70.7	17.6	39.5	36.1	4.9	13.2	6.3	1.0
	85～89歳	116	74.1	8.6	34.5	24.1	1.7	4.3	10.3	1.7
	90歳以上	56	60.7	7.1	33.9	12.5	0.0	0.0	19.6	1.8
	世帯構成別									
	一人暮らし世帯	415	43.6	9.2	23.6	61.0	8.9	17.3	4.3	0.7
夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	597	63.0	16.2	25.5	66.3	9.7	30.3	1.3	0.5	
夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	115	37.4	14.8	13.9	85.2	9.6	40.9	0.9	0.0	
夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	86	41.9	15.1	9.3	87.2	16.3	52.3	3.5	1.2	
あなたとその他の高齢者のみの世帯	61	50.8	13.1	26.2	42.6	4.9	23.0	14.8	3.3	
二世帯同居世帯	335	50.7	16.7	20.9	69.6	16.1	29.3	2.7	1.5	
三世帯同居世帯	46	37.0	13.0	32.6	60.9	10.9	19.6	4.3	4.3	
その他の世帯	116	50.9	8.6	31.0	49.1	12.9	18.1	5.2	0.0	
高齢者一般調査 B	全体	1786	52.2	14.8	24.1	65.8	11.4	26.9	2.9	1.2
	性別									
	男性	775	50.3	15.9	23.2	68.5	12.3	37.5	2.5	1.2
	女性	994	53.6	14.0	24.5	64.4	10.7	18.7	3.2	1.1
	年齢別									
	60～64歳	328	37.5	13.7	11.9	90.2	16.8	41.5	0.6	0.0
	65～69歳	350	45.7	15.4	12.0	86.0	15.1	34.3	0.3	1.1
	70～74歳	417	53.0	15.8	22.5	72.2	13.9	26.6	1.2	2.2
	75～79歳	300	59.0	18.7	35.3	53.7	7.3	22.0	2.0	1.7
	80～84歳	209	68.4	14.8	37.8	39.2	6.2	16.7	4.3	0.5
	85～89歳	107	69.2	9.3	47.7	23.4	0.9	9.3	4.7	0.9
	90歳以上	65	46.2	3.1	24.6	7.7	0.0	0.0	36.9	0.0
	世帯構成別									
	一人暮らし世帯	415	42.2	8.4	30.8	59.0	6.3	16.9	2.9	1.4
夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	569	60.3	20.2	24.1	66.6	12.8	27.8	1.6	1.4	
夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	120	40.0	15.0	15.0	83.3	21.7	43.3	0.0	0.8	
夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	100	41.0	13.0	13.0	89.0	20.0	47.0	1.0	0.0	
あなたとその他の高齢者のみの世帯	72	54.2	2.8	23.6	54.2	12.5	18.1	8.3	0.0	
二世帯同居世帯	308	62.3	16.2	23.4	64.3	10.4	28.6	1.0	1.0	
三世帯同居世帯	56	42.9	17.9	19.6	73.2	8.9	33.9	7.1	0.0	
その他の世帯	114	46.5	14.9	19.3	64.0	8.8	25.4	12.3	0.9	

性別にみると、高齢者一般調査 A、高齢者一般調査 B ともに、男性の方が女性より「パソコン」の割合が高くなっている。

年齢別にみると、高齢者一般調査 A、高齢者一般調査 B ともに、80～84 歳、85～89 歳、90 歳以上では「スマートフォン」の割合が低くなっており、90 歳以上では 1 割前後となっている。

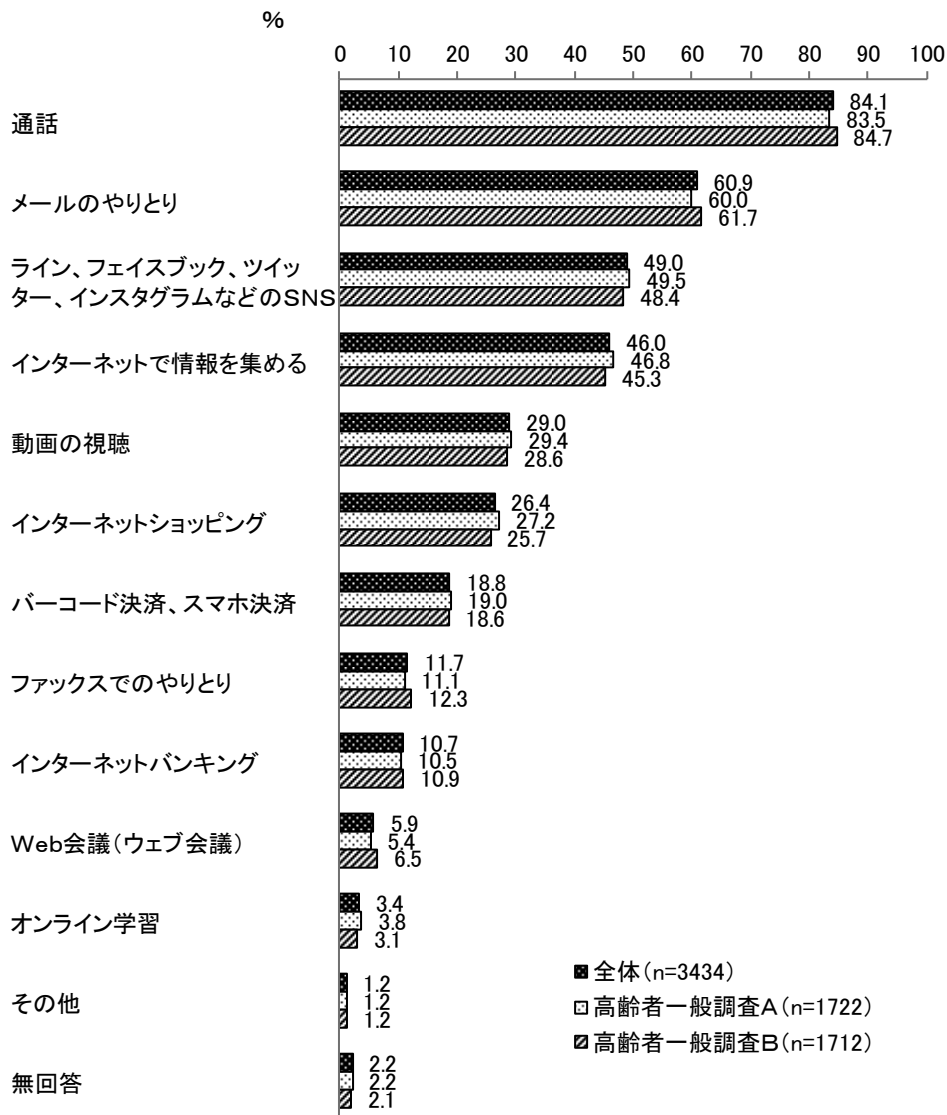
②情報通信機器の利用用途

<高齢者一般調査A>【問8】で「1」～「6」のいずれかを利用していると答えた方にうかがいます。問8-1

<高齢者一般調査B>【問8】で「1」～「6」のいずれかを利用していると答えた方にうかがいます。問8-1

あなたは、問8で利用していると回答された情報通信機器を、どのようなことに利用していますか。(〇はいくつでも)

【図表 1-8-3 情報通信機器の利用用途】



情報通信機器の利用用途は全体で「通話」が84.1%で最も高く、次いで「メールのやりとり」が60.9%、「ライン、フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなどのSNS」が49.0%となっている。

【図表 1-8-4 情報通信機器の利用用途×性別・年齢別・世帯構成別】

		回答数	通話	とフリアックスでのやりとり	メールのやりとり	ムタブライなどのSNS	情報を集めるインターネット	ショッピングネット	インターネットバン	バーコード決済、スマホ決済	動画の視聴	Web会議（ウェブ会議）	オンライン学習	その他	無回答	(%)	
全体		3434	84.1	11.7	60.9	49.0	46.0	26.4	10.7	18.8	29.0	5.9	3.4	1.2	2.2		
高齢者一般調査A	全体	1722	83.5	11.1	60.0	49.5	46.8	27.2	10.5	19.0	29.4	5.4	3.8	1.2	2.2		
	性別																
	男性	760	83.0	12.5	60.7	45.4	54.5	29.2	13.0	19.5	30.4	7.4	3.7	1.2	1.7		
	女性	951	83.8	10.0	59.7	52.9	40.9	25.7	8.6	18.6	28.8	3.8	3.9	1.3	2.6		
	年齢別																
	60～64歳	322	80.1	9.3	71.4	79.8	74.8	55.0	27.0	44.4	54.7	13.7	9.3	0.9	1.2		
	65～69歳	361	83.9	10.8	73.1	67.9	67.9	39.6	16.1	28.3	44.3	6.9	4.7	1.9	0.8		
	70～74歳	395	81.3	10.4	61.8	46.3	44.8	21.5	6.1	14.7	24.3	2.5	1.5	1.3	1.0		
	75～79歳	304	83.2	13.2	58.2	40.1	32.6	14.5	2.3	6.9	18.1	3.9	2.3	1.3	3.0		
	80～84歳	190	86.8	12.6	44.7	20.5	20.0	7.4	2.1	1.1	8.4	1.1	2.1	0.5	4.7		
	85～89歳	102	91.2	11.8	25.5	6.9	5.9	4.9	1.0	1.0	2.9	0.0	1.0	0.0	5.9		
	90歳以上	44	93.2	11.4	15.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	2.3	6.8		
	世帯構成別																
	一人暮らし世帯	394	85.0	7.1	57.4	45.2	36.5	24.6	10.7	17.3	23.6	4.8	4.3	1.0	2.5		
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	586	84.1	13.5	62.3	46.2	45.2	23.4	5.6	12.1	25.9	2.6	1.5	0.9	1.0		
夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	114	79.8	8.8	67.5	72.8	66.7	43.0	16.7	33.3	36.8	11.4	7.0	2.6	2.6			
夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	82	84.1	13.4	78.0	78.0	78.0	53.7	29.3	45.1	54.9	18.3	9.8	0.0	1.2			
あなたとその他の高齢者のみの世帯	50	92.0	10.0	56.0	40.0	44.0	22.0	12.0	18.0	32.0	2.0	4.0	4.0	2.0			
二世帯同居世帯	321	84.1	14.6	57.6	50.2	51.1	29.6	13.1	23.1	34.6	5.9	4.7	0.9	1.6			
三世帯同居世帯	42	78.6	9.5	52.4	59.5	50.0	23.8	4.8	26.2	23.8	4.8	2.4	2.4	0.0			
その他の世帯	110	76.4	6.4	53.6	43.6	42.7	21.8	11.8	16.4	33.6	7.3	4.5	1.8	8.2			
高齢者一般調査B	全体	1712	84.7	12.3	61.7	48.4	45.3	25.7	10.9	18.6	28.6	6.5	3.1	1.2	2.1		
	性別																
	男性	747	85.8	13.8	64.8	45.2	54.5	30.9	15.5	17.7	32.7	9.2	3.1	1.9	1.6		
	女性	951	84.2	11.1	59.8	51.1	38.4	21.8	7.4	19.5	25.4	4.3	3.2	0.5	2.2		
	年齢別																
	60～64歳	326	81.3	10.4	74.2	74.2	73.9	48.2	24.2	39.3	51.8	13.8	6.1	1.5	0.3		
	65～69歳	345	84.3	11.9	73.6	66.4	62.0	40.3	14.5	29.0	41.2	8.7	3.8	0.6	0.3		
	70～74歳	403	84.9	12.7	70.0	52.1	44.4	22.1	7.7	15.1	26.6	5.5	2.5	1.0	1.5		
	75～79歳	289	86.2	15.9	55.7	31.1	31.1	10.7	6.2	5.2	12.5	2.1	1.7	1.0	2.8		
	80～84歳	199	87.4	13.1	42.7	22.6	20.1	9.5	2.5	4.5	14.1	3.5	2.0	2.0	4.5		
	85～89歳	101	86.1	9.9	27.7	9.9	8.9	5.0	3.0	4.0	5.9	1.0	1.0	1.0	7.9		
	90歳以上	41	90.2	4.9	7.3	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	4.9		
	世帯構成別																
	一人暮らし世帯	397	82.1	7.1	52.1	38.8	34.3	21.4	9.3	18.4	21.9	6.5	3.0	0.5	3.5		
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	552	85.7	15.9	65.0	48.9	43.8	22.1	8.0	14.5	24.1	4.9	2.4	1.3	1.4		
夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	119	85.7	11.8	70.6	59.7	69.7	41.2	18.5	26.9	42.0	9.2	2.5	1.7	1.7			
夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	99	77.8	11.1	78.8	72.7	80.8	50.5	28.3	38.4	51.5	18.2	5.1	0.0	0.0			
あなたとその他の高齢者のみの世帯	66	87.9	4.5	56.1	45.5	39.4	19.7	10.6	25.8	31.8	1.5	1.5	3.0	0.0			
二世帯同居世帯	302	87.1	12.6	60.6	46.4	43.7	23.2	10.6	14.2	30.1	5.0	3.3	1.0	2.0			
三世帯同居世帯	52	84.6	15.4	65.4	69.2	48.1	36.5	17.3	26.9	40.4	5.8	7.7	1.9	3.8			
その他の世帯	99	87.9	18.2	60.6	49.5	45.5	26.3	6.1	19.2	32.3	8.1	5.1	2.0	0.0			

年齢別にみると、高齢者一般調査A、高齢者一般調査Bともに、「メールのやりとり」「ライン、フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなどのSNS」「インターネットで情報を集める」「インターネットショッピング」「インターネットバンキング」「バーコード決済、スマホ決済」「動画の視聴」では、年齢が高くなるほど割合が低くなっている。

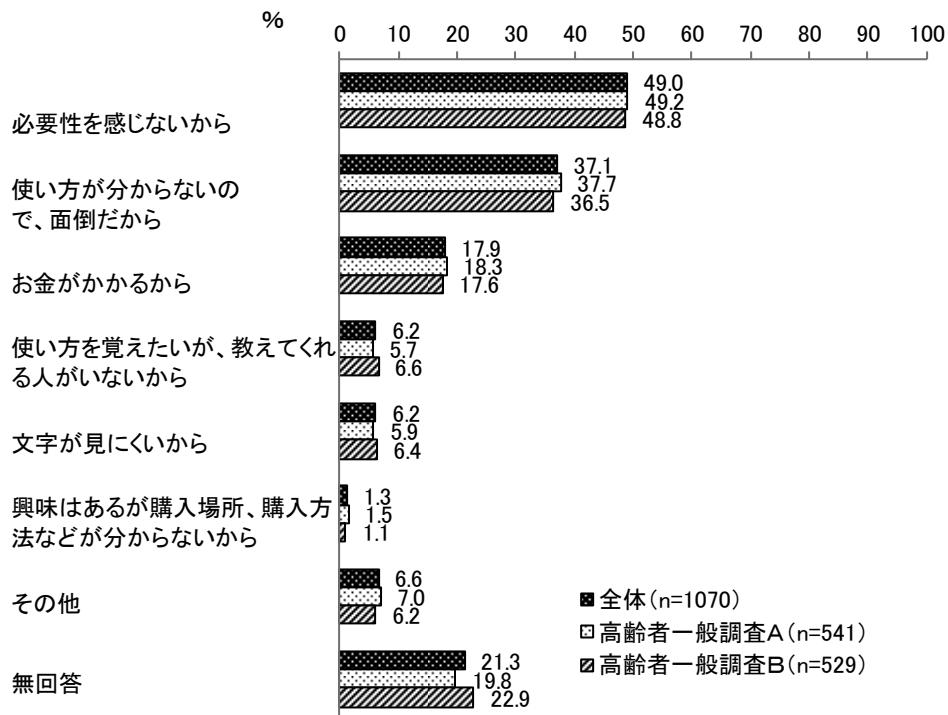
③スマホ等を利用していない理由

<高齢者一般調査A>【問8】で「4」「5」「6」のいずれも選択していない方にうかがいます。問8-2

<高齢者一般調査B>【問8】で「4」「5」「6」のいずれも選択していない方にうかがいます。問8-2

あなたが、スマートフォン、タブレット、パソコンを利用していない理由はなんですか。  
(〇はいくつでも)

【図表 1-8-5 スマホ等を利用していない理由】



スマホ等を利用していない理由は、全体で「必要性を感じないから」が 49.0%で最も高く、次いで「使い方が分からないので、面倒だから」が 37.1%、「お金がかかるから」が 17.9%となっている。

## 第2章 高齢者一般調査A

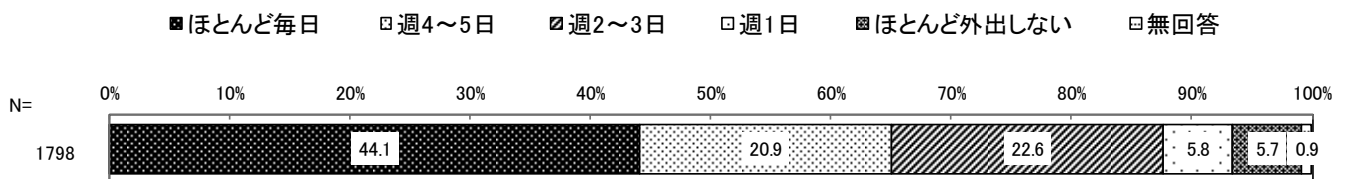
### 1. 日常生活について

#### (1) 外出

##### ①外出頻度

問9 あなたは、週にどれくらいの頻度で外出していますか。(○は1つ)

【図表 2-1-1 外出頻度】



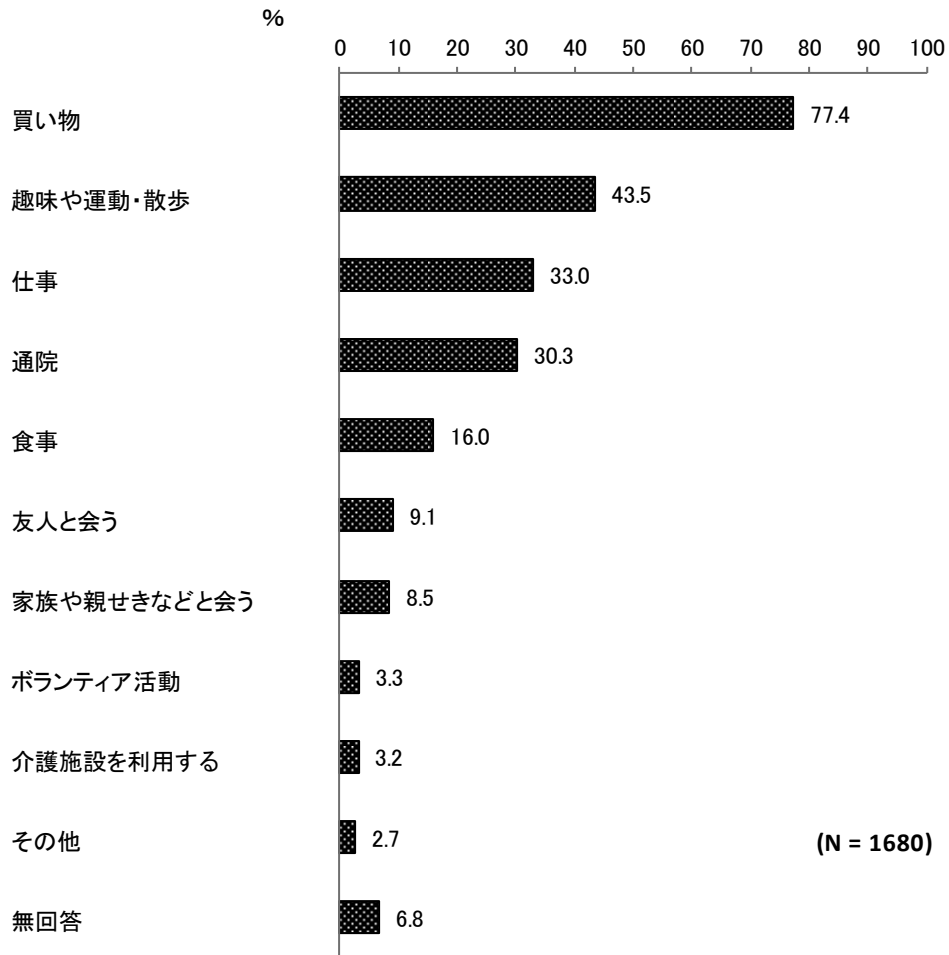
一週間あたりの外出頻度は、「ほとんど毎日」が44.1%で最も高く、次いで「週2~3日」が22.6%、「週4~5日」が20.9%となっている。

②外出目的

【問9】で「1」～「4」と答えた方にうかがいます。

問9-1 あなたの外出の目的は何ですか。(主なものを3つまで)

【図表 2-1-2 外出目的】

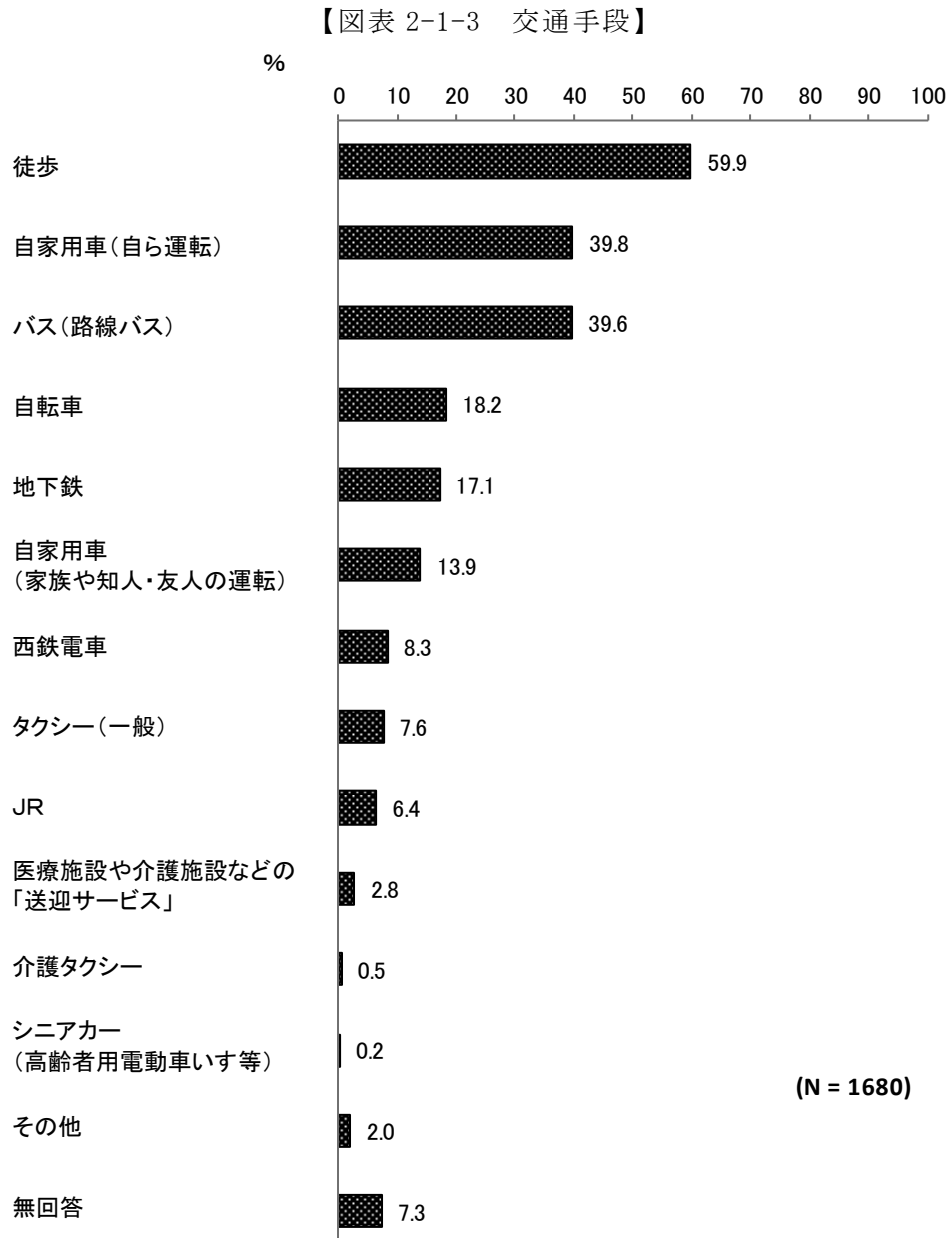


外出の目的は、「買い物」が77.4%で最も高く、次いで「趣味や運動・散歩」が43.5%、「仕事」が33.0%となっている。

## ③交通手段

【問9】で「1」～「4」と答えた方にうかがいます。

問9-2 あなたが外出する際の交通手段は何ですか。(主なものを3つまで)



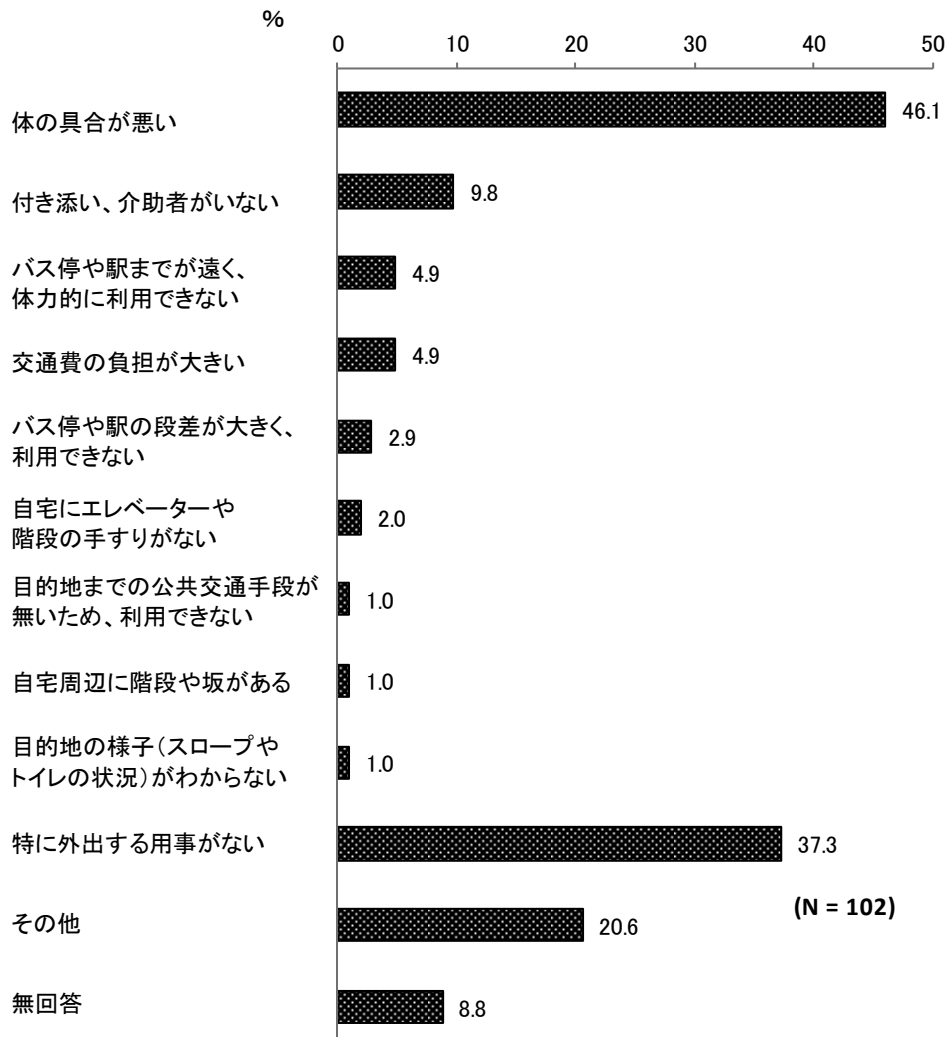
外出する際の交通手段は、「徒歩」が 59.9%で最も高く、次いで「自家用車(自ら運転)」が 39.8%、「バス(路線バス)」が 39.6%となっている。

④外出しない理由

【問9】で「5」と答えた方にかがいます。

問9-3 あなたが、外出しない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【図表 2-1-4 外出しない理由】



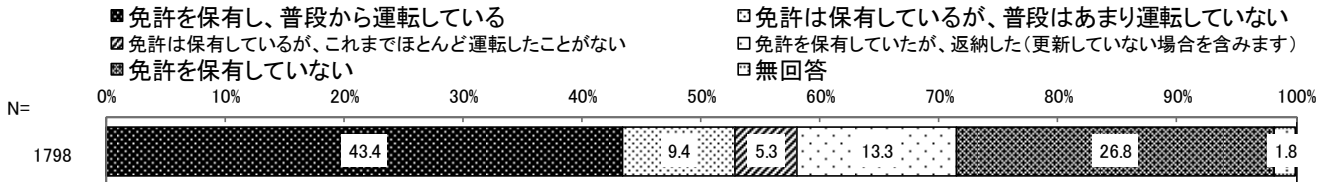
外出しない理由は、「体の具合が悪い」が 46.1%で最も高く、次いで「特に外出する用事がない」が 37.3%、「その他」が 20.6%となっている。

(2) 自動車運転免許

①活用状況

問 10 あなたは、自動車運転免許を保有し、活用されていますか。(○は1つ)

【図表 2-2-1 自動車運転免許の活用状況】



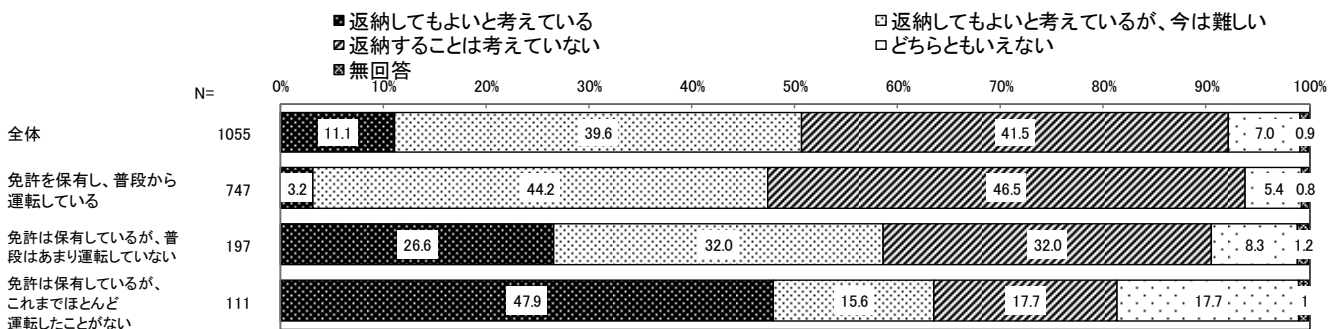
自動車運転免許の保有・活用状況は、「免許を保有し、普段から運転している」が43.4%で最も高く、次いで「免許を保有していない」が26.8%、「免許を保有していたが、返納した(更新していない場合を含みます)」が13.3%となっている。

②自主返納への考え

【問 10】で「1」～「3」と答えた方にうかがいます。

問 10-1 あなたは、自動車運転免許の自主返納についてどのような考えをお持ちですか。(○は1つ)

【図表 2-2-2 自主返納への考え×活用状況別】



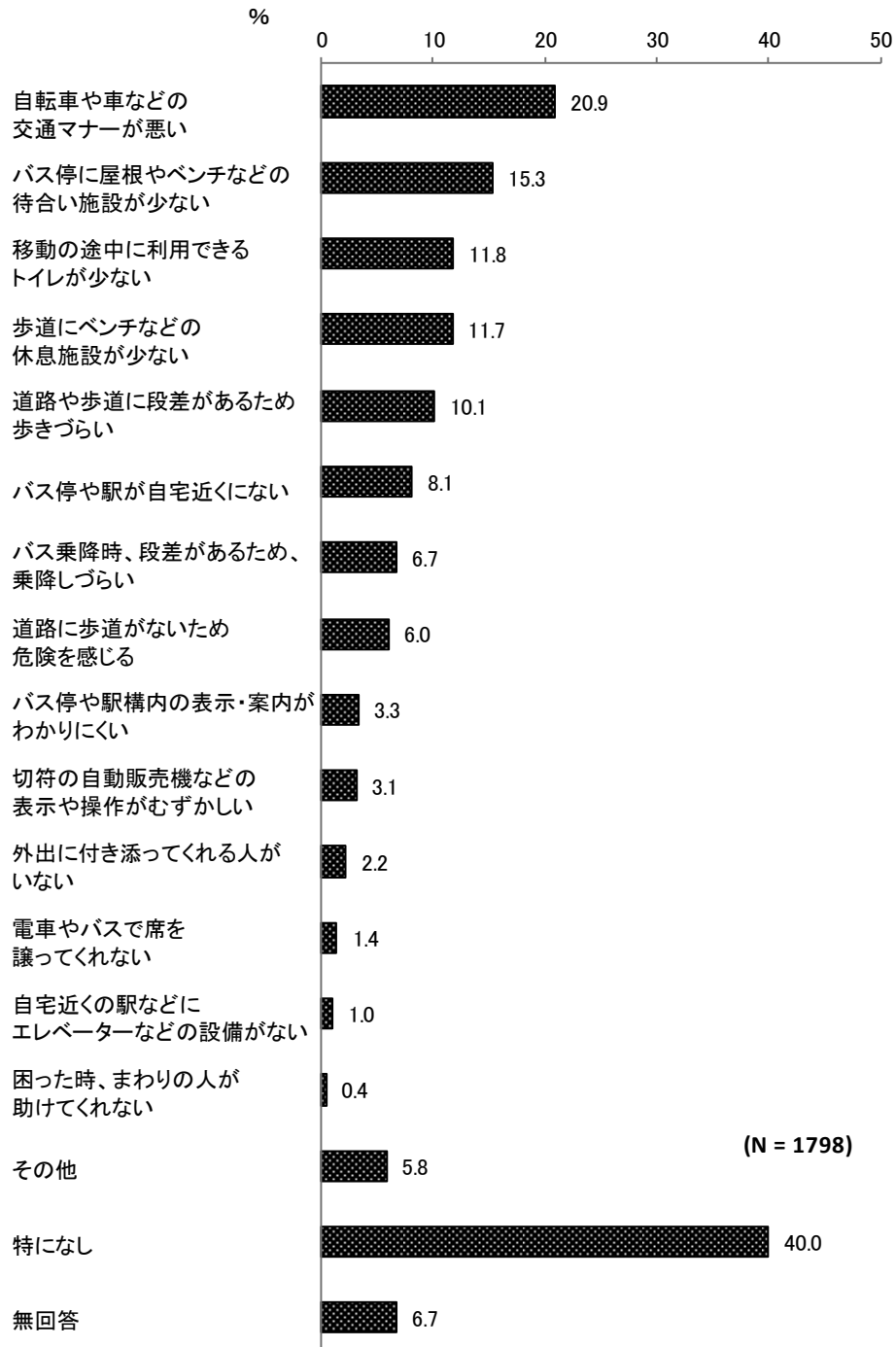
自動車運転免許の自主返納については、「返納することは考えていない」が41.5%で最も高く、次いで「返納してもよいと考えているが、今は難しい」が39.6%、「返納してもよいと考えている」が11.1%となっている。

活用状況別にみると、運転免許を活用していない人ほど「返納してもよいと考えている」の割合が高くなっている。

(3) 外出の際に困っていること

問 11 あなたが、徒歩や公共交通機関による外出の際に困っていることは何ですか。  
(〇はいくつでも)

【図表 2-3-1 外出の際に困っていること】

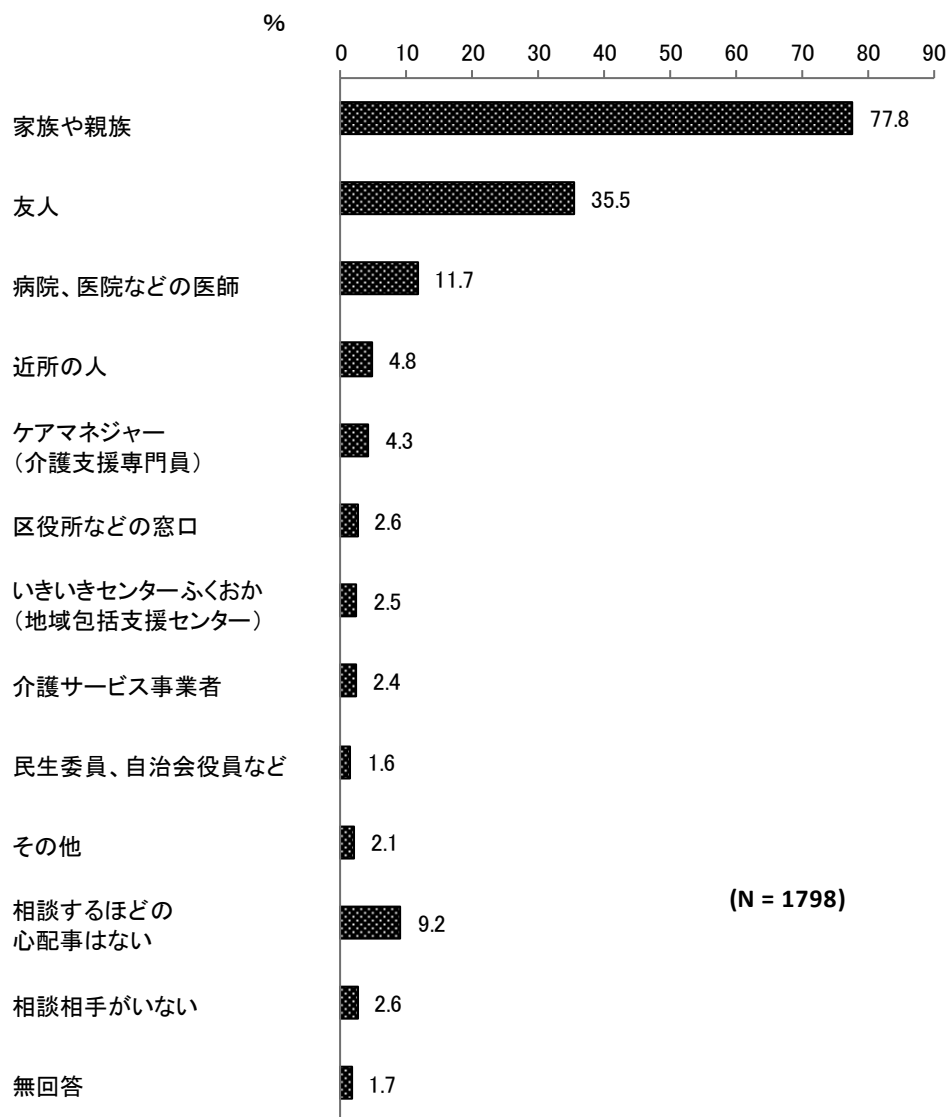


外出の際に困っていることは、「特になし」が 40.0%で最も高く、次いで「自転車や車などの交通マナーが悪い」が 20.9%、「バス停に屋根やベンチなどの待合い施設が少ない」が 15.3%となっている。

## (4) 心配事や悩み事の相談相手

問12 あなたは、困ったことや心配事、悩み事について、誰に相談していますか。  
(〇はいくつでも)

【図表 2-4-1 心配事や悩み事の相談相手】



心配事や悩み事の相談相手は、「家族や親族」が 77.8%で最も高く、次いで「友人」が 35.5%、「病院、医院などの医師」が 11.7%となっている。

【図表 2-4-2 心配事や悩み事の相談相手×経年比較】

		回答数	家族や親族	友人や知人、近所で（令和元年調査まで）	友人（令和4年調査）	近所の人（令和4年調査）	民生委員、自治会役員など	区役所などの保健福祉の窓口	いきいきセンター（地域包括支援センター）	(%)
全体		1798	77.8		35.5	4.8	1.6	2.6	2.5	
経年	令和元年度	1866	74.6	34.0			1.7	1.6	2.6	
	平成28年度	1897	73.6	26.8			1.3	1.3	2.1	
	平成25年度	2985	70.8	28.6			1.9	2.3	2.1	
	平成22年度	2939	67.2	23.1			1.0	1.6	1.3	
	平成19年度	3161	60.5	19.6			0.9	1.2		
	平成16年度	2722	64.9	18.6			1.0	1.8		

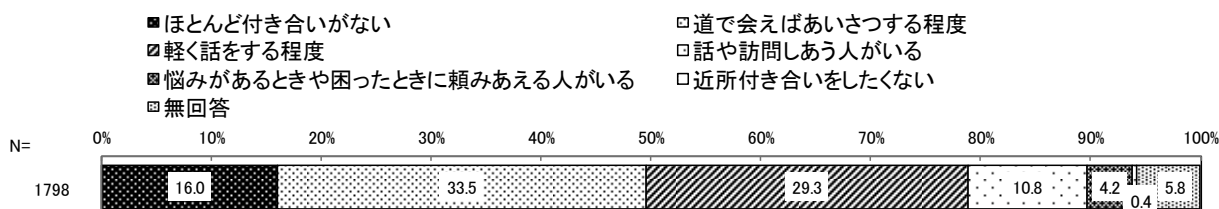
		回答数	ケアマネジャー（介護支援専門員）	介護サービス事業者	病院、医師、医院などの医療機関	その他	相談するほどの心配はない	相談相手がいない	無回答
全体		1798	4.3	2.4	11.7	2.1	9.2	2.6	1.7
経年	令和元年度	1866	5.9	2.8	13.4	1.8	12.8	1.7	1.8
	平成28年度	1897	5.3	3.3	11.6	1.9	12.1	1.8	2.6
	平成25年度	2985	4.3	1.9	11.8	1.2	2.4	14.4	2.3
	平成22年度	2939	3.3	1.9	12.2	0.7	2.4	17.7	3.6
	平成19年度	3161	3.9	2.2	16.1	1.1	3.8	20.4	3.0
	平成16年度	2722	3.0	1.8	12.2	1.2	2.9	21.0	2.7

令和元年度調査と比較すると、「家族や親族」の割合はやや増加している。

(5) 近所付き合い

問 13 あなたのご近所との付き合いで最も近いものに○をつけてください。(○は1つ)

【図表 2-5-1 近所付き合い】



近所付き合いの程度は、「ほとんど付き合いがない」と「道で会えばあいさつする程度」を合わせた『近所付き合いが少ない』は 49.5%、一方、「話や訪問しあう人がいる」と「悩みがあるときや困ったときに頼みあえる人がいる」を合わせた『近所付き合いが多い』は 15.0%となっている。

【図表 2-5-2 近所付き合い×性別・年齢別・世帯構成別】

		回答数	ほとんど付き合いがない (%)	道で会えばあいさつする程度 (%)	軽く話をする程度 (%)	話や訪問しあう人がいる (%)	悩みがあるときや困ったときに頼みあえる人がいる (%)	近所付き合いをしたくない (%)	無回答 (%)
全体		1798	16.0	33.5	29.3	10.8	4.2	0.4	5.8
性別	男性	780	17.3	40.0	30.1	7.1	1.7	0.1	3.7
	女性	1007	14.8	28.5	28.9	13.7	6.3	0.6	7.2
年齢別	60～64歳	327	20.5	44.3	24.8	5.5	2.1	0.3	2.4
	65～69歳	366	16.4	39.6	30.3	7.7	3.0	0.5	2.5
	70～74歳	405	13.3	35.6	28.4	11.1	4.0	0.2	7.4
	75～79歳	319	9.7	25.7	34.2	15.7	7.2	0.3	7.2
	80～84歳	205	18.0	21.0	31.7	15.6	5.9	0.5	7.3
	85～89歳	116	21.6	19.8	28.4	12.1	5.2	0.9	12.1
	90歳以上	56	21.4	33.9	21.4	14.3	1.8	0.0	7.1
世帯構成別	一人暮らし世帯	415	25.8	23.6	24.6	11.3	6.3	0.7	7.7
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	597	11.1	31.8	36.0	13.1	3.4	0.0	4.7
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	115	17.4	36.5	33.0	6.1	2.6	0.0	4.3
	夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	86	16.3	43.0	25.6	5.8	4.7	1.2	3.5
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	61	16.4	37.7	24.6	8.2	6.6	1.6	4.9
	二世帯同居世帯	335	11.6	39.1	27.2	13.7	3.3	0.3	4.8
	三世帯同居世帯	46	15.2	37.0	30.4	4.3	4.3	2.2	6.5
	その他の世帯	116	14.7	48.3	22.4	3.4	2.6	0.0	8.6

年齢別にみると、60～64歳では『近所付き合いが少ない』が 64.8%であり、他と比べて高くなっている。

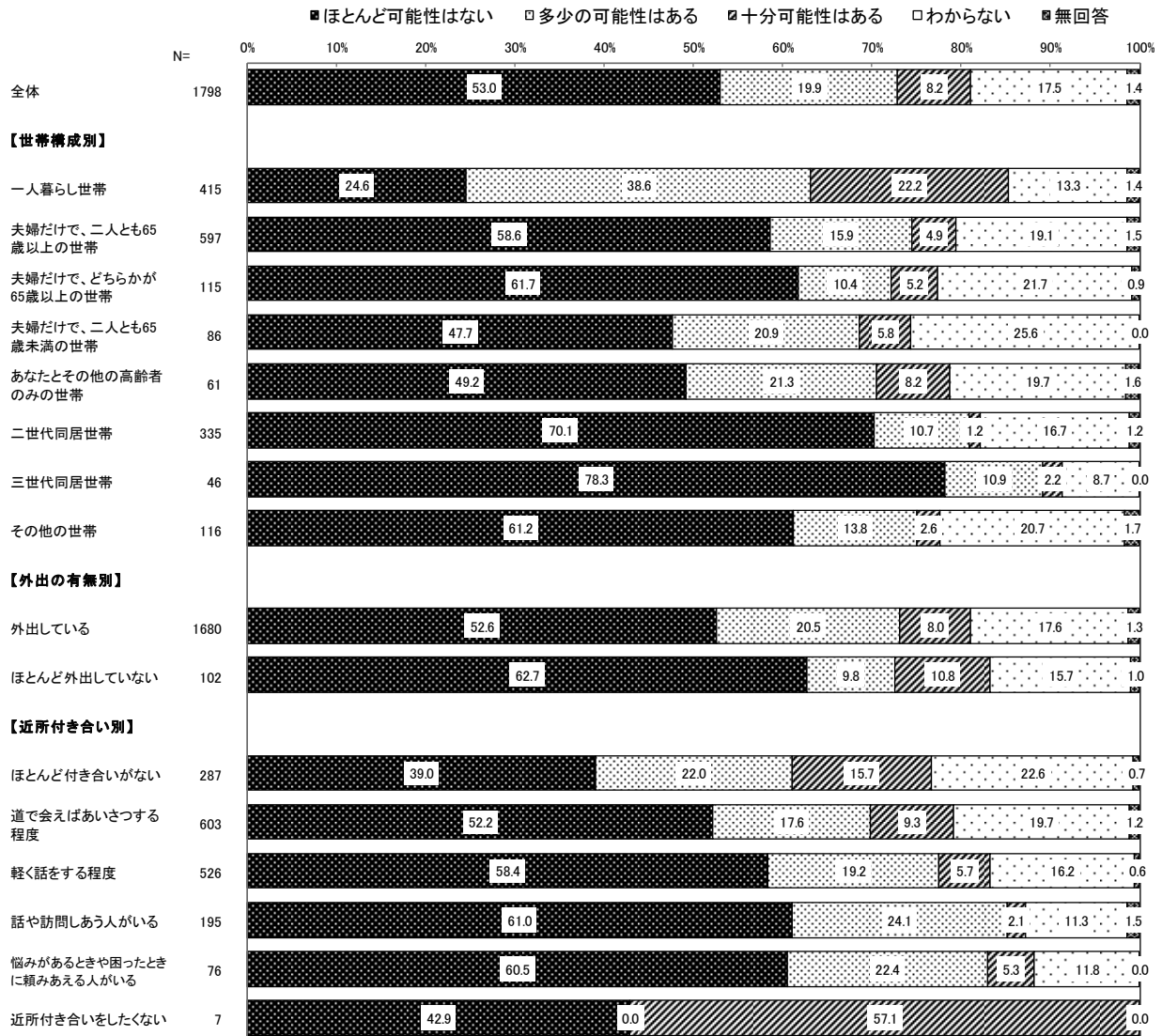
世帯構成別にみると、一人暮らし世帯では「ほとんど付き合いがない」の割合が他と比べて高くなっている。

(6) 孤立死

① 孤立死する可能性

問 14 あなたは、ご自身が孤立死する可能性があると思いますか。(○は1つ)

【図表 2-6-1 孤立死する可能性×世帯構成別・外出の有無別・近所付き合い別】



孤立死する可能性の認識は、「ほとんど可能性はない」が53.0%で最も高く、次いで「多少の可能性はある」と「十分可能性はある」を合わせた『可能性はある』が28.1%となっている。

世帯構成別にみると、一人暮らし世帯では『可能性はある』が60.8%で、他と比べて高くなっている。また、二世帯同居世帯、三世帯同居世帯では「ほとんど可能性はない」の割合が高くなっている。

外出の有無別にみると、ほとんど外出していない人の方が、外出している人より「ほとんど可能性はない」の割合が高くなっている。

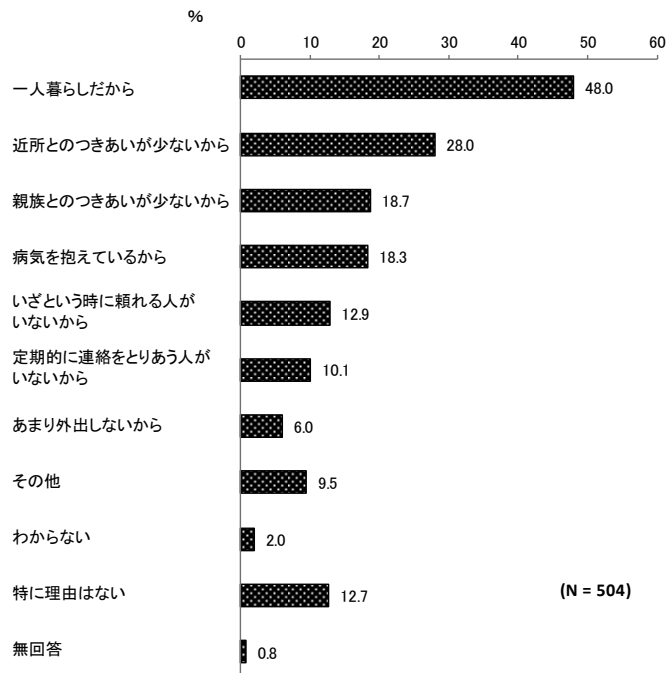
近所付き合い別にみると、近所付き合いが深い人ほど「ほとんど可能性はない」の割合が概ね高くなっている。

② 孤立死する可能性がある理由

【問 14】で「2」か「3」と答えた方にうかがいます。

問 14-1 主な理由は、次のどれに当たりますか。(〇はいくつでも)

【図表 2-6-2 孤立死する可能性がある理由】



孤立死する可能性がある理由は、「一人暮らしだから」が 48.0% で最も高く、次いで「近所とのつきあいが少ないから」が 28.0%、「親族とのつきあいが少ないから」が 18.7% となっている。

【図表 2-6-3 孤立死する可能性がある理由×性別・年齢別・世帯構成別】

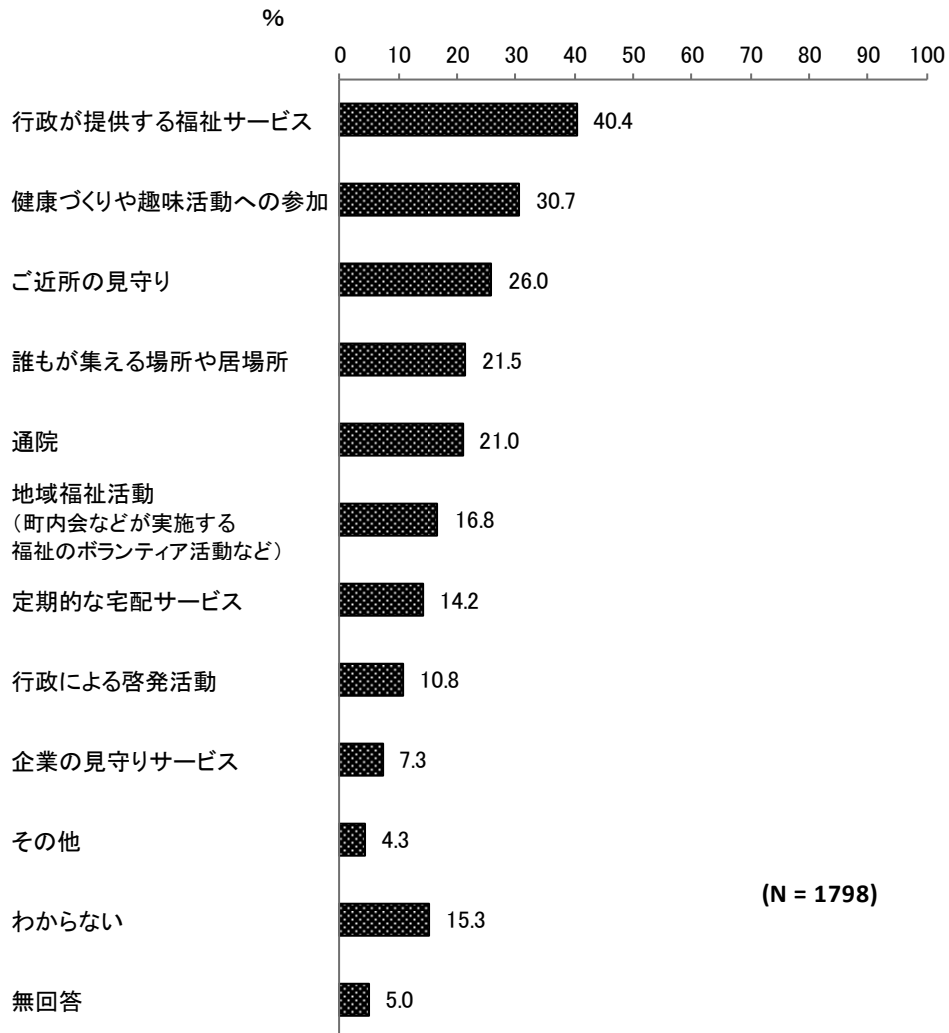
		回答数	一人暮らしだから	少親族とのつきあいが	少近所とのつきあいが	定期的な連絡をとりあう人がいないから	いざという時に頼れる人がいないから	あまり外出しないから	病気を抱えているから	その他	わからない	特に理由はない	無回答
全体		504	48.0	18.7	28.0	10.1	12.9	6.0	18.3	9.5	2.0	12.7	0.8
性別	男性	202	41.1	20.8	32.2	11.9	11.4	7.4	19.8	6.9	2.0	16.8	0.0
	女性	298	52.3	17.1	25.2	9.1	13.8	5.0	17.4	11.4	1.7	10.1	1.3
年齢別	60～64歳	88	43.2	22.7	34.1	17.0	12.5	8.0	12.5	8.0	2.3	15.9	0.0
	65～69歳	106	46.2	21.7	29.2	12.3	16.0	4.7	13.2	11.3	2.8	12.3	0.0
	70～74歳	124	48.4	18.5	26.6	9.7	12.1	4.8	16.9	7.3	1.6	16.9	0.0
	75～79歳	86	41.9	17.4	27.9	8.1	17.4	4.7	22.1	15.1	1.2	7.0	1.2
	80～84歳	56	53.6	12.5	23.2	3.6	5.4	8.9	26.8	5.4	1.8	10.7	3.6
	85～89歳	35	65.7	14.3	25.7	2.9	8.6	8.6	28.6	11.4	0.0	8.6	2.9
90歳以上	9	66.7	11.1	11.1	11.1	11.1	0.0	22.2	0.0	11.1	11.1	0.0	
世帯構成別	一人暮らし世帯	252	93.7	15.9	25.0	8.7	12.7	5.6	17.5	3.6	0.0	2.0	0.8
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	124	1.6	21.0	31.5	10.5	16.9	6.5	21.0	12.1	3.2	25.8	0.0
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	18	0.0	44.4	44.4	16.7	16.7	5.6	5.6	16.7	5.6	16.7	0.0
	夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	23	4.3	17.4	34.8	17.4	4.3	8.7	4.3	8.7	4.3	39.1	0.0
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	18	0.0	33.3	33.3	16.7	22.2	11.1	22.2	16.7	5.6	5.6	0.0
	二世帯同居世帯	40	2.5	12.5	25.0	7.5	5.0	5.0	20.0	25.0	7.5	17.5	5.0
	三世帯同居世帯	6	0.0	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
その他の世帯	19	10.5	15.8	15.8	15.8	10.5	5.3	36.8	21.1	0.0	26.3	0.0	

性別にみると、女性の方が男性より「一人暮らしだから」の割合が高くなっている。

(7) 孤立死防止策

問 15 あなたが、孤立死防止策として必要と思うものはどれですか。(〇はいくつでも)

【図表 2-7-1 孤立死防止策】



孤立死防止策は、「行政が提供する福祉サービス」が 40.4%で最も高く、次いで「健康づくりや趣味活動への参加」が 30.7%、「ご近所の見守り」が 26.0%、「誰もが集える場所や居場所」が 21.5%となっている。

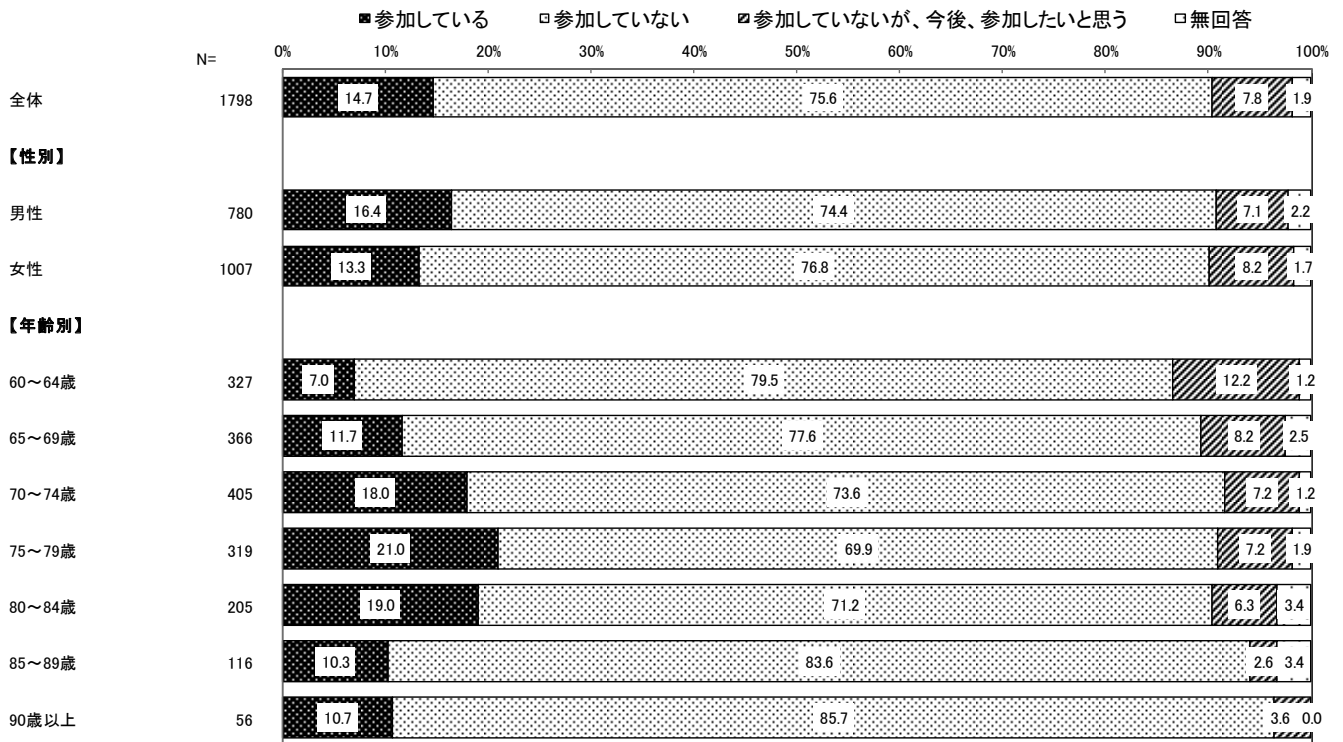
【図表 2-7-2 孤立死防止策×性別・年齢別・世帯構成別】

		回答数	行政が提供する福祉	行政による啓発活動	通院	ご近所の見守り	誰もが集える場所や居場所	社会などボランティア活動	地域福祉活動（町内会など）	健康への参加や趣味活動	定期的な宅配サービス	企業の見守りサービス	その他	わからない	無回答
全体		1798	40.4	10.8	21.0	26.0	21.5	16.8	30.7	14.2	7.3	4.3	15.3	5.0	
性別	男性	780	41.3	13.6	21.5	26.5	18.5	18.5	31.2	11.9	7.4	3.7	15.8	4.4	
	女性	1007	39.8	8.8	20.6	25.8	23.8	15.6	30.3	15.7	7.2	4.7	15.0	5.5	
年齢別	60～64歳	327	44.0	8.9	13.1	23.9	26.3	20.5	39.4	22.6	12.8	3.4	15.0	2.4	
	65～69歳	366	48.9	11.5	18.3	26.5	25.4	16.9	35.5	16.7	10.1	2.7	15.6	3.0	
	70～74歳	405	40.7	14.1	19.0	27.7	21.5	15.1	28.9	9.1	4.7	4.7	14.1	5.7	
	75～79歳	319	34.5	11.0	24.8	25.7	20.7	15.0	30.1	13.2	6.0	3.4	16.3	4.7	
	80～84歳	205	32.2	9.8	24.4	26.3	18.5	21.0	27.8	8.8	3.9	5.9	15.6	8.3	
	85～89歳	116	37.9	6.0	32.8	25.9	11.2	12.1	13.8	10.3	3.4	4.3	16.4	11.2	
	90歳以上	56	32.1	8.9	39.3	26.8	5.4	12.5	12.5	17.9	5.4	14.3	14.3	5.4	
世帯構成別	一人暮らし世帯	415	35.4	10.6	19.3	19.5	18.8	12.5	22.9	12.3	8.4	7.0	20.2	5.3	
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	597	42.5	10.7	21.1	29.8	21.4	16.4	30.7	12.9	5.7	2.8	13.9	4.7	
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	115	42.6	11.3	20.0	26.1	27.8	24.3	45.2	18.3	7.0	5.2	11.3	3.5	
	夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	86	40.7	10.5	11.6	29.1	25.6	25.6	45.3	23.3	12.8	3.5	18.6	2.3	
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	61	47.5	11.5	23.0	26.2	24.6	13.1	24.6	16.4	8.2	1.6	18.0	6.6	
	二世帯同居世帯	335	41.5	10.7	24.2	27.8	23.0	19.7	34.3	15.2	7.8	3.6	13.7	4.5	
	三世帯同居世帯 その他の世帯	46 116	43.5 38.8	4.3 17.2	10.9 25.9	23.9 27.6	26.1 18.1	13.0 18.1	30.4 27.6	21.7 12.1	4.3 9.5	4.3 4.3	8.7 12.9	10.9 3.4	

(8) 地域福祉活動の参加状況

問 16 あなたは、地域福祉活動（町内会などが実施する福祉のボランティア活動など）に参加していますか。（○は1つ）

【図表 2-8-1 地域福祉活動の参加状況×性別・年齢別】



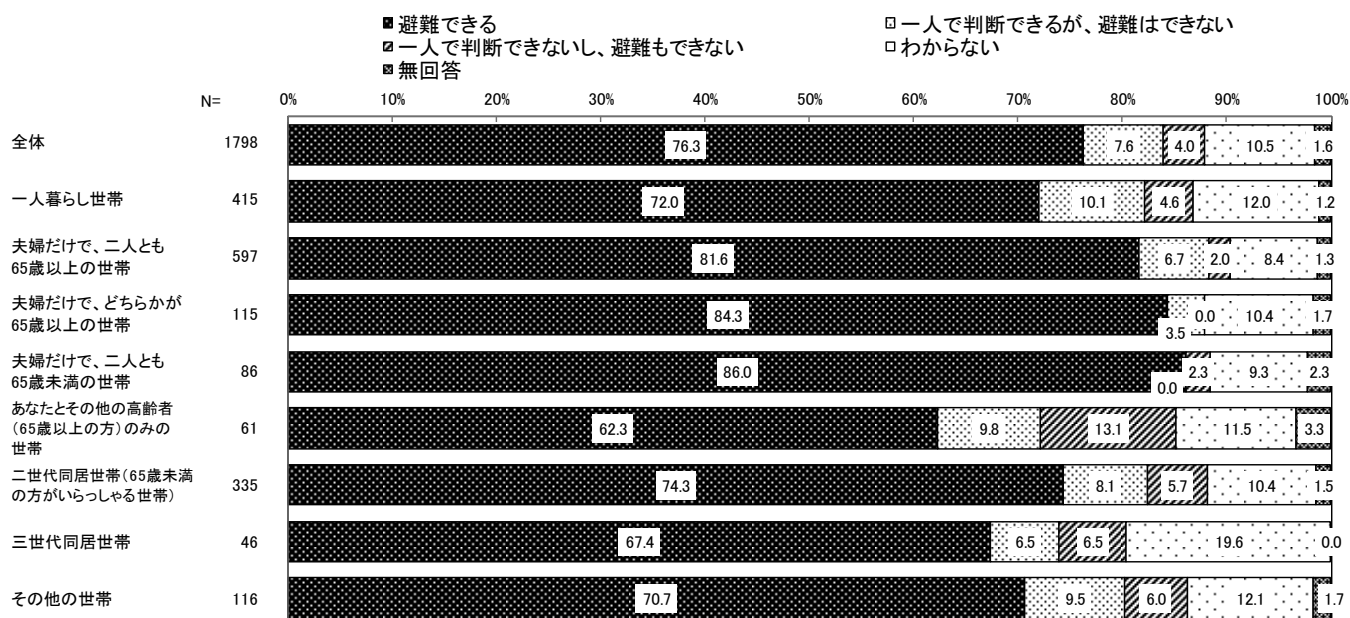
地域福祉活動の参加状況は、「参加していない」が75.6%で最も高く、次いで「参加している」が14.7%、「参加していないが、今後、参加したいと思う」が7.8%となっている。

年齢別にみると、85～89歳、90歳以上では「参加していない」の割合が8割を超え、他と比べて高くなっている。

(9) 災害時における一人での避難

問 17 あなたは、災害時に、一人で避難することができますか。(○は1つ)

【図表 2-9-1 災害時における一人での避難×世帯構成別】



災害時における一人での避難は、「避難できる」が76.3%、「一人で判断できるが、避難はできない」と「一人で判断できないし、避難もできない」を合わせた『避難できない』の割合が11.6%となっている。

【図表 2-9-2 災害時における一人での避難  
×性別・年齢別・世帯構成別・要介護度別】

		回答数	避難できる	が一人 で判断 できない	し一人 で判断 できない	わからない	無回答
		(%)					
全体		1798	76.3	7.6	4.0	10.5	1.6
性別	男性	780	86.3	3.7	1.9	6.3	1.8
	女性	1007	68.9	10.3	5.7	13.7	1.4
年齢別	60～64歳	327	89.0	1.8	0.6	7.6	0.9
	65～69歳	366	83.1	4.1	1.1	9.8	1.9
	70～74歳	405	82.2	7.4	2.2	6.7	1.5
	75～79歳	319	77.1	5.3	2.2	14.4	0.9
	80～84歳	205	62.0	12.7	8.8	13.2	3.4
	85～89歳	116	45.7	24.1	13.8	14.7	1.7
	90歳以上	56	30.4	23.2	28.6	16.1	1.8
世帯構成別	一人暮らし世帯	415	72.0	10.1	4.6	12.0	1.2
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	597	81.6	6.7	2.0	8.4	1.3
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	115	84.3	3.5	0.0	10.4	1.7
	夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	86	86.0	0.0	2.3	9.3	2.3
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	61	62.3	9.8	13.1	11.5	3.3
	二世帯同居世帯	335	74.3	8.1	5.7	10.4	1.5
	三世帯同居世帯	46	67.4	6.5	6.5	19.6	0.0
	その他の世帯	116	70.7	9.5	6.0	12.1	1.7
要介護度別	要介護認定の申請はしていない	1455	84.0	4.9	1.2	8.9	1.0
	要介護認定を申請したが、非該当(自立)だった	9	66.7	22.2	0.0	0.0	11.1
	要支援1	51	35.3	29.4	7.8	25.5	2.0
	要支援2	33	24.2	45.5	9.1	18.2	3.0
	要介護1	41	14.6	34.1	31.7	17.1	2.4
	要介護2	12	8.3	41.7	33.3	16.7	0.0
	要介護3	11	0.0	18.2	81.8	0.0	0.0
	要介護4	12	16.7	25.0	50.0	8.3	0.0
	要介護5	10	0.0	0.0	80.0	0.0	20.0
わからない	102	75.5	5.9	2.9	12.7	2.9	

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「避難できる」の割合が低くなる傾向がある。

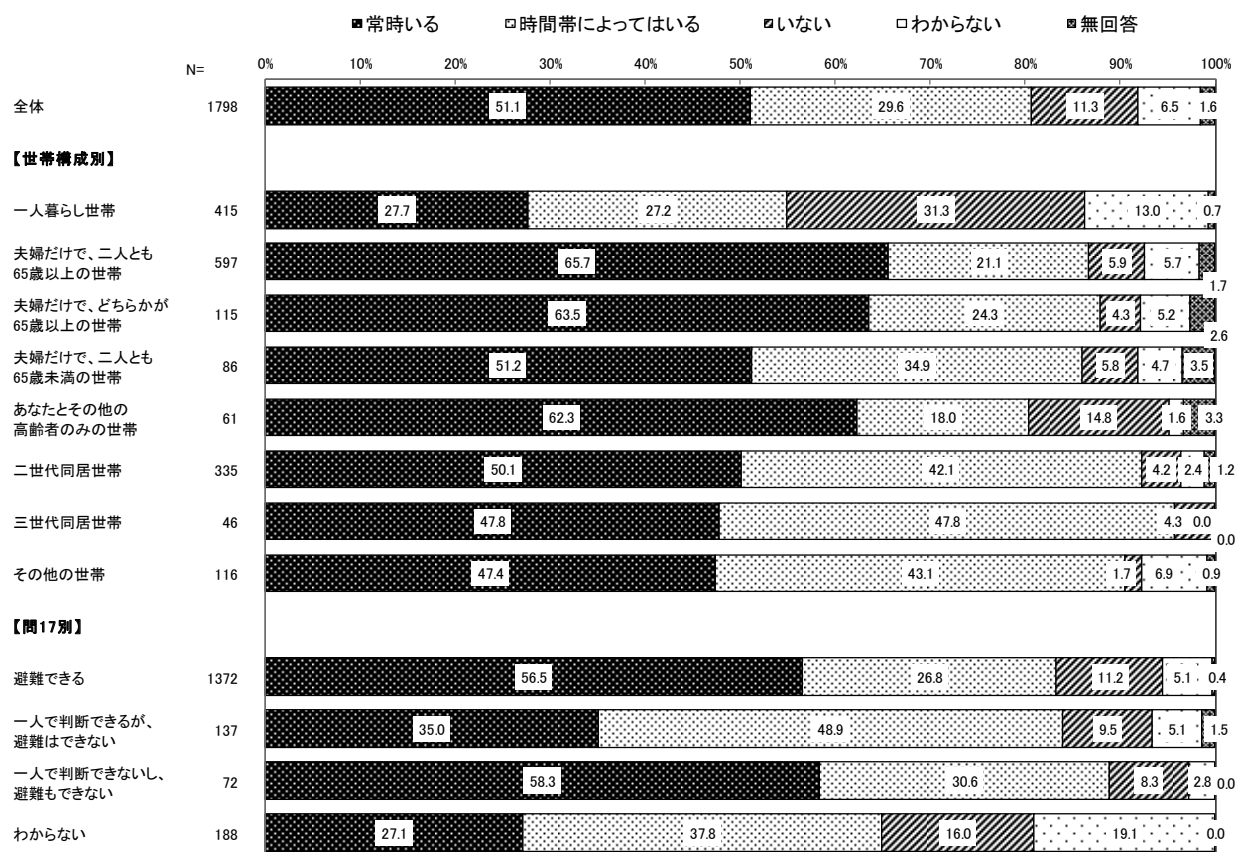
世帯構成別にみると、あなたとその他の高齢者（65歳以上の方）のみの世帯では『避難できない』の割合が22.9%であり、他と比べて高くなっている。

要介護度別にみると、「避難できる」と「一人で判断できないし、避難もできない」の項目では、要介護1～5とそのほかの要介護度の方に大きな差がみられた。

(10) 災害時や緊急時に手助けを頼める人の有無

問 18 あなたには、災害時や緊急時に、手助けを頼める人（同居者を含む）はいますか。  
 (○は1つ)

【図表 2-10-1 災害時や緊急時に手助けを頼める人の有無×世帯構成別・問 17 別】



災害時や緊急時に手助けを頼める人の有無は、「常時いる」が 51.1%で最も高く、次いで「時間帯によってはいる」が 29.6%、「いない」が 11.3%となっている。

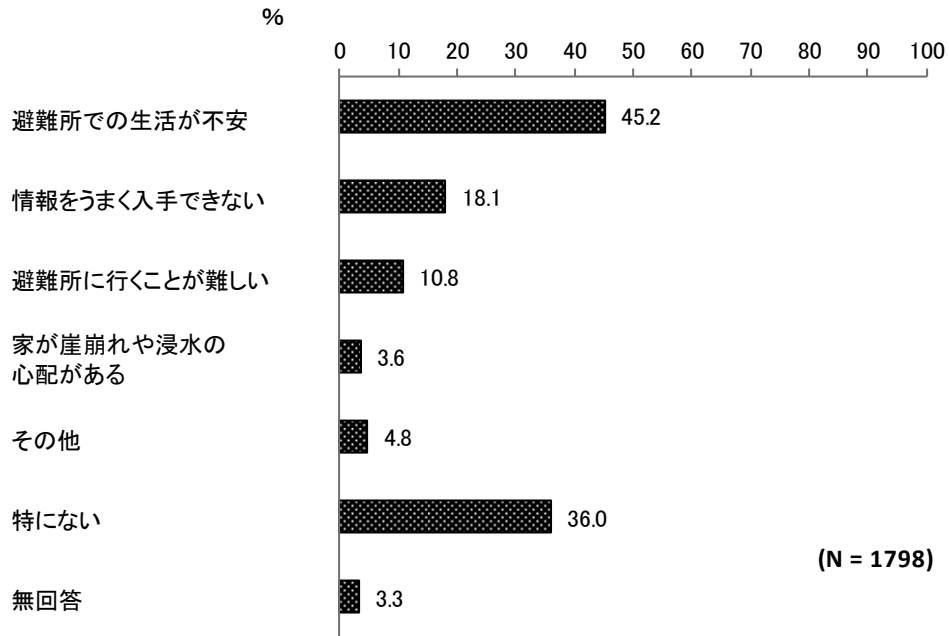
世帯構成別にみると、一人暮らし世帯では「常時いる」の割合が他と比べて低くなっており、「いない」の割合が他と比べて高くなっている。

災害時や緊急時における一人での避難別にみると、一人で判断できるが、避難はできない人では「常時いる」の割合が他と比べて低くなっている。

(11) 災害時の心配事や問題点

問 19 あなたには、災害が起きた時の心配事や問題点がありますか。(○はいくつでも)

【図表 2-11-1 災害時の心配事や問題点】



災害時の心配事や問題点は、全体で「避難所での生活が不安」が 45.2%で最も高く、次いで「特にない」が 36.0%、「情報をうまく入手できない」が 18.1%となっている。

【図表 2-11-2 災害時の心配事や問題点×性別・年齢別・世帯構成別・要介護度別】

		回答数	き情報 をうま く入手 で	難避 し難 い所 に行 くこ とが	安避 難所 での 生活 が不	心家 配が 崖崩 れや 浸水 の	その他	特 に な い	無 回 答
全体		1798	18.1	10.8	45.2	3.6	4.8	36.0	3.3
性別	男性	780	17.2	8.1	38.6	3.1	3.8	44.0	2.7
	女性	1007	18.8	12.8	50.2	4.1	5.7	29.9	3.7
年齢別	60～64歳	327	11.3	3.4	48.9	4.3	5.2	39.8	1.8
	65～69歳	366	15.0	7.4	51.6	3.8	5.2	34.7	2.2
	70～74歳	405	19.0	8.1	47.9	3.2	4.2	35.1	3.0
	75～79歳	319	20.7	9.7	42.0	3.8	4.4	37.3	2.2
	80～84歳	205	21.5	15.6	30.7	2.9	5.4	36.6	8.8
	85～89歳	116	29.3	31.9	44.0	3.4	5.2	30.2	6.0
	90歳以上	56	19.6	39.3	33.9	3.6	5.4	32.1	1.8
世帯構成別	一人暮らし世帯	415	22.9	13.3	41.4	3.1	4.8	35.2	3.1
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	597	16.8	10.2	47.2	2.2	3.7	36.5	2.5
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	115	13.0	7.8	43.5	4.3	6.1	39.1	3.5
	夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	86	10.5	3.5	46.5	3.5	5.8	40.7	4.7
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	61	23.0	11.5	42.6	8.2	8.2	27.9	4.9
	二世帯同居世帯	335	15.8	11.0	45.7	4.2	4.8	36.4	3.6
	三世帯同居世帯	46	23.9	13.0	54.3	10.9	8.7	26.1	2.2
	その他の世帯	116	21.6	10.3	48.3	4.3	6.0	35.3	3.4
要介護度別	要介護認定の申請はしていない	1455	16.8	6.4	46.3	3.7	4.5	38.1	2.2
	要介護認定を申請したが、非該当(自立)だった	9	33.3	11.1	55.6	0.0	0.0	11.1	11.1
	要支援1	51	31.4	43.1	45.1	3.9	5.9	15.7	3.9
	要支援2	33	27.3	42.4	45.5	3.0	9.1	24.2	6.1
	要介護1	41	26.8	36.6	43.9	7.3	4.9	24.4	4.9
	要介護2	12	33.3	66.7	66.7	0.0	8.3	8.3	0.0
	要介護3	11	18.2	63.6	54.5	9.1	0.0	9.1	9.1
	要介護4	12	25.0	41.7	25.0	0.0	16.7	16.7	8.3
	要介護5	10	30.0	60.0	30.0	0.0	10.0	10.0	20.0
	わからない	102	18.6	14.7	34.3	2.0	4.9	41.2	4.9

性別にみると、女性の方が男性より「避難所に行くことが難しい」「避難所での生活が不安」の割合が高くなっている。

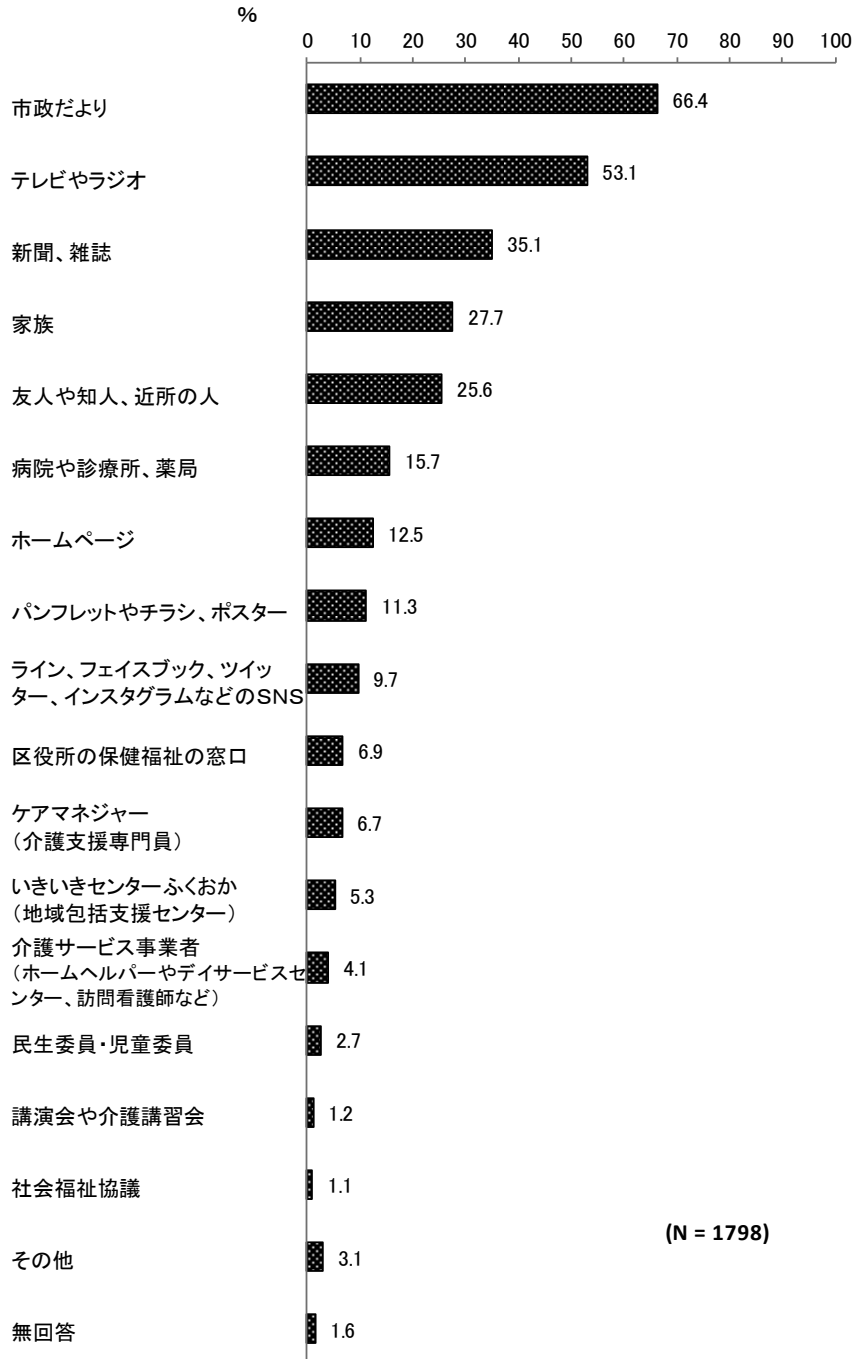
年齢別にみると、年齢が高くなるほど「避難所に行くことが難しい」の割合が高くなっており、90歳以上では39.3%となっている。また、65～69歳では「避難所での生活が不安」の割合が51.6%と他と比べて高くなっている。

要介護度別にみると、要支援1・2、要介護1～5では、「避難所に行くことが難しい」の割合が、要介護認定の申請はしていない人、要介護認定を申請したが、非該当(自立)だった人に比べて高くなっている。

(12) 保健・医療・福祉の情報源

問 20 あなたは、介護保険をはじめ、保健・医療・福祉などについての情報を、どこから知ることが多いですか。(〇はいくつでも)

【図表 2-12-1 保健・医療・福祉の情報源】



保健・医療・福祉の情報源は、「市政だより」が66.4%で最も高く、次いで「テレビやラジオ」が53.1%、「新聞、雑誌」が35.1%となっている。

【図表 2-12-2 保健・医療・福祉の情報源×性別・年齢別・世帯構成別】

		回答数	市政だより	テレビやラジオ	新聞、雑誌	シパン、ポスレターやチラシ	ホームページ	ムター、イン스타그램などのSNS	ライン、フェイスブック、ツイッター	窓口、区役所の保健福祉の窓	いきいきセンター（地域包括支援センター）	ケアマネジャー（介護支援専門員）
全体		1798	66.4	53.1	35.1	11.3	12.5	9.7	6.9	5.3	6.7	
性別	男性	780	62.6	55.8	38.3	12.6	17.4	10.6	6.8	3.6	5.1	
	女性	1007	69.5	51.1	32.8	10.3	8.6	9.1	7.0	6.7	7.8	
年齢別	60～64歳	327	51.4	53.5	24.2	11.3	26.9	18.0	4.6	4.3	5.8	
	65～69歳	366	62.8	53.0	32.8	13.4	19.4	14.5	6.6	2.7	4.9	
	70～74歳	405	77.8	52.6	37.3	11.6	9.9	9.4	7.7	2.7	2.7	
	75～79歳	319	74.9	57.1	42.0	12.5	6.3	5.0	7.8	6.6	3.4	
	80～84歳	205	70.2	55.6	43.9	10.7	2.0	3.9	8.3	7.3	10.7	
	85～89歳	116	60.3	46.6	33.6	3.4	0.0	0.9	7.8	15.5	14.7	
90歳以上	56	46.4	39.3	32.1	7.1	1.8	0.0	3.6	10.7	39.3		
世帯構成別	一人暮らし世帯	415	63.1	52.0	26.3	9.2	6.7	8.7	6.7	4.3	6.0	
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	597	75.9	57.1	45.6	13.2	10.1	8.9	8.0	4.9	5.9	
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	115	55.7	53.9	28.7	12.2	25.2	17.4	6.1	6.1	6.1	
	夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	86	54.7	50.0	27.9	4.7	29.1	16.3	4.7	3.5	1.2	
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	61	65.6	42.6	42.6	8.2	8.2	9.8	9.8	6.6	18.0	
	二世帯同居世帯	335	65.4	50.1	33.4	12.8	16.4	9.9	5.4	7.2	8.4	
	三世帯同居世帯	46	60.9	45.7	28.3	15.2	10.9	15.2	0.0	10.9	6.5	
その他の世帯	116	56.9	56.0	31.0	7.8	12.9	5.2	8.6	3.4	5.2		

		回答数	介護施設（デイサービスセンター、訪問看護ステーション）	病院や診療所、薬局	民生委員・児童委員	社会福祉協議会	講演会や介護講習会	友人や知人、近所の人	家族	その他	無回答
全体		1798	4.1	15.7	2.7	1.1	1.2	25.6	27.7	3.1	1.6
性別	男性	780	3.1	15.9	2.1	1.4	1.2	18.8	27.8	3.2	1.8
	女性	1007	4.9	15.4	3.2	0.8	1.3	30.8	27.4	3.1	1.4
年齢別	60～64歳	327	3.1	9.5	0.9	0.6	0.9	24.2	24.2	4.6	0.6
	65～69歳	366	3.0	15.3	1.4	0.5	0.3	25.4	23.2	3.6	2.2
	70～74歳	405	1.7	12.3	1.7	0.7	1.7	26.2	25.9	3.0	1.2
	75～79歳	319	1.3	23.2	3.1	2.5	2.2	27.6	25.1	1.3	1.9
	80～84歳	205	7.8	14.6	6.8	1.5	1.0	29.8	31.7	2.9	2.9
	85～89歳	116	8.6	19.8	4.3	0.9	1.7	22.4	44.0	2.6	1.7
90歳以上	56	28.6	28.6	7.1	0.0	0.0	12.5	53.6	5.4	0.0	
世帯構成別	一人暮らし世帯	415	3.9	14.7	3.6	1.4	2.4	26.3	14.9	4.1	1.9
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	597	3.7	16.1	3.0	0.8	1.0	27.5	30.7	2.0	1.8
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	115	1.7	15.7	2.6	0.9	0.9	27.0	25.2	3.5	0.9
	夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	86	3.5	11.6	0.0	1.2	1.2	22.1	25.6	4.7	1.2
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	61	9.8	19.7	0.0	0.0	0.0	18.0	36.1	3.3	1.6
	二世帯同居世帯	335	5.1	17.3	2.1	0.9	0.6	24.8	34.3	3.6	1.8
	三世帯同居世帯	46	0.0	13.0	0.0	2.2	2.2	26.1	37.0	2.2	0.0
その他の世帯	116	6.0	12.1	2.6	1.7	0.9	22.4	30.2	2.6	0.9	

性別にみると、男性の方が女性より「ホームページ」の割合が高くなっている。一方、女性の方が男性より「友人や知人、近所の人」の割合が高くなっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「ホームページ」「ライン、フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなどのSNS」の割合が低くなる傾向がある。

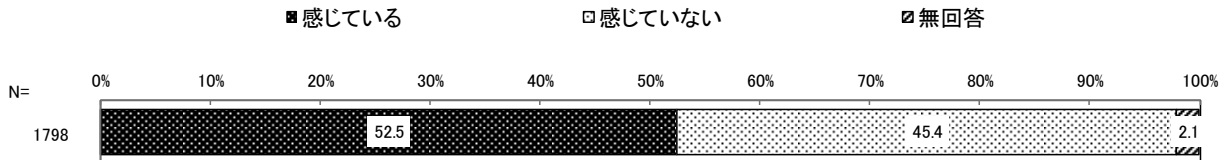
世帯構成別にみると、あなたとその他の高齢者のみの世帯では「ケアマネジャー（介護支援専門員）」の割合が他と比べて高くなっている。

(13) 経済的な不安

①経済的な不安の有無

問 21 あなたは、経済的に不安を感じていますか。(○は1つ)

【図表 2-13-1 経済的な不安の有無】



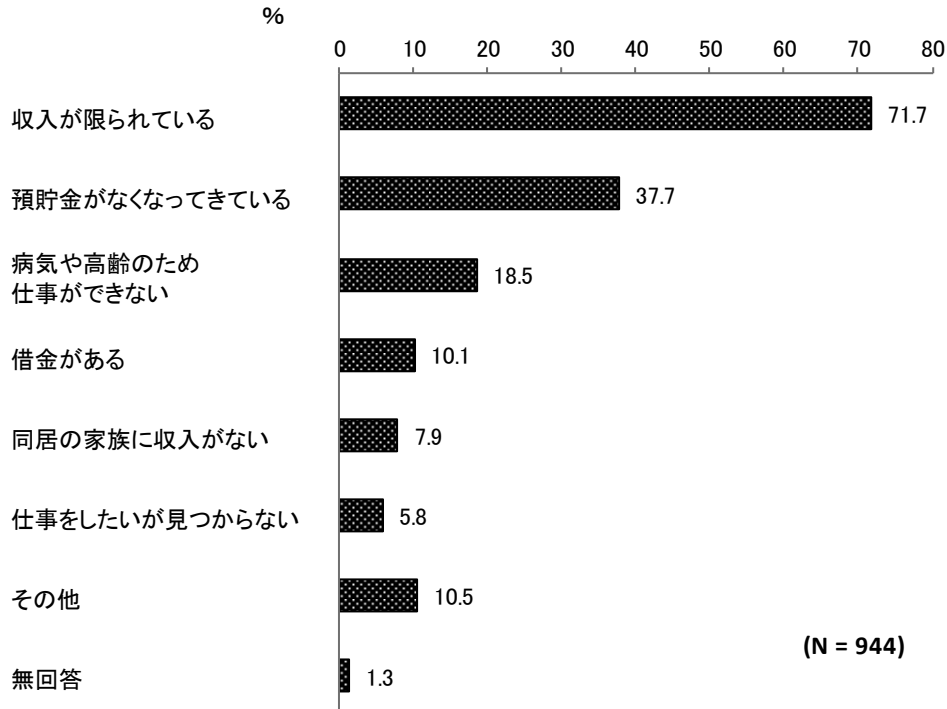
経済的な不安の有無は、「感じている」が 52.5%、「感じていない」が 45.4%となっている。

②経済的な不安を感じる理由

【問 21】で「1」と答えた方にかがいます。

問 21-1 経済的に不安に感じている主な理由は何ですか。(○はいくつでも)

【図表 2-13-2 経済的な不安を感じる理由】



経済的な不安を感じている主な理由は、「収入が限られている」が 71.7%で最も高く、次いで「預貯金がなくなっている」が 37.7%、「病気や高齢のため仕事ができない」が 18.5%となっている。

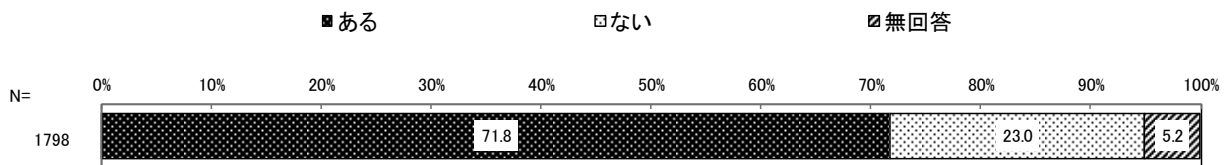
## 2. 生きがい・社会参加

### (1) 生きがい

#### ① 生きがいの有無

問 22 あなたは、現在生きがいを感じることがありますか。(○は1つ)

【図表 2-14-1 生きがいの有無】



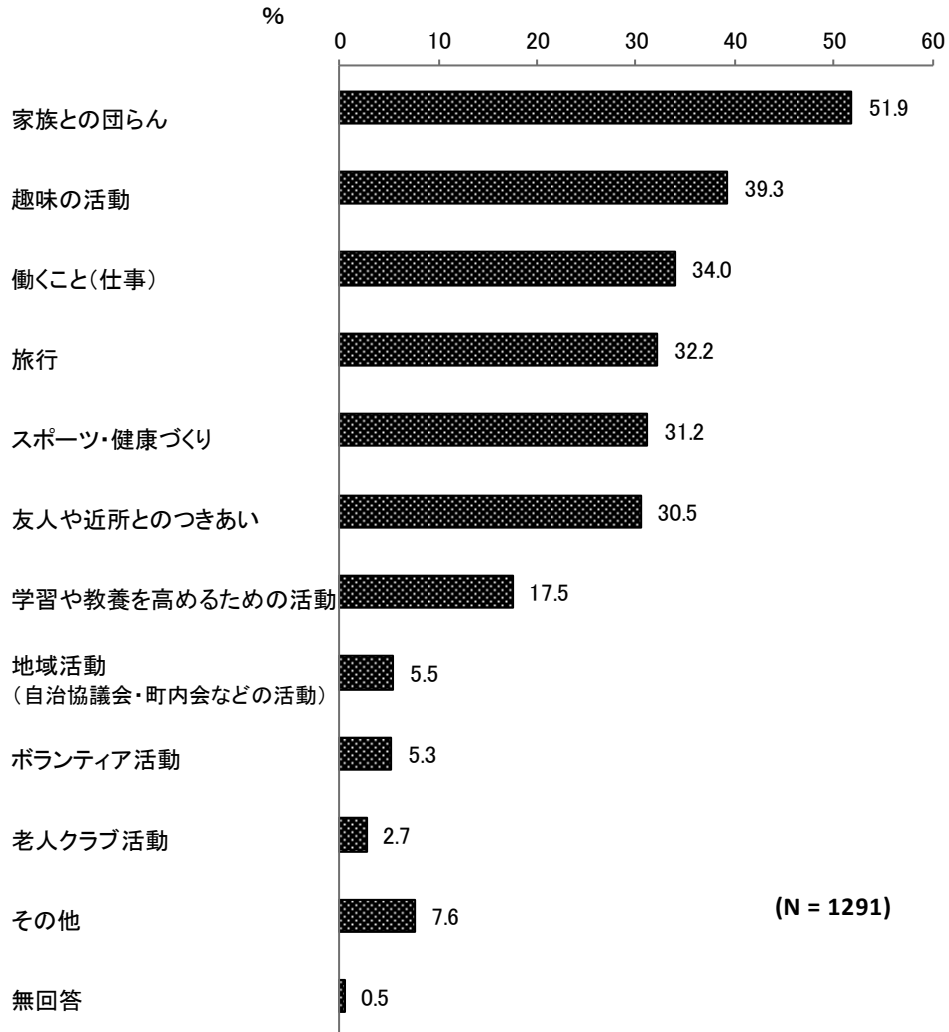
生きがいの有無は、「ある」が 71.8%、「ない」が 23.0%となっている。

②生きがいを感じること

【問 22】で「1」と答えた方にうかがいます。

問 22-1 あなたが、現在生きがいを感じるのはどんなことですか。(〇はいくつでも)

【図表 2-14-2 生きがいを感じること】



生きがいを感じることは、「家族との団らん」が 51.9%で最も高く、次いで「趣味の活動」が 39.3%となっている。

【図表 2-14-3 生きがいを感じる事×性別・年齢別・世帯構成別・経年比較】

		回答数	学習や教養を高めるための活動	スポーツ・健康づく	趣味の活動	老人クラブ活動	地域活動（町内会・自治協議会などの活動）	ボランティア活動	働くこと
全体		1291	17.5	31.2	39.3	2.7	5.5	5.3	34.0
性別	男性	573	17.5	38.4	44.7	2.6	5.9	3.3	41.9
	女性	710	17.6	25.6	35.2	2.8	5.2	7.0	27.7
年齢別	60～64歳	257	20.6	26.8	39.3	0.0	1.9	2.7	56.8
	65～69歳	271	21.4	33.2	41.0	0.7	3.3	5.9	45.8
	70～74歳	293	14.3	33.1	31.7	2.0	5.8	5.8	31.1
	75～79歳	228	16.2	34.2	45.2	4.8	10.5	5.7	21.9
	80～84歳	140	17.1	32.9	42.9	7.1	8.6	8.6	12.1
	85～89歳	64	15.6	28.1	42.2	7.8	3.1	6.3	14.1
	90歳以上	34	5.9	14.7	35.3	2.9	5.9	0.0	5.9
世帯構成別	一人暮らし世帯	261	21.1	28.7	42.9	3.1	6.5	6.5	33.3
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	448	14.5	37.1	38.8	3.3	6.5	6.5	26.3
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	89	25.8	34.8	40.4	2.2	6.7	4.5	40.4
	夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	72	23.6	26.4	41.7	0.0	2.8	0.0	68.1
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	31	12.9	19.4	32.3	0.0	3.2	9.7	29.0
	二世帯同居世帯	255	20.0	29.4	40.4	2.0	3.9	5.1	36.5
	三世帯同居世帯	35	8.6	22.9	22.9	0.0	2.9	5.7	37.1
	その他の世帯	81	9.9	22.2	33.3	4.9	4.9	0.0	35.8
経年	令和元年度	1460	18.3	30.0	39.9	5.1	5.8	5.4	31.9
	平成28年度	1897	15.5	20.0	36.4	4.0	3.5	2.5	27.8

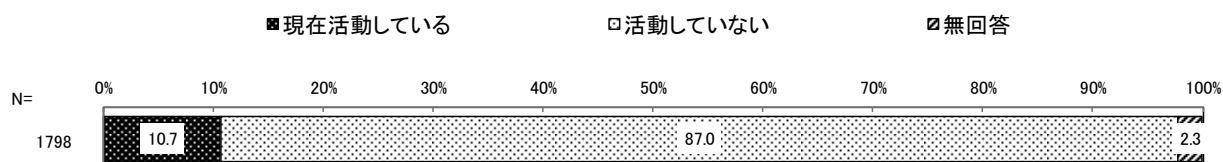
		回答数	家族との団らん	友人や近所とのつきあい	旅行	その他	特にな	無回答
全体		1291	51.9	30.5	32.2	7.6		0.5
性別	男性	573	46.9	19.7	33.3	5.9		0.3
	女性	710	55.6	39.3	31.1	8.9		0.6
年齢別	60～64歳	257	59.1	30.0	35.4	4.3		0.0
	65～69歳	271	55.0	27.7	33.6	8.5		0.0
	70～74歳	293	53.9	28.0	34.8	5.5		0.7
	75～79歳	228	40.4	36.0	32.0	9.6		0.4
	80～84歳	140	41.4	34.3	26.4	11.4		0.7
	85～89歳	64	56.3	32.8	23.4	9.4		1.6
	90歳以上	34	67.6	23.5	17.6	8.8		2.9
世帯構成別	一人暮らし世帯	261	24.5	35.2	29.5	11.1		0.8
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	448	55.6	28.6	33.7	8.0		0.2
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	89	65.2	30.3	42.7	5.6		0.0
	夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	72	65.3	27.8	30.6	0.0		1.4
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	31	51.6	45.2	35.5	16.1		0.0
	二世帯同居世帯	255	61.2	32.9	29.8	6.3		0.4
	三世帯同居世帯	35	80.0	28.6	42.9	5.7		0.0
	その他の世帯	81	53.1	17.3	29.6	4.9		0.0
経年	令和元年度	1460	47.6	31.4	31.6	7.4		0.5
	平成28年度	1897	40.6	26.3	30.4	4.6	8.9	6.6

(2) ボランティア活動

① ボランティア活動の有無

問 23 あなたは、現在ボランティア活動をしていますか。(○は1つ)

【図表 2-15-1 ボランティア活動の有無】



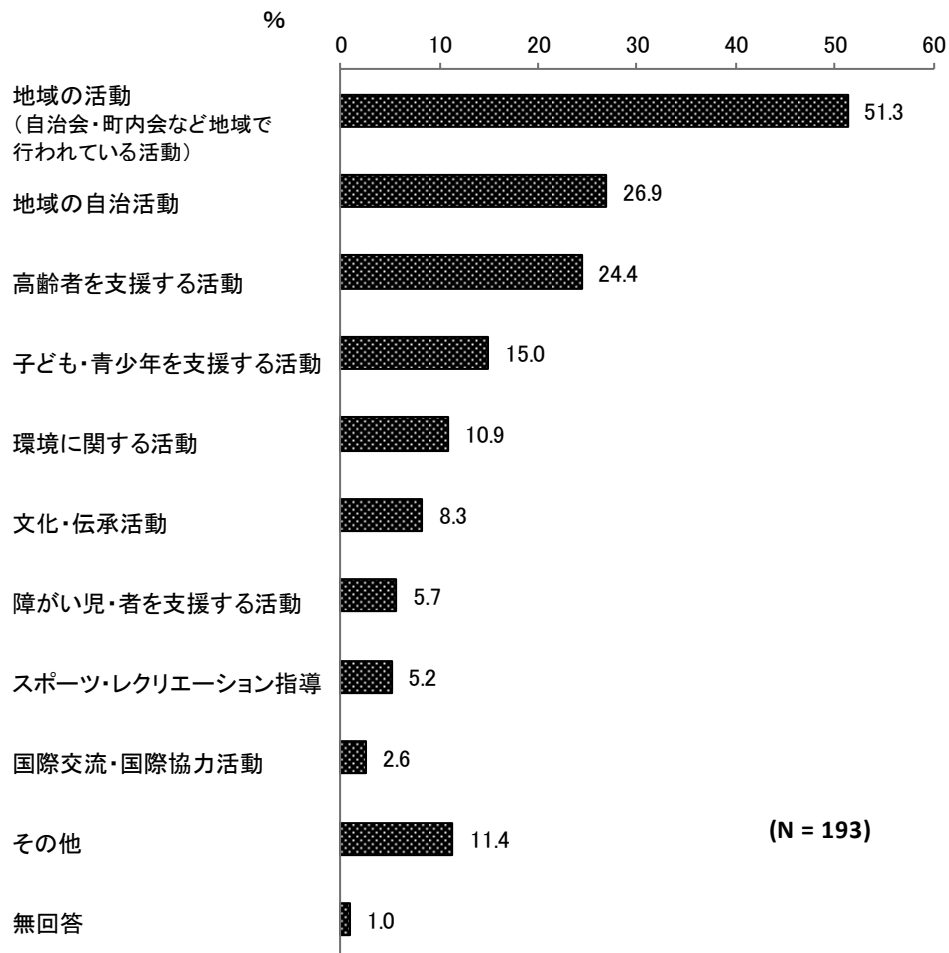
ボランティア活動の有無は、「活動していない」が 87.0%、「現在活動している」が 10.7% となっている。

## ②ボランティア活動の内容

【問 23】で「1」と答えた方にかがいます。

問 23-1 あなたのボランティア活動の内容はどのようなものですか。(〇はいくつでも)

【図表 2-15-2 ボランティア活動の内容】



ボランティア活動の内容は、「地域の活動（自治会・町内会など地域で行われている活動）」が 51.3%で最も高く、次いで「地域の自治活動」が 26.9%、「高齢者を支援する活動」が 24.4%となっている。

【図表 2-15-3 ボランティア活動の内容×性別・年齢別】

		回答数	高齢者を支援する活動	障がい児・者を支援する活動	子ども・青少年を支援する活動	環境に関する活動	国際交流・国際協力活動
全体		193	24.4	5.7	15.0	10.9	2.6
性別	男性	80	16.3	2.5	17.5	13.8	2.5
	女性	112	30.4	8.0	12.5	8.9	2.7
年齢別	60～64歳	29	20.7	10.3	24.1	6.9	6.9
	65～69歳	39	12.8	15.4	15.4	10.3	5.1
	70～74歳	51	13.7	2.0	7.8	13.7	2.0
	75～79歳	44	40.9	0.0	18.2	13.6	0.0
	80～84歳	21	47.6	4.8	14.3	4.8	0.0
	85～89歳	7	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0
	90歳以上	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

		文化・伝承活動	地域の自治活動	スポーツ・レクリエーション指導	地域・町内会など自治域で行われている活動	その他	無回答
全体		8.3	26.9	5.2	51.3	11.4	1.0
性別	男性	8.8	35.0	6.3	58.8	5.0	0.0
	女性	8.0	21.4	4.5	46.4	16.1	1.8
年齢別	60～64歳	3.4	24.1	6.9	41.4	17.2	0.0
	65～69歳	7.7	30.8	0.0	38.5	17.9	0.0
	70～74歳	9.8	21.6	5.9	52.9	11.8	2.0
	75～79歳	0.0	15.9	4.5	56.8	9.1	2.3
	80～84歳	28.6	42.9	14.3	61.9	0.0	0.0
	85～89歳	0.0	71.4	0.0	85.7	0.0	0.0
	90歳以上	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0

性別にみると、男性の方が女性より「地域の自治活動」の割合が高くなっている。一方、女性の方が男性より「高齢者を支援する活動」の割合が高くなっている。

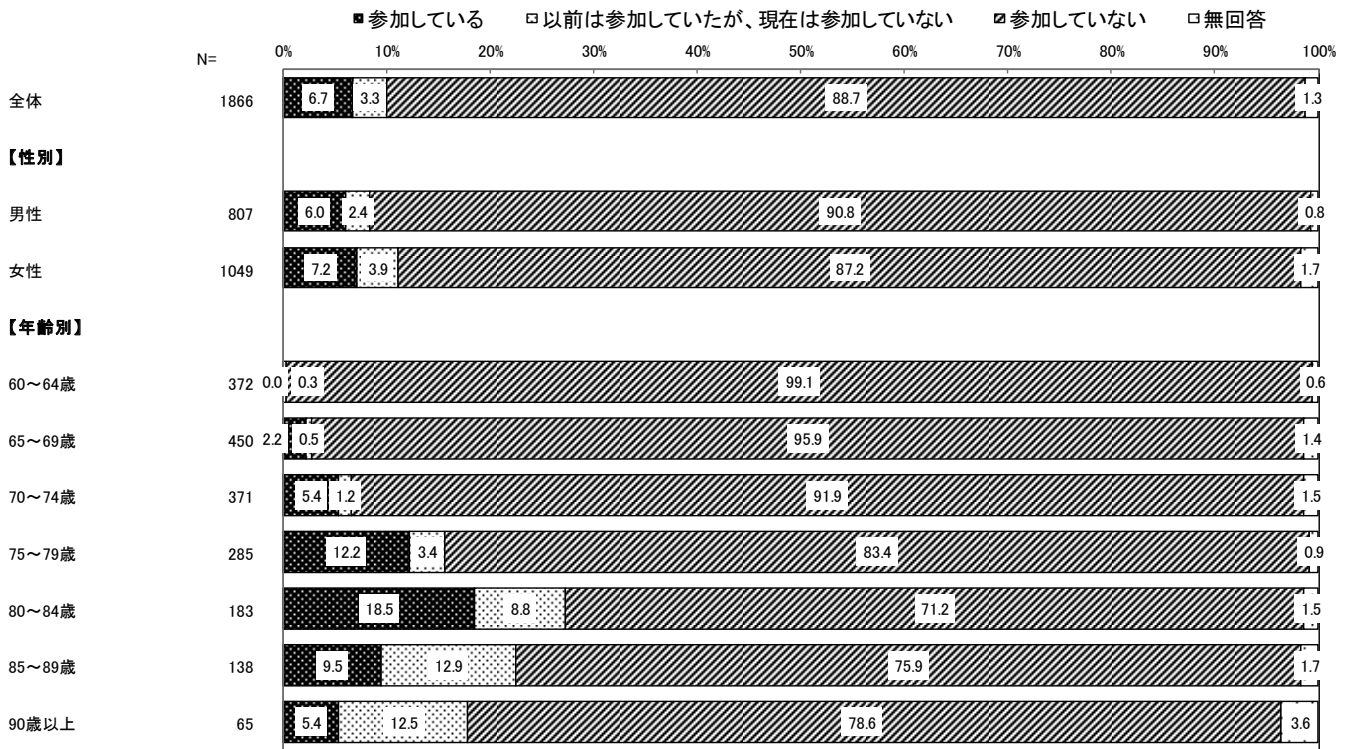
年齢別にみると、75～79歳、80～84歳では「高齢者を支援する活動」の割合が4割を超え、他と比べて高くなっている。

(3) 老人クラブ活動

①老人クラブ活動の有無

問 24 あなたは、老人クラブに参加していますか。(○は1つ)

【図表 2-16-1 老人クラブ活動の有無×性別・年齢別】



老人クラブ活動の有無は、「参加していない」が88.7%で最も高く、次いで、「参加している」が6.7%、「以前は参加していたが、現在は参加していない」が3.3%となっている。

性別にみると、男性の方が女性より「参加していない」の割合が高くなっている。

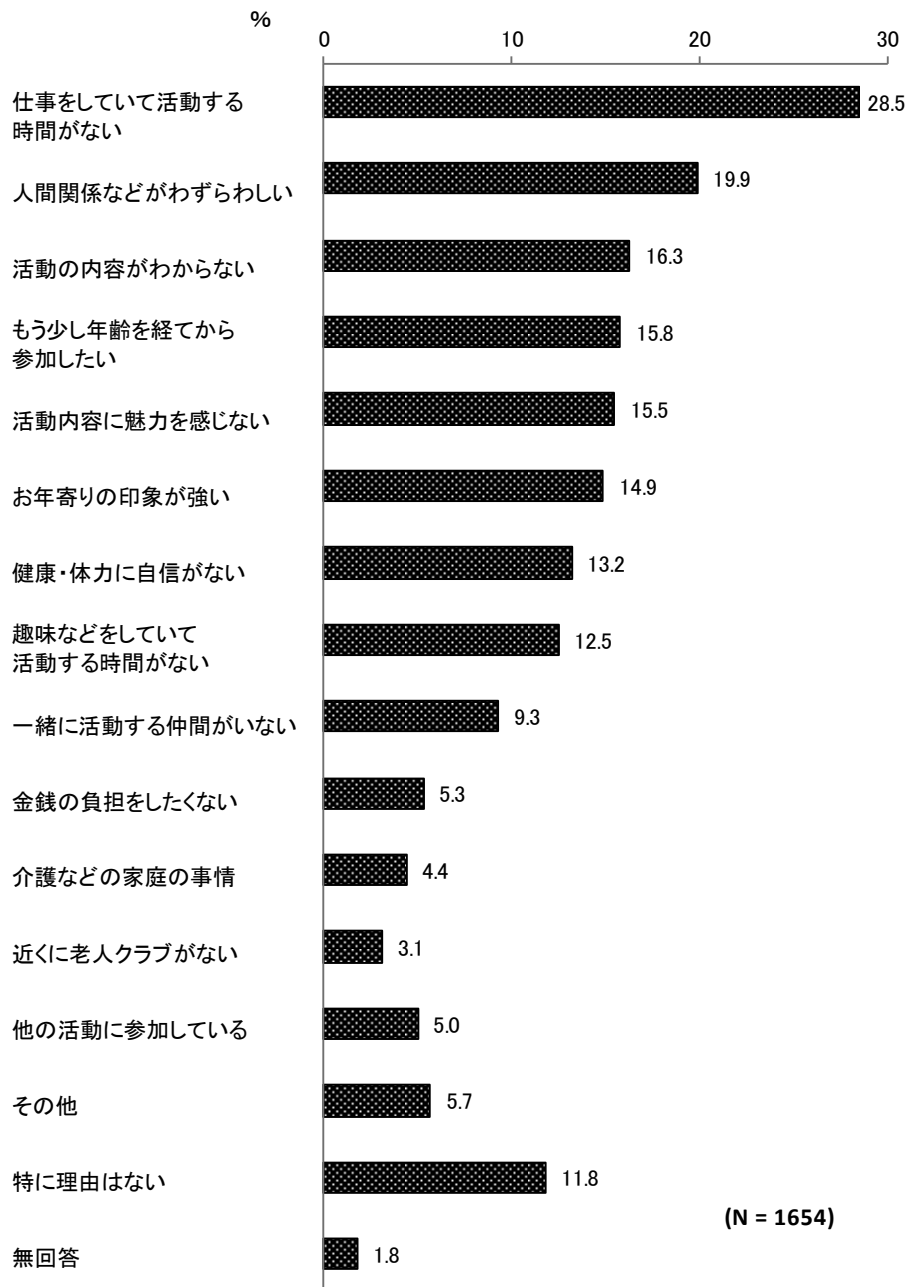
年齢別にみると、60～64歳、65～69歳、70～74歳では「参加していない」が9割を超え、他と比べて高い結果となっている。

②老人クラブ活動に参加していない理由

【問 24】で「2」か「3」と答えた方にうかがいます。

問 24-1 あなたが、老人クラブの活動に参加していない主な理由は何ですか。  
(〇はいくつでも)

【図表 2-16-2 老人クラブ活動に参加していない理由】



老人クラブ活動に参加していない理由は、「仕事をしていて活動する時間がない」が28.5%で最も高く、次いで「人間関係などがわずらわしい」が19.9%、「活動の内容がわからない」が16.3%となっている。

【図表 2-16-3 老人クラブ活動に参加していない理由×性別・年齢別】

		回答数	健康・体力に自信がない	介護などの家庭の事情	仕事をしていたり活動する時間がない	趣味などをしている時間がない	一緒に活動する仲間がいない	近くに老人クラブがない	活動の内容がわからない	活動内容に魅力を感じない
全体		1654	13.2	4.4	28.5	12.5	9.3	3.1	16.3	15.5
性別	男性	727	11.4	2.9	34.9	14.7	11.1	2.3	18.6	16.8
	女性	917	14.6	5.5	23.4	10.9	7.7	3.8	14.6	14.4
年齢別	60～64歳	325	3.1	2.5	48.6	8.6	4.9	0.3	16.3	8.6
	65～69歳	353	7.6	4.5	39.1	15.9	8.5	2.0	16.7	17.6
	70～74歳	377	11.7	3.7	28.1	12.7	9.8	2.4	19.9	20.7
	75～79歳	277	15.2	4.3	18.4	14.4	13.0	2.9	16.6	16.6
	80～84歳	164	22.0	7.3	7.9	14.6	7.3	7.9	11.0	14.6
	85～89歳	103	33.0	5.8	4.9	6.8	16.5	9.7	12.6	12.6
	90歳以上	51	47.1	7.8	2.0	7.8	7.8	7.8	11.8	5.9

		回答数	お年寄りの印象が強い	人間関係などがわずらわしい	金銭の負担をしたくない	もう少し年齢を経てもう少し参加したい	他の活動に参加している	その他	特に理由はない	無回答
全体		1654	14.9	19.9	5.3	15.8	5.0	5.7	11.8	1.8
性別	男性	727	16.6	22.0	5.8	17.1	4.4	3.7	9.6	1.4
	女性	917	13.6	18.3	4.9	14.6	5.3	7.3	13.6	2.1
年齢別	60～64歳	325	16.6	14.8	5.2	30.5	2.2	7.4	9.5	2.2
	65～69歳	353	20.1	19.0	5.1	24.6	3.7	4.5	13.3	1.4
	70～74歳	377	18.8	22.8	6.6	13.8	5.8	3.7	9.8	1.1
	75～79歳	277	10.8	23.1	5.1	6.9	7.9	2.9	12.3	2.2
	80～84歳	164	5.5	23.8	5.5	0.6	6.1	8.5	15.2	1.2
	85～89歳	103	9.7	17.5	3.9	1.0	3.9	9.7	13.6	3.9
	90歳以上	51	2.0	11.8	0.0	2.0	5.9	15.7	13.7	2.0

性別にみると、男性の方が女性より「仕事をしていたり活動する時間がない」の割合が高くなっている。

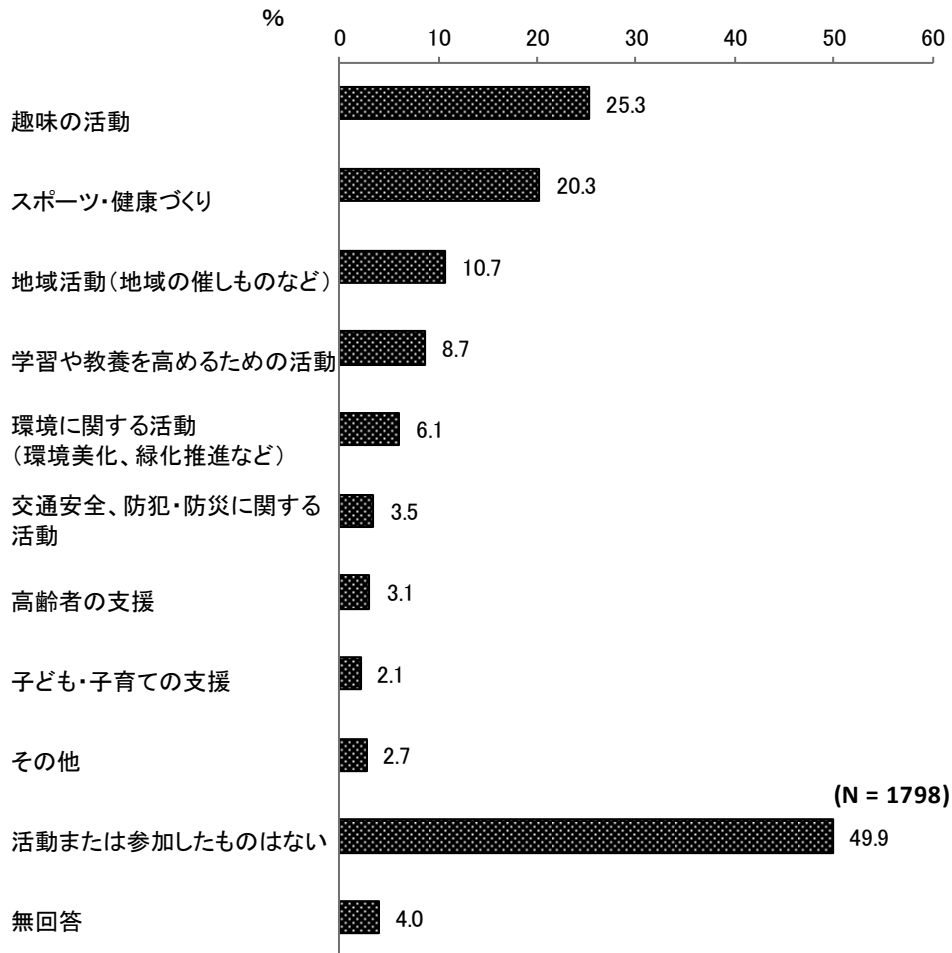
年齢別にみると、年齢が高くなるほど「健康・体力に自信がない」の割合が高くなる傾向がある。

(4) グループ活動への参加

①この1年間に参加したグループ活動

問 25 あなたは、この1年間に、友人とまたはグループや団体に次のような活動を行ったり、参加したりしましたか。(〇はいくつでも)

【図表 2-17-1 この1年間に参加したグループ活動】



この1年間に参加したグループ活動は、「活動または参加したものはなし」が49.9%で最も高く、次いで「趣味の活動」が25.3%、「スポーツ・健康づくり」が20.3%となっている。

【図表 2-17-2 この1年間に参加したグループ活動×性別・年齢別】

		回答数	趣味の活動	スポーツ・健康づく	学習や教養を高めるための活動	地域活動（地域の催しものなど）	高齢者の支援	子ども・子育ての支援	環境に関する活動（環境美化、緑化推進など）	交通安全、防犯・防災に関する活動	その他	活動または参加しなかった	無回答
全体		1798	25.3	20.3	8.7	10.7	3.1	2.1	6.1	3.5	2.7	49.9	4.0
性別	男性	780	25.1	22.8	5.6	11.0	2.1	1.3	8.3	5.5	2.2	49.6	3.2
	女性	1007	25.4	18.5	11.1	10.5	4.0	2.7	4.5	2.0	3.1	50.0	4.7
年齢別	60～64歳	327	26.6	21.4	11.0	6.7	2.4	3.7	6.1	3.7	0.3	50.5	1.8
	65～69歳	366	24.0	19.7	9.3	8.7	3.0	1.9	5.5	3.0	1.6	53.6	3.3
	70～74歳	405	24.2	19.3	8.1	11.1	1.7	2.2	7.4	3.5	3.7	49.1	4.0
	75～79歳	319	27.0	23.2	10.7	16.3	6.0	1.9	8.2	5.3	2.2	46.7	3.8
	80～84歳	205	32.7	23.9	5.4	15.1	3.9	2.0	3.4	2.9	5.4	39.5	6.8
	85～89歳	116	19.8	14.7	6.0	7.8	2.6	0.0	4.3	1.7	3.4	56.0	8.6
	90歳以上	56	8.9	7.1	1.8	1.8	0.0	0.0	3.6	1.8	7.1	69.6	3.6

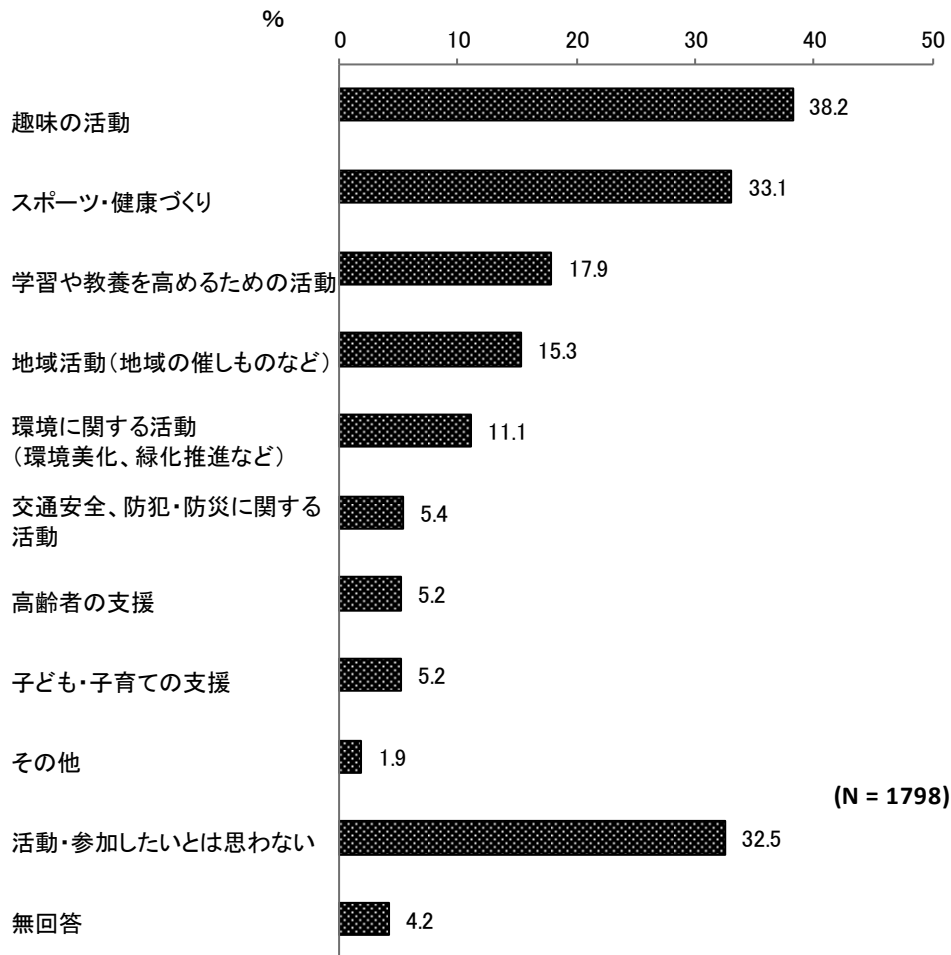
性別にみると、女性の方が男性より「学習や教養を高めるための活動」の割合が高くなっている。

年齢別にみると、90歳以上では「活動または参加したものはない」が69.6%であり、他の年代より高い結果となっている。

②今後参加したいグループ活動

問 26 あなたは、今後（今後も）、友人とまたはグループや団体で次のような活動を行ったり、参加したりしたいと思いますか。（○はいくつでも）

【図表 2-17-3 今後参加したいグループ活動】



今後参加したいグループ活動は、「趣味の活動」が 38.2%で最も高く、次いで「スポーツ・健康づくり」が 33.1%、「活動・参加したいとは思わない」が 32.5%となっている。

【図表 2-17-4 今後参加したいグループ活動×性別・年齢別】

													(%)
		回答数	趣味の活動	スポーツ・健康づく	学習や教養を高めるための活動	地域の活動など(地域の催し)	高齢者の支援	子ども・子育ての支援	環境に関する活動(進歩環境美化、緑化推進)	交通安全、防犯・防災に関する活動	その他	活動わ・参加したい	無回答
全体		1798	38.2	33.1	17.9	15.3	5.2	5.2	11.1	5.4	1.9	32.5	4.2
性別	男性	780	38.2	34.5	14.2	14.9	3.8	2.9	13.6	8.2	1.9	30.8	3.8
	女性	1007	38.1	32.3	20.6	15.7	6.3	6.8	9.3	3.3	2.0	33.9	4.5
年齢別	60～64歳	327	50.2	42.5	24.8	16.2	5.8	8.9	12.2	6.1	0.6	22.9	1.2
	65～69歳	366	37.7	38.8	19.1	12.8	5.2	9.0	9.6	4.4	2.5	33.3	2.7
	70～74歳	405	35.1	28.4	17.0	17.3	3.5	4.4	14.3	6.2	2.0	34.3	4.4
	75～79歳	319	37.3	33.2	18.8	17.9	6.6	2.8	11.3	6.9	0.6	32.0	3.4
	80～84歳	205	41.5	33.2	12.2	15.6	7.8	1.0	10.7	3.9	3.4	26.3	9.3
	85～89歳	116	25.0	18.1	9.5	12.1	1.7	0.9	5.2	4.3	3.4	49.1	8.6
	90歳以上	56	16.1	7.1	10.7	3.6	5.4	1.8	5.4	1.8	5.4	58.9	5.4

性別にみると、女性の方が男性より「学習や教養を高めるための活動」の割合が高く、問25と同じ傾向となっている。

年齢別にみると、60～64歳では「趣味の活動」が50.2%であり、他の年代より高くなっている。

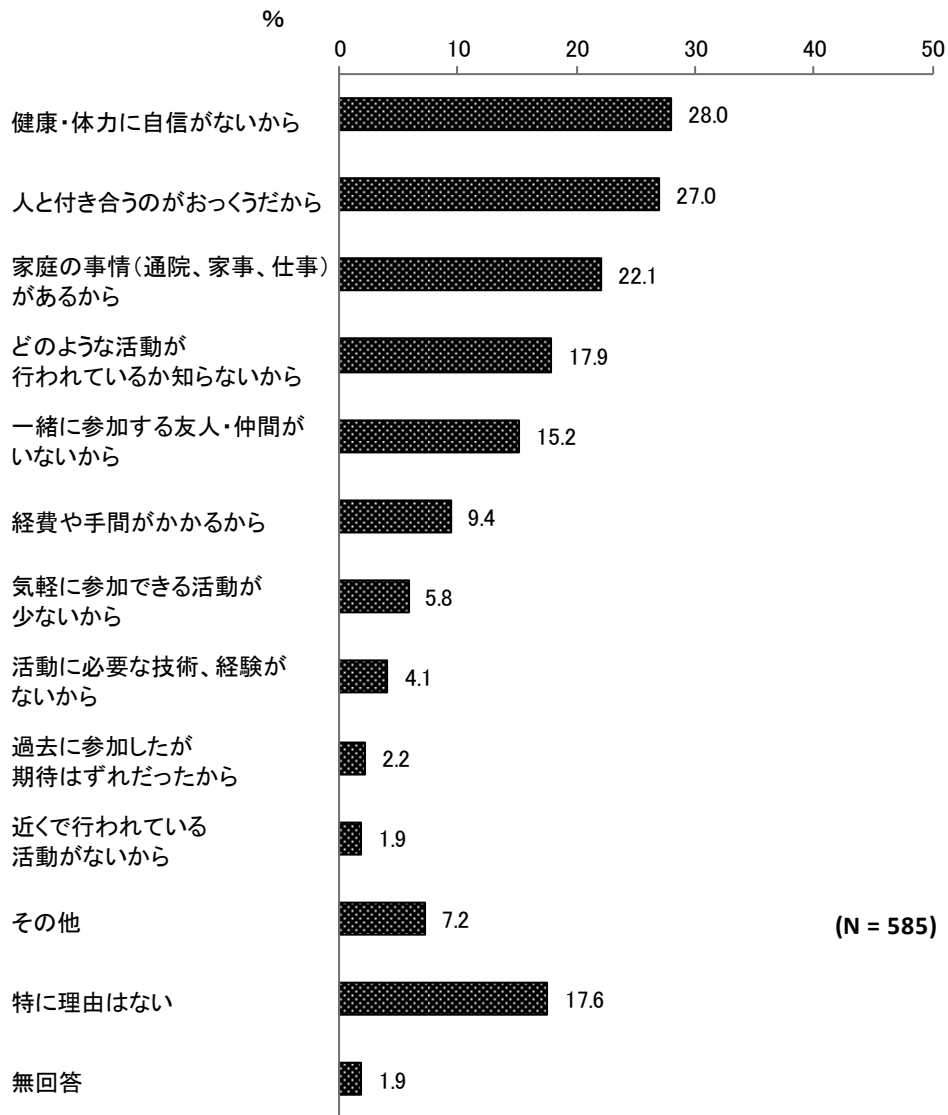
③グループ活動に参加したいと思わない理由

【問 26】で「10」と答えた方にうかがいます。

問 26-1 活動を行ったり、参加したりしたいと思わない理由は何ですか。

(〇はいくつでも)

【図表 2-17-5 グループ活動に参加したいと思わない理由】



グループ活動に参加したいと思わない理由は、「健康・体力に自信がないから」が 28.0%で最も高く、次いで「人と付き合うのがおっくうだから」が 27.0%、「家庭の事情（通院、家事、仕事）があるから」が 22.1%となっている。

【図表 2-17-6 グループ活動に参加したいと思わない理由×性別・年齢別】

		回答数	いわざかれのからてよいうなか活動知らがな行	か経ら費や手間がかかる	動気が少な参加からできる活	ら人・一緒に参加がする友か	経活動が必要なら技術、	か家庭の事情（通院、	活近くで行われないから	な健康・体力に自信が	待過は去れ参加したがから期	お人つく付き合うかからのが	その他	特に理由はない	無回答
全体		585	17.9	9.4	5.8	15.2	4.1	22.1	1.9	28.0	2.2	27.0	7.2	17.6	1.9
性別	男性	240	17.5	10.4	7.1	14.6	5.0	20.0	4.2	22.1	2.5	30.0	7.5	19.2	0.8
	女性	341	18.5	8.8	5.0	15.8	3.5	23.5	0.3	32.0	2.1	24.6	7.0	16.4	2.6
年齢別	60～64歳	75	20.0	14.7	5.3	10.7	5.3	36.0	0.0	16.0	1.3	29.3	6.7	18.7	2.7
	65～69歳	122	26.2	8.2	5.7	12.3	4.9	32.8	0.8	18.0	1.6	29.5	6.6	15.6	0.0
	70～74歳	139	20.9	13.7	8.6	16.5	5.8	21.6	1.4	25.9	2.2	31.7	7.2	18.0	0.7
	75～79歳	102	14.7	9.8	5.9	21.6	2.9	15.7	2.9	24.5	2.9	29.4	2.0	20.6	3.9
	80～84歳	54	13.0	3.7	3.7	13.0	0.0	11.1	3.7	35.2	3.7	18.5	5.6	24.1	3.7
	85～89歳	57	10.5	5.3	3.5	19.3	0.0	12.3	5.3	49.1	3.5	17.5	12.3	12.3	0.0
90歳以上	33	3.0	0.0	3.0	9.1	9.1	6.1	0.0	60.6	0.0	12.1	21.2	12.1	6.1	

性別にみると、女性の方が男性より「健康・体力に自信がないから」の割合が高くなっている。

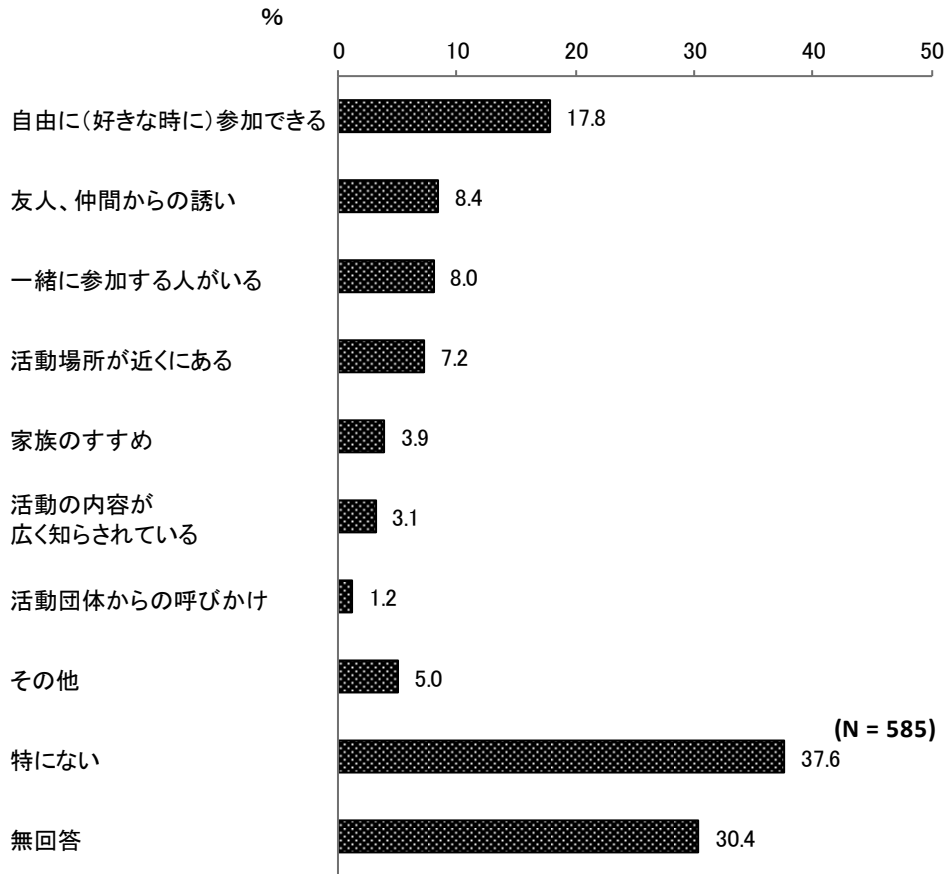
年齢別にみると、年齢が高くなるほど「健康・体力に自信がないから」の割合が高くなる傾向がある。

④グループ活動に参加したいと思うきっかけ

【問 26】で「10」と答えた方にうかがいます。

問 26-2 あなたは、どのようなきっかけや働きかけがあれば、活動を行ったり、参加したりすると思いますか。(〇はいくつでも)

【図表 2-17-7 グループ活動に参加したいと思うきっかけ】



グループ活動に参加したいと思うきっかけは、「特にない」を除くと、「自由に(好きな時に)参加できる」が17.8%で最も高く、次いで「友人、仲間からの誘い」が8.4%、「一緒に参加する人がいる」が8.0%となっている。

【図表 2-17-8 グループ活動に参加したいと思うきっかけ×性別・年齢別】

												(%)
		回答数	い友人、仲間からの誘	家族のすすめ	か活動団体からの呼び	い一緒に参加する人が	ら活動の内容が広く知	る活動場所が近くにあ	に自由に(好きな時に)参加できる	その他	特にな	無回答
全体		585	8.4	3.9	1.2	8.0	3.1	7.2	17.8	5.0	37.6	30.4
性別	男性	240	7.9	5.8	1.3	4.2	3.3	4.6	14.2	3.8	48.8	27.1
	女性	341	8.8	2.6	1.2	10.9	2.9	9.1	20.5	5.9	29.9	32.3
年齢別	60～64歳	75	8.0	6.7	1.3	12.0	5.3	9.3	26.7	4.0	38.7	26.7
	65～69歳	122	12.3	6.6	2.5	9.0	4.1	6.6	25.4	4.9	30.3	31.1
	70～74歳	139	8.6	2.9	0.7	5.8	3.6	7.9	19.4	3.6	39.6	30.2
	75～79歳	102	9.8	1.0	1.0	7.8	2.0	5.9	14.7	2.0	43.1	26.5
	80～84歳	54	3.7	5.6	0.0	5.6	1.9	3.7	5.6	7.4	37.0	35.2
	85～89歳	57	5.3	1.8	1.8	8.8	0.0	7.0	12.3	8.8	42.1	28.1
	90歳以上	33	3.0	3.0	0.0	9.1	3.0	12.1	3.0	12.1	30.3	42.4

性別にみると、女性の方が男性より「自由に（好きな時に）参加できる」「一緒に参加する人がいる」の割合が高くなっている。

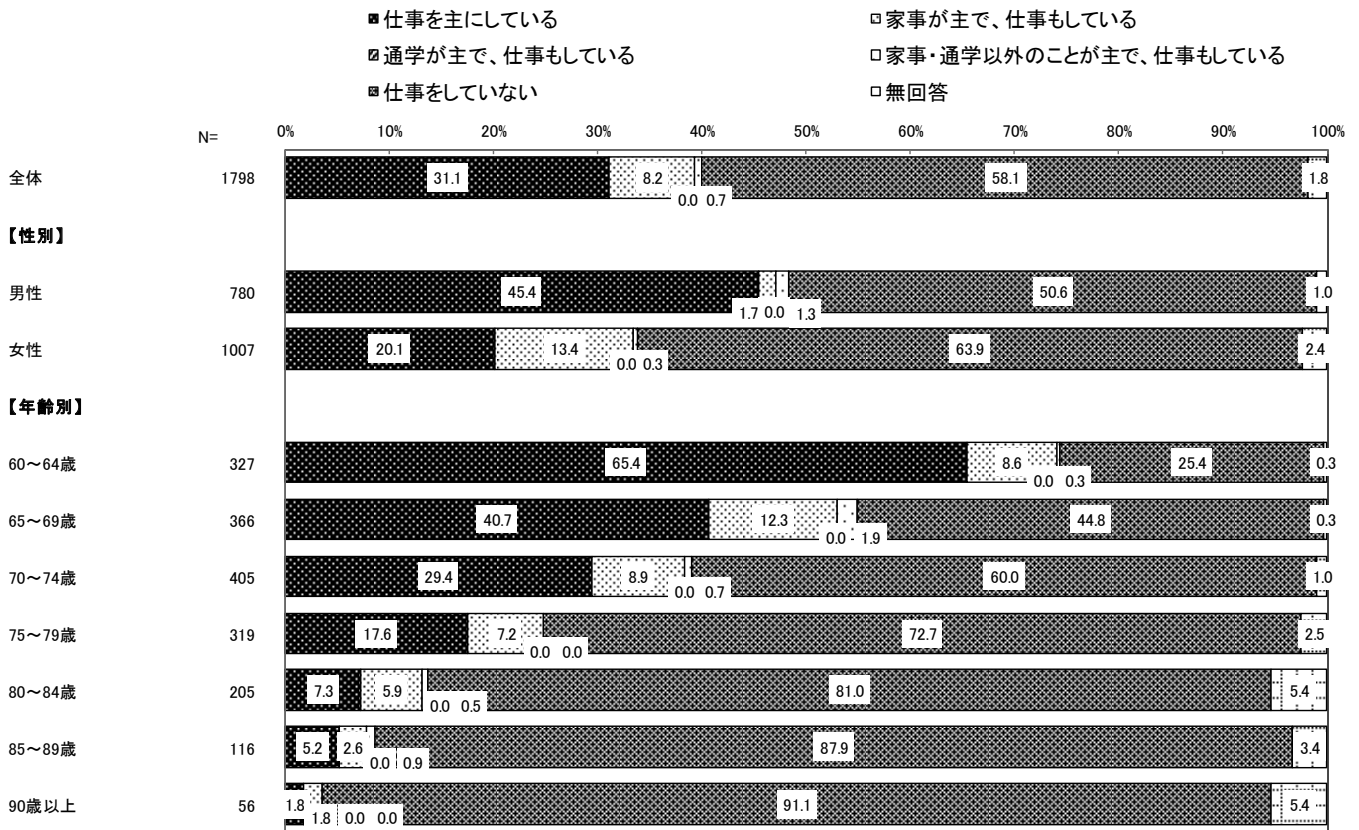
年齢別にみると、80～84歳、90歳以上では「自由に（好きな時に）参加できる」の割合が他に比べて低くなっている。

(5) 仕事

①日々の過ごし方

問 27 あなたは、ふだん何か収入になる仕事をしていますか。(○は1つ)

【図表 2-18-1 日々の過ごし方×性別・年齢別】



日々の過ごし方は、「仕事をしていない」が58.1%で最も高く、次いで「仕事を主にしている」が31.1%となっている。

性別にみると、男性の方が女性より「仕事を主にしている」の割合が高くなっている。一方、女性の方が男性より「家事が主で、仕事もしている」の割合が高くなっている。

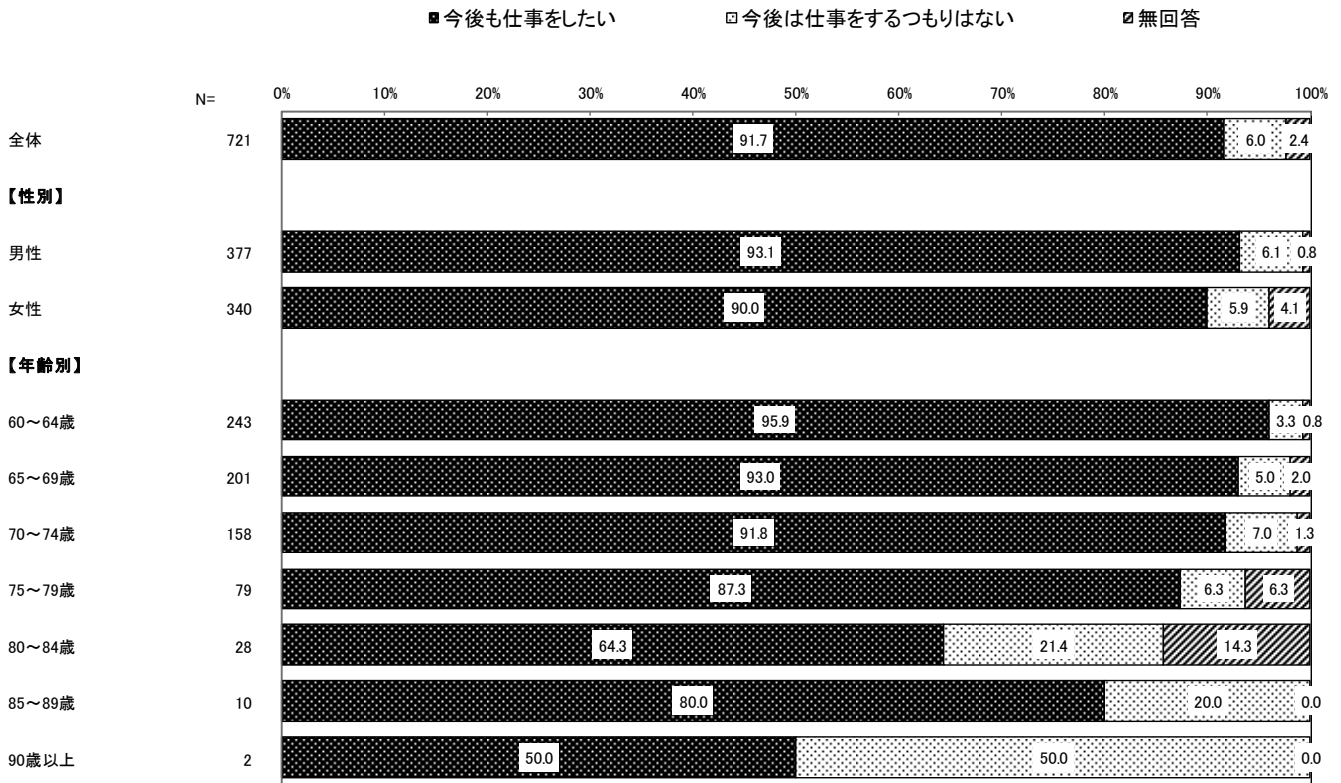
年齢別にみると、年齢が低くなるほど「仕事を主にしている」の割合が高くなる傾向があり、60～64歳では65.4%となっている。

②仕事を継続することの意向

【問 27】で「1」～「4」と答えた方にかがいます。

問 27-1 あなたは、今後も仕事をしたいと思いませんか。(○は1つ)

【図表 2-18-2 仕事を継続することの意向×性別・年齢別】



仕事を継続することの意向は、「今後も仕事をしたい」が91.7%、「今後は仕事をするつもりはない」が6.0%となっている。

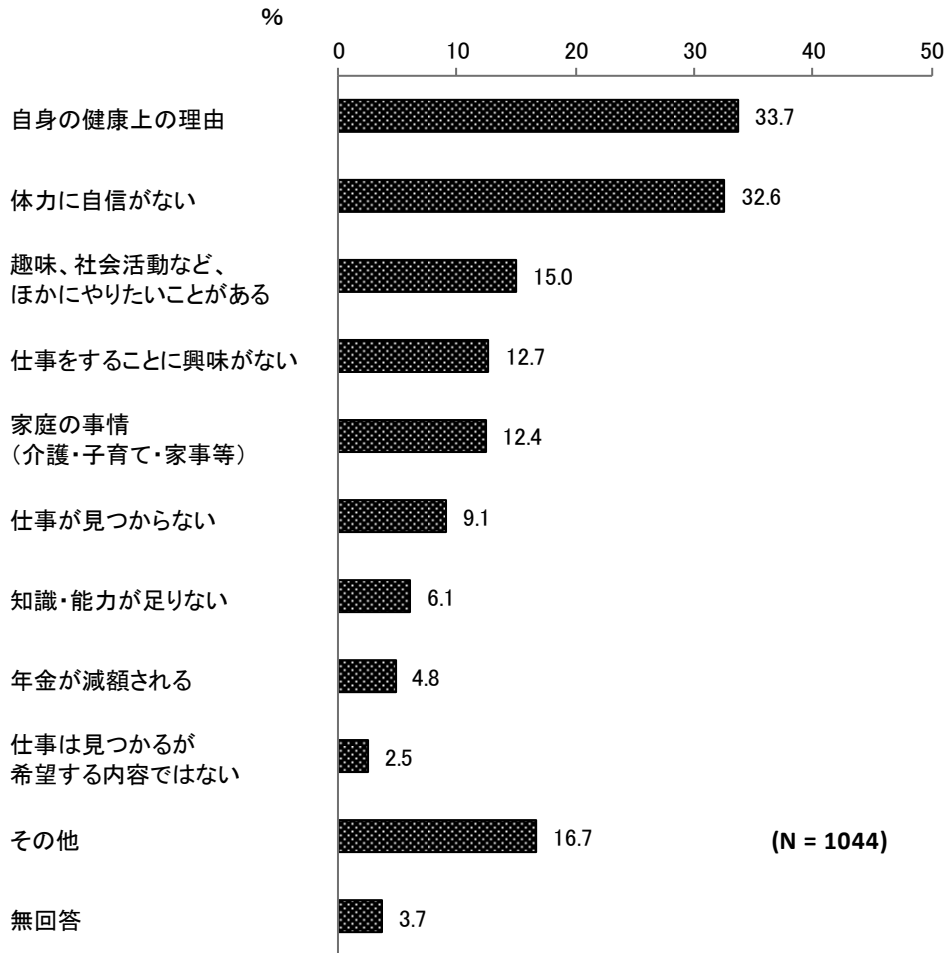
年齢別にみると、年齢が低い人ほど「今後も仕事をしたい」の割合が概ね高くなっている。なお、全ての年齢で「今後も仕事をしたい」の割合が5割を超えている。

③仕事をしていない理由

【問 27】で「5」と答えた方にうかがいます。

問 27-2 仕事をしていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【図表 2-18-3 仕事をしていない理由】



仕事をしていない理由は、「自身の健康上の理由」が 33.7%で最も高く、次いで「体力に自信がない」が 32.6%となっている。

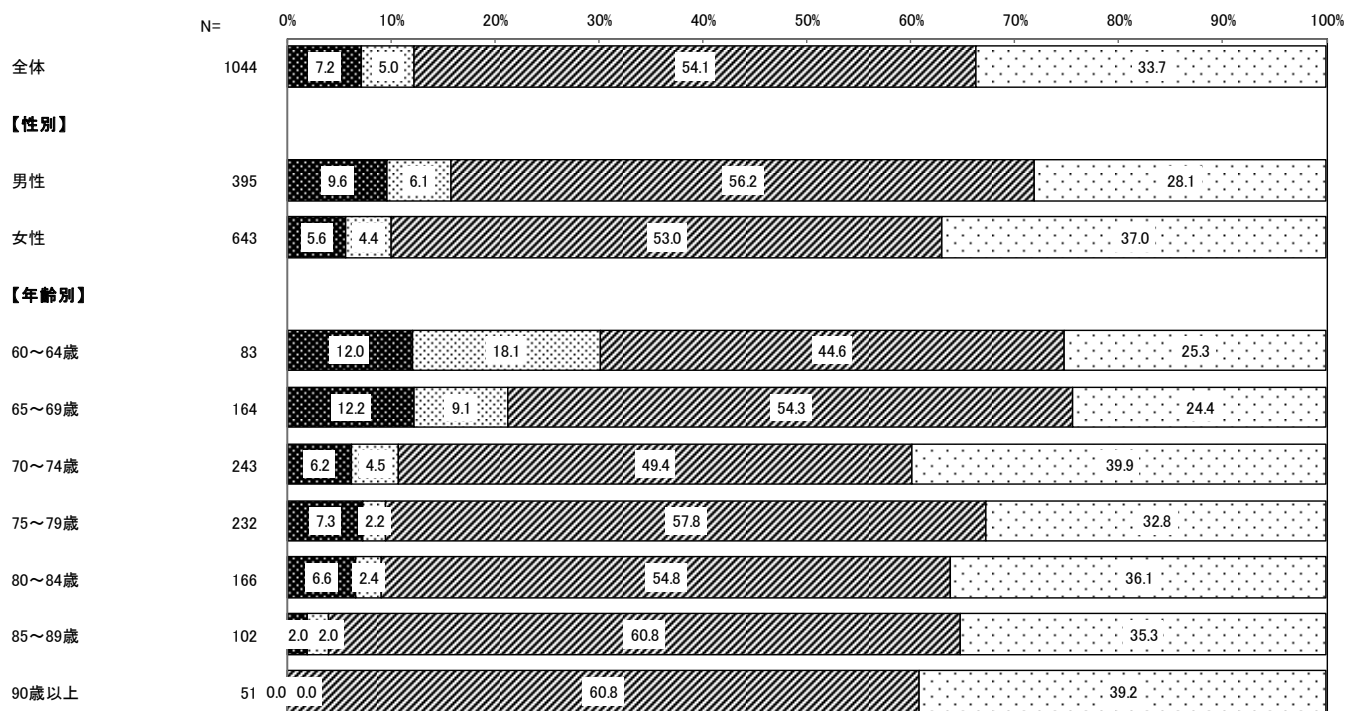
## ④仕事をする事への意向

【問27】で「5」と答えた方にかがいます。

問27-3 あなたは、今後、仕事をしたいと思いませんか。(〇は1つ)

【図表2-18-4 仕事をする事への意向×性別・年齢別】

■ 今後は仕事をしたい □ 今後は仕事をしたいが、今はできない ▨ 今後も仕事をするつもりはない □ 無回答



仕事をしていない人の仕事をする事への意向は、「今後も仕事をするつもりはない」が54.1%で最も高く、次いで「今後は仕事をしたい」が7.2%、「今後は仕事をしたいが、今はできない」が5.0%となっている。

年齢別にみると、60～64歳、65～69歳では「今後は仕事をしたい」が1割を超え、他の年代より高くなっている。

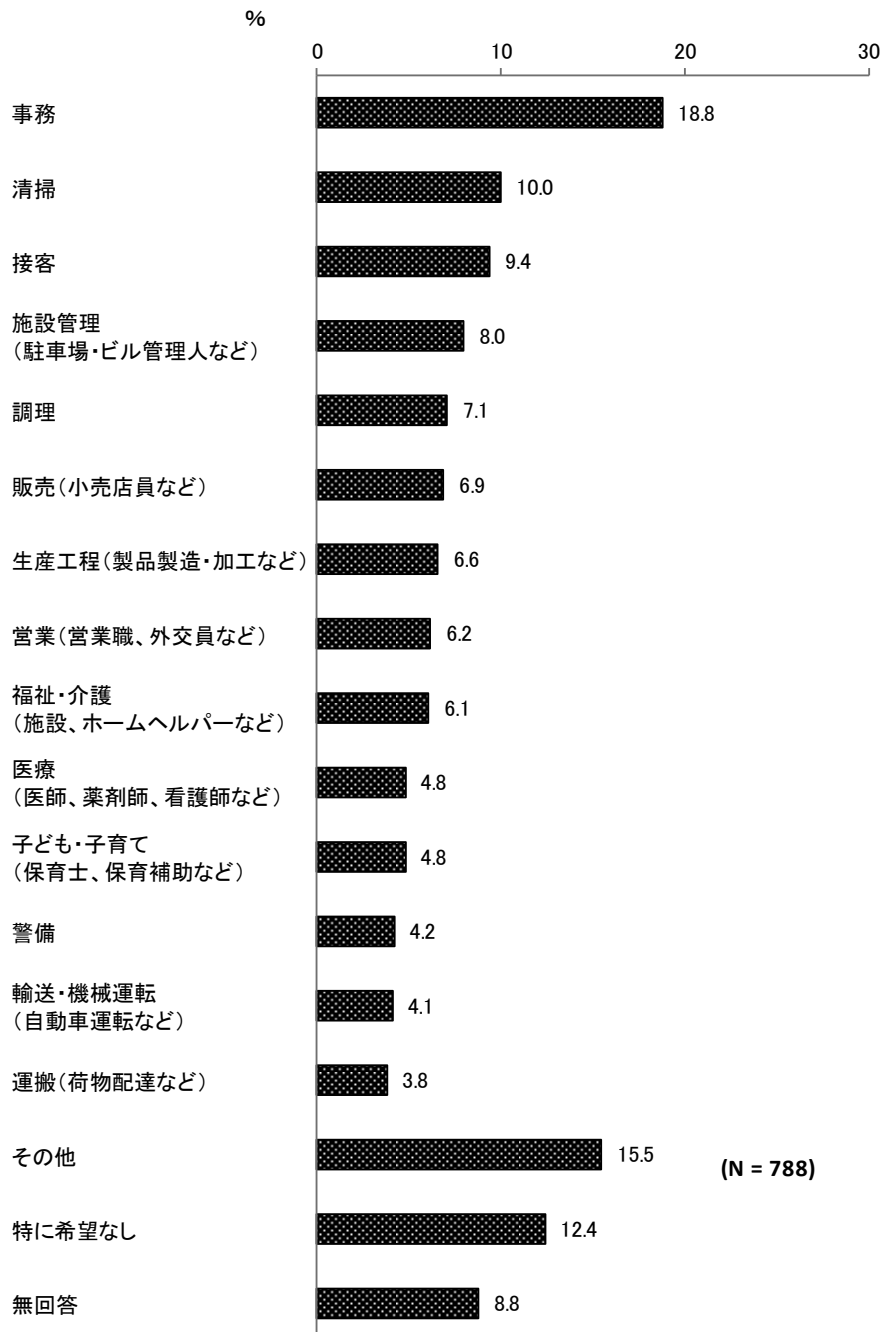
⑤希望する仕事内容

【問 27-1】で「1」と答えた方にうかがいます。

【問 27-3】で「1」か「2」と答えた方にうかがいます。

問 27-4 今後、どのような内容の仕事我希望しますか。(〇はいくつでも)

【図表 2-18-5 希望する仕事内容】



希望する仕事内容は、「事務」が 18.8%で最も高く、次いで「清掃」が 10.0%となっている。また、「特に希望なし」が 12.4%となっている。

【図表 2-18-6 希望する仕事内容×性別・年齢別】

		回答数	事務	営業 員など (営業職、 外交)	販売 ど (小売店員 な)	接客	調理	清掃	警備	生産 加工 工程 など (製品製 造)	施設 管理 人など (駐車 場・ ビル)
全体		788	18.8	6.2	6.9	9.4	7.1	10.0	4.2	6.6	8.0
性別	男性	413	16.7	9.2	3.1	4.8	2.9	8.7	7.7	8.0	13.1
	女性	370	20.5	3.0	11.1	14.6	11.6	11.6	0.3	5.1	2.4
年齢別	60～64歳	258	27.5	7.0	5.8	11.2	4.3	7.8	3.9	8.1	9.7
	65～69歳	222	17.6	5.0	10.4	10.4	8.1	11.3	4.1	6.8	8.1
	70～74歳	171	15.2	7.0	5.8	7.0	9.9	10.5	3.5	5.8	5.8
	75～79歳	91	5.5	6.6	4.4	7.7	7.7	11.0	6.6	6.6	9.9
	80～84歳	33	18.2	3.0	3.0	3.0	3.0	18.2	6.1	0.0	3.0
	85～89歳	12	8.3	8.3	8.3	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	90歳以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

		回答数	福祉 施設 ヘル パー など	医療 師、 看護 師な ど(薬 剤)	子 ども ・保 育 補 助 な ど	輸 送・ 機 械 運 転 (自 動車 など)	運 搬 (荷 物 配 達 な ど)	その他	特に 希望 なし	無 回 答
全体		788	6.1	4.8	4.8	4.1	3.8	15.5	12.4	8.8
性別	男性	413	2.2	3.4	1.2	7.7	6.8	18.2	14.3	8.0
	女性	370	10.3	6.5	8.4	0.0	0.5	12.7	10.5	9.5
年齢別	60～64歳	258	9.3	6.6	6.2	3.5	4.7	14.3	11.2	4.3
	65～69歳	222	8.6	5.4	7.7	4.5	3.6	14.9	13.1	7.7
	70～74歳	171	1.2	1.8	1.8	4.1	2.9	17.0	12.9	11.7
	75～79歳	91	2.2	4.4	1.1	5.5	2.2	15.4	9.9	16.5
	80～84歳	33	3.0	6.1	3.0	3.0	9.1	15.2	18.2	15.2
	85～89歳	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	25.0	0.0
	90歳以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

性別にみると、男性の方が女性より「施設管理（駐車場・ビル管理人など）」の割合が高くなっている。一方、女性の方が男性より「接客」「調理」の割合が高くなっている。

年齢別にみると、60～64歳では「事務」が27.5%であり、他の年代より高い結果となった。

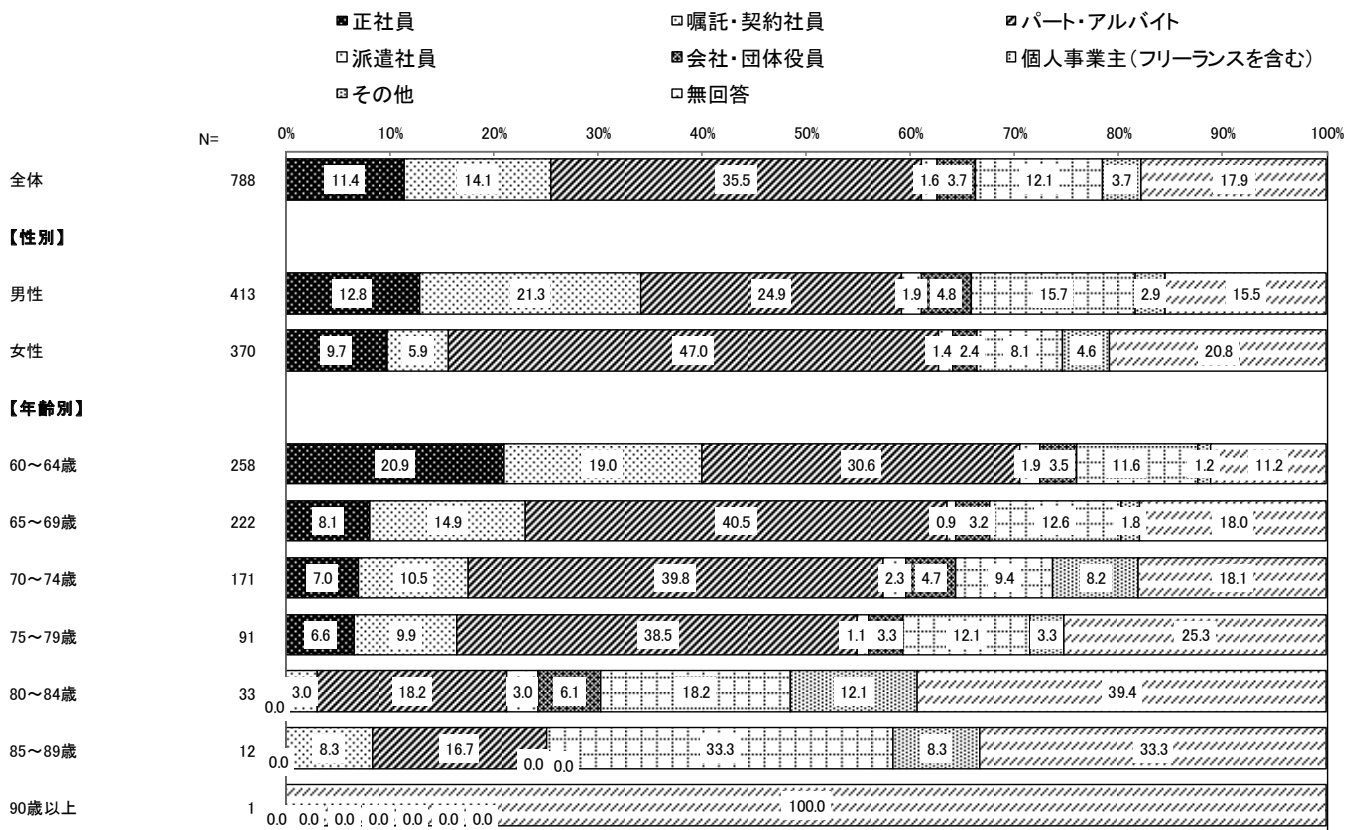
⑥希望する就労形態

【問 27-1】で「1」と答えた方にうかがいます。

【問 27-3】で「1」か「2」と答えた方にうかがいます。

問 27-5 今後、どのような就労形態で仕事をしたいと思いますか。(○は1つ)

【図表 2-18-7 希望する就労形態×性別・年齢別】



希望する就労形態は、「パート・アルバイト」が35.5%で最も高く、次いで「嘱託・契約社員」が14.1%、「個人事業主（フリーランスを含む）」が12.1%となっている。

性別にみると、男性は女性より「嘱託・契約社員」の割合が高くなっているのに対し、女性は男性より「パート・アルバイト」の割合が高くなっている。

年齢別にみると、60～64歳では「正社員」が20.9%で、他の年代より高い割合となっている。

## ⑦仕事をしたい頻度

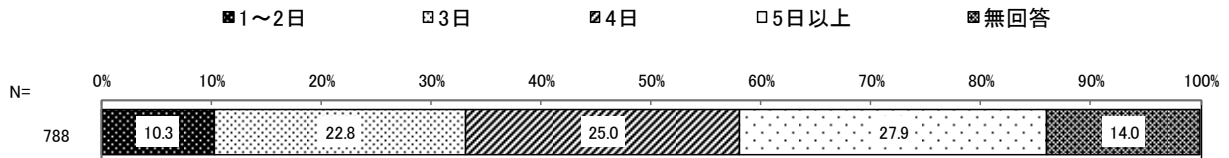
【問27-1】で「1」と答えた方にうかがいます。

【問27-3】で「1」か「2」と答えた方にうかがいます。

問27-6 今後、どれくらいの頻度で仕事をしたいと思いますか。

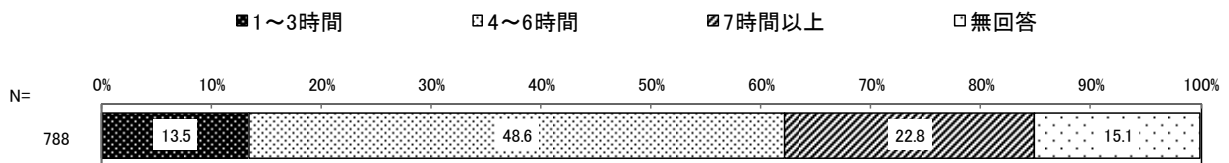
(①・②それぞれ○は1つ)

【図表 2-18-8 仕事をしたい頻度/一週間に】



一週間に仕事をしたい頻度は、「5日以上」が27.9%で最も高く、次いで「4日」が25.0%となっている。

【図表 2-18-9 仕事をしたい頻度/一日に】



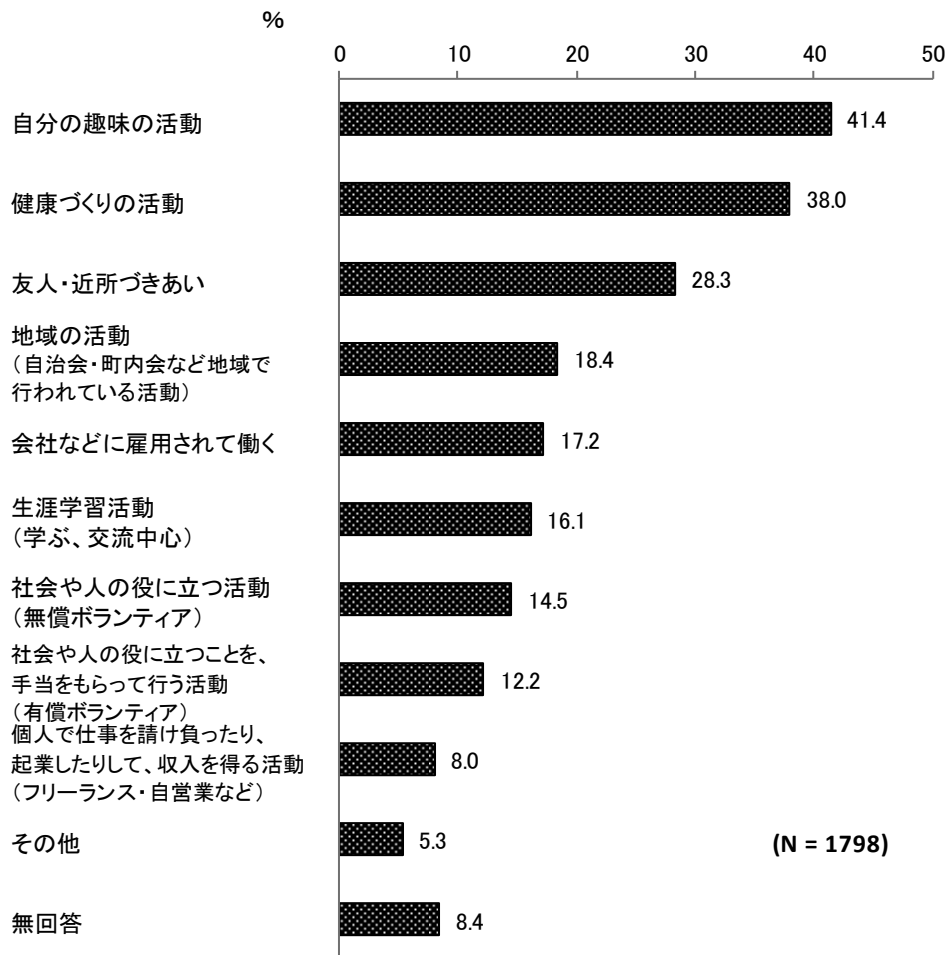
一日に仕事をしたい時間は、「4～6時間」が48.6%で最も高く、次いで「7時間以上」が22.8%となっている。

(6) 社会参加

① 社会参加したい活動

問 28 さまざまな活動についてお尋ねしてきましたが、今後（今後も）、あなたが社会参加を行うとすれば、どのような活動をしたと思いますか。（〇はいくつでも）

【図表 2-19-1 社会参加したい活動】



社会参加したい活動は、「自分の趣味の活動」が 41.4%で最も高く、次いで「健康づくりの活動」が 38.0%、「友人・近所づきあい」が 28.3%となっている。

【図表 2-19-2 社会参加したい活動×性別・年齢別】

		回答数	地域・町内会活動など自治会活動	地域活動（無償ボランティア）	社会や人の役に立つこと（有償ボランティア）	会社などに雇用されて働く	個人で仕事を請け負ったり、起業したりして、収入を得る（フリーランス・自営業など）	自分の趣味の活動	健康づくりの活動	生涯学習活動（学	友人・近所づきあい	その他	無回答
全体		1798	18.4	14.5	12.2	17.2	8.0	41.4	38.0	16.1	28.3	5.3	8.4
性別	男性	780	21.3	15.0	13.3	22.4	12.6	44.4	38.6	13.3	17.3	5.1	6.3
	女性	1007	16.2	13.9	11.3	13.2	4.4	39.3	37.8	18.3	36.9	5.6	9.8
年齢別	60～64歳	327	16.8	14.7	20.8	43.4	15.9	50.5	38.5	18.3	29.7	3.1	1.2
	65～69歳	366	19.9	19.4	20.2	26.0	12.3	47.3	39.1	21.0	28.4	3.6	1.6
	70～74歳	405	22.2	15.3	9.4	10.1	5.9	40.2	39.5	15.1	24.0	3.7	9.6
	75～79歳	319	20.1	12.9	6.6	7.8	4.7	38.2	40.1	15.4	32.6	4.4	8.5
	80～84歳	205	16.6	11.2	7.8	2.4	2.4	38.5	40.0	13.7	29.8	7.3	17.6
	85～89歳	116	8.6	9.5	1.7	1.7	1.7	25.0	29.3	7.8	25.0	14.7	23.3
	90歳以上	56	7.1	7.1	1.8	0.0	0.0	21.4	17.9	10.7	28.6	21.4	17.9

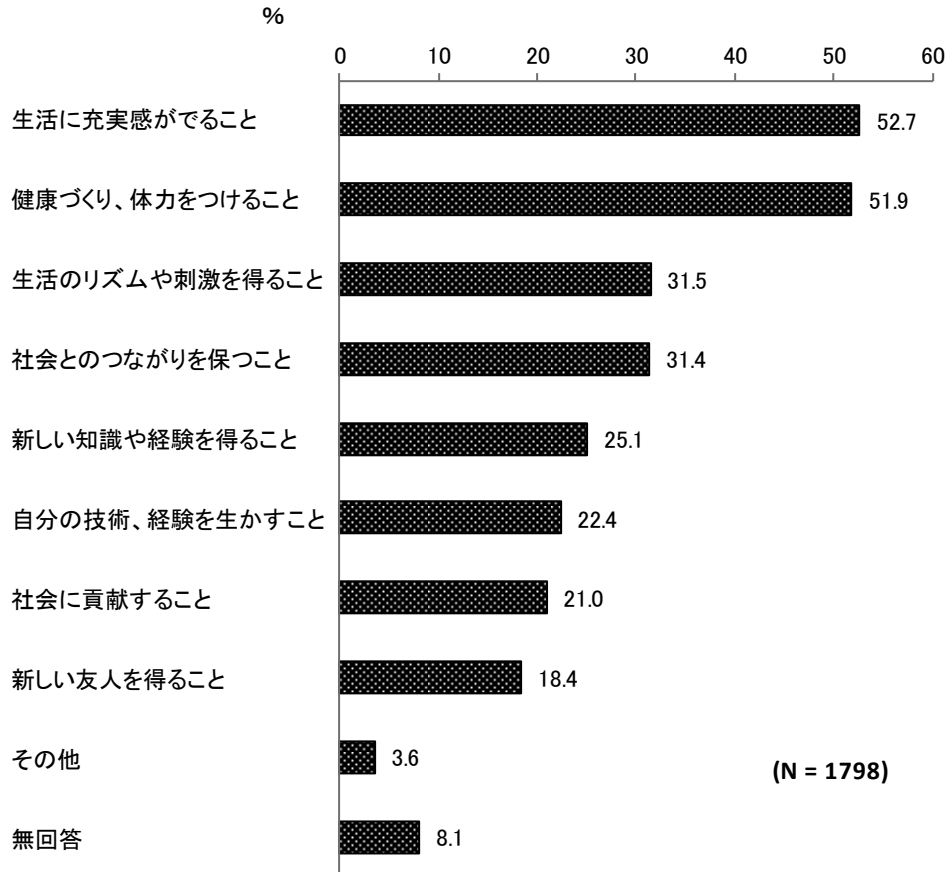
性別にみると、男性の方が女性より「会社などに雇用されて働く」の割合が高くなっている。一方、女性の方が男性より「友人・近所づきあい」の割合が高くなっている。

年齢別にみると、年齢が低い人ほど「社会や人の役に立つことを、手当をもらって行う活動（有償ボランティア）」「会社などに雇用されて働く」「個人で仕事を請け負ったり、起業したりして、収入を得る活動（フリーランス・自営業など）」の割合が高い結果となっている。

②社会参加を行う際に期待すること

問 29 今後（今後も）、あなたが社会参加を行うとする場合、どのようなことを期待しますか。（〇はいくつでも）

【図表 2-19-3 社会参加を行う際に期待すること】



社会参加を行う際に期待することは、「生活に充実感がでること」が 52.7%で最も高く、次いで「健康づくり、体力をつけること」が 51.9%、「生活のリズムや刺激を得ること」が 31.5%、「社会とのつながりを保つこと」が 31.4%となっている。

【図表 2-19-4 社会参加を行う際に期待すること×性別・年齢別】

		回答数	こ生活に充実感がでる	自分の技術、経験を生かすこと	新しい友人を得ること	新しい知識や経験を	健康づくり、体力をつけること	社会に貢献すること	社会とのつながりを保つこと	生活のリズムや刺激を得ること	その他	無回答
全体		1798	52.7	22.4	18.4	25.1	51.9	21.0	31.4	31.5	3.6	8.1
性別	男性	780	51.3	28.3	19.0	22.1	53.1	25.3	30.1	27.6	3.7	6.7
	女性	1007	53.9	17.7	17.8	27.4	51.2	17.7	32.5	34.7	3.5	8.9
年齢別	60～64歳	327	68.8	37.3	22.6	35.2	51.1	29.4	42.2	34.6	2.4	0.9
	65～69歳	366	61.2	29.5	19.1	35.0	54.4	28.7	35.5	39.6	3.0	0.8
	70～74歳	405	52.8	19.8	15.8	22.0	50.9	18.8	29.9	32.6	1.7	9.1
	75～79歳	319	48.3	16.0	21.9	21.0	60.2	15.0	29.8	27.9	3.4	8.5
	80～84歳	205	39.0	14.1	14.6	18.0	48.3	17.1	24.4	27.3	3.9	17.6
	85～89歳	116	31.0	7.8	14.7	9.5	44.0	11.2	18.1	19.0	10.3	21.6
	90歳以上	56	25.0	5.4	8.9	7.1	32.1	7.1	16.1	16.1	12.5	21.4

性別にみると、男性の方が女性より「自分の技術、経験を生かすこと」の割合が高くなっている。

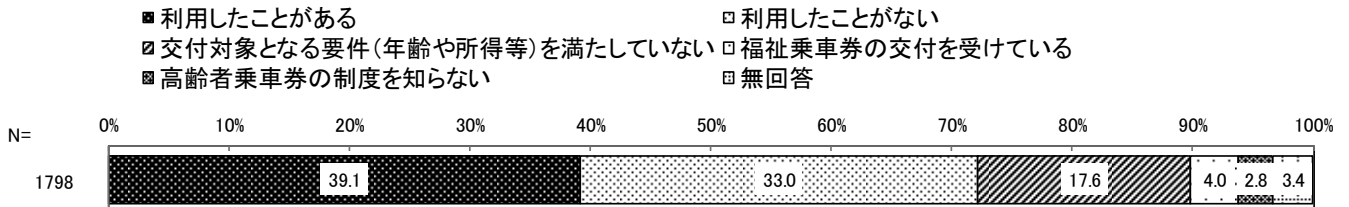
年齢別にみると、75～79歳では「健康づくり、体力をつけること」が60.2%で、他の年代より高い結果となった。

(7) 高齢者乗車券

① 高齢者乗車券の利用有無

問 30 高齢者乗車券を利用したことがありますか。(○は1つ)

【図表 2-20-1 高齢者乗車券の利用有無】



高齢者乗車券の利用有無は、「利用したことがある」が 39.1%で最も高く、次いで「利用したことがない」が 33.0%となっている。

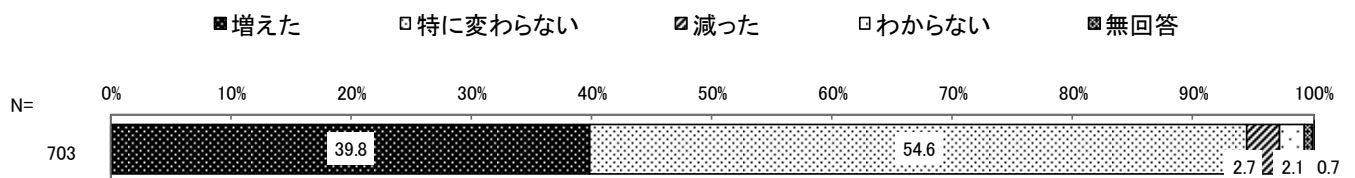
② 高齢者乗車券による外出への影響

【問 30】で「1」と答えた方にかがいます。

問 30-1 高齢者乗車券を利用するようになって、外出する機会は増えましたか。

(○は1つ)

【図表 2-20-2 高齢者乗車券による外出への影響】



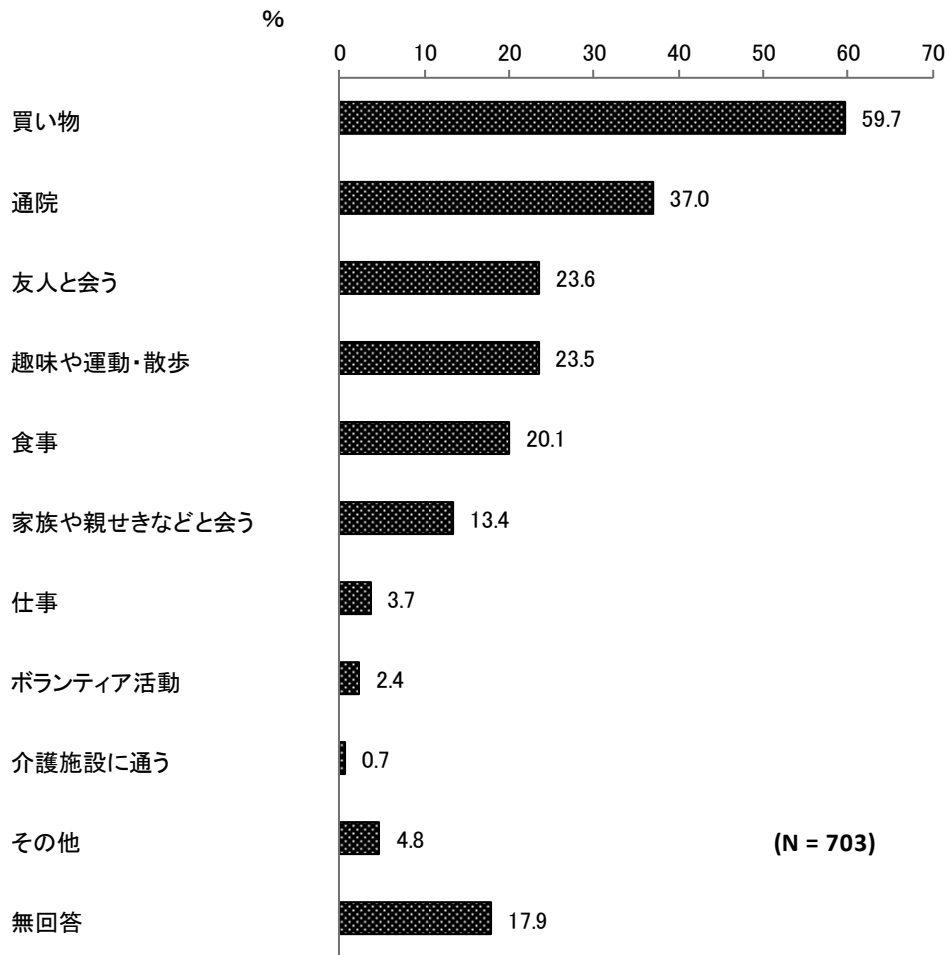
高齢者乗車券による外出への影響は、「特に変わらない」が 54.6%、「増えた」が 39.8%となっている。

## ③高齢者乗車券による外出の目的

【問30】で「1」と答えた方にうかがいます。

問30-2 高齢者乗車券を利用した、外出の目的はなんですか。(主なものを3つまで)

【図表 2-20-3 高齢者乗車券による外出の目的】

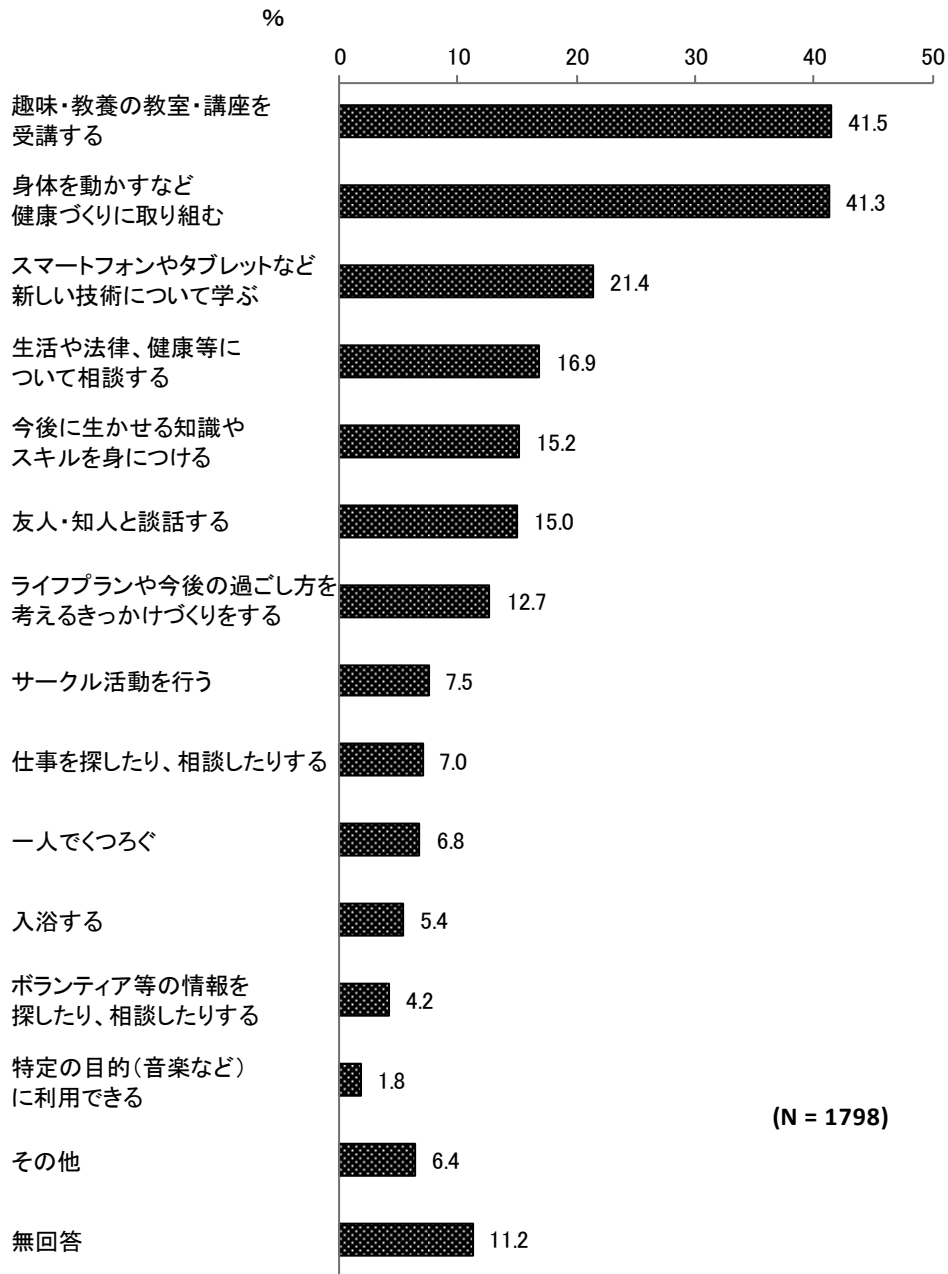


高齢者乗車券による外出の目的は、「買い物」が 59.7%で最も高く、次いで「通院」が 37.0%、「友人と会う」が 23.6%、「趣味や運動・散歩」が 23.5%となっている。

(8) 老人福祉センター

問 31 市は、各区に1か所老人福祉センターを設置しています。この老人福祉センターが皆様にとってよりよい施設であるために、どのような場として活用できるとよいと思いますか。(〇は3つまで)

【図表 2-21-1 老人福祉センターの活用希望】



老人福祉センターの活用希望は、「趣味・教養の教室・講座を受講する」が41.5%で最も高く、次いで「身体を動かすなど健康づくりに取り組む」が41.3%、「スマートフォンやタブレットなど新しい技術について学ぶ」が21.4%となっている。

【図表 2-21-2 老人福祉センターの活用希望×性別・年齢別】

		回答数	講 座 を 受 講 す る	ブ レ ッ ト フ ォ ン の 新 し い タ ク ニ 関 心 す る	ラ イ フ ブ ラ ン キ ン グ を 考 え る	今 後 に 身 を か せ る 知 識	今 後 に 生 か せ る 知 識	身 体 を 動 か す な ど 健 康	生 活 や 法 律 、 健 康 等 に 関 心 す る	仕 事 を 探 し たり 、 相 談 す る	ボ ラ ン テ ィ ア 等 の 相 談 情 報 を 探 し たり す る
全 体		1798	41.5	21.4	12.7	15.2	41.3	16.9	7.0	4.2	
性 別	男性	780	39.7	22.6	13.1	14.5	39.2	17.1	8.1	5.5	
	女性	1007	42.9	20.6	12.4	15.8	42.9	16.8	6.1	3.3	
年 齢 別	60～64歳	327	45.9	17.7	20.2	18.0	37.9	24.5	15.3	6.1	
	65～69歳	366	45.9	21.9	14.2	21.0	40.2	19.1	10.9	5.5	
	70～74歳	405	43.5	27.2	13.1	12.3	42.5	14.6	5.2	4.9	
	75～79歳	319	40.8	21.0	9.4	11.9	44.2	12.2	1.9	2.2	
	80～84歳	205	37.1	21.5	5.9	11.7	41.0	12.2	2.4	2.9	
	85～89歳	116	22.4	17.2	7.8	15.5	41.4	16.4	1.7	0.9	
	90歳以上	56	37.5	7.1	10.7	12.5	42.9	19.6	1.8	3.6	

		回答数	サ ー ク ル 活 動 を 行 う	友 人 ・ 知 人 と 談 話 す る	一 人 で く つ ろ ぐ	入 浴 す る	特 定 の 目 的 で （ 音 楽 な ど ） に 利 用 で き る	そ の 他	無 回 答
全 体		1798	7.5	15.0	6.8	5.4	1.8	6.4	11.2
性 別	男性	780	6.4	10.0	8.5	6.4	2.2	6.4	11.8
	女性	1007	8.2	18.9	5.6	4.6	1.5	6.5	10.6
年 齢 別	60～64歳	327	8.3	11.3	5.5	4.3	0.9	4.6	10.4
	65～69歳	366	9.6	11.2	7.1	4.4	1.9	7.1	6.0
	70～74歳	405	6.4	12.8	9.9	6.2	1.0	5.4	10.9
	75～79歳	319	8.5	19.1	6.6	3.8	2.5	6.0	13.5
	80～84歳	205	6.3	21.5	3.9	6.8	3.4	5.9	16.6
	85～89歳	116	2.6	13.8	6.0	9.5	1.7	12.9	16.4
	90歳以上	56	5.4	30.4	3.6	8.9	1.8	10.7	8.9

性別にみると、女性の方が男性より「友人・知人と談話する」の割合が高くなっている。

年齢別にみると、60～64歳、65～69歳では「仕事を探したり、相談したりする」が1割を超え、他の年代より高い結果となっている。

### 第3章 高齢者一般調査B

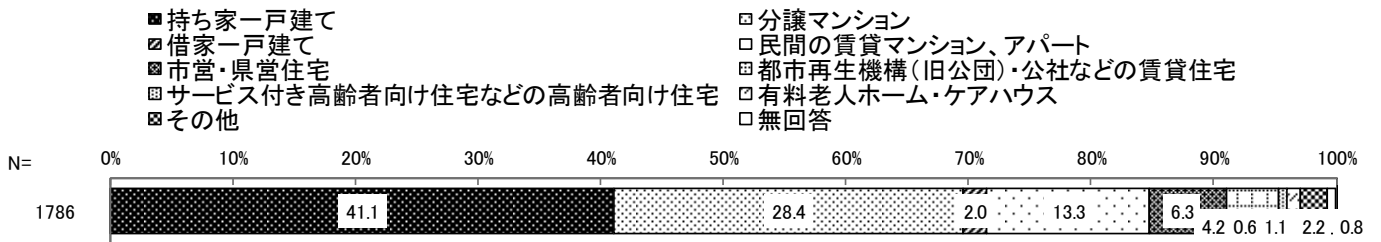
#### 1. 現在の住まいについて

##### (1) 居住の状況

##### ① 住居形態

問9 あなたのお住まいは、次のどれですか。(○は1つ)

【図表 3-1-1 住居形態】



住居形態は、「持ち家一戸建て」が41.1%で最も高く、次いで「分譲マンション」が28.4%となっていて、これらを合わせた『持ち家』が69.5%となっている。

【図表 3-1-2 住居形態×性別・年齢別・世帯構成別】

		回答数	持ち家一戸建て	分譲マンション	借家一戸建て	民間の賃貸マンション、アパート	市営・県営住宅	UR(旧公団)・公社などの賃貸住宅	サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者	有料老人ホーム・ケアハウス	その他	無回答
全体		1786	41.1	28.4	2.0	13.3	6.3	4.2	0.6	1.1	2.2	0.8
性別	男性	775	40.1	29.8	2.6	13.9	5.8	4.3	0.5	0.4	1.8	0.8
	女性	994	41.9	27.6	1.6	12.5	6.5	4.2	0.7	1.7	2.4	0.9
年齢別	60～64歳	328	34.8	34.1	1.8	20.4	4.6	2.4	0.0	0.0	1.8	0.0
	65～69歳	350	37.1	35.4	3.1	14.9	4.0	4.0	0.0	0.0	1.1	0.3
	70～74歳	417	38.6	29.3	1.7	13.7	8.6	5.0	0.0	0.2	1.2	1.7
	75～79歳	300	47.7	25.7	2.0	9.3	6.7	4.7	0.3	1.7	1.3	0.7
	80～84歳	209	51.7	22.0	1.4	9.1	6.7	3.3	1.9	1.0	2.4	0.5
	85～89歳	107	40.2	18.7	0.9	7.5	9.3	7.5	1.9	4.7	7.5	1.9
90歳以上	65	44.6	7.7	3.1	6.2	4.6	4.6	6.2	10.8	10.8	1.5	
世帯構成別	一人暮らし世帯	415	26.5	19.5	2.7	26.3	9.6	8.0	1.9	2.9	2.7	0.0
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	569	43.8	34.3	1.9	7.6	5.8	4.0	0.0	0.4	0.9	1.4
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	120	31.7	45.0	2.5	9.2	5.8	5.0	0.0	0.0	0.8	0.0
	夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	100	28.0	46.0	3.0	14.0	6.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	72	45.8	16.7	2.8	13.9	8.3	4.2	1.4	0.0	4.2	2.8
	二世帯同居世帯	308	56.2	23.7	1.0	9.7	3.6	2.6	0.0	0.6	1.9	0.6
	三世帯同居世帯	56	73.2	16.1	0.0	8.9	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0
その他の世帯	114	37.7	29.8	1.8	9.6	6.1	0.9	1.8	1.8	10.5	0.0	

年齢別にみると、年齢が低くなるほど「分譲マンション」の割合が高くなっており、60～64歳、65～69歳では3割半ばとなっている。

世帯構成別にみると、一人暮らし世帯では「民間の賃貸マンション、アパート」の割合が他と比べて高くなっている。

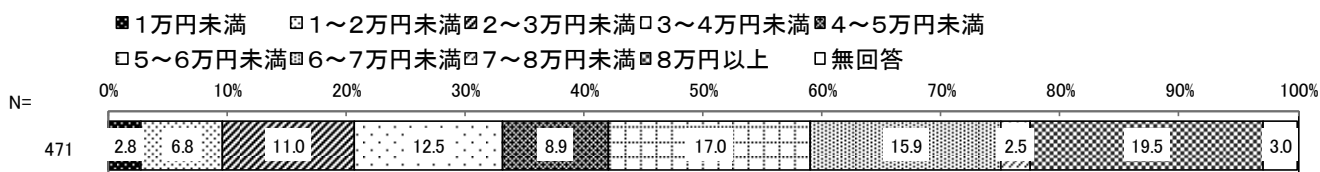
②住まいの1か月の家賃

【問9】で「3」～「7」と答えた方にうかがいます。

問9-1 あなたの現在のお住まいの1か月の家賃（共益費なども含む）はいくらですか。

(○は1つ)

【図表 3-1-3 住まいの1か月の家賃】



住まいの1か月の家賃は、「8万円以上」が19.5%で最も高く、次いで「5～6万円未満」が17.0%、「6～7万円未満」が15.9%となっている。

【図表 3-1-4 住まいの1か月の家賃×性別・年齢別・世帯構成別】

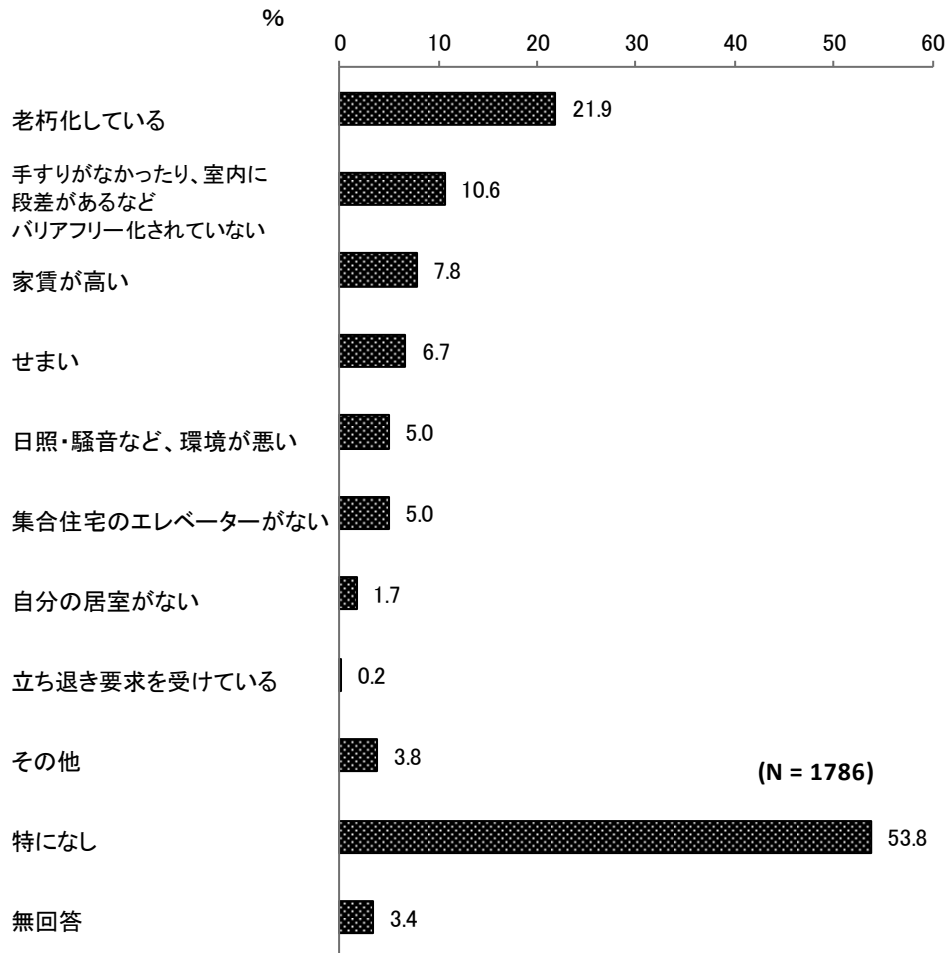
		回答数	1万円未満	1～2万円未満	2～3万円未満	3～4万円未満	4～5万円未満	5～6万円未満	6～7万円未満	7～8万円未満	8万円以上	無回答
全体		471	2.8	6.8	11.0	12.5	8.9	17.0	15.9	2.5	19.5	3.0
性別	男性	210	2.4	4.8	10.0	15.7	10.0	16.7	15.7	2.4	21.9	0.5
	女性	254	2.8	8.3	12.2	10.2	8.3	17.3	15.4	2.8	17.7	5.1
年齢別	60～64歳	96	2.1	2.1	6.3	12.5	9.4	14.6	17.7	4.2	29.2	2.1
	65～69歳	91	0.0	6.6	4.4	12.1	7.7	20.9	18.7	0.0	27.5	2.2
	70～74歳	121	2.5	7.4	18.2	14.9	9.9	14.9	15.7	2.5	13.2	0.8
	75～79歳	69	4.3	11.6	10.1	10.1	10.1	23.2	10.1	2.9	10.1	7.2
	80～84歳	47	0.0	8.5	17.0	17.0	4.3	17.0	17.0	2.1	10.6	6.4
	85～89歳	29	6.9	10.3	13.8	3.4	10.3	6.9	17.2	3.4	27.6	0.0
世帯構成別	90歳以上	16	18.8	0.0	6.3	12.5	12.5	12.5	6.3	6.3	18.8	6.3
	一人暮らし世帯	201	5.0	6.5	10.9	17.9	10.9	16.9	15.4	1.5	10.4	4.5
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	110	1.8	12.7	10.0	8.2	9.1	20.9	12.7	2.7	20.0	1.8
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	27	0.0	0.0	18.5	11.1	11.1	11.1	11.1	3.7	33.3	0.0
	夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	24	4.2	0.0	12.5	4.2	4.2	12.5	12.5	8.3	41.7	0.0
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	22	0.0	4.5	9.1	18.2	4.5	13.6	22.7	0.0	22.7	4.5
	二世帯同居世帯	52	0.0	5.8	5.8	9.6	7.7	13.5	23.1	3.8	26.9	3.8
三世帯同居世帯	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	60.0	0.0	
その他の世帯	23	0.0	4.3	17.4	4.3	4.3	21.7	8.7	4.3	34.8	0.0	

世帯構成別にみると、夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯では「3～4万円未満」「4～5万円未満」の割合が、他の夫婦だけで暮らす世帯と比べて低くなっており、一方で「7～8万円未満」「8万円以上」の割合は、他の夫婦だけで暮らす世帯と比べて高くなっている。

(2) 住まいの困りごと

問 10 あなたは、現在のお住まいで困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

【図表 3-2-1 住まいの困りごと】



現在の住まいで困っていることは、「特になし」が 53.8%で最も高くなっており、半数以上が今のところ住居に不便を感じていない。困っていることは、「老朽化している」が 21.9%で最も高く、次いで「手すりがなかったり、室内に段差があるなどバリアフリー化されていない」が 10.6%となっている。

【図表 3-2-2 住まいの困りごと×性別・年齢別・健康状態別・住居形態別】

		回答数	せまい	老朽化している	室内に段差があるなど、バリアフリー化されていない	手すりがない	日照・騒音など、環境が悪い	家賃が高い	立ち退き要求を受けている	自分の居室がない	集合住宅のエレベーターがない	その他	特になし	無回答
全体		1786	6.7	21.9	10.6	5.0	7.8	0.2	1.7	5.0	3.8	53.8	3.4	
性別	男性	775	7.9	23.4	10.3	5.3	7.7	0.3	2.5	5.2	3.1	52.0	3.1	
	女性	994	5.8	20.8	11.0	4.8	7.6	0.2	1.2	4.8	4.3	55.4	3.7	
年齢別	60～64歳	328	8.5	21.3	8.8	7.0	8.8	0.0	1.2	3.4	4.6	55.5	1.5	
	65～69歳	350	7.7	23.7	8.9	4.9	9.7	0.0	2.6	5.4	2.9	53.7	1.4	
	70～74歳	417	7.9	23.3	9.1	5.3	6.5	0.2	1.9	6.5	4.6	51.6	4.6	
	75～79歳	300	5.0	20.3	13.7	5.0	7.3	0.7	1.7	4.7	3.3	54.3	4.7	
	80～84歳	209	6.7	23.4	15.8	5.3	6.7	0.5	2.4	6.2	2.9	49.8	2.4	
	85～89歳	107	2.8	14.0	8.4	0.9	10.3	0.0	0.0	2.8	5.6	61.7	6.5	
	90歳以上	65	0.0	20.0	12.3	0.0	3.1	0.0	0.0	4.6	1.5	60.0	9.2	
健康状態別	健康である	892	5.2	18.4	7.7	3.4	7.2	0.1	1.0	4.4	3.3	60.4	2.1	
	外出はひとりでできる	715	9.1	27.0	13.4	7.1	8.7	0.3	2.7	6.3	3.8	46.9	3.9	
	外出はひとりでできない	96	4.2	19.8	15.6	4.2	3.1	0.0	2.1	6.3	4.2	54.2	8.3	
	ベッドでの生活が主体	37	10.8	32.4	18.9	2.7	8.1	0.0	2.7	0.0	2.7	43.2	5.4	
	一日中ベッドの上	17	0.0	11.8	11.8	5.9	5.9	5.9	0.0	0.0	11.8	52.9	0.0	
住居形態別	持ち家一戸建て	734	3.3	26.8	13.4	5.4	0.0	0.1	1.0	0.0	4.6	56.1	4.0	
	分譲マンション	507	6.1	14.4	9.3	3.6	0.8	0.0	1.8	7.1	1.8	64.7	3.0	
	借家一戸建て	36	11.1	41.7	8.3	5.6	33.3	0.0	0.0	0.0	2.8	38.9	2.8	
	民間の賃貸マンション、アパート	237	14.8	22.4	9.3	6.8	32.9	0.0	3.8	8.9	3.8	38.0	1.3	
	市営・県営住宅	112	6.3	24.1	12.5	6.3	11.6	0.0	1.8	15.2	3.6	44.6	3.6	
	都市再生機構(旧公団)・公社などの賃貸住宅	75	12.0	20.0	8.0	5.3	37.3	4.0	4.0	17.3	2.7	26.7	0.0	
	サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け住宅	11	9.1	9.1	0.0	0.0	36.4	0.0	0.0	0.0	9.1	45.5	0.0	
	有料老人ホーム・ケアハウス	20	15.0	10.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	10.0	60.0	0.0	
	その他	39	12.8	15.4	0.0	5.1	0.0	0.0	2.6	5.1	12.8	66.7	5.1	

年齢別にみると、60～84歳では、年齢が高くなるほど「手すりがない」や「室内に段差があるなどバリアフリー化されていない」の割合が高くなっている。

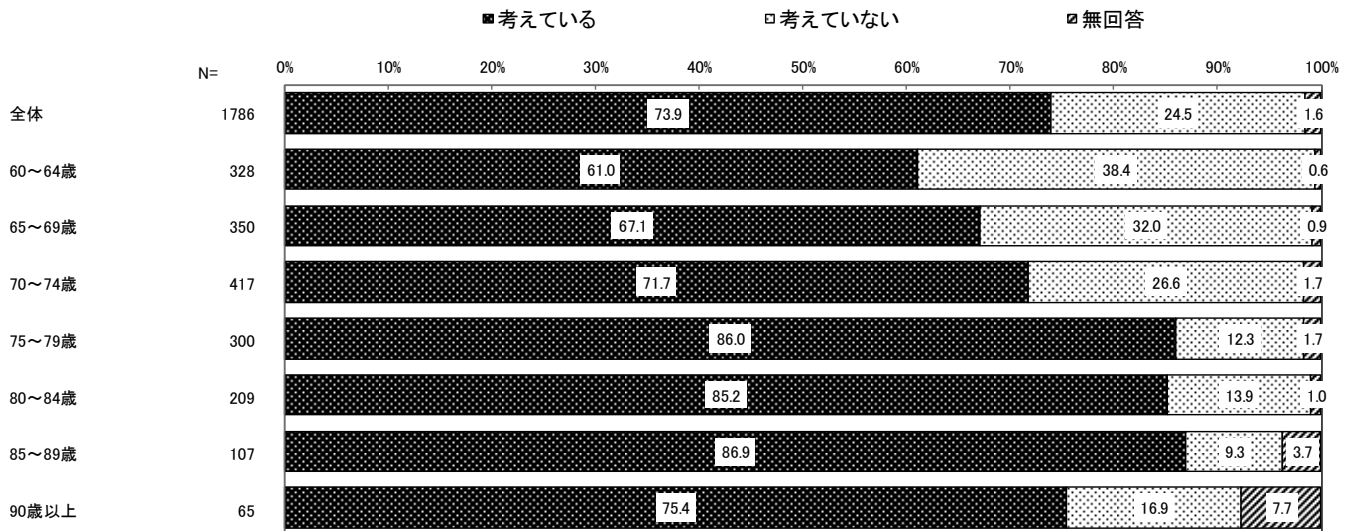
住居形態別にみると、借家一戸建てでは「老朽化している」「家賃が高い」の割合が、民間の賃貸マンション、アパート、UR（都市再生機構（旧公団））・公社などの賃貸住宅、サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け住宅では「家賃が高い」の割合が他と比べて高くなっている。

(3) 住み替え

①現在の住まいに亡くなるまで住み続ける意向

問 11 あなたは、現在のお住まいに、亡くなるまで住み続けたいと考えていますか。  
(○は1つ)

【図表 3-3-1 現在の住まいに亡くなるまで住み続ける意向×年齢別】



現在の住まいに亡くなるまで住み続ける意向は、「考えている」が 73.9%、「考えていない」が 24.5%となっている。

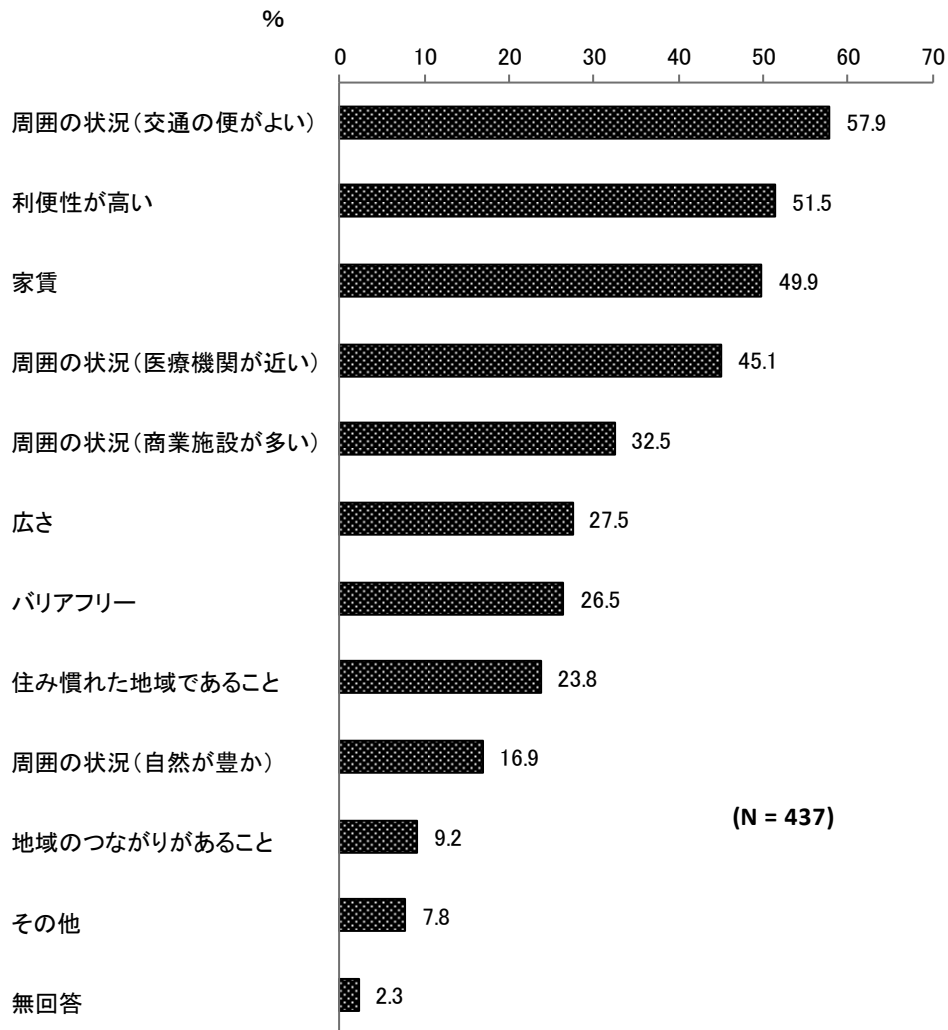
年齢別にみると、60～89歳では年齢が高くなるほど「考えている」の割合が高くなる傾向があり、85～89歳では 86.9%となっている。

## ② 住み替え時に重視すること

【問 11】で「2」と答えた方にうかがいます。

問 11-1 あなたは、住み替え時にはどんな事を重視して住まいを選びますか。  
(〇はいくつでも)

【図表 3-3-2 住み替え時に重視すること】



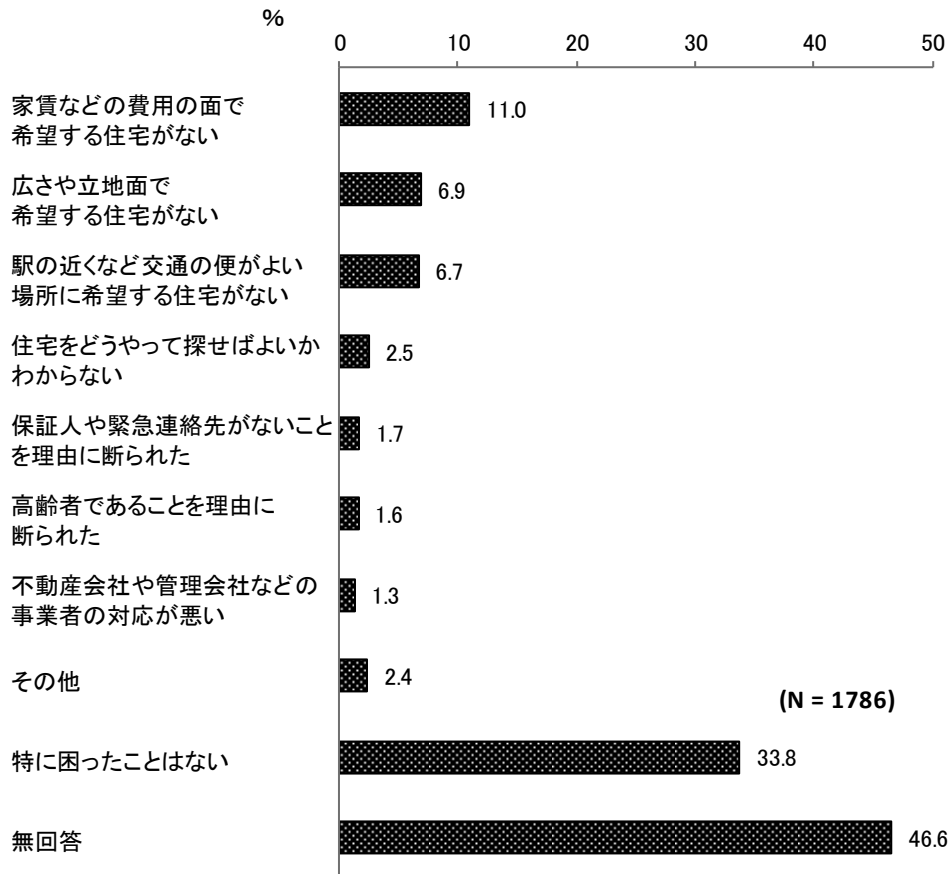
現在の住まいに亡くなるまで住み続ける意向のない人が住み替え時に重視することは、「周囲の状況(交通の便がよい)」が 57.9%で最も高く、次いで「利便性が高い」が 51.5%、「家賃」が 49.9%となっている。

(4) 住み替えで困ったこと

これまでに住宅を住み替えたことがある方、または現在住み替えを考えている方にうかがいます。

問 12 あなたは、住み替えにあたってどのようなことに困りましたか、または困っていますか。(〇はいくつでも)

【図表 3-4-1 住み替えで困ったこと】



住み替えで困ったことは、「特に困ったことはない」が 33.8%で最も高く、次いで「家賃などの費用の面で希望する住宅がない」が 11.0%、「広さや立地面で希望する住宅がない」が 6.9%、「駅の近くなど交通の便がよい場所に希望する住宅がない」が 6.7%となっている。

【図表 3-4-2 住み替えて困ったこと×世帯構成別】

		回答数	いせ住ば宅よをいどわかやわかつてな探	いで家賃などの住費用がな面	す広さや立地面で希望	す便駅の近くなど交通の希望	応社不などが悪いの会社や業者の管理対会	理高齡者に断られたことを	断が保られないことや緊急連絡に先	その他	い特に困ったことはな	無回答
全体		1786	2.5	11.0	6.9	6.7	1.3	1.6	1.7	2.4	33.8	46.6
世帯構成別	一人暮らし世帯	415	4.3	17.6	6.5	7.2	1.4	3.9	3.6	4.1	32.3	41.7
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	569	1.8	5.8	5.6	4.6	0.9	0.9	0.5	1.8	33.4	52.9
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	120	1.7	9.2	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	2.5	40.8	41.7
	夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	100	1.0	17.0	17.0	12.0	2.0	0.0	2.0	1.0	42.0	28.0
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	72	1.4	9.7	12.5	9.7	1.4	1.4	1.4	1.4	30.6	51.4
	二世帯同居世帯	308	2.3	9.4	5.2	6.5	1.0	1.3	1.0	2.3	31.8	50.6
	三世帯同居世帯	56	1.8	3.6	7.1	7.1	7.1	0.0	0.0	1.8	33.9	50.0
	その他の世帯	114	3.5	17.5	6.1	9.6	2.6	2.6	4.4	2.6	36.8	36.0

世帯構成別にみると、夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯では「広さや立地面で希望する住宅がない」「駅の近くなど交通の便がよい場所に希望する住宅がない」の割合が他と比べて高くなっている。

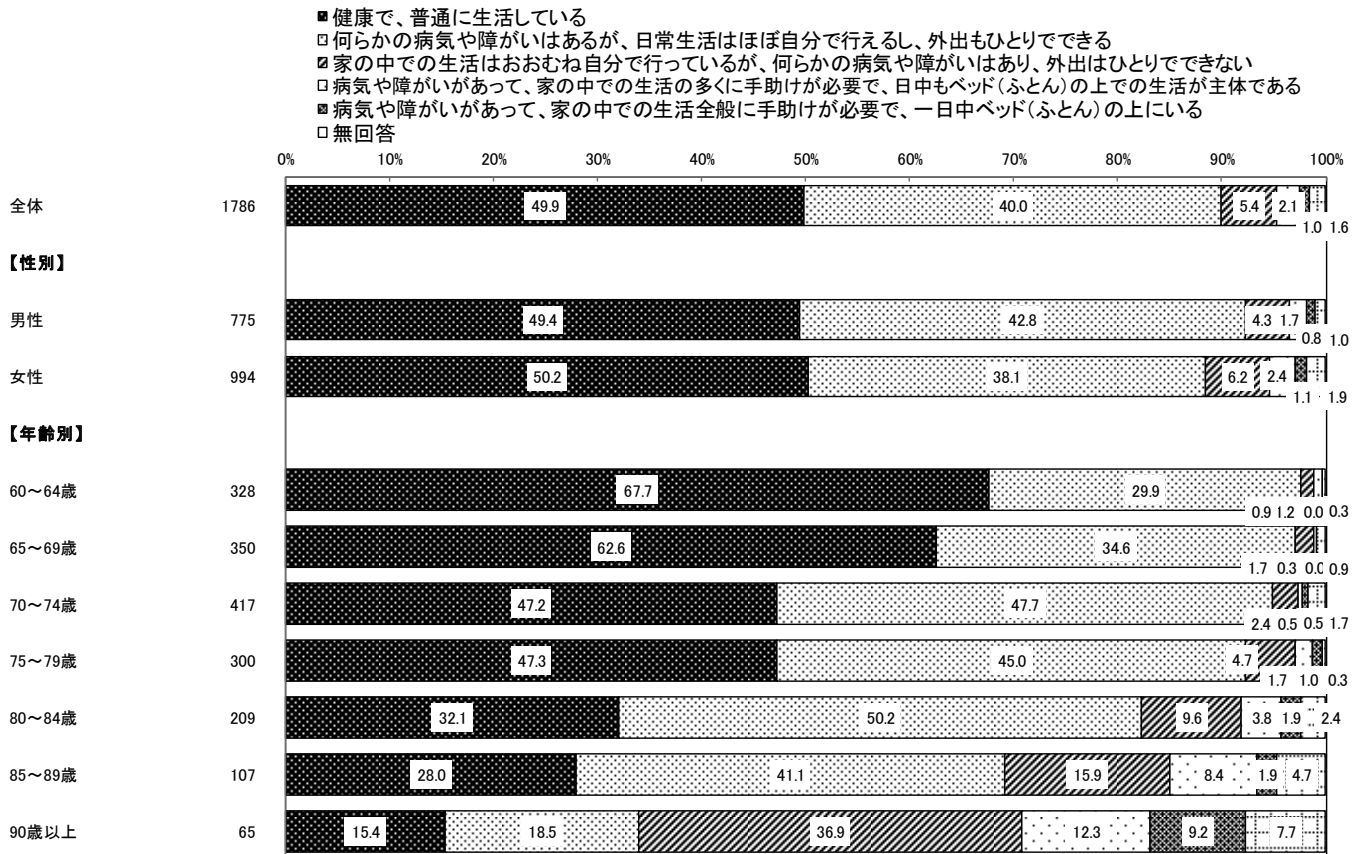
## 2. 健康・福祉などについて

### (1) 健康状態と運動習慣

#### ①健康状態

問 13 あなたの現在の健康状態はいかがですか。(○は1つ)

【図表 3-5-1 健康状態×性別・年齢別】



健康状態は、「健康で、普通に生活している」が 49.9%、「何らかの病気や障がいはあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出もひとりで行える」が 40.0%となっており、合わせて 89.9%の人が自立した生活を送っている。

性別にみると、男性の方が女性より「何らかの病気や障がいはあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出もひとりで行える」の割合が高くなっている。

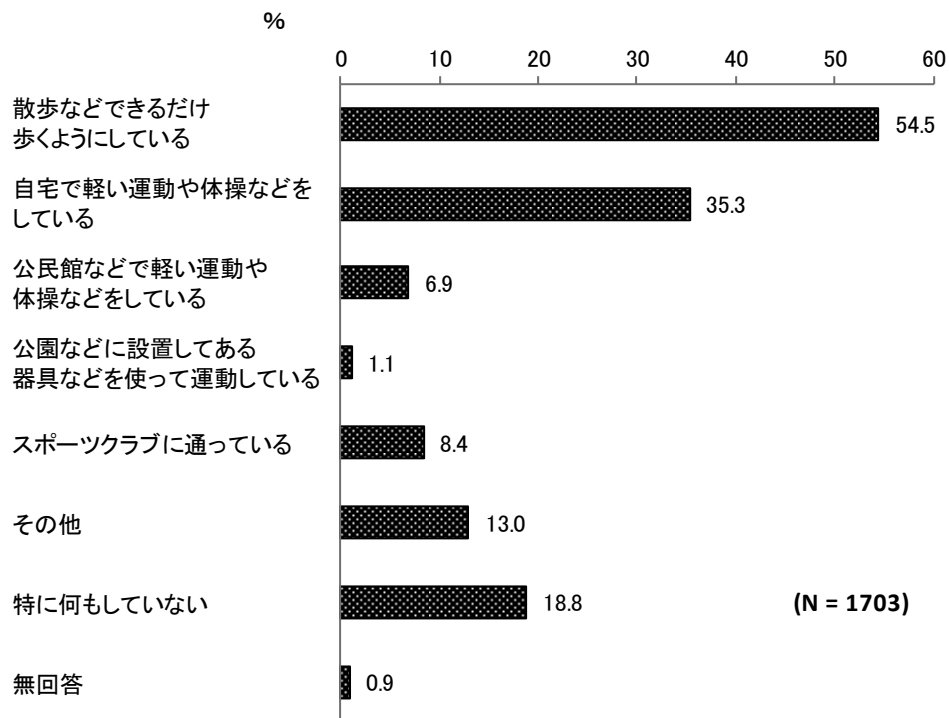
年齢別にみると、年齢が高くなるほど自立した生活をしている人の割合が低くなっている。

## ②運動習慣

【問13】で「1」～「3」と答えた方にかがいます。

問 13-1 健康づくりや介護予防のために、何か運動をしていますか。(〇はいくつでも)

【図表 3-5-2 運動習慣】



運動習慣は、「散歩などできるだけ歩くようにしている」が 54.5%で最も高く、次いで「自宅で軽い運動や体操などを行っている」が 35.3%、「特に何もしていない」が 18.8%となっている。

【図表 3-5-3 運動習慣×性別・年齢別】

		回答数	歩散く歩よなどにできているだけ	操自宅などで軽い運動や体	い動公 るや民 館 体 操 な ど を 軽 い 運	てある公 運動器 具 な ど を 使 っ て	通スポ っ て い る ク ラ ブ に	その他	特に何もしていない	無回答
全体		1703	54.5	35.3	6.9	1.1	8.4	13.0	18.8	0.9
性別	男性	748	54.4	31.6	2.5	1.5	6.8	15.5	21.0	0.3
	女性	940	54.8	38.3	10.4	0.9	9.7	11.0	16.9	1.4
年齢別	60～64歳	324	45.7	26.9	3.4	0.6	10.5	12.7	26.5	0.0
	65～69歳	346	51.4	35.0	8.4	1.4	12.7	11.3	20.8	0.0
	70～74歳	406	60.3	36.9	4.7	0.5	7.6	11.8	17.0	1.5
	75～79歳	291	61.9	38.1	7.9	1.7	7.2	12.7	16.8	1.4
	80～84歳	192	58.9	40.1	13.0	1.0	4.2	14.1	12.0	1.6
	85～89歳	91	51.6	36.3	8.8	3.3	3.3	23.1	11.0	1.1
	90歳以上	46	28.3	39.1	4.3	0.0	2.2	15.2	21.7	4.3

性別にみると、女性の方が男性より「自宅で軽い運動や体操などを行っている」「公民館などで軽い運動や体操などを行っている」「スポーツクラブに通っている」の割合が高くなっている。

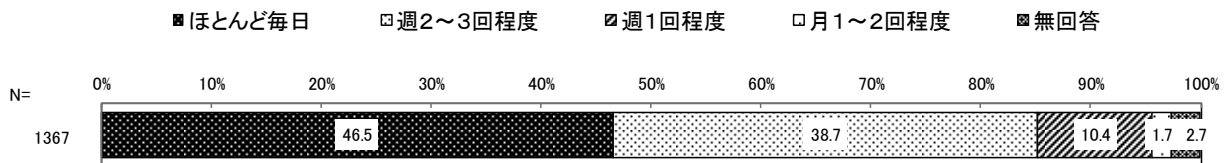
年齢別にみると、60～64歳では、「自宅で軽い運動や体操などを行っている」が26.9%で他と比べて低く、次いで「特に何もしていない」が26.5%で、他と比べて高い結果になった。一方、90歳以上では、外出を要する運動の割合は低いが、「自宅で軽い運動や体操などを行っている」の割合では、80～84歳を除くすべての年代を上回っている。

③運動頻度

【問 13-1】で「1」～「6」と答えた方にかがいます。

問 13-2 それほどのくらいの頻度でしていますか。(○は1つ)

【図表 3-5-4 運動頻度】



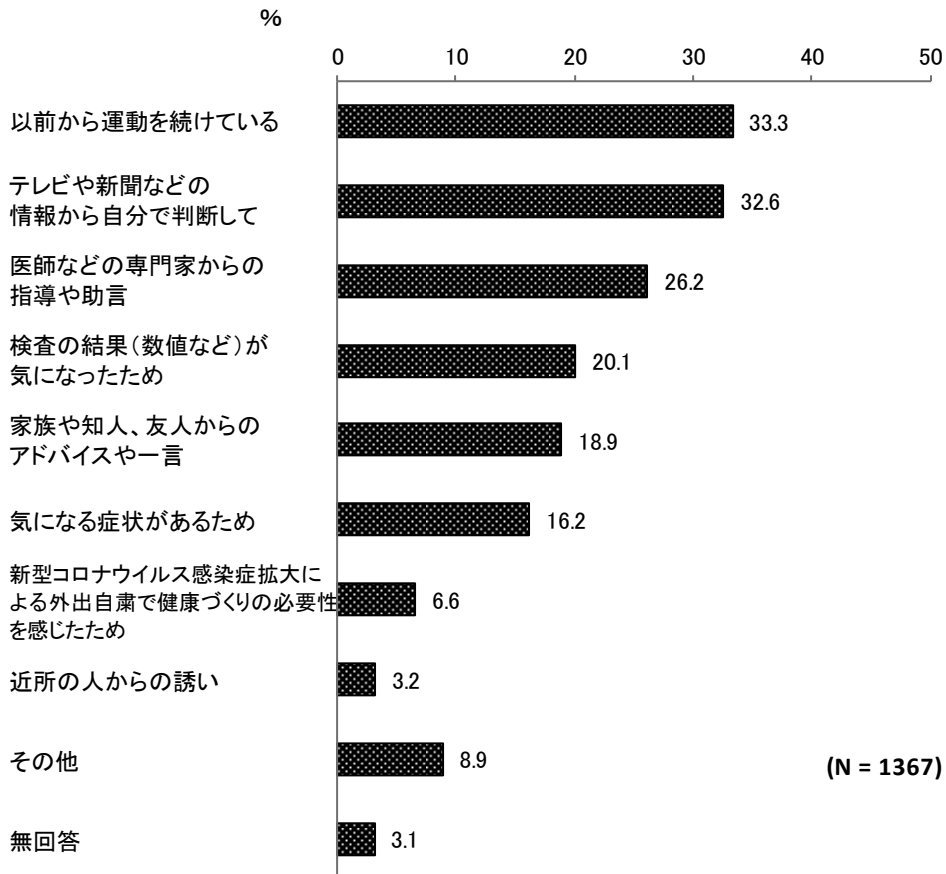
運動頻度は、「ほとんど毎日」が 46.5%で最も高く、次いで「週 2～3 回程度」が 38.7%、「週 1 回程度」が 10.4%となっている。

④運動に取り組むきっかけ

【問 13-1】で「1」～「6」と答えた方にかがいます。

問 13-3 健康づくりや介護予防のために運動に取り組むこととなった主なきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

【図表 3-5-5 運動に取り組むきっかけ】



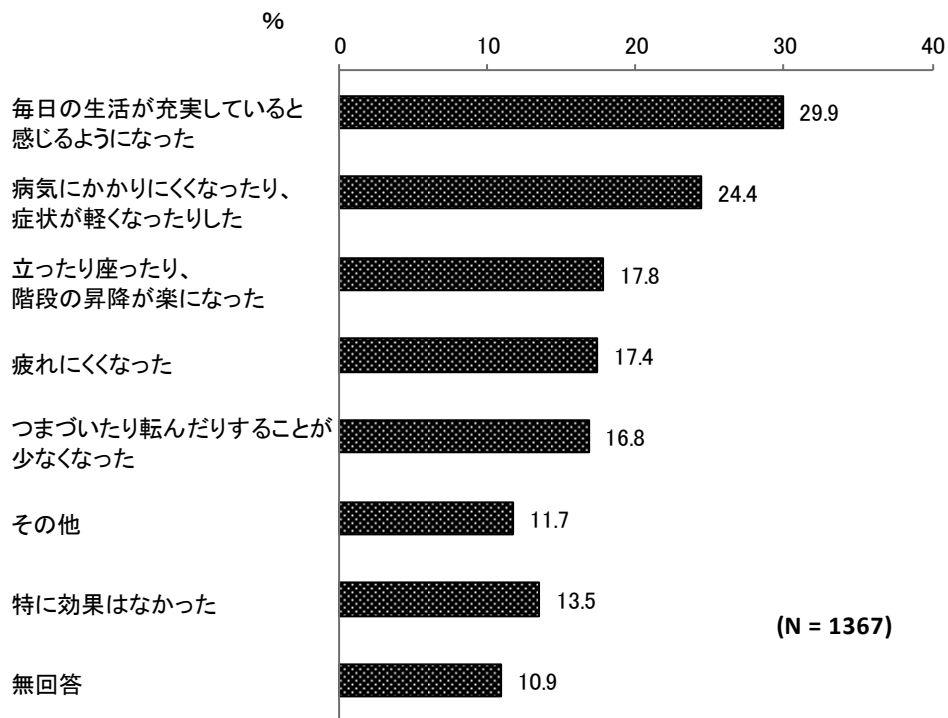
運動に取り組むきっかけは、「以前から運動を続けている」が 33.3%で最も高く、次いで「テレビや新聞などの情報から自分で判断して」が 32.6%、「医師などの専門家からの指導や助言」が 26.2%となっている。

## ⑤運動の効果

【問13-1】で「1」～「6」と答えた方にかかっています。

問13-4 健康づくりや介護予防のために何か運動に取り組むことで、どのような効果があったと感じていますか。(〇はいくつでも)

【図表 3-5-6 運動の効果】



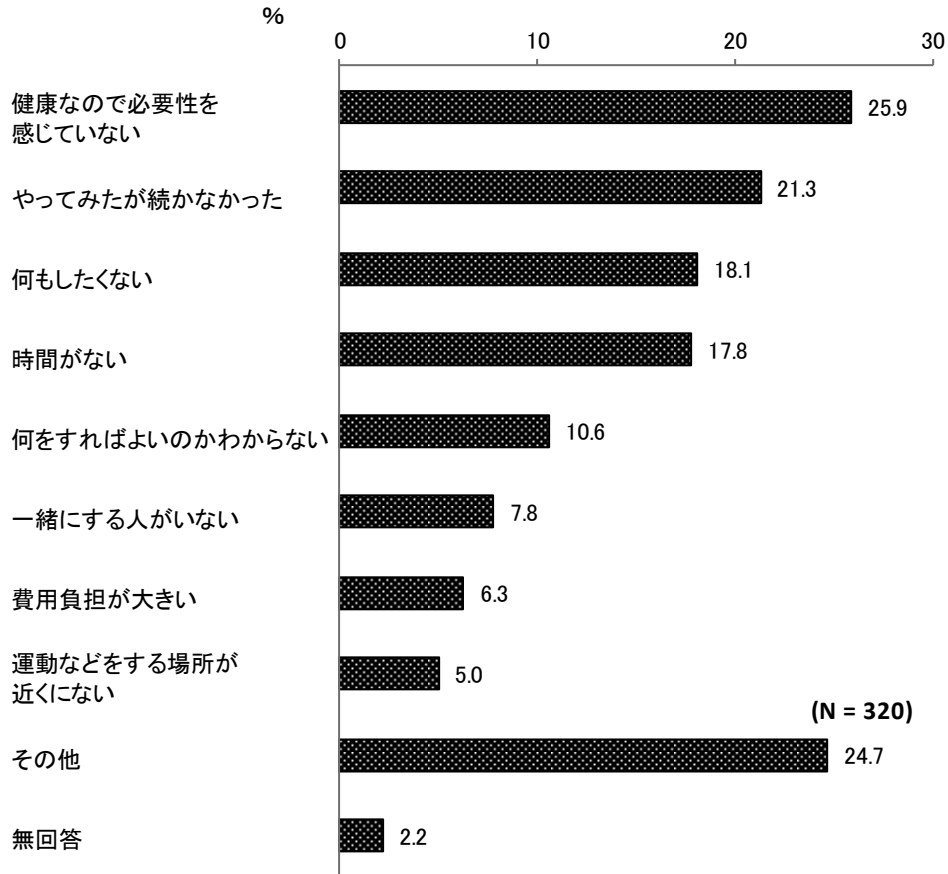
運動の効果は、「毎日の生活が充実していると感じるようになった」が29.9%で最も高く、次いで「病気にかかりにくくなったり、症状が軽くなったりした」が24.4%となっている。

⑥運動をしていない理由

【問 13-1】で「7」と答えた方にうかがいます。

問 13-5 何もしていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【図表 3-5-7 運動をしていない理由】



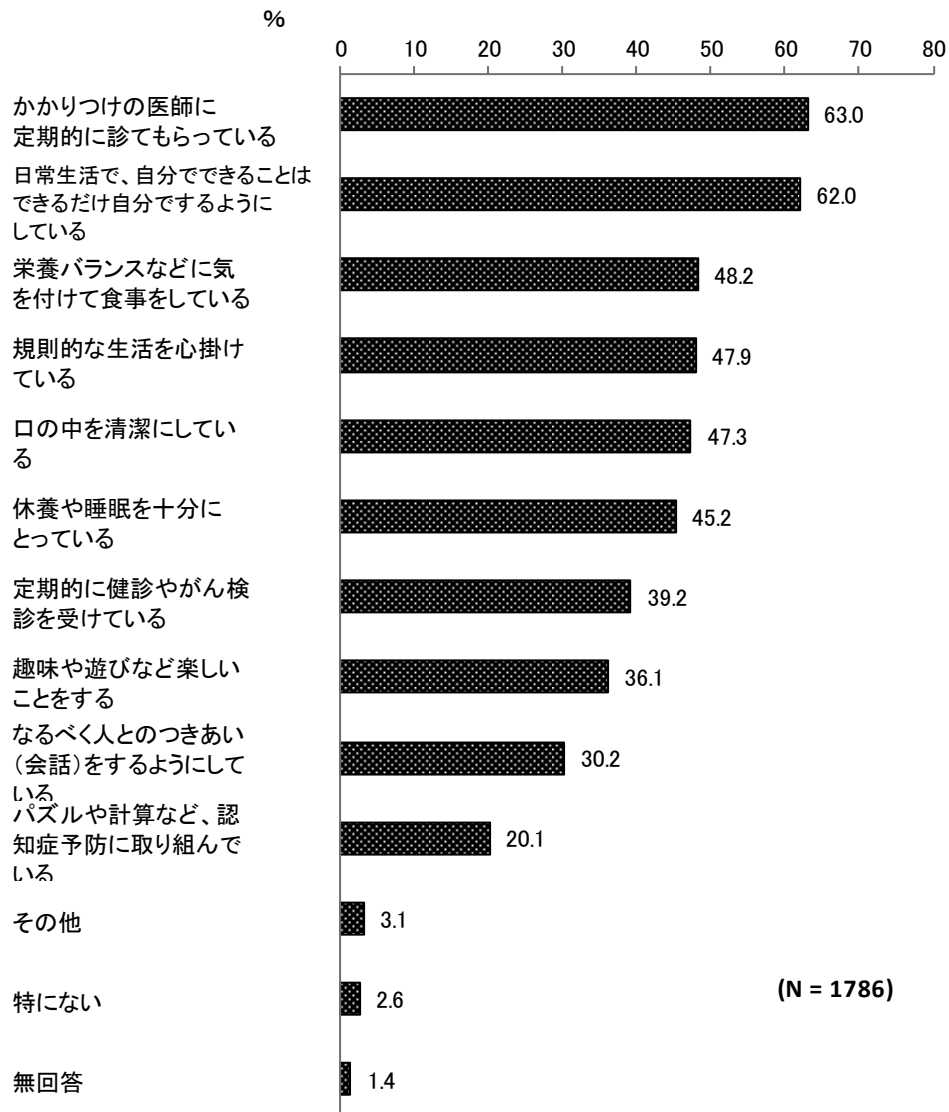
運動をしていない理由は、全体で「健康なので必要性を感じていない」が 25.9%で最も高く、次いで「やってみたが続かなかった」が 21.3%、「何もしたくない」が 18.1%となっている。

## (2) 運動以外の健康づくり習慣

## ①運動以外で気を付けていること

問 14 健康づくりや介護予防のために、運動以外で気を付けていることはありますか。  
(○はいくつでも)

【図表 3-6-1 運動以外で気を付けていること】



運動以外で気を付けていることは、「かかりつけの医師に定期的に診てもらっている」が63.0%で最も高く、次いで「日常生活で、自分でできることはできるだけ自分でするようにしている」が62.0%となっている。

【図表 3-6-2 運動以外で気を付けていること×性別・年齢別・健康状態別】

		回答数	定期的に診てもらっているかかりつけの医師に検診を受けている	日常生活で、自分でできること、できるようにしている	口の中を清潔にしている	休養や睡眠を十分に取っている	規則的な生活を心掛けている	
全体		1786	63.0	39.2	62.0	47.3	45.2	47.9
性別	男性	775	64.5	42.1	53.4	38.8	44.6	44.8
	女性	994	61.8	37.1	68.8	54.3	45.9	50.6
年齢別	60～64歳	328	51.2	49.4	53.0	48.2	42.1	43.6
	65～69歳	350	53.4	45.7	60.6	46.9	46.3	50.0
	70～74歳	417	68.3	41.0	65.2	47.7	45.8	51.6
	75～79歳	300	67.7	36.7	64.3	48.3	44.7	49.7
	80～84歳	209	72.7	29.7	65.6	49.8	46.4	48.3
	85～89歳	107	72.9	20.6	72.9	50.5	53.3	44.9
	90歳以上	65	72.3	15.4	56.9	30.8	38.5	32.3
健康状態別	健康である	892	49.4	43.5	62.6	49.1	49.2	53.1
	外出はひとりできる	715	78.2	39.0	65.6	49.7	41.5	45.2
	外出はひとりできない	96	72.9	14.6	59.4	30.2	46.9	38.5
	ベッドでの生活が主体	37	73.0	18.9	24.3	35.1	43.2	29.7
	一日中ベッドの上	17	58.8	5.9	17.6	17.6	11.8	5.9

		栄養バランスなどを気に付けて食事などに	パズルや計算など、認知症予防に取り組んでいる	趣味や遊びなど楽しいことをする	なるべく人とのつきあい（会話）をするようにしている	その他	特にない	無回答
全体		48.2	20.1	36.1	30.2	3.1	2.6	1.4
性別	男性	40.3	14.7	35.6	20.8	2.5	3.5	1.9
	女性	54.2	24.4	36.6	37.7	3.6	1.9	0.9
年齢別	60～64歳	50.6	14.0	40.5	23.2	2.4	3.7	0.9
	65～69歳	50.0	17.7	40.6	33.7	2.9	3.1	0.6
	70～74歳	47.7	24.0	38.1	28.5	3.8	1.4	1.4
	75～79歳	49.7	23.3	35.7	32.0	3.0	3.0	1.7
	80～84歳	46.4	23.4	32.5	34.9	2.4	1.9	1.4
	85～89歳	46.7	19.6	24.3	37.4	1.9	0.9	2.8
	90歳以上	33.8	16.9	10.8	23.1	4.6	4.6	3.1
健康状態別	健康である	53.3	20.7	44.4	32.7	3.4	3.1	1.0
	外出はひとりできる	44.8	20.3	32.6	30.5	2.2	1.1	1.3
	外出はひとりできない	38.5	22.9	8.3	20.8	2.1	2.1	1.0
	ベッドでの生活が主体	35.1	5.4	5.4	5.4	8.1	8.1	0.0
	一日中ベッドの上	35.3	5.9	5.9	11.8	17.6	29.4	0.0

性別にみると、女性の方が男性より「日常生活で、自分でできることはできるだけ自分でするようにしている」「口の中を清潔にしている」「栄養バランスなどに気を付けて食事をしている」「パズルや計算など、認知症予防に取り組んでいる」「なるべく人とのつきあい（会話）をするようにしている」の割合が高くなっている。

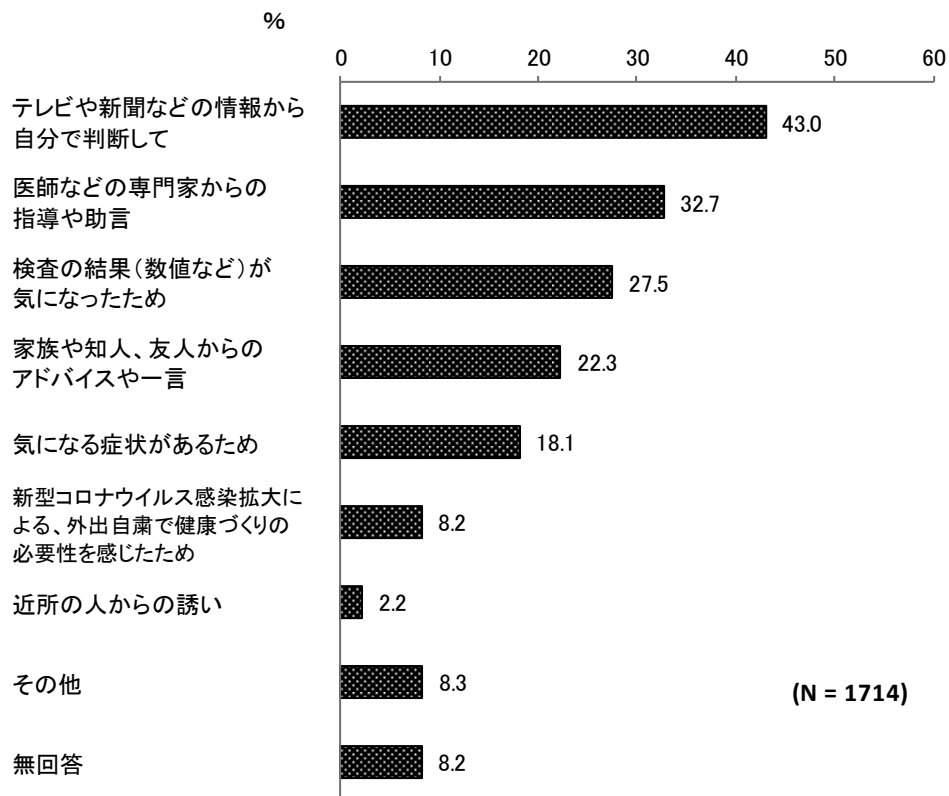
健康状態別にみると、健康状態が良い人ほど「規則的な生活を心掛けている」「栄養バランスなどに気を付けて食事をしている」「趣味や遊びなど楽しいことをする」「なるべく人とのつきあい（会話）をするようにしている」の割合が高くなっている。

## ②運動以外の健康づくり習慣に取り組むきっかけ

【問14】で「1」～「11」と答えた方にうかがいます。

問14-1 健康づくりや介護予防のために運動以外のことに取り組むこととなった主なきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

【図表 3-6-3 運動以外の健康づくり習慣に取り組むきっかけ】



運動以外の健康づくり習慣に取り組むきっかけは、「テレビや新聞などの情報から自分で判断して」が43.0%で最も高く、次いで「医師などの専門家からの指導や助言」が32.7%、「検査の結果(数値など)が気になったため」が27.5%となっている。

【図表 3-6-4 運動以外の健康づくり習慣に取り組むきっかけ×性別・年齢別】

		回答数	医師などの専門家からの指導や助言	テレビや新聞などの情報から自分で判断して	家族や友人からの誘い	近所の人からの誘い	検査の結果(数値など)が気になったため	気になる症状があるため	新型コロナウイルスによる健康被害を感じたり	その他	無回答
全体		1714	32.7	43.0	22.3	2.2	27.5	18.1	8.2	8.3	8.2
性別	男性	733	38.7	37.8	20.9	0.7	33.8	19.9	6.5	8.0	6.5
	女性	966	27.8	47.0	23.4	3.3	23.0	16.9	9.5	8.6	9.4
年齢別	60～64歳	313	32.3	40.6	19.5	1.6	38.3	19.5	6.1	8.6	3.2
	65～69歳	337	27.0	45.1	21.1	1.2	26.1	18.1	6.2	11.6	7.7
	70～74歳	405	35.6	45.7	24.2	1.2	33.8	20.5	11.1	6.4	5.7
	75～79歳	286	31.8	43.0	21.3	2.4	22.7	15.7	7.0	7.7	14.0
	80～84歳	202	35.1	47.5	27.2	5.9	19.3	17.8	6.9	7.9	8.4
	85～89歳	103	33.0	32.0	21.4	2.9	15.5	16.5	14.6	5.8	18.4
	90歳以上	60	41.7	26.7	23.3	1.7	8.3	10.0	8.3	10.0	8.3

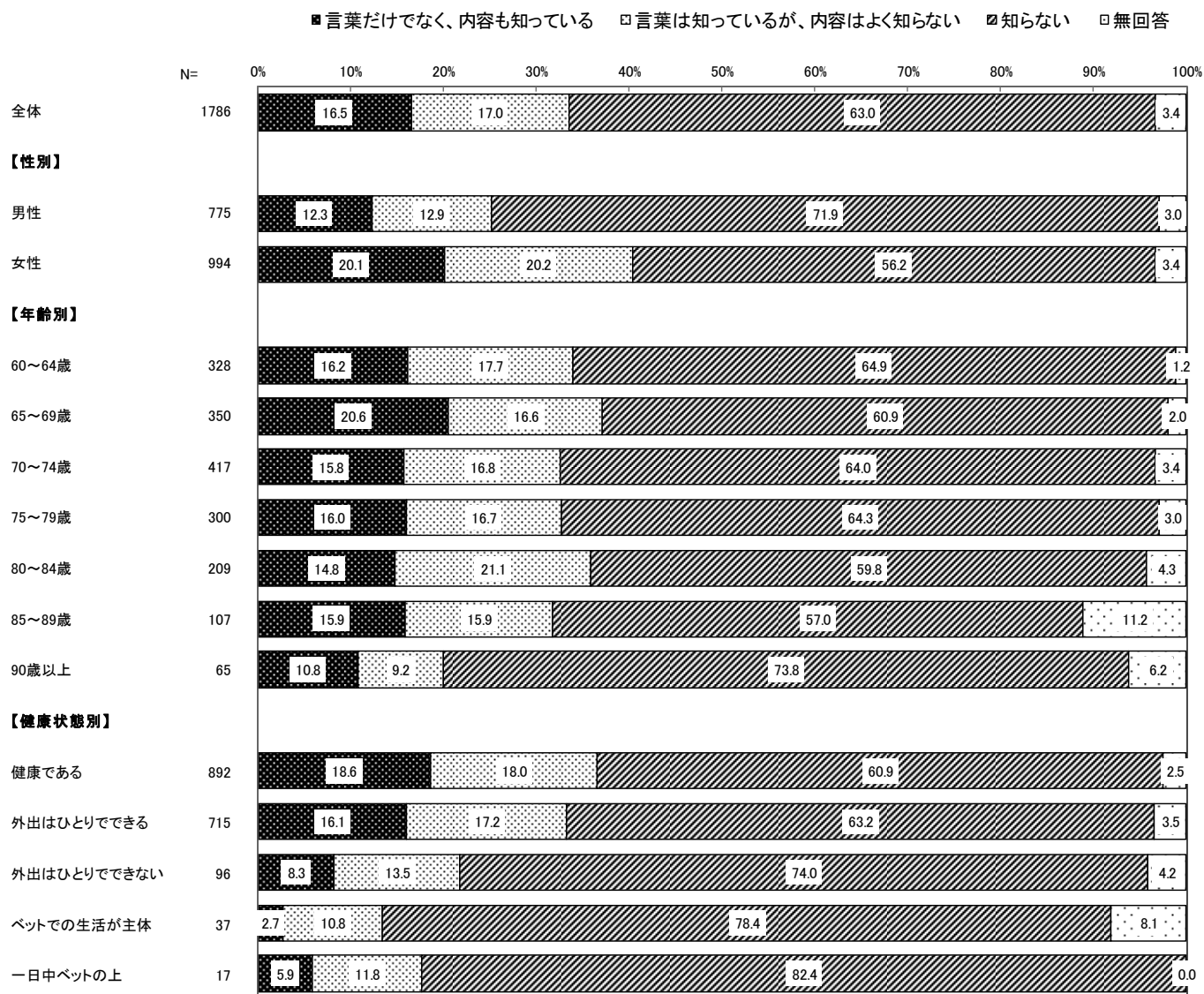
性別にみると、男性の方が女性より「医師などの専門家からの指導や助言」「検査の結果(数値など)が気になったため」の割合が高くなっている。一方、女性の方が男性より「テレビや新聞などの情報から自分で判断して」の割合が高くなっている。

年齢別にみると、90歳以上では「医師などの専門家からの指導や助言」の割合が4割を超え、他と比べて高くなっている。

(3) フレイルの認知度

問15 「フレイル」という言葉を知っていますか。(○は1つ)

【図表 3-7-1 フレイルの認知度×性別・年齢別】



フレイルの認知度は、「知らない」が63.0%で最も高く、次いで「言葉は知っているが、内容はよく知らない」が17.0%、「言葉だけでなく、内容も知っている」が16.5%となっている。

性別にみると、男性の方が女性より「知らない」の割合が高くなっている。

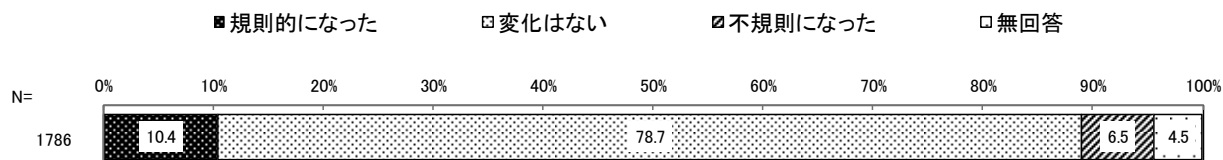
年齢別にみると、90歳以上では「知らない」の割合が他と比べて高くなっている。

健康状態別にみると、健康状態が良い人ほど「知らない」の割合が低くなっており、健康である人と一日中ベッドの上の人とでは、21.5ポイントの差があった。

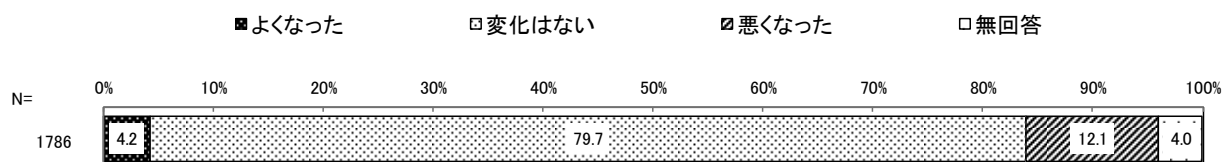
(4) 直近2年間の生活・体調の変化

問 16 直近2年間（新型コロナウイルス感染拡大後）で、生活や体調等で感じた変化はありますか。（項目ごとに○は1つ）

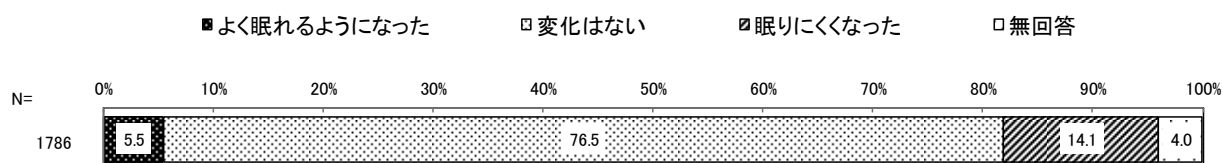
【図表 3-8-1 直近2年間の生活・体調の変化/生活リズム】



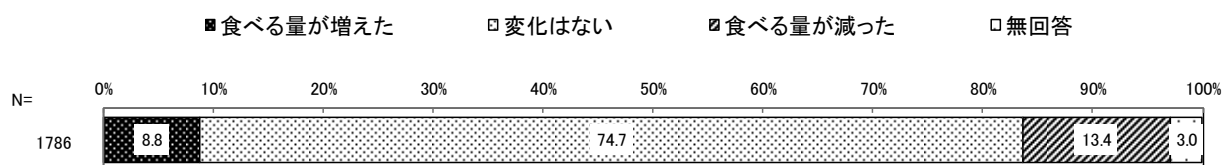
【図表 3-8-2 直近2年間の生活・体調の変化/体調】



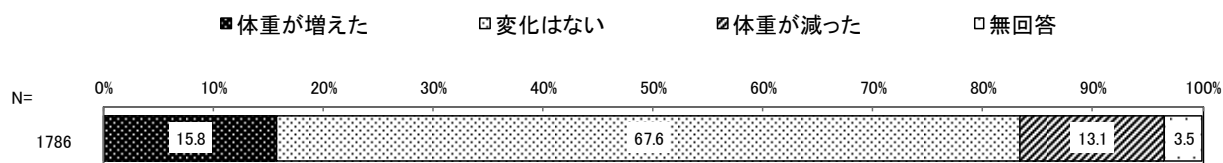
【図表 3-8-3 直近2年間の生活・体調の変化/睡眠】



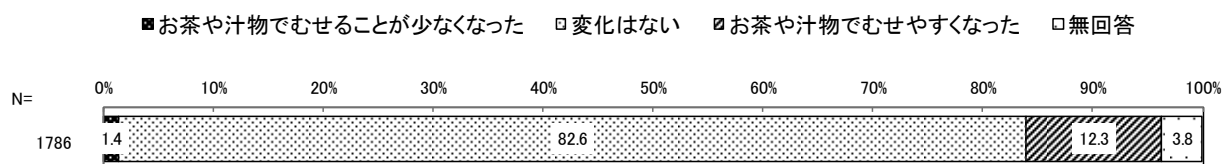
【図表 3-8-4 直近2年間の生活・体調の変化/食べる量】



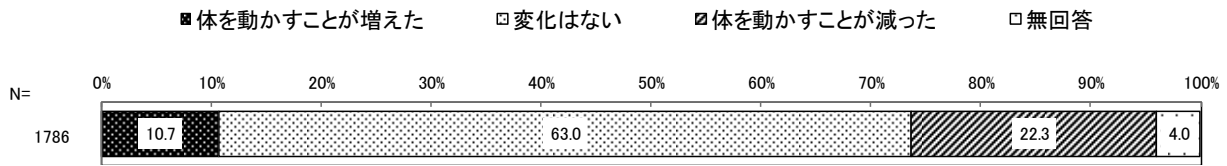
【図表 3-8-5 直近2年間の生活・体調の変化/体重】



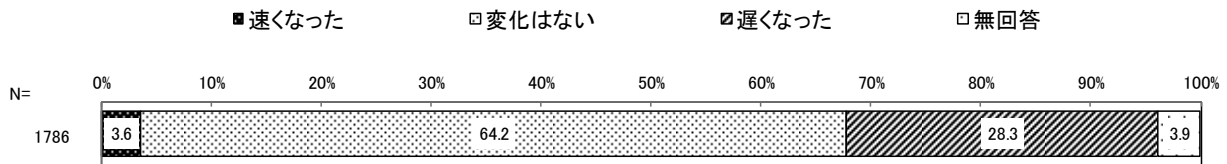
【図表 3-8-6 直近2年間の生活・体調の変化/口腔（飲み込み）】



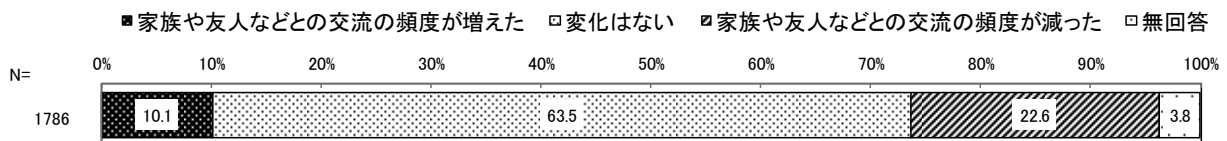
【図表 3-8-7 直近2年間の生活・体調の変化/運動】



【図表 3-8-8 直近2年間の生活・体調の変化/歩く速度】



【図表 3-8-9 直近2年間の生活・体調の変化/交流】



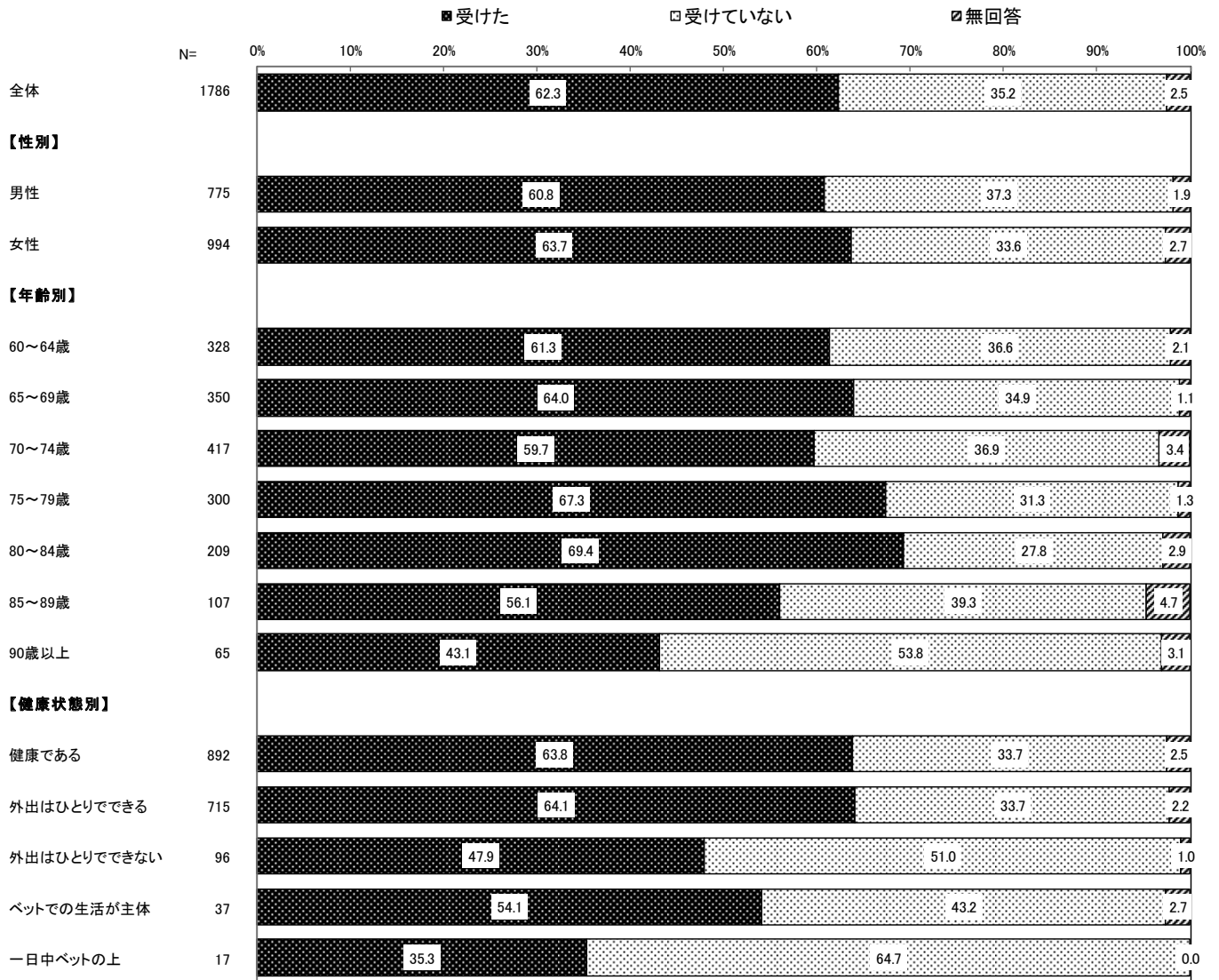
直近2年間（新型コロナウイルス感染拡大後）で感じた生活・体調の変化について、各項目において「変化はない」が63.0%から82.6%と最も高くなっている。

感じた変化が大きかった主な項目として、運動については、「体を動かすことが減った」が22.3%、歩く速度については、「遅くなった」が28.3%、交流については、「家族や友人などとの交流の頻度が減った」が22.6%となっている。

(5) 歯科の定期健診の有無

問 17 あなたは、この1年間に、歯科の定期健診を受けましたか。(○は1つ)

【図表 3-9-1 歯科の定期健診の有無×性別・年齢別・健康状態別】



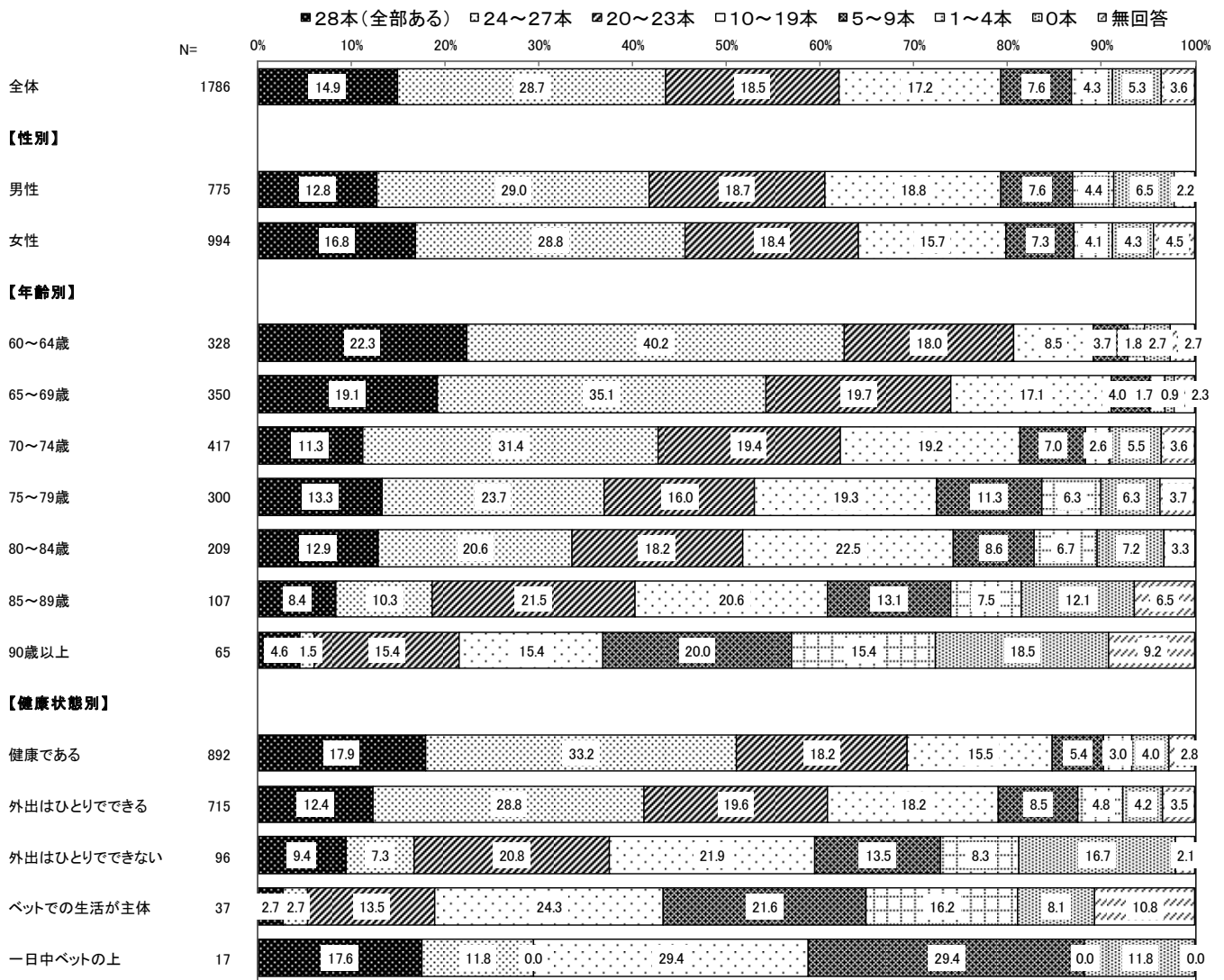
歯科の定期健診の有無は、「受けた」が 62.3%、「受けていない」が 35.2%となっている。  
年齢別にみると、90歳以上では「受けていない」の割合が 53.8%であり、「受けた」の割合を 10.7ポイント上回る結果となった。

健康状態別にみると、一日中ベッドの上の人は「受けていない」の割合が 64.7%であり、健康である人の 33.7%と比べて、31.0ポイントと大きな差が出る結果となった。

(6) 歯の本数

問 18 あなた自身の歯は何本ありますか。親知らず、入れ歯、ブリッジ（取り外しできない入れ歯）、インプラントは含みません。さし歯や金属をかぶせた歯はあなた自身の歯として数えます。（〇は1つ）

【図表 3-10-1 歯の本数×性別・年齢別・健康状態別】



歯の本数は、「24~27本」が28.7%で最も高く、次いで「20~23本」が18.5%、「10~19本」が17.2%となっている。

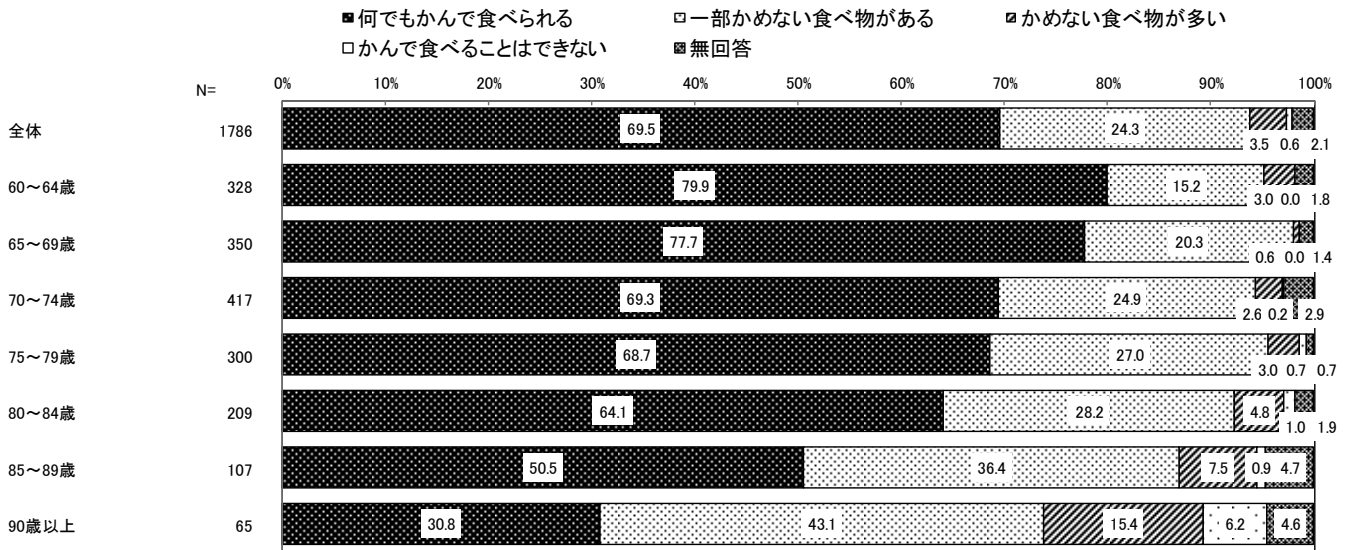
年齢別にみると、年齢が高くなるほど歯の本数は減少傾向にある。

健康状態別にみると、健康であるほど歯の本数も多い傾向がある。

(7) 咀嚼の状況

問 19 あなたは、どの程度、かんで食べることができますか。(○は1つ)

【図表 3-11-1 咀嚼の状況×年齢別】



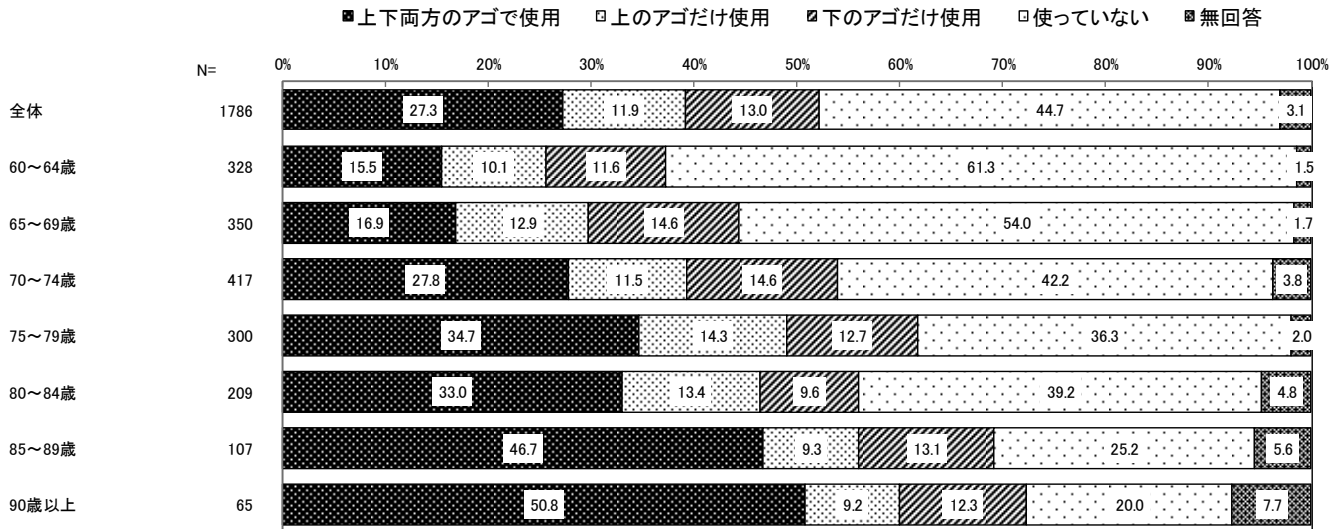
咀嚼の状況は、「何でもかんで食べられる」が69.5%で最も高く、次いで「一部かめない食べ物がある」が24.3%、「かめない食べ物が多い」が3.5%となっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「何でもかんで食べられる」の割合は低くなる傾向があり、90歳以上では30.8%となっている。

(8) 入れ歯・ブリッジの使用状況

問 20 あなたは、入れ歯やブリッジを使っていますか。(○は1つ)

【図表 3-12-1 入れ歯・ブリッジの使用状況×年齢別】



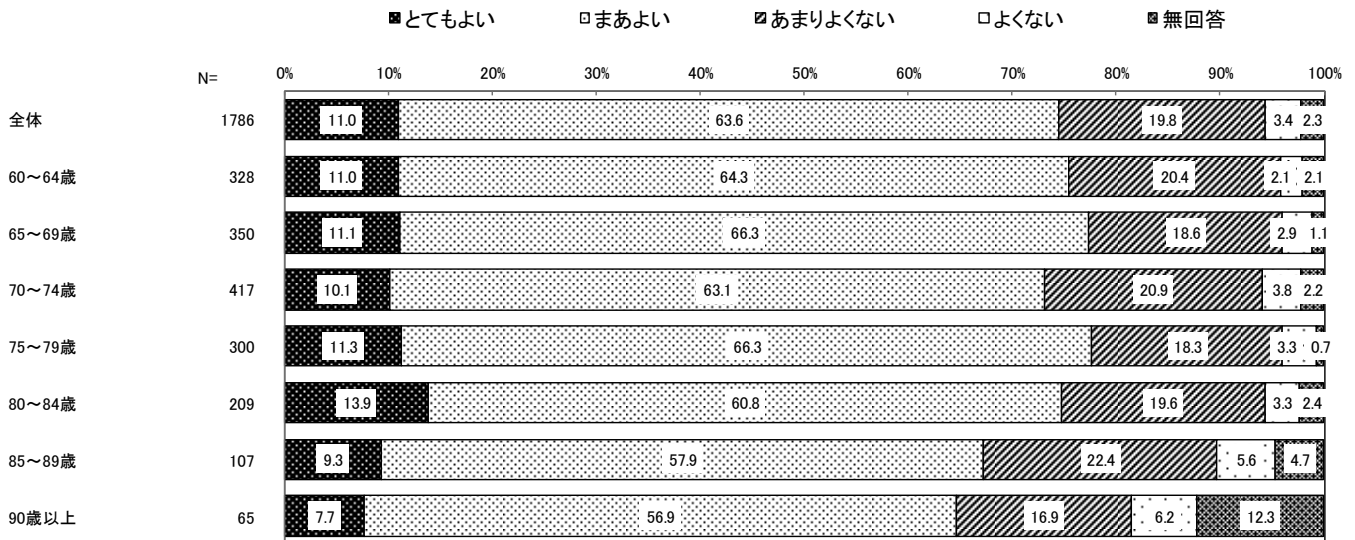
入れ歯・ブリッジの使用状況は、「使っていない」が44.7%で最も高く、次いで「上下両方のアゴで使用」が27.3%、「下のアゴだけ使用」が13.0%となっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「上下両方のアゴで使用」の割合が高くなる傾向があり、90歳以上では50.8%となっている。

(9) 口腔の健康状態

問 21 あなたの口（歯や歯ぐき，入れ歯）の健康状態はいかがですか。（○は1つ）

【図表 3-13-1 口腔の健康状態×年齢別】



口腔の健康状態は、「まあよい」が 63.6%で最も高く、次いで「あまりよくない」が 19.8%、「とてもよい」が 11.0%となっている。

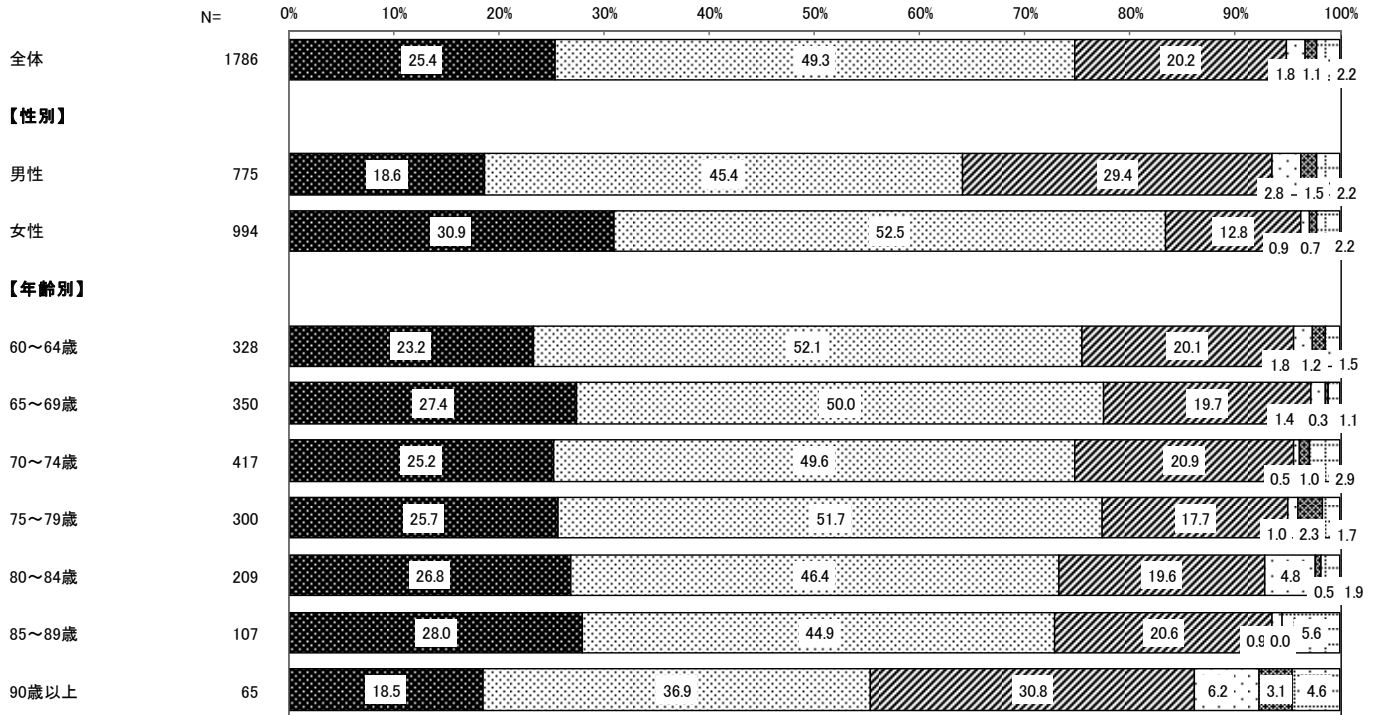
年齢別にみると、85～89歳、90歳以上では「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『よい』の割合が6割半ばと、他と比べて低くなっている。

(10) 歯みがきの頻度

問 22 あなたの歯みがきの頻度をお答えください。(○は1つ)

【図表 3-14-1 歯みがきの頻度×性別・年齢別】

■1日3回以上 □1日2回 ▨1日1回 □時々みがく ■みがかない □無回答



歯みがきの頻度は、「1日2回」が49.3%で最も高く、次いで「1日3回以上」が25.4%、「1日1回」が20.2%となっている。

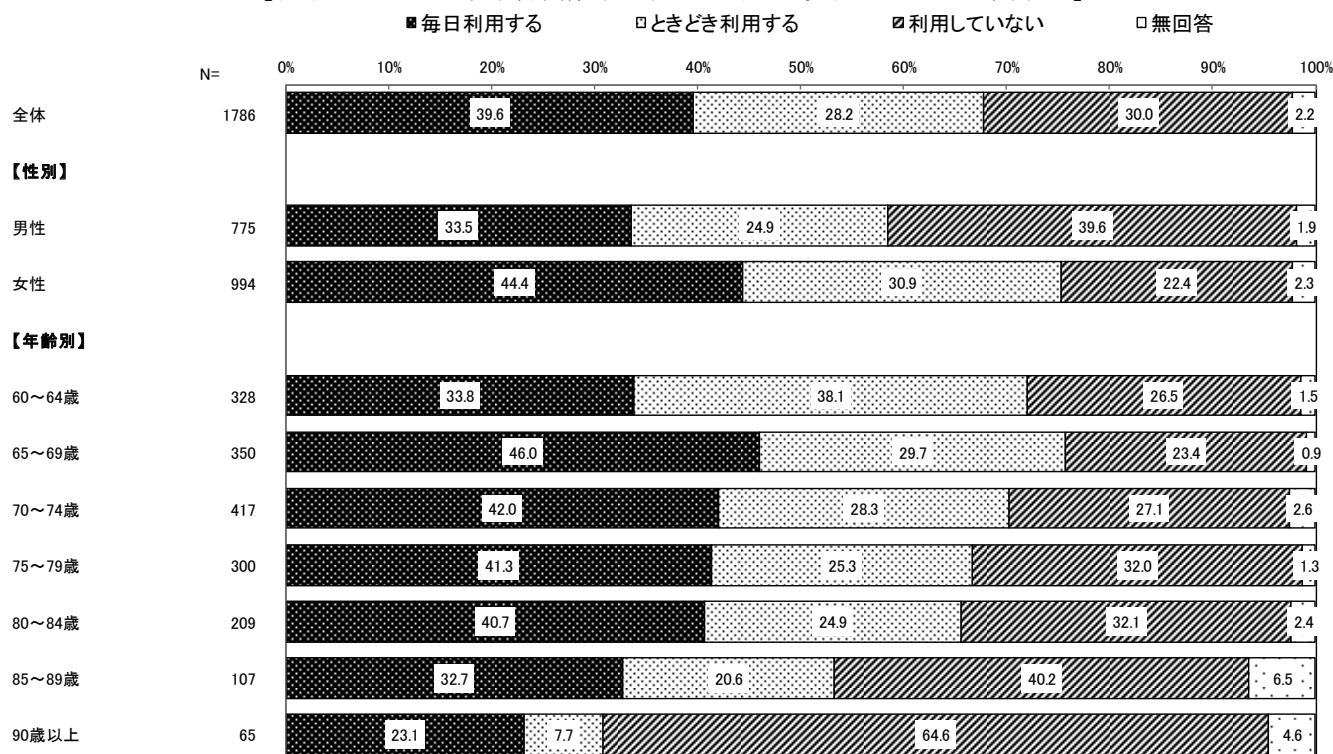
性別にみると、女性の方が男性よりも「1日3回以上」「1日2回」の割合が高くなっている。

年齢別にみると、90歳以上では「1日1回」の割合が他と比べて高く、3割を超えている。

## (11) 歯間部清掃用器具の使用状況

問 23 あなたは、歯間ブラシやデンタルフロスを利用していますか。(○は1つ)

【図表 3-15-1 歯間部清掃用器具の使用状況×性別・年齢別】



歯間部清掃用器具の使用状況は、「毎日利用する」が 39.6%で最も高く、次いで「利用していない」が 30.0%、「ときどき利用する」が 28.2%となっている。

性別にみると、男性の方が女性より「利用していない」の割合が高く、女性の方が男性より「毎日利用する」の割合が高くなっている。

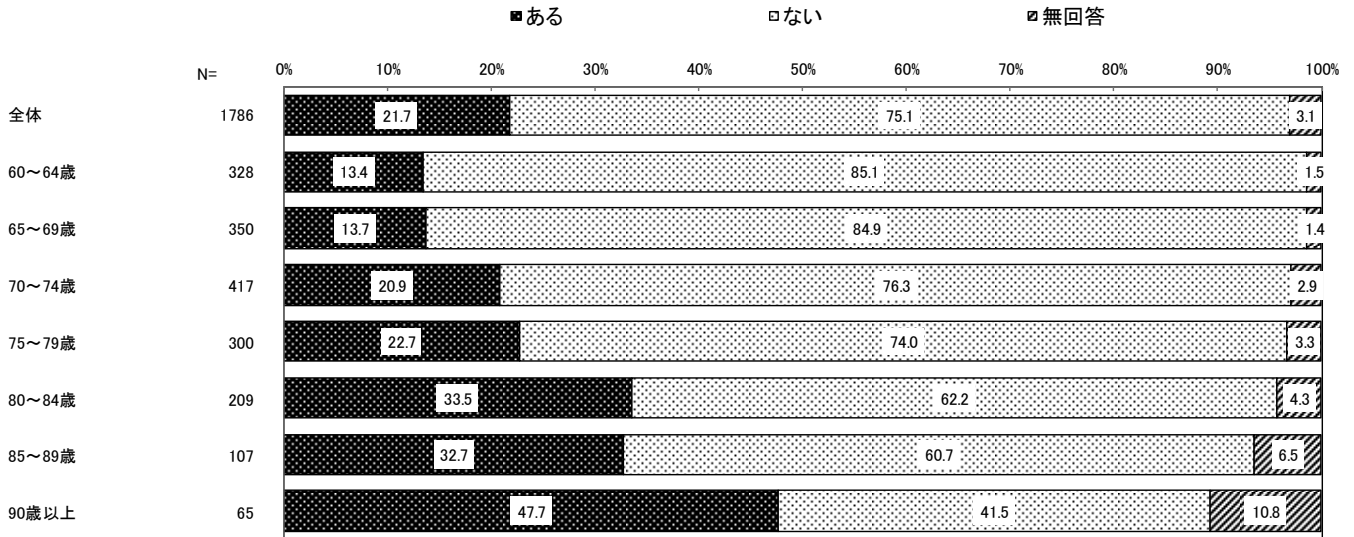
年齢別にみると、年齢が高くなるほど『利用する』（「毎日利用する」と「ときどき利用する」の合計）の割合は低くなっていく傾向があり、90歳以上では「利用していない」の割合が『利用する』の割合を上回った。

(12) 認知症への不安・相談先

① 認知症への不安

問 24 物忘れが多く、認知症ではないかと心配になることがありますか。(○は1つ)

【図表 3-16-1 認知症への不安×年齢別】



認知症への不安は、「ある」が 21.7%、「ない」が 75.1%となっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「ある」の割合も高くなっていく傾向がある。

【図表 3-16-2 認知症への不安×年齢別・要介護度別・健康状態別】

		回答数	ある	ない	無回答
全体		1786	21.7	75.1	3.1
年齢別	60～64歳	328	13.4	85.1	1.5
	65～69歳	350	13.7	84.9	1.4
	70～74歳	417	20.9	76.3	2.9
	75～79歳	300	22.7	74.0	3.3
	80～84歳	209	33.5	62.2	4.3
	85～89歳	107	32.7	60.7	6.5
	90歳以上	65	47.7	41.5	10.8
要介護度別	要介護認定の申請はしていない	1442	17.8	80.1	2.1
	要介護認定を申請したが、非該当(自立)だった	11	9.1	90.9	0.0
	要支援1	48	43.8	54.2	2.1
	要支援2	49	44.9	46.9	8.2
	要介護1	35	54.3	40.0	5.7
	要介護2	19	42.1	52.6	5.3
	要介護3	17	58.8	11.8	29.4
	要介護4	16	50.0	43.8	6.3
	要介護5	10	40.0	40.0	20.0
わからない	77	24.7	70.1	5.2	
健康状態別	健康である	892	14.6	83.0	2.5
	外出はひとりできる	715	24.8	73.0	2.2
	外出はひとりできない	96	46.9	50.0	3.1
	ベッドでの生活が主体	37	56.8	35.1	8.1
	一日中ベッドの上	17	52.9	29.4	17.6

要介護度別にみると、要介護1、要介護3、要介護4の人では「ある」の割合が「ない」の割合を上回っている。

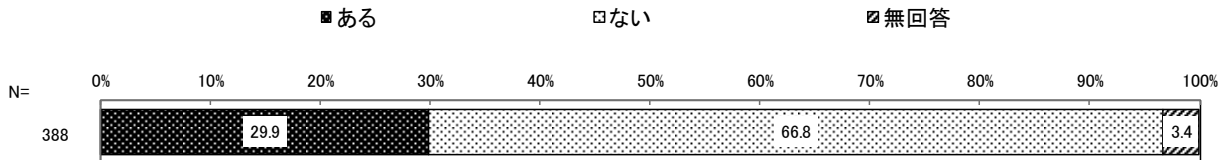
健康状態別にみると、ベッドでの生活が主体の人と一日中ベッドの上の人では、「ある」の割合が「ない」の割合を上回っている。

②認知症についての相談の有無

【問 24】で「1」と答えた方にうかがいます。

問 24-1 認知症について誰かに相談したことはありますか。(○は1つ)

【図表 3-16-3 認知症についての相談の有無】



認知症についての相談の有無は、「ある」が29.9%、「ない」が66.8%となっている。

【図表 3-16-4 認知症についての相談の有無×性別・年齢別】

		回答数	(%)		
			ある	ない	無回答
全体		388	29.9	66.8	3.4
性別	男性	151	21.2	75.5	3.3
	女性	231	35.1	61.9	3.0
年齢別	60～64歳	44	15.9	84.1	0.0
	65～69歳	48	20.8	68.8	10.4
	70～74歳	87	25.3	74.7	0.0
	75～79歳	68	25.0	70.6	4.4
	80～84歳	70	32.9	65.7	1.4
	85～89歳	35	40.0	51.4	8.6
	90歳以上	31	61.3	35.5	3.2

性別にみると、女性の方が男性より「ある」の割合が高くなっている。

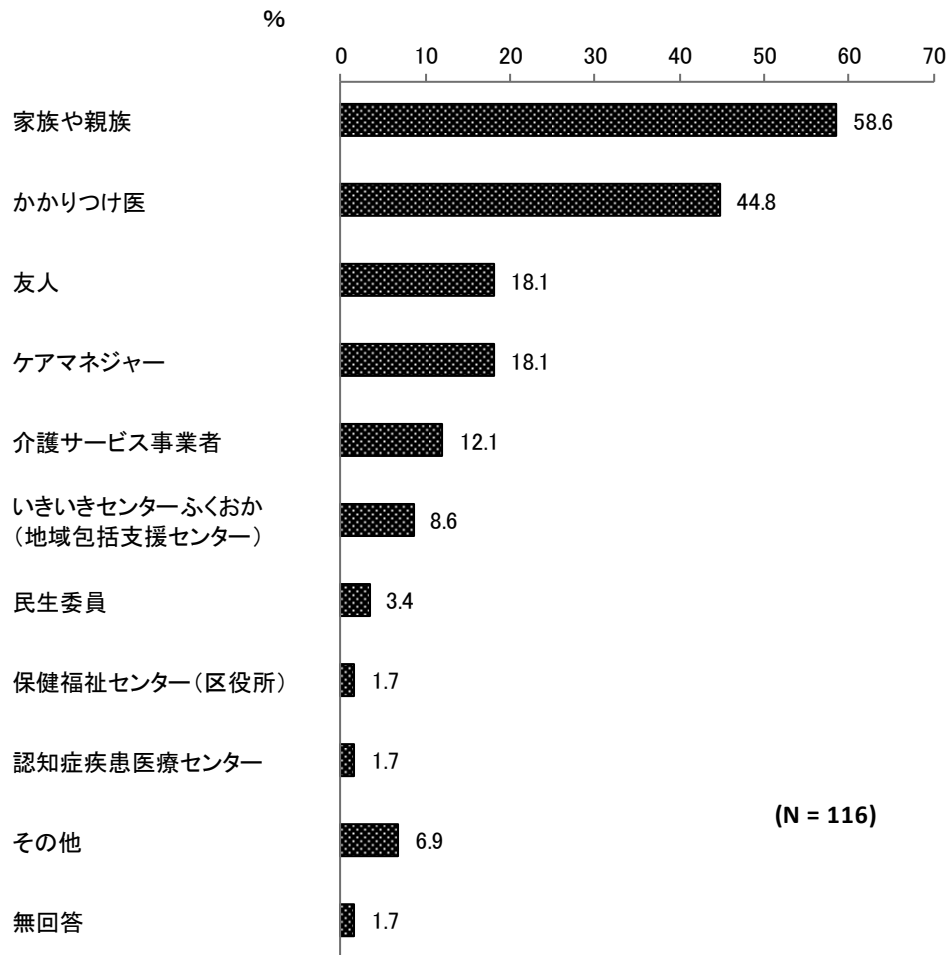
年齢別にみると、90歳以上では「ある」の割合が他と比べて高く、「ない」の割合を上回っている。

## ③認知症についての相談先

【問 24-1】で「1」と答えた方にうかがいます。

問 24-2 誰に相談しましたか。(〇はいくつでも)

【図表 3-16-5 認知症についての相談先】

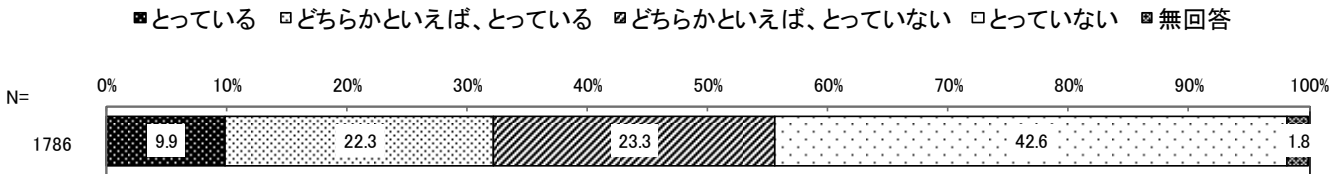


認知症についての相談先は、「家族や親族」が 58.6%で最も高く、次いで「かかりつけ医」が 44.8%、「友人」と「ケアマネジャー」がともに 18.1%となっている。

(13) 認知症を正しく理解する行動

問 25 認知症についての広報物に目を通したり、講座に参加したりするなど、認知症への正しい理解を得る行動をとっていますか。(〇は1つ)

【図表 3-17-1 認知症を正しく理解する行動】



認知症を正しく理解する行動は、「とっていない」が42.6%で最も高く、次いで「どちらかといえば、とっていない」が23.3%、「どちらかといえば、とっている」が22.3%となっている。

【図表 3-17-2 認知症を正しく理解する行動×年齢別】

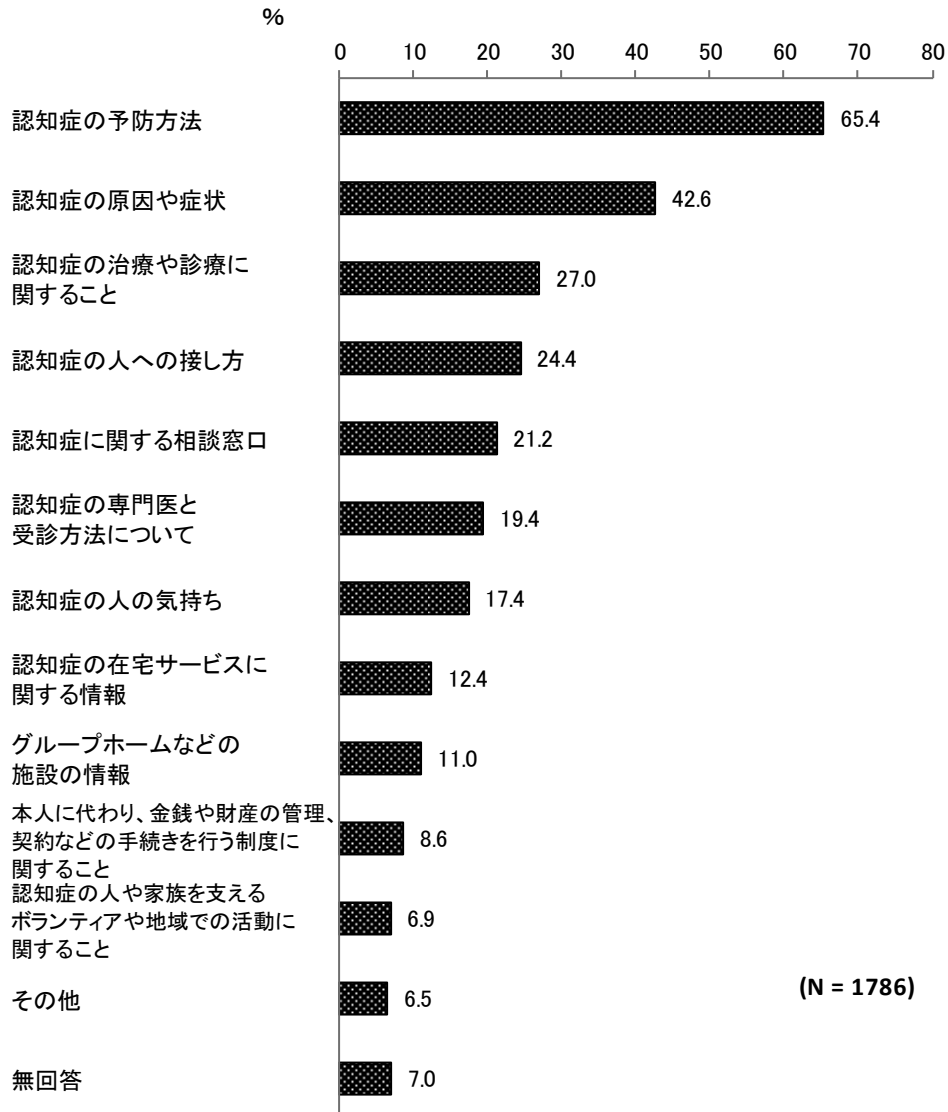
		(%)					
		回答数	とっている	どちらかといえば、とっている	どちらかといえば、とっていない	とっていない	無回答
全体		1786	9.9	22.3	23.3	42.6	1.8
年齢別	60～64歳	328	9.8	22.0	25.3	42.7	0.3
	65～69歳	350	9.4	23.1	20.3	45.7	1.4
	70～74歳	417	8.4	20.1	27.3	42.7	1.4
	75～79歳	300	13.3	24.7	21.3	38.3	2.3
	80～84歳	209	9.1	25.4	23.9	39.7	1.9
	85～89歳	107	11.2	21.5	21.5	43.0	2.8
	90歳以上	65	9.2	15.4	13.8	53.8	7.7

年齢別にみると、90歳以上では「とっていない」の割合が他の年代より高くなっている。

## (14) 認知症に関して知りたい内容

問 26 認知症に関してどのようなことが知りたいですか。(〇はいくつでも)

【図表 3-18-1 認知症に関して知りたい内容】

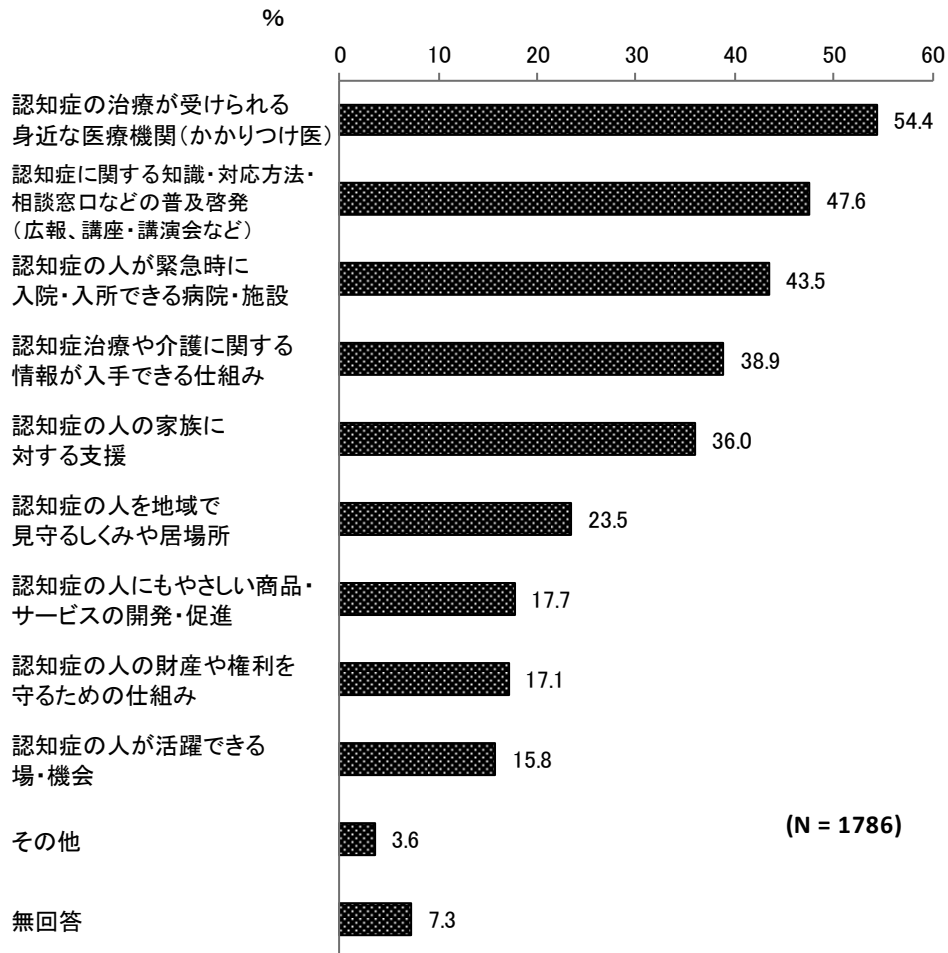


認知症に関して知りたい内容は、「認知症の予防方法」が 65.4%で最も高く、次いで「認知症の原因や症状」が 42.6%、「認知症の治療や診療に関すること」が 27.0%となっている。

(15) 認知症対策として充実してほしいこと

問 27 認知症対策として充実した方がよいと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

【図表 3-19-1 認知症対策として充実してほしいこと】



認知症対策として充実してほしいことは、「認知症の治療が受けられる身近な医療機関(かかりつけ医)」が 54.4%で最も高く、次いで「認知症に関する知識・対応方法・相談窓口などの普及啓発(広報、講座・講演会など)」が 47.6%、「認知症の人が緊急時に入院・入所できる病院・施設」が 43.5%となっている。

【図表 3-19-2 認知症対策として充実してほしいこと×性別・年齢別】

		回答数	認知症に関する知識・対応方法・相談窓口に、講演・講座・啓発など）	認知症の近隣の医療機関（かかりつけ医）	認知症の治療が受けられる身な医療を受け	認知症治療や介護に関する情報が入手でき	認知症の人が緊急時に入院・入所できる病院・施設	認知症の人の地域で見守る取り組みや居場所
全体		1786	47.6	54.4	38.9	43.5	23.5	
性別	男性	775	50.6	51.5	37.8	37.0	19.5	
	女性	994	45.6	56.8	40.0	48.4	27.1	
年齢別	60～64歳	328	54.0	61.0	51.8	50.3	30.2	
	65～69歳	350	47.1	57.1	40.6	47.4	28.0	
	70～74歳	417	48.7	54.2	40.0	44.8	23.7	
	75～79歳	300	47.3	53.3	32.7	40.3	20.0	
	80～84歳	209	45.5	51.7	34.0	37.8	19.1	
	85～89歳	107	37.4	40.2	29.0	28.0	15.9	
	90歳以上	65	33.8	49.2	18.5	38.5	9.2	
		対認知症の人の家族に	認知症の人が活躍できる場・機会	認知症の人のため財産や権利を守るための仕組	認知症の人にもやさしい商品の開発・促進	その他	無回答	
全体		36.0	15.8	17.1	17.7	3.6	7.3	
性別	男性	34.3	13.2	18.2	14.8	5.2	6.2	
	女性	37.6	18.0	16.6	20.0	2.3	8.1	
年齢別	60～64歳	54.9	19.8	24.7	24.7	2.1	1.8	
	65～69歳	41.4	18.6	23.1	20.0	3.1	4.0	
	70～74歳	32.9	13.9	14.1	15.8	4.8	6.7	
	75～79歳	30.3	15.3	11.7	14.0	4.0	12.0	
	80～84歳	24.9	14.4	13.9	15.3	4.3	9.6	
	85～89歳	16.8	8.4	11.2	12.1	4.7	15.0	
	90歳以上	26.2	9.2	12.3	16.9	0.0	13.8	

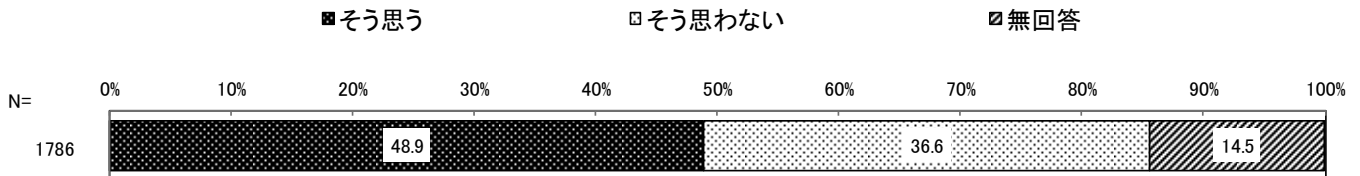
性別にみると、女性の方が男性より「認知症の人が緊急時に入院・入所できる病院・施設」の割合が高くなっている。

年齢別にみると、60～64歳ではどの項目でも他の年代を上回る結果となっている。

(16) 福岡市が認知症の人にとって暮らし続けることができるまちであるかの認識

問 28 福岡市は、認知症の人が住み慣れた地域で暮らし続けることができるまちだと思いますか。(○は1つ)

【図表 3-20-1 福岡市が認知症の人にとって暮らし続けることができるまちであるかの認識】



福岡市が認知症の人にとって暮らし続けることができるまちであるかの認識は、「そう思う」が 48.9%、「そう思わない」が 36.6%となっている。

【図表 3-20-2 福岡市が認知症の人にとって暮らし続けることができるまちであるかの認識×年齢別】

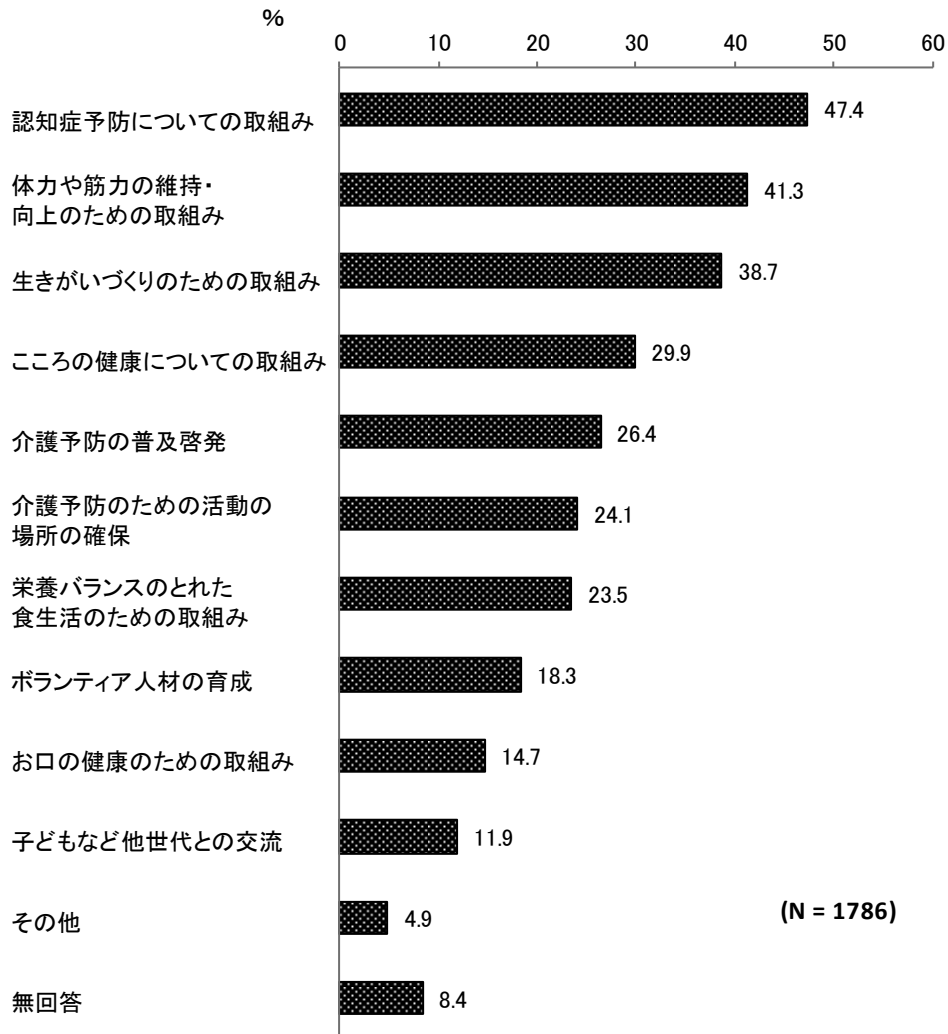
		回答数	そう思う	そう思わない	無回答
			(%)		
全体		1786	48.9	36.6	14.5
年齢別	60～64歳	328	49.1	45.7	5.2
	65～69歳	350	46.3	38.3	15.4
	70～74歳	417	46.3	38.8	14.9
	75～79歳	300	45.3	34.7	20.0
	80～84歳	209	56.5	29.7	13.9
	85～89歳	107	61.7	16.8	21.5
	90歳以上	65	52.3	29.2	18.5

年齢別にみると、すべての年代で「そう思う」の割合が「そう思わない」の割合を上回っているが、その差は年齢が低くなるほど小さくなる傾向があり、85～89歳では 44.9 ポイント差であるのに比べて、60～64歳では 3.4 ポイント差となっている。

## (17) 健康づくりで福岡市に力を入れてほしいこと

問 29 健康づくりや介護予防などの取組みについて、今後福岡市に力を入れてほしいことはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

【図表 3-21-1 健康づくりで福岡市に力を入れてほしいこと】



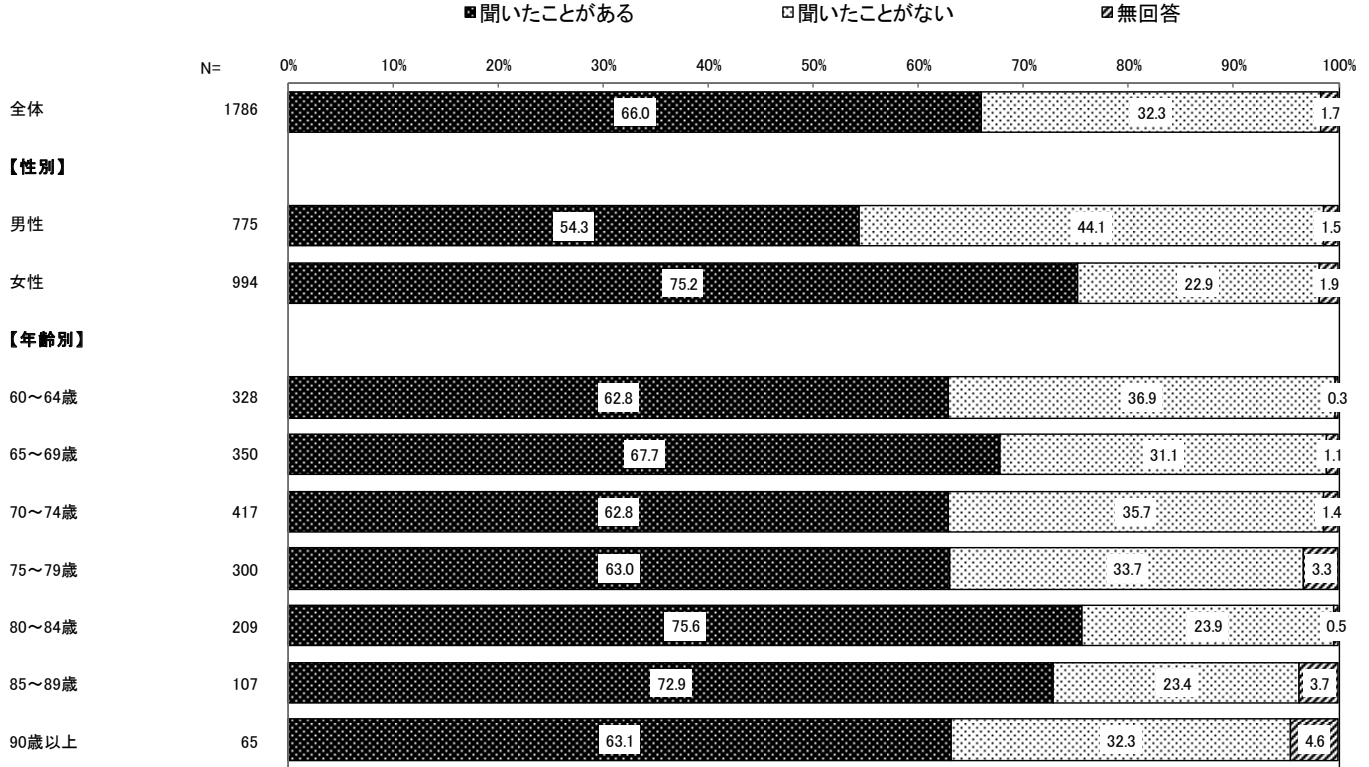
健康づくりで福岡市に力を入れてほしいことは、「認知症予防についての取組み」が47.4%で最も高く、次いで「体力や筋力の維持・向上のための取組み」が41.3%、「生きがいつくりのための取組み」が38.7%となっている。

### 3. いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）について

#### （1）いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の認知度

問 30 いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）という名前を聞いたことがありますか。（○は1つ）

【図表 3-22-1 いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の認知度×性別・年齢別】



いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の認知度は、「聞いたことがある」が66.0%、「聞いたことがない」が32.3%となっている。

性別にみると、女性の方が男性より「聞いたことがある」の割合が高く、75.2%となっている。

年齢別にみると、80～84歳、85～89歳では「聞いたことがある」が7割を超えており、他の年代より高い結果となった。

【図表 3-22-2 いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の認知度×経年比較】

			(%)		
		回答数	聞いたことがある	聞いたことがない	無回答
全体		1786	66.0	32.3	1.7
経年	令和元年度	1764	63.0	34.8	2.2
	平成28年度	1886	53.6	45.1	1.3
	平成25年度	2985	46.8	49.6	3.6
	平成22年度	2939	40.6	52.9	6.5

過去の調査結果と比較すると、「聞いたことがある」の割合は増加している。

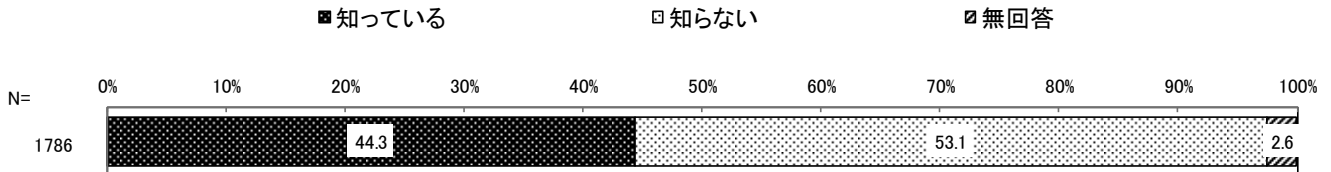
## 4. 権利擁護について

### (1) 高齢者虐待の通報義務の認知度

問 31 高齢者虐待（と思われること）を見たり、聞いたりした場合、市へ通報する義務があることを知っていますか。（○は1つ）

※通報先は、各区地域保健福祉課やいきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）です。

【図表 3-23-1 高齢者虐待の通報義務の認知度】

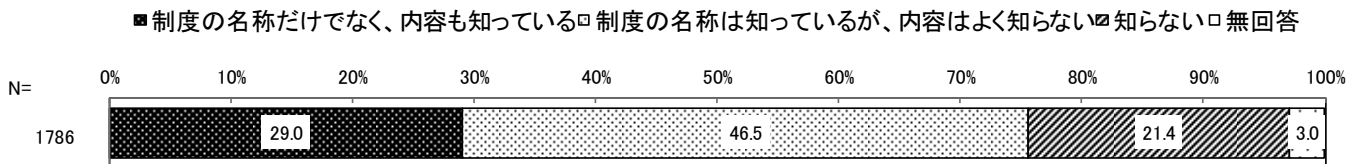


高齢者虐待の通報義務の認知度は、「知っている」が44.3%、「知らない」が53.1%となっている。

### (2) 成年後見制度の認知度

問 32 あなたは、「成年後見制度」を知っていますか。（○は1つ）

【図表 3-24-1 成年後見制度の認知度】



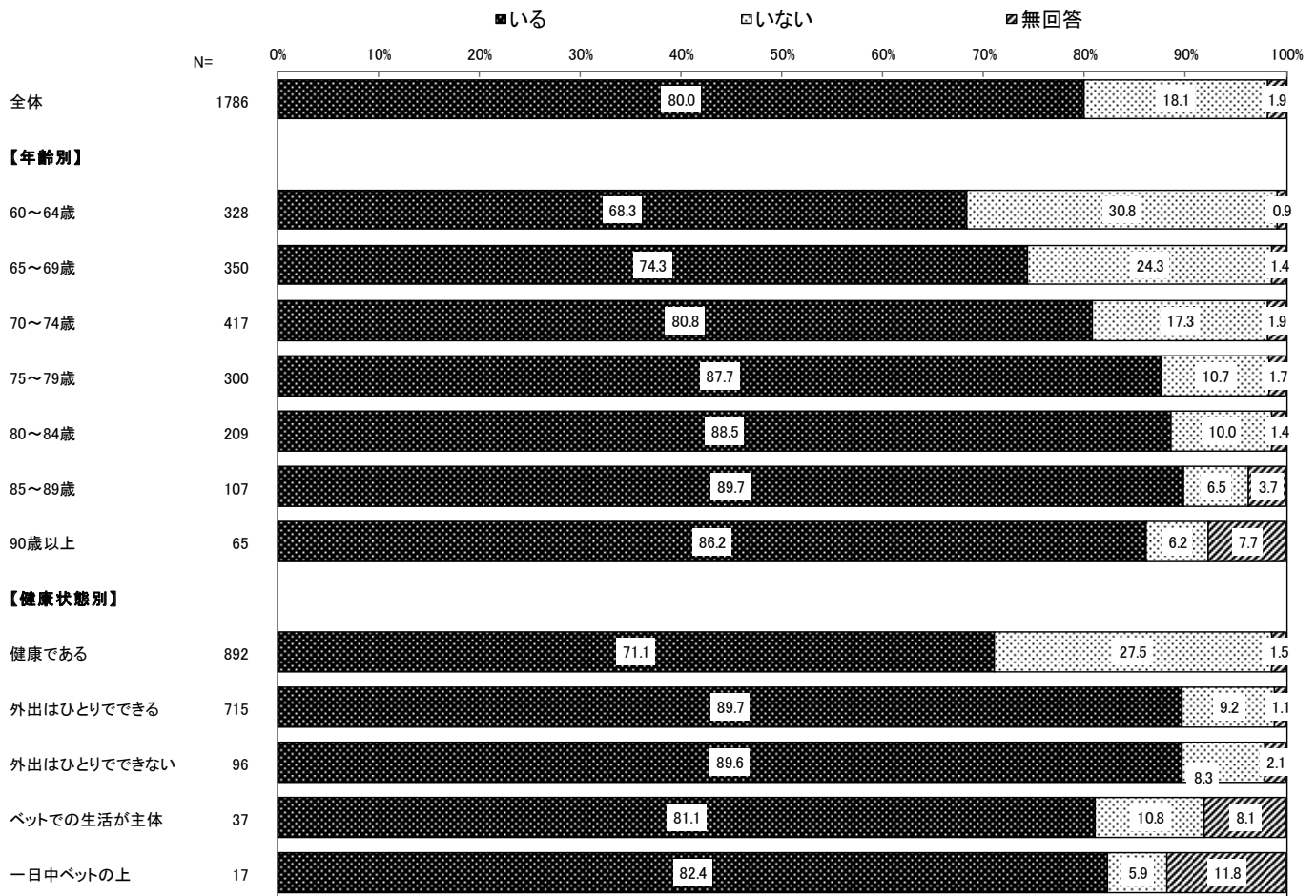
成年後見制度の認知度は、「制度の名称は知っているが、内容はよく知らない」が46.5%で最も高く、次いで「制度の名称だけでなく、内容も知っている」が29.0%、「知らない」が21.4%となっている。

## 5. 医療について

### (1) かかりつけ医の有無

問 33 あなたは、普段から健康状態や病気のことなどで相談でき、体調が悪いときなどに治療を受ける、かかりつけ医がいますか。(○は1つ)

【図表 3-25-1 かかりつけ医の有無×年齢別・健康状態別】



かかりつけ医の有無は、「いる」が80.0%、「いない」が18.1%となっている。

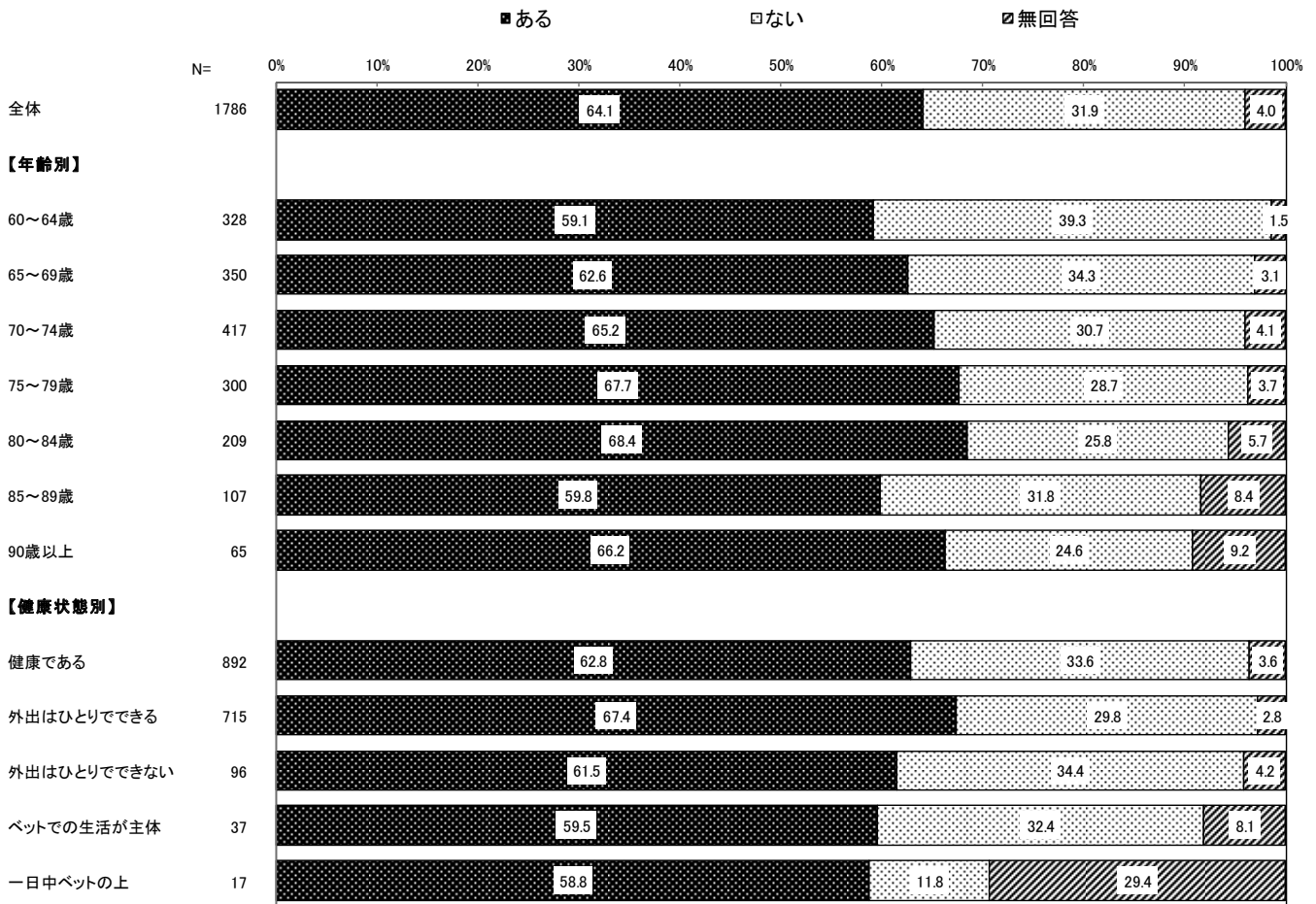
年齢別にみると、70歳以上では「いる」の割合が8割を超えている。また60～89歳では、年齢が高くなるほど「いる」の割合は高くなる傾向がみられた。

健康状態別にみると、健康である人は「いる」の割合が71.1%となっているのに比べ、他のすべての健康状態では「いる」の割合が8割を超えている。

(2) 在宅医療への関心

問 34 あなたは、在宅医療に関心がありますか。(○は1つ)

【図表 3-26-1 在宅医療への関心×年齢別・健康状態別】



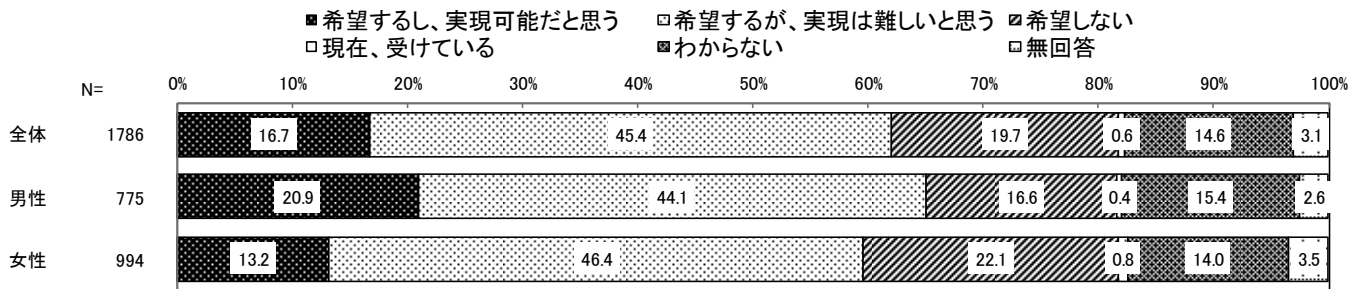
在宅医療への関心は、「ある」が 64.1%、「ない」が 31.9%となっている。  
 年齢別にみると、すべての年齢で「ある」の割合が「ない」の割合を上回っている。  
 健康状態別にみると、一日中ベッドの上の人では「ない」の割合が他と比べて低くなっている。

(3) 在宅医療の希望

①在宅医療の希望・実現可能性

問 35 あなたは、脳卒中の後遺症やがんなどで長期の治療が必要となった場合、在宅医療を希望しますか。また、実現可能と思いますか。(○は1つ)

【図表 3-27-1 在宅医療の希望・実現可能性×性別】



在宅医療の希望は、「希望するし、実現可能だと思う」が16.7%、「希望するが、実現は難しいと思う」が45.4%で、これらを合わせた『希望する』が62.1%であり、「希望しない」が19.7%となっている。

性別にみると、男性の方が女性より「希望するし、実現可能だと思う」の割合が高くなっている。

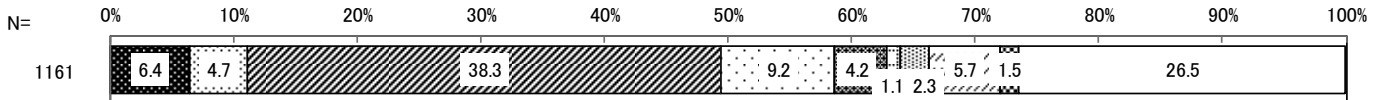
②在宅医療を希望しない・実現が難しい理由

【問 35】で「2」か「3」と答えた方にかがいます。

問 35-1 あなたが、在宅医療を「希望しない」、または「実現が難しい」と思う理由は何ですか。(〇は1つ)

【図表 3-27-2 在宅医療を希望しない・実現が難しい理由】

- 往診などをしてくれる医師がいないから
- 家族に負担をかけるから
- 急に病状が変わったときの対応が不安だから
- 療養できる部屋やトイレなどの在宅環境が整っていないから
- その他
- 訪問看護や介護の体制が不十分だから
- 介護してくれる家族がいないから
- 医師や看護師の訪問が精神的に負担になるから
- 経済的に負担が大きいから
- 無回答



在宅医療を希望しないまたは実現が難しい理由は、「家族に負担をかけるから」が 38.3% で最も高く、次いで「介護してくれる家族がいないから」が 9.2%、「往診などをしてくれる医師がいないから」が 6.4%となっている。

【図表 3-27-3 在宅医療を希望しない・実現が難しい理由×年齢別・世帯構成別】

		回答数	往診などをしてくれる医師がいないから	訪問看護や介護の体制が不十分だから	家族に負担をかけるから	介護してくれる家族がいないから	急に病状が変わったときの対応が不安だから	医師や看護師の訪問が精神的に負担になるから	訪問看護や介護の体制が不十分だから	介護してくれる家族がいないから	医師や看護師の訪問が精神的に負担になるから	療養できる部屋やトイレなどの在宅環境が整っていないから	経済的に負担が大きいから	その他	無回答
全体		1161	6.4	4.7	38.3	9.2	4.2	1.1	2.3	5.7	1.5	26.5	26.5	1.5	26.5
年齢別	60～64歳	228	5.7	3.1	37.7	7.5	2.6	0.4	1.3	4.8	1.3	35.5	35.5	1.3	35.5
	65～69歳	236	3.0	2.5	45.3	7.6	3.4	0.4	2.5	2.5	2.1	30.5	30.5	2.1	30.5
	70～74歳	274	5.1	5.8	37.6	8.8	4.7	1.8	2.9	7.3	2.6	23.4	23.4	2.6	23.4
	75～79歳	177	7.3	5.1	42.4	9.6	3.4	0.0	1.7	7.9	0.0	22.6	22.6	0.0	22.6
	80～84歳	132	8.3	7.6	25.8	13.6	6.8	2.3	3.0	9.1	0.8	22.7	22.7	0.8	22.7
	85～89歳	63	19.0	6.3	33.3	11.1	7.9	1.6	1.6	4.8	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3
世帯構成別	90歳以上	45	4.4	6.7	40.0	11.1	4.4	4.4	4.4	0.0	2.2	22.2	22.2	2.2	22.2
	一人暮らし世帯	262	4.2	5.3	17.6	26.7	3.4	2.3	0.8	8.8	1.5	29.4	29.4	1.5	29.4
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	373	8.3	5.1	43.4	4.0	5.9	0.5	2.9	6.2	0.8	22.8	22.8	0.8	22.8
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	73	5.5	5.5	46.6	2.7	2.7	0.0	1.4	1.4	2.7	31.5	31.5	2.7	31.5
	夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	70	7.1	0.0	50.0	4.3	4.3	0.0	2.9	5.7	1.4	24.3	24.3	1.4	24.3
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	45	4.4	8.9	42.2	11.1	4.4	0.0	2.2	2.2	0.0	24.4	24.4	0.0	24.4
	二世帯同居世帯	216	6.0	3.7	48.1	3.7	2.3	1.9	2.8	2.8	1.9	26.9	26.9	1.9	26.9
	三世帯同居世帯	36	2.8	8.3	38.9	0.0	8.3	2.8	0.0	0.0	0.0	38.9	38.9	0.0	38.9
その他の世帯	66	4.5	1.5	37.9	4.5	4.5	0.0	6.1	12.1	4.5	24.2	24.2	4.5	24.2	

年齢別にみると、85～89歳では「往診などをしてくれる医師がいないから」の割合が他と比べて高くなっている。

世帯構成別にみると、一人暮らし世帯では「介護してくれる家族がいないから」の割合が他と比べて高い。

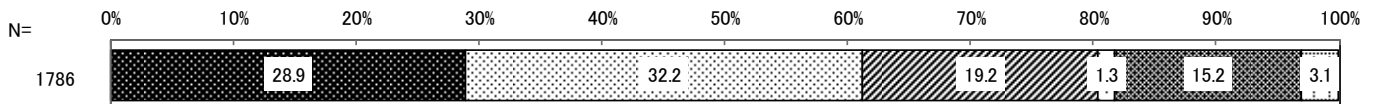
(4) 最期を迎えたい場所

問 36 万一、あなたが治る見込みがない病気になった場合、最期はどこで迎えたいですか。

(○は1つ)

【図表 3-28-1 最期を迎えたい場所】

■自宅(親族の家を含む) □医療機関 ▨介護サービスが受けられる施設 □その他 ■わからない □無回答



最期を迎えたい場所は、「医療機関」が 32.2%で最も高く、次いで「自宅(親族の家を含む)」が 28.9%、「介護サービスが受けられる施設」が 19.2%となっている。

【図表 3-28-2 最期を迎えたい場所×性別・世帯構成別】

		回答数	自宅(親族の家を含む)	医療機関	介護サービスが受けられる施設	その他	わからない	無回答
全体		1786	28.9	32.2	19.2	1.3	15.2	3.1
性別	男性	775	34.7	30.8	15.1	0.6	15.7	3.0
	女性	994	24.3	33.1	22.4	1.8	15.1	3.2
世帯構成別	一人暮らし世帯	415	20.0	34.5	22.7	1.9	18.8	2.2
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	569	32.9	33.4	16.2	1.1	13.2	3.3
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	120	26.7	28.3	22.5	0.8	18.3	3.3
	夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	100	35.0	27.0	19.0	0.0	18.0	1.0
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	72	23.6	26.4	26.4	2.8	19.4	1.4
	二世帯同居世帯	308	32.1	32.1	18.2	1.6	13.3	2.6
	三世帯同居世帯	56	41.1	28.6	14.3	0.0	10.7	5.4
その他の世帯	114	28.1	32.5	20.2	0.9	12.3	6.1	

性別にみると、男性の方が女性より「自宅(親族の家を含む)」の割合が高くなっている。一方、女性の方が男性より「介護サービスが受けられる施設」の割合が高くなっている。

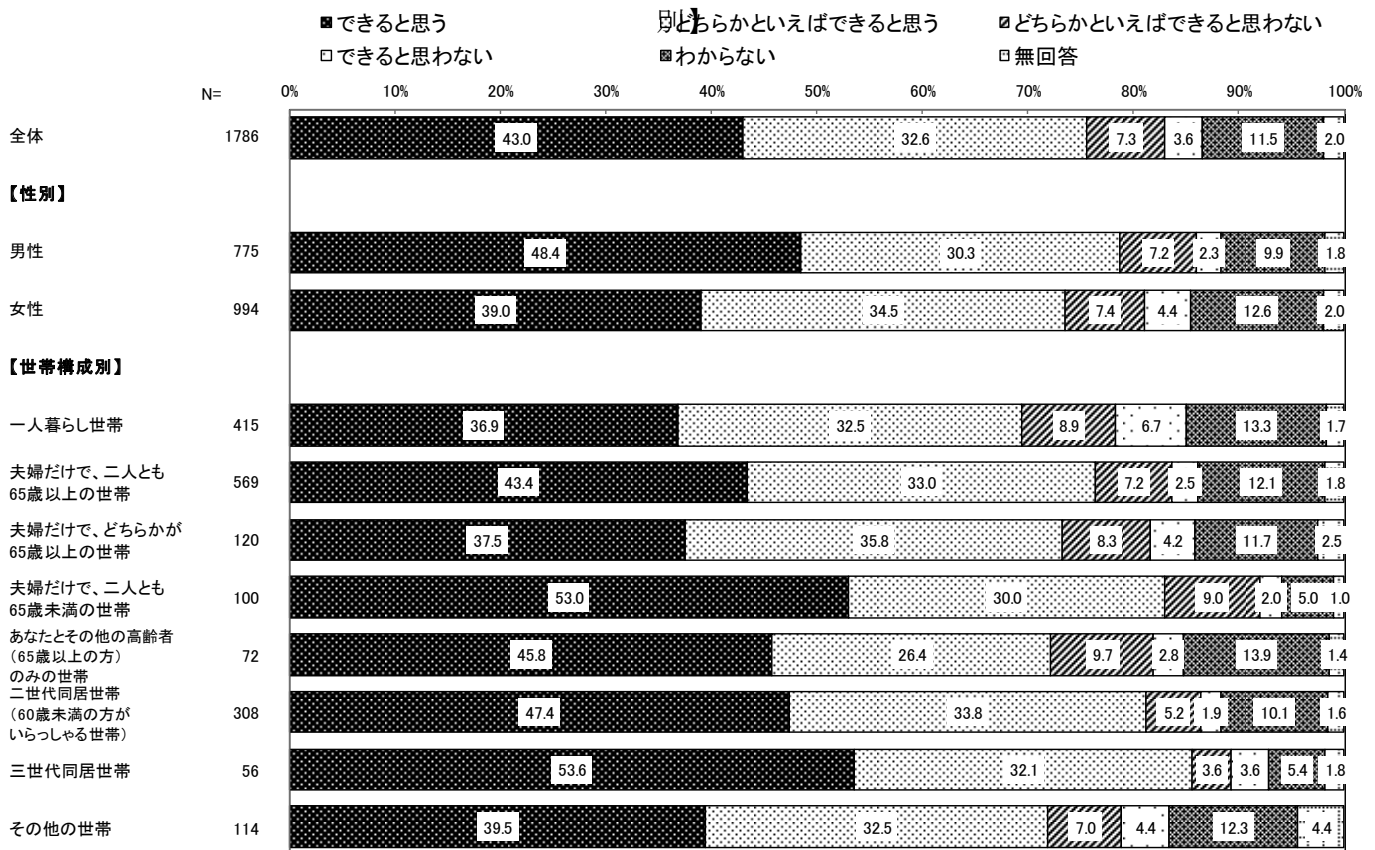
世帯構成別にみると、一人暮らし世帯では「自宅(親族の家を含む)」の割合が低くなっている。三世帯同居世帯では「自宅(親族の家を含む)」の割合が4割を超え、高い結果となっている。

## 6. これからについて

### (1) 住み慣れた地域で暮らし続けることができると思うか

問 37 あなたは、これから年齢を重ねても、住み慣れた地域で暮らし続けることができますか。(〇は1つ)

【図表 3-29-1 住み慣れた地域で暮らし続けることができると思うか×性別・世帯構成】



住み慣れた地域で暮らし続けることができると思うかは、「できると思う」が43.0%、「どちらかといえばできると思う」が32.6%で、これらを合わせた『できると思う』が75.6%となっている。

性別にみると、男性の方が女性より「できると思う」の割合が高くなっている。

世帯構成別にみると、夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯と三世帯同居世帯では「できると思う」の割合が5割を超え、他と比べて高くなっている。

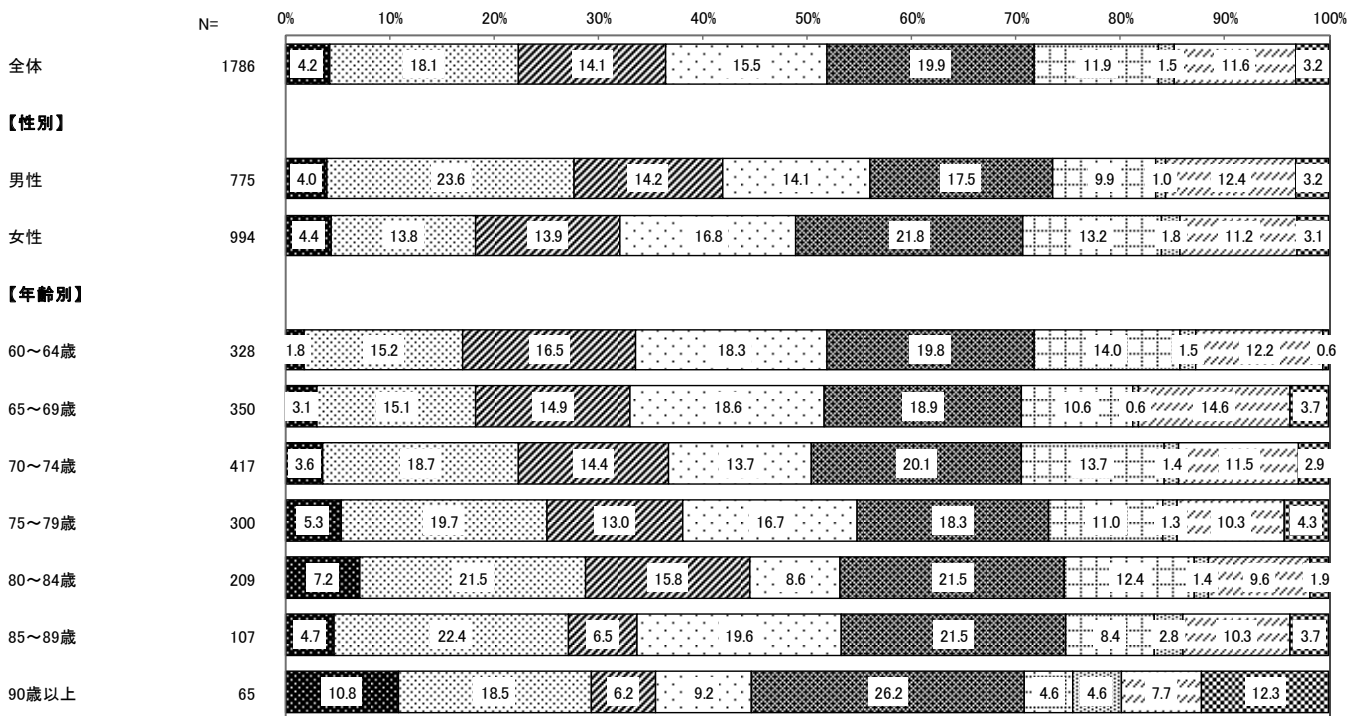
(2) 今後の介護意向

問 38 あなたは、介護が必要となったとき、どのようにしたいと考えていますか。

(○は1つ)

【図表 3-30-1 今後の介護意向×性別・年齢別】

- 在宅で、できるかぎり家族だけでの介護を受けたい
- 在宅で、家族の介護と介護保険サービスを併せて介護を受けたい
- ▨ 在宅で、介護保険サービスを中心に介護を受けたい
- ▩ 施設などに入所したいが、介護保険の在宅サービスが充実すれば、これからも在宅で生活したい
- ▧ 住み慣れた地域の施設に入所したい
- ▦ 住み慣れた地域でなくてもよいので施設に入所したい
- その他
- わからない
- 無回答



今後の介護意向は、全体では「住み慣れた地域の施設に入所したい」が19.9%で最も高く、次いで「在宅で、家族の介護と介護保険サービスを併せて介護を受けたい」が18.1%、「施設などに入所したいが、介護保険の在宅サービスが充実すれば、これからも在宅で生活したい」が15.5%となっている。また「在宅で、できるかぎり家族だけでの介護を受けたい」「在宅で、家族の介護と介護保険サービスを併せて介護を受けたい」「在宅で、介護保険サービスを中心に介護を受けたい」「施設などに入所したいが、介護保険の在宅サービスが充実すれば、これからも在宅で生活したい」を合わせた『在宅で生活したい』の割合は51.9%と半数を超えている。

【図表 3-30-2 今後の介護意向×性別・年齢別・世帯構成別】

		回答数	を在宅で生活したい	在宅で生活したい	在宅で生活したい	在宅で生活したい	在宅で生活したい	在宅で生活したい	在宅で生活したい	その他	わからない	無回答
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体		1786	4.2	18.1	14.1	15.5	19.9	11.9	1.5	11.6	3.2	
性別	男性	775	4.0	23.6	14.2	14.1	17.5	9.9	1.0	12.4	3.2	
	女性	994	4.4	13.8	13.9	16.8	21.8	13.2	1.8	11.2	3.1	
年齢別	60～64歳	328	1.8	15.2	16.5	18.3	19.8	14.0	1.5	12.2	0.6	
	65～69歳	350	3.1	15.1	14.9	18.6	18.9	10.6	0.6	14.6	3.7	
	70～74歳	417	3.6	18.7	14.4	13.7	20.1	13.7	1.4	11.5	2.9	
	75～79歳	300	5.3	19.7	13.0	16.7	18.3	11.0	1.3	10.3	4.3	
	80～84歳	209	7.2	21.5	15.8	8.6	21.5	12.4	1.4	9.6	1.9	
	85～89歳	107	4.7	22.4	6.5	19.6	21.5	8.4	2.8	10.3	3.7	
	90歳以上	65	10.8	18.5	6.2	9.2	26.2	4.6	4.6	7.7	12.3	
世帯構成別	一人暮らし世帯	415	2.2	10.1	20.2	12.3	20.5	14.5	2.4	14.9	2.9	
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	569	4.7	21.6	14.6	15.3	19.2	11.2	0.7	9.5	3.2	
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	120	3.3	21.7	7.5	16.7	16.7	15.8	0.8	13.3	4.2	
	夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	100	2.0	17.0	20.0	18.0	22.0	10.0	0.0	9.0	2.0	
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	72	4.2	15.3	5.6	15.3	26.4	15.3	1.4	15.3	1.4	
	二世帯同居世帯	308	5.5	24.7	11.4	18.8	18.5	10.1	1.3	7.1	2.6	
	三世帯同居世帯	56	8.9	17.9	10.7	19.6	25.0	10.7	0.0	5.4	1.8	
	その他の世帯	114	5.3	12.3	7.0	15.8	19.3	7.0	5.3	21.9	6.1	

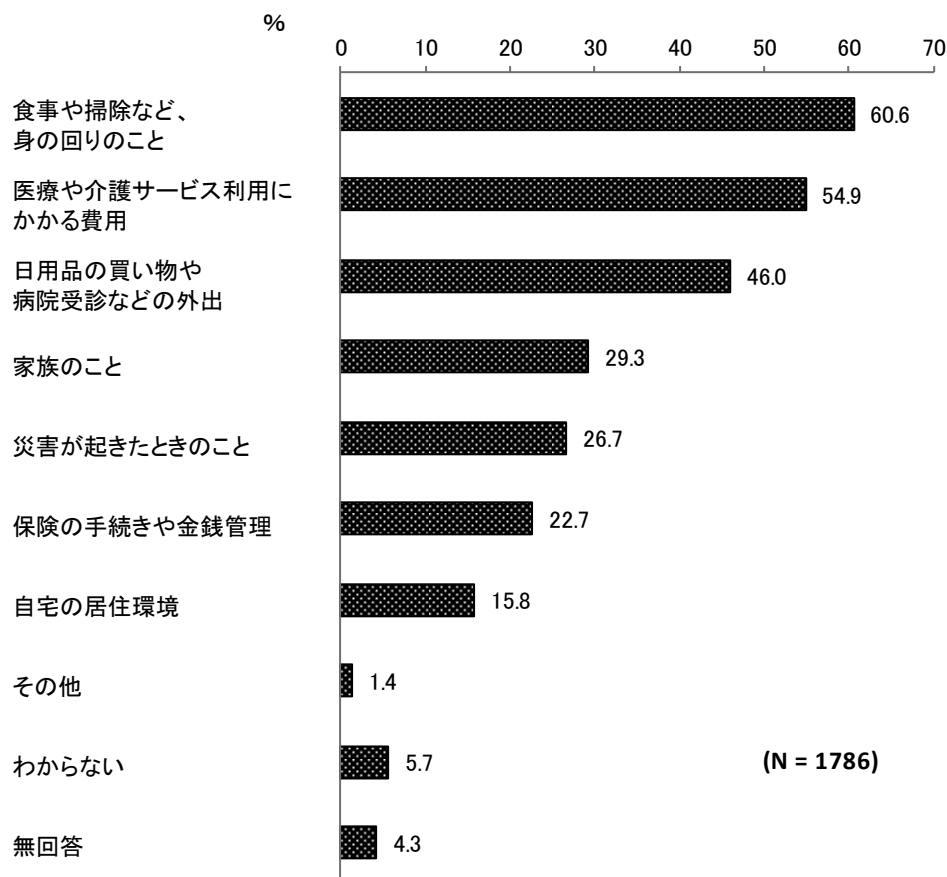
性別にみると、男性の方が女性より『在宅で生活したい』の割合が高くなっている。  
 年齢別にみると、90歳以上では「在宅で、できるかぎり家族だけでの介護を受けた  
 い」の割合は他と比べて高くなっているが、『在宅で生活したい』の割合は4割半ばであり、他と比べて低い結果となっている。

世帯構成別にみると、あなたとその他の高齢者（65歳以上の方）のみの世帯では『在宅で生活したい』の割合が40.4%であり、他に比べて低い結果となっている。また、二世帯同居世帯（65歳未満の方がいらっしゃる世帯）では『在宅で生活したい』の割合が6割を超えている。

(3) 医療や介護が必要になったとき不安なこと

問 39 あなたが、医療や介護が必要になったとき、どのようなことが不安ですか。  
(〇はいくつでも)

【図表 3-31-1 医療や介護が必要になったとき不安なこと】



医療や介護が必要になったとき不安なことは、「食事や掃除など、身の回りのこと」が60.6%で最も高く、次いで「医療や介護サービス利用にかかる費用」が54.9%、「日用品の買い物や病院受診などの外出」が46.0%となっている。

【図表 3-31-2 医療や介護が必要になったとき不安なこと×健康状態別】

		回答数	の食事や掃除など、身の回りのこと	院日用品の買い物や病	こ災害が起きたときのこと	自宅の居住環境	医療や介護サービス利用にかかる費用	管理の保険の手続きや金銭	家族のこと	その他	わからない	無回答
全体		1786	60.6	46.0	26.7	15.8	54.9	22.7	29.3	1.4	5.7	4.3
健康状態別	健康である	892	61.5	45.2	24.3	16.8	54.3	22.6	30.9	1.5	5.7	3.1
	外出はひとりできる	715	62.5	49.5	29.2	15.8	57.8	23.6	29.7	1.1	4.9	4.2
	外出はひとりできない	96	53.1	44.8	31.3	10.4	42.7	26.0	25.0	2.1	7.3	6.3
	ペットでの生活が主体	37	40.5	29.7	32.4	10.8	56.8	13.5	18.9	5.4	10.8	13.5
	一日中ベッドの上	17	29.4	5.9	11.8	11.8	47.1	11.8	11.8	0.0	17.6	11.8

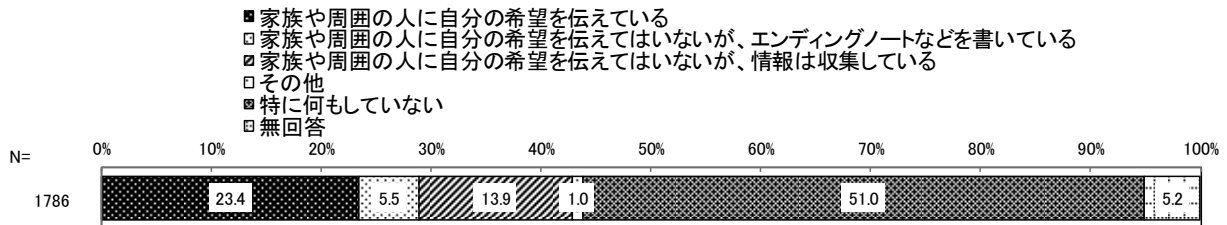
健康状態別にみると、大きな差はみられなかった。

(4) 終活について

問 40 あなたは、認知症や病気などによって、医療や介護などに関する自分の希望を伝えることが難しくなる場合に備えて、何か準備をしていますか。

(一番近いもの1つに○)

【図表 3-32-1 終活について】



終活については、「特に何もしていない」が 51.0%で最も高く、次いで「家族や周囲の人に自分の希望を伝えている」が 23.4%、「家族や周囲の人に自分の希望を伝えてはいるが、情報は収集している」が 13.9%となっている。

【図表 3-32-2 終活について×性別・年齢別・世帯構成別】

		回答数	家族や周囲の人に自分の希望を伝えている	家族や周囲の人に自分の希望を伝えてはいるが、エンディングノートなどを書いている	家族や周囲の人に自分の希望を伝えてはいるが、情報は収集している	その他	特に何もしていない	無回答
全体		1786	23.4	5.5	13.9	1.0	51.0	5.2
性別	男性	775	17.0	4.9	14.8	1.0	57.8	4.4
	女性	994	28.2	6.1	13.3	0.9	45.9	5.6
年齢別	60～64歳	328	19.8	3.7	16.2	0.9	57.9	1.5
	65～69歳	350	22.0	5.7	12.3	0.3	58.0	1.7
	70～74歳	417	19.9	7.0	16.5	1.0	50.6	5.0
	75～79歳	300	25.7	5.7	14.0	1.0	45.7	8.0
	80～84歳	209	29.7	6.2	12.9	2.4	43.5	5.3
	85～89歳	107	29.0	4.7	11.2	0.9	41.1	13.1
	90歳以上	65	30.8	4.6	3.1	0.0	49.2	12.3
世帯構成別	一人暮らし世帯	415	24.1	7.0	15.9	1.2	45.1	6.7
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	569	22.1	5.6	14.2	1.4	51.7	4.9
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	120	27.5	3.3	10.8	0.8	56.7	0.8
	夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	100	21.0	3.0	21.0	0.0	50.0	5.0
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	72	23.6	2.8	12.5	0.0	55.6	5.6
	二世帯同居世帯	308	23.7	6.2	13.3	0.6	51.6	4.5
	三世帯同居世帯	56	32.1	3.6	12.5	0.0	50.0	1.8
	その他の世帯	114	19.3	7.0	7.9	0.9	58.8	6.1

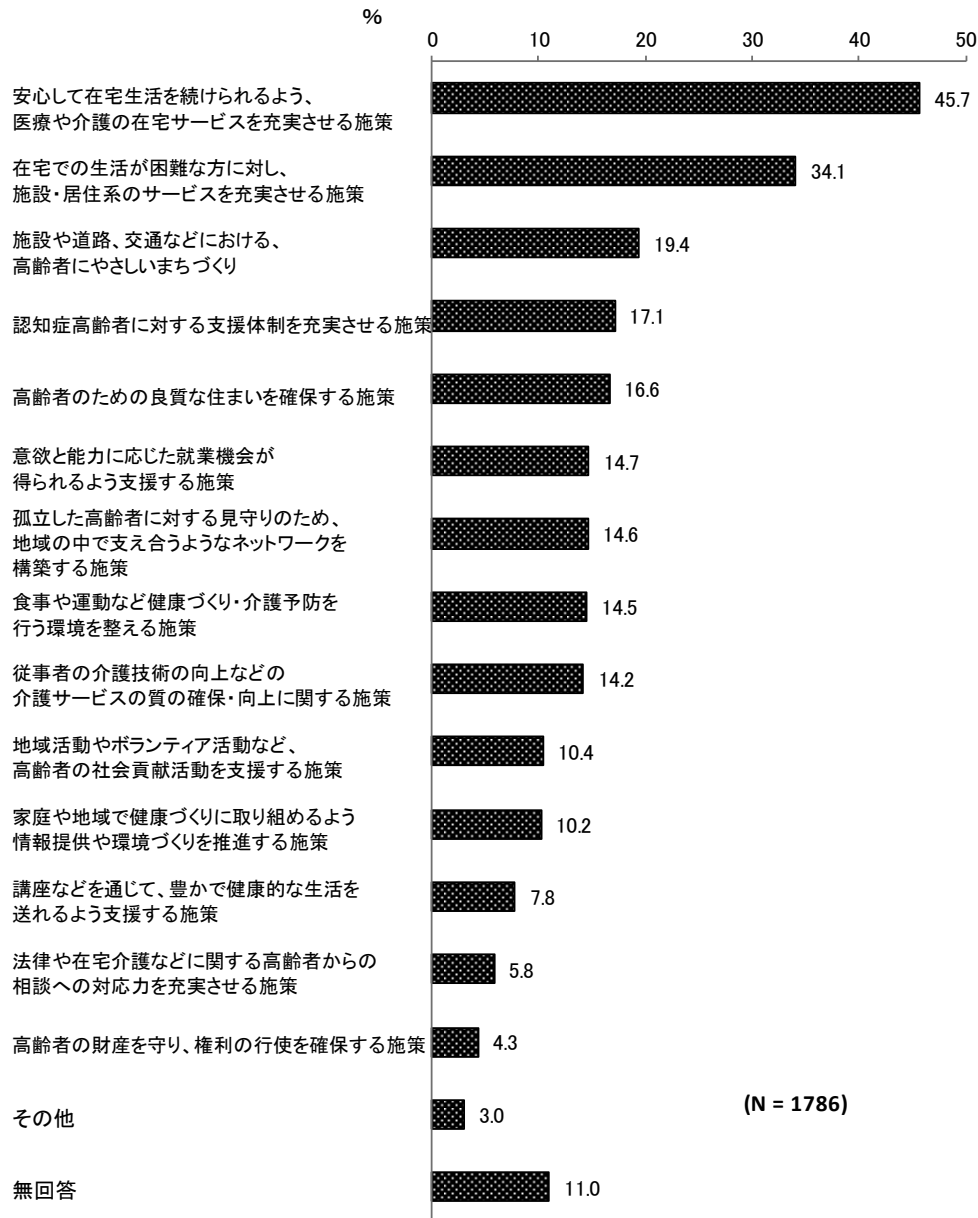
性別にみると、女性の方が男性より「家族や周囲の人に自分の希望を伝えている」の割合が高くなっている。

世帯構成別にみると、三世帯同居世帯では「家族や周囲の人に自分の希望を伝えている」の割合が 32.1%であり、他と比べて高い結果となっている。

(5) 行政に力をいれてほしい高齢者に関する施策

問 41 高齢者に関する施策について、行政に対して今後どのようなことに特に力を入れてほしいと思いますか。(〇は3つまで)

【図表 3-33-1 行政に力をいれてほしい高齢者に関する施策】



行政に力をいれてほしい高齢者に関する施策は、「安心して在宅生活を続けられるよう、医療や介護の在宅サービスを充実させる施策」が 45.7%で最も高く、次いで「在宅での生活が困難な方に対し、施設・居住系のサービスを充実させる施策」が 34.1%、「施設や道路、交通などにおける、高齢者にやさしいまちづくり」が 19.4%となっている。

【図表 3-33-2 行政に力をいれてほしい高齢者に関する施策×性別・年齢別】

		回答数	るを豊講 施送か座 策れでな る健を よ康を 支的な 援生通 す活す、	をを豊講 支送か座 援れでな する健を 施よ康を 策支的な 援生通 す活す、	をを豊講 支送か座 援れでな する健を 施よ康を 策支的な 援生通 す活す、	をを豊講 支送か座 援れでな する健を 施よ康を 策支的な 援生通 す活す、	をを豊講 支送か座 援れでな する健を 施よ康を 策支的な 援生通 す活す、	をを豊講 支送か座 援れでな する健を 施よ康を 策支的な 援生通 す活す、	をを豊講 支送か座 援れでな する健を 施よ康を 策支的な 援生通 す活す、	をを豊講 支送か座 援れでな する健を 施よ康を 策支的な 援生通 す活す、	をを豊講 支送か座 援れでな する健を 施よ康を 策支的な 援生通 す活す、
全体		1786	7.8	10.4	14.7	10.2	14.5	45.7	34.1	14.2	
性別	男性	775	8.9	11.4	17.3	12.0	13.9	49.2	29.4	9.4	
	女性	994	7.0	9.9	12.9	8.9	14.9	43.5	37.8	18.2	
年齢別	60～64歳	328	8.5	10.1	23.5	9.8	12.2	39.0	40.5	18.0	
	65～69歳	350	7.1	12.0	19.1	8.9	14.3	41.1	36.9	14.6	
	70～74歳	417	7.9	10.3	16.5	10.1	12.5	46.0	37.4	14.4	
	75～79歳	300	7.0	9.7	9.0	11.3	17.0	53.0	28.7	12.0	
	80～84歳	209	8.1	12.0	7.7	14.4	15.8	50.7	31.6	10.0	
	85～89歳	107	11.2	4.7	2.8	10.3	18.7	56.1	19.6	13.1	
	90歳以上	65	6.2	12.3	1.5	3.1	16.9	38.5	24.6	20.0	

		回答数	せる認 施支知 策援症 体高 制高 を者 充に 実対 さす	保り高 す、権 る者 施利の 策の財 行産 使を 確守	充の法 実相関 さすや せへの 施高在 策対宅 を者介 を力護 をな をら をど	をよ地 構域の 築な見 す中守 るネ支 るトた すワえ るフ合 クウめ く、対	施な高 策住齢 まの いの をた 確め 保の す良 る質	りにど やに設 さおや しけ道 いる路 ま、、 ち高交 づ齢通 く者な	その他	無 回 答
全体		1786	17.1	4.3	5.8	14.6	16.6	19.4	3.0	11.0
性別	男性	775	17.9	4.8	5.9	13.2	15.1	18.5	3.5	11.6
	女性	994	16.4	3.8	5.6	16.0	17.5	20.5	2.6	10.4
年齢別	60～64歳	328	14.9	5.5	3.7	18.0	21.6	21.3	2.4	9.5
	65～69歳	350	16.6	5.1	6.6	15.1	19.7	19.1	4.0	8.3
	70～74歳	417	13.2	4.1	6.5	16.3	17.5	20.9	2.2	11.0
	75～79歳	300	21.0	2.3	6.0	13.0	13.7	15.7	4.0	11.7
	80～84歳	209	19.6	4.3	6.7	13.4	10.0	21.5	2.9	11.0
	85～89歳	107	19.6	2.8	6.5	7.5	7.5	21.5	2.8	15.9
	90歳以上	65	21.5	4.6	1.5	7.7	16.9	10.8	3.1	20.0

性別にみると、女性の方が男性より「在宅での生活が困難な方に対し、施設・居住系のサービスを充実させる施策」「従事者の介護技術の向上などの介護サービスの質の確保・向上に関する施策」の割合が高くなっている。

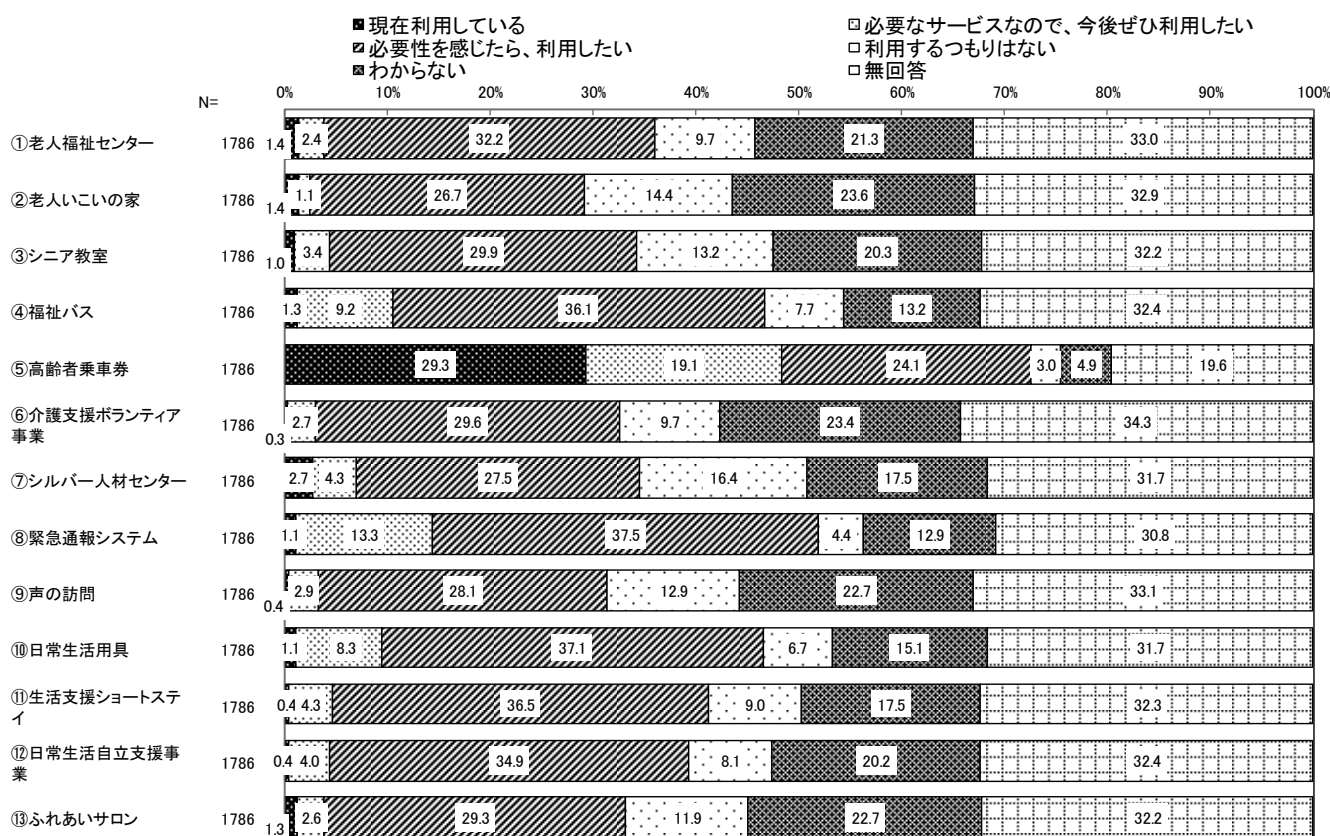
年齢別にみると、年齢が低くなるほど「意欲と能力に応じた就業機会が得られるよう支援する施策」の割合が高くなる傾向があり、60～64歳では23.5%となっている。

(6) 介護サービスの利用

①サービスの利用状況・利用意向

問 42 あなたは、以下のサービスを利用したことがありますか。また、利用していない場合は、今後利用したいと思いますか。(項目ごとに○は1つ)

【図表 3-34-1 サービスの利用状況・利用意向】



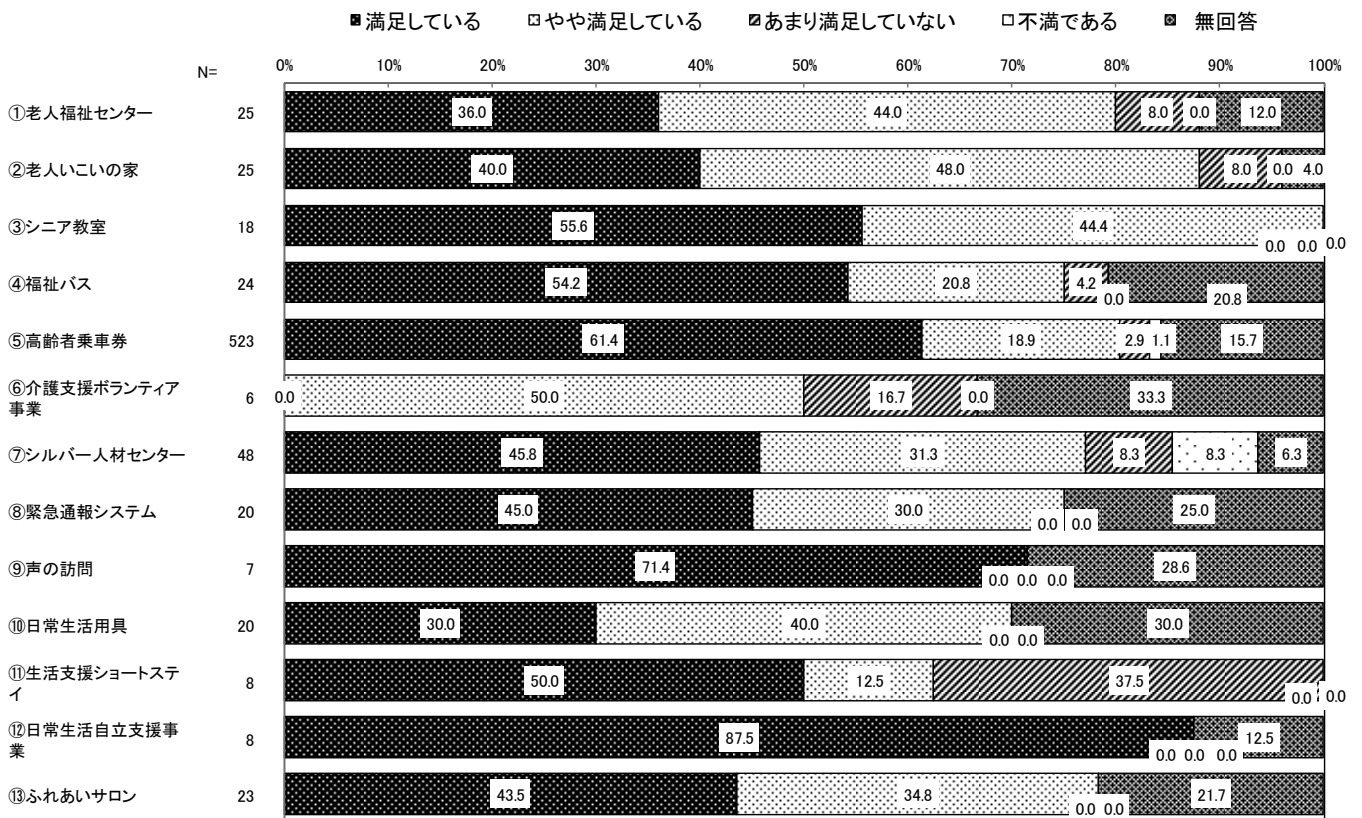
サービスの利用状況・利用意向をみると、「現在利用している」の割合は「高齢者乗車券」が29.3%で最も高く、次いで「シルバー人材センター」が2.7%、それ以外のサービスは1%前後となっている。また、『利用したい』（「必要なサービスなので、今後ぜひ利用したい」と「必要性を感じたら、利用したい」の合計）の割合は「緊急通報システム」が50.8%で最も高く、次いで「日常生活用具」が45.4%、「福祉バス」が45.3%となっている。

②サービスの満足度

問 42 さらに、サービスを現在利用している場合は、それに対する満足度はいかがですか。

(項目ごとに○は1つ)

【図表 3-34-2 サービスの満足度】



サービスを利用している場合の満足度は、介護支援ボランティア事業と生活支援ショートステイを除いたすべての項目で、「満足している」と「やや満足している」を合わせた『満足している』の割合が7割以上となった。

## 第4章 介護サービス調査共通設問

「在宅サービス利用者調査」「在宅サービス未利用者調査」「施設等サービス利用者調査」の3つの調査に共通する設問については、各調査別の傾向の比較ができるよう「共通設問」として掲載した。

### 1. 回答者の属性

#### (1) 調査の回答者

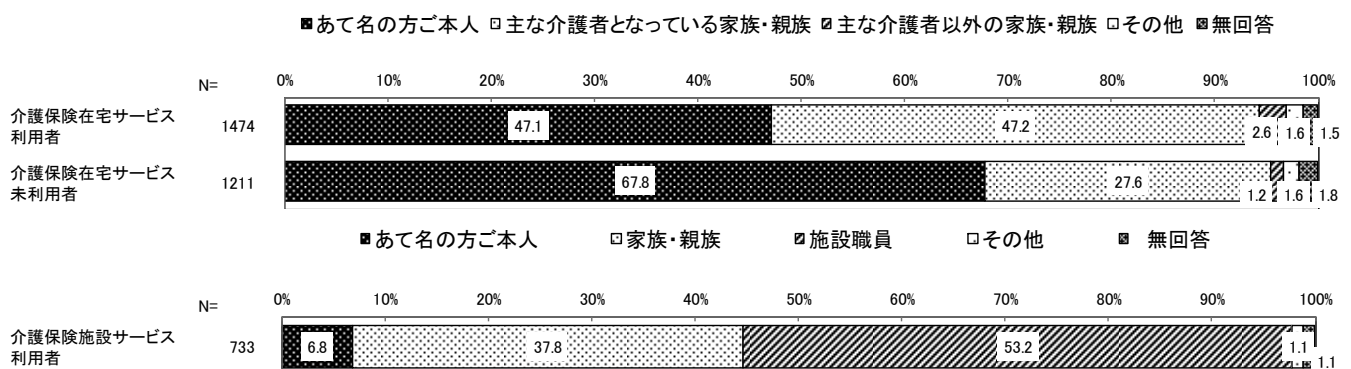
<在宅サービス利用者調査>問1

<在宅サービス未利用者調査>問1

<施設等サービス利用者調査>問1

現在、この調査票にご記入頂いている方は、どなたですか。(○は1つ)

【図表 4-1-1 調査の回答者】



調査の回答者は、介護保険在宅サービス利用者では「主な介護者となっている家族・親族」が47.2%で最も高く、次いで「あて名の方ご本人」が47.1%となっている。

未利用者では「あて名の方ご本人」が67.8%で最も高く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」が27.6%となっている。

介護保険施設サービス利用者では「施設職員」が53.2%で最も高く、次いで「家族・親族」が37.8%、「あて名の方ご本人」が6.8%となっている。

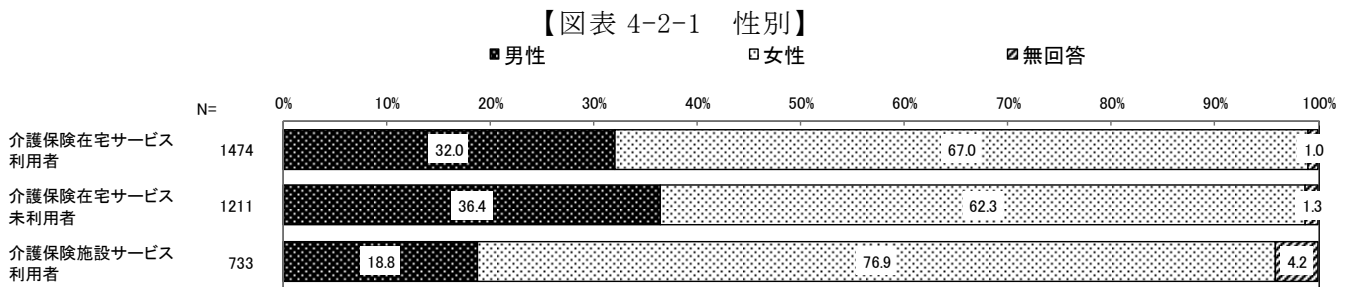
(2) 性別

＜在宅サービス利用者調査＞問2

＜在宅サービス未利用者調査＞問2

＜施設等サービス利用者調査＞問2

あなたの性別は。(○は1つ)



対象者の性別は、介護保険在宅サービス利用者では「男性」が32.0%、「女性」が67.0%、未利用者では「男性」が36.4%、「女性」が62.3%、介護保険施設サービス利用者では「男性」が18.8%、「女性」が76.9%となっている。

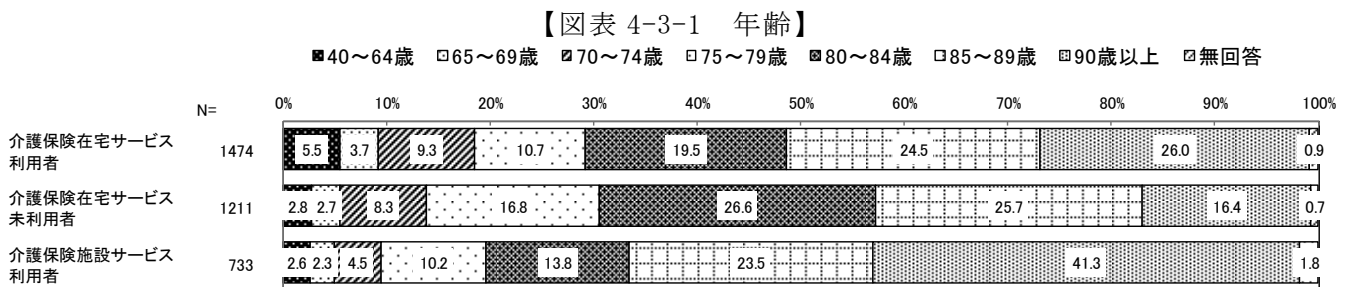
(3) 年齢

＜在宅サービス利用者調査＞問3

＜在宅サービス未利用者調査＞問3

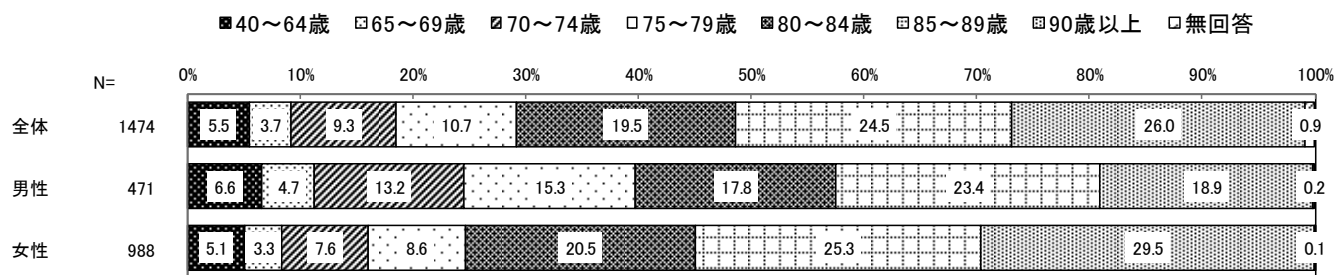
＜施設等サービス利用者調査＞問3

あなたの年齢は。(令和4年10月1日現在) (○は1つ)

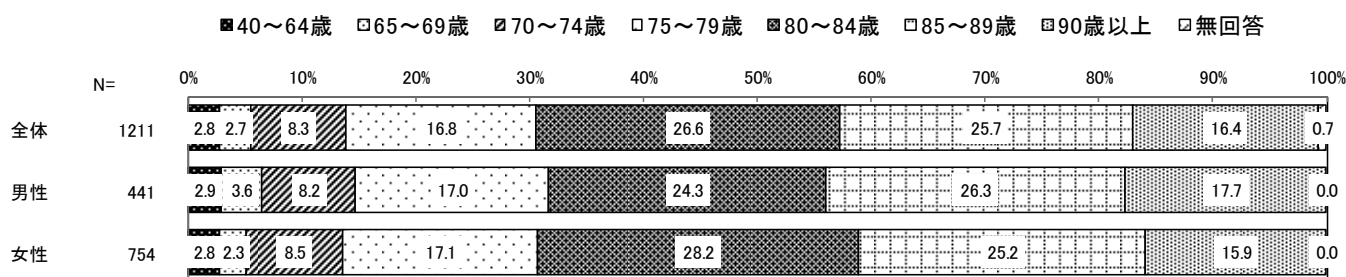


年齢は、75歳以上の後期高齢者の割合が、介護保険在宅サービス利用者では80.7%、未利用者では85.5%、介護保険施設サービス利用者では88.8%となっている。

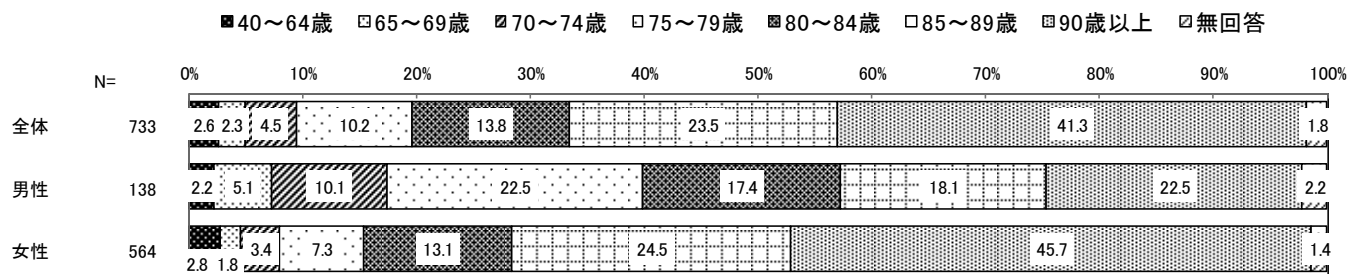
【図表 4-3-2 年齢×性別＜在宅サービス利用者調査＞】



【図表 4-3-3 年齢×性別＜在宅サービス未利用者調査＞】



【図表 4-3-4 年齢×性別＜施設等サービス利用者調査＞】



介護保険在宅サービス利用者、未利用者、介護保険施設サービス利用者ともに、「女性」の方が「男性」よりも75歳以上の後期高齢者の占める割合が高い。

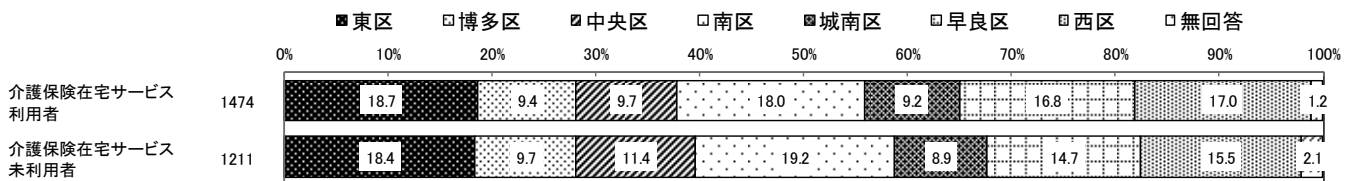
(4) 居住地区

<在宅サービス利用者調査>問4

<在宅サービス未利用者調査>問4

あなたのお住まいは。(町名まで記入してください)

【図表 4-4-1 居住地区】



(5) 家族の状況

① 世帯構成

<在宅サービス利用者調査>問5

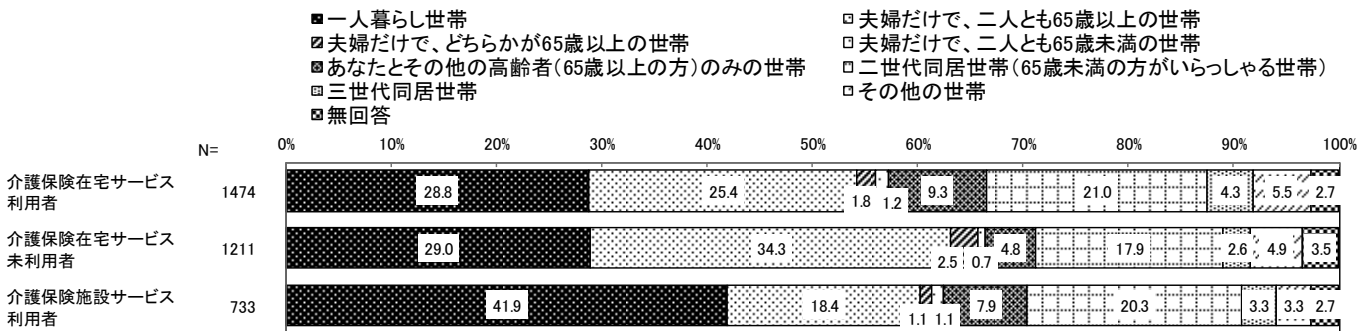
<在宅サービス未利用者調査>問5

あなたのご家族の状況は。(○は1つ)

<施設等サービス利用者調査>問5

施設などに入る前のご家族の状況は。(○は1つ)

【図表 4-5-1 世帯構成】



世帯構成は、介護保険在宅サービス利用者では「一人暮らし世帯」が28.8%で最も高く、次いで「夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯」が25.4%となっている。

在宅サービス未利用者では「夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯」が34.3%で最も高く、次いで「一人暮らし世帯」が29.0%となっている。

介護保険施設サービス利用者では「一人暮らし世帯」が41.9%で最も高く、次いで「二世帯同居世帯」が20.3%となっている。

②行き来がある親族のいる場所

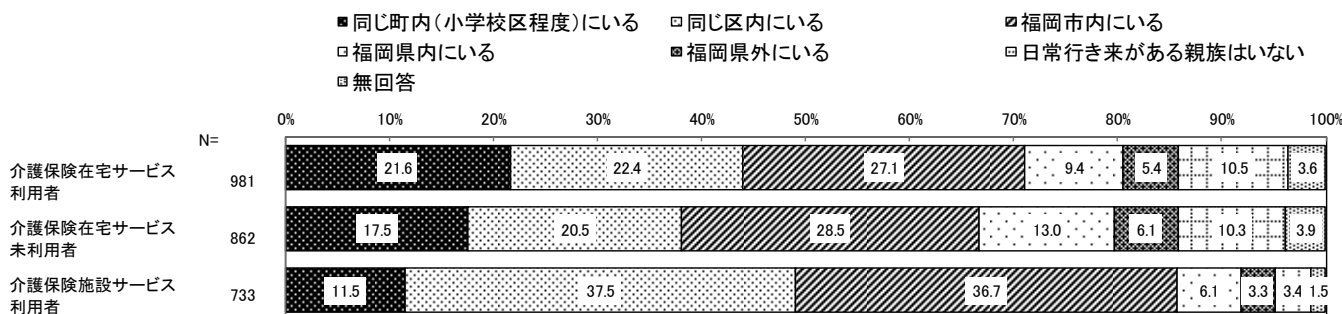
<在宅サービス利用者調査>問5で「1」～「5」と答えた方にうかがいます。問5-1

<在宅サービス未利用者調査>問5で「1」～「5」と答えた方にうかがいます。問5-1  
あなたは日常行き来がある親族の方が近くにいらっしゃいますか。2ヵ所以上にいらっしゃる方は一番近いところをお答えください。(○は1つ)

<施設等サービス利用者調査>問8

面会や外泊など、日頃からかかわりのある親族の方が施設などの近くにいますか。(○は1つ)

【図表 4-5-2 行き来がある親族のいる場所】



「一人暮らし世帯」と『夫婦のみの世帯』（「夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯」「夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯」「夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯」の合計）のうち、日常行き来がある親族のいる場所が『福岡市内』であるのは、介護保険在宅サービス利用者では7割、未利用者では6割半ば、介護保険施設サービス利用者では8割半ばとなっている。

(6) 世帯年間総収入額

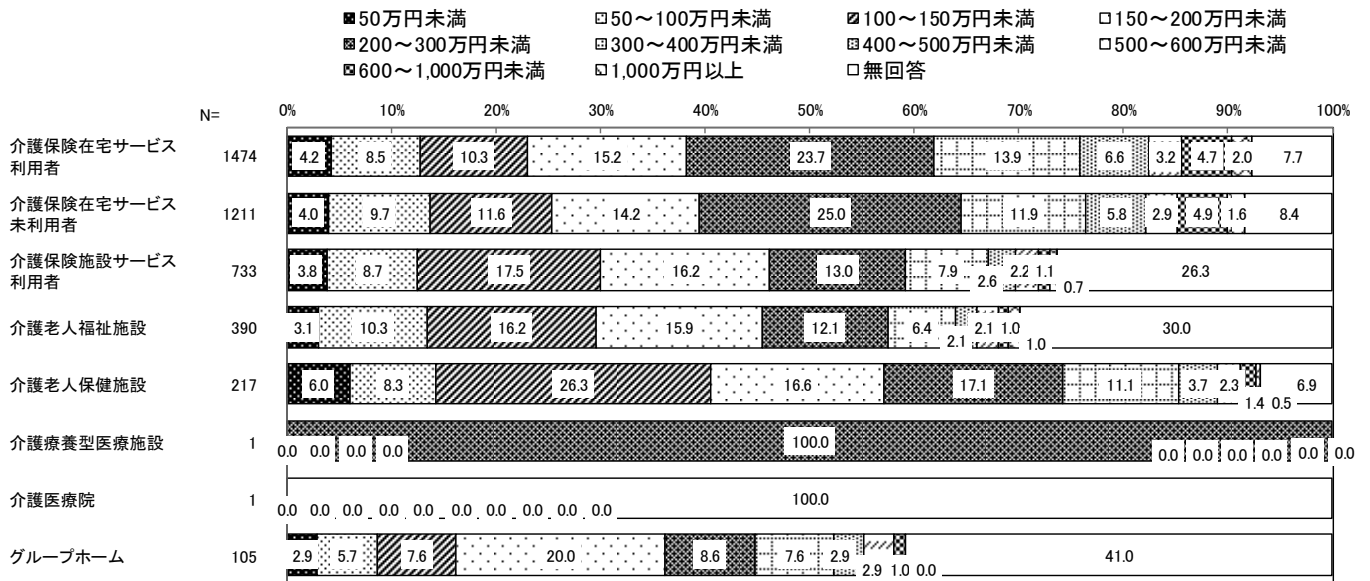
<在宅サービス利用者調査>問6

<在宅サービス未利用者調査>問6

<施設等サービス利用者調査>問6

あなたの世帯全員の年間総収入額（税込み）はどれくらいですか。（○は1つ）

【図表 4-6-1 世帯年間総収入額×施設別】



世帯全員の年間総収入額は、介護保険在宅サービス利用者、未利用者では大きな違いはみられず、「200～300万円未満」が2割半ばで最も高く、次いで「150～200万円未満」が1割半ばとなっている。

介護保険施設サービス利用者では「100～150万円未満」が17.5%で最も高く、次いで「150～200万円未満」が16.2%となっている。

(7) 要介護度

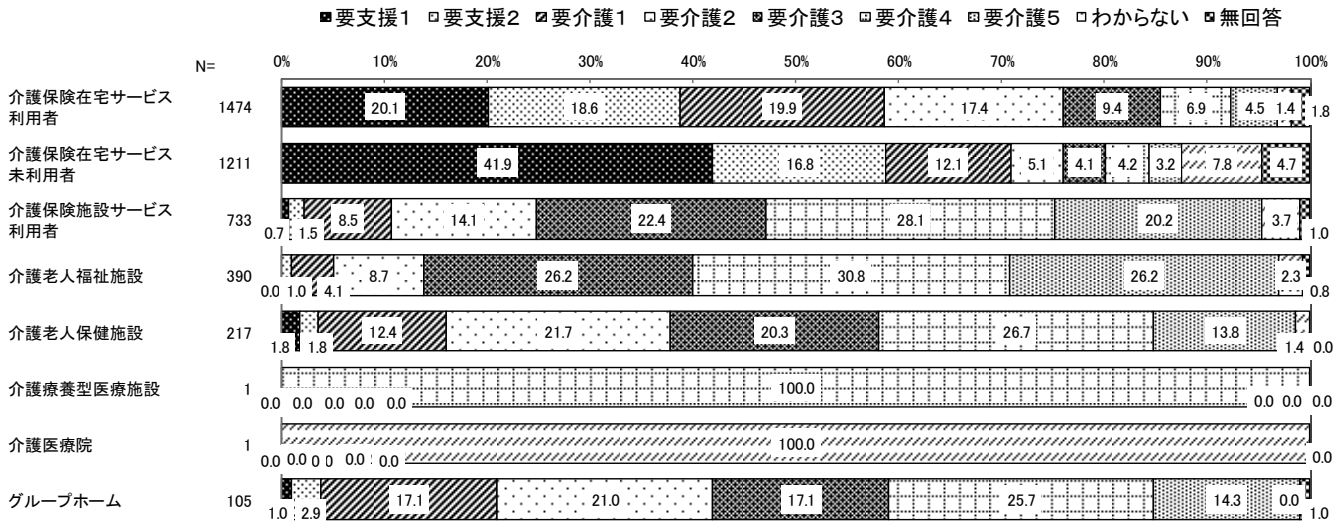
<在宅サービス利用者調査>問7

<在宅サービス未利用者調査>問7

<施設等サービス利用者調査>問4

あなたの要介護度は次のどれですか。(○は1つ)

【図表 4-7-1 要介護度×施設別】



要介護度は、介護保険在宅サービス利用者と未利用者ともに要介護度が軽い人が半数を超えており、「要支援1」「要支援2」「要介護1」を合わせた『要介護1以下』が、介護保険在宅サービス利用者では58.6%、未利用者では70.8%となっている。

一方、介護保険施設サービス利用者では要介護度が重い人が多く、「要介護3」「要介護4」「要介護5」を合わせた『要介護3以上』が70.7%となっている。

(8) 現在の傷病

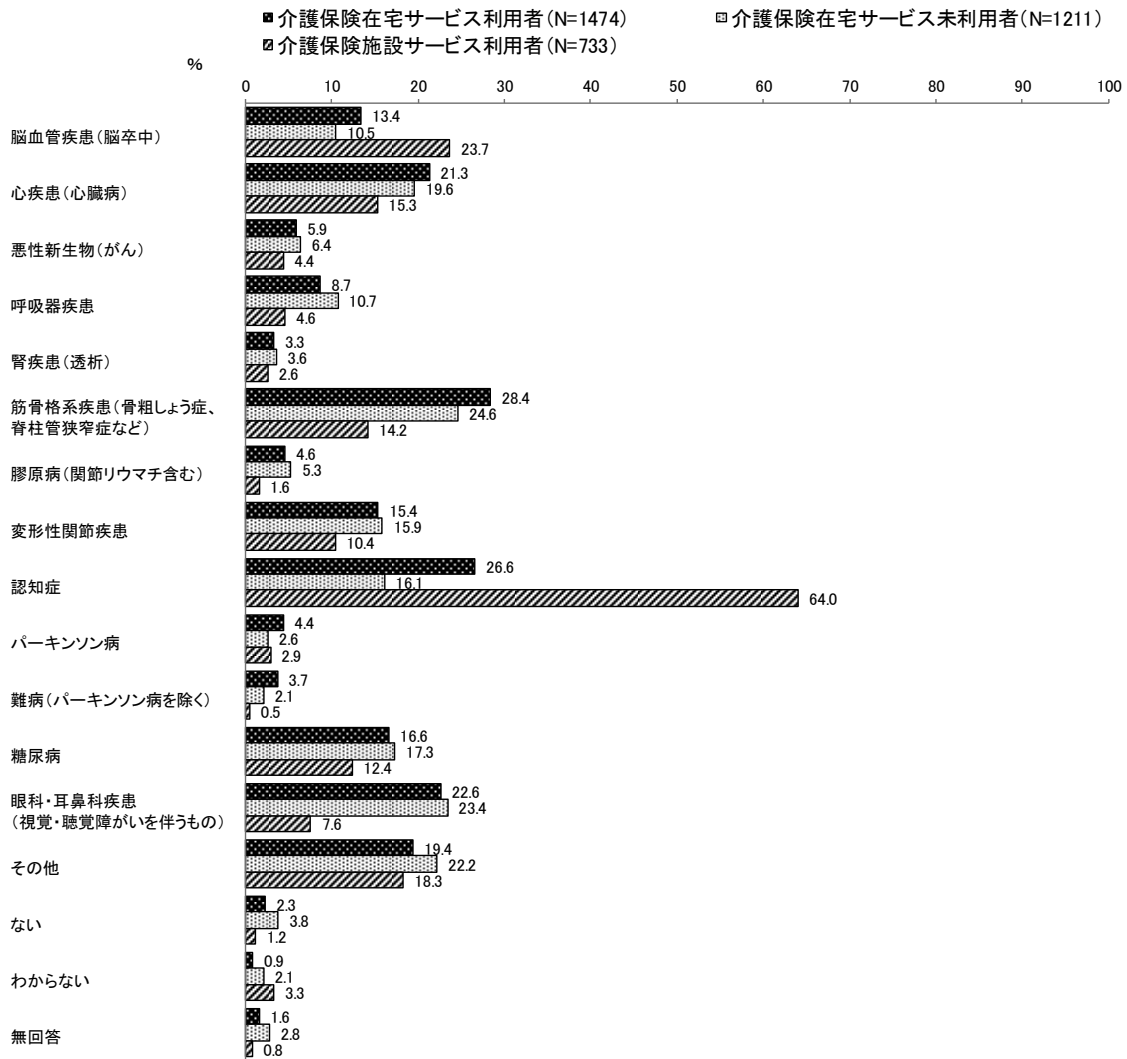
<在宅サービス利用者調査>問8

<在宅サービス未利用者調査>問8

<施設等サービス利用者調査>問11

あなたが現在抱えている傷病は何ですか。(〇はいくつでも)

【図表 4-8-1 現在の傷病】



現在の傷病は、介護保険在宅サービス利用者では「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症など）」が28.4%で最も高く、次いで「認知症」が26.6%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障がいを伴うもの）」が22.6%となっている。

未利用者では「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症など）」が24.6%で最も高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障がいを伴うもの）」が23.4%、「その他」が22.2%となっている。

介護保険施設サービス利用者では「認知症」が64.0%で最も高く、次いで「脳血管疾患（脳卒中）」が23.7%、「その他」が18.3%となっている。

(9) 介護が必要になった原因

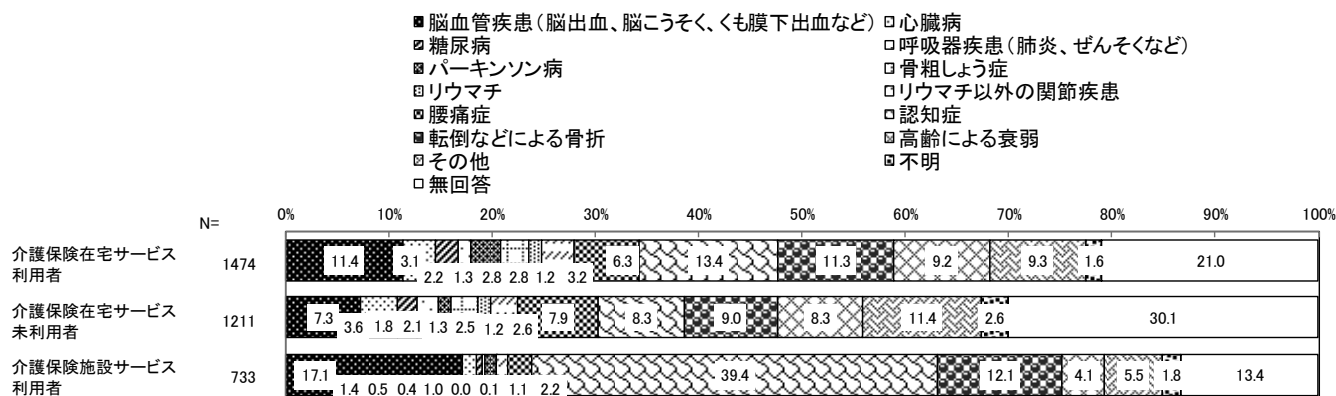
<在宅サービス利用者調査>問9

<在宅サービス未利用者調査>問9

<施設等サービス利用者調査>問12

介護が必要な状態となった原因は何ですか。(○は1つ)

【図表 4-9-1 介護が必要になった原因】



介護が必要になった原因は、介護保険在宅サービス利用者では「認知症」が13.4%で最も高く、次いで「脳血管疾患（脳出血、脳こうそく、くも膜下出血など）」が11.4%、「転倒などによる骨折」が11.3%となっている。

未利用者では「その他」が11.4%で最も高く、次いで「転倒などによる骨折」が9.0%、「認知症」と「高齢による衰弱」がともに8.3%となっている。

介護保険施設サービス利用者では「認知症」が39.4%で最も高く、次いで「脳血管疾患（脳出血、脳こうそく、くも膜下出血など）」が17.1%、「転倒などによる骨折」が12.1%となっている。

(10) 家族・親族からの介護の状況

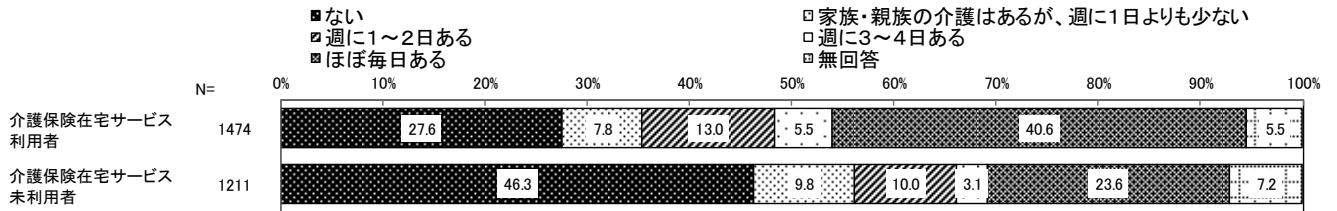
<在宅サービス利用者調査>問 10

<在宅サービス未利用者調査>問 10

ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(○は1つ)

※同居していない子どもや親族などからの介護を含みます。

【図表 4-10-1 家族・親族からの介護の状況】



家族・親族からの介護の状況は、介護保険在宅サービス利用者では「ほぼ毎日ある」が40.6%で最も高く、次いで「ない」が27.6%、「週に1~2日ある」が13.0%となっている。

未利用者では「ない」が46.3%で最も高く、次いで「ほぼ毎日ある」が23.6%、「週に1~2日ある」が10.0%となっている。

## 2. 日常生活について

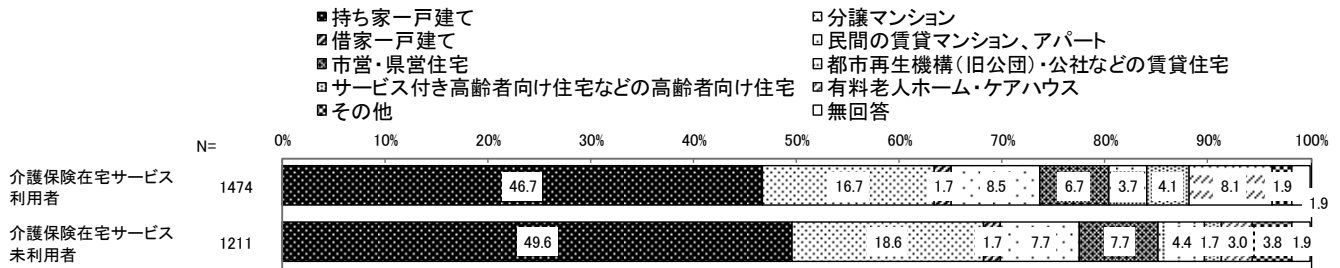
### (1) 住居形態

<在宅サービス利用者調査>問 11

<在宅サービス未利用者調査>問 11

あなたのお住まいは次のどれですか。(○は1つ)

【図表 4-11-1 住居形態】



住居形態は、介護保険在宅サービス利用者では「持ち家一戸建て」が46.7%で最も高く、次いで「分譲マンション」が16.7%、「民間の賃貸マンション、アパート」が8.5%となっている。

未利用者では「持ち家一戸建て」が49.6%で最も高く、次いで「分譲マンション」が18.6%、「民間の賃貸マンション、アパート」と「市営・県営住宅」がともに7.7%となっている。

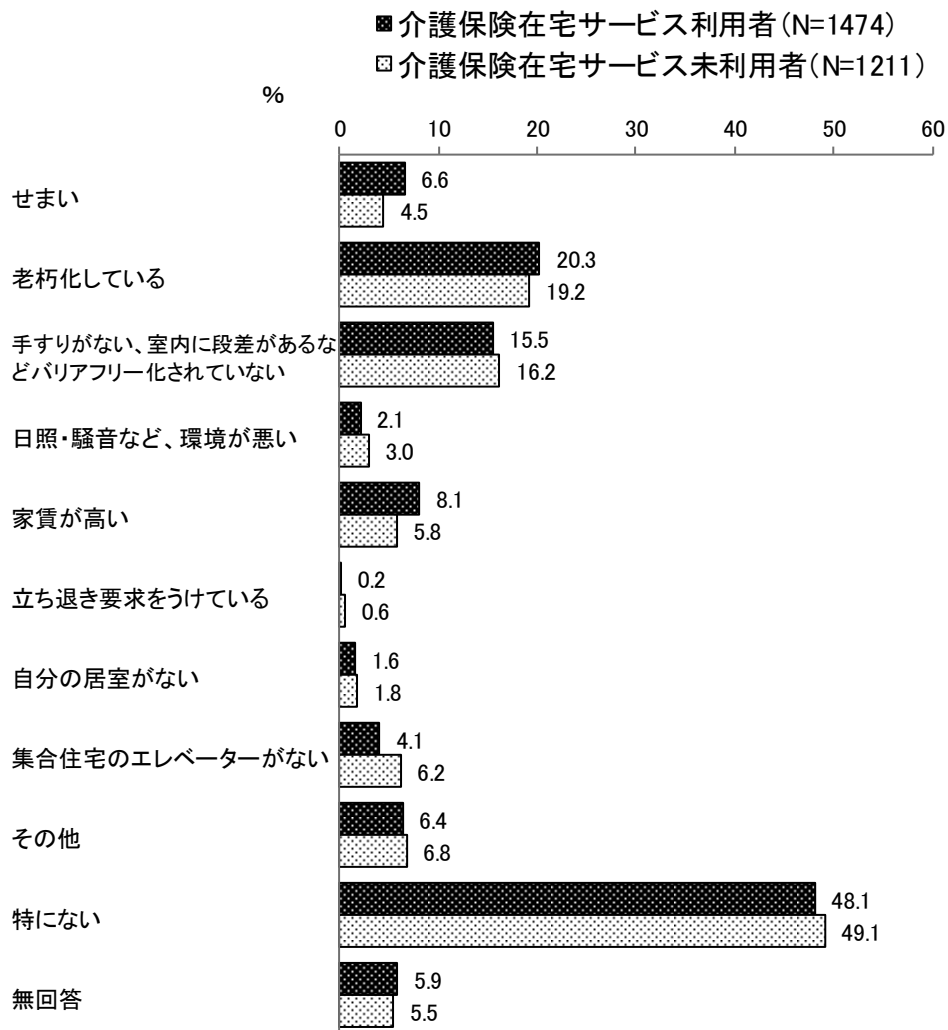
(2) 現在の住まいで困っていること

<在宅サービス利用者調査>問 12

<在宅サービス未利用者調査>問 12

現在の住まいで困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

【図表 4-12-1 現在の住まいで困っていること】



現在の住まいで困っていることは、介護保険在宅サービス利用者、未利用者ともに「特にない」が5割近くを占め最も高くなっている。困っていることは、「老朽化している」「手すりがない、室内に段差があるなどバリアフリー化されていない」が他と比べて高い割合となっている。

(3) 施設入所・入居の検討状況

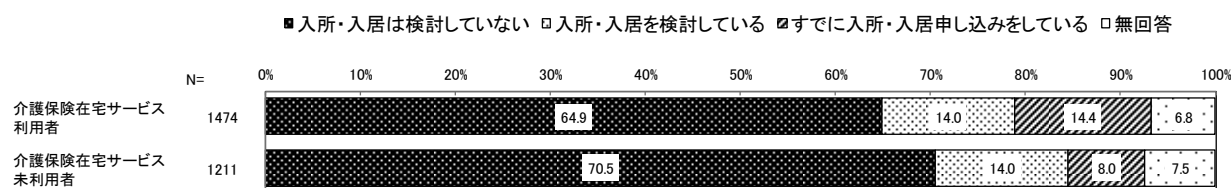
<在宅サービス利用者調査>問 13

<在宅サービス未利用者調査>問 13

現在、施設などへの入所・入居を検討していますか。(○は1つ)

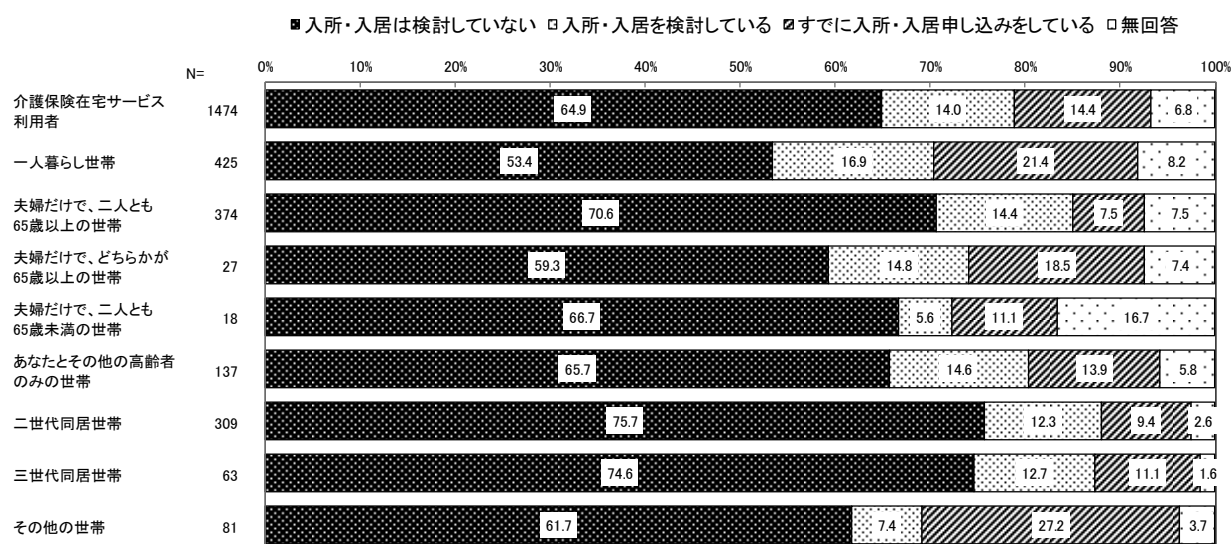
※「施設など」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホームなど)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

【図表 4-13-1 施設入所・入居の検討状況】



施設入所・入居の検討状況は、介護保険在宅サービス利用者、未利用者ともに「入所・入居は検討していない」の割合が最も高くなっている。介護保険在宅サービス利用者では、次いで「すでに入所・入居申し込みをしている」が14.4%となっており、「入所・入居を検討している」の割合では、介護保険在宅サービス利用者、未利用者ともに14.0%となっている。

【図表 4-13-2 施設入所・入居の検討状況×世帯構成別<在宅サービス利用者調査>】



介護保険在宅サービス利用者を世帯構成別にみると、夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯、二世帯同居世帯、三世帯同居世帯では「入所・入居は検討していない」が7割を超え、他と比べて高くなっている。また、一人暮らし世帯では「入所・入居を検討している」と「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合が、他と比べて高くなっている。

(4) 現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス

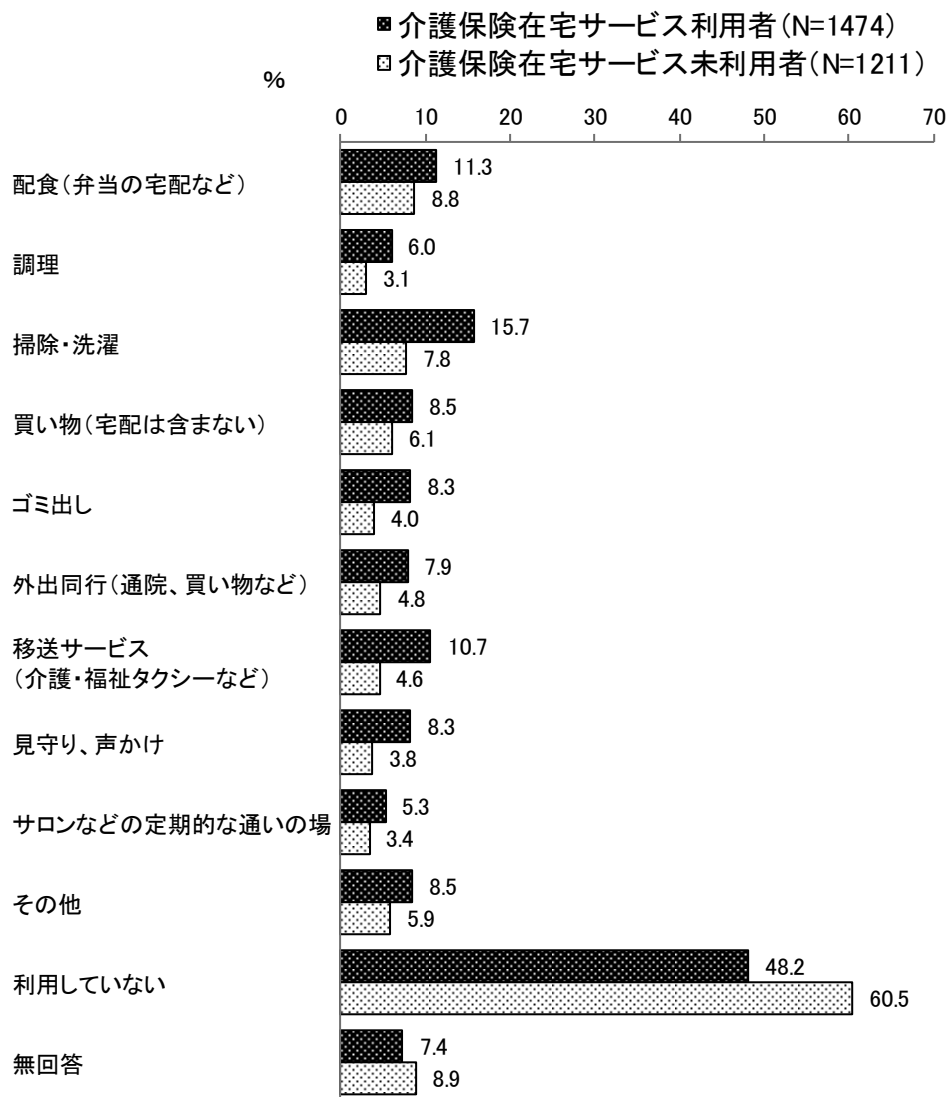
<在宅サービス利用者調査>問 14

<在宅サービス未利用者調査>問 14

現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、どんなサービスですか。(〇はいくつでも)

※総合事業に基づく支援サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

【図表 4-14-1 現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス】



現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、介護保険在宅サービス利用者、未利用者ともに「利用していない」の割合が最も高くなっている。介護保険在宅サービス利用者が利用しているサービスの内訳としては、「掃除・洗濯」「配食（弁当の宅配など）」「移送サービス（介護・福祉タクシーなど）」の割合が高くなっている。

【図表 4-14-2 現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス  
×世帯構成別<在宅サービス利用者調査>】

(%)

		回答数	ど配食 (弁当の宅配な い)	調理	掃除・洗濯	買い物 (宅配は含ま ない)	ゴミ出し	外出同行 (通院、買 い物など)
全体		1474	11.3	6.0	15.7	8.5	8.3	7.9
世帯構成別	一人暮らし世帯	425	19.1	8.2	30.8	17.4	17.6	15.3
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	374	9.6	4.5	10.4	6.1	5.1	4.8
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	27	3.7	7.4	11.1	7.4	7.4	0.0
	夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	18	0.0	5.6	11.1	5.6	5.6	11.1
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	137	5.1	7.3	10.2	5.1	4.4	4.4
	二世帯同居世帯	309	7.8	3.9	7.4	2.3	2.9	5.2
	三世帯同居世帯	63	7.9	3.2	3.2	1.6	3.2	1.6
	その他の世帯	81	9.9	6.2	13.6	9.9	6.2	6.2

		回答数	ど護移送 (福祉サー ビスタク シ介 な)	見守り、 声かけ	なサ 通ロ いの 場 の 定 期 的	その他	利用 して いな い	無 回 答
全体		1474	10.7	8.3	5.3	8.5	48.2	7.4
世帯構成別	一人暮らし世帯	425	10.4	14.8	5.4	8.5	31.1	6.8
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	374	12.0	5.6	5.6	8.8	52.4	7.8
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	27	14.8	7.4	3.7	14.8	48.1	14.8
	夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	18	11.1	5.6	0.0	11.1	50.0	22.2
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	137	12.4	3.6	5.8	6.6	59.9	7.3
	二世帯同居世帯	309	8.7	5.2	4.9	5.8	61.8	4.5
	三世帯同居世帯	63	12.7	7.9	11.1	17.5	54.0	7.9
	その他の世帯	81	8.6	9.9	1.2	8.6	56.8	3.7

世帯構成別にみると、一人暮らし世帯では「掃除・洗濯」「配食（弁当の宅配など）」「買い物（宅配は含まない）」「ゴミ出し」と多くの項目の割合が他と比べて高くなっている。

(5) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

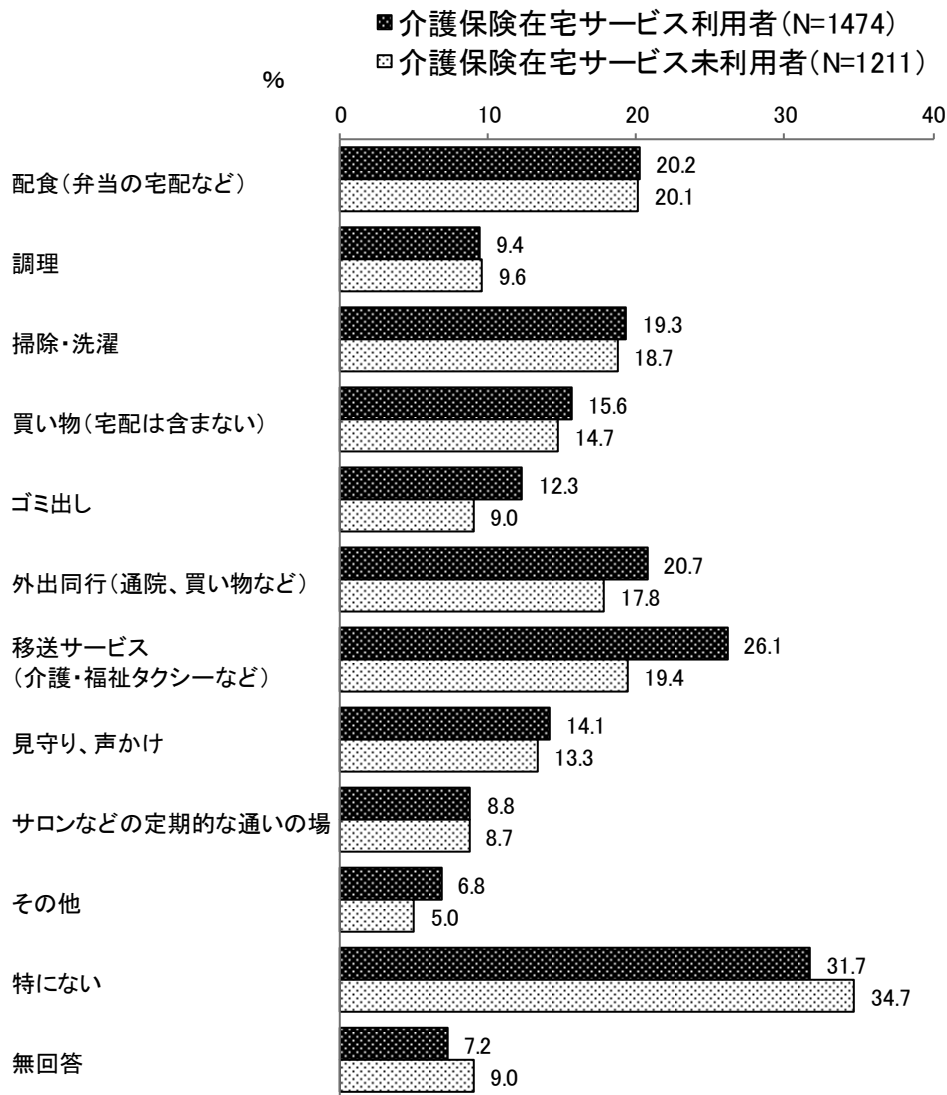
<在宅サービス利用者調査>問 15

<在宅サービス未利用者調査>問 15

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）は、どんなサービスですか。（〇はいくつでも）

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

【図表 4-15-1 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】



今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、介護保険在宅サービス利用者では「特にない」が 31.7%で最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシーなど）」が 26.1%、「外出同行（通院、買い物など）」が 20.7%となっている。

未利用者では「特にない」が 34.7%で最も高く、次いで「配食（弁当の宅配など）」が 20.1%、「移送サービス（介護・福祉タクシーなど）」が 19.4%となっている。

【図表 4-15-2 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス  
×世帯構成別<在宅サービス利用者調査>】

		回答数	ど配食 (弁当の宅配な)	調理	掃除・洗濯	買い物 (宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行 (通院、買い物など)
全体		1474	20.2	9.4	19.3	15.6	12.3	20.7
世帯構成別	一人暮らし世帯	425	25.2	11.8	29.4	22.8	20.2	25.9
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	374	19.5	9.6	20.3	17.9	11.8	19.3
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	27	25.9	11.1	18.5	14.8	14.8	22.2
	夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	18	16.7	5.6	16.7	16.7	11.1	33.3
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	137	16.8	5.8	10.2	10.2	8.0	13.9
	二世帯同居世帯	309	18.8	9.4	11.7	9.1	5.8	21.0
	三世帯同居世帯	63	17.5	3.2	6.3	1.6	4.8	7.9
	その他の世帯	81	11.1	7.4	19.8	14.8	7.4	18.5

		回答数	ど護移送 (福祉サービス タクシー 介 な)	見守り、 声かけ	なサ 通ロ いの 場 の 定 期 的	その他	特 に な い	無 回 答
全体		1474	26.1	14.1	8.8	6.8	31.7	7.2
世帯構成別	一人暮らし世帯	425	22.1	21.6	8.9	5.9	24.7	8.2
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	374	28.6	11.5	7.0	5.9	28.9	8.0
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	27	29.6	7.4	3.7	7.4	29.6	3.7
	夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	18	22.2	16.7	5.6	5.6	44.4	11.1
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	137	24.8	7.3	8.8	9.5	44.5	7.3
	二世帯同居世帯	309	29.1	13.3	10.4	6.8	34.0	4.9
	三世帯同居世帯	63	28.6	7.9	9.5	14.3	47.6	4.8
	その他の世帯	81	24.7	12.3	9.9	6.2	42.0	3.7

世帯構成別にみると、一人暮らし世帯では「掃除・洗濯」の割合が他と比べて高くなっている。また、夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯では「外出同行（通院、買い物など）」の割合が他と比べて高くなっている。

### 3. 現在利用している医療について

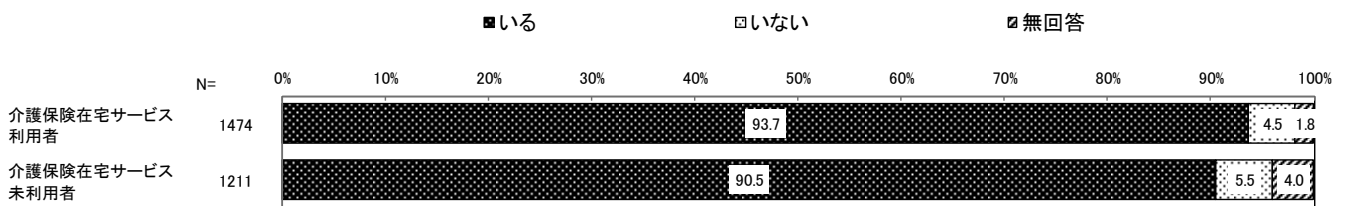
#### (1) かかりつけ医の有無

<在宅サービス利用者調査>問 19

<在宅サービス未利用者調査>問 24

あなたには、普段から健康状態や病気のことで相談でき、体調が悪いときなどに治療を受けるかかりつけ医がいますか。(○は1つ)

【図表 4-16-1 かかりつけ医の有無】



かかりつけ医の有無は、介護保険在宅サービス利用者では「いる」が93.7%、「いない」が4.5%、未利用者では「いる」が90.5%、「いない」が5.5%となっている。

#### (2) 在宅医療への関心

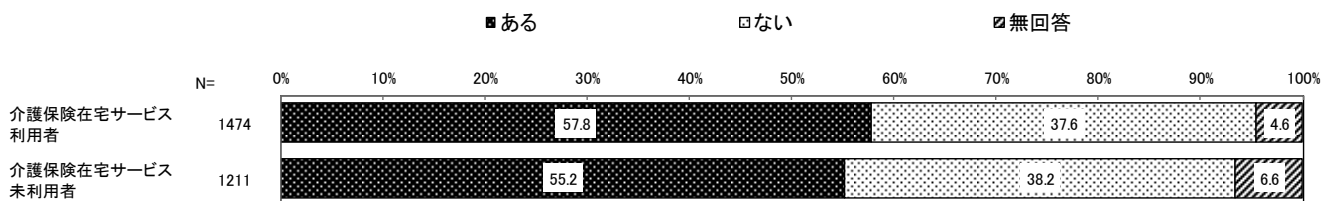
<在宅サービス利用者調査>問 20

<在宅サービス未利用者調査>問 25

あなたは、在宅医療に関心がありますか。(○は1つ)

※在宅医療とは、さまざまな病気をお持ちの方が、入院せずに自宅などで医師や看護師などの訪問による医療サービスを受けることです。

【図表 4-17-1 在宅医療への関心】



在宅医療への関心は、介護保険在宅サービス利用者では「ある」が57.8%、「ない」が37.6%、未利用者では「ある」が55.2%、「ない」が38.2%となっている。

【図表 4-17-2 在宅医療への関心×要介護度別<在宅サービス利用者調査>】

(%)

		回答数	ある	ない	無回答
全体		1474	57.8	37.6	4.6
要介護度別	要支援1	297	52.9	41.1	6.1
	要支援2	274	52.6	43.8	3.6
	要介護1	294	57.5	38.1	4.4
	要介護2	256	62.9	32.4	4.7
	要介護3	139	62.6	36.7	0.7
	要介護4	102	59.8	35.3	4.9
	要介護5	66	80.3	16.7	3.0
	わからない	20	35.0	55.0	10.0

【図表 4-17-3 在宅医療への関心×要介護度別<在宅サービス未利用者調査>】

(%)

		回答数	ある	ない	無回答
全体		1211	55.2	38.2	6.6
要介護度別	要支援1	508	59.3	36.4	4.3
	要支援2	203	59.1	36.9	3.9
	要介護1	147	50.3	45.6	4.1
	要介護2	62	50.0	45.2	4.8
	要介護3	50	50.0	40.0	10.0
	要介護4	51	54.9	23.5	21.6
	要介護5	39	38.5	38.5	23.1
	わからない	94	51.1	41.5	7.4

(3) 訪問診療の利用の有無

<在宅サービス利用者調査>問 21

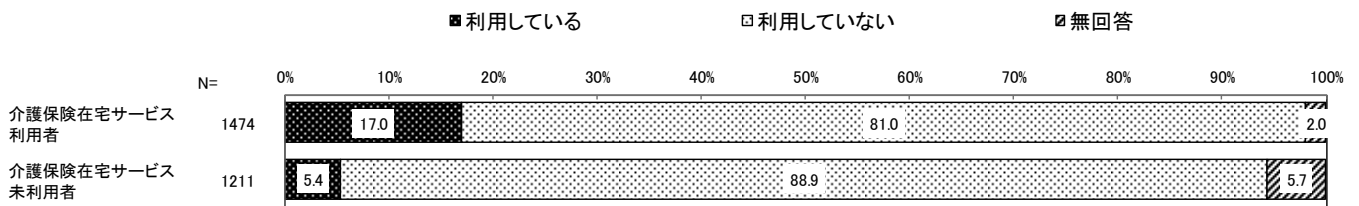
<在宅サービス未利用者調査>問 26

あなたは、現在、訪問診療を利用していますか。(○は1つ)

※訪問診療とは、かかりつけ医が在宅で療養している患者宅を定期的に訪問し、医療を提供することです。

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

【図表 4-18-1 訪問診療の利用の有無】



訪問診療の利用の有無は、介護保険在宅サービス利用者では「利用している」が17.0%、「利用していない」が81.0%、未利用者では「利用している」が5.4%、「利用していない」が88.9%となっている。

【図表 4-18-2 訪問診療の利用の有無×要介護度別<在宅サービス利用者調査>】

		回答数	利用している (%)	利用していない (%)	無回答 (%)
全体		1474	17.0	81.0	2.0
要介護度別	要支援1	297	5.4	91.6	3.0
	要支援2	274	8.8	89.4	1.8
	要介護1	294	11.2	87.4	1.4
	要介護2	256	18.4	80.9	0.8
	要介護3	139	25.9	72.7	1.4
	要介護4	102	44.1	52.9	2.9
	要介護5	66	65.2	33.3	1.5
	わからない	20	5.0	95.0	0.0

介護保険在宅サービス利用者を要介護度別にみると、要介護度が重くなるほど「利用している」の割合が高くなっている。

【図表 4-18-3 訪問診療の利用の有無×要介護度別&lt;在宅サービス未利用者調査&gt;】

(%)

		回答数	利用している	利用していない	無回答
全体		1211	5.4	88.9	5.7
要介護度別	要支援1	508	2.8	94.1	3.1
	要支援2	203	2.0	94.1	3.9
	要介護1	147	7.5	89.8	2.7
	要介護2	62	4.8	93.5	1.6
	要介護3	50	16.0	74.0	10.0
	要介護4	51	19.6	60.8	19.6
	要介護5	39	20.5	59.0	20.5
	わからない	94	2.1	90.4	7.4

介護保険在宅サービス未利用者を要介護度別にみると、要介護 2～5 では要介護度が重くなるほど「利用している」の割合が高くなっている。

(4) 在宅医療の希望

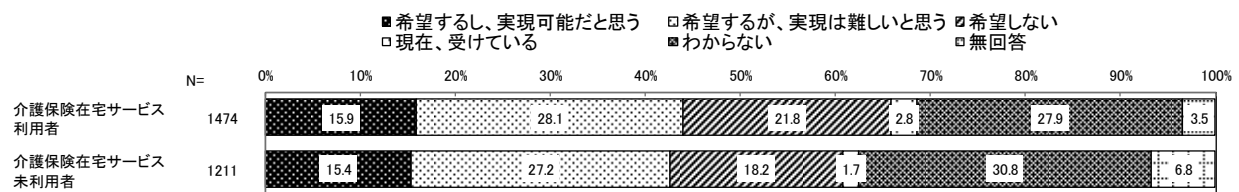
①在宅医療の希望・実現可能性

<在宅サービス利用者調査>問 22

<在宅サービス未利用者調査>問 27

あなたは、脳卒中の後遺症やがんなどで長期の治療が必要となった場合、在宅医療を希望しますか。また、実現可能と思いますか。(○は1つ)

【図表 4-19-1 在宅医療の希望・実現可能性】



在宅医療の希望は、「希望するし、実現可能だと思う」と「希望するが、実現は難しいと思う」を合わせた『希望する』が、介護保険在宅サービス利用者では44.0%、未利用者では42.6%となっている。また、「希望しない」の割合は、介護保険在宅サービス利用者では21.8%、未利用者では18.2%となっている。

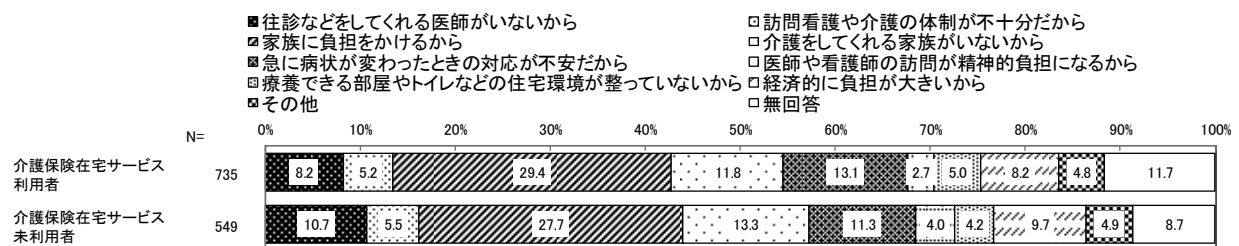
②在宅医療を希望しない・実現が難しい理由

<在宅サービス利用者調査>問 22で「2」か「3」と答えた方にうかがいます。問 22-1

<在宅サービス未利用者調査>問 27で「2」か「3」と答えた方にうかがいます。問 27-1

在宅医療を希望しない、または実現が難しいと思う理由は何ですか。(○は1つ)

【図表 4-19-2 在宅医療を希望しない・実現が難しい理由】



在宅医療を希望しないまたは実現が難しいと思う理由は、介護保険在宅サービス利用者では「家族に負担をかけるから」が29.4%で最も高く、次いで「急に病状が変わったときの対応が不安だから」が13.1%、「介護をしてくれる家族がないから」が11.8%となっている。

未利用者では「家族に負担をかけるから」が27.7%で最も高く、次いで「介護をしてくれる家族がないから」が13.3%、「急に病状が変わったときの対応が不安だから」が11.3%となっている。

## 4. 今後の介護・医療について

### (1) 今後、どのような介護を受けたいか

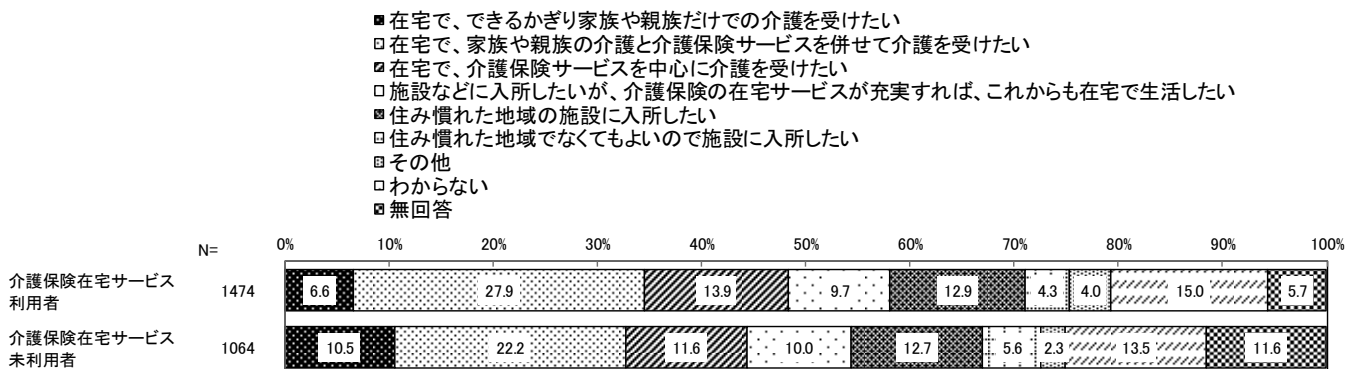
<在宅サービス利用者調査>問 23

<在宅サービス未利用者調査>問 34

今後、どのような介護を受けていきたいと思いませんか。(○は1つ)

※ここで在宅とは、自宅または家族や親族の家を指します。

【図表 4-20-1 今後、どのような介護を受けたいか】



今後、どのような介護を受けたいかは、介護保険在宅サービス利用者では「在宅で、家族や親族の介護と介護保険サービスを併せて介護を受けたい」が27.9%で最も高く、次いで「わからない」が15.0%、「在宅で、介護保険サービスを中心に介護を受けたい」が13.9%となっている。

未利用者では「在宅で、家族や親族の介護と介護保険サービスを併せて介護を受けたい」が22.2%で最も高く、次いで「わからない」が13.5%、「住み慣れた地域の施設に入所したい」が12.7%となっている。

(2) 最期を迎えたい場所

<在宅サービス利用者調査>問 24

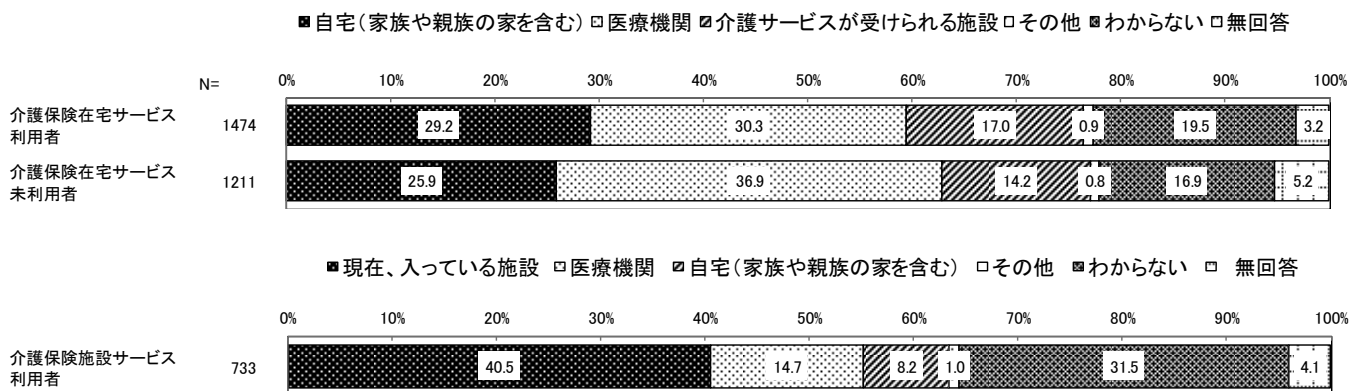
<在宅サービス未利用者調査>問 28

<介護保険施設サービス利用者調査>問 13

万一、あなたが治る見込みがない病気になった場合、最期はどこで迎えたいですか。

(○は1つ)

【図表 4-21-1 最期を迎えたい場所】



最期を迎えたい場所は、介護保険在宅サービス利用者では「医療機関」が30.3%で最も高く、次いで「自宅(家族や親族の家を含む)」が29.2%、「わからない」が19.5%となっている。

未利用者では「医療機関」が36.9%で最も高く、次いで「自宅(家族や親族の家を含む)」が25.9%、「わからない」が16.9%となっている。

介護保険施設サービス利用者では「現在、入っている施設」が40.5%で最も高く、次いで「わからない」が31.5%、「医療機関」が14.7%となっている。

(3) 単身者となった場合に希望する「見守り」の内容

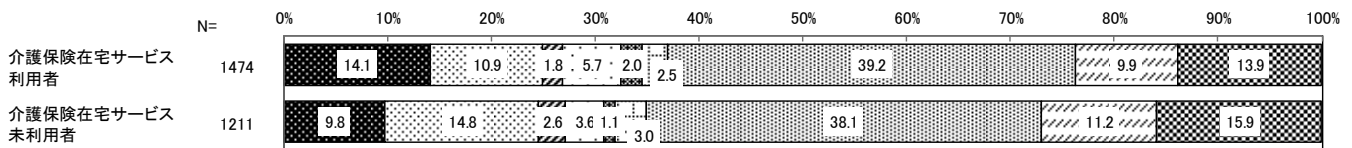
<在宅サービス利用者調査>問 26

<在宅サービス未利用者調査>問 22

単身者となった場合、どのような「見守り」を希望しますか。(○は1つ)

【図表 4-22-1 単身者となった場合に希望する「見守り」の内容】

- 民間事業者による見守り(警備会社、携帯電話など)
- 民生委員の訪問による見守り
- 町内会長や町内会の訪問による見守り
- 校区社会福祉協議会の訪問による見守り
- 友愛訪問による見守り
- 近隣住民が外から様子を伺う見守り
- 親族などと電話やメールのやり取りを行う見守り
- 見守りは希望しない
- 無回答



単身者となった場合に希望する「見守り」の内容は、介護保険在宅サービス利用者では「親族などと電話やメールのやり取りを行う見守り」が39.2%で最も高く、次いで「民間事業者による見守り（警備会社、携帯電話など）」が14.1%、「民生委員の訪問による見守り」が10.9%となっている。

未利用者では「親族などと電話やメールのやり取りを行う見守り」が38.1%で最も高く、次いで「民生委員の訪問による見守り」が14.8%、「見守りは希望しない」が11.2%となっている。

(4) 近隣住民の訪問による「見守り」の希望回数

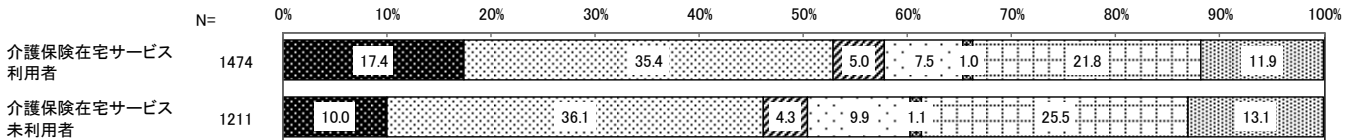
<在宅サービス利用者調査>問 27

<在宅サービス未利用者調査>問 23

単身者となった場合、近隣住民の方が訪問による「見守り」を行うとしたら、どのくらいの回数を希望しますか。(○は1つ)

【図表 4-23-1 近隣住民の訪問による「見守り」の希望回数】

- 毎日
- 週1回
- 2週に1回
- 月1回
- 3ヶ月に1回
- 訪問による見守りは希望しない
- 無回答



近隣住民の訪問による「見守り」の希望回数は、介護保険在宅サービス利用者では「週1回」が35.4%で最も高く、次いで「訪問による見守りは希望しない」が21.8%、「毎日」が17.4%となっている。

未利用者では「週1回」が36.1%で最も高く、次いで「訪問による見守りは希望しない」が25.5%、「毎日」が10.0%となっている。

## 5. 介護保険制度全般について

### (1) 介護保険制度全体の満足度

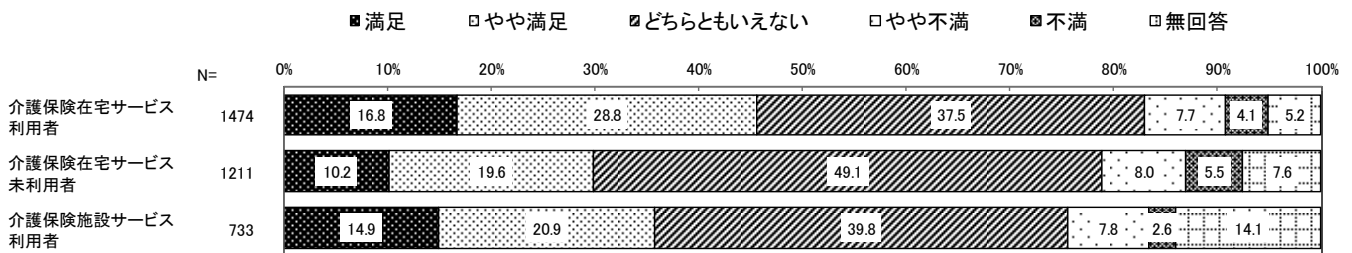
＜在宅サービス利用者調査＞問 28

＜在宅サービス未利用者調査＞問 29

＜介護保険施設サービス利用者調査＞問 21

あなたは、介護保険制度全般について満足していますか。(○は1つ)

【図表 4-24-1 介護保険制度全体の満足度】



介護保険制度全体の満足度は、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』が介護保険在宅サービス利用者では 45.6%、未利用者が 29.8%、介護保険施設サービス利用者では 35.8%となっている。

「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』は介護保険在宅サービス利用者では 11.8%、未利用者が 13.5%、介護保険施設サービス利用者では 10.4%となっている。

(2) 介護保険制度で不満に思うこと

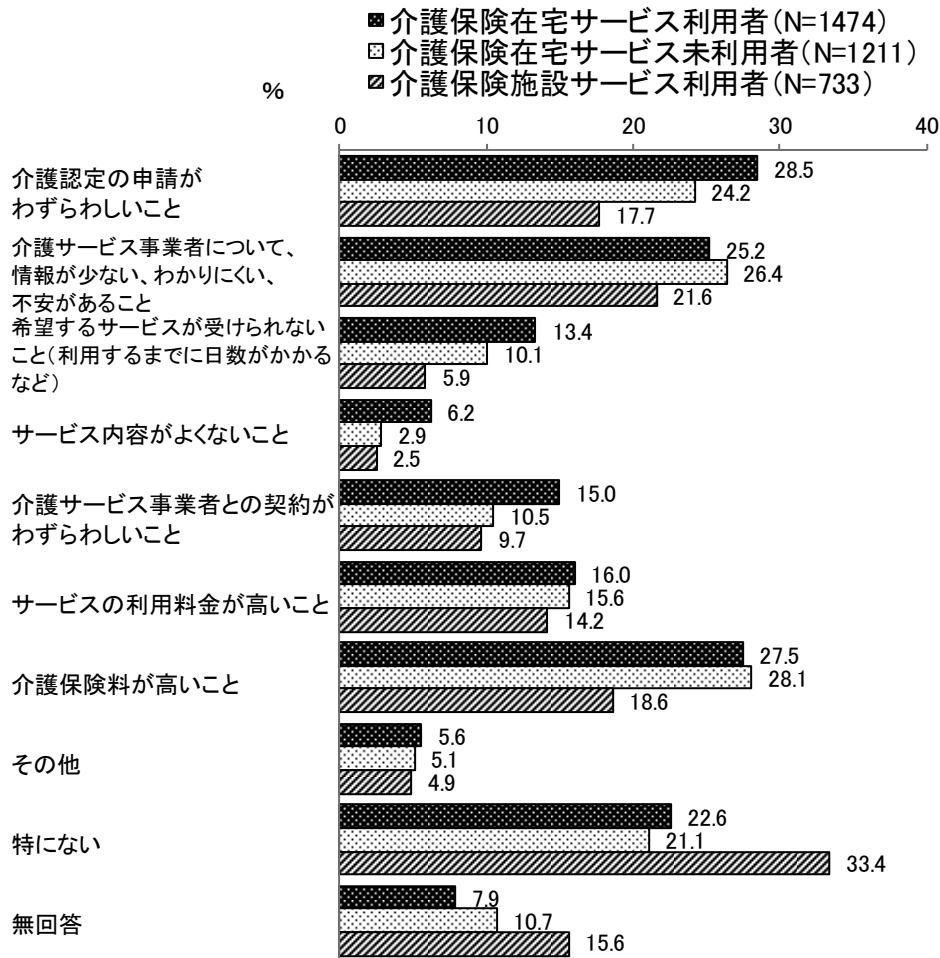
<在宅サービス利用者調査>問 29

<在宅サービス未利用者調査>問 30

<介護保険施設サービス利用者調査>問 22

介護保険制度で不満に思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

【図表 4-25-1 介護保険制度で不満に思うこと】



介護保険制度で不満に思うことは、介護保険在宅サービス利用者では「介護認定の申請がわずらわしいこと」が28.5%で最も高く、次いで「介護保険料が高いこと」が27.5%、「介護サービス事業者について、情報が少ない、わかりにくい、不安があること」が25.2%となっている。

未利用者では「介護保険料が高いこと」が28.1%で最も高く、次いで「介護サービス事業者について、情報が少ない、わかりにくい、不安があること」が26.4%、「介護認定の申請がわずらわしいこと」が24.2%となっている。

介護保険施設サービス利用者では「特にない」が33.4%で最も高く、次いで「介護サービス事業者について、情報が少ない、わかりにくい、不安があること」が21.6%、「介護保険料が高いこと」が18.6%となっている。

(3) 介護保険制度でわかりにくいこと

<在宅サービス利用者調査>問 30

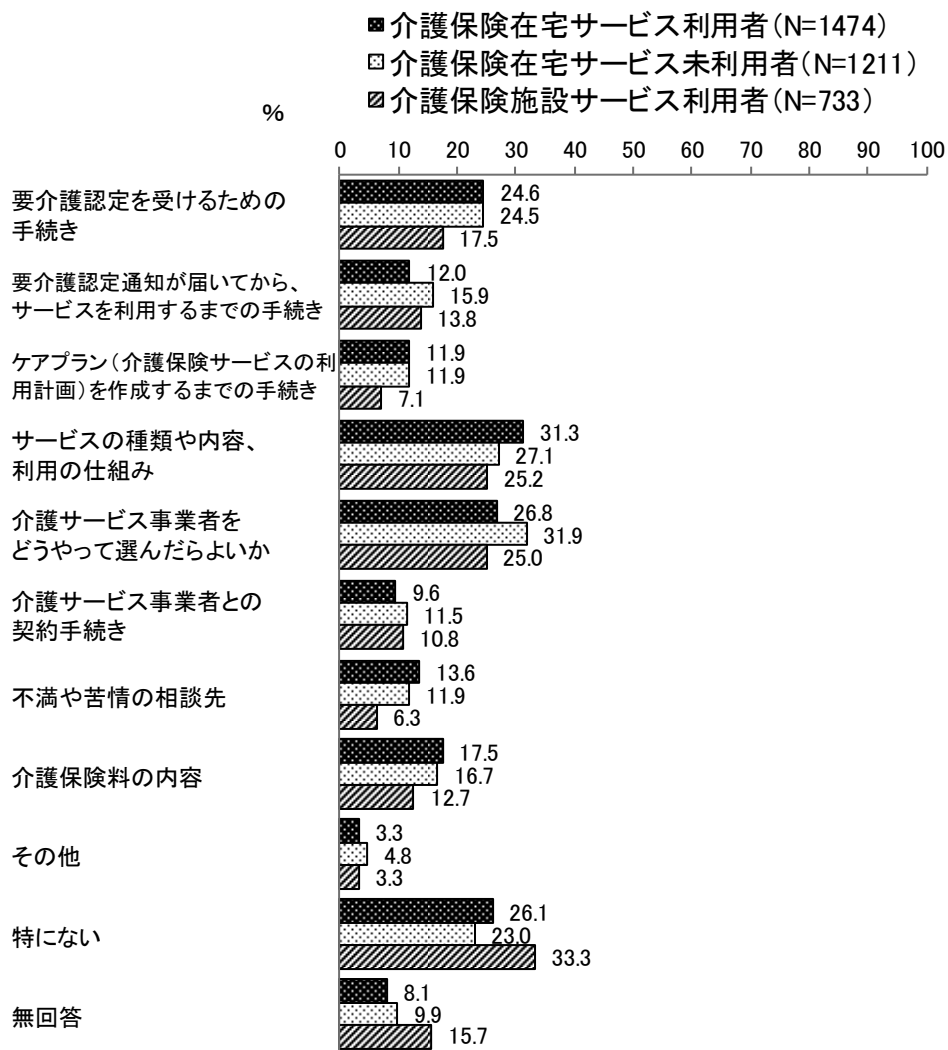
<在宅サービス未利用者調査>問 31

<介護保険施設サービス利用者調査>問 23

あなたにとって介護保険制度でわかりにくいところはどのようなことですか。

(〇はいくつでも)

【図表 4-26-1 介護保険制度でわかりにくいこと】



介護保険制度でわかりにくいことは、介護保険在宅サービス利用者では「サービスの種類や内容、利用の仕組み」が31.3%、未利用者では「介護サービス事業者をどうやって選んだらよいか」が31.9%、介護保険施設サービス利用者では「特にない」が33.3%で最も高くなっている。

介護保険在宅サービス利用者、未利用者、介護保険施設サービス利用者ともに上記項目に加えて「要介護認定を受けるための手続き」が上位にあげられている。

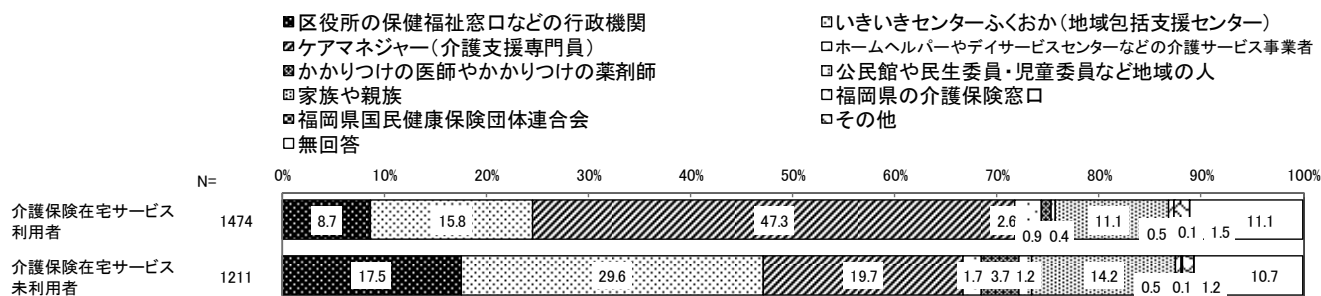
(4) 介護や福祉サービスについての相談先

<在宅サービス利用者調査>問 32

<在宅サービス未利用者調査>問 32

介護のことや市の福祉サービスなどについてわからないことや不満があるとき、あなたはまず、誰に（どこに）相談しますか。（○は1つ）

【図表 4-27-1 介護や福祉サービスについての相談先】



介護や福祉サービスについての相談先は、介護保険在宅サービス利用者では「ケアマネジャー（介護支援専門員）」が47.3%で最も高く、次いで「いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）」が15.8%、「家族や親族」が11.1%となっている。

未利用者では「いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）」が29.6%で最も高く、次いで「ケアマネジャー（介護支援専門員）」が19.7%、「区役所の保健福祉窓口などの行政機関」が17.5%となっている。

## 6. 現在の介護サービスについて

### (1) 高齢者サービス

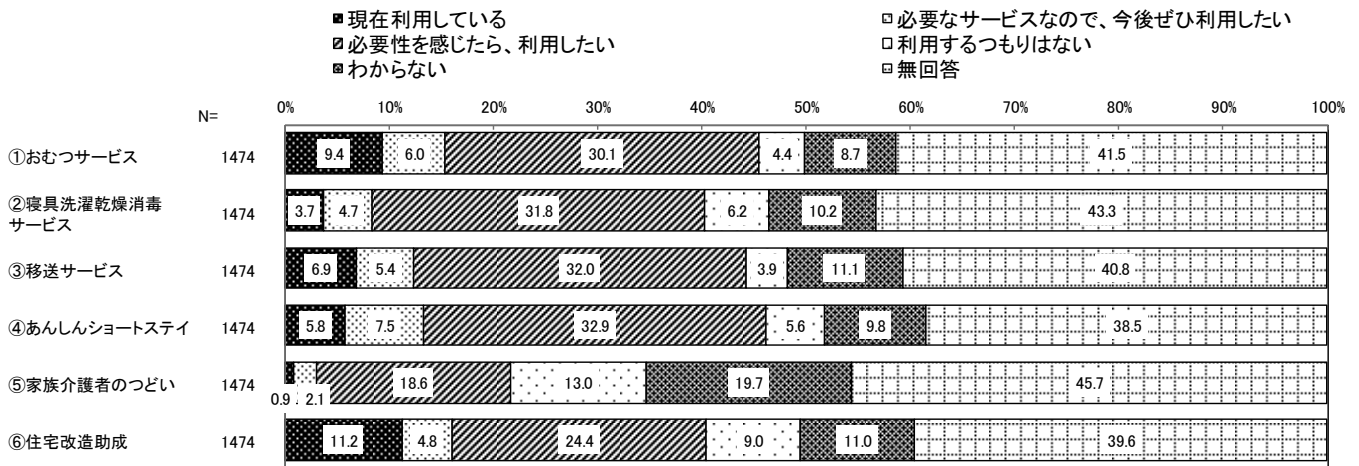
#### ①サービスの利用状況・利用意向

<在宅サービス利用者調査>問 35

<在宅サービス未利用者調査>問 33

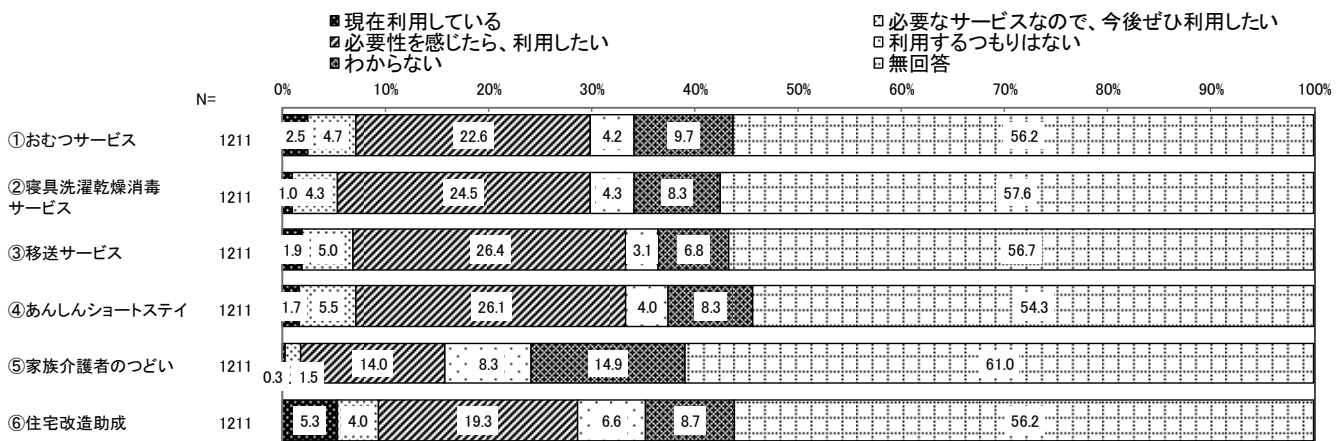
あなたは、次に挙げるサービスを利用したことがありますか。また、現在利用していない場合は、今後利用したいと思いますか。(項目ごとに○は1つ)

【図表 4-28-1 サービスの利用状況・利用意向<在宅サービス利用者調査>】



介護保険在宅サービス利用者のサービスの利用状況・利用意向は、「おむつサービス」と「住宅改造助成」を現在利用している割合が他と比べて高くなっている。

【図表 4-28-2 サービスの利用状況・利用意向<在宅サービス未利用者調査>】



介護保険在宅サービス未利用者のサービスの利用状況・利用意向は、「住宅改造助成」を現在利用している割合が他と比べて高くなっている。

②サービスの満足度

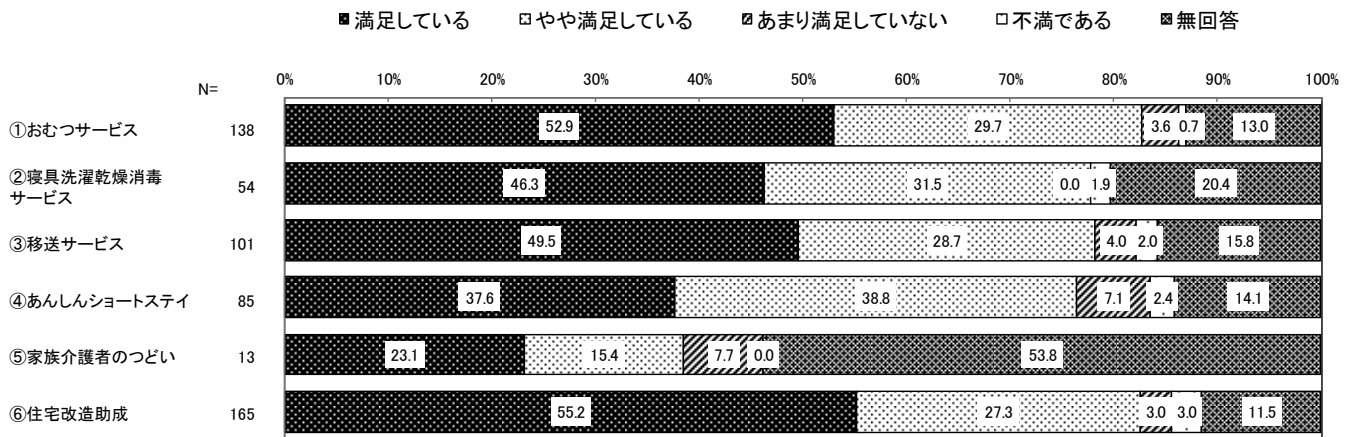
<在宅サービス利用者調査>問 35

<在宅サービス未利用者調査>問 33

さらに、サービスを現在利用している場合は、それに対する満足度はいかがですか。

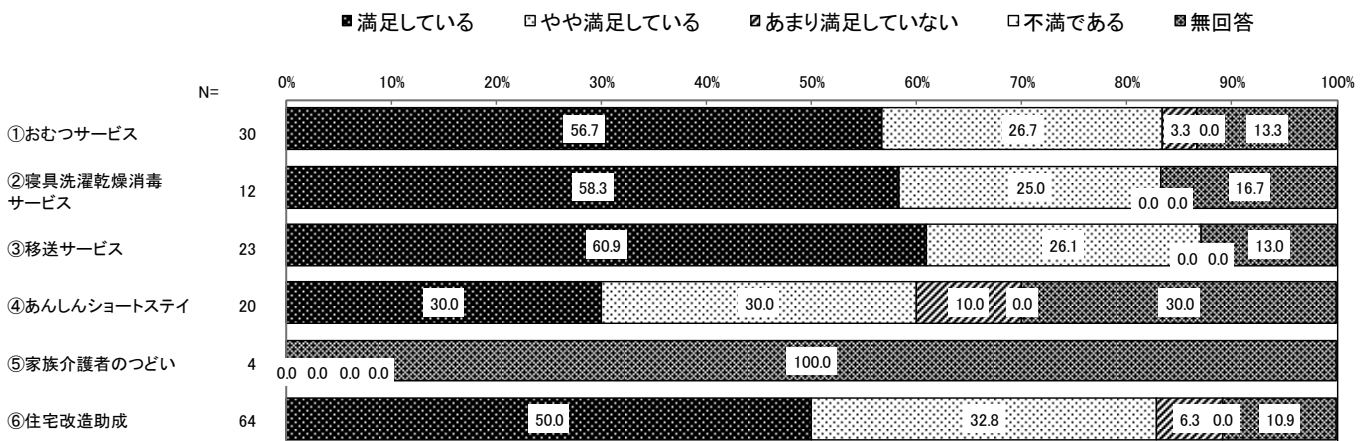
(項目ごとに○は1つ)

【図表 4-29-1 サービスの満足度<在宅サービス利用者調査>】



介護保険在宅サービス利用者のサービスの満足度は、家族介護者のつどいを除いて、「満足している」と「やや満足している」を合わせた『満足している』がいずれも7割半ばから8割となっている。

【図表 4-29-2 サービスの満足度<在宅サービス未利用者調査>】



介護保険在宅サービス未利用者のサービスの満足度は、あんしんショートステイと家族介護者のつどいを除いて、『満足している』がいずれも8割を超えており、あんしんショートステイでも60.0%となっている。

## 7. 家族の回答

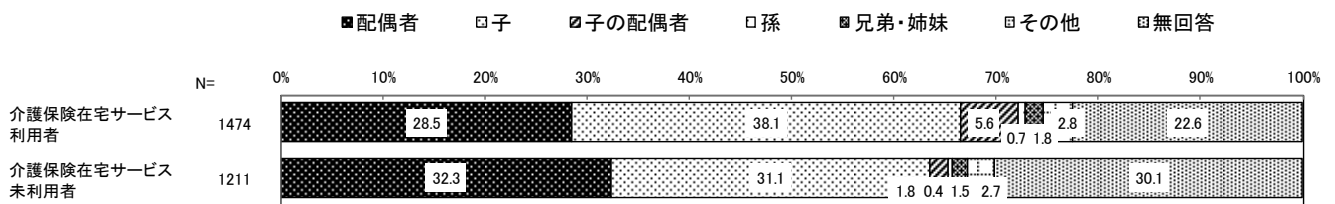
### (1) 主な介護者

<在宅サービス利用者調査>問 36

<在宅サービス未利用者調査>問 35

主な介護者の方はどなたですか。あて名の方ご本人（介護が必要な方）からみた続柄をお答えください。（○は1つ）

【図表 4-30-1 主な介護者】



主な介護者は、介護保険在宅サービス利用者では「子」が 38.1%で最も高く、次いで「配偶者」が 28.5%となっている。

未利用者では、「配偶者」が 32.3%で最も高く、次いで「子」が 31.1%となっている。

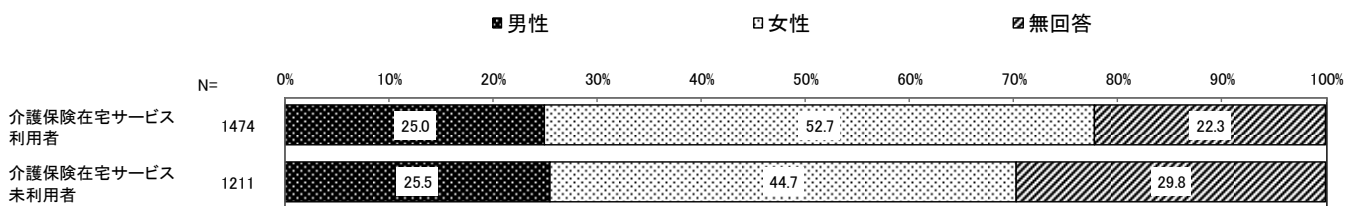
### (2) 主な介護者の性別

<在宅サービス利用者調査>問 37

<在宅サービス未利用者調査>問 36

主な介護者の方の性別は。（○は1つ）

【図表 4-31-1 主な介護者の性別】



主な介護者の性別は、介護保険在宅サービス利用者では「男性」が 25.0%、「女性」が 52.7%、未利用者では「男性」が 25.5%、「女性」が 44.7%となっている。

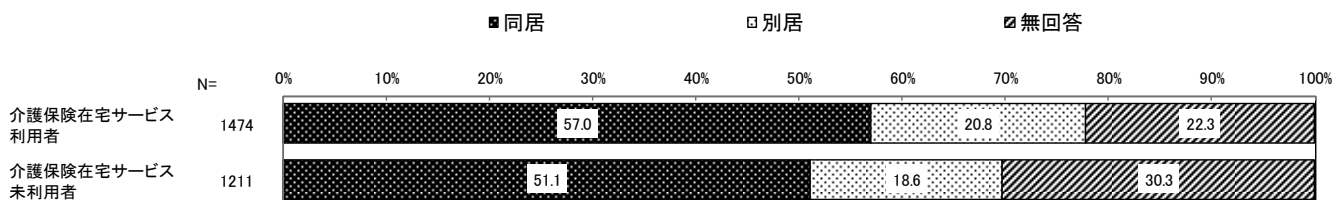
(3) 主な介護者の同居状況

<在宅サービス利用者調査>問 38

<在宅サービス未利用者調査>問 37

主な介護者の方の状況は。(○は1つ)

【図表 4-32-1 主な介護者の同居状況】



主な介護者の同居状況は、介護保険在宅サービス利用者では「同居」が 57.0%、「別居」が 20.8%、未利用者では「同居」が 51.1%、「別居」が 18.6%となっている。

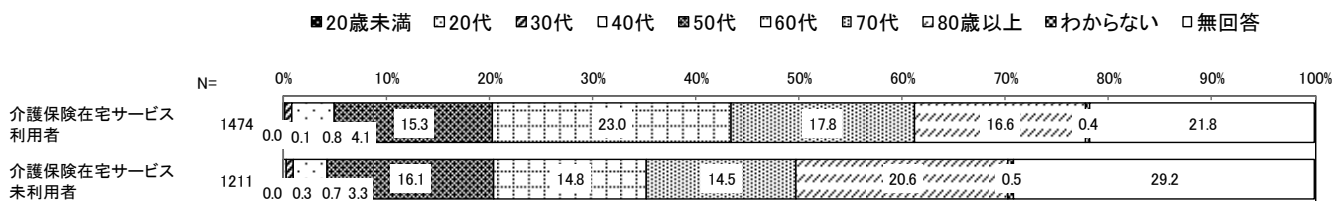
(4) 主な介護者の年齢

<在宅サービス利用者調査>問 39

<在宅サービス未利用者調査>問 38

主な介護者の方の年齢は。(○は1つ)

【図表 4-33-1 主な介護者の年齢】



主な介護者の年齢は、『60代以上』が介護保険在宅サービス利用者では 57.4%、未利用者では 49.9%と利用者の方が高くなっている。

(5) 介護離職の状況

＜在宅サービス利用者調査＞問 40

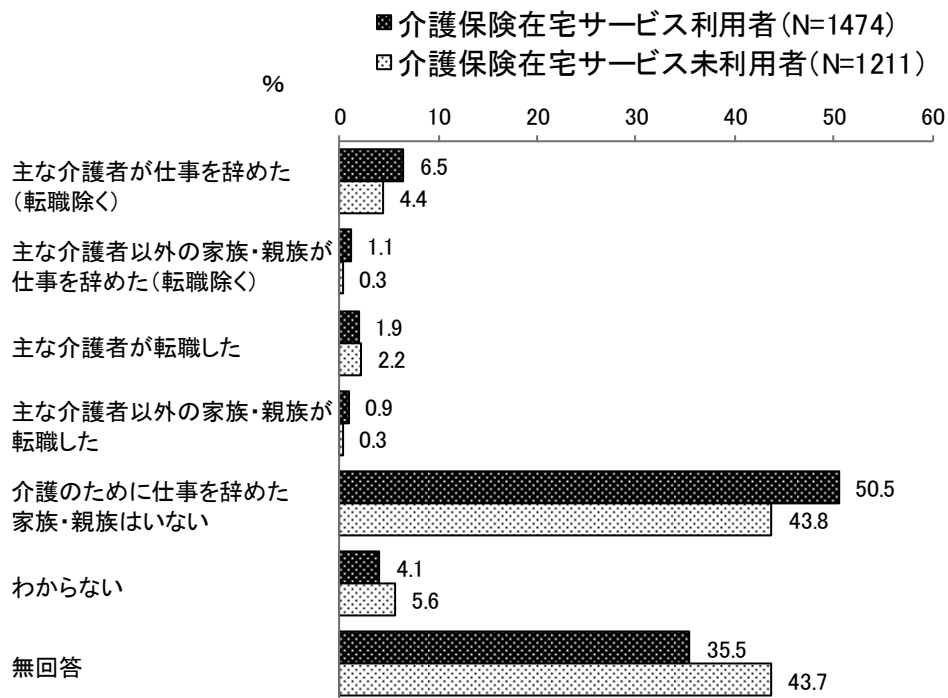
＜在宅サービス未利用者調査＞問 39

ご家族やご親族の中で、あて名の方ご本人（介護が必要な方）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。（○はいくつでも）

※現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

【図表 4-34-1 介護離職の状況】



介護離職の状況は、介護保険在宅サービス利用者、未利用者ともに「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が4割半ばから5割で最も高くなっている。一方、そのほかの項目はいずれも1割を下回っている。

(6) 主な介護者の勤務状況

① 主な介護者の勤務形態

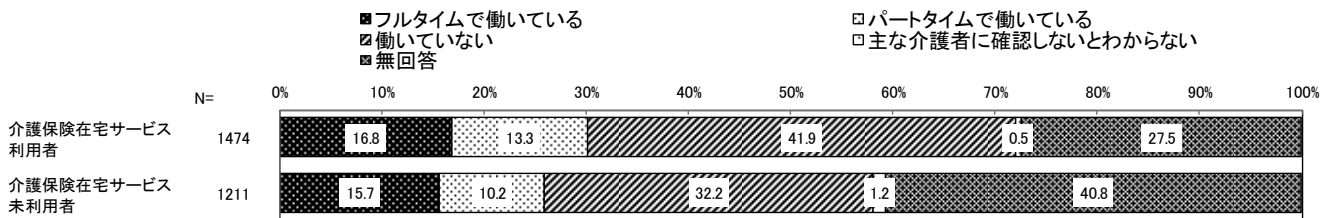
<在宅サービス利用者調査>問 41

<在宅サービス未利用者調査>問 40

主な介護者の方の現在の勤務形態は。(○は1つ)

※ここでいう「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」などの方を含みます。自営業・フリーランスなどの方の場合も、就労時間・日数などから「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。

【図表 4-35-1 主な介護者の勤務形態】

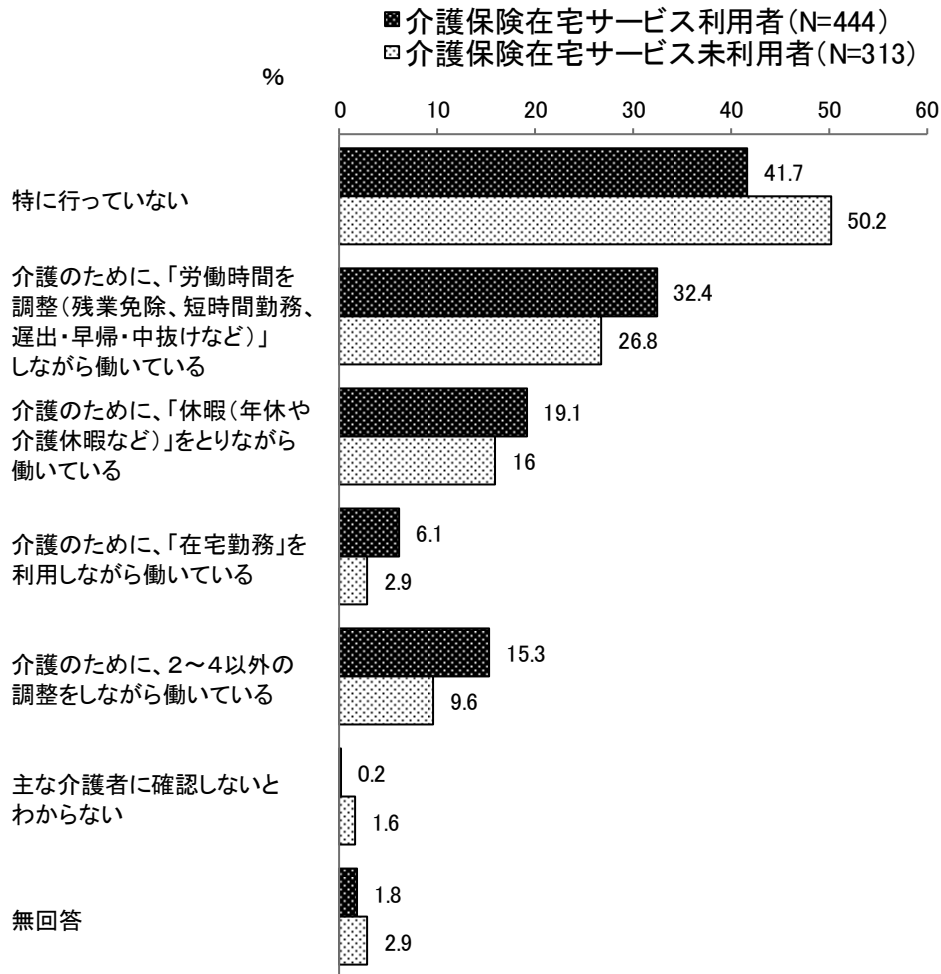


主な介護者の勤務形態は、「フルタイムで働いている」と「パートタイムで働いている」を合わせた『働いている』が、介護保険在宅サービス利用者では 30.1%、未利用者では 25.9%となっている。

②主な介護者の介護に伴う勤務調整の状況

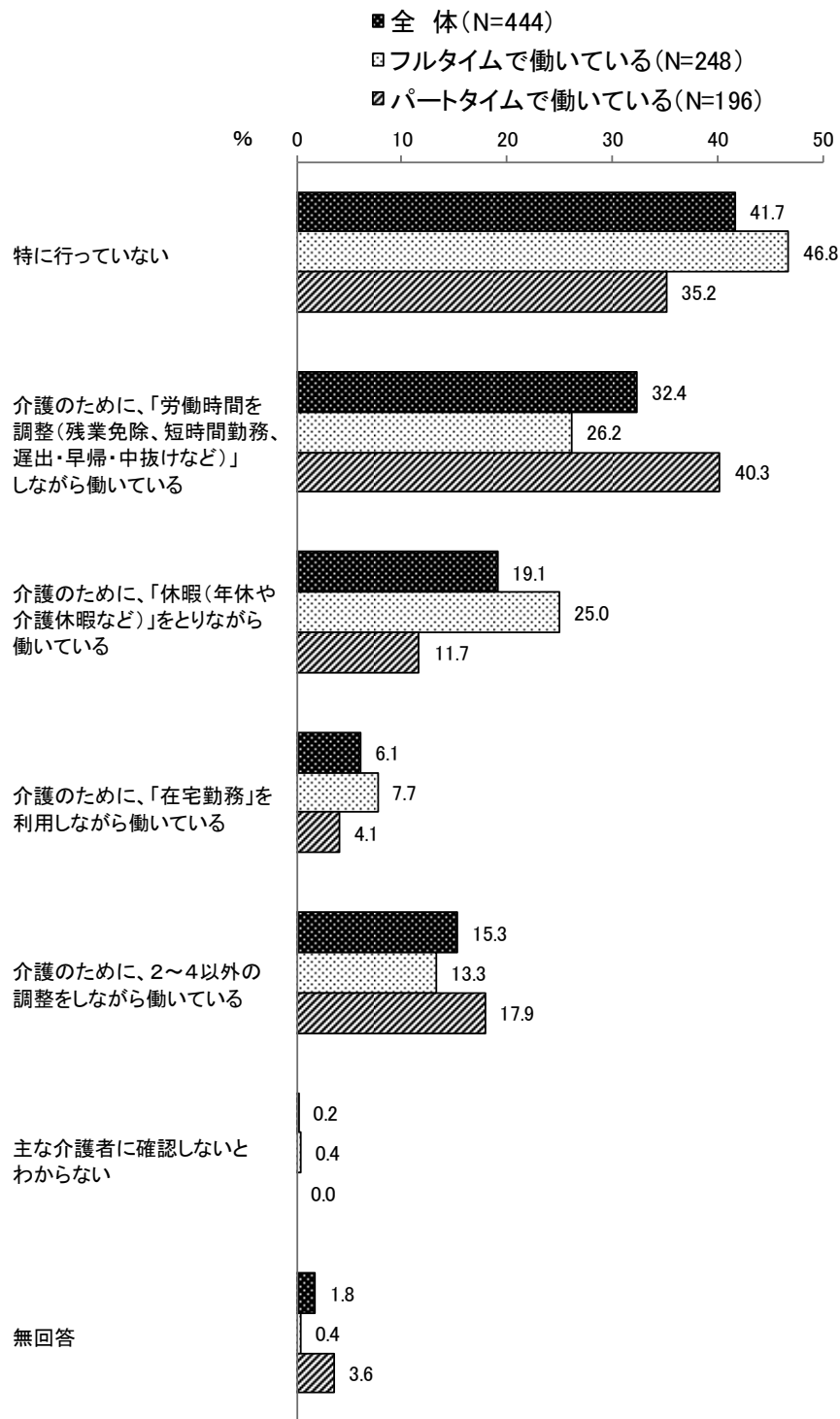
＜在宅サービス利用者調査＞問 41 で「1」か「2」と答えた方にうかがいます。問 41-1  
 ＜在宅サービス未利用者調査＞問 40 で「1」か「2」と答えた方にうかがいます。問 40-1  
 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整などをしていま  
 すか。(〇はいくつでも)

【図表 4-35-2 主な介護者の介護に伴う勤務調整の状況】



主な介護者の介護に伴う勤務調整の状況は、「特に行っていない」が最も高く、介護保険在宅サービス利用者で 41.7%、未利用者で 50.2%となっている。次いで「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜けなど)」しながら働いている」が介護保険在宅サービス利用者で 32.4%、未利用者で 26.8%となっている。

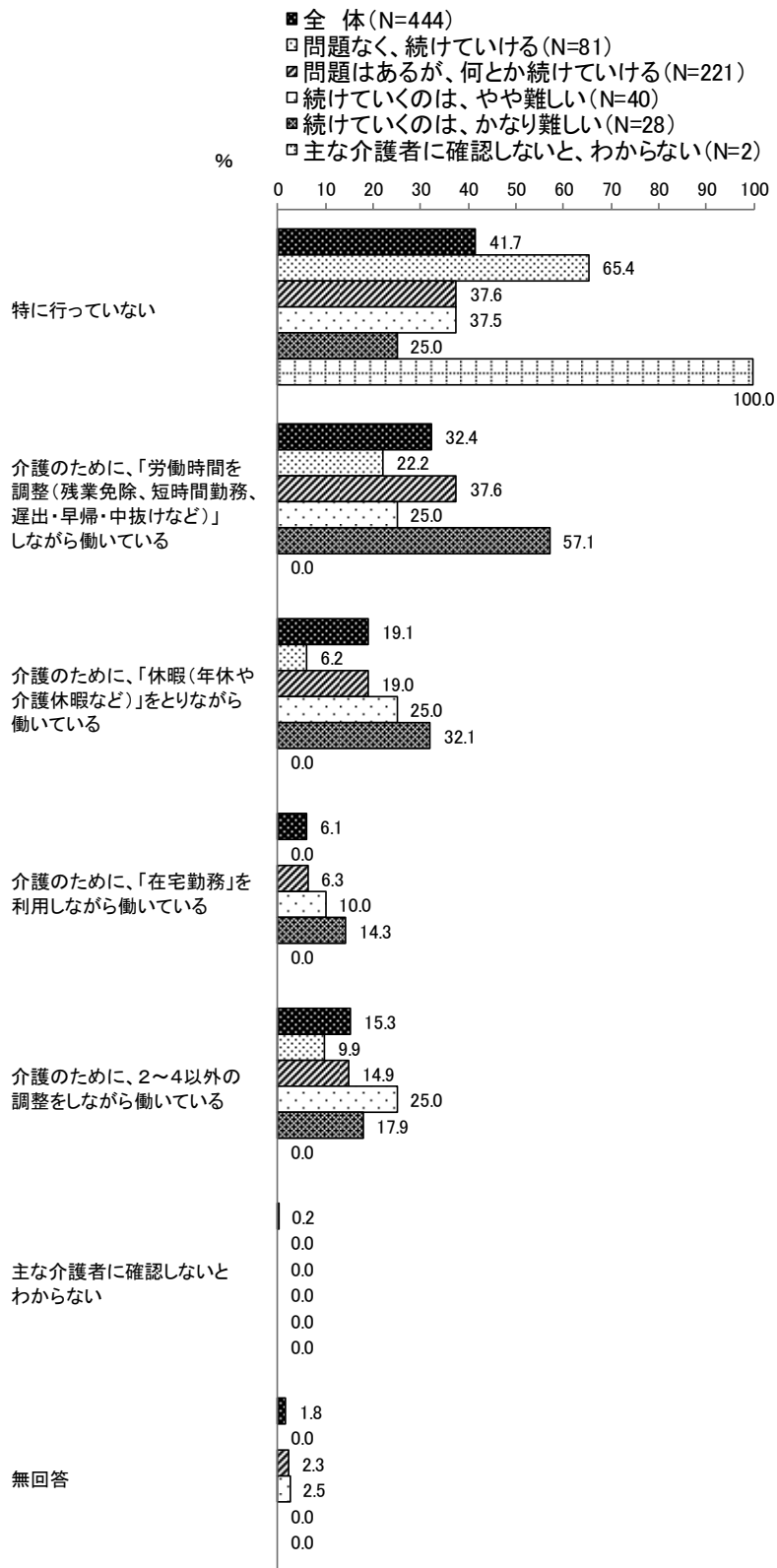
【図表 4-35-3 主な介護者の介護に伴う勤務調整の状況  
×主な介護者の勤務形態別<在宅サービス利用者>】



介護保険在宅サービス利用者の介護者の、介護に伴う勤務調整の状況を勤務形態別にみると、フルタイムで働いている人では「特に行っていない」の割合が、パートタイムで働いている人では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜けなど）」しながら働いている」の割合が高くなっている。

【図表 4-35-4 主な介護者の介護に伴う勤務調整の状況

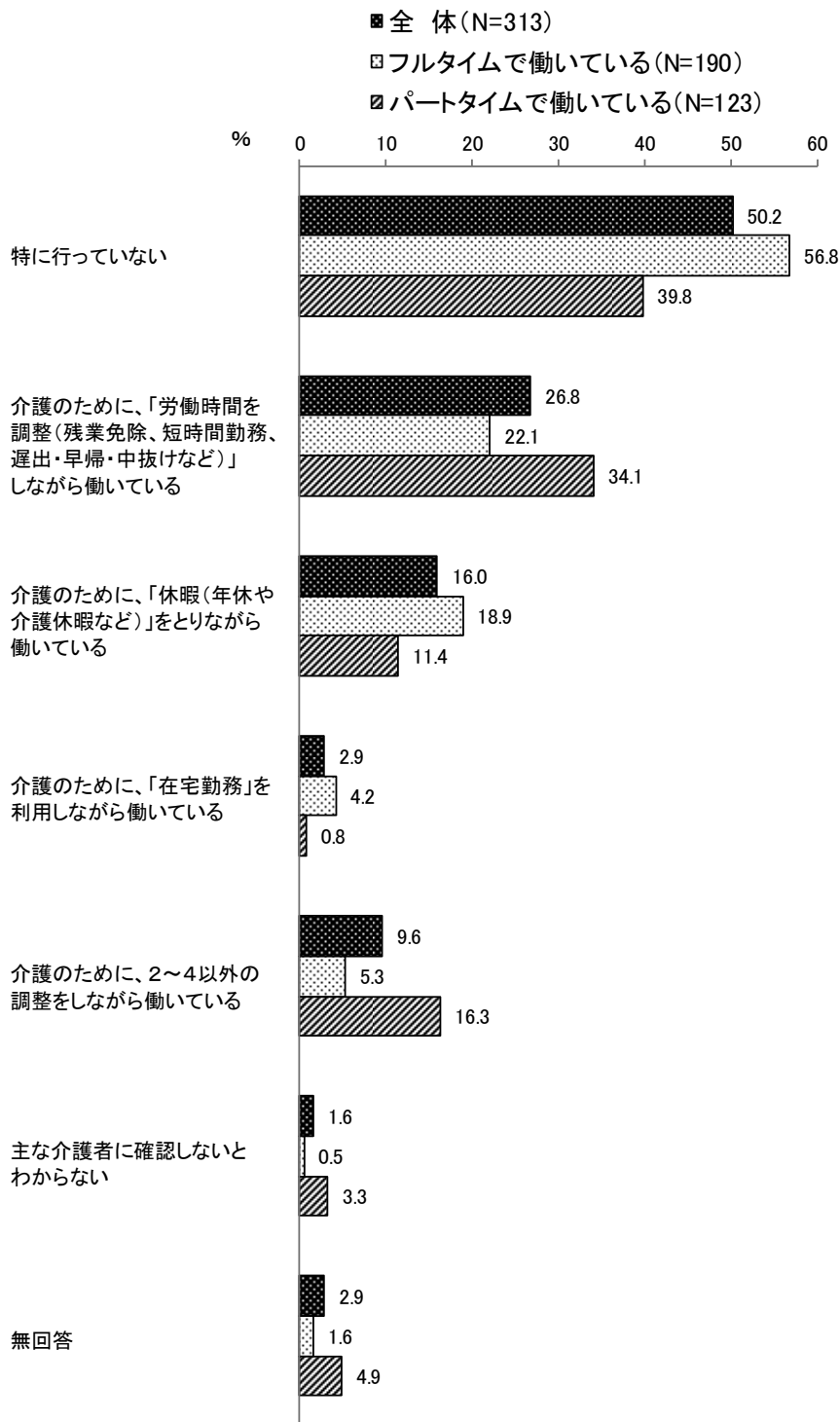
×主な介護者の仕事と介護の両立継続可能性別<在宅サービス利用者>】



介護保険在宅サービス利用者の介護者の、介護に伴う勤務調整の状況を仕事と介護の両立継続可能性別にみると、両立を問題なく、続けていける人は「特に行っていない」の割合が高くなっている。

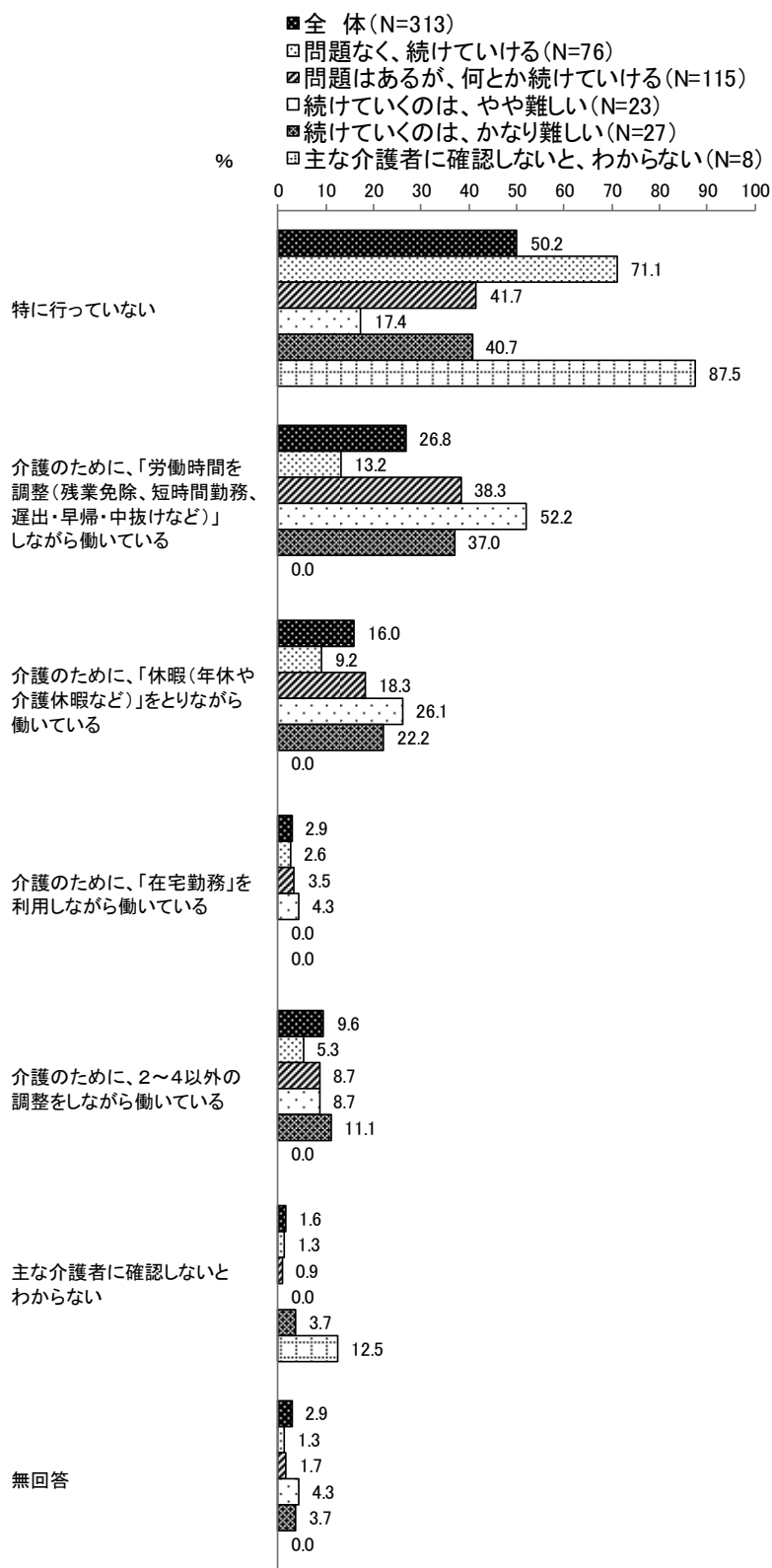
続けていくのは、かなり難しい人では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜けなど）」しながら働いている」「介護のために、「休暇（年休や介護休暇など）」をとりながら働いている」の割合が他と比べて高くなっている。

【図表 4-35-5 主な介護者の介護に伴う勤務調整の状況  
×主な介護者の勤務形態別<在宅サービス未利用者>】



介護保険在宅サービス未利用者の介護者の、介護に伴う勤務調整の状況を勤務形態別にみると、フルタイムで働いている人、パートタイムで働いている人ともに「特に行っていない」の割合が最も高くなっている。

【図表 4-35-6 主な介護者の介護に伴う勤務調整の状況  
×主な介護者の仕事と介護の両立継続可能性別<在宅サービス未利用者>】



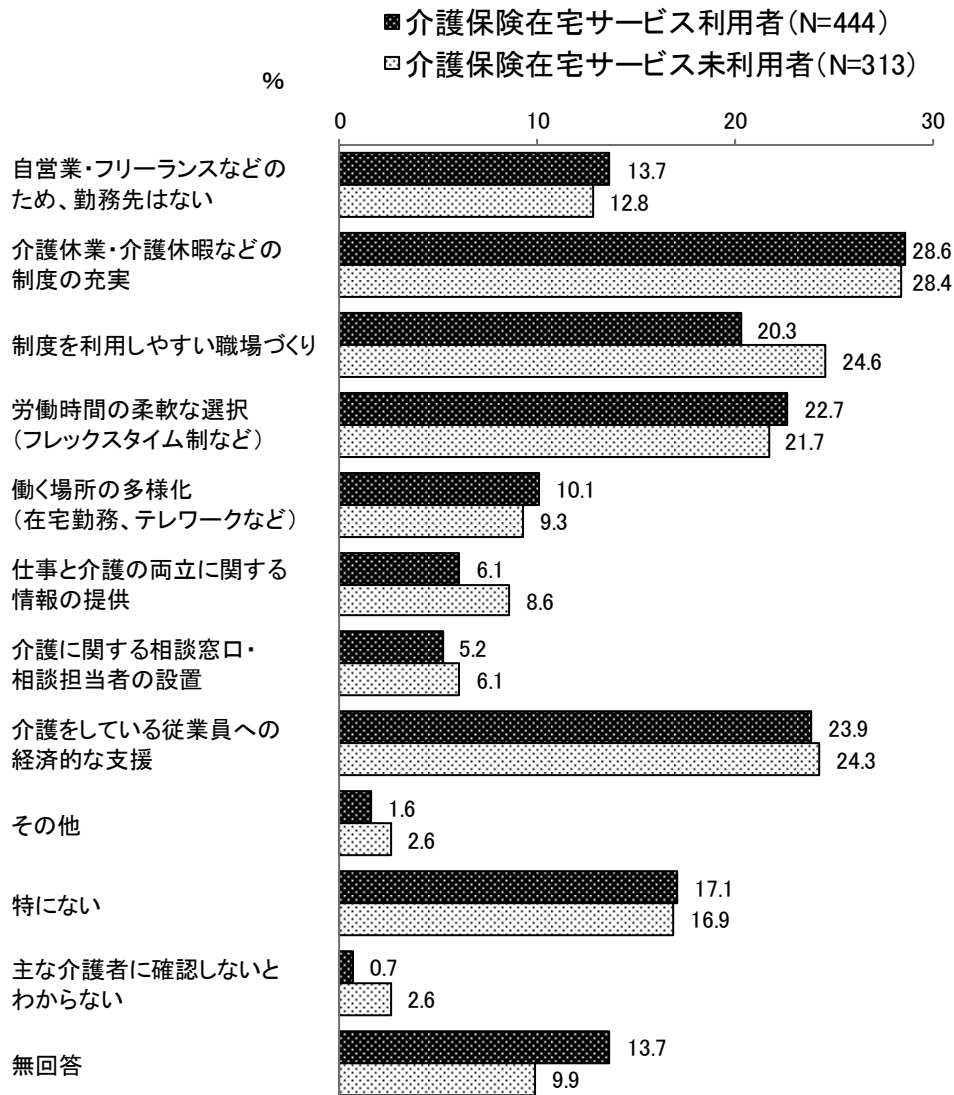
介護保険在宅サービス未利用者の介護者の、介護に伴う勤務調整の状況を仕事と介護の両立継続可能性別にみると、両立を問題なく、続けていける人では「特に行っていない」の割合が高くなっている。

両立を続けていくのは、やや難しい人では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜けなど）」しながら働いている」の割合が高くなっている。

## ③仕事と介護の両立に効果がある勤務先の支援の内容

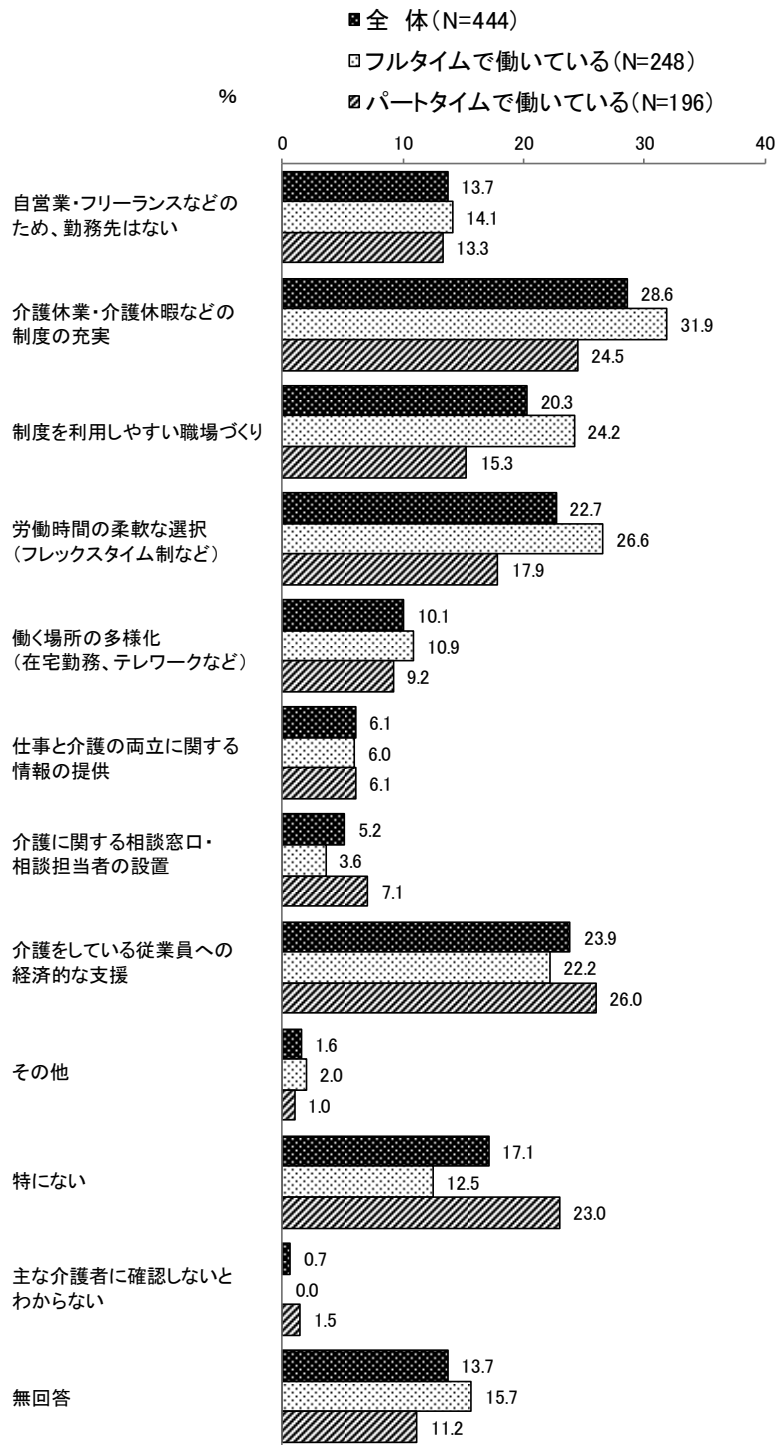
<在宅サービス利用者調査>問41で「1」か「2」と答えた方にうかがいます。問41-2  
 <在宅サービス未利用者調査>問40で「1」か「2」と答えた方にうかがいます。問40-2  
 主な介護者の方は、勤務先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果がある  
 と思いますか。(〇は3つまで)

【図表 4-35-7 仕事と介護の両立に効果がある勤務先の支援の内容】



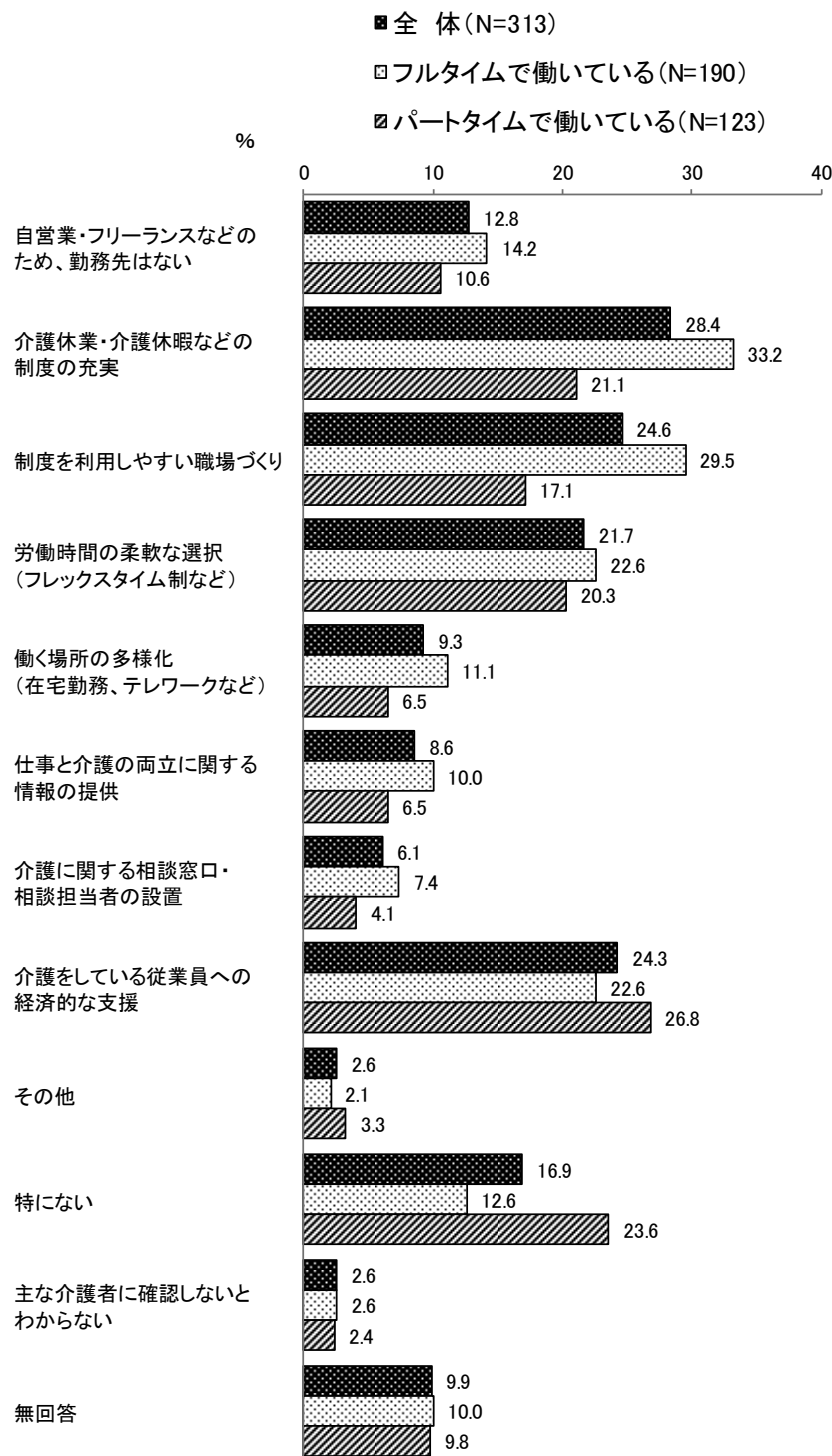
介護者が仕事と介護の両立に効果があると思う勤務先の支援の内容は、介護保険在宅サービス利用者、未利用者ともに、「介護休業・介護休暇などの制度の充実」「制度を利用しやすい職場づくり」「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」「介護をしている従業員への経済的な支援」が上位を占めている。

【図表 4-35-8 仕事と介護の両立に効果がある勤務先の支援の内容  
×主な介護者の勤務形態別<在宅サービス利用者>】



介護保険在宅サービス利用者の介護者が、仕事と介護の両立に効果があると思う勤務先の支援の内容を勤務形態別にみると、「介護休業・介護休暇などの制度の充実」「制度を利用しやすい職場づくり」「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」では、フルタイムで働いている人の方がパートタイムで働いている人より割合が高くなっている。

【図表 4-35-9 仕事と介護の両立に効果がある勤務先の支援の内容  
×主な介護者の勤務形態別<在宅サービス未利用者>】

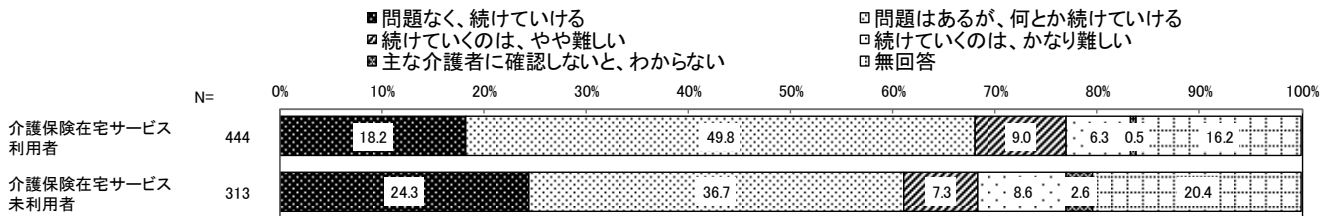


介護保険在宅サービス未利用者の介護者が、仕事と介護の両立に効果があると思う勤務先の支援の内容を勤務形態別にみると、「介護休業・介護休暇などの制度の充実」「制度を利用しやすい職場づくり」では、フルタイムで働いている人の方がパートタイムで働いている人より割合が高くなっている。

④主な介護者の仕事と介護の両立継続可能性

＜在宅サービス利用者調査＞問 41 で「1」か「2」と答えた方にうかがいます。問 41－3  
 ＜在宅サービス未利用者調査＞問 40 で「1」か「2」と答えた方にうかがいます。問 40－3  
 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(○は1つ)

【図表 4-35-10 主な介護者の仕事と介護の両立継続可能性】



主な介護者の仕事と介護の両立継続可能性は、介護保険在宅サービス利用者では「問題はあるが、何とか続けていける」が 49.8%で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が 18.2%、「続けていくのは、やや難しい」が 9.0%となっている。

未利用者では「問題はあるが、何とか続けていける」が 36.7%で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が 24.3%、「続けていくのは、かなり難しい」が 8.6%となっている。

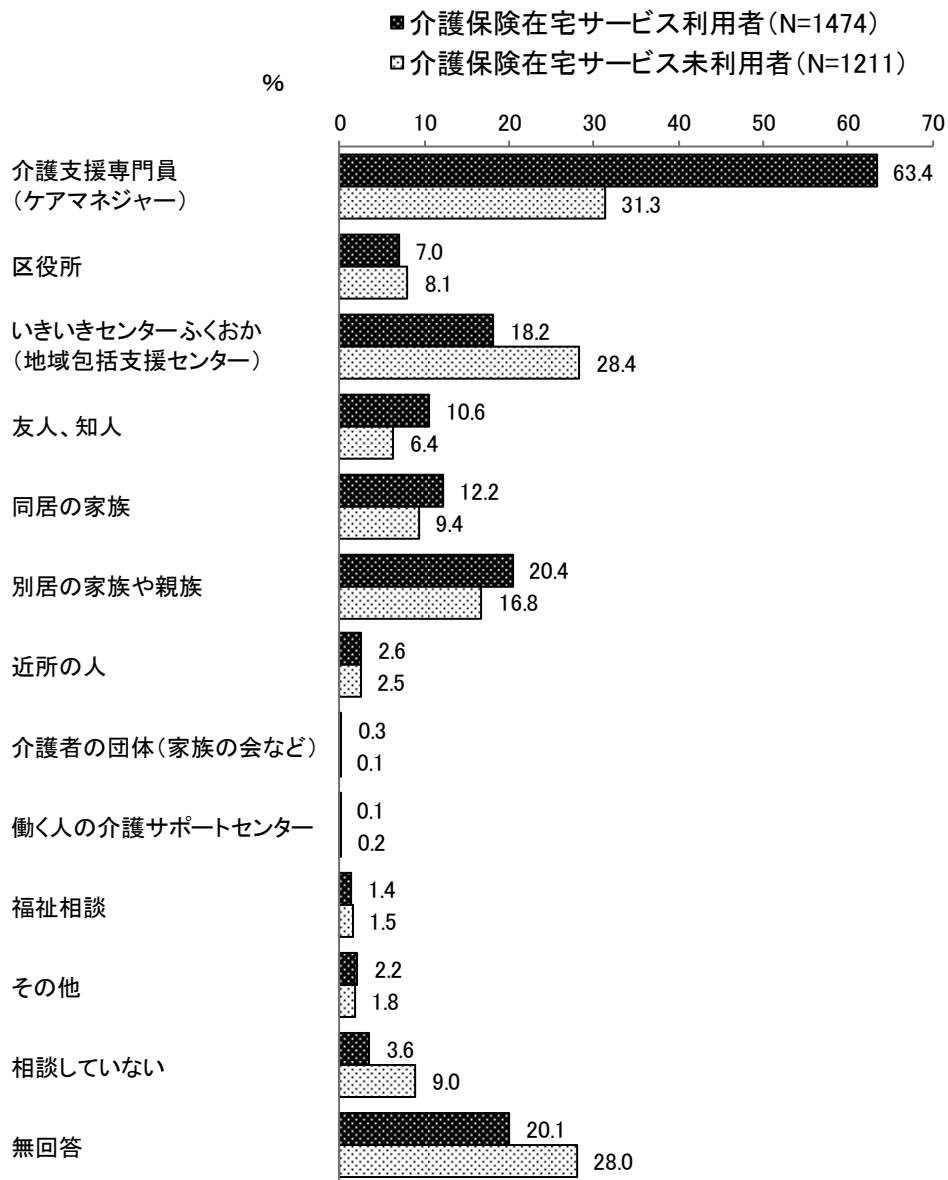
(7) 介護についての相談先

<在宅サービス利用者調査>問 42

<在宅サービス未利用者調査>問 41

介護に関することについて、誰（どこ）に相談していますか。（〇はいくつでも）

【図表 4-36-1 介護についての相談先】



介護についての相談先は、介護保険在宅サービス利用者では「介護支援専門員（ケアマネジャー）」が63.4%で最も高く、次いで「別居の家族や親族」が20.4%、「いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）」が18.2%となっている。

未利用者では「介護支援専門員（ケアマネジャー）」が31.3%で最も高く、次いで「いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）」が28.4%、「別居の家族や親族」が16.8%となっている。

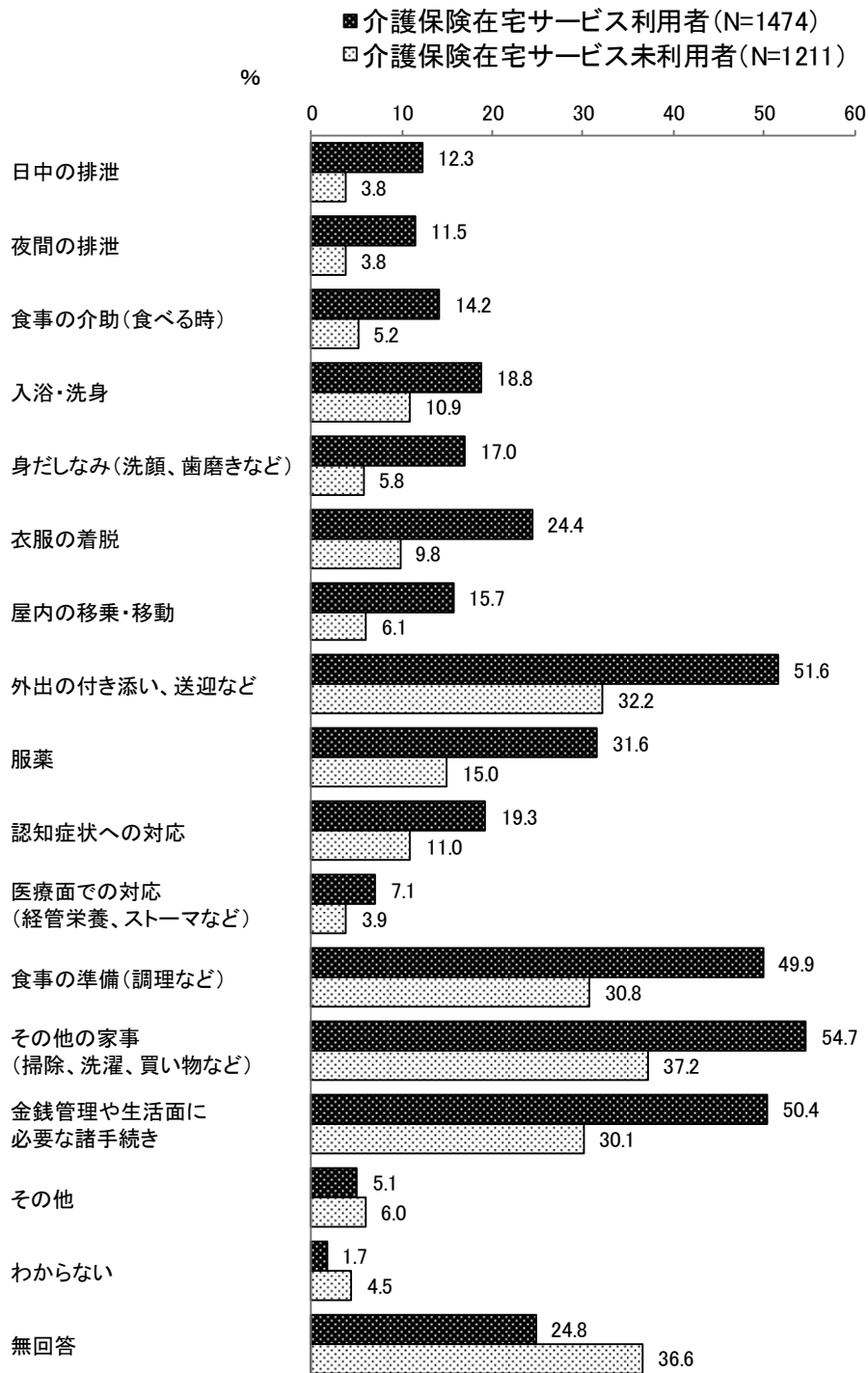
(8) 主な介護者が行っている介護の内容

<在宅サービス利用者調査>問 43

<在宅サービス未利用者調査>問 42

現在、主な介護者の方が行っている介護などは何ですか。(〇はいくつでも)

【図表 4-37-1 主な介護者が行っている介護の内容】



主な介護者が行っている介護の内容は、介護保険在宅サービス利用者では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）」が 54.7%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎など」が 51.6%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 50.4%となっている。

未利用者では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）」が 37.2%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎など」が 32.2%、「食事の準備（調理など）」が 30.8%となっている。

【図表 4-37-2 主な介護者が行っている介護の内容  
×要介護度別<在宅サービス利用者>】

		回答数	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔、歯磨きなど）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎など	(%)
全体		1474	12.3	11.5	14.2	18.8	17.0	24.4	15.7	51.6	
要介護度別	要支援1	297	2.4	2.0	3.7	7.4	3.0	6.4	3.7	37.0	
	要支援2	274	3.3	1.8	5.5	11.7	5.8	9.9	6.9	43.4	
	要介護1	294	2.4	4.4	8.2	20.1	12.2	18.7	8.5	63.9	
	要介護2	256	13.7	14.8	17.2	30.5	21.1	37.5	19.1	62.9	
	要介護3	139	30.2	28.1	31.7	33.1	38.8	51.1	38.8	64.7	
	要介護4	102	44.1	36.3	34.3	26.5	40.2	52.0	40.2	54.9	
	要介護5	66	53.0	43.9	48.5	16.7	56.1	54.5	47.0	42.4	
	わからない	20	0.0	0.0	10.0	0.0	5.0	0.0	0.0	15.0	

		服薬	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマなど）	食事の準備（調理など）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）	金銭管理や生活に必要な諸手続き	その他	わからない	無回答
全体		31.6	19.3	7.1	49.9	54.7	50.4	5.1	1.7	24.8
要介護度別	要支援1	11.4	6.7	1.7	30.0	34.0	26.3	2.7	1.7	43.1
	要支援2	9.1	5.1	4.7	37.2	44.5	29.2	3.6	3.3	36.1
	要介護1	42.9	27.9	7.5	60.5	63.3	63.9	5.1	0.7	15.3
	要介護2	43.0	27.0	7.8	64.1	70.3	62.9	4.7	1.2	16.0
	要介護3	53.2	36.0	11.5	70.5	71.2	71.2	7.2	0.7	8.6
	要介護4	47.1	25.5	11.8	51.0	56.9	70.6	8.8	2.9	12.7
	要介護5	65.2	27.3	22.7	57.6	69.7	75.8	15.2	1.5	10.6
	わからない	5.0	20.0	10.0	30.0	30.0	35.0	0.0	0.0	50.0

介護保険在宅サービス利用者の介護者が行っている介護の内容を要介護度別にみると、要介護度が高くなるほど「日中の排泄」「夜間の排泄」「食事の介助（食べる時）」「身だしなみ（洗顔、歯磨きなど）」「衣服の着脱」「屋内の移乗・移動」「医療面での対応（経管栄養、ストーマなど）」と、多くの項目で割合が高くなっている。

【図表 4-37-3 主な介護者が行っている介護の内容  
×要介護度別<在宅サービス未利用者>】

		回答数	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔、歯磨きなど）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎など	(%)
全体		1211	3.8	3.8	5.2	10.9	5.8	9.8	6.1	32.2	
要介護度別	要支援1	508	0.8	1.0	1.6	5.3	2.4	4.1	2.0	25.4	
	要支援2	203	1.5	2.0	4.4	7.4	2.5	8.4	5.9	40.4	
	要介護1	147	4.1	6.1	6.8	16.3	9.5	15.0	12.9	48.3	
	要介護2	62	12.9	8.1	8.1	29.0	14.5	29.0	12.9	67.7	
	要介護3	50	12.0	16.0	18.0	30.0	16.0	38.0	14.0	46.0	
	要介護4	51	19.6	11.8	19.6	29.4	17.6	19.6	15.7	25.5	
	要介護5	39	17.9	17.9	15.4	15.4	15.4	17.9	15.4	17.9	
	わからない	94	1.1	1.1	3.2	5.3	3.2	2.1	2.1	13.8	

		服薬	認知症状への対応	医療面での対応（栄養、ケアなど）	食事の準備（調理など）	除、洗濯、買い物などの家事（掃除など）	金銭管理や生活に必要な手続き	その他	わからない	無回答
全体		15.0	11.0	3.9	30.8	37.2	30.1	6.0	4.5	36.6
要介護度別	要支援1	7.7	6.1	1.6	24.8	31.1	21.5	4.7	4.3	46.1
	要支援2	8.9	7.9	3.4	34.5	48.3	28.1	3.4	3.9	33.0
	要介護1	35.4	25.9	6.1	47.6	51.0	52.4	8.2	2.7	18.4
	要介護2	32.3	30.6	8.1	50.0	58.1	58.1	3.2	1.6	17.7
	要介護3	34.0	20.0	6.0	50.0	52.0	54.0	6.0	2.0	14.0
	要介護4	29.4	13.7	7.8	35.3	35.3	37.3	15.7	2.0	29.4
	要介護5	28.2	10.3	20.5	20.5	30.8	61.5	17.9	7.7	12.8
	わからない	6.4	2.1	1.1	12.8	18.1	8.5	6.4	10.6	53.2

未利用者の介護者が行っている介護の内容を要介護度別にみると、要介護度が高くなるほど「日中の排泄」「夜間の排泄」「食事の介助（食べる時）」「身だしなみ（洗顔、歯磨きなど）」「屋内の移乗・移動」の割合が概ね高くなる傾向がある。

(9) 現在の生活を継続するために主な介護者が不安に感じる介護の内容

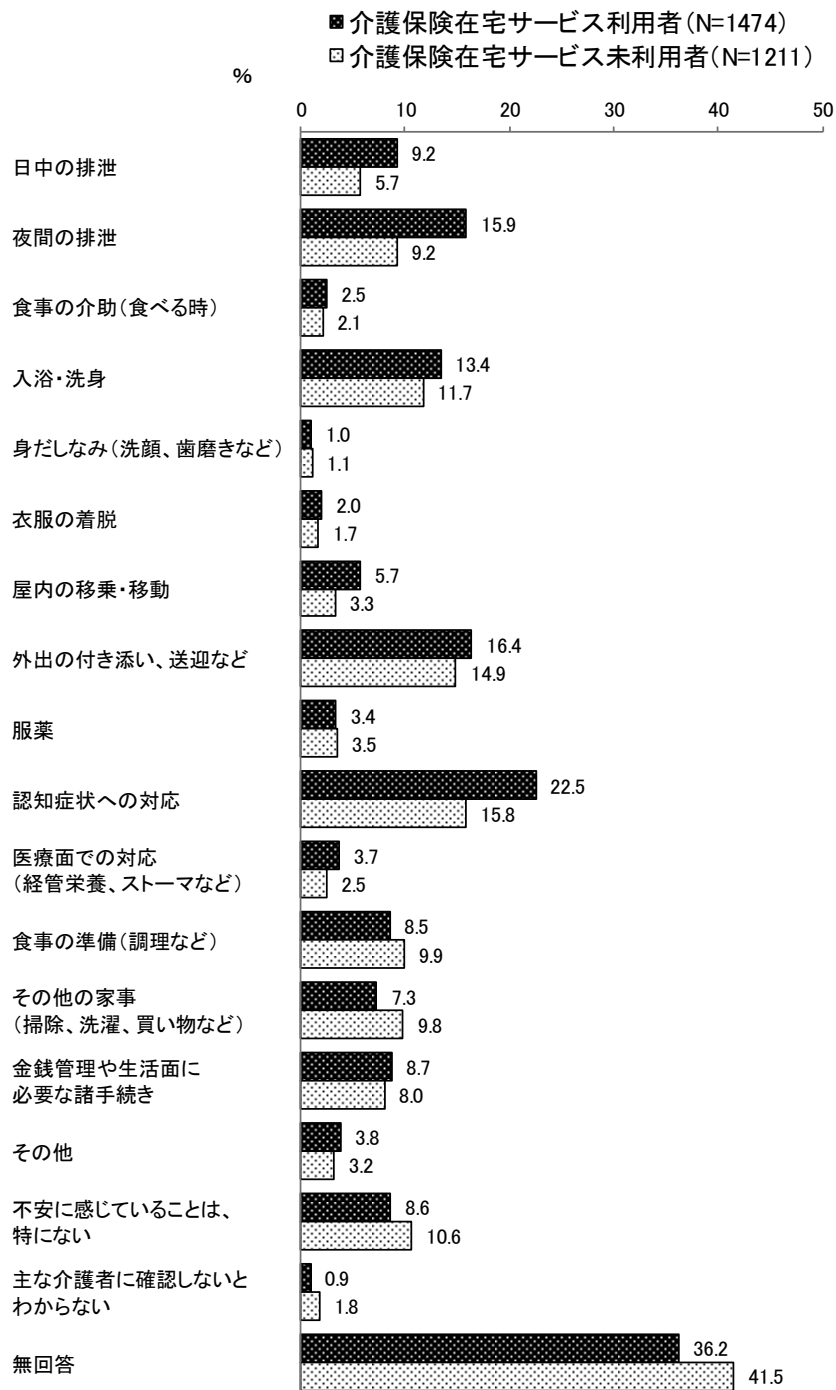
<在宅サービス利用者調査>問 44

<在宅サービス未利用者調査>問 43

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護などは何ですか。(〇は3つまで)

※現状で行っているか否かは問いません。

【図表 4-38-1 現在の生活を継続するために主な介護者が不安に感じる介護の内容】



現在の生活を継続するために主な介護者が不安に感じる介護の内容は、介護保険在宅サービス利用者では「認知症状への対応」が 22.5%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎など」が 16.4%、「夜間の排泄」が 15.9%となっている。

未利用者では「認知症状への対応」が 15.8%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎など」が 14.9%、「入浴・洗身」が 11.7%となっている。

【図表 4-38-2 現在の生活を継続するために主な介護者が不安に感じる介護の内容  
×要介護度別<在宅サービス利用者>】

		回答数	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔、歯磨きなど）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎など	服薬
全体		1474	9.2	15.9	2.5	13.4	1.0	2.0	5.7	16.4	3.4
要介護度別	要支援1	297	5.1	7.4	1.3	9.8	0.7	1.0	2.7	11.8	2.4
	要支援2	274	5.1	11.7	1.1	12.4	1.5	1.5	4.7	17.5	1.8
	要介護1	294	10.2	20.1	2.4	15.3	2.0	3.1	5.8	19.0	6.1
	要介護2	256	14.1	18.8	2.3	19.1	0.8	3.1	5.9	18.8	2.7
	要介護3	139	13.7	26.6	7.9	15.8	0.0	0.7	7.9	16.5	6.5
	要介護4	102	12.7	23.5	2.9	10.8	0.0	2.9	13.7	14.7	2.9
	要介護5	66	12.1	18.2	4.5	9.1	0.0	1.5	7.6	9.1	1.5
わからない	20	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	

		回答数	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマなど）	食事の準備（調理など）	その他（洗濯、家事、買い物）	金銭管理や生活に必要な手続き	その他	不安に感じていること	主な介護者から確認し	無回答
全体		1474	22.5	3.7	8.5	7.3	8.7	3.8	8.6	0.9	36.2
要介護度別	要支援1	297	11.8	2.4	7.4	6.7	7.7	2.0	10.1	1.0	50.8
	要支援2	274	12.0	2.6	9.5	10.6	7.7	2.9	8.8	2.2	42.7
	要介護1	294	32.3	2.7	9.9	9.2	9.5	3.1	6.8	0.3	29.3
	要介護2	256	29.3	4.7	10.5	5.9	5.9	4.7	5.5	0.0	31.6
	要介護3	139	33.1	4.3	5.0	4.3	10.8	3.6	7.2	0.7	26.6
	要介護4	102	25.5	5.9	6.9	2.0	12.7	3.9	15.7	1.0	23.5
	要介護5	66	24.2	10.6	4.5	7.6	12.1	15.2	12.1	1.5	19.7
わからない	20	20.0	5.0	10.0	5.0	15.0	0.0	10.0	0.0	55.0	

介護保険在宅サービス利用者の介護者が、現在の生活を継続するために不安に感じる介護の内容を要介護度別にみると、要介護度が高くなるほど「医療面での対応（経管栄養、ストーマなど）」の割合が高くなる傾向がある。

【図表 4-38-3 現在の生活を継続するために主な介護者が不安に感じる介護の内容  
×要介護度別<在宅サービス未利用者>】

		回答数	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔、歯磨きなど）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎など	服薬
全体		1211	5.7	9.2	2.1	11.7	1.1	1.7	3.3	14.9	3.5
要介護度別	要支援1	508	4.5	6.3	0.6	9.6	0.6	0.8	2.4	15.0	2.4
	要支援2	203	4.9	8.4	1.5	12.8	2.0	2.0	4.4	15.8	2.5
	要介護1	147	8.8	14.3	4.1	19.7	1.4	2.0	4.1	17.0	9.5
	要介護2	62	14.5	19.4	4.8	14.5	1.6	8.1	8.1	19.4	4.8
	要介護3	50	16.0	26.0	4.0	12.0	2.0	0.0	4.0	6.0	6.0
	要介護4	51	5.9	9.8	3.9	11.8	3.9	2.0	9.8	15.7	2.0
	要介護5	39	0.0	7.7	5.1	15.4	0.0	2.6	2.6	7.7	0.0
	わからない	94	1.1	4.3	4.3	7.4	0.0	1.1	0.0	12.8	1.1

		回答数	認知症状への対応	医療面で対応（経管栄養、ストーマなど）	食事の準備（調理など）	その他（洗濯、買い物、掃除など）	金銭管理や生活に必要な手続き	その他	不安に感じていること	主な介護者から確認しない	無回答
全体		1211	15.8	2.5	9.9	9.8	8.0	3.2	10.6	1.8	41.5
要介護度別	要支援1	508	12.6	1.2	9.8	10.6	8.5	2.6	8.7	1.6	49.4
	要支援2	203	16.7	2.0	12.3	14.8	7.4	1.5	13.8	2.0	36.9
	要介護1	147	24.5	2.7	13.6	8.8	8.2	2.7	12.2	2.0	26.5
	要介護2	62	32.3	4.8	9.7	8.1	8.1	3.2	8.1	0.0	29.0
	要介護3	50	20.0	8.0	6.0	6.0	10.0	10.0	8.0	0.0	26.0
	要介護4	51	19.6	2.0	5.9	5.9	5.9	7.8	13.7	0.0	31.4
	要介護5	39	17.9	12.8	5.1	0.0	7.7	7.7	15.4	5.1	33.3
	わからない	94	6.4	1.1	6.4	9.6	7.4	4.3	13.8	4.3	48.9

未利用者の介護者が、現在の生活を継続するために不安に感じる介護の内容を要介護度別にみると、要介護2・3では「日中の排泄」「夜間の排泄」の割合が他に比べて高くなっている。また、要介護5では「医療面での対応（経管栄養、ストーマなど）」が他と比べて高くなっている。

(10) 今後の介護の仕方

<在宅サービス利用者調査>問 46

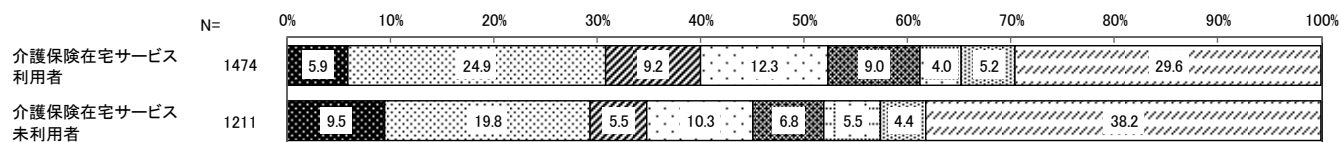
<在宅サービス未利用者調査>問 44

今後、どのように介護していきたいと思いますか。(○は1つ)

※ここで在宅とは、自宅または家族や親族の家を指します。

【図表 4-39-1 今後の介護の仕方】

- 在宅で、できるかぎり家族や親族だけで介護したい
- 在宅で、家族や親族の介護と介護保険サービスを併せて介護したい
- 在宅で、介護保険サービスを中心に介護したい
- 施設への入所も検討するが、介護保険の在宅サービスが充実すれば、これからも在宅で介護したい
- あて名の方ご本人(介護が必要な方)が住み慣れた地域にある施設への入所を、あて名の方ご本人と考えたい
- あて名の方ご本人(介護が必要な方)が住み慣れた地域にある施設にかぎらず、施設への入所を、あて名の方ご本人と考えたい
- その他
- 無回答



今後の介護の仕方は、『在宅で介護したい』(「在宅で、できるかぎり家族や親族だけで介護したい」「在宅で、家族や親族の介護と介護保険サービスを併せて介護したい」「在宅で、介護保険サービスを中心に介護したい」「施設への入所も検討するが、介護保険の在宅サービスが充実すれば、これからも在宅で介護したい」の合計)が、介護保険在宅サービス利用者では 52.3%、未利用者では 45.1%となっている。

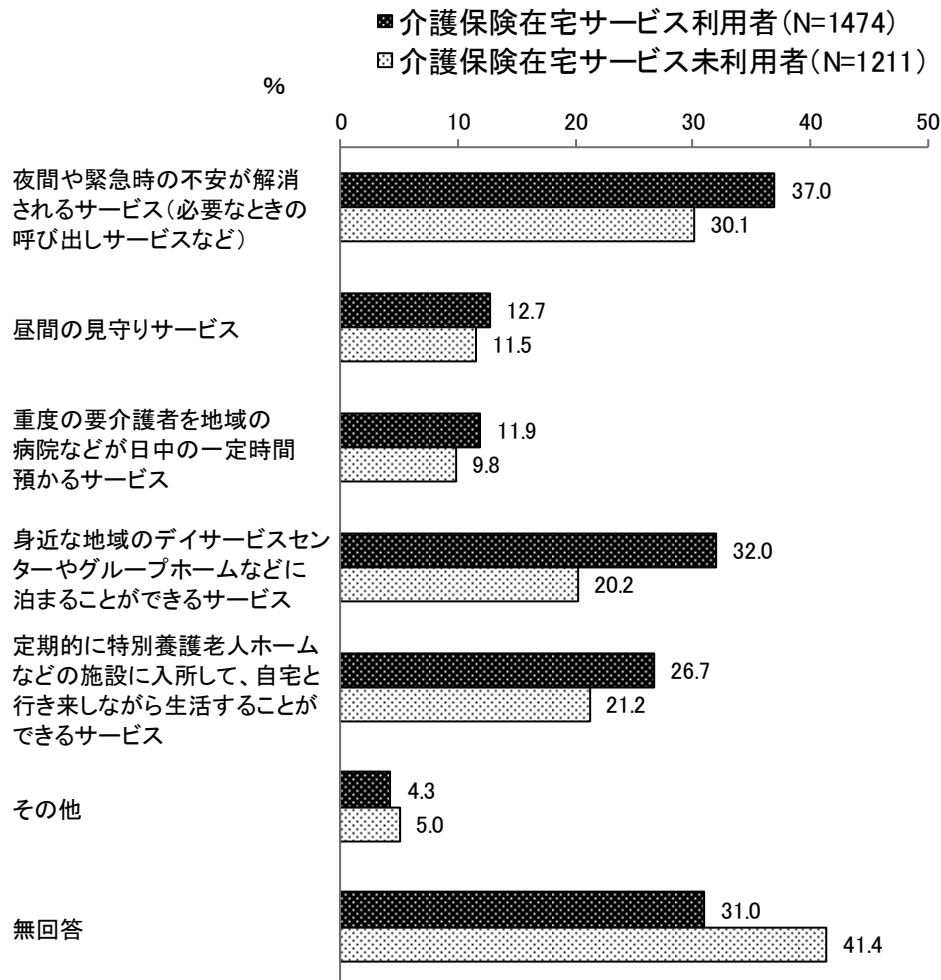
(11) 在宅で介護を続けるために必要性が高いサービスの内容

＜在宅サービス利用者調査＞問 47

＜在宅サービス未利用者調査＞問 45

在宅で介護を続けるために、特に必要性が高い（利用したい）と思うサービスは何ですか。（〇はいくつでも）

【図表 4-40-1 在宅で介護を続けるために必要性が高いサービスの内容】



在宅で介護を続けるために必要性が高いサービスの内容は、「夜間や緊急時の不安が解消されるサービス（必要なときの呼び出しサービスなど）」が介護保険在宅サービス利用者では 37.0%、未利用者では 30.1%でともに最も高くなっている。次いで「身近な地域のデイサービスセンターやグループホームなどに泊まることができるサービス」「定期的に特別養護老人ホームなどの施設に入所して、自宅と行き来しながら生活することができるサービス」も上位となっている。

(12) 在宅で介護を続けるために必要な支援の内容

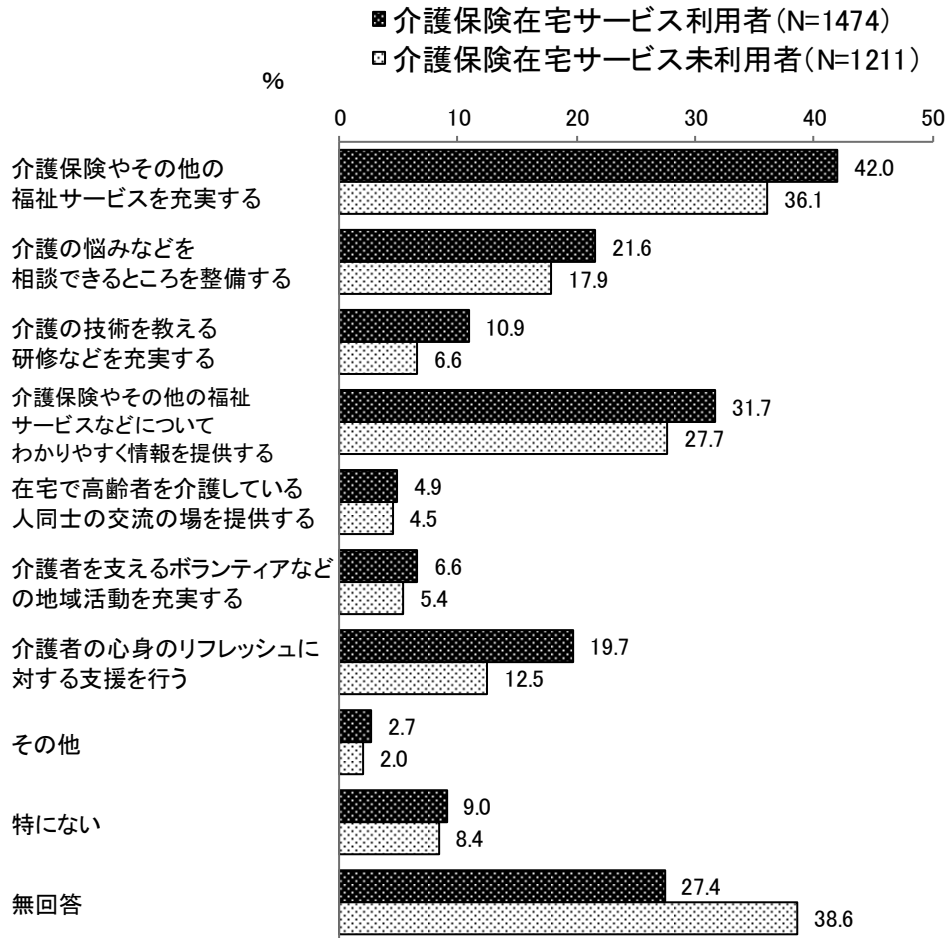
<在宅サービス利用者調査>問 48

<在宅サービス未利用者調査>問 46

今後も在宅で介護を続けるために、特に支援が必要と思うことは何ですか。

(○はいくつでも)

【図表 4-41-1 在宅で介護を続けるために必要な支援の内容】



介護者が在宅で介護を続けるために必要な支援の内容は、介護保険在宅サービス利用者、未利用者ともに「介護保険やその他の福祉サービスを充実する」が最も高く、次いで「介護保険やその他の福祉サービスなどについてわかりやすく情報を提供する」、「介護の悩みなどを相談できる場所を整備する」となっている。

(13) 高齢者虐待の通報義務の認知度

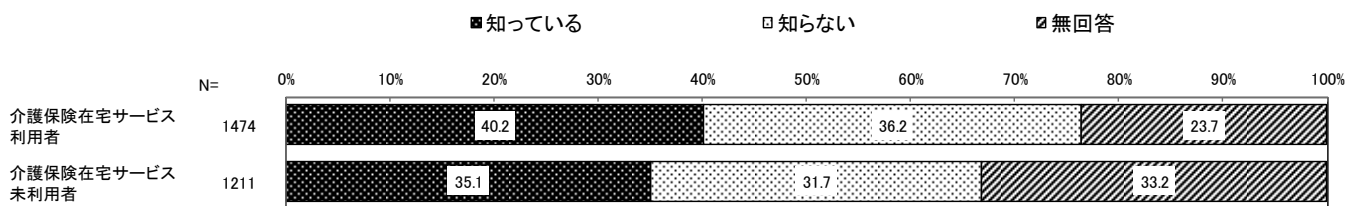
<在宅サービス利用者調査>問 49

<在宅サービス未利用者調査>問 47

高齢者虐待（と思われること）を見たり、聞いたりした場合、市へ通報する義務があることを知っていますか。（○は1つ）

※通報先は各区地域保健福祉課やいきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）

【図表 4-42-1 高齢者虐待の通報義務の認知度】



高齢者虐待の通報義務の認知度は、介護保険在宅サービス利用者の介護者では「知っている」が40.2%、「知らない」が36.2%、未利用者の介護者では「知っている」が35.1%、「知らない」が31.7%となっている。

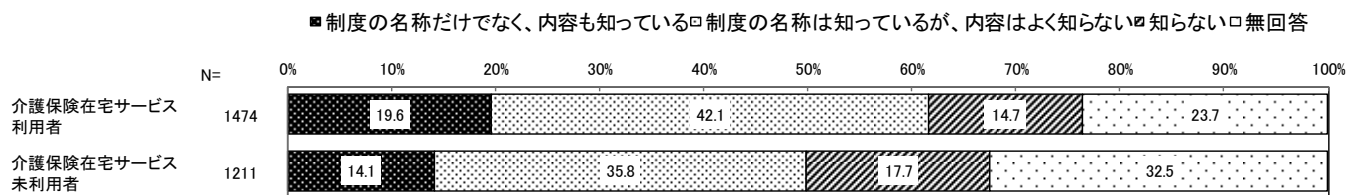
(14) 「成年後見制度」の認知度

<在宅サービス利用者調査>問 50

<在宅サービス未利用者調査>問 48

あなたは、「成年後見制度」を知っていますか。（○は1つ）

【図表 4-43-1 「成年後見制度」の認知度】



「成年後見制度」の認知度は、介護保険在宅サービス利用者では「制度の名称は知っているが、内容はよく知らない」が42.1%で最も高く、次いで「制度の名称だけでなく、内容も知っている」が19.6%、「知らない」が14.7%となっている。

未利用者では「制度の名称は知っているが、内容はよく知らない」が35.8%で最も高く、次いで「知らない」が17.7%、「制度の名称だけでなく、内容も知っている」が14.1%となっている。

## 第5章 介護保険在宅サービス利用者調査

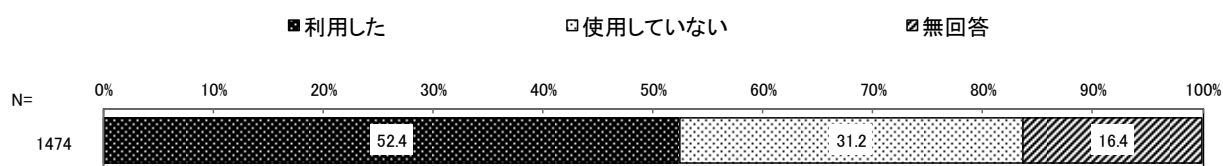
### 1. 現在利用している介護サービスについて

#### (1) 令和4年10月の介護保険サービス利用

##### ① 令和4年10月の介護保険サービス利用の有無

問16 令和4年10月の1か月の間に、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用しましたか。(○は1つ)

【図表 5-1-1 令和4年10月の介護保険サービス利用の有無】



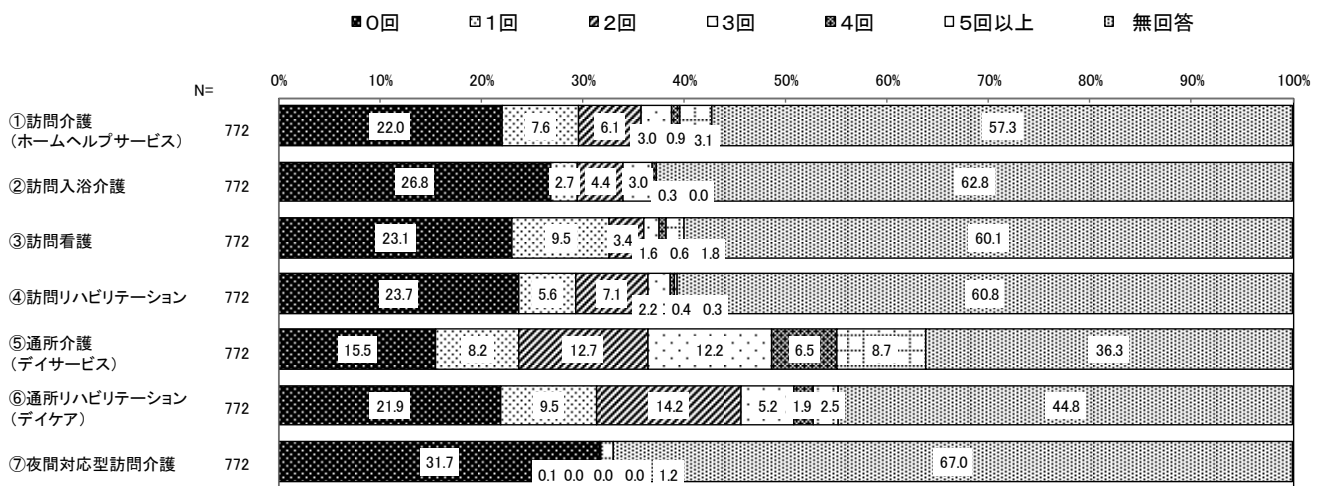
令和4年10月の介護保険サービス利用の有無は、「利用した」が52.4%、「使用していない」が31.2%となっている。

②令和4年10月の介護保険サービス利用状況

問16で「1」と答えた方にうかがいます。

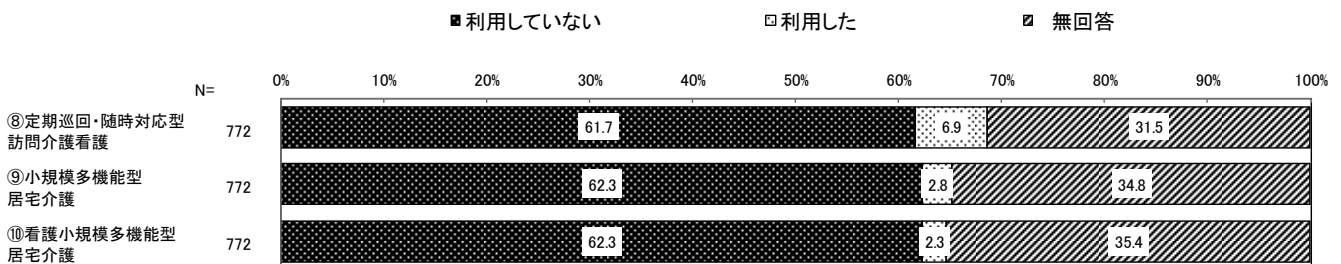
問16-1 以下の介護保険サービスについて、令和4年10月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない（0回、利用していない）」を選択してください。（1つのサービスにつき、○を1つ）

【図表 5-1-2 令和4年10月の介護保険サービス利用状況（1週間あたりの利用回数）】



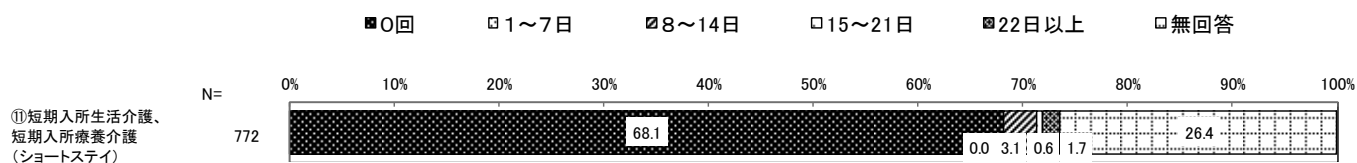
令和4年10月の介護保険サービス利用状況（1週間あたりの利用回数）をみると、『利用している』（「週1回程度」「週2回程度」「週3回程度」「週4回程度」「週5回以上」の合計）の割合は、「通所介護（デイサービス）」が48.3%で最も高く、次いで「通所リハビリテーション（デイケア）」が33.3%、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が20.7%となっている。

【図表 5-1-3 令和4年10月の介護保険サービス利用状況（利用の有無）】



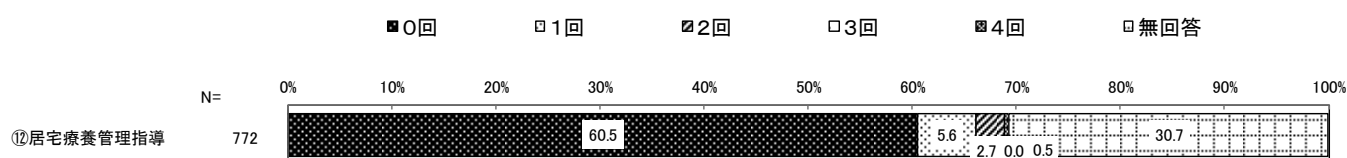
令和4年10月の介護保険サービス利用状況（利用の有無）をみると、「利用した」の割合は、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が6.9%、「小規模多機能型居宅介護」が2.8%、「看護小規模多機能型居宅介護」が2.3%となっている。

【図表 5-1-4 令和4年10月の介護保険サービス利用状況（1か月あたりの利用日数）】



令和4年10月の介護保険サービス利用状況（1か月あたりの利用日数）をみると、「短期入所生活介護、短期入所療養介護（ショートステイ）」は、「利用していない」が68.1%で最も高く、次いで「月8～14日程度」が3.1%、「月22日以上」が1.7%となっている。

【図表 5-1-5 令和4年10月の介護保険サービス利用状況（1か月あたりの利用回数）】

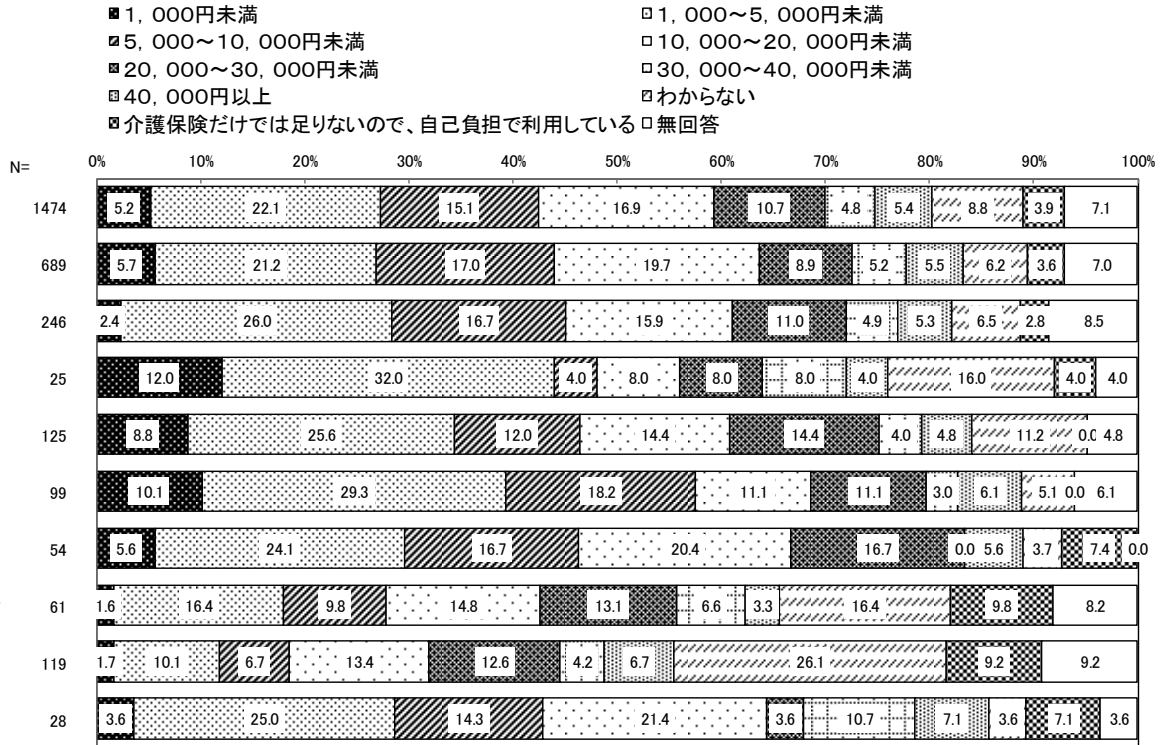


令和4年10月の介護保険サービス利用状況（1か月あたりの利用回数）をみると、「居宅療養管理指導」は、「利用していない」が60.5%で最も高く、次いで「月1回程度」が5.6%、「月2回程度」が2.7%となっている。

(2) 1か月あたりの利用料金

問 17 1か月あたりに支払っている介護保険サービスの利用料金（1割、2割または3割負担）はおいくら程ですか。（○は1つ）

【図表 5-2-1 1か月あたりの利用料金×居住形態別】



1か月あたりの利用料金は、「1,000～5,000円未満」が22.1%で最も高く、次いで「10,000～20,000円未満」が16.9%、「5,000～10,000円未満」が15.1%となっている。

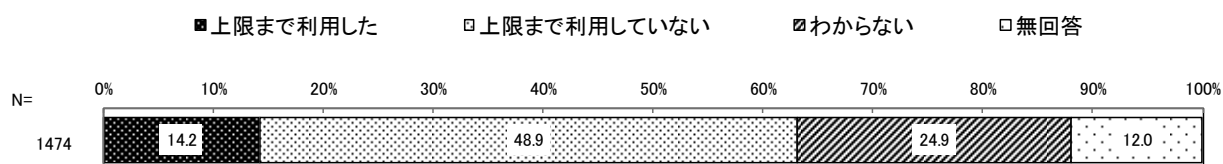
居住形態別にみると、サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け住宅と有料老人ホーム・ケアハウスでは「介護保険だけでは足りないので、自己負担で利用している」の割合が他の住まいよりも高くなっている。

(3) 利用額上限までの利用

①利用額上限までの利用の有無

問 18 令和4年10月の介護保険サービスの利用額について制度上利用できる上限まで利用しましたか。(○は1つ)

【図表 5-3-1 利用額上限までの利用の有無】



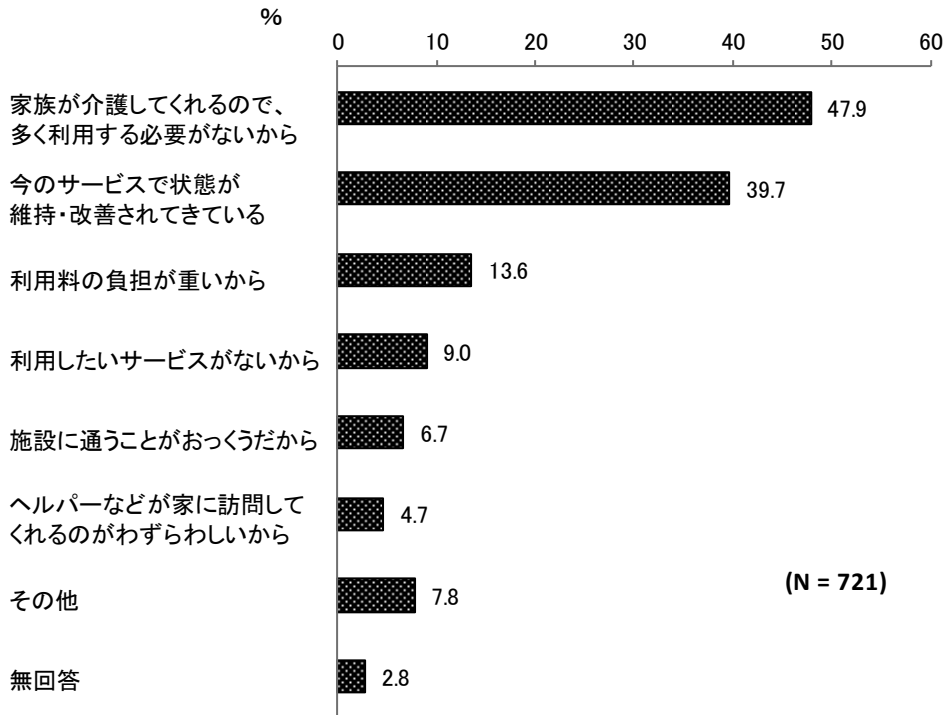
介護保険サービスの利用状況は、「上限まで利用していない」が48.9%、「上限まで利用した」が14.2%となっている。

②利用額上限まで利用していない理由

問 18 で「2」と答えた方にうかがいます。

問 18-1 上限まで利用していない理由は何ですか。(○は2つまで)

【図表 5-3-2 利用額上限まで利用していない理由】



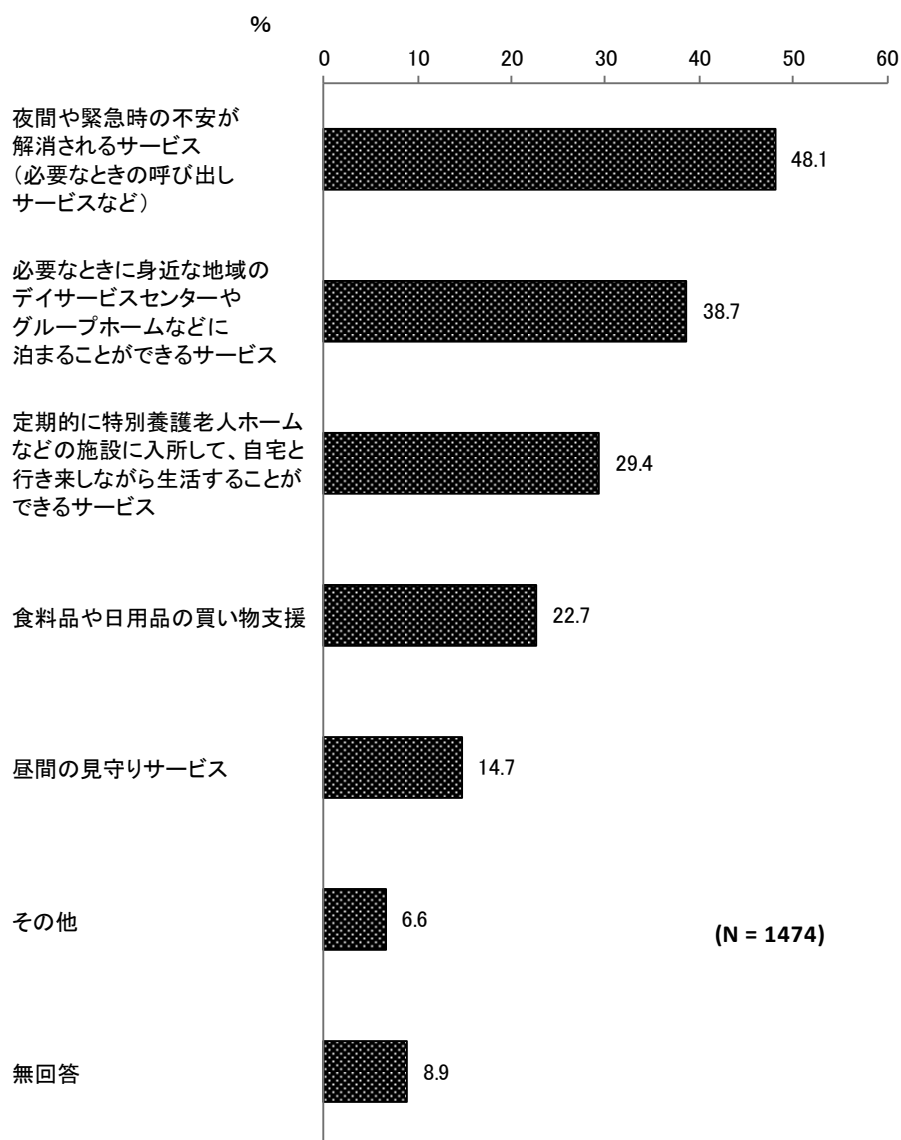
利用額上限まで利用していない理由は、「家族が介護してくれるので、多く利用する必要がないから」が 47.9%で最も高く、次いで「今のサービスで状態が維持・改善されてきている」が 39.7%、「利用料の負担が重いから」が 13.6%となっている。

## 2. 今後の介護・医療について

### (1) 在宅生活で必要性が高いサービス

問 25 あなたが在宅で生活するために、必要性が高い（利用したい）と思うサービスは何ですか。（〇はいくつでも）

【図表 5-4-1 在宅生活で必要性が高いサービス】



在宅で生活するために必要性が高いと思うサービスは、「夜間や緊急時の不安が解消されるサービス（必要なおきの呼び出しサービスなど）」が 48.1% で最も高く、次いで「必要なおきに身近な地域のデイサービスセンターやグループホームなどに泊まることができるサービス」が 38.7%、「定期的に特別養護老人ホームなどの施設に入所して、自宅と行き来しながら生活することができるサービス」が 29.4% となっている。

【図表 5-4-2 在宅生活で必要性が高いサービス×要介護度別】

		回答数	し(解夜間 ー必要消 サービス なされる ときのサ ス急時の などサ の呼び び不安 が)	ス屋 間の 見守 りサ ービ	きな るど のサ ービ ス	域の 必要 なと きに 身近 な地 域の デイ サ ー ビ ス	がで きる サ ー ビ ス	所し な ら ず 自 宅 と 生 活 す る こ と 来	ホ ー ム に 特 別 施 設 に 入 居 す る こ と	食 料 品 や 日 用 品 の 買 い 支 援	そ の 他	無 回 答
全 体		1474	48.1	14.7	38.7	29.4	22.7	6.6	8.9			
要 介 護 度 別	要支援1	297	49.2	10.1	32.0	27.6	23.6	9.1	7.4			
	要支援2	274	48.2	12.4	32.5	25.9	29.6	6.2	9.5			
	要介護1	294	43.9	16.7	46.3	33.3	25.5	6.1	4.8			
	要介護2	256	50.4	17.2	43.4	27.7	20.3	3.1	9.0			
	要介護3	139	43.9	19.4	49.6	31.7	20.1	7.2	11.5			
	要介護4	102	57.8	12.7	30.4	35.3	14.7	7.8	8.8			
	要介護5	66	59.1	22.7	40.9	27.3	12.1	13.6	9.1			
	わからない	20	40.0	20.0	20.0	25.0	15.0	0.0	20.0			

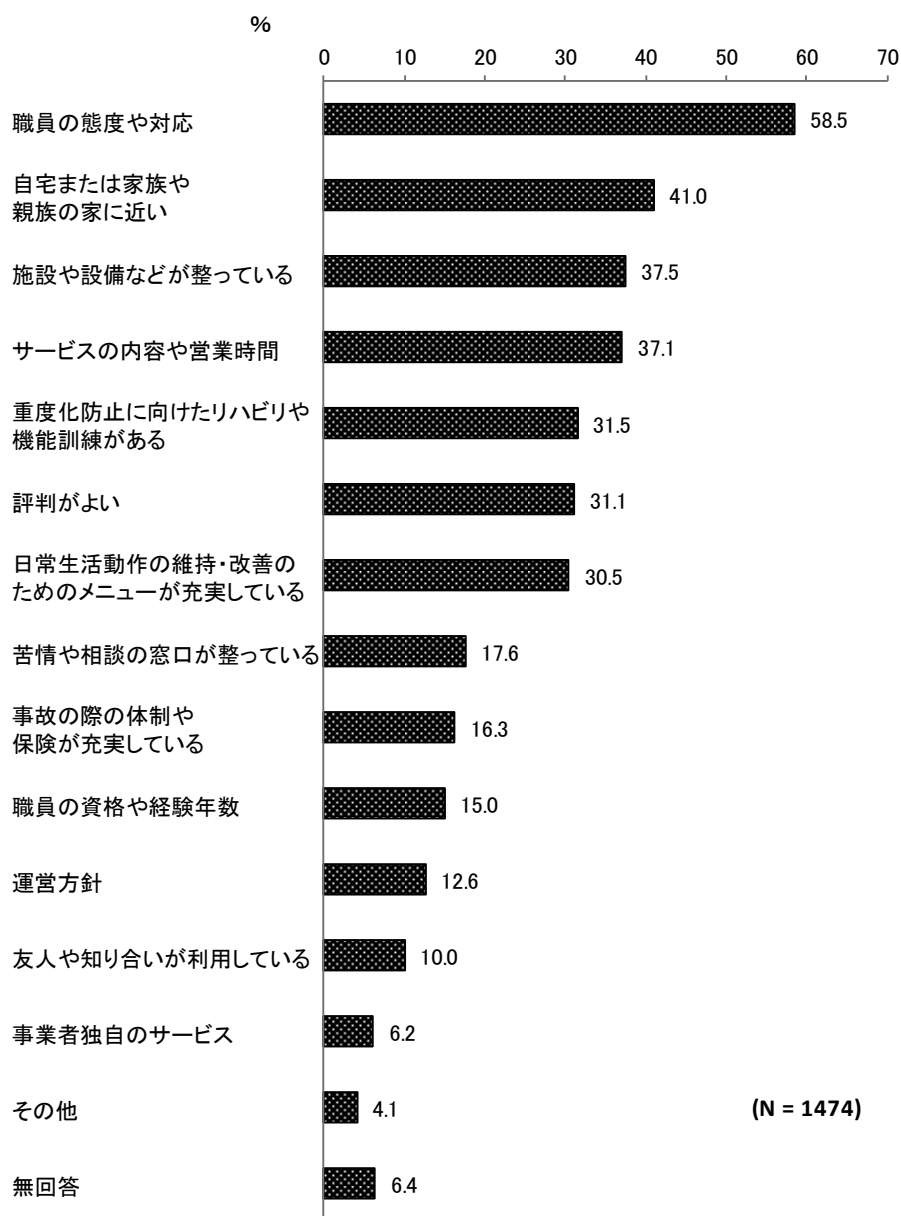
要介護度別にみると、要介護4・5では「夜間や緊急時の不安が解消されるサービス（必要なときの呼び出しサービスなど）」の割合が他と比べて高くなっている。

### 3. 介護保険制度全般について

#### (1) 介護サービス事業者を選ぶ際に重視すること

問 31 介護サービス事業者を選ぶとき、特にどのようなことを重視して選びたいと思いますか。(〇はいくつでも)

【図表 5-5-1 介護サービス事業者を選ぶ際に重視すること】

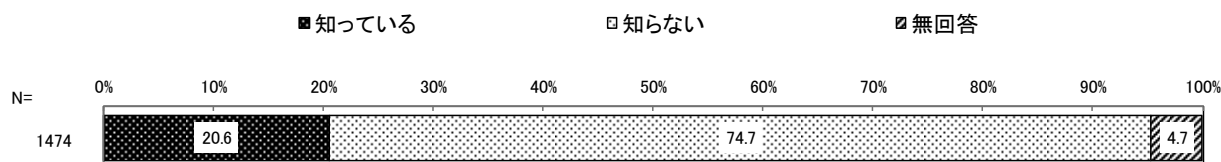


介護サービス事業者を選ぶ際に重視することは、「職員の態度や対応」が 58.5%で最も高く、次いで「自宅または家族や親族の家に近い」が 41.0%、「施設や設備などが整っている」が 37.5%となっている。

## (2) 小規模多機能型居宅介護の認知度

問 33 小規模多機能型居宅介護というサービスを知っていますか。(○は1つ)

【図表 5-6-1 小規模多機能型居宅介護の認知度】

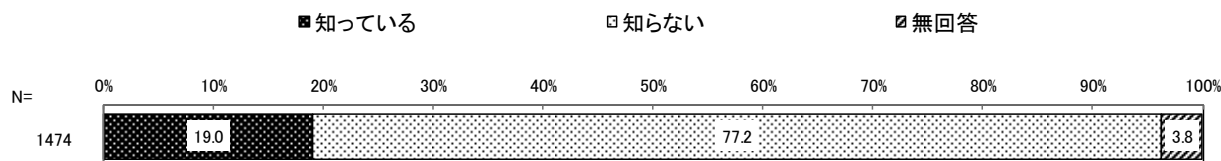


小規模多機能型居宅介護の認知度は、「知っている」が20.6%、「知らない」が74.7%となっている。

## (3) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの認知度

問 34 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスを知っていますか。(○は1つ)

【図表 5-7-1 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの認知度】



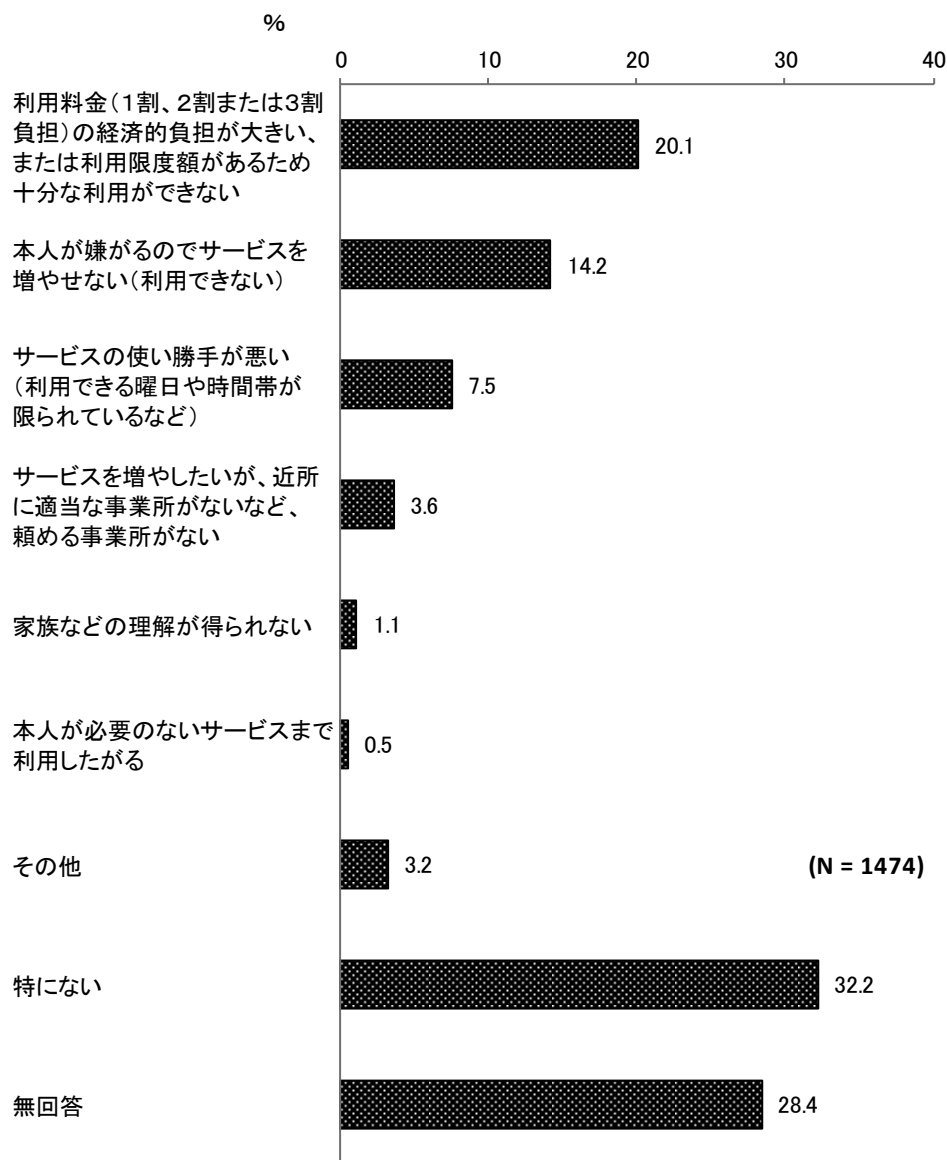
定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの認知度は、「知っている」が19.0%、「知らない」が77.2%となっている。

## 4. 家族の回答

## (1) 介護保険サービスを利用する上で困っていること

問 45 介護保険サービスを利用する上で困っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

【図表 5-8-1 介護保険サービスを利用する上で困っていること】



介護保険サービスを利用する上で困っていることは、「特にない」が 32.2%で最も高く、次いで「利用料金(1割、2割または3割負担)の経済的負担が大きい、または利用限度額があるため十分な利用ができない」が 20.1%、「本人が嫌がるのでサービスを増やせない(利用できない)」が 14.2%となっている。

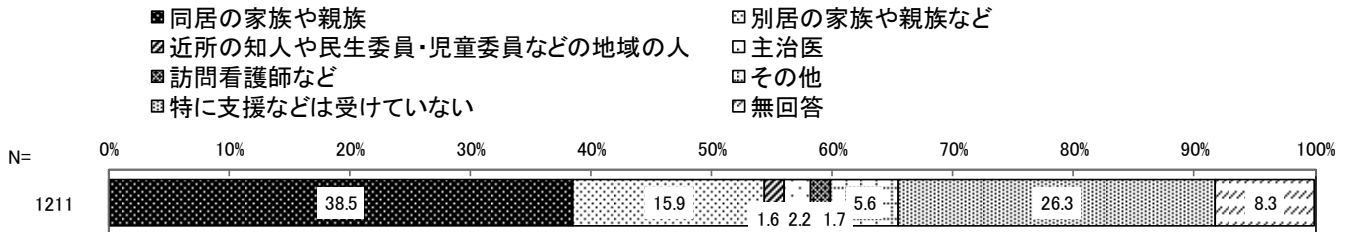
## 第6章 介護保険在宅サービス未利用者調査

### 1. 日常生活について

#### (1) 日常生活の支援者

問 16 あなたは日常生活の支援を、どなたから受けていますか。(○は1つ)

【図表 6-1-1 日常生活の支援者】



日常生活の支援者は、「同居の家族や親族」が 38.5%、「別居の家族や親族など」が 15.9% となっている一方、「特に支援などは受けていない」が 26.3%となっている。

【図表 6-1-2 日常生活の支援者×性別・年齢別・世帯構成別・要介護度別】

(%)

		回答数	同居の家族や親族	ど別居の家族や親族な	近所・地域の児童委員などの人	近所・地域の知人や民生委員	主治医	訪問看護師など	その他	特にない支援などは受け	無回答
全体		1211	38.5	15.9	1.6	2.2	1.7	5.6	26.3	8.3	
性別	男性	441	45.8	11.3	1.1	2.5	1.1	5.4	24.9	7.7	
	女性	754	34.4	19.0	1.9	2.1	1.7	5.8	26.9	8.2	
年齢別	40～64歳	34	44.1	2.9	0.0	2.9	0.0	14.7	23.5	11.8	
	65～69歳	33	42.4	9.1	0.0	6.1	3.0	6.1	27.3	6.1	
	70～74歳	100	56.0	3.0	1.0	6.0	2.0	5.0	18.0	9.0	
	75～79歳	204	37.3	13.7	2.5	1.5	1.0	3.4	32.8	7.8	
	80～84歳	322	32.9	15.2	1.2	1.6	2.8	5.6	32.3	8.4	
	85～89歳	311	36.7	20.3	1.0	1.6	1.0	4.8	24.8	10.0	
	90歳以上	199	42.2	23.1	3.0	2.5	1.0	8.0	15.6	4.5	
世帯構成別	一人暮らし世帯	351	2.6	31.3	3.1	2.8	2.3	8.5	40.5	8.8	
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	415	43.4	16.4	1.7	1.7	2.2	3.4	22.4	8.9	
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	30	40.0	6.7	0.0	3.3	0.0	10.0	36.7	3.3	
	夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	8	37.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0	
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	58	67.2	1.7	1.7	3.4	0.0	1.7	15.5	8.6	
	二世帯同居世帯	217	74.2	3.2	0.0	0.9	0.0	3.2	12.4	6.0	
	三世帯同居世帯	31	64.5	3.2	0.0	3.2	0.0	6.5	16.1	6.5	
	その他の世帯	59	47.5	3.4	0.0	3.4	3.4	15.3	20.3	6.8	
要介護度別	要支援1	508	30.7	17.5	2.4	1.8	1.4	4.5	35.8	5.9	
	要支援2	203	49.8	22.7	1.0	0.0	1.5	2.0	16.7	6.4	
	要介護1	147	57.1	13.6	0.0	3.4	2.0	4.8	10.2	8.8	
	要介護2	62	61.3	17.7	1.6	1.6	1.6	6.5	6.5	3.2	
	要介護3	50	50.0	10.0	0.0	6.0	6.0	6.0	10.0	12.0	
	要介護4	51	39.2	3.9	2.0	3.9	0.0	25.5	9.8	15.7	
	要介護5	39	20.5	7.7	0.0	15.4	5.1	23.1	7.7	20.5	
	わからない	94	21.3	13.8	2.1	1.1	0.0	4.3	48.9	8.5	

性別にみると、男性の方が女性より「同居の家族や親族」の割合が高くなっている。

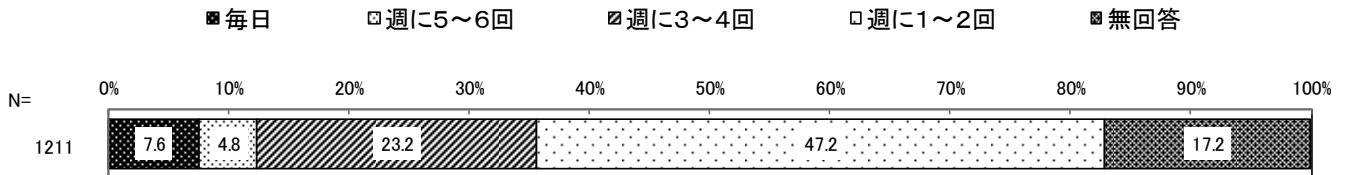
世帯構成別にみると、一人暮らし世帯では「別居の家族や親族など」の割合が他と比べて高くなっている。また、あなたとその他の高齢者のみの世帯、二世帯同居世帯、三世帯同居世帯では「同居の家族や親族」の割合が他と比べて高くなっており、二世帯同居世帯では7割を超えている。

要介護度別にみると、要介護1～5の方が要支援1・2より「特に支援などは受けていない」の割合が低くなっており、要介護2～5では1割以下となっている。

(2) 日常の買い物の頻度

問 17 食料や日用品の買い物には、どれくらいの頻度で行っていますか。(○は1つ)

【図表 6-2-1 日常の買い物の頻度】

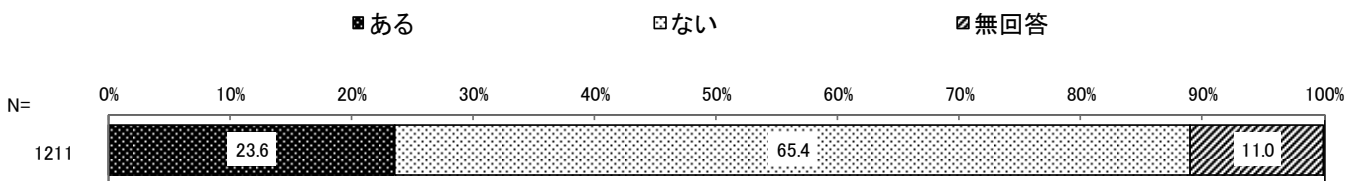


日常の買い物の頻度は、「週に1~2回」が47.2%で最も高く、次いで「週に3~4回」が23.2%、「毎日」が7.6%となっている。

(3) 日常の買い物で困っていることの有無

問 18 食料や日用品の買い物で、困っていることはありますか。(○は1つ)

【図表 6-3-1 日常の買い物で困っていることの有無】



日常の買い物で困っていることの有無は、「ある」が23.6%、「ない」が65.4%となっている。

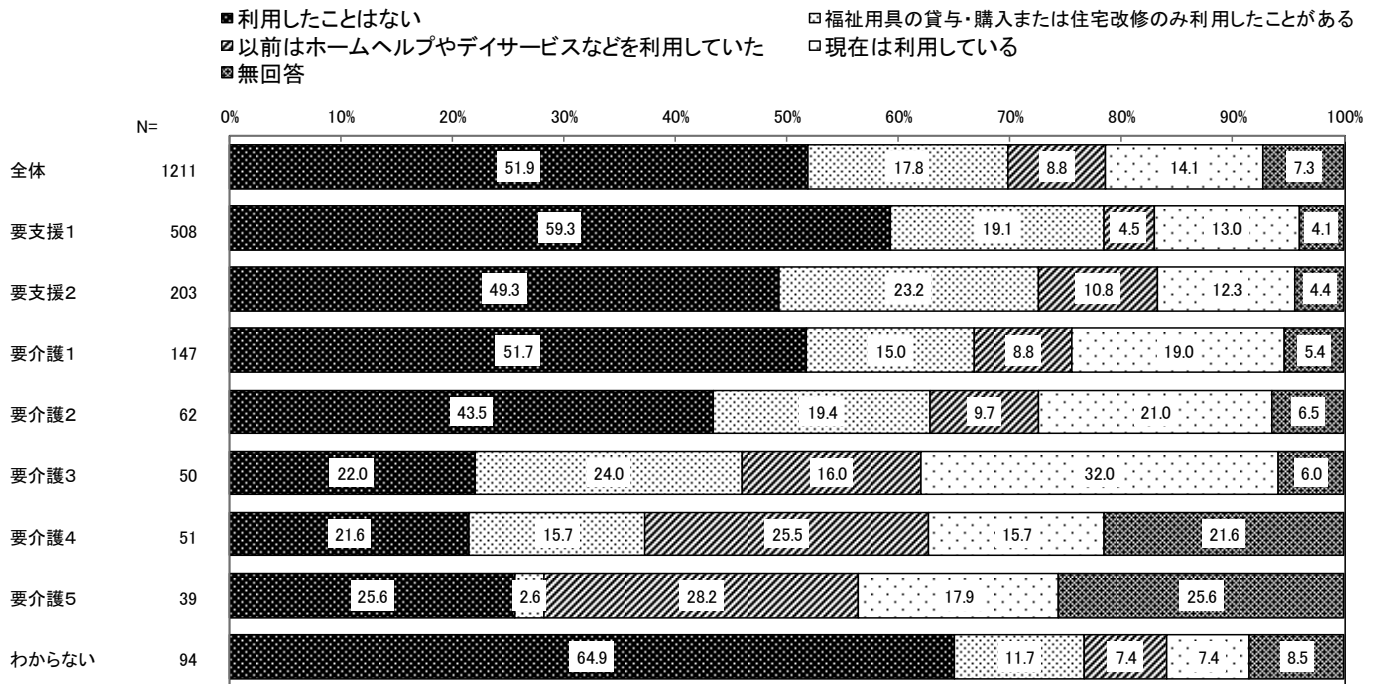
## 2. 介護保険サービスについて

### (1) 介護保険の在宅サービスの利用状況

#### ① 介護保険の在宅サービスの利用有無

問 19 あなたは、介護保険の在宅サービスを利用したことがありますか。(○は1つ)

【図表 6-4-1 介護保険の在宅サービスの利用有無×要介護度別】



介護保険の在宅サービスの利用有無は、「利用したことはない」が 51.9%で最も高く、次いで「福祉用具の貸与・購入または住宅改修のみ利用したことがある」が 17.8%、「現在は利用している」が 14.1%となっている。

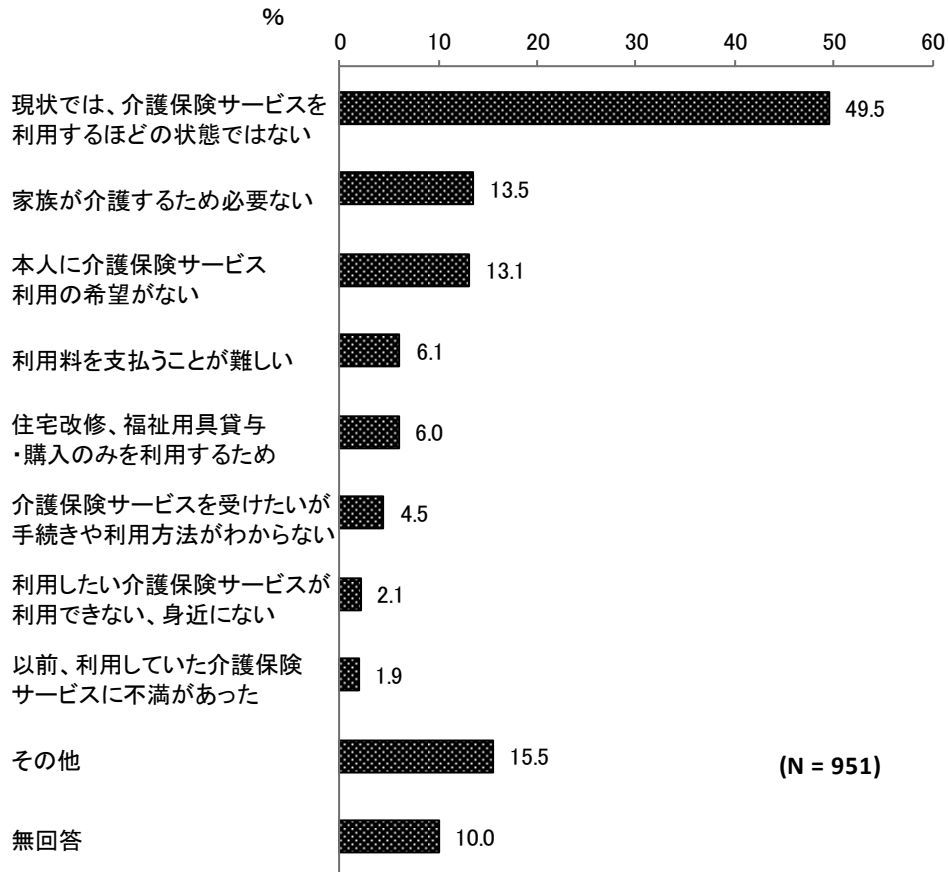
要介護度別にみると、要介護 3～5 では「利用したことはない」の割合は 2 割台となっており、要介護度が重い人は割合が低い傾向となっている。

②介護保険の在宅サービスを利用していない理由

問 19 で「1」～「3」と答えた方にうかがいます。

問 19-1 現在、介護保険サービス（福祉用具の貸与・購入、住宅改修以外）を利用していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

【図表 6-4-2 介護保険の在宅サービスを利用していない理由】

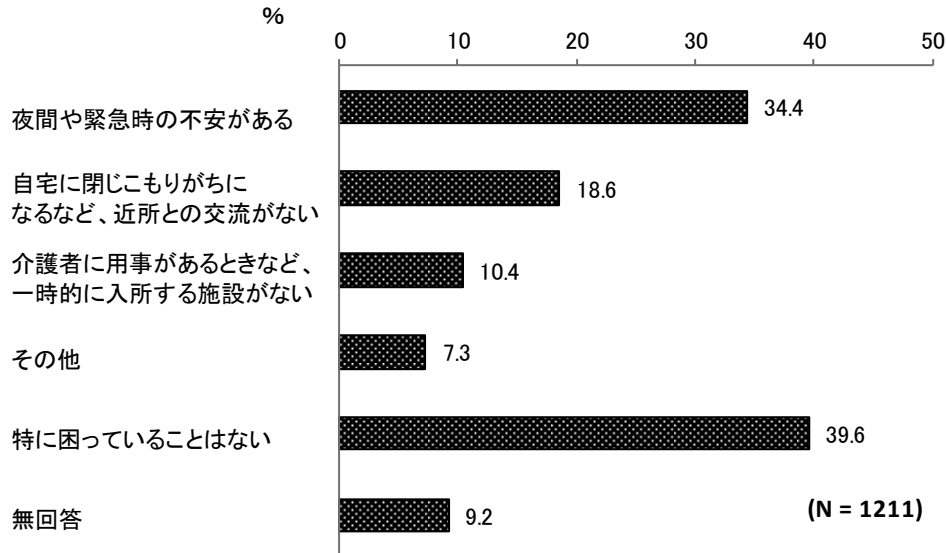


介護保険の在宅サービスを利用していない理由は、「現状では、介護保険サービスを利用するほどの状態ではない」が 49.5%で最も高く、次いで「その他」が 15.5%、「家族が介護するため必要ない」が 13.5%、「本人に介護保険サービス利用の希望がない」が 13.1%となっている。

(2) 在宅で生活する上で困っていること

問 20 現在、在宅で生活する上で、どのようなことに困っていますか。(〇はいくつでも)

【図表 6-5-1 在宅で生活する上で困っていること】



在宅で生活する上で困っていることは、「特に困っていることはない」が 39.6%で最も高く、次いで「夜間や緊急時の不安がある」が 34.4%、「自宅に閉じこもりがちになるなど、近所との交流がない」が 18.6%となっている。

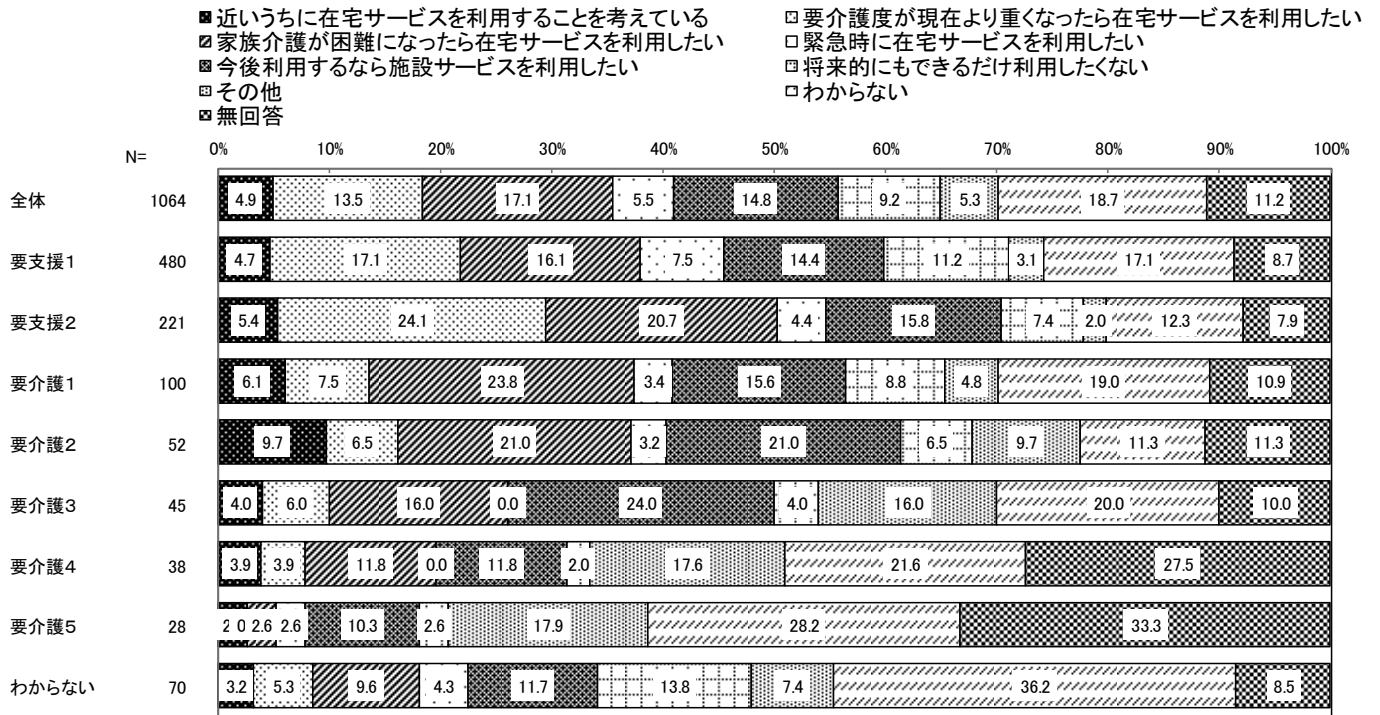
【図表 6-5-2 在宅で生活する上で困っていること×要介護度別】

		回答数	が夜間や緊急時の不安がある	入と介所き護者するなどに用事がある	とち自のになに交るがなどこも近り所が	その他	は特になに困っていること	無回答
全体		1211	34.4	10.4	18.6	7.3	39.6	9.2
要介護度別	要支援1	508	38.0	8.5	16.5	6.1	43.5	4.9
	要支援2	203	36.0	10.3	21.7	6.4	38.4	6.9
	要介護1	147	34.7	20.4	29.3	8.2	32.7	8.2
	要介護2	62	40.3	19.4	21.0	8.1	24.2	12.9
	要介護3	50	34.0	14.0	12.0	18.0	32.0	12.0
	要介護4	51	29.4	5.9	17.6	13.7	29.4	27.5
	要介護5	39	30.8	12.8	2.6	10.3	28.2	28.2
わからない	94	17.0	4.3	13.8	7.4	57.4	9.6	

(3) 今後の介護サービスの利用意向

問 21 今後の介護サービスの利用についてどのように考えていますか。(○は1つ)

【図表 6-6-1 今後の介護サービスの利用意向×要介護度別】



今後の介護サービスの利用意向は、「わからない」を除くと、「家族介護が困難になったら在宅サービスを利用したい」が17.1%で最も高く、次いで「今後利用するなら施設サービスを利用したい」が14.8%、「要介護度が現在より重くなったら在宅サービスを利用したい」が13.5%となっている。

要介護度別にみると、要支援1・2では「要介護度が現在より重くなったら在宅サービスを利用したい」の割合が他と比べて高くなっている。

## 第7章 介護保険施設等サービス利用者調査

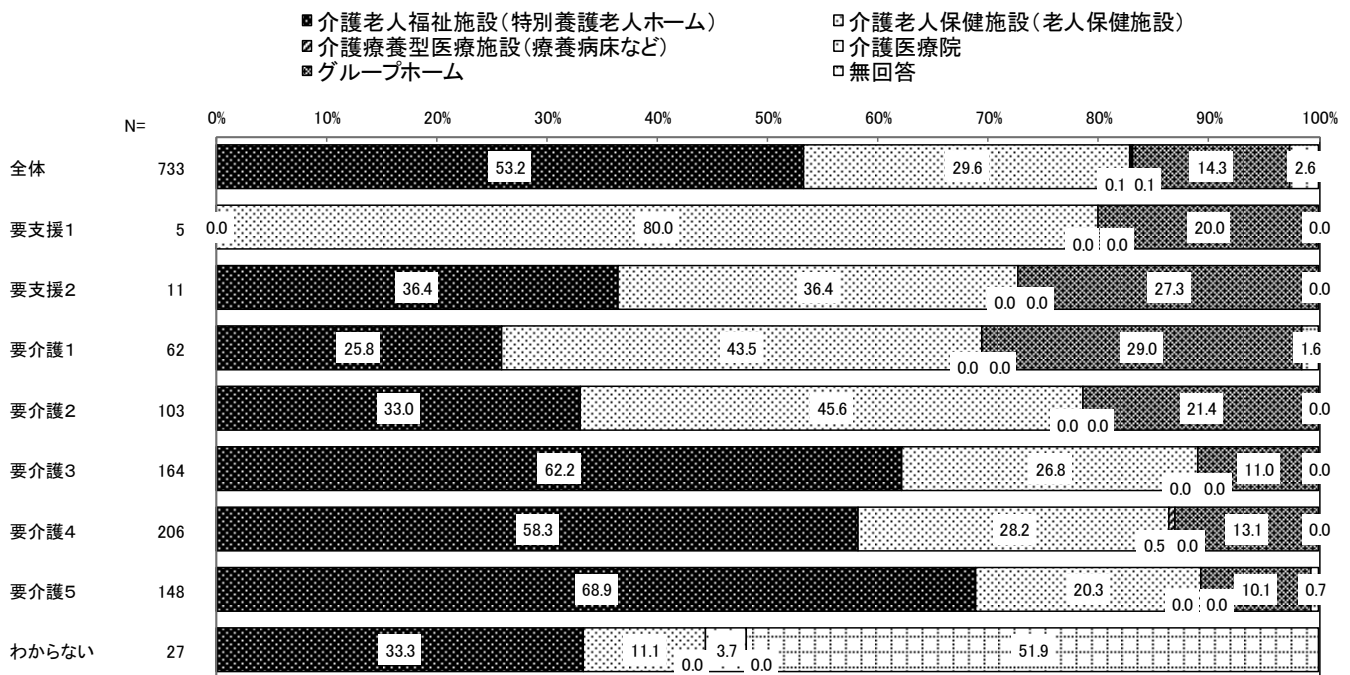
### 1. 回答者の属性

#### (1) 施設の種類の種類

問7 現在、あなたが入っている施設などの種類は、次のどれに当てはまりますか。

(○は1つ)

【図表 7-1-1 施設の種類の種類×要介護度別】



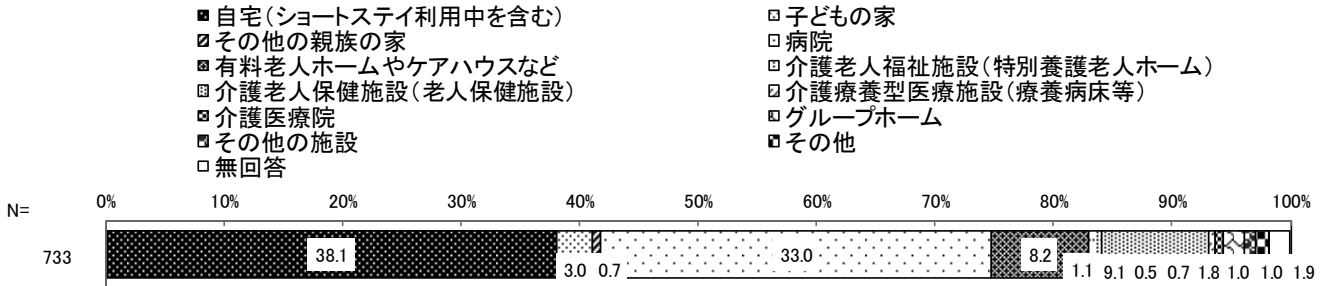
入所している施設の種類は、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が53.2%で最も高く、次いで「介護老人保健施設（老人保健施設）」が29.6%、「グループホーム」が14.3%となっている。

要介護度別にみると、要支援2～要介護2では「介護老人保健施設（老人保健施設）」と「グループホーム」の割合が高く、要介護3～5では「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」の割合が高い傾向がみられた。

(2) 施設入所前の居住状況

問9 現在の施設などに入る前は、どちらにいましたか。(○は1つ)

【図表 7-2-1 施設入所前の居住状況】



施設入所前の居住状況は、「自宅(ショートステイ利用中を含む)」が38.1%で最も高く、次いで「病院」が33.0%、「介護老人保健施設(老人保健施設)」が9.1%、「有料老人ホームやケアハウスなど」が8.2%となっている。

【図表 7-2-2 施設入所前の居住状況×性別・年齢別・施設別】

		回答数	自宅（ショートステイ利用中を含む）	子どもの家	その他の親族の家	病院	有料老人ホームやケアハウスなど	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
全体		733	38.1	3.0	0.7	33.0	8.2	1.1
性別	男性	138	29.7	0.7	2.2	44.9	4.3	1.4
	女性	564	39.7	3.7	0.4	30.3	9.4	1.1
年齢別	40～64歳	19	52.6	0.0	0.0	10.5	5.3	0.0
	65～69歳	17	41.2	0.0	0.0	35.3	11.8	5.9
	70～74歳	33	24.2	3.0	3.0	45.5	3.0	3.0
	75～79歳	75	29.3	2.7	2.7	53.3	2.7	1.3
	80～84歳	101	36.6	1.0	0.0	37.6	8.9	4.0
	85～89歳	172	40.1	3.5	0.0	30.8	10.5	0.0
	90歳以上	303	39.9	4.0	0.7	29.0	8.9	0.3
施設別	介護老人福祉施設	390	42.1	3.1	0.8	23.3	8.5	1.5
	介護老人保健施設	217	23.5	2.3	0.9	60.4	5.1	0.9
	介護療養型医療施設	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	介護医療院	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	グループホーム	105	54.3	4.8	0.0	18.1	15.2	0.0

		介護老人保健施設（老人保健施設）	介護療養型医療施設（療養病床等）	介護医療院	グループホーム	その他の施設	その他	無回答
全体		9.1	0.5	0.7	1.8	1.0	1.0	1.9
性別	男性	9.4	0.0	2.2	0.0	0.7	1.4	2.9
	女性	9.0	0.7	0.4	2.3	0.7	0.9	1.4
年齢別	40～64歳	15.8	0.0	5.3	0.0	5.3	5.3	0.0
	65～69歳	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70～74歳	15.2	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	75～79歳	5.3	0.0	0.0	0.0	1.3	1.3	0.0
	80～84歳	6.9	0.0	0.0	2.0	1.0	0.0	2.0
	85～89歳	8.7	0.0	0.6	2.3	1.2	1.7	0.6
	90歳以上	10.6	1.3	0.7	2.3	0.7	0.7	1.0
施設別	介護老人福祉施設	13.8	0.3	1.0	3.1	1.5	0.5	0.5
	介護老人保健施設	3.2	0.9	0.5	0.5	0.5	0.9	0.5
	介護療養型医療施設	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	介護医療院	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	グループホーム	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	1.0

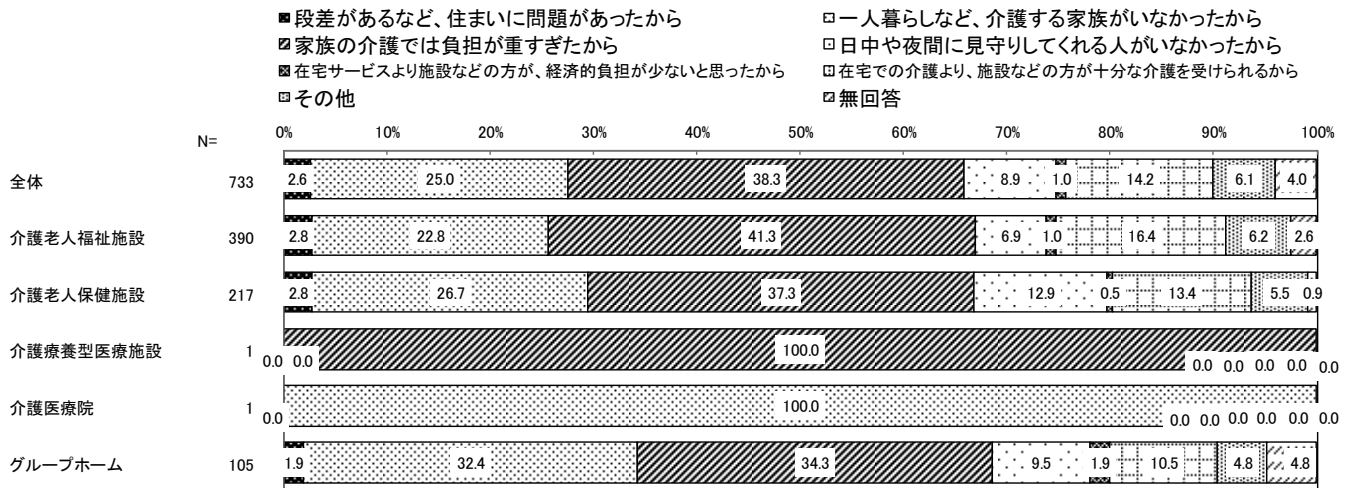
性別にみると、男性の方が女性より「病院」の割合が高く、女性の方が男性より「自宅（ショートステイ利用中を含む）」の割合が高くなっている。

施設別にみると、介護老人福祉施設、グループホームに入っている人では、施設入所前の居住状況は「自宅（ショートステイ利用中を含む）」が最も高く、介護老人保健施設に入っている人では、「病院」が最も高くなっている。

(3) 施設への入所を希望した理由

問 10 なぜ施設などへの入所を希望したのですか。(○は1つ)

【図表 7-3-1 施設への入所を希望した理由×施設別】



施設への入所を希望した理由は、「家族の介護では負担が重すぎたから」が 38.3%で最も高く、次いで「一人暮らしなど、介護する家族がいなかったから」が 25.0%、「在宅での介護より、施設などの方が十分な介護を受けられるから」が 14.2%となっている。

施設別にみると、グループホームでは「一人暮らしなど、介護する家族がいなかったから」の割合が 32.4%となっており、他と比べて高くなっている。

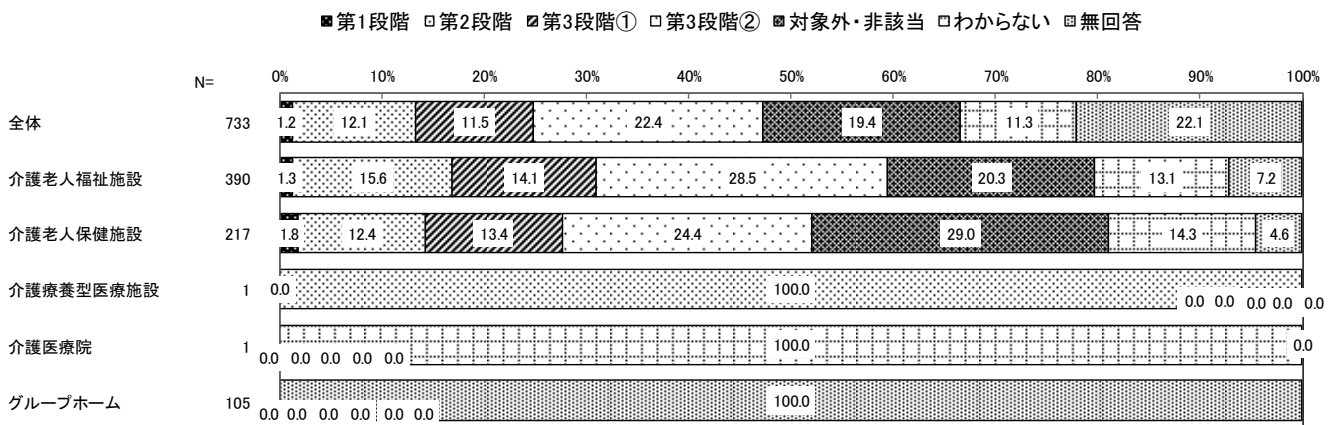
## 2. 利用している介護保険施設・グループホームについて

### (1) 利用者負担段階

問7で「1」～「4」と答えた方にうかがいます。

問14 あなたの食費の負担限度額認定の段階はどれですか。(○は1つ)

【図表 7-4-1 利用者負担段階×施設別】



利用者負担段階は、「第3段階②（食費1日あたり1,360円）」が22.4%で最も高く、次いで「対象外・非該当」が19.4%、「第2段階（食費1日あたり390円）」が12.1%となっている。

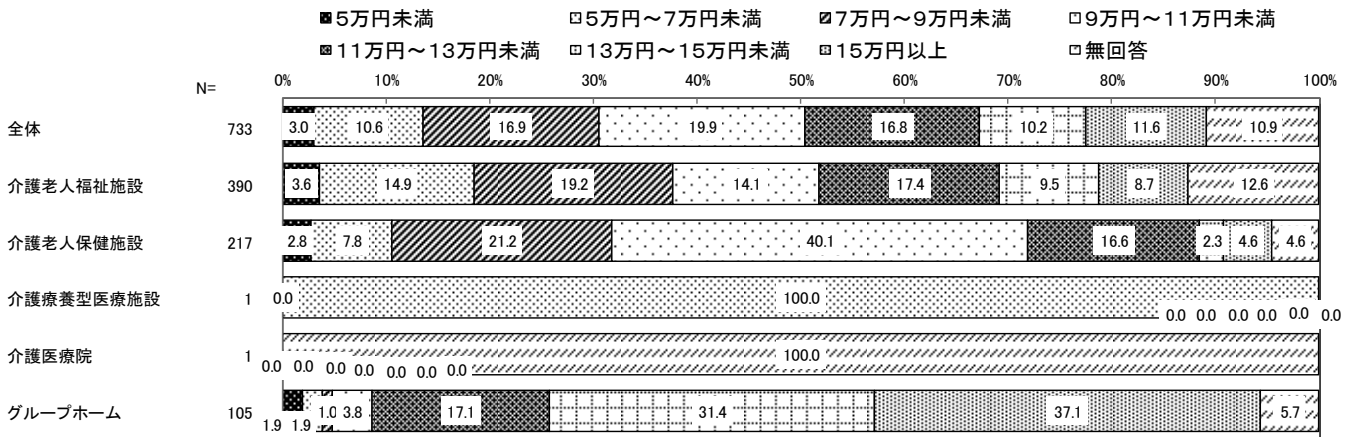
施設別に見ると、介護老人保健施設の方が介護老人福祉施設より「対象外・非該当」の割合が高くなっている。

(2) 利用者負担額

問 15 あなたの負担額（1割、2割または3割負担、食費・居住費の自己負担額、日常生活費などの合計）は月額いくらくらいですか。（○は1つ）

※高額介護サービス費等を受給している場合は、その額を差し引いた残りの金額

【図表 7-5-1 利用者負担額×施設別】



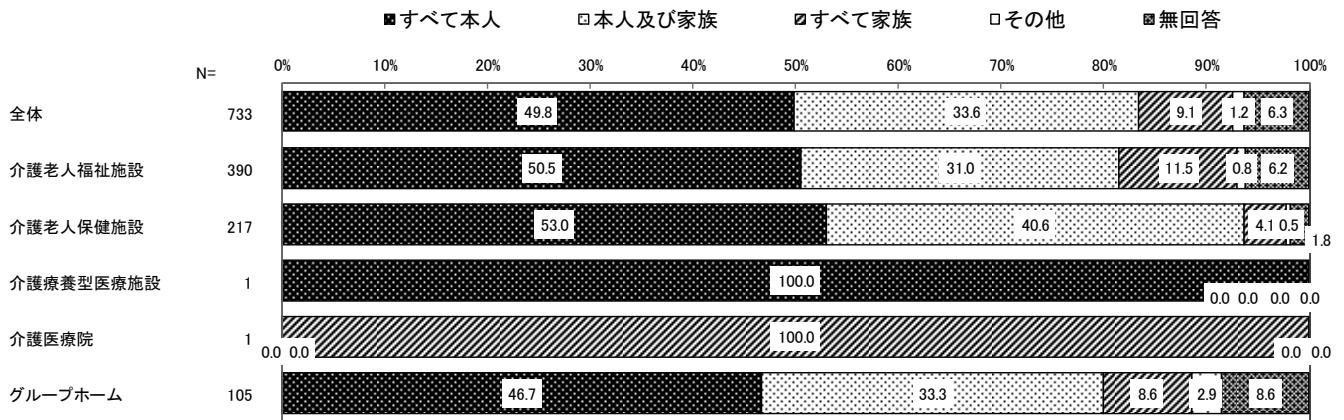
利用者負担額は、「9万円～11万円未満」が19.9%で最も高く、次いで「7万円～9万円未満」が16.9%、「11万円～13万円未満」が16.8%となっている。

施設別にみると、介護老人福祉施設では「7万円～9万円未満」の割合が、介護老人保健施設では「9万円～11万円未満」の割合が、グループホームでは「15万円以上」の割合が最も高くなっている。

(3) 利用料金の負担者

問 16 現在、利用料金はどなたが負担していますか。(○は1つ)

【図表 7-6-1 利用料金の負担者×施設別】



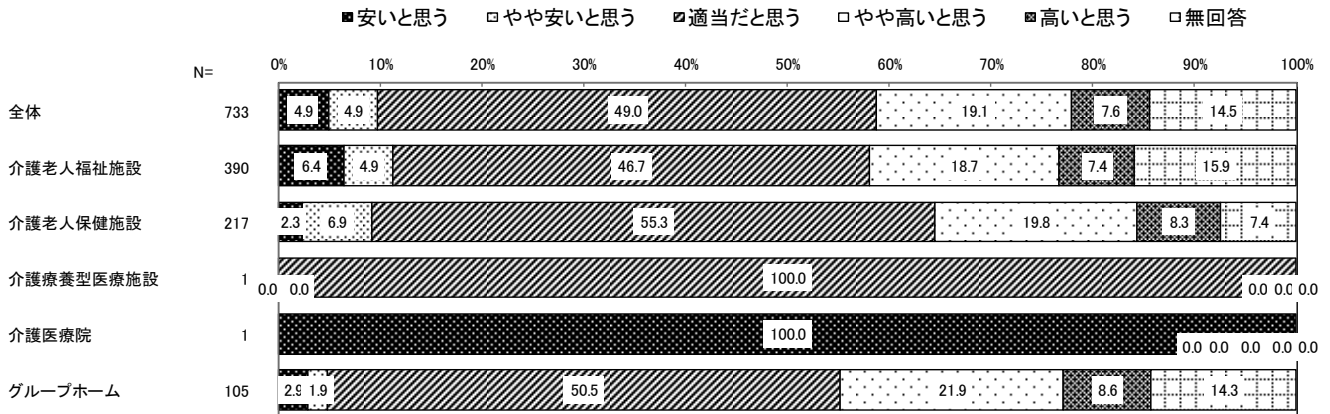
利用料金の負担者は、「すべて本人」が 49.8%で最も高く、次いで「本人及び家族」が 33.6%、「すべて家族」が 9.1%となっている。

施設別にみると、介護医療院を除くすべての施設で「すべて本人」の割合が最も高くなっている。

(4) 現在の負担額をどう思うか

問 17 現在の負担額（1割、2割または3割負担、食費・居住費の自己負担額、日常生活費などの合計）をどう思いますか。（○は1つ）

【図表 7-7-1 現在の負担額をどう思うか×施設別】



現在の負担額をどう思うかは、「適当だと思う」が49.0%で最も高く、次いで「やや高いと思う」が19.1%、「高いと思う」が7.6%となっている。

施設別にみると、介護医療院を除くすべての施設で「適当だと思う」が最も高くなっている。

【図表 7-7-2 現在の負担額をどう思うか

×世帯年間総収入額別・利用者負担段階別・利用者負担額別】

		(%)						
		回答数	安いと思う	やや安いと思う	適当だと思う	やや高いと思う	高いと思う	無回答
全体		733	4.9	4.9	49.0	19.1	7.6	14.5
世帯年間総収入額別	50万円未満	28	3.6	3.6	67.9	17.9	3.6	3.6
	50～100万円未満	64	6.3	17.2	45.3	21.9	7.8	1.6
	100～150万円未満	128	4.7	5.5	56.3	19.5	10.9	3.1
	150～200万円未満	119	6.7	4.2	54.6	21.0	7.6	5.9
	200～300万円未満	95	7.4	4.2	51.6	26.3	10.5	0.0
	300～400万円未満	58	3.4	3.4	48.3	31.0	12.1	1.7
	400～500万円未満	19	10.5	5.3	52.6	21.1	10.5	0.0
	500～600万円未満	16	0.0	6.3	81.3	0.0	12.5	0.0
	600～1,000万円未満	8	0.0	0.0	37.5	50.0	12.5	0.0
1,000万円以上	5	0.0	0.0	60.0	40.0	0.0	0.0	
利用者負担段階別	第1段階	9	0.0	0.0	66.7	0.0	22.2	11.1
	第2段階	89	7.9	9.0	51.7	18.0	4.5	9.0
	第3段階①	84	6.0	8.3	44.0	17.9	8.3	15.5
	第3段階②	164	1.8	6.1	46.3	22.0	9.1	14.6
	対象外・非該当	142	2.8	4.9	57.7	17.6	7.0	9.9
	わからない	83	3.6	1.2	45.8	25.3	10.8	13.3
利用者負担額別	5万円未満	22	18.2	4.5	63.6	9.1	0.0	4.5
	5万円～7万円未満	78	9.0	6.4	55.1	15.4	6.4	7.7
	7万円～9万円未満	124	10.5	10.5	59.7	11.3	2.4	5.6
	9万円～11万円未満	146	3.4	8.2	53.4	18.5	11.0	5.5
	11万円～13万円未満	123	2.4	2.4	52.8	29.3	5.7	7.3
	13万円～15万円未満	75	2.7	2.7	50.7	22.7	6.7	14.7
	15万円以上	85	0.0	0.0	35.3	34.1	20.0	10.6

世帯年間総収入額別にみると、300～400万円未満では『高いと思う』（「やや高いと思う」と「高いと思う」の合計）の割合が43.1%であり、他と比べて高くなっている。

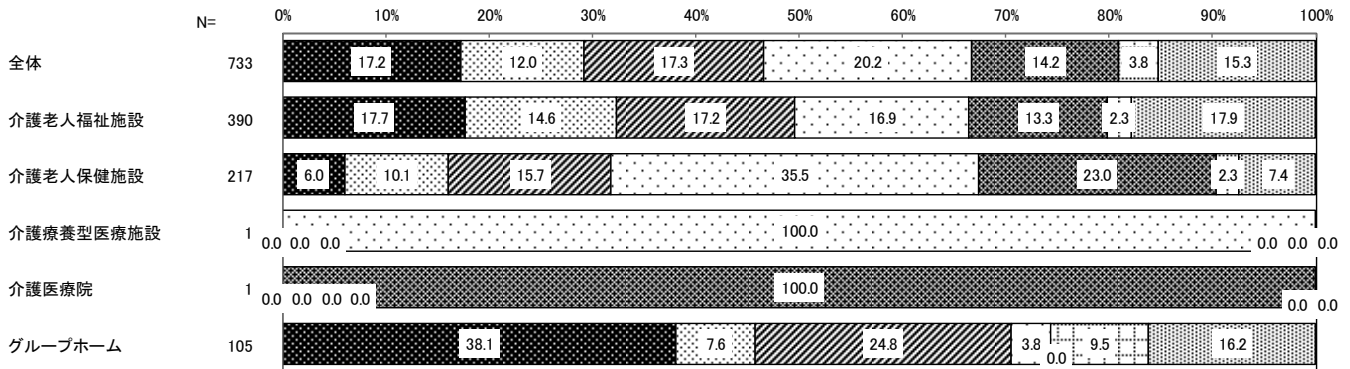
利用者負担額別にみると、15万円以上では『高いと思う』が54.1%で他と比べて高くなっており、「適当だと思う」を上回った。また7万円～9万円未満では『安いと思う』（「やや安いと思う」と「安いと思う」の合計）の割合が21.0%で他と比べて高くなっており、『高いと思う』を上回った。

(5) 利用料金とサービスとの関係性

問 18 施設などに入るに当たり、利用料金とサービスの関係についてどのように考えますか。(○は1つ)

【図表 7-8-1 利用料金とサービスとの関係性×施設別】

- 多少は利用料金が高くても個室がよい
- 多床室程度の料金で入れる個室があれば、個室に入りたい
- ▨ 多床室がよい
- 無回答
- 利用料金が安ければ個室がよいが、高いのであれば多床室でもよい
- 部屋の種類は問わず、利用料金が安いほどよい
- その他



利用料金とサービスとの関係性は、「部屋の種類は問わず、利用料金が安いほどよい」が20.2%で最も高く、次いで「多床室程度の料金で入れる個室があれば、個室に入りたい」が17.3%、「多少は利用料金が高くても個室がよい」が17.2%となっている。

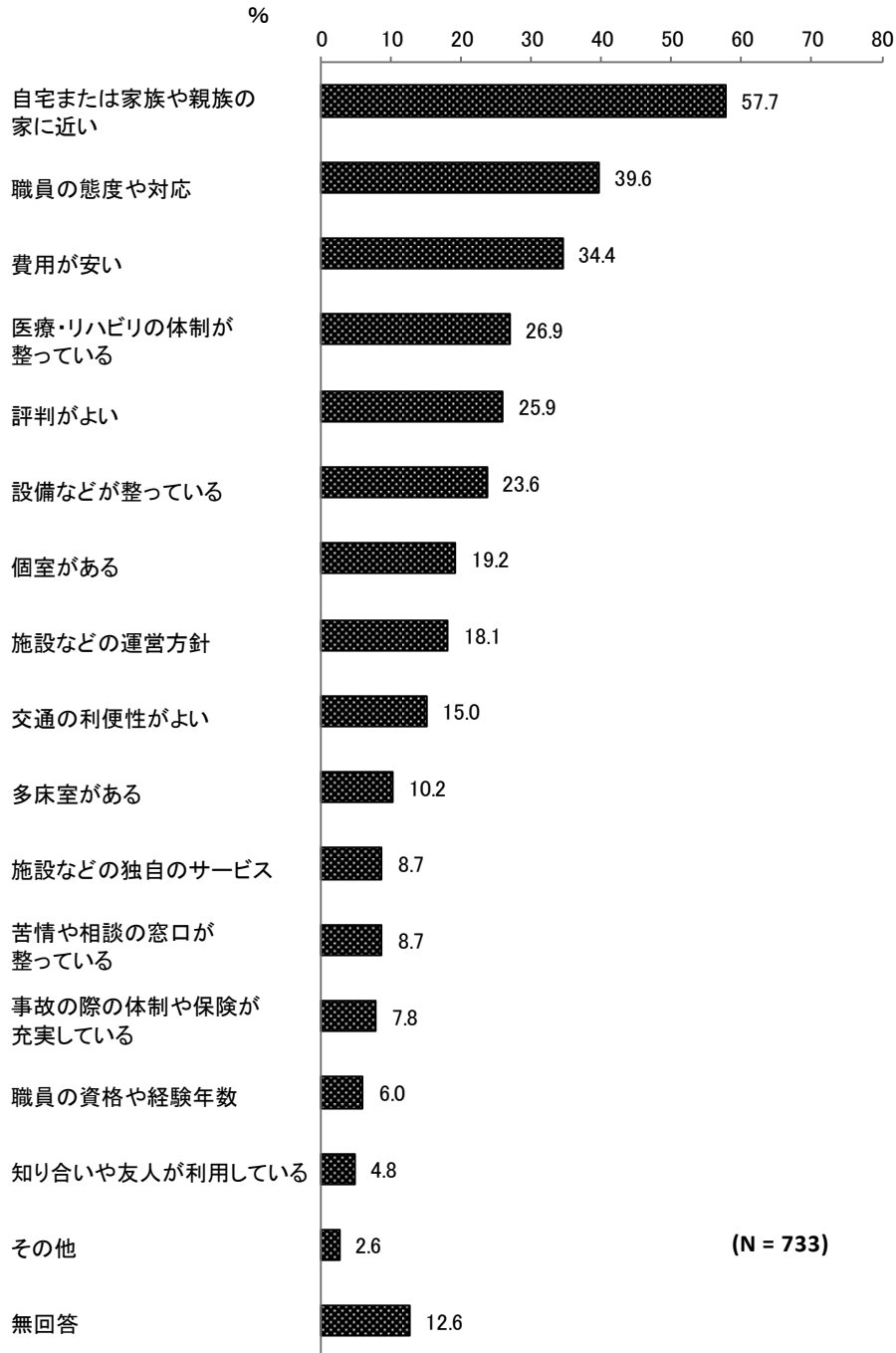
施設別にみると、介護老人福祉施設とグループホームでは「多少は利用料金が高くても個室がよい」の割合が最も高くなっている。

## (6) 施設などを選ぶときに重視する点

問 19 施設などを選ぶときに、特にどのようなことを重視して決めますか。

(○はいくつでも)

【図表 7-9-1 施設などを選ぶときに重視する点】



施設などを選ぶときに重視する点は、「自宅または家族や親族の家に近い」が 57.7%で最も高く、次いで「職員の態度や対応」が 39.6%、「費用が安い」が 34.4%となっている。

【図表 7-9-2 施設などを選ぶときに重視する点×施設別】

		回答数	自宅または家族や親	知り合いや友人が利用している	施設などの運営方針	職員の資格や経験年数	職員の態度や対応	施設などの独自のサービス	評判がよい	設備などが整っている	(%)
全体		733	57.7	4.8	18.1	6.0	39.6	8.7	25.9	23.6	
施設別	介護老人福祉施設	390	58.2	4.1	13.3	7.4	36.4	5.1	25.9	21.8	
	介護老人保健施設	217	59.4	6.0	18.0	2.8	40.1	12.9	25.8	28.1	
	介護療養型医療施設	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	介護医療院	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	グループホーム	105	61.9	4.8	37.1	8.6	56.2	14.3	31.4	23.8	

		個室がある	多床室がある	費用が安い	苦情や相談の窓口が整っている	事故が充の実際の体制や保険	医療・リハビリの体制が整っている	交通の利便性がよい	その他	無回答
全体		19.2	10.2	34.4	8.7	7.8	26.9	15.0	2.6	12.6
施設別	介護老人福祉施設	19.2	11.5	33.6	8.5	7.4	22.1	13.8	3.1	16.9
	介護老人保健施設	10.6	12.9	41.9	6.9	4.6	38.2	13.8	1.8	2.8
	介護療養型医療施設	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	介護医療院	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	グループホーム	39.0	0.0	28.6	15.2	16.2	23.8	21.9	1.9	7.6

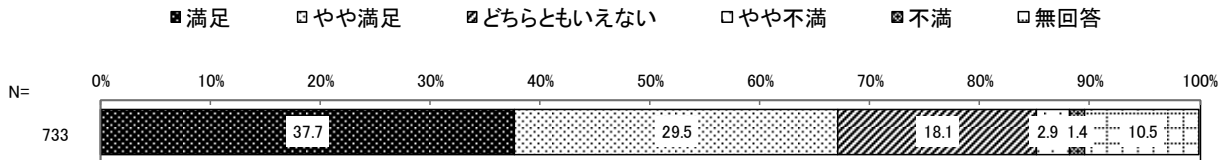
施設別にみると、グループホームでは「施設などの運営方針」「職員の態度や対応」「個室がある」の割合が、他と比べて高い結果となっている。また、介護老人保健施設では「医療・リハビリの体制が整っている」の割合が4割近くで、他と比べて高くなっている。

(7) 現在の施設への満足度

①現在の施設への満足度

問 20 現在の施設などに満足していますか。(○は1つ)

【図表 7-10-1 現在の施設への満足度】



現在の施設への満足度は、「満足」が 37.7%で最も高く、次いで「やや満足」が 29.5%、「どちらともいえない」が 18.1%となっている。

【図表 7-10-2 現在の施設への満足度×施設別】

		回答数	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答
全体		733	37.7	29.5	18.1	2.9	1.4	10.5
施設別	介護老人福祉施設	390	37.4	27.9	20.8	2.8	0.3	10.8
	介護老人保健施設	217	34.6	34.1	17.5	3.7	2.8	7.4
	介護療養型医療施設	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	介護医療院	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	グループホーム	105	46.7	28.6	9.5	1.0	1.9	12.4

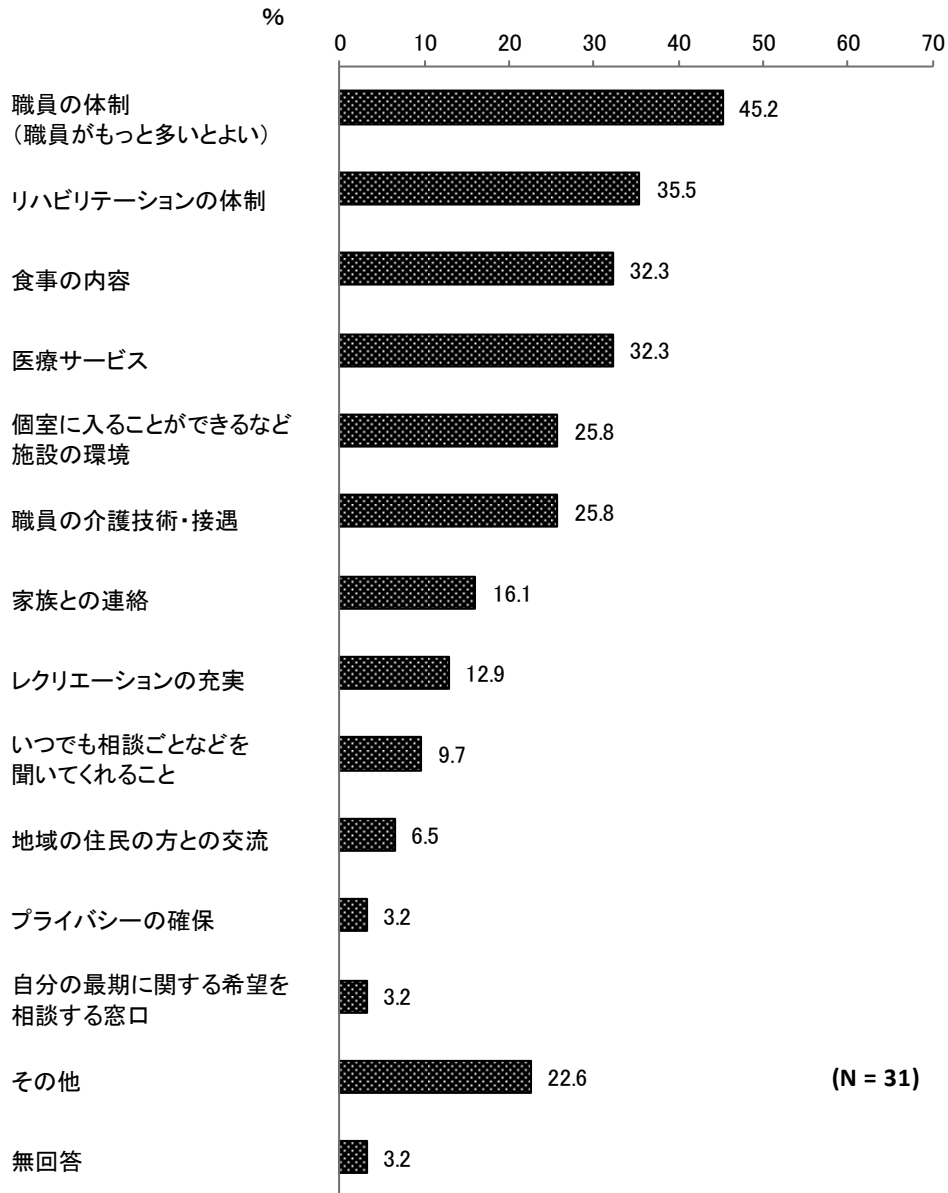
施設別にみると、グループホームでは「満足」の割合が他と比べて高く、「やや満足」との差は 18.1 ポイントと大きくなっている。一方、介護老人保健施設では「やや満足」の割合が他と比べて高く、「満足」との差は 0.5 ポイントとなっている。

②現在の施設に充実させてほしいこと

問 20 で「4」か「5」と答えた方にうかがいます。

問 20-1 もっと充実させてほしいのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

【図表 7-10-3 現在の施設に充実させてほしいこと】



現在の施設に充実させてほしいことは、「職員の体制（職員がもっと多いとよい）」が 45.2%で最も高く、次いで「リハビリテーションの体制」が 35.5%、「食事の内容」と「医療サービス」がともに 32.3%となっている。

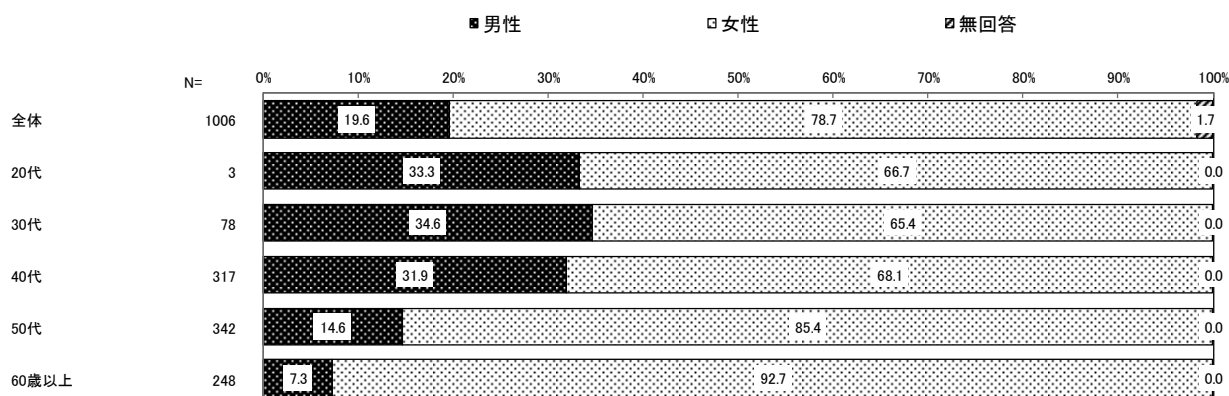
## 第8章 介護支援専門員調査

### 1. 回答者の属性

#### (1) 性別

問1 あなたの性別は。(○は1つ)

【図表 8-1-1 性別×年齢別】



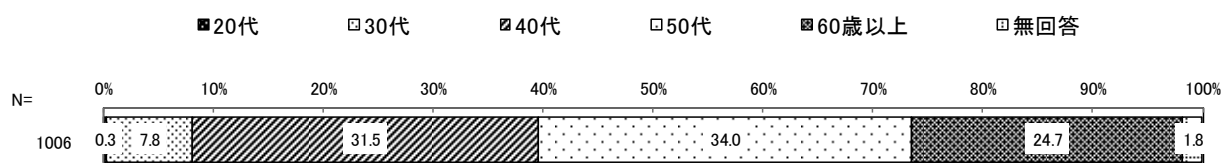
対象者の性別は、「男性」が19.6%、「女性」が78.7%となっている。

年齢別にみると、標本数が3であった20代を除けば、年齢が上がるにつれて女性の割合が高くなっており、60歳以上では9割台となっている。

#### (2) 年齢

問2 あなたの年齢は。(令和4年10月1日現在)(○は1つ)

【図表 8-2-1 年齢】

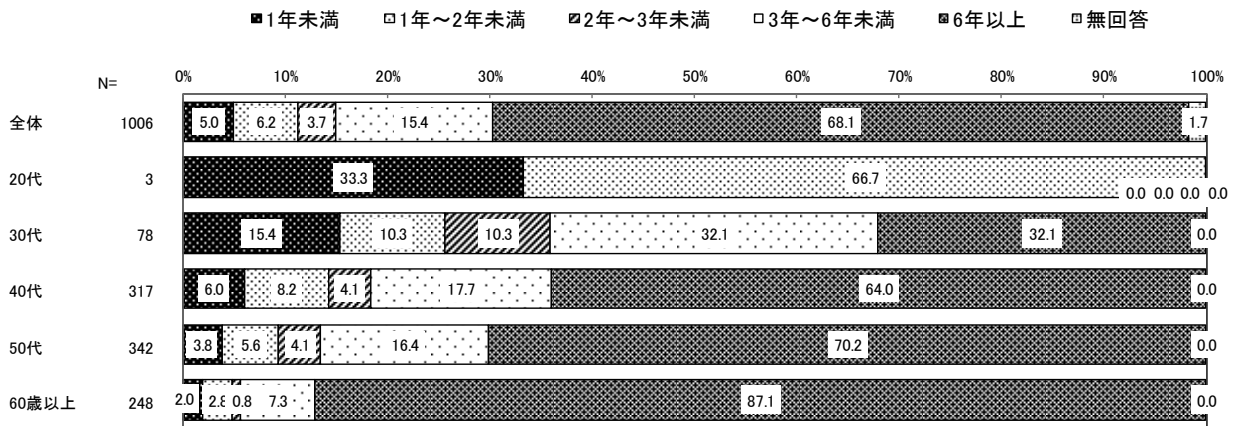


年齢は、「50代」が34.0%で最も高く、次いで「40代」が31.5%、「60歳以上」が24.7%となっている。

(3) 介護支援専門員としての経験年数

問3 あなたが介護支援専門員として働き始めてから何年ですか。(〇は1つ)

【図表 8-3-1 介護支援専門員としての経験年数×年齢別】



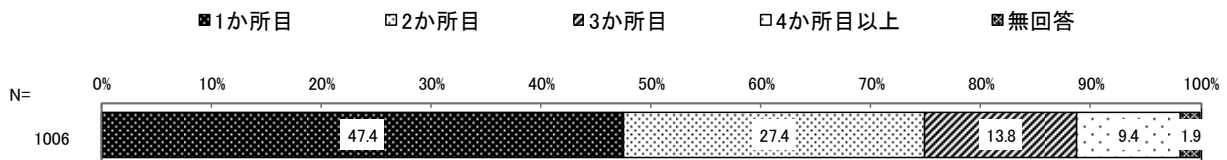
介護支援専門員歴は、「6年以上」が68.1%で最も高く、次いで「3年～6年未満」が15.4%、「1年～2年未満」が6.2%となっている。

年齢別にみると、標本数が3であった20代を除けば、年齢が上がるにつれて経験年数が長くなっており、60歳以上では「6年以上」が9割近くとなっている。

(4) 介護支援専門員としての経験事業所数

問4 あなたが現在勤めている居宅介護支援事業所、いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）は、介護支援専門員として働き始めて何か所目の事業所ですか。（異動などによる同一法人内での勤務地の変更は除きます）

【図表 8-4-1 介護支援専門員としての経験事業所数】



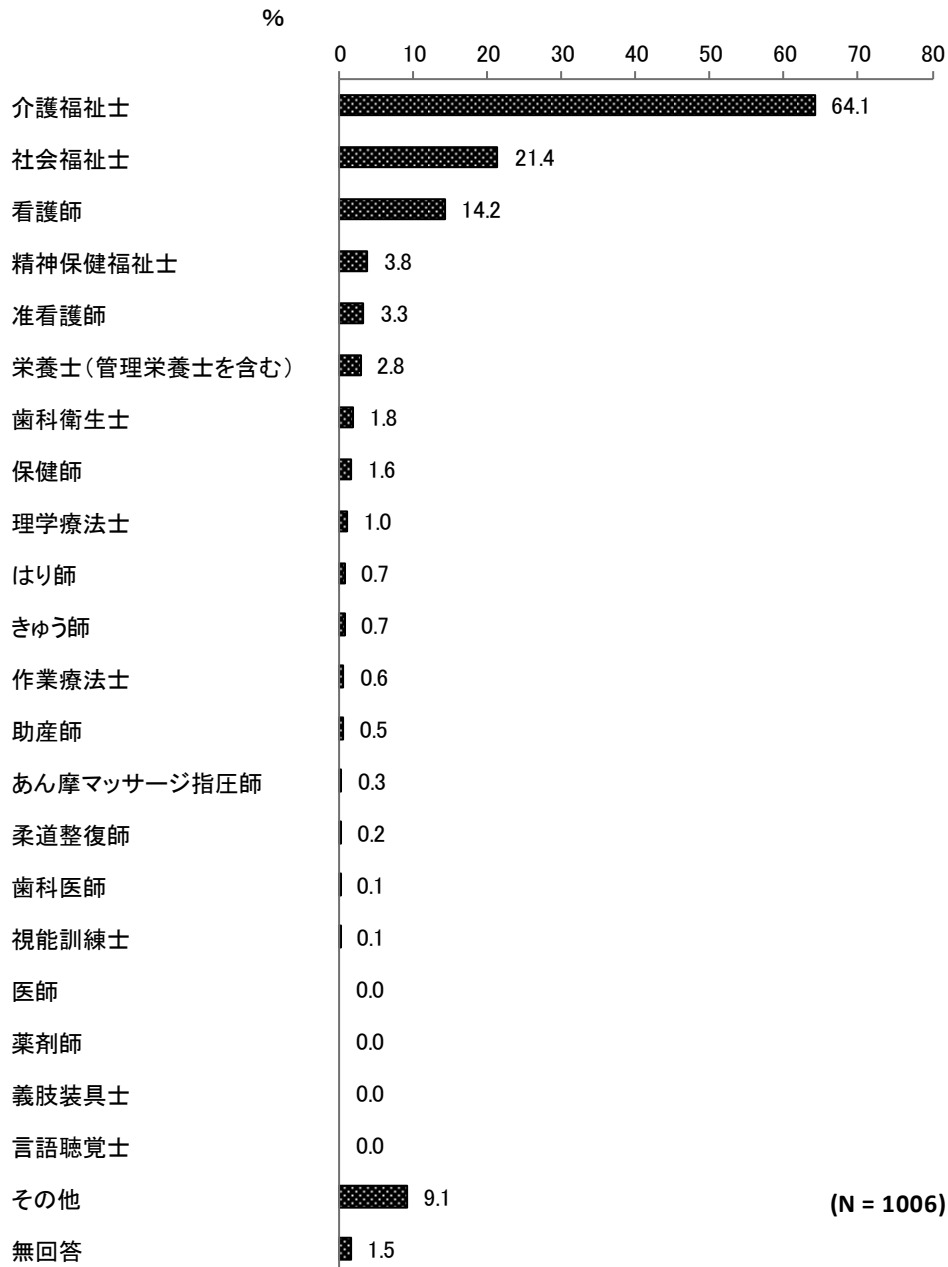
介護支援専門員としての経験事業所数は、「1か所目」が47.4%で最も高く、次いで「2か所目」が27.4%、「3か所目」が13.8%となっている。

## (5) 介護支援専門員以外に取得している資格

問5 あなたが介護支援専門員以外に取得している資格などは何ですか。

(○はいくつでも)

【図表 8-5-1 介護支援専門員以外に取得している資格】



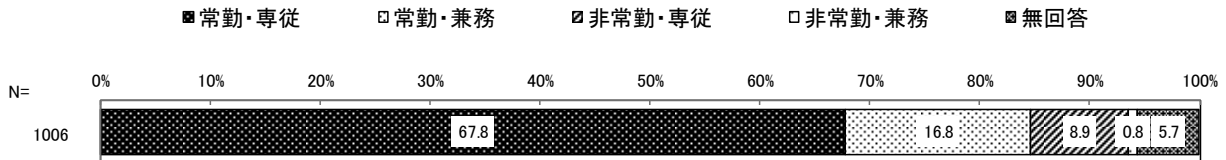
介護支援専門員以外に取得している資格は、「介護福祉士」が 64.1%で最も高く、次いで「社会福祉士」が 21.4%、「看護師」が 14.2%となっている。

(6) 勤務状況

① 勤務形態

問6 あなたの勤務形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

【図表 8-6-1 勤務形態】



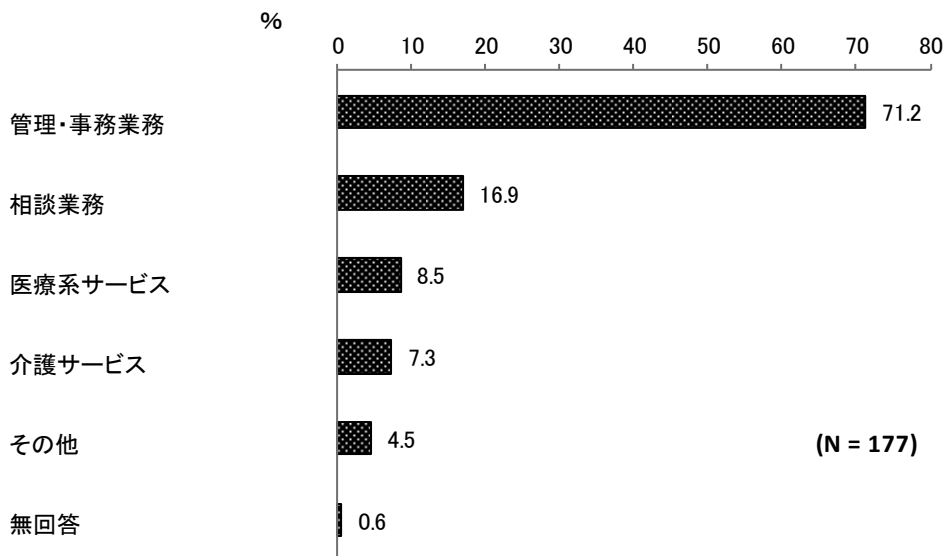
勤務形態は、「常勤・専従」(67.8%)と「常勤・兼務」(16.8%)を合わせた『常勤』が84.6%となっている。

② 兼務内容

問6で「2」か「4」と答えた方にうかがいます。

問6-1 どのような業務を兼務していますか。(○はいくつでも)

【図表 8-6-2 兼務内容】



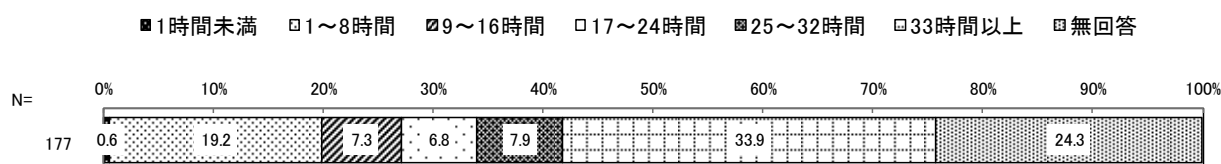
兼務内容は、「管理・事務業務」が71.2%で最も高く、次いで「相談業務」が16.9%、「医療系サービス」が8.5%となっている。

③ 従事時間

問6で「2」か「4」と答えた方にうかがいます。

問6-2 1週間のうち、居宅介護支援、介護予防支援に従事する時間は平均どれくらいですか。

【図表 8-6-3 従事時間】

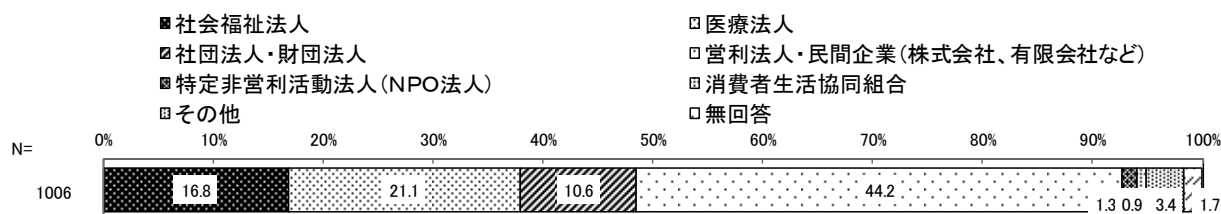


従事時間は、「33時間以上」が33.9%で最も高く、次いで「1~8時間」が19.2%、「25~32時間」が7.9%となっている。

(7) 事業所の法人種別

問7 あなたが所属している居宅介護支援事業所、いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の法人種別などは何ですか。（○は1つ）

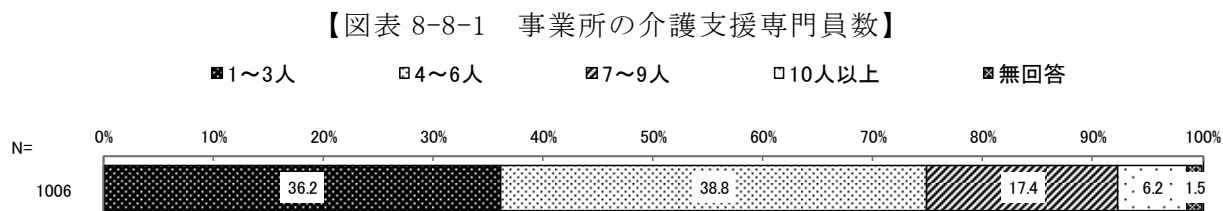
【図表 8-7-1 事業所の法人種別】



事業所の法人種別は、「営利法人・民間企業（株式会社、有限会社など）」が44.2%で最も高く、次いで「医療法人」が21.1%、「社会福祉法人」が16.8%となっている。

### (8) 事業所の介護支援専門員数

問8 あなたが所属している居宅介護支援事業所、いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）には、あなたを含めて何人の介護支援専門員がいますか。



事業所の介護支援専門員数は、「4～6人」が38.8%で最も高く、次いで「1～3人」が36.2%、「7～9人」が17.4%となっている。

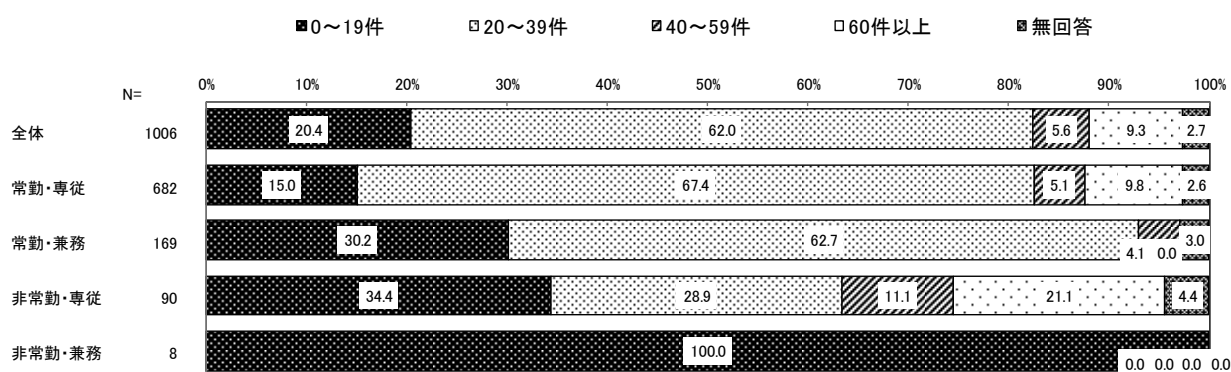
## 2. ケアマネジメントについて

### (1) 給付管理件数

以下の設問（【問9】～【問14-2】）は、令和4年10月の状況についてお答えください。

問9 あなたが給付管理を行ったケース（利用者が10月にサービスを利用し、介護報酬の対象となったケース）は何件ですか。

【図表 8-9-1 給付管理件数×勤務形態別】



給付管理件数は、「20～39件」が62.0%で最も高く、次いで「0～19件」が20.4%、「60件以上」が9.3%となっている。

令和4年10月の介護支援専門員一人あたりの給付管理件数は31.5件となっている。なお、令和元年6月の介護支援専門員一人あたりの給付管理件数は30.6件となっている。

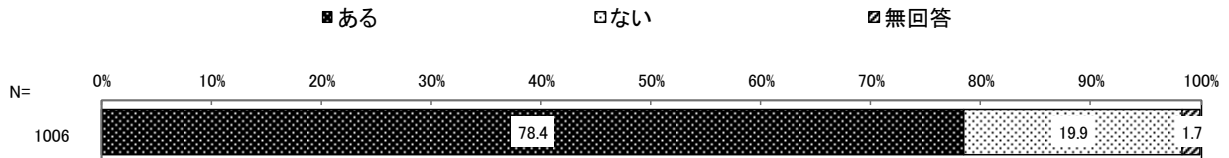
勤務形態別にみると、常勤・専従では「0～19件」の割合が他と比べて低くなっている。一方、非常勤・専従では「20～39件」の割合が他と比べて低く、「60件以上」の割合が他と比べて高くなっている。

(2) 保険外サービスを組み合わせたケアプラン

① 保険外サービスを組み合わせたケアプランの有無

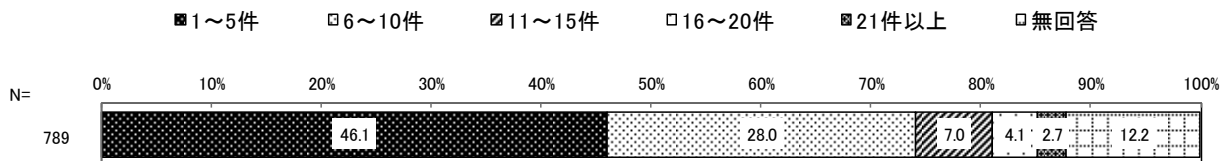
問 10 市の福祉サービス、ボランティアなどの保険外サービスを組み合わせて作成したケアプランはありますか。(〇は1つ)  
あればその件数も記入してください。

【図表 8-10-1 保険外サービスを組み合わせたケアプランの有無】



ケアマネジャー全体(1006人)の78.4%(789人)が保険外サービスを組み合わせたケアプランを作成したと回答している。

【図表 8-10-2 保険外サービスを組み合わせたケアプランの件数】



保険外サービスを組み合わせたケアプランの件数は、「1~5件」が46.1%で最も高く、次いで「6~10件」が28.0%、「11~15件」が7.0%となっている。

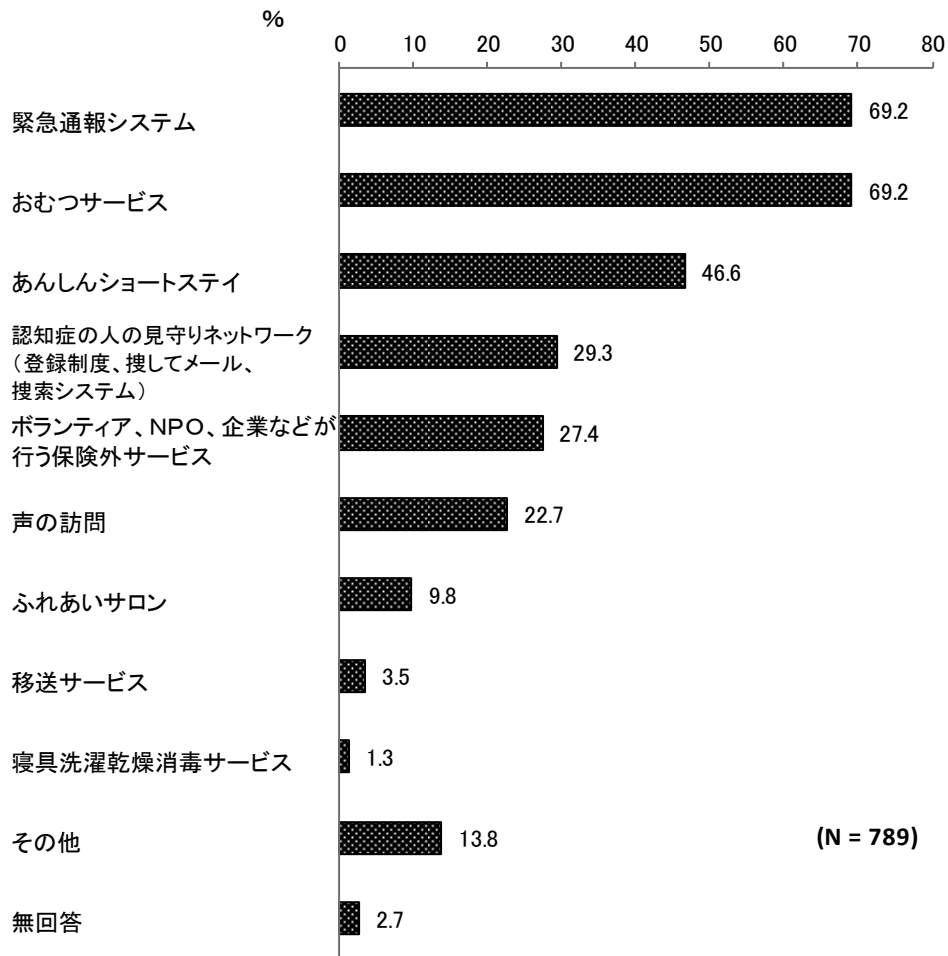
## ②ケアプランで組み合わせた保険外サービスの種類

問 10 で「1」と答えた方にうかがいます。

問 10-1 そのサービスの種類は何ですか。該当するものの番号を○で囲んでください。

(○はいくつでも)

【図表 8-10-3 ケアプランで組み合わせた保険外サービスの種類】



ケアプランで組み合わせた保険外サービスの種類は、「緊急通報システム」と「おむつサービス」がともに 69.2%で最も高く、次いで「あんしんショートステイ」が 46.6%、「認知症の人の見守りネットワーク（登録制度、捜してメール、検索システム）」が 29.3%となっている。

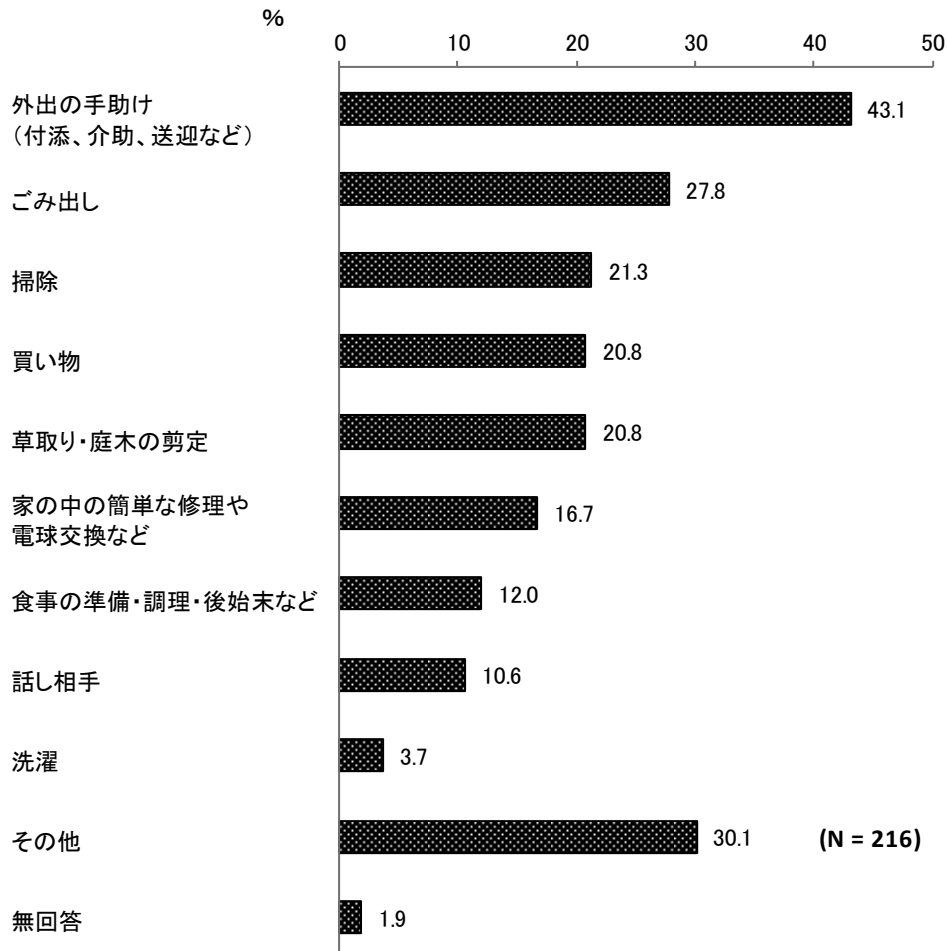
③ケアプランで組み合わせたボランティアなどが行う保険外サービスの内容

問 10-1 で「9」と答えた方にうかがいます。

問 10-2 ケアプランで組み合わせた保険外サービスの内容は何ですか。

(〇はいくつでも)

【図表 8-10-4 ケアプランで組み合わせたボランティアなどが行う保険外サービスの内容】



ケアプランで組み合わせたボランティアなどが行う保険外サービスの内容は、「外出の手助け（付添、介助、送迎など）」が 43.1%で最も高く、次いで「その他」が 30.1%、「ごみ出し」が 27.8%となっている。

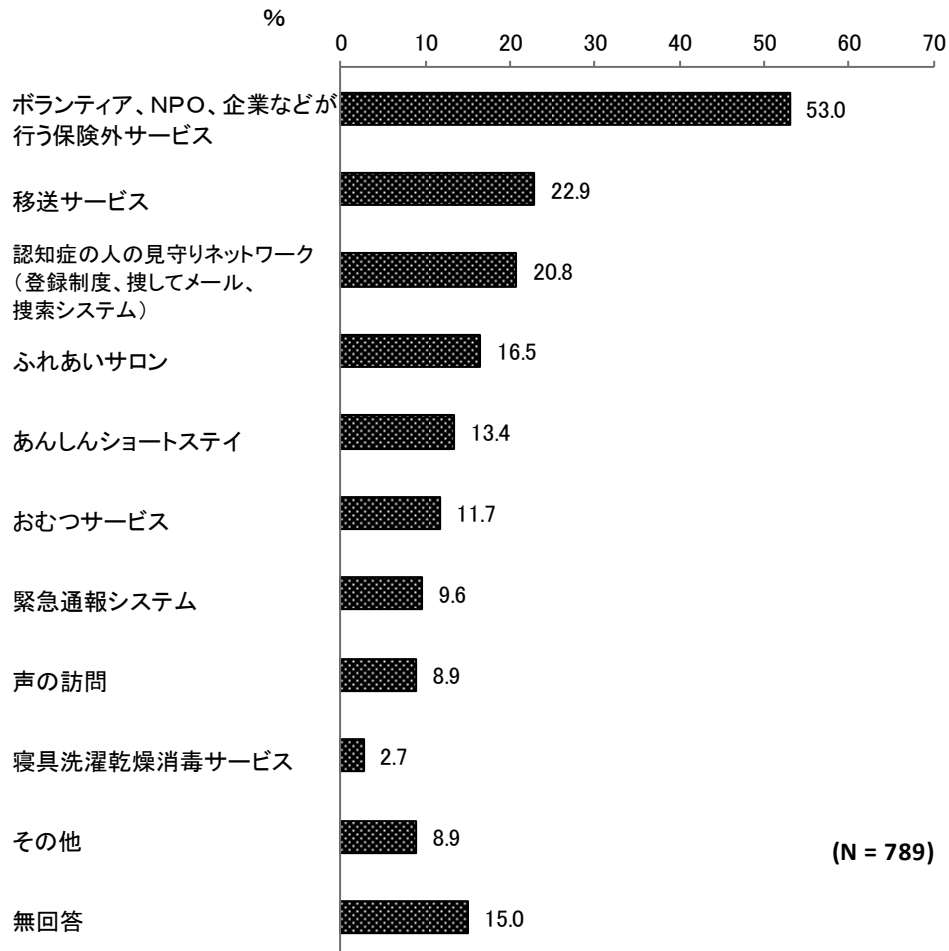
## ④ 今後充実が必要な保険外サービスの種類

問10で「1」と答えた方にうかがいます。

問10-3 現在不足しており、今後充実が必要と思うサービスは何ですか。

(〇はいくつでも)

【図表 8-10-5 今後充実が必要な保険外サービスの種類】



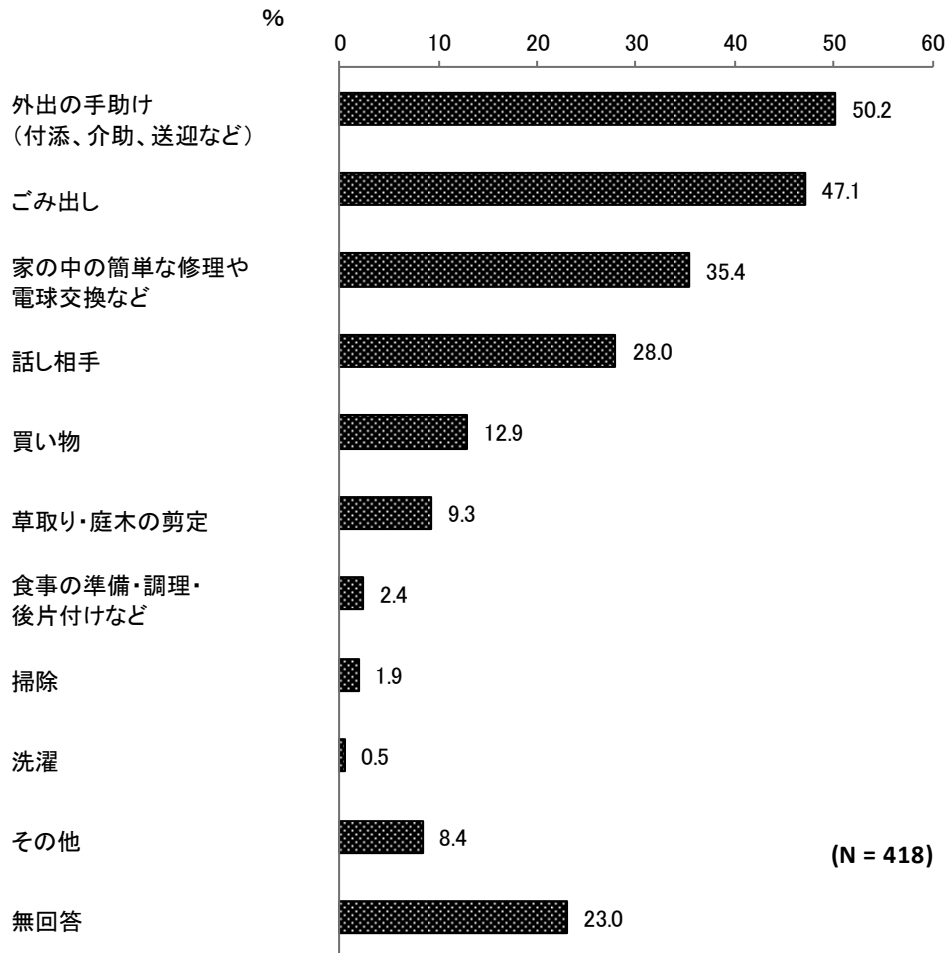
今後充実が必要な保険外サービスの種類は、「ボランティア、NPO、企業などが行う保険外サービス」が53.0%で最も高く、次いで「移送サービス」が22.9%、「認知症の人の見守りネットワーク（登録制度、捜してメール、検索システム）」が20.8%となっている。

⑤ 今後充実が必要なボランティアなどが行う保険外サービスの内容

問 10-3 で「9」と答えた方にうかがいます。

問 10-4 今後充実が必要な保険外サービスの具体的な内容は何ですか。(〇は3つまで)

【図表 8-10-6 今後充実が必要なボランティアなどが行う保険外サービスの内容】

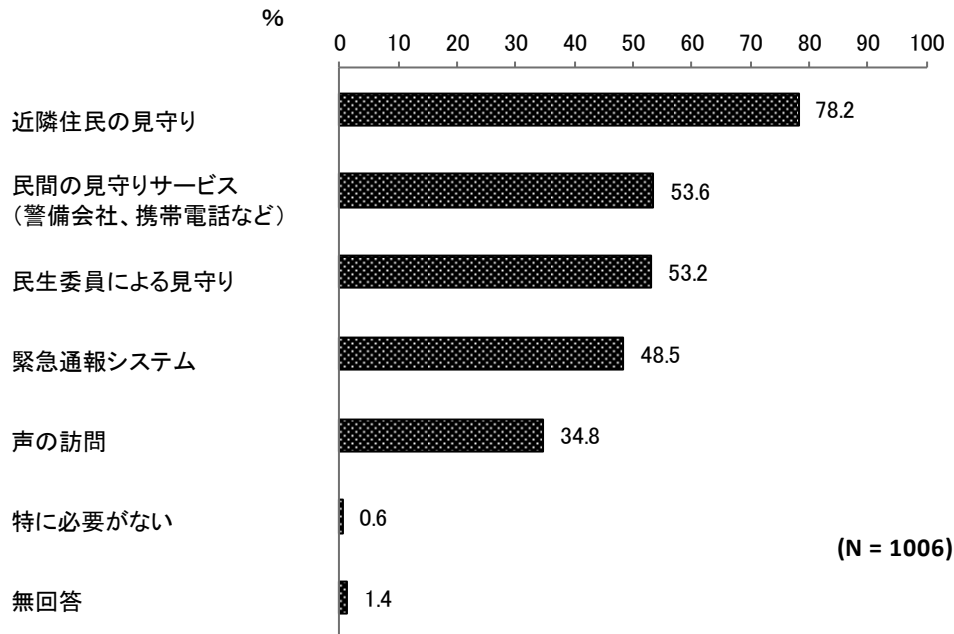


今後充実が必要なボランティアなどが行う保険外サービスの内容は、「外出の手助け（付添、介助、送迎など）」が 50.2%で最も高く、次いで「ごみ出し」が 47.1%、「家の中の簡単な修理や電球交換など」が 35.4%となっている。

**(3) 介護サービス受給者に必要な「見守り」サービス**

問 11 介護サービス受給者の場合、どのような「見守り」サービスが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

【図表 8-11-1 介護サービス受給者に必要な「見守り」サービス】



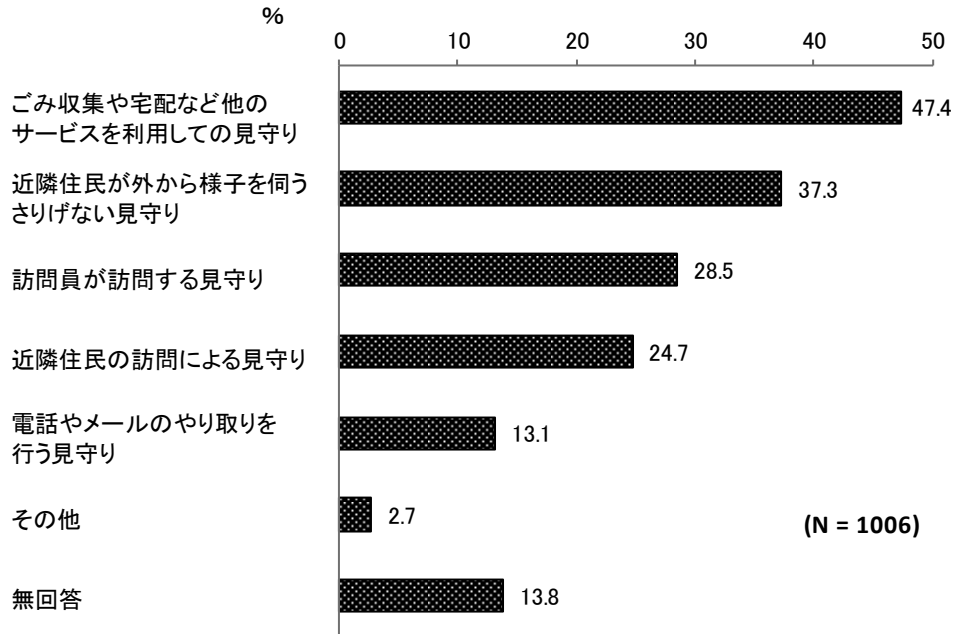
介護サービス受給者に必要な「見守り」サービスは、「近隣住民の見守り」が 78.2%で最も高く、次いで「民間の見守りサービス（警備会社、携帯電話など）」が 53.6%、「民生委員による見守り」が 53.2%となっている。

(4) 充実が必要な「見守り」サービス

問 12 どのような「見守り」サービスを今後充実させるとよいと思いますか。

(○は2つまで)

【図表 8-12-1 充実が必要な「見守り」サービス】



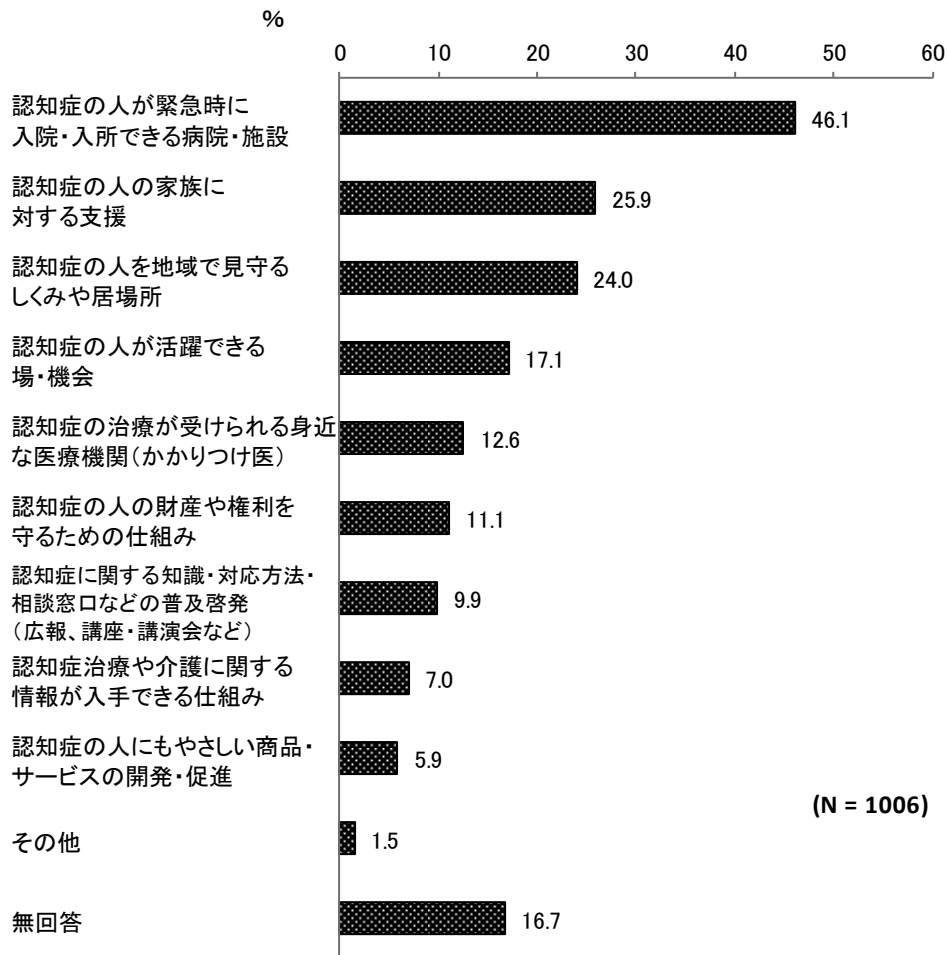
充実が必要な「見守り」サービスは、「ごみ収集や宅配など他のサービスを利用しての見守り」が 47.4%で最も高く、次いで「近隣住民が外から様子を伺うさりげない見守り」が 37.3%、「訪問員が訪問する見守り」が 28.5%となっている。

## (5) 不足している認知症患者の支援体制

問 13 認知症の方の支援体制として、どのようなものが不足していると考えますか。

(○は2つまで)

【図表 8-13-1 不足している認知症患者の支援体制】



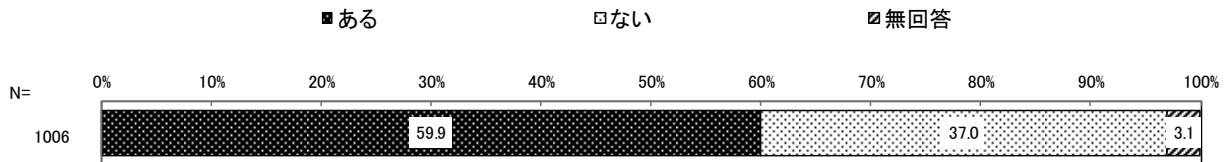
不足している認知症患者の支援体制は、「認知症の人が緊急時に入院・入所できる病院・施設」が 46.1%で最も高く、次いで「認知症の人の家族に対する支援」が 25.9%、「認知症の人を地域で見守るしくみや居場所」が 24.0%となっている。

(6) 在宅での生活が困難なケース

①在宅での生活が困難なケースの有無

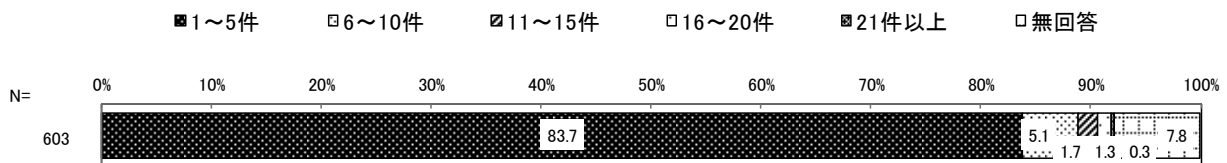
問 14 在宅での生活が困難なケースはありますか。(○は1つ)  
あればその件数も記入してください。

【図表 8-14-1 在宅での生活が困難なケースの有無】



ケアマネジャー全体（1006人）の59.9%（603人）が在宅での生活が困難なケースが「ある」と回答している。

【図表 8-14-2 在宅での生活が困難なケースの件数】



在宅での生活が困難なケースの件数は、「1~5件」が83.7%で最も高く、次いで「6~10件」が5.1%、「11~15件」が1.7%となっている。

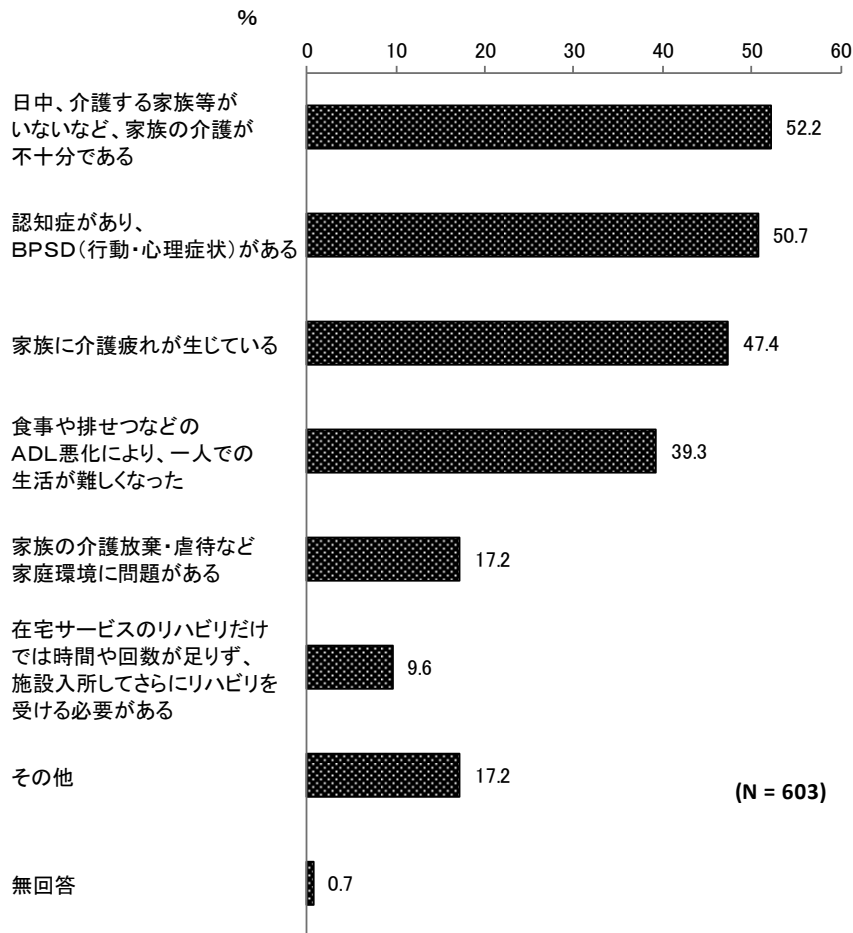
## ②在宅での生活が困難なケースの内容

問 14 で「1」と答えた方にうかがいます。

問 14-1 具体的にはどのようなケースですか。該当するものの番号を○で囲んでください。(○はいくつでも)

また、そのケースの件数も記入してください。

【図表 8-14-3 在宅での生活が困難なケースの内容】



在宅での生活が困難なケースの内容は、「日中、介護する家族等がないなど、家族の介護が不十分である」が 52.2% で最も高く、次いで「認知症があり、BPSD(行動・心理症状)がある」が 50.7%、「家族に介護疲れが生じている」が 47.4% となっている。

在宅での生活が困難なケースの件数は、「日中、介護する家族等がないなど、家族の介護が不十分である」が 640 件で最も高く、次いで「認知症があり、BPSD(行動・心理症状)がある」が 583 件、「家族に介護疲れが生じている」が 562 件、「食事や排せつなどのADL悪化により、一人での生活が難しくなった」が 445 件、「在宅サービスのリハビリだけでは時間や回数が足りず、施設入所してさらにリハビリを受ける必要がある」が 133 件、「家族の介護放棄・虐待など家庭環境に問題がある」が 128 件となっている。

(7) 小規模多機能型居宅介護を計画に位置付けた経験

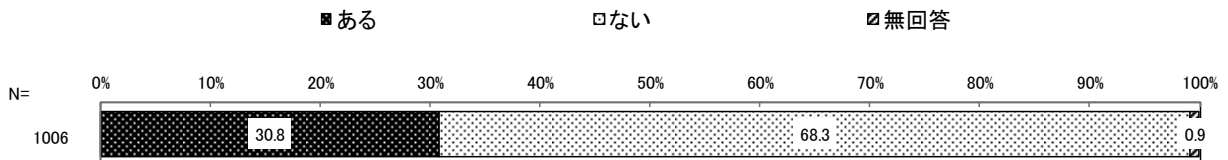
①小規模多機能型居宅介護を計画に位置付けた経験の有無

問 15 これまでに小規模多機能型居宅介護を計画に位置付けたことがありますか。

(○は1つ)

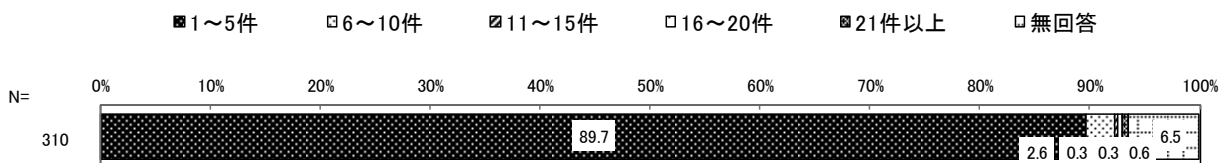
あればその件数もご記入ください。

【図表 8-15-1 小規模多機能型居宅介護を計画に位置付けた経験の有無】



小規模多機能型居宅介護を計画に位置付けた経験の有無は、「ある」が 30.8%、「ない」が 68.3%となっている。

【図表 8-15-2 小規模多機能型居宅介護を計画に位置付けた件数】



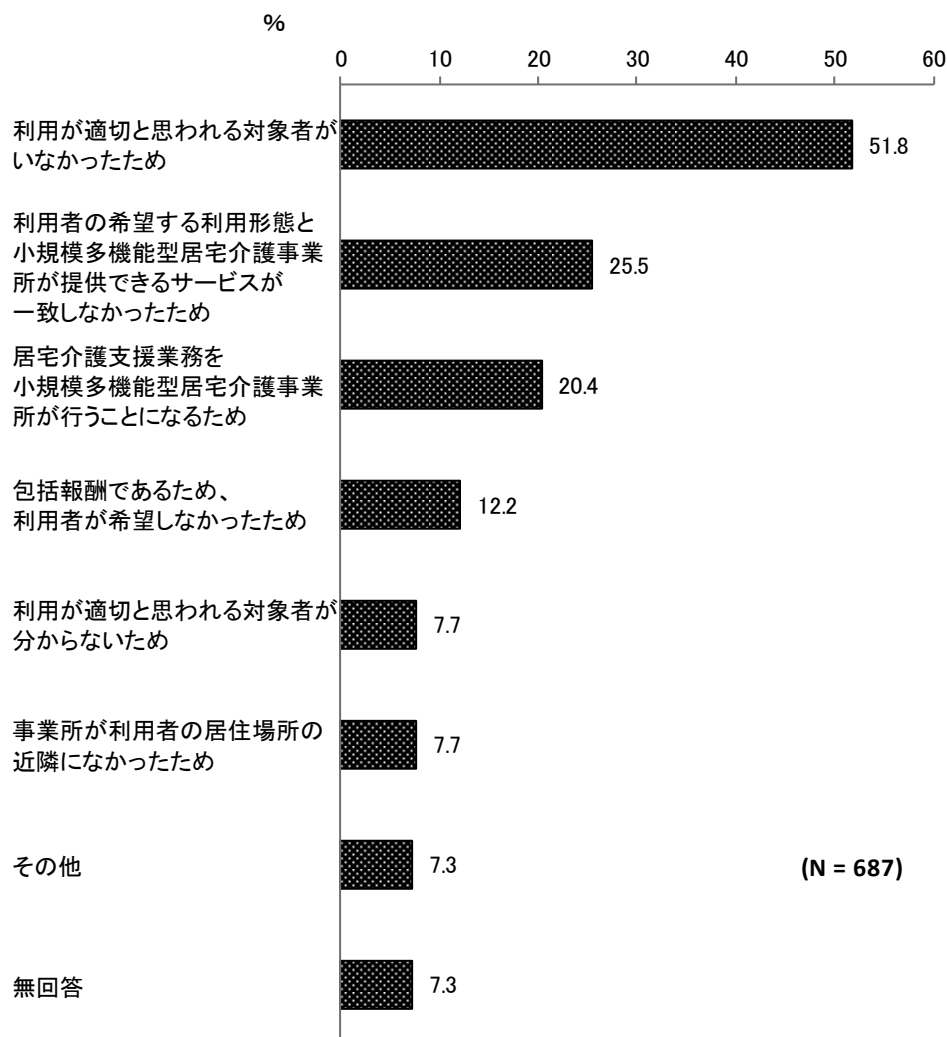
小規模多機能型居宅介護を計画に位置付けた件数は、「1~5件」が 89.7%で最も高く、次いで「6~10件」が 2.6%、そのほかの割合は 1%未満となっている（無回答を除く）。

## ②小規模多機能型居宅介護を計画に位置付けたことがない理由

問 15 で「2」と答えた方にうかがいます。

問 15-1 これまで計画に位置付けていない理由をお答えください。(〇はいくつでも)

【図表 8-15-3 小規模多機能型居宅介護を計画に位置付けたことがない理由】



小規模多機能型居宅介護を計画に位置付けたことがない理由は、「利用が適切と思われる対象者がいなかったため」が 51.8%で最も高く、次いで「利用者の希望する利用形態と小規模多機能型居宅介護事業所が提供できるサービスが一致しなかったため」が 25.5%、「居宅介護支援業務を小規模多機能型居宅介護事業所が行うことになるため」が 20.4%となっている。

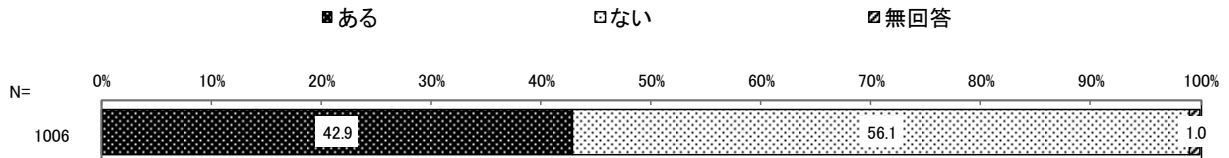
(8) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護を計画に位置付けた経験

① 定期巡回・随時対応型訪問介護看護を計画に位置付けた経験の有無

問 16 これまでに定期巡回・随時対応型訪問介護看護を計画に位置付けたことがありますか。(○は1つ)

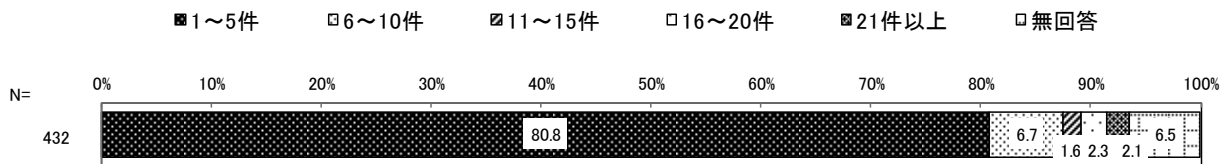
あればその件数もご記入ください。

【図表 8-16-1 定期巡回・随時対応型訪問介護看護を計画に位置付けた経験の有無】



定期巡回・随時対応型訪問介護看護を計画に位置付けた経験の有無は、「ある」が 42.9%、「ない」が 56.1%となっている。

【図表 8-16-2 定期巡回・随時対応型訪問介護看護を計画に位置付けた件数】



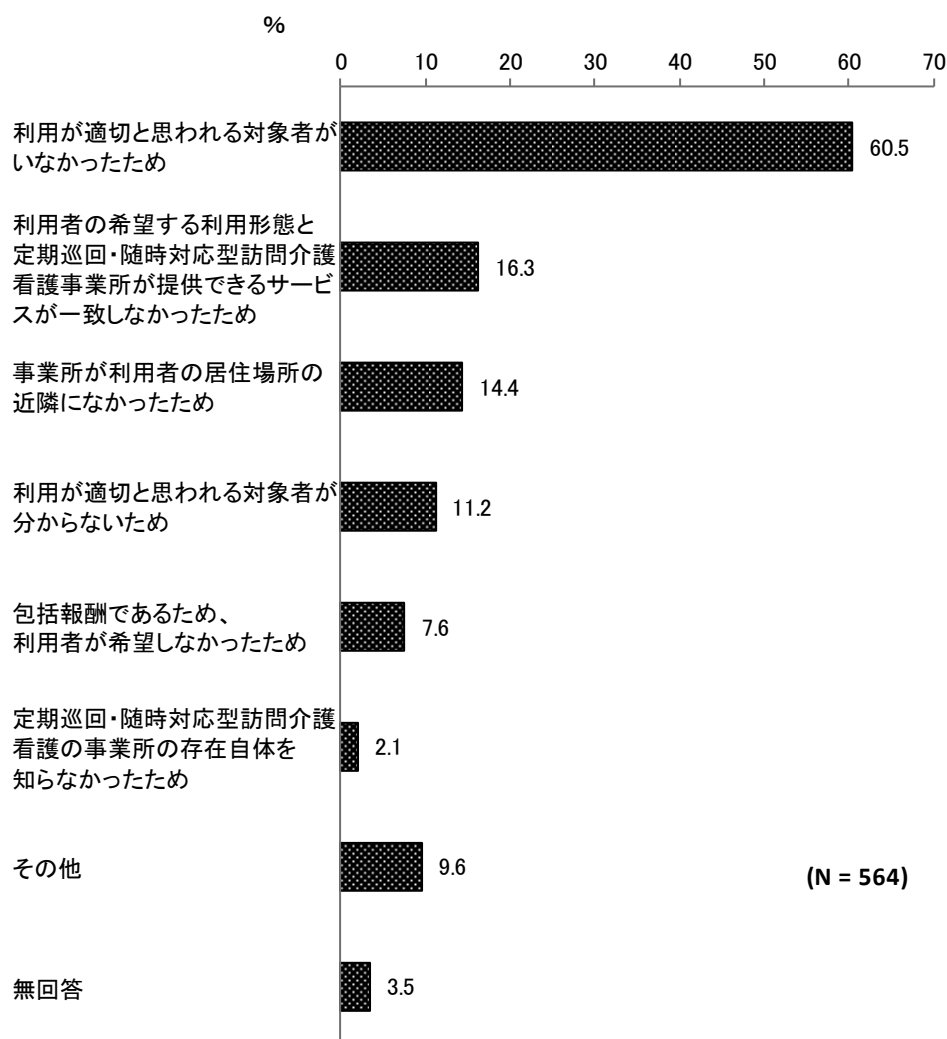
定期巡回・随時対応型訪問介護看護を計画に位置付けた件数は、「1~5件」が 80.8%で最も高く、次いで「6~10件」が 6.7%となっている。

## ②定期巡回・随時対応型訪問介護看護を計画に位置付けたことがない理由

問 16 で「2」と答えた方にうかがいます。

問 16-1 これまで計画に位置付けていない理由をお答えください。(〇はいくつでも)

【図表 8-16-3 定期巡回・随時対応型訪問介護看護を計画に位置付けたことがない理由】



定期巡回・随時対応型訪問介護看護を計画に位置付けたことがない理由は、「利用が適切と思われる対象者がいなかったため」が 60.5%で最も高く、次いで「利用者の希望する利用形態と定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所が提供できるサービスが一致しなかったため」が 16.3%、「事業所が利用者の居住場所の近隣になかったため」が 14.4%となっている。

(9) 計画作成で利用しにくいサービス

問 17 介護支援専門員としてケアプランを作成するに当たり、全体的に利用しにくいサービスがあれば、その理由について、該当するものに○をつけてください。  
(○はいくつでも)

【図表 8-17-1 計画作成で利用しにくいサービス】

	回答数	事業所の質が悪い	高いサービスの利用料が	標準サービスの利用の基	利用者のサービス内容が利	その他
訪問介護	347	42	9	76	91	129
(介護予防)訪問入浴介護	223	1	131	21	43	27
(介護予防)訪問看護	177	16	97	21	26	17
(介護予防)訪問リハビリテーション	232	7	78	70	27	50
(地域密着型)通所介護	103	16	27	18	28	14
(介護予防)通所リハビリテーション	166	14	56	37	25	34
(介護予防)福祉用具貸与	56	8	3	22	13	10
(介護予防)居宅療養管理指導	118	17	33	17	18	33
(介護予防)短期入所生活介護	130	15	16	16	25	58
(介護予防)短期入所療養介護	156	7	37	34	28	50
(介護予防)特定福祉用具販売	27	2	5	8	6	6
住宅改修	52	7	6	18	11	10
(介護予防)小規模多機能型居宅介護	227	11	40	17	100	59
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	338	13	88	18	101	118
夜間対応型訪問介護	223	4	37	12	55	115
(介護予防)認知症対応型通所介護	114	6	40	10	22	36
看護小規模多機能型居宅介護	185	5	50	13	67	50
介護予防型訪問サービス	107	10	1	23	29	44
介護予防型通所サービス	59	6	1	8	21	23
生活支援型訪問サービス	116	4	1	8	34	69
生活支援型通所サービス	109	3	1	7	37	61
その他の介護(予防)サービス	14	3	0	2	2	7

ケアプランを作成するに当たり利用しにくいサービスは、「訪問介護」が 347 件で最も多く、次いで「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が 338 件、「(介護予防)訪問リハビリテーション」が 232 件となっている。

(10) 計画作成で過剰なサービス

問 18 介護支援専門員としてケアプランを作成するに当たり、全体的に必ずしも必要ではないが、計画に組み込んでいるサービス（過剰サービス）があれば、その理由について、該当するものに○をつけてください。（○はいくつでも）

【図表 8-18-1 計画作成で過剰なサービス】

	回答数	難しいか	希望者が多かった	必ずしも必要ではない	家族が調整が難しい	事業所や関係事業	必要ではない	検討を要する	必ずしも必要ではない	その他
訪問介護	158	43	53	25	30	7				
(介護予防)訪問入浴介護	22	2	6	2	6	6				
(介護予防)訪問看護	123	13	27	28	48	7				
(介護予防)訪問リハビリテーション	75	23	25	10	12	5				
(地域密着型)通所介護	75	18	21	17	17	2				
(介護予防)通所リハビリテーション	58	17	24	7	3	7				
(介護予防)福祉用具貸与	132	43	36	15	27	11				
(介護予防)居宅療養管理指導	137	22	21	42	32	20				
(介護予防)短期入所生活介護	57	7	22	1	22	5				
(介護予防)短期入所療養介護	20	3	6	0	7	4				
(介護予防)特定福祉用具販売	29	6	7	4	8	4				
住宅改修	50	9	19	2	14	6				
(介護予防)小規模多機能型居宅介護	15	3	1	1	6	4				
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	30	1	6	10	8	5				
夜間対応型訪問介護	18	3	3	1	8	3				
(介護予防)認知症対応型通所介護	17	1	4	2	5	5				
看護小規模多機能型居宅介護	14	1	3	1	5	4				
介護予防型訪問サービス	61	22	17	3	12	7				
介護予防型通所サービス	23	7	4	0	8	4				
生活支援型訪問サービス	20	2	4	0	8	6				
生活支援型通所サービス	15	2	1	0	7	5				
その他の介護(予防)サービス	8	0	1	2	1	4				

ケアプランを作成するに当たり、全体的に必ずしも必要ではないが計画に組み込んでいるサービスは、「訪問介護」が 158 件で最も多く、次いで「(介護予防)居宅療養管理指導」が 137 件、「(介護予防)福祉用具貸与」が 132 件となっている。

(11) 計画作成で不足しているサービス

問 19 介護支援専門員としてケアプランを作成するに当たり、全体的に不足していると思うサービスがあれば、その理由について、該当するものに○をつけてください。  
(○はいくつでも)

【図表 8-19-1 計画作成で不足しているサービス】

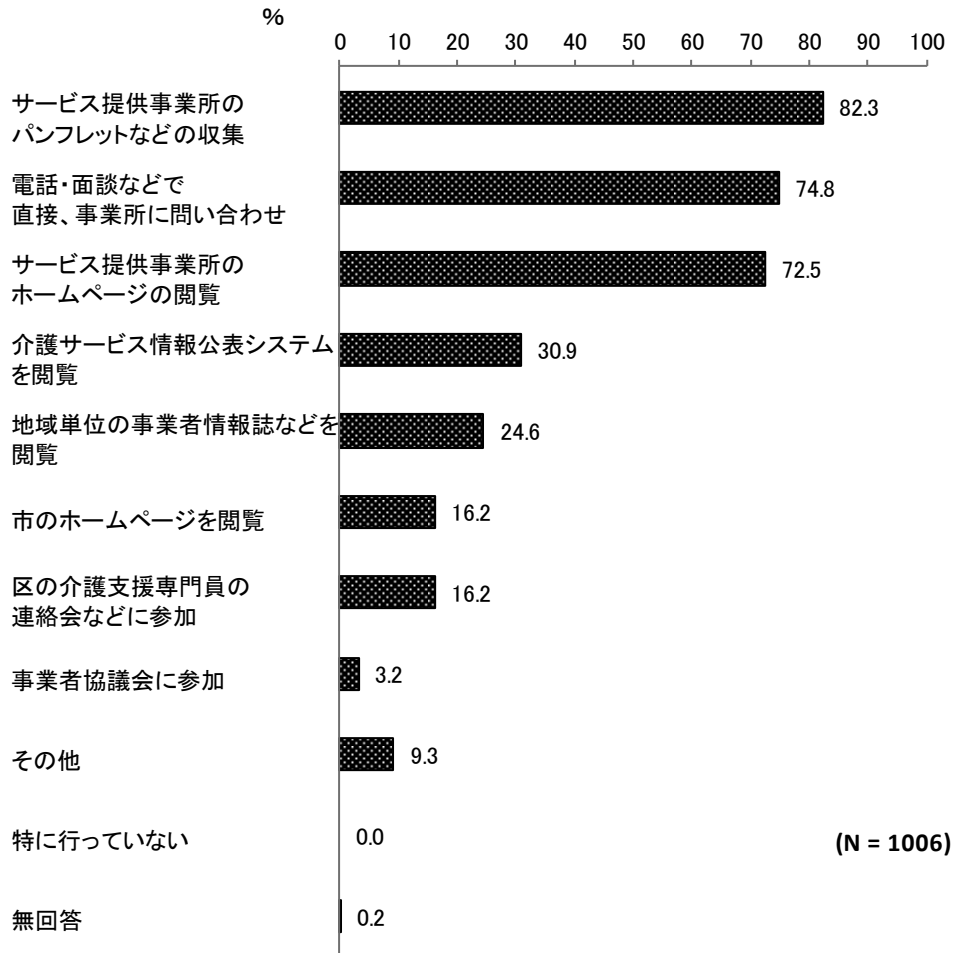
	回答数	者供必要の近くなる事業所が利用	な希望した間提でき	希利用しなかつた	望家族がサービスを希	た料以利用の負担できなかつ	その他
訪問介護	698	139	386	39	22	56	56
(介護予防)訪問入浴介護	70	10	14	14	10	19	3
(介護予防)訪問看護	145	4	26	35	19	57	4
(介護予防)訪問リハビリテーション	90	10	14	26	11	26	3
(地域密着型)通所介護	157	18	29	40	14	51	5
(介護予防)通所リハビリテーション	172	44	39	33	15	29	12
(介護予防)福祉用具貸与	47	3	2	22	8	9	3
(介護予防)居宅療養管理指導	67	6	5	15	13	25	3
(介護予防)短期入所生活介護	174	23	66	22	14	37	12
(介護予防)短期入所療養介護	77	24	27	6	5	11	4
(介護予防)特定福祉用具販売	21	2	2	3	5	7	2
住宅改修	37	2	1	10	8	14	2
(介護予防)小規模多機能型居宅介護	106	38	21	12	9	17	9
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	198	98	41	10	9	23	17
夜間対応型訪問介護	133	79	17	9	9	13	6
(介護予防)認知症対応型通所介護	51	24	5	6	5	6	5
看護小規模多機能型居宅介護	94	45	10	12	5	12	10
介護予防型訪問サービス	129	41	56	14	5	3	10
介護予防型通所サービス	59	21	10	12	4	4	8
生活支援型訪問サービス	84	48	19	6	2	1	8
生活支援型通所サービス	59	40	4	4	2	1	8
その他の介護(予防)サービス	13	4	3	0	0	1	5

ケアプランを作成するに当たり不足していると思うサービスは、「訪問介護」が 698 件で最も多く、次いで「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が 198 件、「(介護予防)短期入所生活介護」が 174 件、となっている。

## (12) 情報収集や連絡・調整の方法

問 20 サービス提供事業所に関する情報収集や連絡・調整はどのようにしていますか。  
(〇はいくつでも)

【図表 8-20-1 情報収集や連絡・調整の方法】

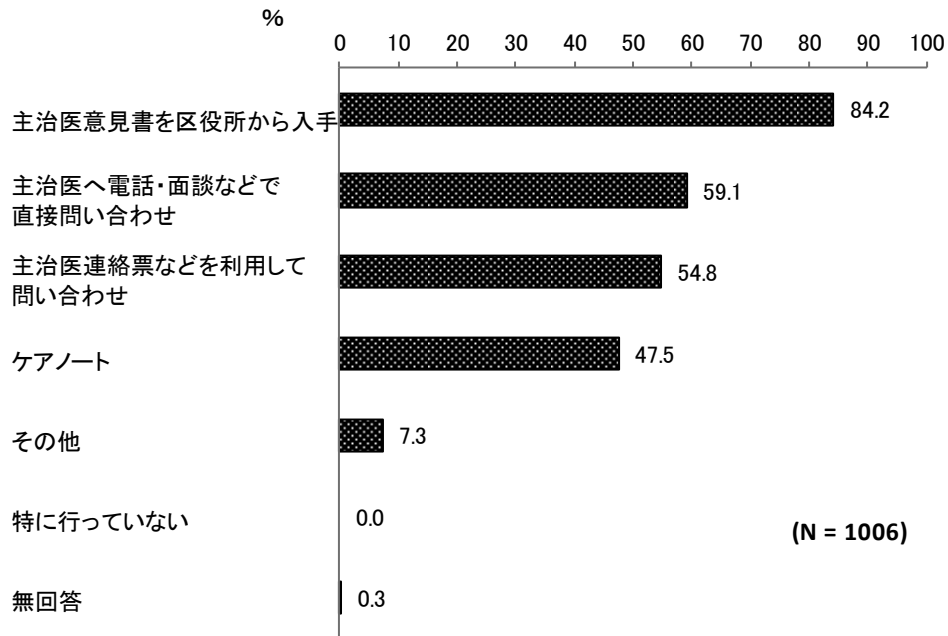


情報収集や連絡・調整の方法は、「サービス提供事業所のパンフレットなどの収集」が 82.3%で最も高く、次いで「電話・面談などで直接、事業所に問い合わせ」が 74.8%、「サービス提供事業所のホームページの閲覧」が 72.5%となっている。

(13) 医療機関からの情報収集の方法

問 21 ケアプランの作成に当たり、医療機関などからの情報収集などは、どのようにしていますか。(〇はいくつでも)

【図表 8-21-1 医療機関からの情報収集の方法】



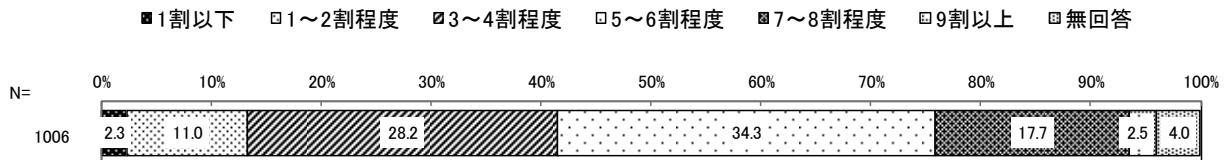
医療機関からの情報収集の方法は、「主治医意見を区役所から入手」が 84.2%で最も高く、次いで「主治医へ電話・面談などで直接問い合わせ」が 59.1%、「主治医連絡票などを利用して問い合わせ」が 54.8%となっている。

(14) 自立につながる支援ができたケアプラン

①自立につながる支援ができたケアプランの割合

問 22 本人の残存能力の維持・向上につながる支援ができたと思うケアプランを、これまでどの程度作成できたと考えますか。(○は1つ)

【図表 8-22-1 自立につながる支援ができたケアプランの割合】



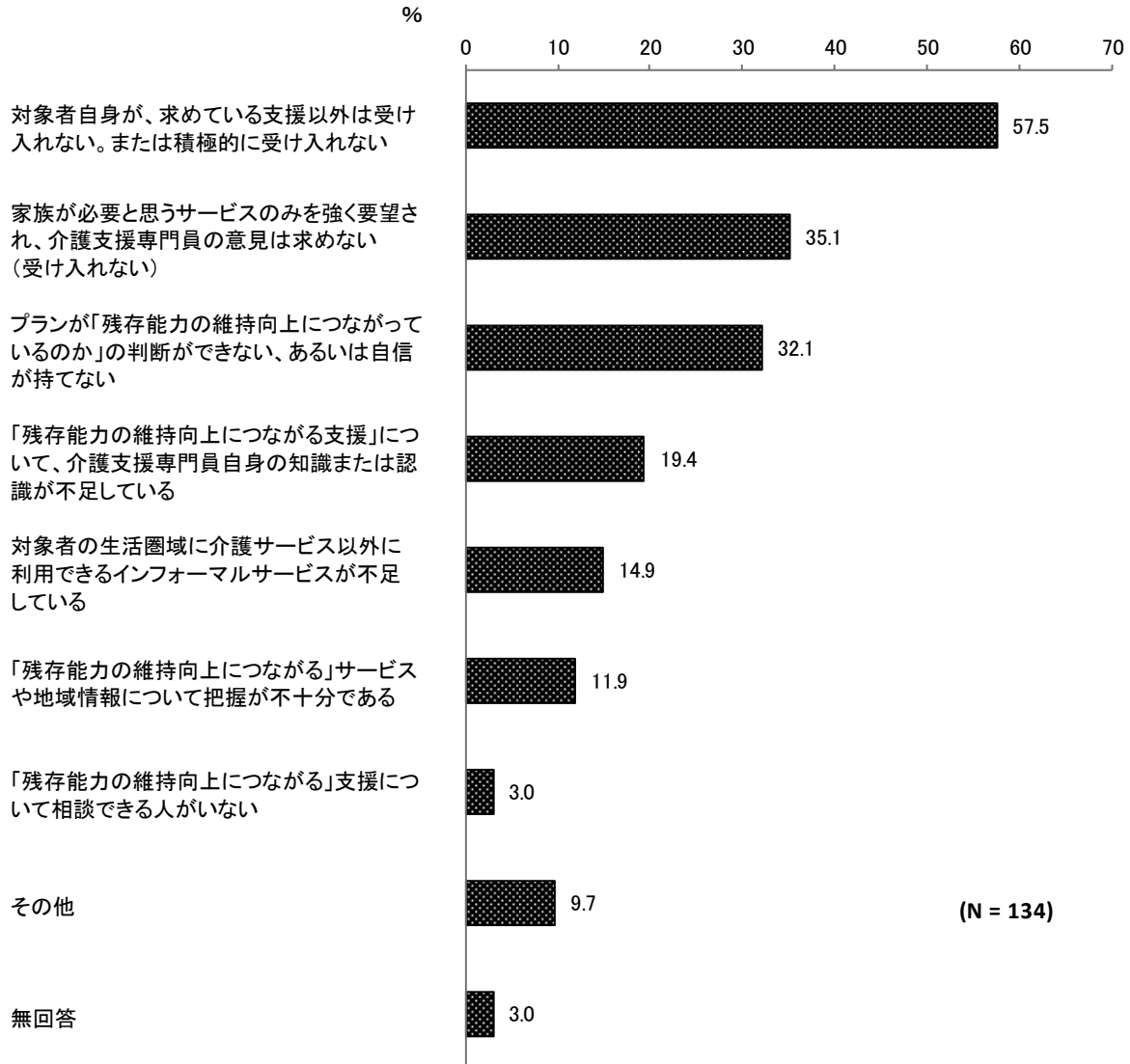
自立につながる支援ができたケアプランの割合は、「5~6割程度」が34.3%で最も高く、次いで「3~4割程度」が28.2%、「7~8割程度」が17.7%となっている。

②自立につながる支援ができたケアプランが少ないと考える理由

問 22 で「1」か「2」と答えた方にうかがいます。

問 22-1 そのように考える理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【図表 8-22-2 自立につながる支援ができたケアプランが少ないと考える理由】

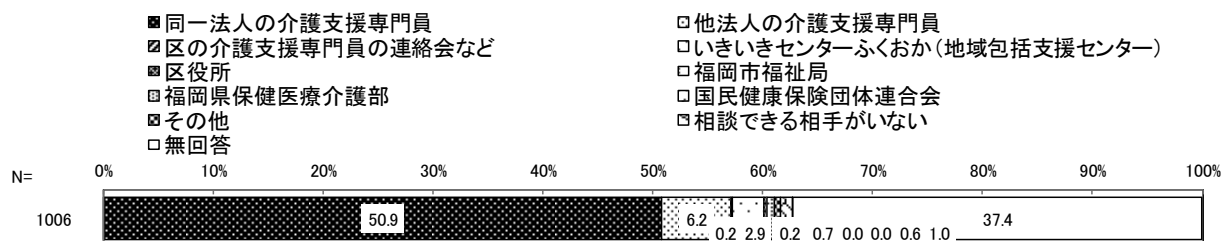


自立につながる支援ができたケアプランが少ないと考える理由は、「対象者自身が、求めている支援以外は受け入れない。または積極的に受け入れない」が 57.5%で最も高く、次いで「家族が必要と思うサービスのみを強く要望され、介護支援専門員の意見は求めない(受け入れない)」が 35.1%、「プランが「残存能力の維持向上につながっているのか」の判断ができない、あるいは自信が持てない」が 32.1%となっている。

(15) 計画作成での相談相手

問 23 ケアプランを作成する上で、分からないことや困ったことがあったとき、主に誰に相談していますか。(○は1つ)

【図表 8-23-1 計画作成での相談相手】

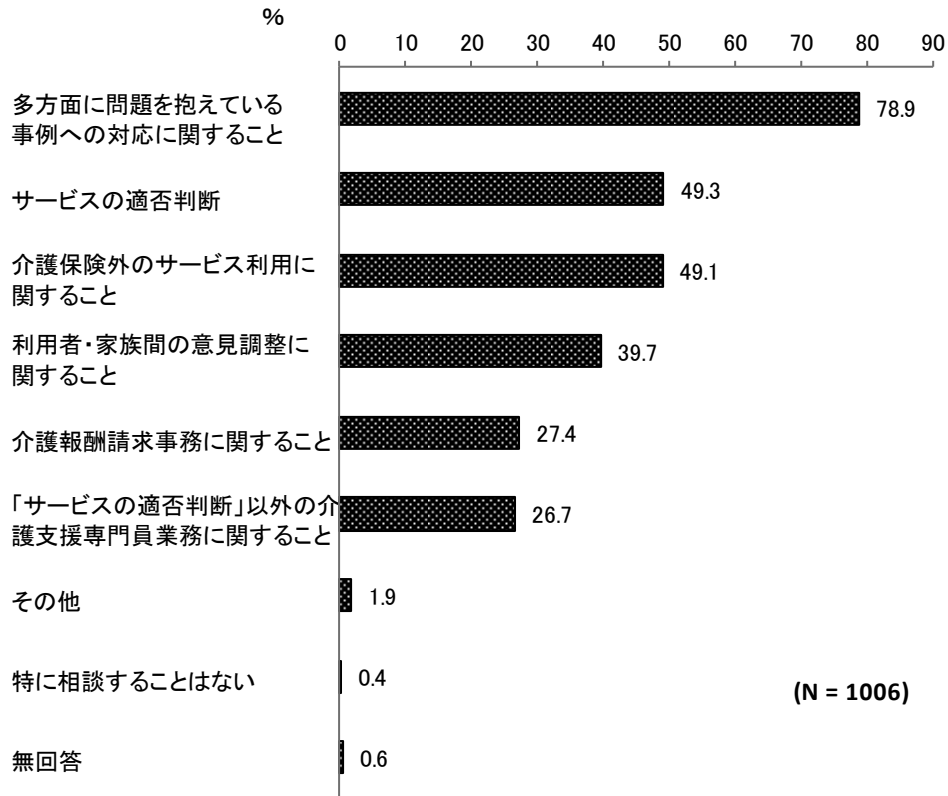


計画作成での相談相手は、「同一法人の介護支援専門員」が 50.9%で最も高く、次いで「他法人の介護支援専門員」が 6.2%、「いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）」が 2.9%となっている。

(16) 計画作成での相談内容

問 24 どのようなことを相談していますか。(〇はいくつでも)

【図表 8-24-1 計画作成での相談内容】

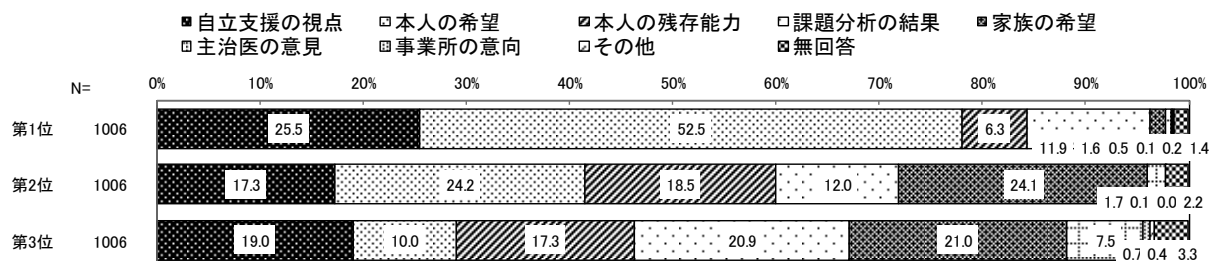


計画作成での相談内容は、「多方面に問題を抱えている事例への対応に関すること」が 78.9%で最も高く、次いで「サービスの適否判断」が 49.3%、「介護保険外のサービス利用に関すること」が 49.1%となっている。

(17) 計画作成の際に重視していること

問 25 ケアプランを作成する際に、何を重視してサービスを組み立てていますか。下記の項目から上位3つを選択し、その番号を記入してください。

【図表 8-25-1 計画作成の際に重視していること】



計画作成の際に重視していること第1位は、「本人の希望」が52.5%で最も高く、次いで「自立支援の視点」が25.5%、「課題分析の結果」が11.9%となっている。

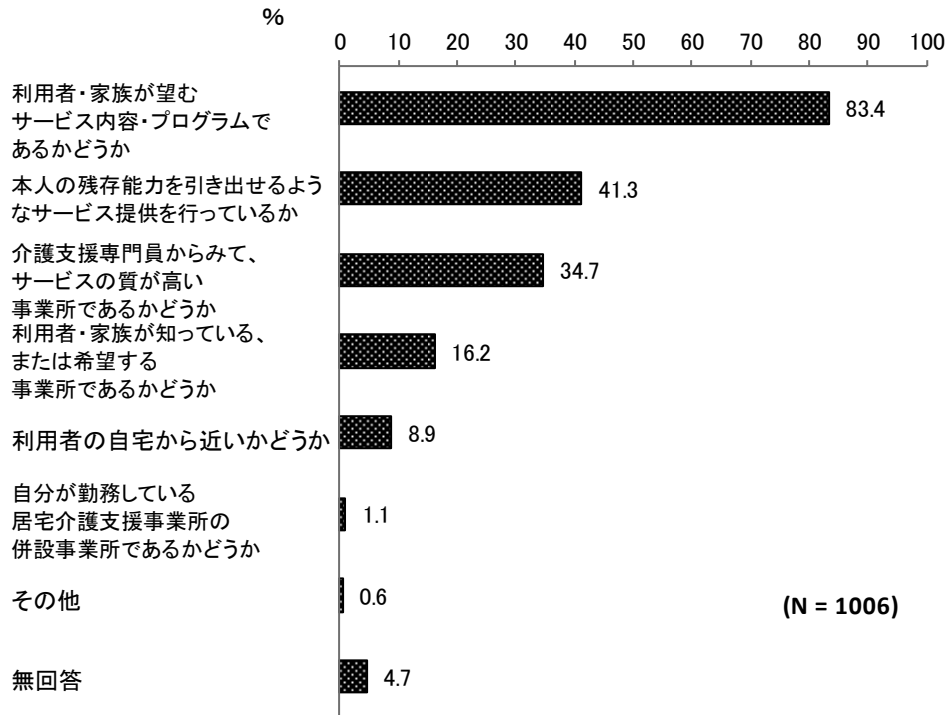
第2位は、「本人の希望」が24.2%で最も高く、次いで「家族の希望」が24.1%、「本人の残存能力」が18.5%となっている。

第3位は、「家族の希望」が21.0%で最も高く、次いで「課題分析の結果」が20.9%、「自立支援の視点」が19.0%となっている。

(18) 事業所紹介の際に重視していること

問 26 あなたは利用者に対して、どのような基準を重視してサービス事業所を紹介していますか。(○は2つまで)

【図表 8-26-1 事業所紹介の際に重視していること】



事業所紹介の際に重視していることは、「利用者・家族が望むサービス内容・プログラムであるかどうか」が 83.4%で最も高く、次いで「本人の残存能力を引き出せるようなサービス提供を行っているか」が 41.3%、「介護支援専門員からみて、サービスの質が高い事業所であるかどうか」が 34.7%となっている。

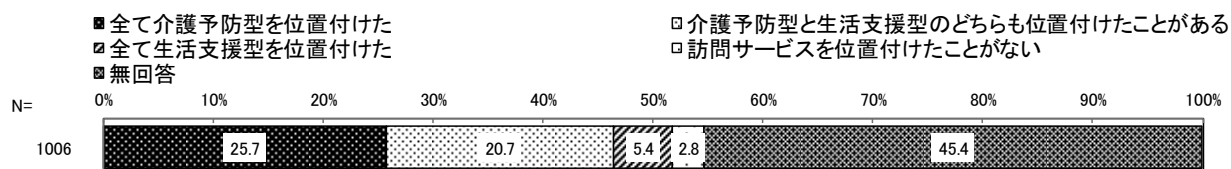
### 3. 介護予防・生活支援サービス事業について

#### (1) 訪問サービスについて

##### ①訪問サービスの種類の位置付け状況

問 27 訪問サービスについて、種類の位置付けの状況を教えてください。(○は1つ)

【図表 8-27-1 訪問サービスの種類の位置付け状況】



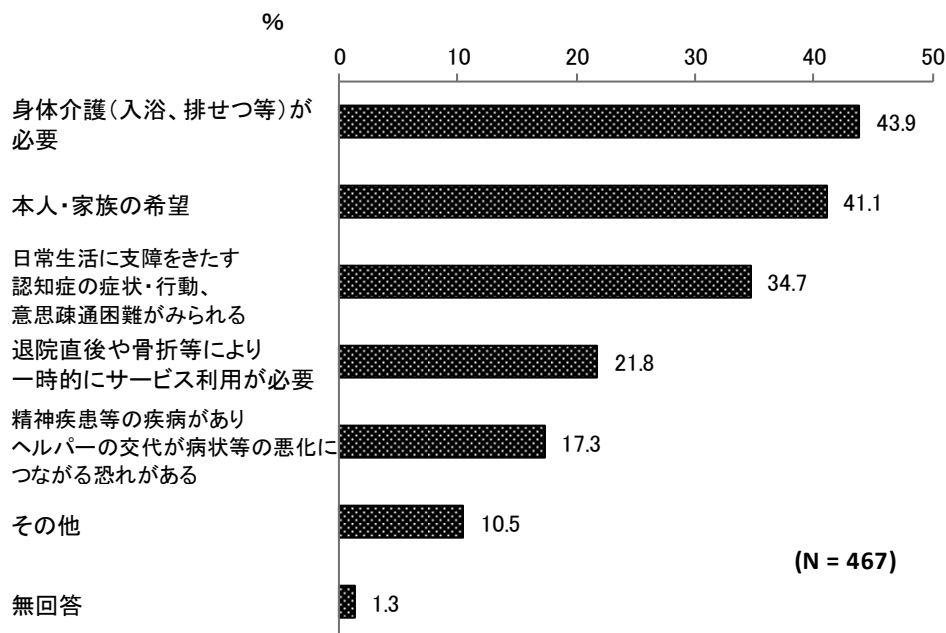
訪問サービスの種類の位置付け状況は、「全て介護予防型を位置付けた」が 25.7%で最も高く、次いで「介護予防型と生活支援型のどちらも位置付けたことがある」が 20.7%、「全て生活支援型を位置付けた」が 5.4%となっている。

##### ②介護予防型を位置付けた理由

問 27 で「1」か「2」と答えた方にうかがいます。

問 27-1 介護予防型を位置付けた理由は何ですか。(○はいくつでも)

【図表 8-27-2 訪問サービスで介護予防型を位置付けた理由】



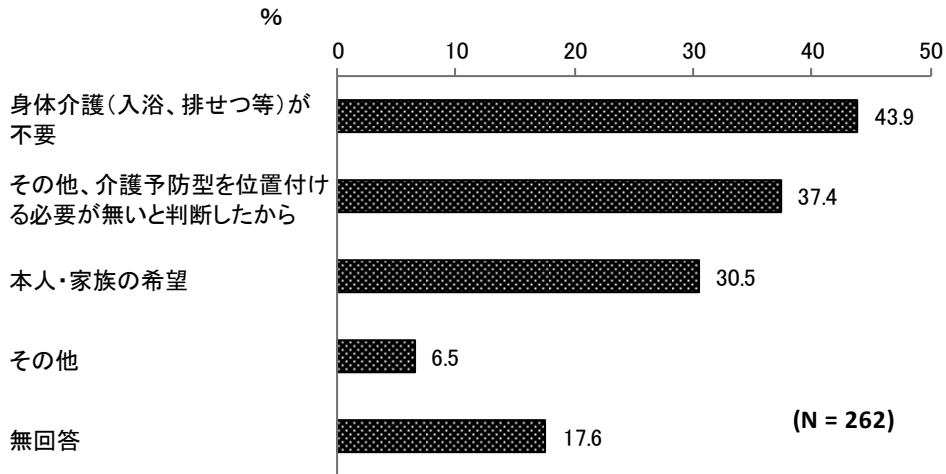
訪問サービスで介護予防型を位置付けた理由は、「身体介護（入浴、排せつ等）が必要」が 43.9%で最も高く、次いで「本人・家族の希望（1～4に該当する場合を除く）」が 41.1%、「日常生活に支障をきたす認知症の症状・行動、意思疎通困難がみられる」が 34.7%となっている。

③生活支援型を位置付けた理由

問 27 で「2」か「3」と答えた方にうかがいます。

問 27-2 生活支援型を位置付けた理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【図表 8-27-3 訪問サービスで生活支援型を位置付けた理由】



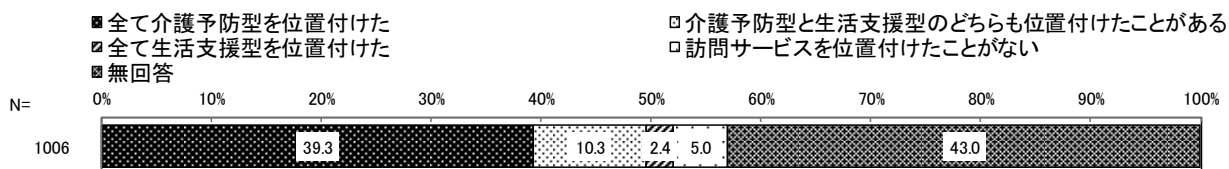
訪問サービスで生活支援型を位置付けた理由は、「身体介護（入浴、排せつ等）が不要」が 43.9%で最も高く、次いで「その他、介護予防型を位置付ける必要が無いと判断したから」が 37.4%、「本人・家族の希望（1～2 に該当する場合を除く）」が 30.5%となっている。

(2) 通所サービスについて

①通所サービスの種類の位置付け状況

問 28 通所サービスについて、種類の位置付けの状況を教えてください。(○は1つ)

【図表 8-28-1 通所サービスの種類の位置付け状況】



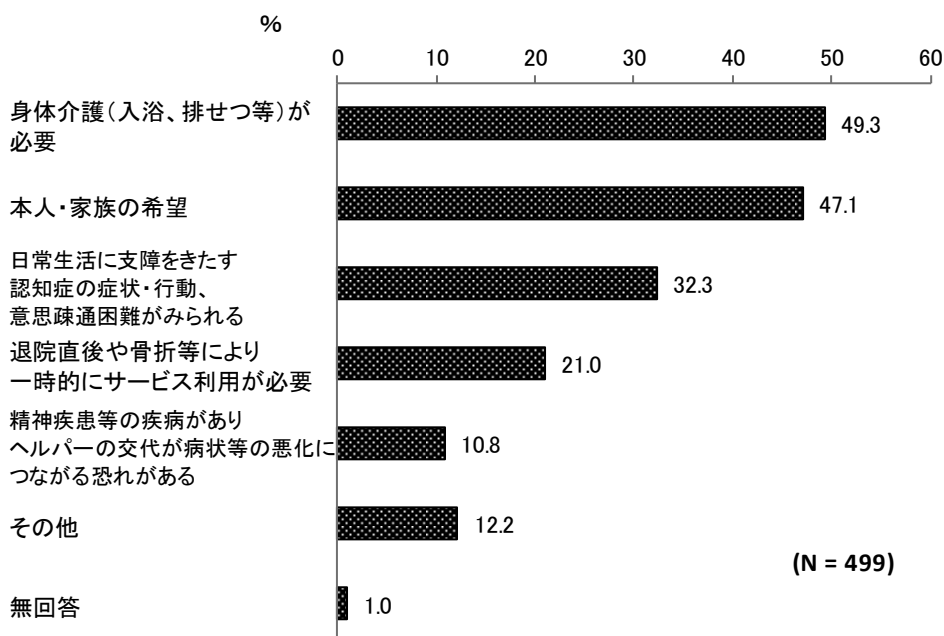
通所サービスの種類の位置付け状況は、「全て介護予防型を位置付けた」が 39.3%で最も高く、次いで「介護予防型と生活支援型のどちらも位置付けたことがある」が 10.3%、「訪問サービスを位置付けたことがない」が 5.0%となっている。

②介護予防型を位置付けた理由

問 28 で「1」か「2」と答えた方にうかがいます。

問 28-1 介護予防型を位置付けた理由は何ですか。(○はいくつでも)

【図表 8-28-2 通所サービスで介護予防型を位置付けた理由】



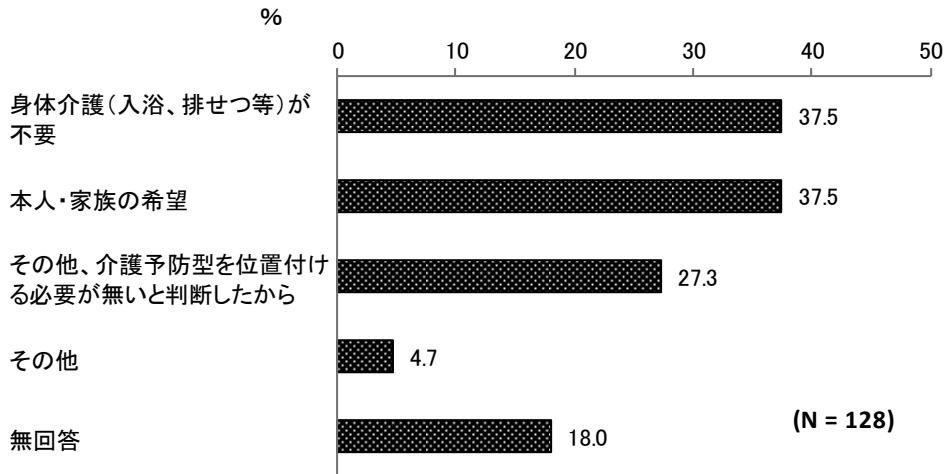
通所サービスで介護予防型を位置付けた理由は、「身体介護（入浴、排せつ等）が必要」が 49.3%で最も高く、次いで「本人・家族の希望（1～4 に該当する場合を除く）」が 47.1%、「日常生活に支障をきたす認知症の症状・行動、意思疎通困難がみられる」が 32.3%となっている。

③生活支援型を位置付けた理由

問 28 で「2」か「3」と答えた方にうかがいます。

問 28-2 生活支援型を位置付けた理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【図表 8-28-3 通所サービスで生活支援型を位置付けた理由】



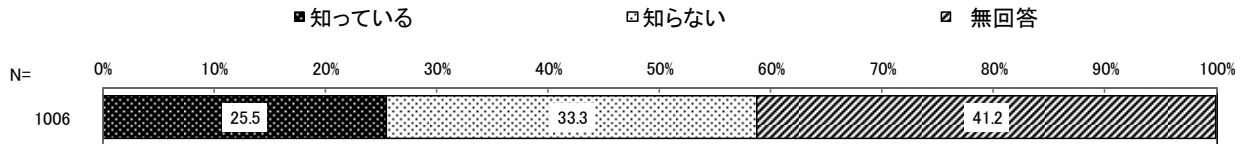
通所サービスで生活支援型を位置付けた理由は、「身体介護（入浴、排せつ等）が不要」と「本人・家族の希望（1～2に該当する場合を除く）」がともに37.5%で最も高く、次いで「その他、介護予防型を位置付ける必要が無いと判断したから」が27.3%となっている。

(3) サービス選択のフローチャートについて

① サービス選択のフローチャートの認知度

問 29 サービス選択のフローチャートを知っていますか。(○は1つ)

【図表 8-29-1 サービス選択のフローチャートの認知度】



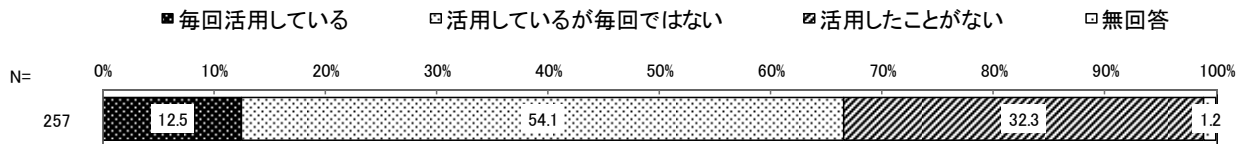
サービス選択のフローチャートの認知度は、「知っている」が25.5%、「知らない」が33.3%であった。

② サービス選択のフローチャートの活用状況

問 29 で「1」と答えた方にうかがいます。

問 29-1 サービス選択のフローチャートを活用していますか。(○は1つ)

【図表 8-29-2 サービス選択のフローチャートの活用状況】



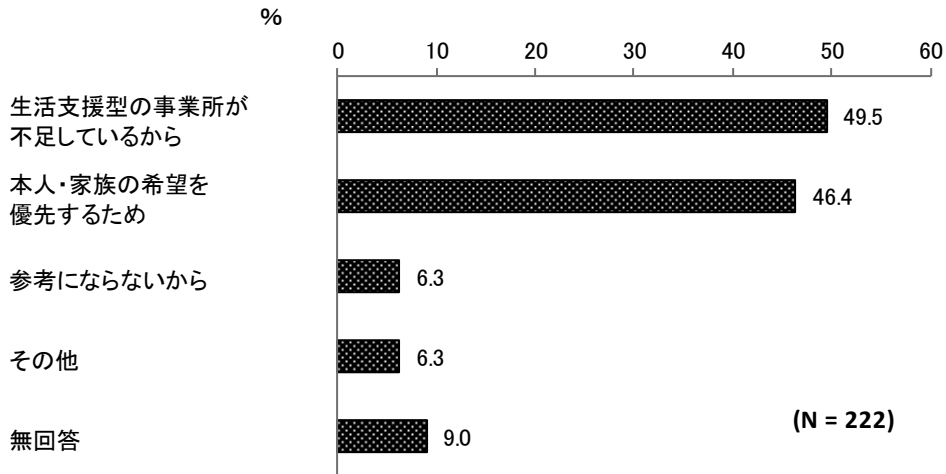
サービス選択のフローチャートの活用状況は、「活用しているが毎回ではない」が54.1%で最も高く、次いで「活用したことがない」が32.3%、「毎回活用している」が12.5%となっている。

③サービス選択のフローチャートを活用しなかった理由

問 29-1 で「2」か「3」と答えた方にうかがいます。

問 29-2 活用しなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【図表 8-29-3 サービス選択のフローチャートを活用しなかった理由】

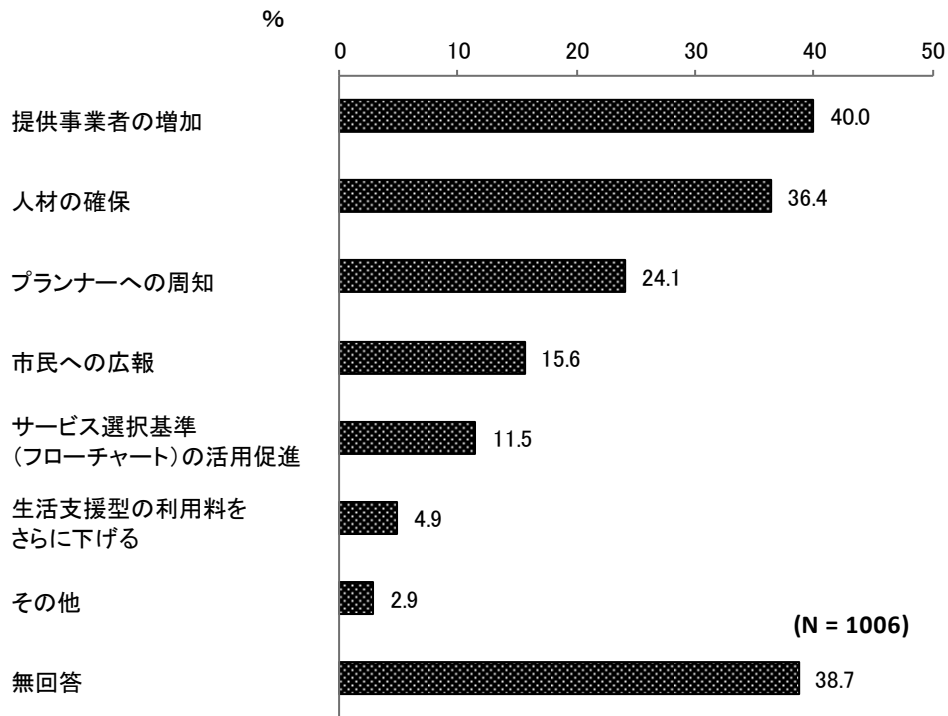


サービス選択のフローチャートを活用しなかった理由は、「生活支援型の事業所が不足しているから」が49.5%で最も高く、次いで「本人・家族の希望を優先するため」が46.4%、「参考にならないから」と「その他」がともに6.3%となっている。

## (4) 生活支援型サービスの普及に有効な方法

問 30 生活支援型サービスの普及に有効な方法について、あなたの考えを教えてください。(〇はいくつでも)

【図表 8-30-1 生活支援型サービスの普及に有効な方法】



生活支援型サービスの普及に有効な方法は、「提供事業者の増加」が40.0%で最も高く、次いで「人材の確保」が36.4%、「プランナーへの周知」が24.1%となっている。

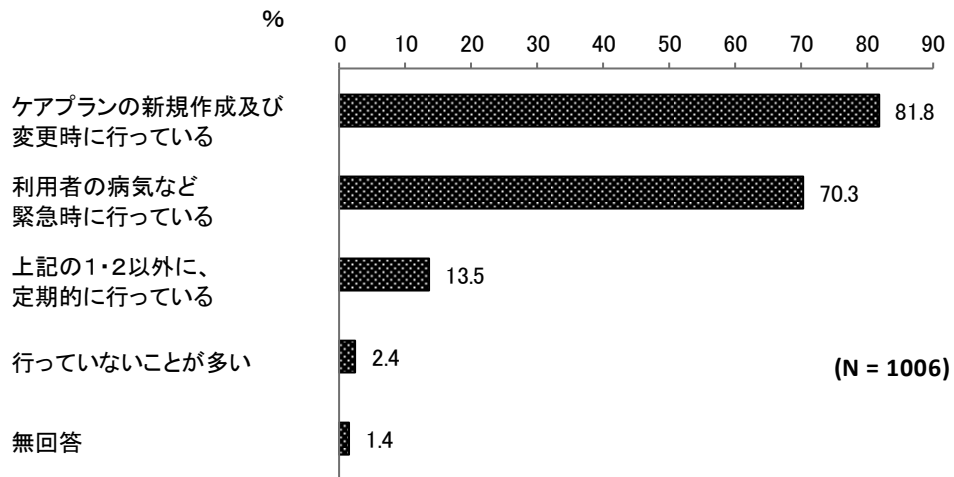
## 4. 他機関との連携について

### (1) 主治医との連携

#### ①主治医との連絡・報告の状況

問 31 主治医との連絡・報告を行っていますか。(○はいくつでも)

【図表 8-31-1 主治医との連絡・報告の状況】



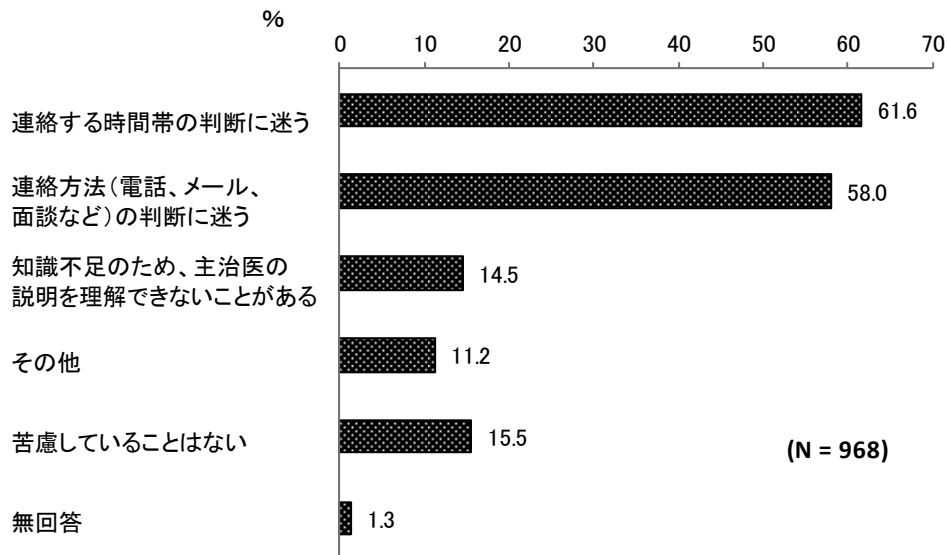
主治医との連絡・報告の状況は、「ケアプランの新規作成及び変更時に行っている」が81.8%で最も高く、次いで「利用者の病気など緊急時に行っている」が70.3%、「上記の1・2以外に定期的に行っている」が13.5%となっている。

## ②主治医との連携で苦慮していること

問 31 で「1」～「3」と答えた方にうかがいます。

問 31-1 主治医との連携で、苦慮していることはありますか。(〇はいくつでも)

【図表 8-31-2 主治医との連携で苦慮していること】



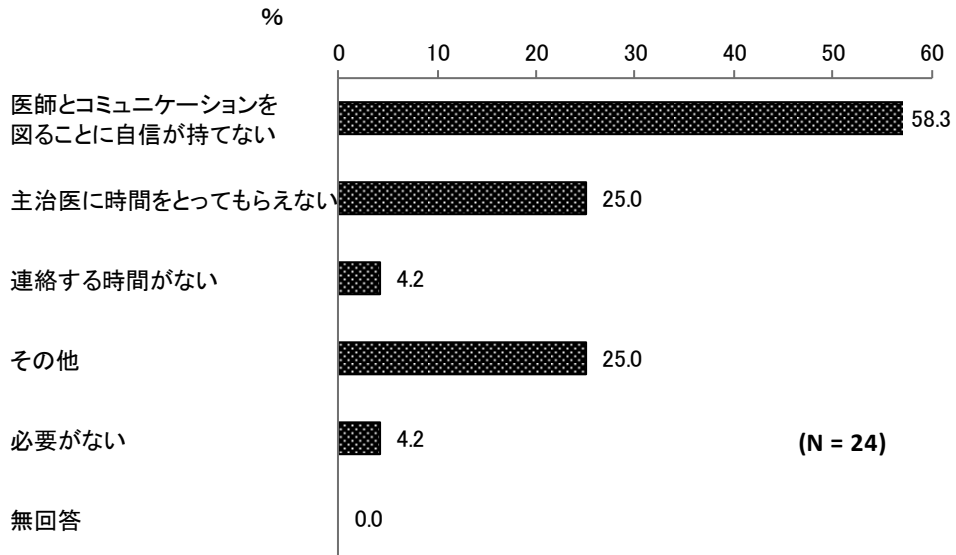
主治医との連携で苦慮していることは、「連絡する時間帯の判断に迷う」が 61.6%で最も高く、次いで「連絡方法（電話、メール、面談など）の判断に迷う」が 58.0%、「苦慮していることはない」が 15.5%となっている。

③主治医に連絡・報告を行っていない理由

問 31 で「4」と答えた方にうかがいます。

問 31-2 主治医に連絡・報告を行っていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【図表 8-31-3 主治医に連絡・報告を行っていない理由】



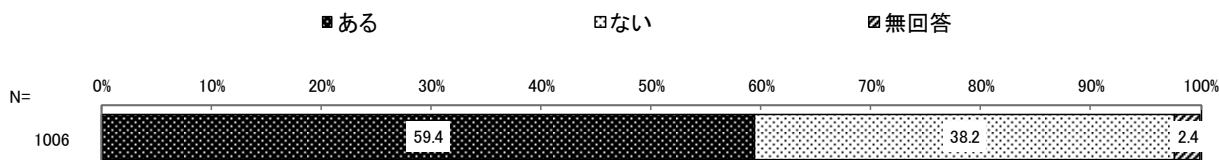
主治医に連絡・報告を行っていない理由は、「医師とのコミュニケーションを図ることに自信が持てない」が 58.3%で最も高く、次いで「主治医に時間をとってもらえない」「その他」がともに 25.0%となっている。

(2) 地域ケア会議

①地域ケア会議への参加有無

問 32 個別や圏域での地域ケア会議に参加したことはありますか。(○は1つ)

【図表 8-32-1 地域ケア会議への参加有無】



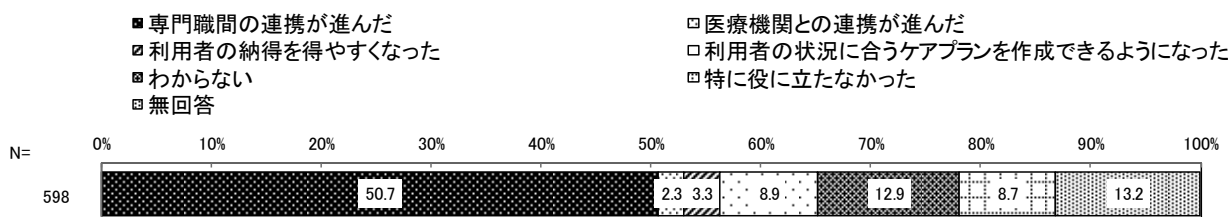
地域ケア会議への参加有無は、「ある」が59.4%、「ない」が38.2%となっている。

②地域ケア会議の効果

問 32 で「1」と答えた方にうかがいます。

問 32-1 参加後、業務の円滑化に役立ちましたか。(○は1つ)

【図表 8-32-2 地域ケア会議の効果】

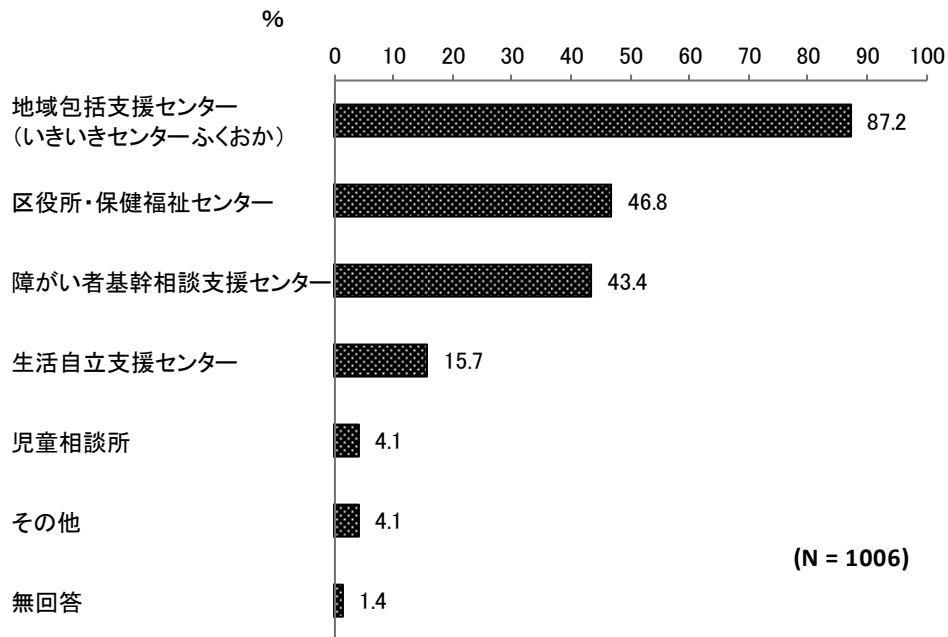


地域ケア会議に参加した効果としては、「専門職間の連携が進んだ」が50.7%で最も高く、次いで「わからない」が13.2%、「利用者の状況に合うケアプランを作成できるようになった」が8.9%となっている。

(3) 複雑化した課題の相談先

問 33 あなたは、8050問題など、対応の難しい複雑化した課題に関わることになった際、どのような機関に相談したり、連携を図ったりしたいですか。  
(〇はいくつでも)

【図表 8-33-1 複雑化した課題の相談先】



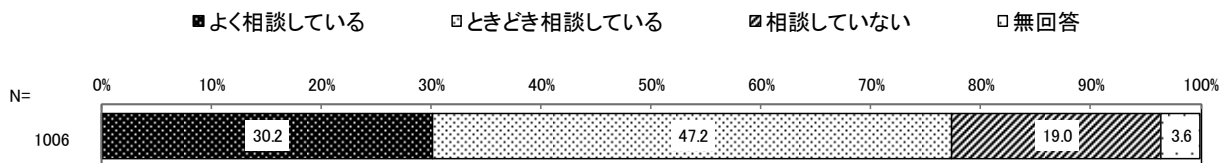
複雑化した課題の相談先は、「地域包括支援センター（いきいきセンターふくおか）」が87.2%で最も高く、次いで「区役所・保健福祉センター」が46.8%、「障がい者基幹相談支援センター」が43.4%となっている。

## 5. 処遇困難事例などへの対応について

### (1) 区役所や地域包括支援センターへの相談の有無

問 34 処遇困難事例に対応する必要がある場合、区役所またはいきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）に相談していますか。（○は1つ）

【図表 8-34-1 区役所や地域包括支援センターへの相談の有無】

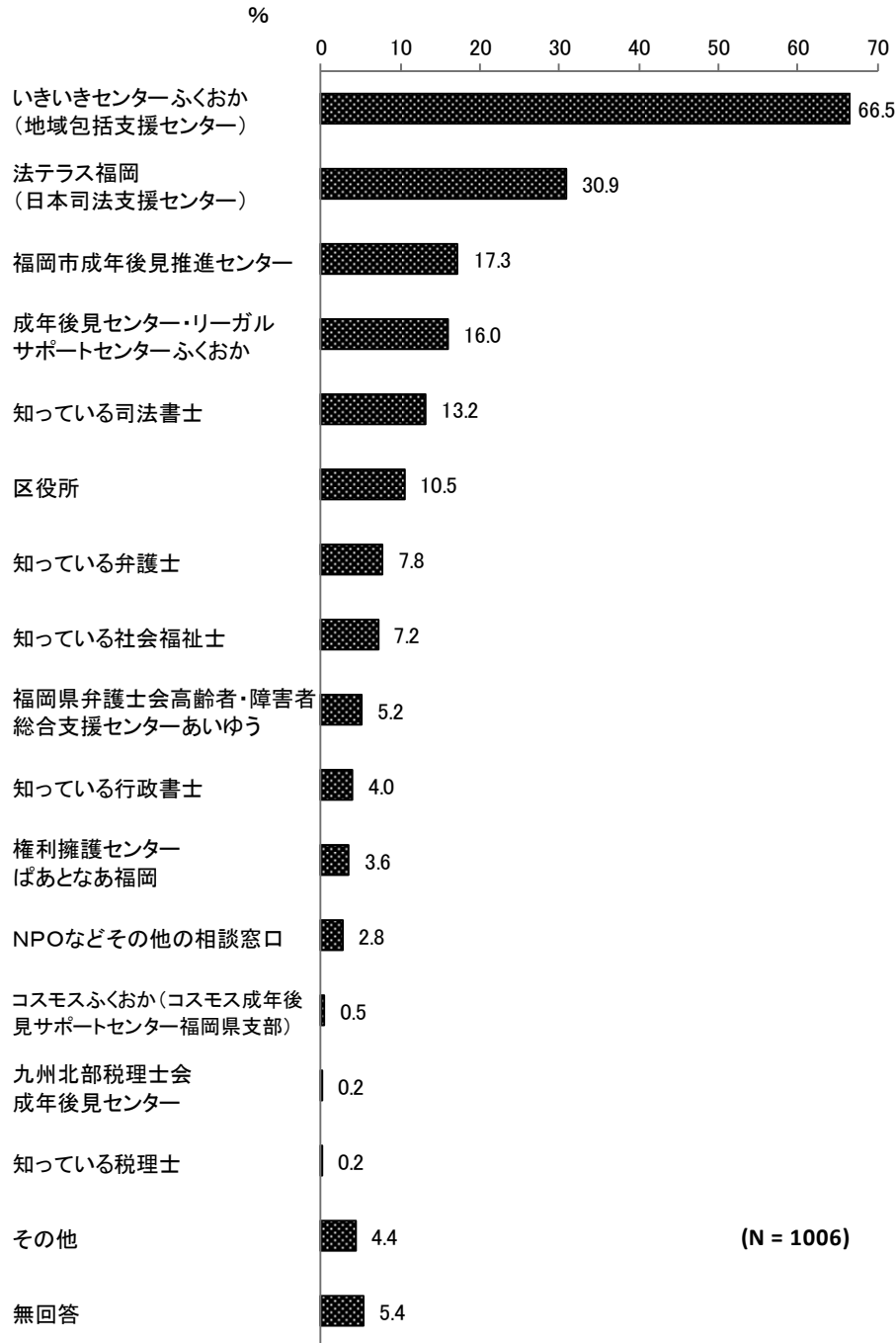


区役所や地域包括支援センターへの相談の有無は、「ときどき相談している」が 47.2%で最も高く、次いで「よく相談している」が 30.2%、「相談していない」が 19.0%となっている。

(2) 成年後見制度の利用が必要と思われる場合の相談先

問 35 給付管理を行っている方のうち、成年後見制度の利用が必要と思われる場合、どの相談窓口（誰）に相談していますか。（〇はいくつでも）

【図表 8-35-1 成年後見制度の利用が必要と思われる場合の相談先】



成年後見制度の利用が必要と思われる場合の相談先は、「いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）」が 66.5%で最も高く、次いで「法テラス福岡（日本司法支援センター）」が 30.9%、「福岡市成年後見推進センター」が 17.3%となっている。

(3) 成年後見制度の利用が必要と考えられる方の時期別人数

問 36 次の表は、成年後見制度の利用が必要と考えられる方の状態像の例です。  
 現在（回答時点）給付管理を行っている方のうち、次の表の状態像の例に該当する人数を、今後、成年後見制度の利用が必要になるとと思われる時期別に記入してください。

- ※1：対象者1人につき2つ以上の状態像に該当する場合は、最もあてはまると考える状態像にカウントしてください。
- ※2：現在、成年後見制度を申し立て中、または利用等で課題が解決している方は、カウントしないでください。
- ※3：それぞれの状態像に該当する方で、把握している現状において、本人や親族による制度利用の手続きが非常に困難と思われる方の人数を、各記入欄の下段に内数として記入してください。

【図表 8-36-1 成年後見制度の利用が必要と考えられる方の時期別人数（合計）】

成年後見制度の利用が必要と考えられる状態像		制度利用が必要になるとと思われる時期		
		1年以内	1～3年以内	わからない
1	本人の判断能力が不十分であるため、治療や介護・福祉サービスの必要性や契約を理解できない、拒否があるなど支援が進まない	314人	331人	475人
	上記状態像に該当する方のうち、本人や親族による制度利用の手続きが非常に困難と思われる方	145人	129人	130人
2	本人の判断能力が不十分であるため、以下のような金銭や財産の管理に関する状況が発生している	256人	220人	313人
	・商品を次々購入するなど、収入に見合った適切な支出ができない ・預貯金等の管理・解約ができない ・保険金の受け取りができない			
3	本人の判断能力が不十分であるため、預金や年金を取り上げられるなど経済的虐待や金銭搾取、その他の虐待（身体的、性的、心理的、ネグレクト等）を受けている、またはその疑いがある	70人	29人	230人
	上記状態像に該当する方のうち、本人や親族による制度利用の手続きが非常に困難と思われる方	40人	17人	105人
4	本人の判断能力が不十分であるため、不動産の処分や遺産分割協議、相続、訴訟手続きなどの法律行為を行えない。消費者被害や悪徳業者に付きまといられている、またはその疑いがある	50人	28人	272人
	上記状態像に該当する方のうち、本人や親族による制度利用の手続きが非常に困難と思われる方	31人	19人	105人
5	本人の判断能力が不十分であるために、その他困難な事情があるが、適切に対応できていない	118人	122人	251人
	上記状態像に該当する方のうち、本人や親族による制度利用の手続きが非常に困難と思われる方	65人	54人	110人

成年後見制度の利用が必要と考えられる方の時期別人数について合計値をみると、「わからない」を含むすべての時期で状態像1が最も高くなっている。

また、各状態像のうち、多くの場合で本人や親族による制度利用の手続きが非常に困難と思われる方が半数近くを占めている。

## 6. 行政の役割について

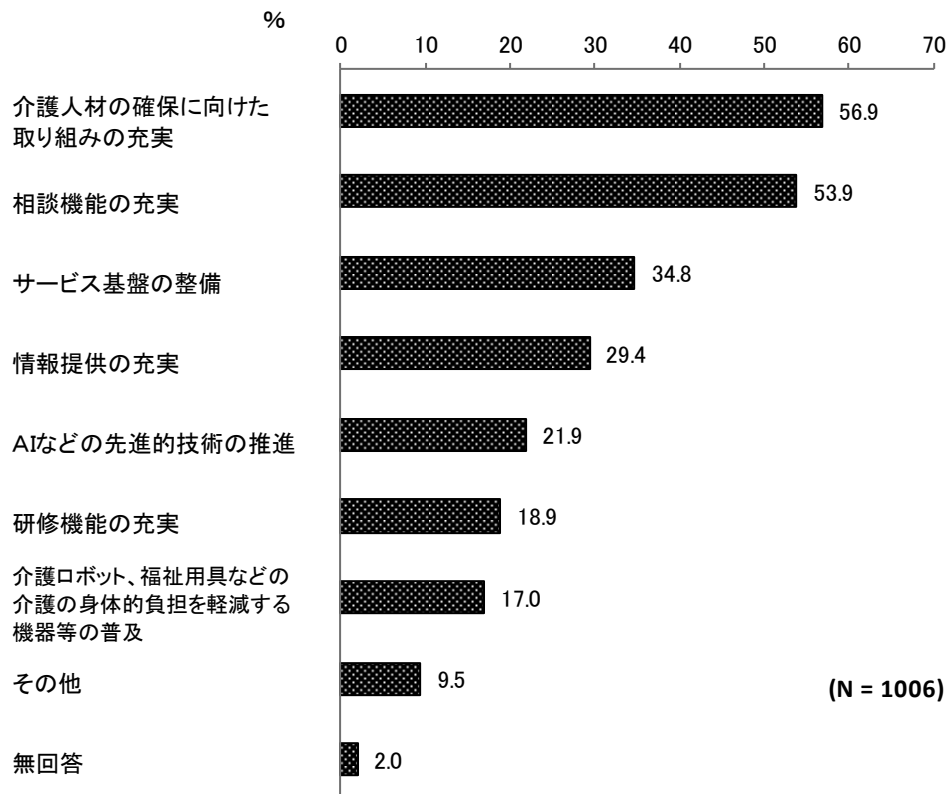
### (1) 行政の役割

#### ① 行政に期待する役割

問 37 介護の現場で抱えている課題や、今後、行政に期待する役割は何ですか。

(〇はいくつでも)

【図表 8-37-1 行政に期待する役割】



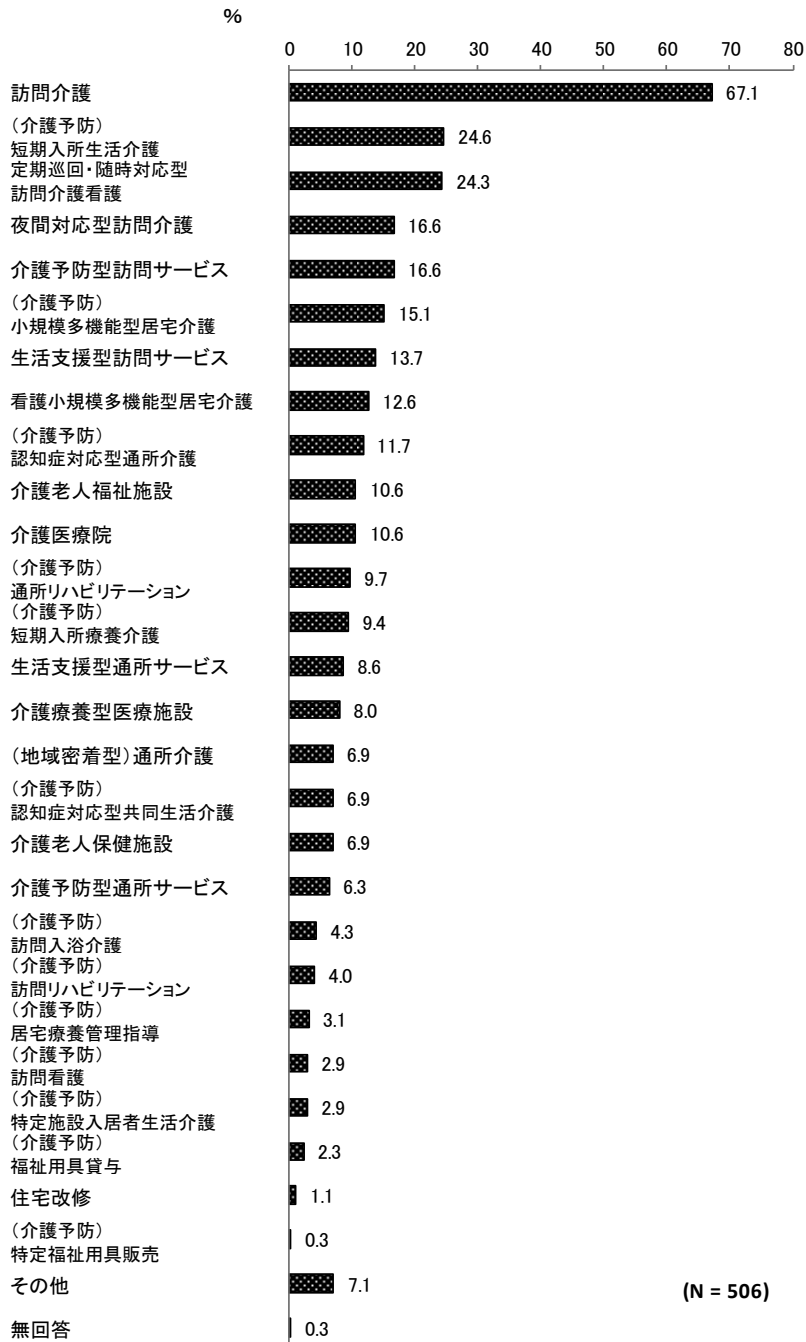
今後、行政に期待する役割は、「介護人材の確保に向けた取り組みの充実」が 56.9%で最も高く、次いで「相談機能の充実」が 53.9%、「サービス基盤の整備」が 34.8%となっている。

②整備が必要なサービス基盤

問 37 で「6」と答えた方にうかがいます。

問 37-1 特にどのサービス基盤を整備する必要がある（需要に対して不足している）  
 と思いますか。（○はいくつでも）

【図表 8-37-2 整備が必要なサービス基盤】



整備が必要なサービス基盤は、「訪問介護」が 67.1%で最も高く、次いで「(介護予防)短期入所生活介護」が 24.6%、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が 24.3%となっている。

### Ⅲ. 調 査 票







福岡市 高齢社会に関する調査 (高齢者一般調査A)

【問5で「1」～「5」と答えた方にうかがいます】

問5-1 あなたには、日帰り客求がある親族の方が近くにいらっしゃいますか。

2が所以上にいらっしゃる方は一番近いところをお答えください。(〇は1つ)

1. 同じ町内 (小学校区程度) にいる
2. 同じ区内にいる
3. 福岡市内にいる
4. 福岡県内にいる
5. 福岡県外にいる
6. 日帰り客求がある親族はいない

ここから再びすべての方にうかがいます

問6 あなたの世帯全員の年間総収入額 (税込み) はどれくらいですか。(〇は1つ)

1. 50万円未満
2. 50～100万円未満
3. 100～150万円未満
4. 150～200万円未満
5. 200～300万円未満
6. 300～400万円未満
7. 400～500万円未満
8. 500～600万円未満
9. 600～1,000万円未満
10. 1,000万円以上

問7 あなたの介護保険の要介護度は次のどれですか。(〇は1つ)

1. 要介護認定の申請はしていない  
(65歳未満のため申請をしていない方も含みます)
2. 要介護認定を申請したが、非該当 (自立) だった
3. 要支援1
4. 要支援2
5. 要介護1
6. 要介護2
7. 要介護3
8. 要介護4
9. 要介護5
10. わからない

福岡市 高齢社会に関する調査 (高齢者一般調査A)

2 情報通信機器の活用についておたずねします

問8 あなたが、ふだん利用している情報通信機器はどれですか。(〇はいくつでも)

1. 固定電話
2. ファックス
3. 携帯電話 (スマートフォンを除く) ⇒ 問8-1へ
4. スマートフォン
5. タブレット
6. パソコン
7. いずれも使わない ⇒ 問8-2へ

【問8で「1」～「6」のいずれかが利用していると答えた方にうかがいます】

問8-1 あなたは、問8で利用していると回答された情報通信機器を、どのよう  
利用していますか。(〇はいくつでも)

1. 通話
2. ファックスでのやりとり
3. メールのやりとり
4. ライン、フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなどのSNS
5. インターネットで情報を集める
6. インターネットショッピング
7. インターネットバンキング
8. パーコード決済、スマホ決済
9. 動画の視聴
10. Web会議 (ウェブ会議)
11. オンライン学習
12. その他 [ ]

＜問8-1回答後＞

4. スマートフォン のいずれかを  
問8で 5. タブレット  
選択した方は 問9へ

6. パソコン  
その他の方は、問8-2へ

【問8で「4」「5」「6」のいずれも選択していない方 (「スマートフォン」「タブレット」「パソコン」を利用していない方) にうかがいます】

問8-2 あなたが、スマートフォン、タブレット、パソコンを利用していない理由は何  
ですか。(〇はいくつでも)

1. 必要性を感じないから
2. 使い方が分からないので、面倒だから
3. 興味はあるが購入場所、購入方法などが分からないから
4. 使い方を覚えたいが、教えてくれる人がいないから
5. お金がかかるから
6. 文字が見にくいから
7. その他 [ ]

福岡市 高齢社会に関する調査 (高齢者一般調査A)

3 日常生活についておたずねします

ここから再びすべての方に向かいます

問9 あなたは、週にどれくらいの頻度で外出していますか。(〇は1つ)

- 1. ほとんど毎日
- 2. 週4～5回
- 3. 週2～3回
- 4. 週1回
- 5. ほとんど外出しない

⇒ 問9-1 問9-2

⇒ 問9-3

【問9で「1」～「4」と答えた方に向かいます】

問9-1 あなたの外出の目的は何ですか。(主なものを3つまで)

- 1. 買い物
- 2. 食事
- 3. 趣味や運動・散歩
- 4. 友人と会う
- 5. 家族や親せきなどとの会う
- 6. 通院
- 7. 介護施設を利用する
- 8. 仕事
- 9. ボランティア活動
- 10. その他 [ ]

【問9で「1」～「4」と答えた方に向かいます】

問9-2 あなたが外出する際の交通手段は何ですか。(主なものを3つまで)

- 1. 徒歩
- 2. 自転車
- 3. バス (路線バス)
- 4. 地下鉄
- 5. 西鉄電車
- 6. JR
- 7. タクシー (一般)
- 8. 介護タクシー
- 9. 自家用車 (自ら運転)
- 10. 自家用車 (家族や知人・友人の運転)
- 11. シニアカー (高齢者用電動車いす等)
- 12. 医療施設や介護施設などの「送迎サービス」
- 13. その他 [ ]

⇒ 問10

福岡市 高齢社会に関する調査 (高齢者一般調査A)

【問9で「5」と答えた方に向かいます】

問9-3 あなたが、外出しない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1. 体の具合が悪い
- 2. 付き添い、介助者がいない
- 3. 自宅にエレベーターや階段の手すりが少ない
- 4. バス停や駅までが遠く、体力的に利用できない
- 5. バス停や駅の段差が大きく、利用できない
- 6. 目的地までの公共交通手段が無いため、利用できない
- 7. 自宅周辺に階段や坂がある
- 8. 交通費の負担が大きい
- 9. 目的地の様子 (スロープやトイレの状況) がわからない
- 10. 料に外出する用事がない
- 11. その他 [ ]

ここから再びすべての方に向かいます

問10 あなたは、自動車運転免許を保有し、活用されていますか。(〇は1つ)

- 1. 免許を保有し、普段から運転している
- 2. 免許は保有しているが、普段はあまり運転していない
- 3. 免許は保有しているが、これまでほとんど運転したことがない
- 4. 免許を保有していたが、返納した (更新していない場合があります)
- 5. 免許を保有していない

⇒ 問10-1

⇒ 問11

【問10で「1」～「3」と答えた方に向かいます】

問10-1 あなたは、自動車運転免許の自主返納についてどのような考えをお持ちですか。(〇は1つ)

- 1. 返納してもよいと考えている
- 2. 返納してもよいと考えているが、今は難しい
- 3. 返納することは考えていない
- 4. どちらともいえない



福岡市 高齢社会に関する調査（高齢者一般調査A）

**ここから再びすべての方に向かいます**

**問15 あなたが、孤立死防止策として必要と思うものはどれですか。（〇はいくつでも）**

1. 行政が提供する福祉サービス
2. 行政による啓発活動
3. 通院
4. ご近所の見守り
5. 誰もが集える場所や居場所
6. 地域福祉活動（町内会などが実施する福祉のボランティア活動など）
7. 健康づくりや趣味活動への参加
8. 定期的な宅配サービス
9. 企業の見守りサービス
10. その他 [ ]
11. わからない

**問16 あなたは、地域福祉活動（町内会などが実施する福祉のボランティア活動など）に参加していますか。（〇は1つ）**

1. 参加している
2. 参加していない
3. 参加していないが、今後、参加したい

**問17 あなたは、災害時に、一人で避難することができますか。（〇は1つ）**

1. 避難できる
2. 一人で判断できるが、避難はできない
3. 一人で判断できないし、避難もできない
4. わからない

**問18 あなたは、災害時や緊急時に、手助けを頼める人（同居者を含む）はいいますか。（〇は1つ）**

1. 常時いる
2. 時間帯によっている
3. いない
4. わからない

福岡市 高齢社会に関する調査（高齢者一般調査A）

**問19 あなたは、災害が起きた時の心配事や問題点がありますか。（〇はいくつでも）**

1. 情報が入りまくる入手できない
2. 避難所に行くことが難しい
3. 避難所での生活が不安
4. 家が崩壊れや浸水の心配がある
5. その他 [ ]
6. 特にない

**問20 あなたは、介護保険をはじめ、保健・医療・福祉などについての情報を、どこから知ることが多いですか。（〇はいくつでも）**

1. 市政だより
2. テレビやラジオ
3. 新聞、雑誌
4. パンフレットやチラシ、ポスター
5. ホームページ
6. ライン、フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなどのSNS
7. 区役所の保健福祉の窓口
8. いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）
9. ケアマネジャー（介護支援専門員）
10. 介護サービス事業者（ホームヘルパーやデイサービスセンター、訪問看護士など）
11. 病院や診療所、薬局
12. 民生委員・児童委員
13. 社会福祉協議会
14. 講座会や介護講習会
15. 友人や知人、近所の人
16. 家族
17. その他 [ ]

福岡市 高齢社会に関する調査（高齢者一般調査A）

福岡市 高齢社会に関する調査（高齢者一般調査A）

問21 あなたは、経済的に不安を感じていますか。(Oは1つ)

1. 感じている ⇒ 問21-1へ
2. 感じていない ⇒ 問22へ

【問21で「1」と答えた方にうかがいます】

問21-1 経済的に不安に感じている主な理由は何ですか。(Oはいくつでも)

1. 病気や高齢のため仕事ができない
2. 仕事をしたいが見つけられない
3. 収入が限られている
4. 預貯金がなくなってきた
5. 借金がある
6. 同居の家族に収入がない
7. その他 [ ]

4. 生きがいや社会参加についておたずねします

ここから再びすべての方にうかがいます

問22 あなたは、現在生きがいを感じることがありますか。(Oは1つ)

1. ある ⇒ 問22-1へ
2. ない ⇒ 問23へ

【問22で「1」と答えた方にうかがいます】

問22-1 あなたが、現在生きがいを感じるのとはどんなことですか。(Oはいくつでも)

1. 学習や教養を高めるための活動
2. スポーツ・健康づくり
3. 趣味の活動
4. 老人クラブ活動
5. 地域活動（自治協議会・町内会などの活動）
6. ボランティア活動
7. 働くこと（仕事）
8. 家族との団らん
9. 友人や近所とのつきあい
10. 旅行
11. その他 [ ]

ここから再びすべての方にうかがいます

問23 あなたは、現在ボランティア活動をしていますか。(Oは1つ)

1. 現在活動している ⇒ 問23-1へ
2. 活動していない ⇒ 問24へ

【問23で「1」と答えた方にうかがいます】

問23-1 あなたのボランティア活動の内容はどのようなものですか。(Oはいくつでも)

1. 高齢者を支援する活動
2. 障がい児・者を支援する活動
3. 子ども・青少年を支援する活動
4. 森園に関する活動
5. 国際交流・国際協力活動
6. 文化・伝承活動
7. 地域の自治活動
8. スポーツ・レクリエーション指導
9. 地域の活動（自治会・町内会など地域で行われている活動）
10. その他 [ ]

福岡市 高齢社会に関する調査（高齢者一般調査A）

ここから再びすべての方にうかがいます

問24 あなたは、老人クラブに参加していますか。（○は1つ）

- 1. 参加している ⇒ 問25へ
- 2. 以前は参加していたが、現在は参加していない } ⇒ 問24-1へ
- 3. 参加していない

【問24で「2」か「3」と答えた方にうかがいます】

問24-1 あなたが、老人クラブの活動に参加していない主な理由は何ですか。

- 1. 健康・体力に自信がない
- 2. 介護などの家庭の事情
- 3. 仕事をしていて活動する時間がない
- 4. 趣味などをしていて活動する時間がない
- 5. 一緒に活動する仲間が少ない
- 6. 近くに老人クラブがない
- 7. 活動の内容がわからない
- 8. 活動内容に魅力を感じない
- 9. お年寄りの印象が強い
- 10. 人間関係などがわずらわしい
- 11. 金銭の負担をしたくない
- 12. もう少し年齢を過ぎてから参加したい
- 13. 他の活動に参加している
- 14. その他 [ ]
- 15. 特に理由はない

福岡市 高齢社会に関する調査（高齢者一般調査A）

ここから再びすべての方にうかがいます

問25 あなたは、この1年間に、友人とまたはグループや団体で次のような活動を行った

- 1. 参加したりしましたか。（○はいくつでも）
- 1. 趣味の活動
- 2. スポーツ・健康づくり
- 3. 学習や教養を高めるための活動
- 4. 地域活動（地域の催しものなど）
- 5. 高齢者の支援
- 6. 子ども・子育ての支援
- 7. 森原に関する活動（森原美化、緑化推進など）
- 8. 交通安全、防犯・防災に関する活動
- 9. その他 [ ]
- 10. 活動または参加したものはない

問26 あなたは、今後（今後も）、友人とまたはグループや団体で次のような活動を行ったり、参加したりしたいと思いませんか。（○はいくつでも）

- 1. 趣味の活動
- 2. スポーツ・健康づくり
- 3. 学習や教養を高めるための活動
- 4. 地域活動（地域の催しものなど）
- 5. 高齢者の支援
- 6. 子ども・子育ての支援
- 7. 森原に関する活動（森原美化、緑化推進など）
- 8. 交通安全、防犯・防災に関する活動
- 9. その他 [ ]
- 10. 活動・参加したいとは思わない ⇒ 問26-1 問26-2へ

福岡市 高齢社会に関する調査（高齢者一般調査A）

【問26で「10」と答えた方にかがいます】

問26-1 活動を行ったり、参加したりしたいと思わない理由は何ですか。

(〇はいくつでも)

1. どのような活動が行われているか知らないから
2. 経費や手間がかかると
3. 気軽に参加できる活動が少ないから
4. 一緒に参加する友人・仲間が少ないから
5. 活動に必要な技術、経験がないから
6. 家庭の事情（通院、家事、仕事）があるから
7. 近くで行われている活動がないから
8. 健康・体力に自信がないから
9. 過去に参加したが期待はずれだったから
10. 人と付き合うのがおっくうだから
11. その他（ ）
12. 特に理由はない

【問26で「10」と答えた方にかがいます】

問26-2 あなたは、どのようなきっかけや働きかけがあれば、活動を行ったり、参加したりすると高いですか。(〇はいくつでも)

1. 友人、仲間からの誘い
2. 家族のすすめ
3. 活動団体からの呼びかけ
4. 一緒に参加する人がいる
5. 活動の内容が広く知らされている
6. 活動場所が近くにある
7. 自由に（好きな時に）参加できる
8. その他（ ）
9. 特にない

福岡市 高齢社会に関する調査（高齢者一般調査A）

【問27で「1」～「4」と答えた方にかがいます】

問27 あなたは、ふだん何か収入になる仕事をしていませんか。(〇は1つ)

1. 仕事を主に行っている ⇒ 問27-1

2. 家事が主で、仕事もしている
3. 通学が主で、仕事もしている
4. 家事・通学以外のことが主で、仕事もしている
5. 仕事をしていない ⇒ 問27-2 問27-3

【問27で「1」～「4」と答えた方にかがいます】

問27-1 あなたは、今後も仕事をしたいと思いませんか。(〇は1つ)

1. 今後も仕事をしたい ⇒ 問27-4 問27-5 問27-6
2. 今後は仕事をしない ⇒ 問28

【問27で「5」と答えた方にかがいます】

問27-2 仕事をしない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 自身の健康上の理由
2. 体力に自信がない
3. 家庭の事情（介護・子育て・家事等）
4. 知識・能力が足りない
5. 仕事が見つからない
6. 仕事に見つかるが希望する内容ではない
7. 年金が減額される
8. 趣味、社会活動など、ほかにもやりたいことがある
9. 仕事をすることに興味が無い
10. その他（ ）

【問27で「5」と答えた方にかがいます】

問27-3 あなたは、今後は、仕事をしたいと思いませんか。(〇は1つ)

1. 今後は仕事をしたい ⇒ 問27-4 問27-5 問27-6
2. 今後は仕事をしたいが、今はできない ⇒ 問28
3. 今後は仕事をしない ⇒ 問28

福岡市 高齢社会に関する調査 (高齢者一般調査A)

【問27-1で「1」と答えた方にうかがいます】

【問27-3で「1」か「2」と答えた方にうかがいます】

問27-4 今後、どのような内容の仕事を希望しますか。(〇はいくつでも)

1. 事務
2. 営業 (営業職、外交員など)
3. 販売 (小売店員など)
4. 接客
5. 調理
6. 清掃
7. 警備
8. 生産工程 (製品製造・加工など)
9. 施設管理 (駐車場・ビル管理人など)
10. 福祉・介護 (施設、ホームヘルパーなど)
11. 医療 (医師、薬剤師、看護士など)
12. 子ども・子育て (保育士、保育補助など)
13. 輸送・機械運転 (自動車運転など)
14. 運搬 (荷物配達など)
15. その他 [ ]
16. 特に希望なし

【問27-1で「1」と答えた方にうかがいます】

【問27-3で「1」か「2」と答えた方にうかがいます】

問27-5 今後、どのような就労形態で仕事をしたいと思えますか。(〇は1つ)

1. 正社員
2. 嘱託・契約社員
3. パート・アルバイト
4. 派遣社員
5. 会社・団体役員
6. 個人事業主 (フリーランスを含む)
7. その他 [ ]

福岡市 高齢社会に関する調査 (高齢者一般調査A)

【問27-1で「1」と答えた方にうかがいます】

【問27-3で「1」か「2」と答えた方にうかがいます】

問27-6 今後、どれくらいの頻度で仕事をしたいと思えますか。

(①・②それぞれ〇は1つ)

- ① 週間に
1. 「1～2日」
  2. 「3日」
  3. 「4日」
  4. 「5日以上」
- ② 1日に
1. 「1～3時間」
  2. 「4～6時間」
  3. 「7時間以上」

福岡市 高齢社会に関する調査 (高齢者一般調査A)

ここから再びすべての方に向かいます

問28 さまざまな活動についてお尋ねしてきましたが、今後(今後)、あなたも、あなたが社会参加を行うとすれば、どのような活動だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 地域の活動(自治会・町内会など地域で行われている活動)
2. 社会や人の役に立つ活動(無償ボランティア)
3. 社会や人の役に立つことを、手当をもらって行う活動(有償ボランティア)
4. 会社などに雇用されて働く
5. 個人で仕事を請け負ったり、起業したりして、収入を得る活動(フリーランス・自営業など)
6. 自分の趣味の活動
7. 健康づくりの活動
8. 生涯学習活動(学ば、交流中心)
9. 友人・近所づきあい
10. その他 [ ]

問29 今後(今後)、あなたが社会参加を行うとするとする場合、どのようなことを期待しますか。(〇はいくつでも)

1. 生活に充実感がでること
2. 自分の技術、経験を生かすこと
3. 新しい友人を得ること
4. 新しい知識や経験を得心すること
5. 健康づくり、体力をつけること
6. 社会に貢献すること
7. 社会とのつながりを保つこと
8. 生涯のリズムや刺激を得ること
9. その他 [ ]

福岡市 高齢社会に関する調査 (高齢者一般調査A)

問30 高齢者乗車券を利用したことがありますか。(〇は1つ)

1. 利用したことがある ⇒ 問30-1 問30-2へ
2. 利用したことがない ⇒ 問31へ
3. 交付対象となる月俵(年齢や所得等)を満たしていない
4. 福祉乗車券の交付を受けている
5. 高齢者乗車券の制度を知らない

【高齢者乗車券とは】

高齢者の社会参加を促進するために、満70歳以上で、福岡市介護保険料所得段階1～7の人に、交通費の一部を助成する高齢者乗車券を交付しています。  
(福祉乗車券・福祉乗車証の交付対象の人は、高齢者乗車券の交付対象にはなりません。)

【問30で「1」と答えた方に向かいます】

問30-1 高齢者乗車券を利用するようになって、外出する機会は増えましたか。(〇は1つ)

1. 増えた
2. 特に変わらない
3. 減った
4. わからない

【問30で「1」と答えた方に向かいます】

問30-2 高齢者乗車券を利用した、外出の目的はなんですか。(主なもの3つまで)

1. 買い物
2. 食事
3. 趣味や運動・散歩
4. 友人と会う
5. 家族や親せきなどと会う
6. 通院
7. 介護施設に通う
8. 仕事
9. ボランティア活動
10. その他 [ ]

## 福岡市 高齢社会に関する調査（高齢者一般調査A）

ここから再びすべての方にうかがいます

問31 市は、各区に1か所老人福祉センターを設置しています。この老人福祉センターが皆様にとってよりよい施設であるために、どのような働きかけができるか、とよいと思いますが、(○は3つまで)

1. 趣味・教養の教室・講座を受講する
2. スマートフォンやタブレットなど新しい技術について学ぶ
3. ライフプランや今後の過ごし方を考えるきっかけづくりをする
4. 今後に生かせる知識やスキルを身につける
5. 身体を動かすなど健康づくりに取り組む
6. 生活や法律、健康等について相談する
7. 仕事を探したり、相談したりする
8. ボランティア等の情報を探したり、相談したりする
9. サークル活動を行う
10. 友人・知人と話す
  11. 一人でくつろぐ
  12. 入浴する
  13. 特定の目的（音楽など）に利用できる〔具体的に： 〕
  14. その他〔 〕

※老人福祉センターとは、高齢者が健康で明るい生活を営むために、各種の相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションの便宜を総合的に提供するための施設です。

各区に1施設あり、音楽や手芸などの文化系講座や健康体操などの運動講座、健康や法律等の相談会、高齢者の就業に関する講座などを行っており、また、交流の場としても、無料で利用できます。

質問は以上です。

～ 長時間ご協力いただき、本当にありがとうございました ～

2. 高齢者一般調査B

福岡市 高齢社会に関する調査 (高齢者一般調査B)

(注)本文中の「あなた」とは、あて名の方ご本人のことを指します。

1 あなたご自身のことについてお答えください

問1 現在、この調査票にご記入頂いている方は、どなたですか。(○は1つ)

- 1. あて名の方ご本人
- 2. 主な介護者となっている家族・親族
- 3. 主な介護者以外の家族・親族
- 4. その他 [ ]

問2 あなたの性別は。(○は1つ)

- 1. 男性
- 2. 女性

問3 あなたの年齢は。(令和4年10月1日現在) (○は1つ)

- 1. 60～64歳
- 2. 65～69歳
- 3. 70～74歳
- 4. 75～79歳
- 5. 80～84歳
- 6. 85～89歳
- 7. 90歳以上

問4 あなたのお住まいは。(町名まで記入してください。)

[ ]区 [ ] [ ]丁目  
 記入例：[ 中央 ]区 [ 天神 ] [ 1 ]丁目

問5 あなたのご家族の状況は。(○は1つ)

- 1. 一人暮らし世帯
- 2. 夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯
- 3. 夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯
- 4. 夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯
- 5. あなたとその他の高齢者(65歳以上の方)のみの世帯
- 6. 二世代同居世帯(65歳未満の方がいらっしゃる世帯)
- 7. 三世代同居世帯
- 8. その他の世帯

< お問い合わせ先 >

福岡市福祉局高齢社会部 高齢社会政策課  
 〒810-8620 福岡市中央区天神 1-8-1 Ⅱ：092-711-4595  
 「高齢社会に関する調査」担当

福岡市  
 高齢社会に関する調査  
 (高齢者一般調査B)

令和5年1月  
 調査主体 福岡市

< ご記入にあたって >

- 1. この調査は、調査票をお送りしたあて名の方ご本人に回答していただくものです。また、ご本人による記入が困難な場合は、ご本人の意思に基づいて、ご家族や代理人の方が記入してください。
- 2. この調査票は、令和4年10月時点で福岡市内にお住まいの60歳以上の方に、お送りしています。
- 3. 回答内容は、「知っている方は全体の何%」「こう思う方は全体の何%」といった形で統計的に整理いたしますので、お答えいただいた方の個人のご意見がそのまま表されることは一切ございません。
- 4. 記入は鉛筆、ボールペンをお使いください。
- 5. 回答は、問の順番どおりに読み、当てはまる項目を1つ選んで、その番号を○で囲んでください。指示があるとき(○はいくつでも)などはそれに従ってください。
- 6. 質問によっては回答していただく方が限られる場合がありますので、案内にそってお答えください。
- 7. 「その他」を選ばれたときは、その内容を [ ] の中に具体的に記入してください。
- 8. ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、**2月20日(月)**までに、郵便ポストに投函してください。

福岡市 高齢社会に関する調査 (高齢者一般調査B)

【問5で「1」～「5」と答えた方にうかがいます】

問5-1 あなたには、日常行き来がある親族の方が近くにいらっしゃいますか。2か所以上にいらっしゃる方は一番近いところをお答えください。(〇は1つ)

1. 同じ町内(小学校区程度)にいる
2. 同じ区内にいる
3. 福岡市内にいる
4. 福岡県内にいる
5. 福岡県外にいる
6. 日常行き来がある親族はいない

ここから再びすべての方にうかがいます

問6 あなたの世帯全員の年間総収入額(税込み)はどれくらいですか。(〇は1つ)

1. 50万円未満
2. 50～100万円未満
3. 100～150万円未満
4. 150～200万円未満
5. 200～300万円未満
6. 300～400万円未満
7. 400～500万円未満
8. 500～600万円未満
9. 600～1,000万円未満
10. 1,000万円以上

問7 あなたの介護保険の要介護度は次のどれですか。(〇は1つ)

1. 要介護認定の申請はしていない  
(65歳未満のため申請をしていない方も含みます)
2. 要介護認定を申請したが、非該当(自立)だった
3. 要支援1
4. 要支援2
5. 要介護1
6. 要介護2
7. 要介護3
8. 要介護4
9. 要介護5
10. わからない

福岡市 高齢社会に関する調査 (高齢者一般調査B)

2 情報通信機器の活用についておたずねします

問8 あなたが、ふだん利用している情報通信機器はどれですか。(〇はいくつでも)

1. 固定電話
2. ファックス
3. 携帯電話(スマートフォンを除く) ⇒ 問8-1へ
4. スマートフォン
5. タブレット
6. パソコン
7. いずれも使わない ⇒ 問8-2へ

【問8で「1」～「6」のいずれかを利用していると答えていると答えた方にうかがいます】

問8-1 あなたは、問8で利用していると回答された情報通信機器を、どのようなことに利用していますか。(〇はいくつでも)

1. 通話
2. ファックスでのやりとり
3. メールのやりとり
4. ライン、フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなどのSNS
5. インターネットで情報を集める
6. インターネットショッピング
7. インターネットバンキング
8. パソコン決済、スマホ決済
9. 動画の視聴
10. Web会議(ウェブ会議)
11. オンライン学習
12. その他 [ ]

<問8-1回答後>

- |            |        |     |
|------------|--------|-----|
| 4. スマートフォン | のいずれかを | 問9へ |
| 5. タブレット   | 選択した方は |     |
| 6. パソコン    |        |     |
- ※問8で [ ]
- ※その他の方は、問8-2へ

【スマートフォン「タブレット」「パソコン」を利用していない方(問8で「4」「5」「6」のいずれも選択していない方)にうかがいます】

問8-2 あなたが、スマートフォン、タブレット、パソコンを利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 必要性を感じないから
2. 使い方が分からないので、面倒だから
3. 興味はあるが購入場所、購入方法などが分からないから
4. 使い方を覚えたいが、教えてくれる人がいないから
5. お金がかかるから
6. 文字が見にくいから
7. その他 [ ]

福岡市 高齢社会に関する調査 (高齢者一般調査B)

3 現在のお住まいについておたずねします

問9 あなたのお住まいは、次のどれですか。(〇は1つ)

- 1. 持ち家一戸建て } ⇒ 問10へ
- 2. 分譲マンション } ⇒ 問10へ
- 3. 借家一戸建て } ⇒ 問9-1へ
- 4. 民間の賃貸マンション、アパート } ⇒ 問9-1へ
- 5. 市営・県営住宅 } ⇒ 問9-1へ
- 6. UR (都市再生機構 (旧公団))・公社などの賃貸住宅 } ⇒ 問9-1へ
- 7. サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け住宅 } ⇒ 問9-1へ
- 8. 有料老人ホーム・ケアハウス } ⇒ 問10へ
- 9. その他 ( ) ⇒ 問10へ

【問9で「3」～「7」と答えた方にうかがいます】

問9-1 あなたの現在のお住まいの1か月の家賃 (共益費なども含む) はいくらですか。(〇は1つ)

- 1. 1万円未満
- 2. 1～2万円未満
- 3. 2～3万円未満
- 4. 3～4万円未満
- 5. 4～5万円未満
- 6. 5～6万円未満
- 7. 7～8万円未満
- 8. 7～8万円未満
- 9. 8万円以上

ここから再びすべての方にうかがいます

問10 あなたは、現在のお住まいで困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

- 1. せまい
- 2. 老朽化している
- 3. 手すりがなかったり、案内に段差があるなどバリアフリー化されていない
- 4. 日照・騒音など、環境が悪い
- 5. 家賃が高い
- 6. 立ち退き要求を受けている
- 7. 自分の居室がない
- 8. 集合住宅のエレベーターがない
- 9. その他 ( )
- 10. 特になし

福岡市 高齢社会に関する調査 (高齢者一般調査B)

問11 あなたは、現在のお住まいに、亡くなるまで住み続けたいと考えていますか。(〇は1つ)

- 1. 考えている ⇒ 問12へ
- 2. 考えていない ⇒ 問11-1へ

【問11で「2」と答えた方にうかがいます】

問11-1 あなたは、住み替え時にはどんな事を重視して住まいを選びますか。(〇はいくつでも)

- 1. 広さ
- 2. 家賃
- 3. バリアフリー
- 4. 利便性が高い
- 5. 周囲の状況 (自然が豊か)
- 6. 周囲の状況 (商業施設が多い)
- 7. 周囲の状況 (医療機関が近い)
- 8. 周囲の状況 (交通の便がよい)
- 9. 住み慣れた地域であること
- 10. 地域のつながりがあること
- 11. その他 ( )

【これまでに住宅を住み替えたことがある方、または現在住み替えを考えている方にうかがいます】※住宅を住み替えたことがない方、または住み替えを考えていない方は、問13へ

問12 あなたは、住み替えにあたってどのようなことに困りましたか、または困っていませんか。(〇はいくつでも)

- 1. 住宅をどうやって探せばよいかわからない
- 2. 家賃などの費用の面で希望する住宅がない
- 3. 広さや立地面で希望する住宅がない
- 4. 駅の近くなど交通の便がよい場所に希望する住宅がない
- 5. 不動産会社や管理会社などの事業者の対応が悪い
- 6. 高齢者であることを理由に断られた
- 7. 保証人や緊急連絡先がないことを理由に断られた
- 8. その他 ( )
- 9. 特に関ったことはない

福岡市 高齢社会に関する調査（高齢者一般調査B）

4. 健康・福祉などについておたずねします

ここから再びすべての方にうかがいます

問13 あなただの現在の健康状態はいかがですか。(○は1つ)

1. 健康で、普通に生活している
2. 何らかの病気や障がいがあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出もひとりでできる
3. 家の中の生活はおおむね自分で行っているが、何らかの病気や障がいがあり、外出はひとりでできない
4. 病気や障がいがあるが、家の中の生活の多くに手助けが必要で、日中もベッド(ふとん)の上での生活が主体である
5. 病気や障がいがあるが、家の中の生活全般に手助けが必要で、一日中ベッド(ふとん)の上にいる

⇒ 問13-1

⇒ 問14

【問13で「1」～「3」と答えた方にうかがいます】

問13-1 健康づくりや介護予防のために、何か運動をしていますか。(○はいくつでも)

1. 散歩などできるだけ歩くようにしている
2. 自宅で軽い運動や体操などを行っている
3. 公民館などで軽い運動や体操などを行っている
4. 公園などに設置してある器具などを使って運動している
5. スポーツクラブに通っている
6. その他( )
7. 特に何もしていない ⇒ 問13-5

⇒ 問13-2

問13-3

問13-4

【問13-1で「1」～「6」と答えた方にうかがいます】

問13-2 それほどのくらの頻度でしていますか。(○は1つ)

1. ほとんど毎日
2. 週2～3回程度
3. 週1回程度
4. 月1～2回程度

- 6 -

福岡市 高齢社会に関する調査（高齢者一般調査B）

【問13-1で「1」～「6」と答えた方にうかがいます】

問13-3 健康づくりや介護予防のために運動に取り組むことになった主なきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

1. 医師などの専門家からの指導や助言
2. テレビや新聞などの情報から自分で判断して
3. 家族や知人、友人からのアドバイスや一言
4. 近所の人からの誘い
5. 検査の結果(数値など)が気になったため
6. 気になる症状があるため
7. 新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛で健康づくりの必要性を感じたため
8. 以前から運動を続けている
9. その他( )

【問13-1で「1」～「6」と答えた方にうかがいます】

問13-4 健康づくりや介護予防のために何か運動に取り組むことで、どのような効果があったと感じていますか。(○はいくつでも)

1. 病気にかかりにくくなったり、症状が軽くなったりした
2. 疲れにくくなった
3. つまづいたり転んだりすることが少なくなった
4. 立ったり座ったり、階段の昇降が楽になった
5. 毎日の生活が充実していると感じるようになった
6. その他( )
7. 特に効果はなかった

⇒ 問14

【問13-1で「7」と答えた方にうかがいます】

問13-5 何もしていない理由は何か。(○はいくつでも)

1. 健康なので必要性を感じていない
2. 運動などをすすめる場所が近くにない
3. 一緒にする人がいない
4. やってみたいが続かなかった
5. 何をすればよいかわからない
6. 何もしたくない
7. 費用負担が大きい
8. 時間が足りない
9. その他( )

- 7 -

福岡市 高齢社会に関する調査 (高齢者一般調査B)

ここから再びすべての方にうかがいます

問14 健康づくりや介護予防のために、運動以外で気を付けていることはありますか。(〇はい 〇はいいつでも)

1. かかりつけの医師に定期的に診てもらっている
  2. 定期的に健診やがん検診を受けている
  3. 日常生活で、自分でできることはできるだけ自分でするようにしている
  4. 口の中を清潔にしている
  5. 休養や睡眠を十分にとっている
  6. 規則的な生活を心掛けています
  7. 栄養バランスなどに気を付けて食事をしている
  8. パズルや計算など、認知症予防に取り組んでいる
  9. 趣味や遊びなど楽しいことをする
  10. なるべく人とのかつみあい(会話)をするようにしている
11. その他 ( )
12. 特にない ⇒ 問15へ

⇒ 問14-1へ

【問14で「1」～「11」と答えた方にうかがいます】

問14-1 健康づくりや介護予防のために運動以外のことに取り組むこととなった主な

きっかけは何ですか。(〇はい 〇はいいつでも)

1. 医師などの専門家からの指導や助言
2. テレビや新聞などの情報から自分で判断して
3. 家族や知人、友人からのアドバイスや一言
4. 近所の人からの誘い
5. 検査の結果(数値など)が気になったため
6. 気になる症状があるため
7. 新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛で、健康づくりの必要性を感じたため
8. その他 ( )

福岡市 高齢社会に関する調査 (高齢者一般調査B)

ここから再びすべての方にうかがいます

問15 「フレイル」という言葉を知っていますか。(〇はい 〇はいいつでも)

1. 言葉だけでなく、内容も知っている
2. 言葉は知っているが、内容はよく知らない
3. 知らない

※「フレイル」とは、年をとって体や心の働き、社会的なつながりが弱くなった状態を指し、そのまま放置すると、要介護状態になる可能性があります。フレイルに早めに気づいて、適切な取り組みを行うことで、フレイルの進行を防ぎ、健康な状態に戻ることが出来ます。

問16 直近2年間(新型コロナウイルス感染拡大後)で、生活や体調等で感じた変化はありますか。(項目ごとに〇はい 〇はいいつでも)

項目	項目ごとに〇はい 〇はいいつでも		
	1. 規則的になった	2. 変化はない	3. 不規則になった
1 生活リズム	1. 規則的になった	2. 変化はない	3. 不規則になった
2 体調	1. よくなった	2. 変化はない	3. 悪くなった
3 睡眠	1. よく眠れるようになった	2. 変化はない	3. 眠りにくくなった
4 栄養①	1. 食べる量が増えた	2. 変化はない	3. 食べる量が減った
5 栄養②	1. 体重が増えた	2. 変化はない	3. 体重が減った
6 口腔(飲み込み)	1. お茶や汁物でむせることが少なくなった	2. 変化はない	3. お茶や汁物でむせやすくなった
7 運動	1. 体を動かすことが増えた	2. 変化はない	3. 体を動かすことが減った
8 歩く速度	1. 速くなった	2. 変化はない	3. 遅くなった
9 交流	1. 家族や友人などとの交流(電話やメールなどを含む)の頻度が増えた	2. 変化はない	3. 家族や友人などとの交流(電話やメールなどを含む)の頻度が減った
10 その他	[具体的に: ]		

## 福岡市 高齢社会に関する調査（高齢者一般調査B）

## 福岡市 高齢社会に関する調査（高齢者一般調査B）

問17 あなたは、この1年間に、歯科の定期健診を受けましたか。(○は1つ)

1. 受けた
2. 受けていない

問18 あなた自身の歯は何本ありますか。知らず、入れ歯、ブリッジ（取り外しできない入れ歯）、インプラントは含みません。さし歯や金属をかぶせた歯はあなた自身の歯として数えます。(○は1つ)

1. 28本（全部ある）
2. 24～27本
3. 20～23本
4. 10～19本
5. 5～9本
6. 1～4本
7. 0本

問19 あなたは、どの程度、かんで食べることができますか。(○は1つ)

1. 何でもかんで食べられる
2. 一部かめない食べ物がある
3. かめない食べ物が多い
4. かんで食べることはできない

問20 あなたは、入れ歯やブリッジを使っていますか。(○は1つ)

1. 上下両方のアゴで使用
2. 上のアゴだけ使用
3. 下のアゴだけ使用
4. 使っていない

問21 あなたのお口（歯や歯ぐき、入れ歯）の健康状態はいかがですか。(○は1つ)

1. とてもよい
2. まあよい
3. あまりよくない
4. よくない

問22 あなたの歯みがきの頻度をお答えください。(○は1つ)

1. 1日3回以上
2. 1日2回
3. 1日1回
4. 時々みがく
5. みがかない

問23 あなたは、歯間ブラシやデンタルフロスを使用していますか。(○は1つ)

1. 毎日利用する
2. ときどき利用する
3. 利用していない

問24 物忘れが多く、認知症ではないかと心配になることがありますか。(○は1つ)

1. ある ⇒ 問24-1へ
2. ない ⇒ 問25へ

【問24で「1」と答えた方にうかがいます】

問24-1 認知症について誰かに相談したことはありますか。(○は1つ)

1. ある ⇒ 問24-2へ
2. ない ⇒ 問25へ

【問24-1で「1」と答えた方にうかがいます】

問24-2 誰に相談しましたか。(○はいくつでも)

1. 家族や親族
2. 友人
3. 民生委員
4. いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）
5. 保健福祉センター（区役所）
6. ケアマネジャー（※）
7. 介護サービス事業者
8. かかりつけ医
9. 認知症疾患医療センター
10. その他 [ ]

※ケアマネジャー（介護支援専門員）とは、介護サービスを利用するときの相談や、サービス事業者との連絡調整を行う専門員のことです。

福岡市 高齢社会に関する調査 (高齢者一般調査B)

ここから再びすべての方に向かいます

問25 認知症についての広報物に目を通したり、講座に参加したりするなど、認知症への正しい理解を得る行動をとっていますか。(〇は1つ)

1. とっている
2. どちらかといえば、とっている
3. どちらかといえば、とっていない
4. とっていない

問26 認知症に関してどのようなことが知りたいですか。(〇はいくつでも)

1. 認知症の原因や症状
2. 認知症の予防方法
3. 認知症の人への接し方
4. 認知症の人の気持ち
5. 認知症に関する相談窓口
6. 認知症の治療や診療に関すること
7. 認知症の専門医と受診方法について
8. 認知症の在宅サービスに関する情報
9. グループホームなどの施設の情報
10. 本人に代わり、金銭や財産の管理、契約などの手続きを行う制度に関すること
11. 認知症の人や家族を支えるボランティアや地域での活動に関すること
12. その他 [ ]

問27 認知症対策として充実した方がよいと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 認知症に関する知識・対応方法・相談窓口などの普及啓蒙 (広報、講義・講演会など)
2. 認知症の治療が受けられる身近な医療機関 (かかりつけ医)
3. 認知症治療や介護に関する情報が入手できる仕組み
4. 認知症の人が緊急時に入院・入所できる病院・施設
5. 認知症の人の地域で足守るしくみや居場所
6. 認知症の人の家族に対する支援
7. 認知症の人が活躍できる場・機会
8. 認知症の人の財産や権利を守るための仕組み
9. 認知症の人にもやさしい商品・サービスの開発・促進
10. その他 [ ]

福岡市 高齢社会に関する調査 (高齢者一般調査B)

問28 福岡市は、認知症の人が住み慣れた地域で暮らし続けることができるまぢだと思えますか。(〇は1つ)

1. そう思う
2. そう思わない

問29 健康づくりや介護予防などの取組みについて、今後福岡市に力を入れてほしいことはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

1. 体力や筋力の維持・向上のための取組み
2. 栄養バランスのとれた食生活のための取組み
3. お口の健康のための取組み
4. 認知症予防についての取組み
5. ころの健康についての取組み
6. 生きがいづくりのための取組み
7. 介護予防の普及啓蒙
8. 介護予防のための活動の場所の確保
9. 子どもなど他世代との交流
10. ボランティア人材の育成
11. その他 [ ]

5 いきいきセンターふくおか (地域包括支援センター) についておたずねします

問30 いきいきセンターふくおか (地域包括支援センター) という名前を聞いたことがありますか。(〇は1つ)

1. 聞いたことがある
2. 聞いたことがない

【いきいきセンターふくおか (地域包括支援センター)】  
高齢者のみなさんから介護、福祉、健康づくりなどの相談を受け、アドバイスをを行う相談窓口として、現在、市内の57か所に設置しています。

福岡市 高齢社会に関する調査 (高齢者一般調査B)

6 権利擁護についておたずねします

問31 高齢者虐待(と聞われること)を見たり、聞いたりした場合、市へ通報する義務があることを知っていますか。(Oは1つ)

1. 知っている
2. 知らない

※通報先は、各区地域福祉課やいきいきセンターふくおか(地域包括支援センター)です。

【高齢者虐待の例】

- ①身体的虐待…「たたく」「蹴る」「物を投げつける」など、痛みや身体にあざ・傷を与える行為
- ②介護・世話の放棄・放任…介護や生活の世話をしている人が、入浴・食事・着替えなどの世話をしなくなり、高齢者の生活環境や身体、心の状態を悪化させる行為
- ③心理的虐待…「怒鳴る」「ののしる」「無視する」など、高齢者の心に苦痛を与える行為
- ④性的虐待…高齢者が性的に嫌がることを無理強いする行為
- ⑤経済的虐待…高齢者の財産やお金を勝手に使ったり制限したりする行為

問32 あなたは、「成年後見制度」を知っていますか。(Oは1つ)

1. 制度の名称だけでなく、内容も知っている
2. 制度の名称は知っているが、内容はよく知らない
3. 知らない

【成年後見制度とは】

認知症、知的障がい、精神障がいなどで判断能力が十分でない人のために、本人の権利を守る人(成年後見人等)を選ぶことで、法的に本人を支える制度です。

福岡市成年後見推進センターでは、制度の利用を必要とする人やその家族、支援者や関係機関からの相談を受け、制度の利用促進を図っています。

<福岡市成年後見推進センター>

所在地：福岡市中央区荒戸 3-3-39 福岡市民福祉プラザ(ふくふくプラザ)3階

問い合わせ先：TEL 092-753-6450 FAX 092-734-2010

受付時間：火曜日～土曜日 午前9時～午後5時(祝休日・年末年始を除く)

福岡市 高齢社会に関する調査 (高齢者一般調査B)

7 医療についておたずねします

問33 あなたは、普段から健康状態や病気のことで相談でき、体調が悪いときなどに治療を受ける、かかりつけ医がいますか。(Oは1つ)

1. いる
2. いない

問34 あなたは、在宅医療に関心がありますか。(Oは1つ)

1. ある
2. ない

問35 あなたは、脳卒中の後遺症やがんなどで長期の治療が必要となった場合、在宅医療を希望しますか。また、実現可能と思いますか。(Oは1つ)

1. 希望するし、実現可能だと思う ⇒ 問36へ

2. 希望するが、実現は難しいと思う

3. 希望しない

4. 現在、受けている

5. わからない

} ⇒ 問35-1へ

} ⇒ 問36へ

【問35で「2」か「3」か「5」か「6」か「7」か「8」か「9」か「その他」を選んだ場合の回答欄】

問35-1 あなたは、在宅医療を「希望しない」、または「実現が難しい」と思う理由は、何ですか。(Oは1つ)

1. 往診などをしてくれる医師がいないから
2. 訪問看護や介護の体制が不十分だから
3. 家族に負担をかけるから
4. 介護してくれる家族がいないから
5. 急に病状が変わったときの対応が不十分だから
6. 医師や看護師の訪問が精神的に負担になるから
7. 療養できる部屋やトイレなどの在宅環境が整っていないから
8. 経済的に負担が大きいかから
9. その他 ( )





福岡市 高齢社会に関する調査 (高齢者一般調査B)

問4.2 あなたは、以下のサービスを利用したことがありますか、また、利用していない場合は、今後利用したいと思いませんか。(項目ごとに○は1つ)  
 さらに、サービスを実際利用している場合は、それに対する満足度はいかがですか。(項目ごとに○は1つ)  
 「現在利用している」に○をした方は、その満足度をお答えください。

記入例	利用状況・利用意向					満足度			
	現在利用している	ぜひ利用したい	ぜひ利用したいが、金銭的な面で難しい	利用したいが、必要性を感じない	わからない	満足している	やや満足している	あまり満足していない	不満である
1 老人福祉センター	1	2	3	4	5	1	2	3	4
2 老人いきいの家	1	2	3	4	5	1	2	3	4
3 シニア教室	1	2	3	4	5	1	2	3	4
4 福祉バス	1	2	3	4	5	1	2	3	4
5 高齢者乗車券	1	2	3	4	5	1	2	3	4
6 介護支援ボランティア事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4
7 シルバー人材センター	1	2	3	4	5	1	2	3	4
8 緊急通報システム	1	2	3	4	5	1	2	3	4
9 声の訪問	1	2	3	4	5	1	2	3	4
10 日常生活用具	1	2	3	4	5	1	2	3	4
11 生活支援ショートステイ	1	2	3	4	5	1	2	3	4
12 日常生活自立支援事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4
13 ふれあいサロン	1	2	3	4	5	1	2	3	4

※「不満である」と答えた方は問4.2-1へ

福岡市 高齢社会に関する調査 (高齢者一般調査B)

(サービス内容の説明)

1 老人福祉センター	高齢者の各種相談、健康増進、教養の向上、レクリエーションなどの便宜を総合的に提供。
2 老人いきいの家	高齢者の教養の向上や相互親睦などの場を提供。
3 シニア教室	老人福祉センターや老人いきいの家などで、文化や教養、創作に関する講座や教室を実施。
4 福祉バス	老人クラブなどの日中の活動を支援するためバスを運行する。
5 高齢者乗車券	高齢者の社会参加を促進するため、交通費の一部を助成。
6 介護支援ボランティア事業	介護保険施設などにおいてボランティア活動を行つた場合にポイントを付与し、税金でできる制度。
7 シルバー人材センター	地域の日常生活に密着した臨時的かつ短期的な仕事を有償で引き受け、これを会員に提供する。
8 緊急通報システム	家庭内で緊急時にボランティアのボタンを押すだけで、自動的に通報され助けが求められるシステム。
9 声の訪問	定期的に電話があり、安否などを確認するサービス。
10 日常生活用具	火災警報器・自動消火器などの給付サービス。
11 生活支援ショートステイ	家族が留守のときなどに、虚弱な方が施設に宿泊できるサービス。
12 日常生活自立支援事業	判断能力が低下した高齢者などへの福祉サービスの利用援助。
13 ふれあいサロン	公民館や集会所などで、地域のボランティアとともにレクリエーション活動などへの参加。

【問4.2で「不満である」と答えた方にかかっています】

問4.2-1 具体的にどのようなことに不満がありますか。ご自由にお書きください。(自由記載)

質問は以上です。

～ 長時間ご協力いただき、本当にありがとうございました ～





## 福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス利用者調査）

問10 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。（○は1つ）

※同居していない子どもや親族などからの介護を含みます。

1. ない
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない
3. 週に1～2日ある
4. 週に3～4日ある
5. ほぼ毎日ある

## 2 日常生活についておたずねします

問11 あなたのお住まいは次のどれですか。（○は1つ）

1. 持ち家・戸建て
2. 分譲マンション
3. 借家・戸建て
4. 民間の賃貸マンション、アパート
5. 市営・県営住宅
6. 都市再生機構（旧公団）・公社などの賃貸住宅
7. サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け住宅
8. 有料老人ホーム・ケアハウス
9. その他 [ ]

問12 現在の住まいで困っていることはありますか。（○はいくつでも）

1. せまい
2. 老朽化している
3. 手すりがなく、案内に段差があるなどバリアフリー化されていない
4. 日差し・騒音など、環境が悪い
5. 家賃が高い
6. 立ち退き要求をうけている
7. 自分の居るがない
8. 集合住宅のエレベーターがない
9. その他 [ ]
10. 特にない

- 4 -

## 福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス利用者調査）

問13 現在、施設などへの入所・入居を検討していますか。（○は1つ）

※「施設など」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホームなど）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

1. 入所・入居を検討していない
2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている

問14 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、どんなサービスですか。（○はいくつでも）

※総合事業に基づく支援サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

1. 配食（弁当の宅配など）
2. 調理
3. 掃除・洗濯
4. 買い物（宅配は含まない）
5. ゴミ出し
6. 外出同行（通院、買い物など）
7. 移送サービス（介護・福祉タクシーなど）
8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他 [ ]
11. 利用していない

問15 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）は、どんなサービスですか。（○はいくつでも）

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

1. 配食（弁当の宅配など）
2. 調理
3. 掃除・洗濯
4. 買い物（宅配は含まない）
5. ゴミ出し
6. 外出同行（通院、買い物など）
7. 移送サービス（介護・福祉タクシーなど）
8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他 [ ]
11. 特にない

- 5 -

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険在宅サービス利用者調査)

3 現在利用している介護保険サービスについておたずねします

問16 令和4年10月の1か月の間に、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用しましたか。(○は1つ)

- 1. 利用した ⇒ 問16-1へ
- 2. 利用していない ⇒ 問17へ

【問16で「1」と答えた方にうかがいます】

問16-1 以下の介護保険サービスについて、令和4年10月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない(○回、利用していない)」を選択してください。(1つのサービスにつき、○を1つ)

	1週間あたりの利用回数(それぞれ1つに○)									
	利用して いない	週1回 程度	週2回 程度	週3回 程度	週4回 程度	週5回 以上				
記入例	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上				
1. 訪問介護(ホームヘルプサービス)	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上				
2. 訪問入浴介護	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上				
3. 訪問看護	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上				
4. 訪問リハビリテーション	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上				
5. 通所介護(デイサービス)	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上				
6. 通所リハビリテーション(デイケア)	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上				
7. 夜間対応型訪問介護(※訪問のあった回数を回答)	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上				

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険在宅サービス利用者調査)

	利用の有無(それぞれ1つに○)
8. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	利用していない 利用した
9. 小規模多機能型居宅介護	利用していない 利用した
10. 看護小規模多機能型居宅介護	利用していない 利用した

	1か月あたりの利用回数(1つに○)			
	利用して いない	月1~7 日程度	月8~14 日程度	月15~21 日程度
11. 短期入所生活介護 短期入所療養介護 (ショートステイ)	0回	1~7日	8~14日	15~21日 22日以上

	1か月あたりの利用回数(1つに○)			
	利用して いない	月1回 程度	月2回 程度	月3回 程度
12. 居宅療養管理指導	0回	1回	2回	3回 4回

ここから再びすべての方にうかがいます  
問17 1か月あたりに支払っている介護保険サービスの利用料金(1割、2割または3割負担)はおいくら程ですか。(○は1つ)

- 1. 1,000円未満
- 2. 1,000~5,000円未満
- 3. 5,000~10,000円未満
- 4. 10,000~20,000円未満
- 5. 20,000~30,000円未満
- 6. 30,000~40,000円未満
- 7. 40,000円以上
- 8. わからない
- 9. 介護保険だけでは足りないもので、自己負担で利用している  
(自己負担も含めて月おいくら程ですか。 円程度)

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス利用者調査）

問18 令和4年10月の介護保険サービスの利用額について制度上利用できる上限まで利用しましたか。(○は1つ)

1. 上限まで利用した ⇒ 問19へ  
 2. 上限まで利用していない ⇒ 問18-1へ  
 3. わからない ⇒ 問19へ

※1か月に利用できる課金種目の目安  
 (令和4年10月現在)

要支援1	52,600円
要支援2	111,100円
要介護1	175,200円
要介護2	206,000円
要介護3	282,700円
要介護4	323,400円
要介護5	378,500円

【問18で「2」と答えた方にかがいます】

問18-1 上限まで利用していない理由は何ですか。(○は2つまで)

1. 今のサービスで状態が維持・改善されている  
 2. 家族が介護してくれるので、多く利用する必要がないから  
 3. ヘルパーなどが家に訪問してくれるのがわずらわしいから  
 4. 施設に通うことがおっくうだから  
 5. 利用したいサービスがないから  
 6. 利用料の負担が重いから  
 7. その他〔 〕

4 現在利用している医療についておたずねします

ここから再びすべての方にかがいます

問19 あなたには、普段から健康状態や病気のことで相談でき、体調が悪いときなどに治療を受けるかかりつけ医がいますか。(○は1つ)

1. いる  
 2. いない

問20 あなたは、在宅医療に関心がありますか。(○は1つ)

※在宅医療とは、さまざまな病気をお持ちの方が、入院せずに自宅などで医師や看護師などの訪問による医療サービスを受けることです。

1. ある  
 2. ない

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス利用者調査）

問21 あなたは、現在、訪問診療を利用していますか。(○は1つ)  
 ※訪問診療とは、かかりつけ医が在宅で療養している患者宅を定期的に訪問し、医療を提供することです。

※訪問診療や居宅療養管理指導等は含みません。

1. 利用している  
 2. 利用していない

問22 あなたは、脳卒中の後遺症やがんなどで長期の治療が必要となった場合、在宅療養を希望しますか。また、実現可能と思いますか。(○は1つ)

1. 希望するし、実現可能だと思う } ⇒ 問22-1へ  
 2. 希望するが、実現は難しいと思う }  
 3. 希望しない  
 4. 現在、受けている  
 5. わからない

※選択肢の番号が「2」か「3」以外の場合は、  
 問23へ

【問22で「2」か「3」と答えた方にかがいます】

問22-1 在宅医療を希望しない、または実現が難しいと思う理由は何ですか。(○は1つ)

1. 往診などをしてくれる医師がいないから  
 2. 訪問看護や介護の体制が不十分だから  
 3. 家族に負担をかけるから  
 4. 介護をしてくれる家族がいないから  
 5. 急に病状が変わったときの対応が不安だから  
 6. 医師や看護師の訪問が精神的負担になるから  
 7. 療養できる部屋やトイレなどの住居環境が整っていないから  
 8. 経済的に負担が大きいから  
 9. その他〔 〕

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険在宅サービス利用者調査)

5 今後の介護・医療についておたずねします

ここから再びすべての方にうかがいます

問23 今後、どのような介護を受けていきたいと思えますか。(〇は1つ)

※ここで在宅とは、自宅または家族や親族の姿を指します。

1. 在宅で、できるかぎり家族や親族だけの介護を受けたい
2. 在宅で、家族や親族の介護と介護保険サービスを併せて介護を受けたい
3. 在宅で、介護保険サービスを中心に介護を受けたい
4. 施設などに入所したいが、介護保険の在宅サービスが充実すれば、これからも在宅で生活したい
5. 住み慣れた地域の施設に入所したい
6. 住み慣れた地域でなくてもよいので施設に入所したい
7. その他 [ ]
8. わからない

問24 万一、あなたが治る見込みがない病気になった場合、最期はどこで迎えたいですか。(〇は1つ)

1. 自宅 (家族や親族の家を含む)
2. 医療機関
3. 介護サービスが受けられる施設
4. その他 [ ]
5. わからない

問25 あなたが在宅で生活するために、必要性が高い(利用したい)と思うサービスは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 夜間や緊急時の不安が解消されるサービス (必要なきの呼び出しサービスなど)
2. 昼間の見守りサービス
3. 必要なきに身近な地域のデイサービスセンターやグループホームなどに泊まることのできるサービス
4. 定期的に特別介護老人ホームなどの施設に入所して、自宅と行き来しながら生活することが出来るサービス
5. 食料品や日用品の買い物支援
6. その他 [ ]

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険在宅サービス利用者調査)

問26 単身者となった場合、どのような「見守り」を希望しますか。(〇は1つ)

1. 民間事業者による見守り (警備会社、携帯電話など)
2. 民生委員の訪問による見守り
3. 町内会長や町内会の訪問による見守り
4. 校区社会福祉協議会の訪問 (ふれあいネットワーク活動) による見守り
5. 友愛訪問による見守り
6. 近隣住民が外から様子を見守り
7. 親族などと電話やメールのやり取りを行う見守り
8. 見守りは希望しない

問27 単身者となった場合、近隣住民の方が訪問による「見守り」を行うとしたら、どのくらいの回数を希望しますか。(〇は1つ)

1. 毎日
2. 週1回
3. 2週に1回
4. 月1回
5. 3か月に1回
6. 訪問による見守りは希望しない

6 介護保険制度全般についておたずねします

問28 あなたは、介護保険制度全般について満足していますか。(〇は1つ)

1. 満足
2. やや満足
3. どちらともいえない
4. やや不満
5. 不満

問29 介護保険制度で不満に思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 介護認定の申請がわずらわしいこと
2. 介護サービス事業者について、情報が少ない、わかりにくい、不実があること
3. 希望するサービスが受けられないこと (利用するまでに回数がかかると)
4. サービス内容がよくないこと
5. 介護サービス事業者との契約がわずらわしいこと
6. サービスの利用料金が安いこと
7. 介護保険料が安いこと
8. その他 [ ]
9. 特にない

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険在宅サービス利用者調査)

問30 あなたにとって介護保険制度でわかりにくいところはどこでしょうか。(〇は1つでも)

1. 要介護認定を受けるための手続き
2. 要介護認定通知が届いてから、サービスを利用するまでの手続き
3. ケアプラン (介護保険サービスの利用計画) を作成するまでの手続き
4. サービスの種類や内容、利用の仕組み
5. 介護サービス事業者をどうやって選んだらよいか
6. 介護サービス事業者との契約手続き
7. 不測や苦情の相談先
8. 介護保険料の内容
9. その他 [ ]
10. その他 [ ]

問31 介護サービス事業者を選ぶとき、特にどのようなことを重視して選びたいと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 自宅または家族や親族の家に近い
2. 友人や知り合いが利用している
3. サービスの内容や営業時間
4. 運営方針
5. 職員の資格や経験年数
6. 職員の態度や対応
7. 日常生活動作の維持・改善のためのメニューが充実している
8. 重度化防止に向けたリハビリや機能訓練がある
9. 事業者独自のサービス
10. 評判がよい
11. 施設や設備などが整っている
12. 苦情や相談の窓口が整っている
13. 事故の際の体制や保険が充実している
14. その他 [ ]

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険在宅サービス利用者調査)

問32 介護のこや市の福祉サービスなどについてわからないことや不満があるとき、あなたはまず、誰に(どこに)相談しますか。(〇は1つ)

1. 区役所の保健福祉窓口などの行政機関
2. いきいきセンターふくおか(地域包括支援センター)
3. ケアマネジャー(介護支援専門員)
4. ホームヘルパーやデイサービスセンターなどの介護サービス事業者
5. かかりつけの医師やかかりつけの薬剤師
6. 公民館や民生委員・児童委員など地域の人
7. 家族や親族
8. 福岡県の介護保険窓口
9. 福岡県国民健康保険団体連合会
10. その他 [ ]

問33 小規模多機能型居宅介護というサービスを知っていますか。(〇は1つ)

1. 知っている
2. 知らない

※「小規模多機能型居宅介護」とは、住み慣れた自宅や地域での生活を続けられるように、同一の事業所で本人の形態や希望に応じて、訪問・通い・宿泊を組み合わせて利用できるサービスです。通いながら事業所で顔なじみの職員が継続的に関わることができ、環境の変化に敏感な高齢者の不安を和らげることができます。

問34 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスを知っていますか。(〇は1つ)

1. 知っている
2. 知らない

※「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」とは、重度者を含め、要介護高齢者の在宅生活を支えるため、24時間 365日、日中・夜間を通じて、訪問介護と訪問看護を一体的に果たしそれぞれが密接に連携しながら、定期巡回訪問と随時の対応を行うサービスです。

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険在宅サービス利用者調査)

(サービス内容の説明)

1	おむつサービス	介護用品 (紙おむつ・尿取りパッド) 費用の一部が助成される。 ※要介護3～5と認定されたおむつが必要な人が対象 ふとんの洗濯や消毒をしてもらう。 ※要介護3～5と認定された65歳以上の人が対象
2	寝具洗濯乾燥消毒サービス	寝台付きタクシーの費用の一部が助成される。 ※要介護4・5と認定された65歳以上の人で単独が住んでいる人が対象
3	移送サービス	家族の入居などで、介護保険のショートステイとは別に、施設に宿泊できる。 ※要介護1・2、要介護1～5と認定された65歳以上の人で、介護保険料が段階第1～5段階までの人が対象
4	あんしんショートステイ	高齢者を介護している家族を、一時的に介護から解放し、相互交流・意見交換を行う交流会などを実施。 ※要介護1～2、要介護1～5と認定された人を在宅で介護している家族が対象
5	家族介護者のつどい	住宅を改造する場合、費用の一部が助成される。 ※要介護1・2、要介護1～5と認定された65歳以上の人が対象
6	住宅改造助成	

あて名ご本人に対する質問は、ここまでです。

次のページからは、ご家族の方にご回答をお願いします。  
なお、お一人暮らしの場合 (ご家族の介護を受けていらっしゃらない場合) は、ここで調査は終了となります。

長時間にわたり調査にご協力いただき、本当にありがとうございました。

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険在宅サービス利用者調査)

7 現在の高齢者サービスについておたずねします

問35 あなたは、次に挙げるサービスを利用したことがありますか。また、現在利用していない場合は、今後利用したいと願いますか。(項目ごとに○は1つ) さらに、サービスを利用している場合は、それに対する満足度はいかがですか。(項目ごとに○は1つ)

「現在利用している」に○をした方は、その満足度をお書きください。

記入例	利用状況・利用意向					満足度			
	現在利用している	今後必ず利用したい	今後必ず使いたくない	利用するつもりはない	わからない	満足している	やや満足している	あまり満足していない	不満足である
1 おむつサービス	①	2	3	4	5	1	②	3	4
2 寝具洗濯乾燥消毒サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4
3 移送サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4
4 あんしんショートステイ	1	2	3	4	5	1	2	3	4
5 家族介護者のつどい	1	2	3	4	5	1	2	3	4
6 住宅改造助成	1	2	3	4	5	1	2	3	4

【問35で「不満足である」と答えた方にかがいます】

問35-1 具体的なことのようなことに不満がありますか。ご自由にお書きください。(自由記載)

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス利用者調査）

このページからは、ご家族の方がご回答ください

問36 主な介護者の方はどなたですか。あて名の方ご本人（介護が必要な方）からみた  
続稱をお答えください。（〇は1つ）

1. 配偶者
2. 子
3. 子の配偶者
4. 孫
5. 兄弟・姉妹
6. その他（ ）

問37 主な介護者の方の性別は。（〇は1つ）

1. 男性
2. 女性

問38 主な介護者の方の状況は。（〇は1つ）

1. 同居
2. 別居

問39 主な介護者の方の年齢は。（〇は1つ）

1. 20歳未満
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代
7. 70代
8. 80歳以上
9. わからない

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス利用者調査）

問40 ご家族やご親族の中で、あて名の方ご本人（介護が必要な方）の介護を主な理由  
として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。（〇はいくつでも）

※現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

問41 主な介護者の方の現在の勤務形態は。（〇は1つ）

※ここでいう「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」などの方を含みます。自営業・フリーランスなどの方の場合も、就労時間・日数などから「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。

1. フルタイムで働いている
  2. パートタイムで働いている
  3. 働いていない
  4. 主な介護者に確認しないとわからない
- ⇒ 問41-1 ~ 問41-3へ
- ⇒ 問42へ

【問41で「1」か「2」と答えた方にかがいます】

問41-1 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整などをしていますか。（〇はいくつでも）

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、退出・早帰・早抜けなど）」しながら働いている
3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇など）」をとりながら働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら働いている
6. 主な介護者に確認しないとわからない

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス利用者調査）

【問41で「1」か「2」と答えた方にうかがいます】

問41-2 主な介護者の方は、勤務先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（〇は3つまで）

1. 自営業・フリーランスなどのため、勤務先はない
2. 介護休業・介護休暇などの制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
5. 働く場所の多様化（在宅勤務、テレワークなど）
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他（ ）
10. 特にない
11. 主な介護者に確認しないとわからない

【問41で「1」か「2」と答えた方にうかがいます】

問41-3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（〇は1つ）

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないとわからない

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス利用者調査）

ここから再びすべての方にうかがいます

問42 介護に関することについて、誰に（どこ）に相談していますか。（〇はいくつでも）

1. ケアマネジャー（介護支援専門員）
2. 区役所
3. いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）
4. 友人、知人
5. 同居の家族
6. 別居の家族や親族
7. 近所の人
8. 介護者の団体（家族の会など）
9. 働く人の介護サポートセンター（※）
10. 福祉相談
11. その他（ ）
12. 相談していません

※「働く人の介護サポートセンター」とは、仕事と介護の両立支援を目的として開設した、平日の仕事帰りや休日にも対応する相談窓口です。専門の相談員が情報提供やアドバイスを行います。

各種情報提供コーナーも設置しています。

【所在地】福岡市中央区天神1-8-1 福岡市役所地下1階

【お問い合わせ先・予約先】TEL：092-982-5407 FAX：092-982-5409

【開設時間】月・水・金曜日：12時～20時 日曜日：10時～18時

## 福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス利用者調査）

## 問4.3 現在、主な介護者の方が行っている介護などは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 日中の排泄
2. 夜間の排泄
3. 食事の介助（食べる時）
4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ（洗顔、歯磨きなど）
6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動
8. 外出の付き添い、送迎など
9. 服薬
10. 認知症状態への対応
11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマなど）
12. 食事の準備（調理など）
13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
15. その他〔 〕
16. わからない

## 問4.4 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じている介護などは何ですか。(〇は3つまで) ※現状で行っているか否かは問いません。

1. 日中の排泄
2. 夜間の排泄
3. 食事の介助（食べる時）
4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ（洗顔、歯磨きなど）
6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動
8. 外出の付き添い、送迎など
9. 服薬
10. 認知症状態への対応
11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマなど）
12. 食事の準備（調理など）
13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
15. その他〔 〕
16. 不安に感じていることは、特にない
17. 主な介護者に確認しないとわからない

- 20 -

## 福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス利用者調査）

## 問4.5 介護保険サービスを利用する上で困っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 本人が嫌がるのでサービスを増やせない（利用できない）
2. 本人が必要のないサービスをまで利用したがる
3. 家族などの理解が得られない
4. サービスを増やしたいが、近所に適当な事業所がないなど、集める事業所がない
5. サービスの使い勝手が悪い（利用できる曜日や時間帯が限られているなど）
6. 利用料金（1割、2割または3割負担）の経済的負担が大きい、または利用限度額があるため十分な利用ができない
7. その他〔 〕
8. 特にない

## 問4.6 今後、どのように介護していきたいと思えますか。(〇は1つ)

※ここで在宅とは、自宅または家族や親族の家を指します。

1. 在宅で、できるかぎり家族や親族だけで介護したい
2. 在宅で、家族や親族の介護と介護保険サービスを併せて介護したい
3. 在宅で、介護保険サービスを中心に介護したい
4. 施設への入所も検討するが、介護保険の在宅サービスが充実すれば、これから在宅で介護したい
5. あて名の方ご本人（介護が必要な方）が住み慣れた地域にある施設への入所を、あて名の方ご本人と考えたい
6. あて名の方ご本人（介護が必要な方）が住み慣れた地域にある施設にかぎらず、施設への入所を、あて名の方ご本人と考えたい
7. その他〔 〕

## 問4.7 在宅で介護を続けるために、特に必要性が高い（利用したい）と思うサービスは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 夜間や緊急時の不安が解消されるサービス（必要などの呼び出しサービスなど）
2. 昼間の見守りサービス
3. 重症の要介護者を地域の病院などが日中の一定時間預かるサービス
4. 身近な地域のデイサービスセンターやグループホームなどに泊まることのできるサービス
5. 定期的に特別養護老人ホームなどの施設に入所して、自宅と行き来しながら生活することのできるサービス
6. その他〔 〕

- 21 -

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス利用者調査）

問48 今後も自宅で介護を続けるために、特に支援が必要と思うことは何ですか。（〇はいくつでも）

1. 介護保険やその他の福祉サービス充実する
2. 介護の悩みなどを相談できる場所を整備する
3. 介護の技術を教える研修などを充実する
4. 介護保険やその他の福祉サービスなどについてわかりやすく情報を提供する
5. 在宅で高齢者を介護している人同士の交流の場を提供する
6. 介護者を支えるボランティアなどの地域活動を充実する
7. 介護者の心身のリフレッシュに対する支援を行う
8. その他（ ）
9. 知らない

問49 高齢者虐待（と思われること）を見たり、聞いたりした場合、市へ通報する義務があることを知っていますか。（〇は1つ）

※通報先は各区地域福祉課やいきいきセンターへ、おか（地域包括支援センター）

1. 知っている
2. 知らない

【高齢者虐待の例】

- ① 身体的虐待…「たたく」「蹴る」「物を投げつける」など、痛みや身体にあざ・傷を与える行為
- ② 介護・世話の放棄・放任…介護や生活の世話をしている人が、入浴・食事・着替えなどの世話をしなくなり、高齢者の生活環境や身体・心の状態を悪化させる行為
- ③ 心理的虐待…「怒鳴る」「ののしる」「無視する」など、高齢者の心に苦痛を与える行為
- ④ 性的虐待…高齢者が性的に嫌がることを無理強いする行為
- ⑤ 経済的虐待…高齢者の財産やお金を勝手に使ったり制限したりする行為

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス利用者調査）

問50 あなたは、「成年後見制度」を知っていますか。（〇は1つ）

1. 制度の名称だけでなく、内容も知っている
2. 制度の名称は知っているが、内容はよく知らない
3. 知らない

【成年後見制度とは】

認知症、知的障がい、精神障がいなどで判断能力が十分でない人のために、本人の権利を守る人（成年後見人等）を選ぶことで、法的に本人を支える制度です。  
福岡市成年後見推進センターでは、制度の利用を必要とする人やその家族、支援者や関係機関からの相談を受け、制度の利用促進を図っています。

＜福岡市成年後見推進センター＞

所在地：福岡市中央区荒戸3-3-39 福岡市市民福祉プラザ（ふくふくプラザ）3階

問い合わせ先：TEL 092-753-6450 FAX 092-734-2010

受付時間：火曜日～土曜日 午前9時～午後5時（祝休日・年末年始を除く）

質問は以上です。

～ 長時間で協力いただき、本当にありがとうございました ～

4. 介護保険在宅サービス未利用者調査

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険在宅サービス未利用者調査)

(注)本文中の「あなた」とは、**あて名の方ご本人のこと**を指します。

1 あなた自身のことについておたずねします

問1 現在、この調査票にご記入願っている方は、どなたですか。(○は1つ)

- 1. あて名の方ご本人
- 2. 主な介護者となっている家族・親族
- 3. 主な介護者以外の家族・親族
- 4. その他 [ ]

問2 あなたはの性別は。(○は1つ)

- 1. 男性
- 2. 女性

問3 あなたの年齢は、(令和4年10月1日現在) (○は1つ)

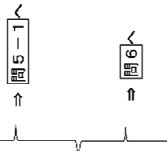
- 1. 40～64歳
- 2. 65～69歳
- 3. 70～74歳
- 4. 75～79歳
- 5. 80～84歳
- 6. 85～89歳
- 7. 90歳以上

問4 あなたのお住まいは、(町名まで記入してください)

[ ]区 [ ]市 [ ]町 [ ]丁目  
記入例：( 中央区 )区 ( 天神 )町 ( 1 )丁目

問5 あなたのご家族の状況は。(○は1つ)

- 1. 一人暮らし世帯
- 2. 夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯
- 3. 夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯
- 4. 夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯
- 5. あなたとその他の高齢者(65歳以上の方)のみの世帯
- 6. 二世帯同居世帯(65歳未満の方がいらっしゃる世帯)
- 7. 三世帯同居世帯
- 8. その他の世帯



# 福岡市 高齢社会に関する調査

(介護保険在宅サービス未利用者調査)

令和5年1月  
調査主体 福岡市

< ご記入にあたって >

1. この調査は、調査票をお送りしたあて名の方ご本人に回答していただくものです。また、ご本人による記入が困難な場合は、ご本人の意思に基づいて、ご家族や代理人の方が記入してください。
2. この調査票は、令和4年10月中に介護保険の在宅サービスのご利用が無かった方にお送りしています。
3. 回答内容は、「知っている方は全体の何%」「こう思う方は全体の何%」といった形で統計的に整理いたしますので、お答えいただいた方の個人のご意見がそのまま表されることはありません。
4. 記入は鉛筆、ボールペンをお使いください。
5. 回答は、問の順番どおりに進み、当てはまる項目を1つ選んで、その番号を○で囲んでください。指示があるとき(○はいくつでも)などはそれに従ってください。
6. 疑問によっては回答していただく方が限られる場合がありますので、案内にそってお答えください。
7. 「その他」を選擇したときは、その内容を [ ] の中に具体的に記入してください。
8. ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、**2月20日(月)**までに、郵便ポストに投函してください。

< お問い合わせ先 >

福岡市福祉局高齢社会部 高齢社会政策課  
〒810-0620 福岡市中央区天神1-8-1 TEL: 092-711-4595  
「高齢社会に関する調査」担当

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス未利用者調査）

【問5で「1」～「5」と答えた方にうかがいます】

問5-1 あなたは日常行き来がある親族の方が近くにいらっしゃいますか。  
2が所以上にいらっしゃる方は一番近いところをお答えください。(〇は1つ)

1. 同じ町内（小学校区程度）にいる
2. 同じ区内にいる
3. 福岡市内にいる
4. 福岡県内にいる
5. 福岡県外にいる
6. 日常行き来がある親族はいない

ここから再びすべての方にうかがいます

問6 あなたの世帯全員の年間総収入額（総込み）はどれくらいですか。(〇は1つ)

1. 50万円未満
2. 50～100万円未満
3. 100～150万円未満
4. 150～200万円未満
5. 200～300万円未満
6. 300～400万円未満
7. 400～500万円未満
8. 500～600万円未満
9. 600～1,000万円未満
10. 1,000万円以上

問7 あなたの要介護度は次のどれですか。(〇は1つ)

1. 要支援1
2. 要支援2
3. 要介護1
4. 要介護2
5. 要介護3
6. 要介護4
7. 要介護5
8. わからない

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス未利用者調査）

問8 あなたが現在抱えている病は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 脳血管疾患〈脳卒中〉
2. 心疾患〈心臓病〉
3. 悪性新生物〈がん〉
4. 呼吸器疾患
5. 腎疾患〈透析〉
6. 筋骨格系疾患〈骨粗しょう症、脊柱管狭窄症など〉
7. 膠原病〈関節リウマチ含む〉
8. 変形性関節疾患
9. 認知症
10. パーキンソン病
11. 難病〈パーキンソン病を除く〉
12. 糖尿病
13. 眼科・耳鼻科疾患〈視覚・聴覚障害を伴うもの〉
14. その他〔 〕
15. ない
16. わからない

問9 介護が必要な状態となった原因は何ですか。(〇は1つ)

1. 脳血管疾患〈脳出血、脳こうそく、くも膜下出血など〉
2. 心臓病
3. 糖尿病
4. 呼吸器疾患〈肺炎、ぜんそくなど〉
5. パーキンソン病
6. 骨粗しょう症
7. リウマチ
8. リウマチ以外の関節疾患
9. 腰痛症
10. 認知症
11. 転倒などによる骨折
12. 高齢による衰弱
13. その他〔 〕
14. 不明

## 福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス未利用者調査）

問10 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(○は1つ)  
※同居していない子どもや親族などからの介護を含みます。

1. ない
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない
3. 週に1～2日ある
4. 週に3～4日ある
5. ほぼ毎日ある

## 2 日常生活についておたずねします

問11 あなたのお住まいは次のどれですか。(○は1つ)

1. 持ち家・戸建て
2. 分譲マンション
3. 借家・戸建て
4. 民間の賃貸マンション、アパート
5. 市営・県営住宅
6. UR（都市再生機構（旧公団）・公社などの賃貸住宅）
7. サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け住宅
8. 有料老人ホーム・ケアハウス
9. その他 [ ]

問12 現在の住まいで困っていることはありますか。(○はいくつでも)

1. せまい
2. 老朽化している
3. 手すりがなく、室内に段差があるなどバリアフリー化されていない
4. 日照・騒音など、環境が悪い
5. 家賃が高い
6. 立ち退き要求をうけている
7. 自分の居るがいない
8. 集合住宅のエレベーターがない
9. その他 [ ]
10. 特にない

## 福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス未利用者調査）

問13 現在、施設などへの入所・入居を検討していますか。(○は1つ)

※「施設など」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホームなど）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

1. 入所・入居を検討していない
2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている

問14 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、どんなサービスですか。(○はいくつでも)

※総合事業に基づく支援サービスは、「介護保険サービス」に含まれます。

1. 配食（弁当の宅配など）
2. 調理
3. 掃除・洗濯
4. 買い物（宅配は含まない）
5. ゴミ出し
6. 外出同行（通院、買い物など）
7. 移送サービス（介護・福祉タクシーなど）
8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他 [ ]
11. 利用していない

問15 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感ずる支援・サービスを含む）は、どんなサービスですか。

(○はいくつでも)

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

1. 配食（弁当の宅配など）
2. 調理
3. 掃除・洗濯
4. 買い物（宅配は含まない）
5. ゴミ出し
6. 外出同行（通院、買い物など）
7. 移送サービス（介護・福祉タクシーなど）
8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他 [ ]
11. 特にない

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険在宅サービス未利用者調査)

問16 あなただけは日常生活の支援を、どなたから受けていますか。(〇は1つ)

1. 同居の家族や親族
2. 近所の知人や民生委員・児童委員などの地域の人
3. 近所の家族や親族など
4. 市役所
5. 訪問看護など
6. その他 [ ]
7. 特に支援などは受けていない

問17 食料や日用品の買い物には、どれくらいの頻度で行っていますか。(〇は1つ)

1. 毎日
2. 週に5～6回
3. 週に3～4回
4. 週に1～2回

問18 食料や日用品の買い物で、困っていることはありますか。(〇は1つ)

1. ある
2. ない

3 介護保険サービスについておたずねします

問19 あなただけは、介護保険の在宅サービスを利用したことがありますか。(〇は1つ)

1. 利用したことはない
2. 福祉用具の貸与・購入または住宅改修のみ利用したことがある ⇒ 問19-1
3. 以前はホームヘルプやデイサービスなどを利用していた
4. 現在は利用している ⇒ 問20

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険在宅サービス未利用者調査)

【問19で「1」～「3」と答えた方にかかっています】

問19-1 現在、介護保険サービス(福祉用具の貸与・購入、住宅改修以外)を利用して  
いない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 現状では、介護保険サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人に介護保険サービス利用の希望がない
3. 家族が介護するため必要ない
4. 以前、利用していた介護保険サービスに不満があった
5. 利用料を支払うことが難しい
6. 利用したい介護保険サービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. 介護保険サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない
9. その他 [ ]

ここから再びすべての方にかかっています

問20 現在、在宅で生活する上で、どのようなことに困っていますか。(〇はいくつでも)

1. 夜間や緊急時の不安がある
2. 介護者に用事があるときなど、一時的に入浴する施設がない
3. 自宅に閉じこもりがちになるなど、近所との交流がない
4. その他 [ ]
5. 特に困っていることはない

問21 今後の介護サービスの利用についてどのように考えていますか。(〇は1つ)

1. 近いうち在宅サービスを利用することを考えている
2. 要介護度が現在より重くなったら在宅サービスを利用したい
3. 家族介護が困難になったら在宅サービスを利用したい
4. 緊急時に在宅サービスを利用したい
5. 今後利用するなら施設サービスを利用したい
6. 将来的にもできるだけ利用したくない
7. その他 [ ]
8. わからない



福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険在宅サービス未利用者調査)

5 介護保険制度全般についておたずねします

問29 あなたは、介護保険制度全般について満足していますか。(〇は1つ)

1. 満足
2. やや満足
3. どちらともいえない
4. やや不満
5. 不満

問30 介護保険制度で不満に思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 介護認定の申請がわずらわしいこと
2. 介護サービス事業者について、情報が少ない、わかりにくい、不安があること
3. 希望するサービスが受けられないこと(利用するまでに日数がかかるなど)
4. サービス内容が良くないこと
5. 介護サービス事業者との契約がわずらわしいこと
6. サービスの利用料金が高いこと
7. 介護保険料が高いこと
8. その他( )
9. 特になし

問31 あなたにとって介護保険制度でわかりにくいところはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

1. 要介護認定を受けるための手続き
2. 要介護認定通知が届いてから、サービスを利用するまでの手続き
3. ケアプラン(介護保険サービスの利用計画)を作成するまでの手続き
4. サービスの種類や内容、利用の仕組み
5. 介護サービス事業者をどうやって選んだらよいか
6. 介護サービス事業者との契約手続き
7. 不満や苦情の相談先
8. 介護保険料の内容
9. その他( )
10. 特になし

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険在宅サービス未利用者調査)

問32 介護のことや市の福祉サービスなどについてわからないことや不満があるとき、あなたはまず、誰に(どこに)相談しますか。(〇は1つ)

1. 区役所の保健福祉窓口などの行政機関
2. いきいきセンターふくおか(地域包括支援センター)
3. ケアマネジャー(介護支援専門員)
4. ホームヘルパーやデイサービスセンターなどの介護サービス事業者
5. かかりつけの医師やかかりつけの薬剤師
6. 公民館や民生委員・児童委員など地域の人の家族や親族
8. 福岡県の介護保険窓口
9. 福岡県国民健康保険団体連合会
10. その他( )

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険在宅サービス未利用者調査)

(サービス内容の説明)

1	おむつサービス	介護用品 (紙おむつ・尿取りパッド) 費用の一部が助成される。 ※要介護3～5と認定されたおむつが必要な人が対象 ※要介護3～5と認定された65歳以上の人が対象 ※要介護3～5と認定された65歳以上の人が対象 ※要介護3～5と認定された65歳以上の人が対象 ※要介護3～5と認定された65歳以上の人が対象
2	寝具洗濯乾燥消毒サービス	寝具洗濯乾燥消毒サービスの費用の一部が助成される。 ※要介護4・5と認定された65歳以上の人で居住が保てない人が対象
3	移送サービス	寝具洗濯乾燥消毒サービスの費用の一部が助成される。 ※要介護4・5と認定された65歳以上の人で居住が保てない人が対象
4	あんしんショートステイ	家族の入居などで、介護保険のショートステイとは別に、施設に宿泊できる。 ※要介護1・2、要介護1～5と認定された65歳以上の人で、介護保険利用所得段階第1～5段階までの人が対象 ※要介護1・2、要介護1～5と認定された65歳以上の人で、介護保険を利用している家族を、一時的に介護から解放し、相互訪問・意見交換を行う交流会などを実施。 ※要介護1・2、要介護1～5と認定された65歳以上の人が対象
5	家族介護者のつらい	家族介護者のつらいの費用の一部が助成される。 ※要介護1～5と認定された65歳以上の人が対象
6	住宅改修助成	住宅改修助成の費用の一部が助成される。 ※要介護1～5と認定された65歳以上の人が対象

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険在宅サービス未利用者調査)

問33 あなただは、次に挙げるサービスを利用したことがありますか。また、現在利用していない場合は、今後利用したいと思いますか。(項目ごとに○は1つ)  
さらに、サービスを利用している場合は、それに対する満足度はいかがですか。(項目ごとに○は1つ)

「現在利用している」に○をしたら、その満足度をお書きください。

記入例	利用状況・利用意向					満足度			
	現在利用している	介護サービスなので、後援ひ利用したい	必要性を感じたら、利用したい	利用するつもりはない	わからない	満足している	やや満足している	あまり満足していない	不満である
1 おむつサービス	①	2	3	4	5	1	②	3	4
2 寝具洗濯乾燥消毒サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4
3 移送サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4
4 あんしんショートステイ	1	2	3	4	5	1	2	3	4
5 家族介護者のつらい	1	2	3	4	5	1	2	3	4
6 住宅改修助成	1	2	3	4	5	1	2	3	4

【問33で「不満である」と答えた方にうかがいます】

問33-1 具体的にどのようなことに不満がありますか。ご自由にお書きください。(自由記載)

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険在宅サービス未利用者調査)

**ここから再びすべての方にうかがいます**

**問34** 今後、どのような介護を受けていきたいと願いますか。(〇は1つ)

※ここで在宅とは、自宅または家族や親族の家を指します。

1. 在宅で、できるかぎり家族や親族だけの介護を受けたい
2. 在宅で、家族や親族の介護と介護保険サービスを併せて介護を受けたい
3. 在宅で、介護保険サービスを中心に介護を受けたい
4. 施設などに入所したいが、介護保険の在宅サービスが充実すれば、これからも在宅で生活したい
5. 住み慣れた地域の施設に入所したい
6. 住み慣れた地域でなくともよいので施設に入所したい
7. その他 ( )
8. わからない

あて名ご本人に対する質問は、ここまでです。

次のページからは、ご家族の方にご回答をお願いします。

なお、お一人暮らしの場合(ご家族の介護を受けていない場合)は、ここで調査は終了となります。

長時間にわたり調査にご協力いただき、本当にありがとうございました。

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険在宅サービス未利用者調査)

**このページからは、ご家族の方にご回答ください。**

**問35** 主な介護者の方はどなたですか。あて名のご本人(介護が必要な方)からみた続柄をお答えください。(〇は1つ)

1. 配偶者
2. 子
3. 子の配偶者
4. 孫
5. 兄弟・姉妹
6. その他 ( )

**問36** 主な介護者の方の性別は。(〇は1つ)

1. 男性
2. 女性

**問37** 主な介護者の方の状況は。(〇は1つ)

1. 同居
2. 別居

**問38** 主な介護者の方の年齢は。(〇は1つ)

1. 20歳未満
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代
7. 70代
8. 80歳以上
9. わからない

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険在宅サービス未利用者調査)

問39 ご家族やご親族の中で、あて名の方ご本人(介護が必要な方)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。(〇はいくつでも)

※現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

1. 主な介護者が仕事を辞めた。(転職除く)
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた。(転職除く)
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

問40 主な介護者の方の現在の勤務形態は。(〇は1つ)

※ここでいう「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」などの方を含みます。自営業・フリーランスなどの方の場合も、就労時間・日数などから「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。

1. フルタイムで働いている
2. パートタイムで働いている } ⇒ 問40-1 ~ 問40-3へ
3. 働いていない } ⇒ 問41へ
4. 主な介護者に確認しないとわからない

【問40で「1」か「2」と答えた方にうかがいます】

問40-1 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整などをしていきますか。(〇はいくつでも)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、退社・早帰・中抜けなど)しながら働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇など)」を取りながら働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら働いている
6. 主な介護者に確認しないとわからない

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険在宅サービス未利用者調査)

【問40で「1」か「2」と答えた方にうかがいます】

問40-2 主な介護者の方は、勤務先からのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(〇は3つまで)

1. 自営業・フリーランスなどのため、勤務先はない
2. 介護休業・介護休暇などの制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)
5. 働く場所の多様化(在宅勤務、テレワークなど)
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他( )
10. 特にない
11. 主な介護者に確認しないとわからない

【問40で「1」か「2」と答えた方にうかがいます】

問40-3 主な介護者の方は、今後も動きながら介護を続けていけそうですか。

(〇は1つ)

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないとわからない

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険在宅サービス未利用者調査)

ここから再びすべての方にうかがいます  
問4.1 介護に関することについて、誰(どこ)に相談していますか。(〇はいくつでも)

1. ケアマネジャー (介護支援専門員)
2. 区役所
3. いきいきセンターふくおか(地域包括支援センター)
4. 友人、知人
5. 同居の家族
6. 別居の家族や親族
7. 近所の人
8. 介護者の団体(家族の会など)
9. 働く人の介護サポートセンター(※)

10. 福祉相談
11. その他〔 〕
12. 相談していない

※「働く人の介護サポートセンター」とは、仕事と介護の両立支援を目的として開設した、平日の仕事帰りや休日も対応する相談窓口です。専門の相談員が情報提供やアドバイスを行います。

各種情報提供コーナーも設置しています。

【所在地】福岡市中央区天神1-8-1 福岡市役所地下1階

【お問い合わせ先・予約先】TEL: 092-982-5407 FAX: 092-982-5409

【開設時間】月・水・金曜日: 12時~20時 日曜日: 10時~18時

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険在宅サービス未利用者調査)

問4.2 現在、主な介護者の方が行っている介護などは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 日中の排せ
2. 夜間の排せ
3. 食事の介助(食べる時)
4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ(洗顔、歯磨きなど)
6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動
8. 外出の付き添い、送迎など
9. 服薬
10. 認知症状への対応
11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマなど)
12. 食事の準備(調理など)
13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物など)
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
15. その他〔 〕
16. わからない

問4.3 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護などは何ですか。(〇は3つまで) ※現状で行っているか否かは問いません。

1. 日中の排せ
2. 夜間の排せ
3. 食事の介助(食べる時)
4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ(洗顔、歯磨きなど)
6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動
8. 外出の付き添い、送迎など
9. 服薬
10. 認知症状への対応
11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマなど)
12. 食事の準備(調理など)
13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物など)
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
15. その他〔 〕
16. 不安に感じていることは、特にない
17. 主な介護者に確認しないと、わからない

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険在宅サービス未利用者調査)

問44 今後、どのように介護していきたいと思えますか。(〇は1つ)

※ここで在宅とは、自宅または家族や親族の家を指します。

1. 在宅で、できるかぎり家族や親族だけで介護したい
2. 在宅で、家族や親族の介護と介護保険サービスを併せて介護したい
3. 在宅で、介護保険サービスを中心に介護したい
4. 施設への入所も検討するが、介護保険の在宅サービスが充実すれば、これからも在宅で介護したい
5. あて名の方ご本人(介護が必要な方)が住み慣れた地域にある施設への入所を、あて名の方ご本人と考えたい
6. あて名の方ご本人(介護が必要な方)が住み慣れた地域にある施設にかざらず、施設への入所を、あて名の方ご本人と考えたい
7. その他( )

問45 在宅で介護を続けるために、特に必要性が高い(利用したい)と思うサービスは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 夜間や緊急時の不安が解消されるサービス(必要なときの呼び出しサービスなど)
2. 昼間の見守りサービス
3. 重度の要介護者を地域の病院などが日中の一定時間預かるサービス
4. 身近な地域のデイサービスセンターやグループホームなどに泊まることのできるサービス
5. 定期的に特別養護老人ホームなどの施設に入所して、自宅と行き来しながら生活することのできるサービス
6. その他( )

問46 今後も在宅で介護を続けるために、特に支援が必要と思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 介護保険やその他の福祉サービスを充実する
2. 介護の悩みなどを相談できるところを整備する
3. 介護の技術を教える研修などを充実する
4. 介護保険やその他の福祉サービスなどについてわかりやすく情報を提供する
5. 在宅で高齢者を介護している人同士の交流の場を提供する
6. 介護者を支えるボランティアなどの地域活動を充実する
7. 介護者の心身のリフレッシュに対する支援を行う
8. その他( )
9. 特にない

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険在宅サービス未利用者調査)

問47 高齢者虐待(と思われること)を見たり、聞いたりした場合、市へ通報する義務があることを知っていますか。(〇は1つ)

※通報先は各区域保健福祉課やいきいきセンター・ふくおか(地域包括支援センター)

1. 知っている
2. 知らない

【高齢者虐待の例】

- ① 身体的虐待…「たく」「蹴る」「物を投げつける」など、痛みや身体にあざ・傷を与える行為
- ② 介護・世話の放棄・放任…介護や生活の世話をしている人が、入浴・食事・着替えなどの世話をしなくなり、高齢者の生活環境や身体・心の状態を悪化させる行為
- ③ 心理的虐待…「怒鳴る」「ののしる」「無視する」など、高齢者の心に苦痛を与える行為
- ④ 性的虐待…高齢者が性的に嫌がることを無理強いする行為
- ⑤ 経済的虐待…高齢者の財産やお金を勝手に使ったり制限したりする行為

問48 あなたは、「成年後見制度」を知っていますか。(〇は1つ)

1. 制度の名称だけでなく、内容も知っている
2. 制度の名称は知っているが、内容はよく知らない
3. 知らない

【成年後見制度とは】

認知症、知的障がい、精神障がいなどで判断能力が十分でない人のために、本人の権利を守る人(成年後見人等)を選ぶことで、法的的に本人を支える制度です。  
福岡市成年後見推進センターでは、制度の利用を必要とする人やその家族、支援者や関係機関からの相談を受け、制度の利用促進を図っています。

<福岡市成年後見推進センター>

所在地：福岡市中央区荒戸3-39 福岡市市民福祉プラザ(ふくふくプラザ)3階

問い合わせ先：TEL 092-753-6450 FAX 092-734-2010

受付時間：火曜日～土曜日 午前9時～午後5時(祝休日・年末年始を除く)

質問は以上です。

～ 長時間ご協力いただき、本当にありがとうございました ～

5. 介護保険施設等サービス利用者調査

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険施設等サービス利用者調査)

(注)本文中の「あなた」とは、**あて名の方ご本人のこと**を指します。

1 あなた自身のことについておたずねします

問1 現在、この調査票にご記入頂いている方は、どなたですか。(〇は1つ)

- 1. あて名の方ご本人
- 2. 家族・親族
- 3. 施設職員
- 4. その他 ( )

問2 あなたの性別は。(〇は1つ)

- 1. 男性
- 2. 女性

問3 あなたの年齢は。(令和4年10月1日現在) (〇は1つ)

- 1. 40～64歳
- 2. 65～69歳
- 3. 70～74歳
- 4. 75～79歳
- 5. 80～84歳
- 6. 85～89歳
- 7. 90歳以上

問4 あなたの要介護度は次のどれですか。(〇は1つ)

- 1. 要支援1
- 2. 要支援2
- 3. 要介護1
- 4. 要介護2
- 5. 要介護3
- 6. 要介護4
- 7. 要介護5
- 8. わからない

福岡市  
高齢社会に関する調査  
(介護保険施設等サービス利用者調査)

令和5年1月  
調査主体 福岡市

<ご記入にあたって>

- 1. この調査は、調査票をお送りしたあて名の方ご本人に回答していただくものです。また、ご本人による記入が困難な場合は、ご本人の意思に基づいて、ご家族や代理人の方が記入してください。
- 2. この調査票は、令和4年10月中に介護保険施設・グループホームに入所・入居されていた方にお送りしています。
- 3. 回答内容は、「知っている方は全体の何%」「こう思う方は全体の何%」といった形で統計的に整理いたしますので、お答えいただいた方の個人のご意見がそのまま表されることはありません。
- 4. 記入は鉛筆、ボールペンをお使いください。
- 5. 回答は、問の順番どおりに進み、当てはまる項目を1つ選んで、その番号を〇で囲んでください。指示があるとき(〇はいくつでも)などはそれに従ってください。
- 6. 疑問によっては回答していただく方が限られる場合がありますので、案内にそってお答えください。
- 7. 「その他」を選擇したときは、その内容を( )の中に具体的に記入してください。
- 8. ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、**2月20日(月)**までに、郵便ポストに投函してください。または、施設の職員の方にお渡しください。

< お問い合わせ先 >

福岡市福祉局高齢社会部 高齢社会政策課  
〒810-0620 福岡市中央区天神1-8-1 TEL: 092-711-4595  
「高齢社会に関する調査」担当

## 福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険施設サービス利用者調査）

## 問5 施設などに入る前のご家族の状況は、(○は1つ)

1. 一人暮らし世帯
2. 夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯
3. 夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯
4. 夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯
5. あなたとその他の同居者（65歳以上の方）のみの世帯
6. 二世帯同居世帯（65歳未満の方がいらっしゃる世帯）
7. 三世帯同居世帯
8. その他の世帯

## 問6 あなたの世帯全員の年間総収入額（税込み）はどれくらいですか。(○は1つ)

1. 50万円未満
2. 50～100万円未満
3. 100～150万円未満
4. 150～200万円未満
5. 200～300万円未満
6. 300～400万円未満
7. 400～500万円未満
8. 500～600万円未満
9. 600～1,000万円未満
10. 1,000万円以上

## 問7 現在、あなたが入っている施設などの種類は、次のどれに当てはまりますか。

(○は1つ)

1. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
2. 介護老人保健施設（老人保健施設）
3. 介護療養型医療施設（療養病床など）
4. 介護医療院
5. グループホーム

- 2 -

## 福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険施設サービス利用者調査）

## 問8 面会や外泊など、日頃からかわりのある親族の方が施設などの近くにいますか。(○は1つ)

1. 同じ町内（小学校区程度）にいる
2. 同じ区内にいる
3. 福岡市内にいる
4. 福岡県内にいる
5. 福岡県外にいる
6. 日頃からかわりのある親族はいない

## 問9 現在の施設などに入る前は、どちらにいましたか。(○は1つ)

1. 自宅（ショートステイ利用を含む）
2. 子どもの家
3. その他の親族の家
4. 病院
5. 有料老人ホームやケアハウスなど
6. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
7. 介護老人保健施設（老人保健施設）
8. 介護療養型医療施設（療養病床等）
9. 介護医療院
10. グループホーム
11. その他の施設
12. その他（）

## 問10 なぜ施設などへの入所を希望したのですか。(○は1つ)

1. 段差があるなど、住まいに問題があったから
2. 一人暮らしなど、介護する家族がいなかったから
3. 家族の介護では負担が重すぎたから
4. 日中や夜間に見守りしてくれる人がいなかったから
5. 在宅サービスより施設などの方が、経済的負担が少ないと思ったから
6. 在宅での介護より、施設などの方が十分な介護を受けられるから
7. その他（）

- 3 -

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険施設サービス利用者調査)

問11 あなたが現在抱えている傷病は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 脳血管疾患 (脳卒中)
2. 心疾患 (心臓病)
3. 悪性新生物 (がん)
4. 呼吸器疾患
5. 腎疾患 (透析)
6. 筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、脊柱管狭窄症など)
7. 膠原病 (関節リウマチ含む)
8. 変形性関節疾患
9. 認知症
10. パーキンソン病
11. 難病 (パーキンソン病を除く)
12. 糖尿病
13. 眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障がいを含むもの)
14. その他 [ ]
15. ない
16. わからない

問12 介護が必要な状態となった原因は何ですか。(〇は1つ)

1. 脳血管疾患 (脳出血、脳こうそく、くも膜下出血など)
2. 心臓病
3. 糖尿病
4. 呼吸器疾患 (肺炎、ぜんそくなど)
5. パーキンソン病
6. 骨粗しょう症
7. リウマチ
8. リウマチ以外の関節疾患
9. 腰痛症
10. 認知症
11. 転倒などによる骨折
12. 高齢による衰弱
13. その他 [ ]
14. 不明

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険施設サービス利用者調査)

問13 万一、あなたが治る見込みがない病気になる場合、最期はどこで迎えたいですか。(〇は1つ)

1. 現在、入っている施設
2. 医療機関
3. 自宅 (家族や親族の家を含む)
4. その他 [ ]
5. わからない

2. 利用している介護保険施設・グループホームについておたずねします

【介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)】【介護老人保健施設 (老人保健施設)】【介護療養型医療施設 (療養病床など)】【介護医療院】に入所している方 (問7で「1」～「4」と答えた方) にかかっています ※「グループホーム」に入所している方は回答不要です。

問14 あなたの食費の負担限度額認定の段階はどれですか。(〇は1つ)

1. 第1段階 (食費 1日あたり 3,000円)
2. 第2段階 (食費 1日あたり 3,900円)
3. 第3段階① (食費 1日あたり 6,500円)
4. 第3段階② (食費 1日あたり 1,360円)
5. 対象外・非該当
6. わからない

ここから再びすべての方にかかっています

問15 あなたの負担額 (1割、2割または3割負担、食費・居住費の自己負担額、日常生活費などの合計) は月額いくらぐらいですか。(〇は1つ)

※高額介護サービス費等を受給している場合は、その額を差し引いた残りの金額

1. 5万円未満
2. 5万円～7万円未満
3. 7万円～9万円未満
4. 9万円～11万円未満
5. 11万円～13万円未満
6. 13万円～15万円未満
7. 15万円以上

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険施設サービス利用者調査)

問16 現在、利用料金はどなたが負担していますか。(〇は1つ)

1. すべて本人
2. 本人及び家族
3. すべて家族
4. その他 [ ]

問17 現在の負担額(1割、2割または3割負担、食費・居住費の自己負担額、日常生活費などの合計)をどう思いますか。(〇は1つ)

1. 安いと思う
2. やや安いと思う
3. 適当だと思う
4. やや高いと思う
5. 高いと思う

問18 施設などに入るに当たり、利用料金とサービスの関係についてのようを考えますか。(〇は1つ)

1. 少額は利用料金が高くても合格率がよい
2. 利用料金が安ければ個室がよいが、高いのであれば多床室でもよい
3. 多床室程度の料金で入れる個室があれば、個室に入りたい
4. 部屋の種類は問わず、利用料金が安いほどよい
5. 多床室がよい
6. その他 [ ]

問19 施設などを選ぶときに、特にどのようなことを重視して決めますか。(〇はいくつでも)

1. 自宅または家族や親族の家に近い
2. 知り合いや友人が利用している
3. 施設などの運営方針
4. 職員の資格や経験年数
5. 職員の態度や対応
6. 施設などの独自のサービス
7. 評判がよい
8. 設備などが整っている
9. 個室がある
10. 多床室がある

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険施設サービス利用者調査)

- 1.1. 費用が安い
- 1.2. 苦情や相談の窓口が整っている
- 1.3. 事故の際の体制や保険が充実している
- 1.4. 医療・リハビリの体制が整っている
- 1.5. 交通の利便性がよい
- 1.6. その他 [ ]

問20 現在の施設などに満足していますか。(〇は1つ)

1. 満足
  2. やや満足
  3. どちらともいえない
  4. やや不満
  5. 不満
- ⇒ 問21へ
- ⇒ 問20-1へ

【問20で「4」か「5」と答えた方にうかがいます】

問20-1 もっと充実させてほしいのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

1. 個室に入ることができるなど施設の環境
2. 家族との連絡
3. 地域の住民の方との交流
4. 職員の体制(職員がもっと多いとよい)
5. レクリエーションの充実
6. 食事の内容
7. 職員の介護技術・待遇
8. プライバシーの確保
9. いつでも相談ごとなどを聞いてくれること
10. リハビリテーションの体制
11. 医療サービス
12. 自分の最期に関する希望を相談する窓口
13. その他 [ ]

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険施設サービス利用者調査）

**3 介護保険制度全般についておたずねします**

ここから再びすべての方にかがいます

問21 あなたは、介護保険制度全般について満足していますか。（〇は1つ）

1. 満足
2. やや満足
3. どちらともいえない
4. やや不満
5. 不満

問22 介護保険制度で不満に思うことは何ですか。（〇はいくつでも）

1. 介護認定の申請がわずらわしいこと
2. 介護サービス事業者について、情報が少ない、わかりにくい、不実があること
3. 希望するサービスが受けられないこと（利用するまでに日数がかかるなど）
4. サービス内容がよくないこと
5. 介護サービス事業者との契約がわずらわしいこと
6. サービスの利用料金が高いこと
7. 介護保険料が高いこと
8. その他 [ ]
9. 特にない

問23 あなたにとって介護保険制度でわかりにくいところはどのようなことですか。（〇はいくつでも）

1. 要介護認定を受けるための手続き
2. 要介護認定通知が届いてから、サービスを利用するまでの手続き
3. ケアプラン（介護保険サービスの利用計画）を作成するまでの手続き
4. サービスの種類や内容、利用の仕組み
5. 介護サービス事業者をどうやって選んだらよいか
6. 介護サービス事業者との契約手続き
7. 不満や苦情の相談先
8. 介護保険料の内容
9. その他 [ ]
10. 特にない

質問は以上です。

～ 長時間ご協力いただき、本当にありがとうございました ～

6. 介護支援専門員調査

福岡市 高齢社会に関する調査（介護支援専門員調査）

1 勤務などの状況についておたずねします

問1 あなたの性別は、(○は1つ)

- 1. 男性
- 2. 女性

問2 あなたの年齢は、(令和4年10月1日現在)(○は1つ)

- 1. 20代
- 2. 30代
- 3. 40代
- 4. 50代
- 5. 60歳以上

問3 あなたが介護支援専門員として働き始めてから何年ですか。(○は1つ)

- 1. 1年未満
- 2. 1年～2年未満
- 3. 2年～3年未満
- 4. 3年～6年未満
- 5. 6年以上

問4 あなたが現在勤めている居宅介護支援事業所、いきいきセンターふくおか(地域包括支援センター)は、介護支援専門員として働き始めて何か所目の事業所ですか。(異動などによる同一法人内での勤務地の変更は除きます)

[ ] か所目

福岡市  
高齢社会に関する調査  
(介護支援専門員調査)

令和5年1月  
調査主体 福岡市

< ご記入にあたって >

- 1. この調査は、調査票をお送りした居宅介護支援事業所、いきいきセンターふくおかに所属している介護支援専門員の方に直接記入していただくものです。
- 2. 回答内容は、「知っている方は全体の何%」「こう思う方は全体の何%」といった形で統計的に整理いたしますので、お答えいただいた方の個人のご意見がそのまま公表されることはありません。
- 3. 記入は鉛筆、ボールペンをお使いください。
- 4. 回答は、問の順番どおりに進み、当てはまる項目を1つ選んで、その番号を○で囲んでください。指示があるとき(○はいくつでも)などはそれに従ってください。
- 5. 質問によっては回答していただく方が限られる場合がありますので、案内にそってお答えください。
- 6. 「その他」を選ばれたときは、その内容を〔 〕の中に具体的に記入してください。
- 7. ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、2月20日(月)までに、郵便ポストに投函してください。

< お問い合わせ先 >

福岡市福祉局高齢社会部 高齢社会政策課  
〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1 TEL: 092-711-4595  
「高齢社会に関する調査」担当

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

問5 あなたが介護支援専門員以外に取得している資格などは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 医師
2. 歯科医師
3. 薬剤師
4. 保健師
5. 助産師
6. 看護師
7. 准看護師
8. 理学療法士
9. 作業療法士
10. 社会福祉士
11. 介護福祉士
12. 視能訓練士
13. 義肢装具士
14. 歯科衛生士
15. 言語聴覚士
16. あん摩マッサージ指圧師
17. はり師
18. きゆう師
19. 柔道整復師
20. 栄養士(管理栄養士を含む)
21. 精神保健福祉士
22. その他 ( )

問6 あなたの勤務形態は次のうちどれですか。(〇は1つ)

1. 常勤・専従 ⇒ 問7へ
2. 常勤・兼務 ⇒ 問6-1 問6-2へ
3. 非常勤・専従 ⇒ 問7へ
4. 非常勤・兼務 ⇒ 問6-1 問6-2へ

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

【問6で「2」か「4」か「4」と答えた方にかがいます】

問6-1 どのような業務を兼務していますか。(〇はいくつでも)

1. 管理・事務業務
2. 医療系サービス
3. 介護サービス
4. 相談業務
5. その他 ( )

【問6で「2」か「4」か「4」と答えた方にかがいます】

問6-2 1週間のうち、居宅介護支援、介護予防支援に従事する時間は平均どれくらいですか。

平均 ( ) 時間

ここから押ひすべの方にかがいます

問7 あなたが所属している居宅介護支援事業所、いきいきセンター・ふくおか(地域包括支援センター)の法人種別などは何ですか。(〇は1つ)

1. 社会福祉法人
2. 医療法人
3. 社団法人・財団法人
4. 営利法人・民間企業(株式会社、有限会社など)
5. 特定非営利活動法人(NPO法人)
6. 消費者生活協同組合
7. その他 ( )

問8 あなたが所属している居宅介護支援事業所、いきいきセンター・ふくおか(地域包括支援センター)には、あなたを営めて何人の介護支援専門員がいますか。

( ) 人

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

2 ケアマネジメントについてお答えねします

※以下の設問 (問9～問14-2) は、令和4年10月の状況についてお答えください

問9 あなたが給付管理を行ったケース(利用者が10月にサービスを利用し、介護報酬の対象となったケース)は何件ですか。

[ ] 件

問10 市の福祉サービス、ボランティアなどの保険外サービスを組み合わせて作成したケアプランはありますか。(〇は1つあればその件数も記入してください)

1. ある [ ] 件 ⇒ 問10-1へ  
 2. ない ⇒ 問11へ

【問10で「1」と答えた方にうかがいます】

問10-1 そのサービスの種類は何ですか。該当するものの番号を○で囲んでください。(〇はいくつでも)

1. 緊急通報システム
2. 声の初問
3. おむつサービス
4. 寝具洗濯乾燥消毒サービス
5. 移送サービス
6. あんしんジョイントステイ
7. 認知症の人の見守りネットワーク (登録制度、捜してメール、捜索システム)
8. ふれあいサロン
9. ボランティア、NPO、企業などが行う保険外サービス ⇒ 問10-2 問10-3へ
10. その他 [ ]

※「9」を選択していない場合は、  
問10-3へ

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

【問10-1で「9」と答えた方にうかがいます】

問10-2 ケアプランで組み合わせた保険外サービスの内容は何ですか。

(〇はいくつでも)

1. ごみ出し
2. 買い物
3. 外出の手助け (行先、介助、送迎など)
4. 掃除
5. 話し相手
6. 洗濯
7. 食事の準備・調理・後始末など
8. 草取り・庭木の剪定
9. 家の中の簡単な修理や電球交換など
10. その他 [ ]

【問10で「1」と答えた方にうかがいます】

問10-3 現在不足しており、今後充実が必要と思うサービスは何ですか。

(〇はいくつでも)

1. 緊急通報システム
2. 声の初問
3. おむつサービス
4. 寝具洗濯乾燥消毒サービス
5. 移送サービス
6. あんしんジョイントステイ
7. 認知症の人の見守りネットワーク (登録制度、捜してメール、捜索システム)
8. ふれあいサロン
9. ボランティア、NPO、企業などが行う保険外サービス ⇒ 問10-4へ
10. その他 [ ]

※「9」を選択していない場合は、  
問11へ

福岡市 高齢社会に関する調査（介護支援専門員調査）

【問10-3で「9」と答えた方にかがいます】

問10-4 今後充実が必要な保険外サービスの具体的な内容は何ですか。（〇は3つまで）

1. ごみ出し
2. 買い物
3. 外出の手助け（付添、介助、送迎など）
4. 掃除
5. 話し相手
6. 洗濯
7. 食身の準備・調理・後片付けなど
8. 草取り・庭木の剪定
9. 家の中の簡単な修理や地球交換など
10. その他 [ ]

ここから再びすべての方にかがいます

問11 介護サービス受給者の場合、どのような「見守り」サービスが必要だと思いますか。

1. 近隣住民の見守り
2. 緊急通報システム
3. 声の訪問
4. 民間の見守りサービス（警備会社、携帯電話など）
5. 民生委員による見守り
6. 特に必要がない

問12 どのような「見守り」サービスを今後充実させるとよいと思いますか。

（〇は2つまで）

1. 近隣住民の訪問による見守り
2. 近隣住民が外から様子を知りすぎりげない見守り
3. 訪問員が訪問する見守り
4. 電話やメールのやり取りを行う見守り
5. ごみ収集や宅配など他のサービスの利用しての見守り
6. その他 [ ]

福岡市 高齢社会に関する調査（介護支援専門員調査）

問13 認知症の方の支援体制として、どのようなものが不足していると考えますか。（〇は2つまで）

1. 認知症に関する知識・対応方法・相談窓口などの普及啓発（広聴、講座、講演会など）
2. 認知症の治療が受けられる身近な医療機関（かかりつけ医）
3. 認知症治療や介護に関する情報が入手できる仕組み
4. 認知症の人が緊急時に入院・入所できる病院・施設
5. 認知症の人の地域で見守るしくみや居場所
6. 認知症の人の家族に対する支援
7. 認知症の人が活躍できる場・機会
8. 認知症の人の財産や権利を守るための仕組み
9. 認知症の人にもやさしい商品・サービスの開発・促進
10. その他 [ ]

問14 在りでの生活が困難なケースはありますか。（〇は1つ）

あればその件数も記入してください。

1. ある [ ] 件 ⇒ 問14-1 [ ] 問14-2 [ ]
2. ない ⇒ 問15 [ ]

【問14で「1」と答えた方にかがいます】

問14-1 具体的にどのようなケースですか。該当するものの番号を〇で囲んでください。（〇はいくつでも）  
また、そのケースの件数も記入してください。

番号	具体的なケース	件数
1	認知症があり、BPSD（行動・心理症状）がある	件
2	食事や排せつなどのADL悪化により、一人での生活が難しくなった	件
3	在宅サービスのリハビリだけでは時間や回数が足りず、施設入所してさらにリハビリを受ける必要がある	件
4	H中、介護する家族等がいけないなど、家族の介護が不十分である	件
5	家族の介護放棄・虐待など家庭環境に問題がある	件
6	家族に介護疲れが生じている	件
7	その他 [ ]	件

福岡市 高齢社会に関する調査（介護支援専門員調査）

【問14で「1」と答えた方にかがいます】  
 問14-2 どのような支援（サービス）があれば、在宅での生活を続けられると思いますか。ご自由にお書きください。（自由記載）

福岡市 高齢社会に関する調査（介護支援専門員調査）

ここから再びすべての方にかがいます

問16 これまでに定期巡回・随時対応型訪問介護看護を計画に位置付けたことがありませ

るか。（〇は1つ）

あればその件数もご記入ください。

1. ある [ ] 件 ⇒ 問17へ

2. ない ⇒ 問16-1へ

【問16で「2」と答えた方にかがいます】

問16-1 これまで計画に位置付けていない理由をお答えください。（〇はいくつでも）

1. 利用が適切と思われる対象者が分らないため
2. 利用が適切と思われる対象者がいかなかったため
3. 事業所が利用者の居住場所の近隣になかったため
4. 包括報酬であるため、利用者が希望しなかったため
5. 利用者の希望する利用形態と定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所が提供できるサービスが一致しなかったため
6. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の事業所の存在自体を知らなかったため
7. その他 [ ]

福岡市 高齢社会に関する調査（介護支援専門員調査）

【問14で「1」と答えた方にかがいます】  
 問14-2 どのような支援（サービス）があれば、在宅での生活を続けられると思いますか。ご自由にお書きください。（自由記載）

ここから再びすべての方にかがいます

問15 これまでに小規模多機能型居宅介護を計画に位置付けたことがありませ

るか。（〇は1つ）

あればその件数もご記入ください。

1. ある [ ] 件 ⇒ 問16へ

2. ない ⇒ 問15-1へ

【問15で「2」と答えた方にかがいます】

問15-1 これまで計画に位置付けていない理由をお答えください。（〇はいくつでも）

1. 利用が適切と思われる対象者が分らないため
2. 利用が適切と思われる対象者がいかなかったため
3. 事業所が利用者の居住場所の近隣になかったため
4. 包括報酬であるため、利用者が希望しなかったため
5. 利用者の希望する利用形態と小規模多機能型居宅介護事業所が提供できるサービスが一致しなかったため
6. 居宅介護支援業務を小規模多機能型居宅介護事業所が行うことになるため
7. その他 [ ]

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

ここから再びすべての方にかがいます

問17 介護支援専門員としてケアプランを作成するに当たり、全体的に利用しにくいサービスがあれば、その理由について、該当するものに○をつけてください。(○はいくつでも)

	【記入例】訪問介護					その他の内容	
	事業者の質が悪い	サービスの利用料が高い	サービスの利用料が安い	サービスの利用料がわからない	サービスの内容がわからない		
1	訪問介護	1	2	3	4	5	
2	(介護予防) 訪問入浴介護	1	2	3	4	5	
3	(介護予防) 訪問看護	1	2	3	4	5	
4	(介護予防) 訪問リハビリテーション	1	2	3	4	5	
5	(地域密着型) 通所介護	1	2	3	4	5	
6	(介護予防) 訪問リハビリテーション	1	2	3	4	5	
7	(介護予防) 福祉用具貸与	1	2	3	4	5	
8	(介護予防) 居宅療養管理指導	1	2	3	4	5	
9	(介護予防) 短期入所生活介護	1	2	3	4	5	
10	(介護予防) 短期入所療養介護	1	2	3	4	5	
11	(介護予防) 特定福祉用具販売	1	2	3	4	5	
12	住宅改修	1	2	3	4	5	
13	(介護予防) 小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4	5	
14	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	2	3	4	5	
15	夜間対応型訪問介護	1	2	3	4	5	
16	(介護予防) 認知症対応型通所介護	1	2	3	4	5	
17	介護小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4	5	
18	介護予防訪問サービス	1	2	3	4	5	
19	介護予防通所サービス	1	2	3	4	5	
20	生活支援型訪問サービス	1	2	3	4	5	
21	生活支援型通所サービス	1	2	3	4	5	
22	その他の介護(予防)サービス	1	2	3	4	5	

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

問18 介護支援専門員としてケアプランを作成するに当たり、全体的に必ずしも必要ではないが、計画に組み込んでいるサービス(過剰サービス)があれば、その理由について、該当するものに○をつけてください。(○はいくつでも)

	【記入例】訪問介護					その他の内容	
	必要と思われるサービスが提供されていない	必要と思われるサービスが提供しにくい	必要と思われるサービスが提供しすぎ	必要と思われるサービスが提供しにくい	必要と思われるサービスが提供しすぎ		
1	訪問介護	1	2	3	4	5	
2	(介護予防) 訪問入浴介護	1	2	3	4	5	
3	(介護予防) 訪問看護	1	2	3	4	5	
4	(介護予防) 訪問リハビリテーション	1	2	3	4	5	
5	(地域密着型) 通所介護	1	2	3	4	5	
6	(介護予防) 訪問リハビリテーション	1	2	3	4	5	
7	(介護予防) 福祉用具貸与	1	2	3	4	5	
8	(介護予防) 居宅療養管理指導	1	2	3	4	5	
9	(介護予防) 短期入所生活介護	1	2	3	4	5	
10	(介護予防) 短期入所療養介護	1	2	3	4	5	
11	(介護予防) 特定福祉用具販売	1	2	3	4	5	
12	住宅改修	1	2	3	4	5	
13	(介護予防) 小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4	5	
14	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	2	3	4	5	
15	夜間対応型訪問介護	1	2	3	4	5	
16	(介護予防) 認知症対応型通所介護	1	2	3	4	5	
17	介護小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4	5	
18	介護予防訪問サービス	1	2	3	4	5	
19	介護予防通所サービス	1	2	3	4	5	
20	生活支援型訪問サービス	1	2	3	4	5	
21	生活支援型通所サービス	1	2	3	4	5	
22	その他の介護(予防)サービス	1	2	3	4	5	

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

問19 介護支援専門員としてケアプランを作成するに当たり、全体的に不足していると思うサービスがあれば、その理由について、該当するものに○をつけてください。(○はいくつでも)

【記入例】訪問介護	1	2	3	4	5	6	その他の内容
1 訪問介護	1	2	3	4	5	6	その他
2 (介護予防)訪問入浴介護	1	2	3	4	5	6	その他
3 (介護予防)訪問介護	1	2	3	4	5	6	その他
4 (介護予防)訪問リハビリテーション	1	2	3	4	5	6	その他
5 (地域密着型)通所介護	1	2	3	4	5	6	その他
6 (介護予防)通所リハビリテーション	1	2	3	4	5	6	その他
7 (介護予防)福祉用具貸与	1	2	3	4	5	6	その他
8 (介護予防)居宅療養管理指導	1	2	3	4	5	6	その他
9 (介護予防)短期入所生活介護	1	2	3	4	5	6	その他
10 (介護予防)短期入所療養介護	1	2	3	4	5	6	その他
11 (介護予防)特定福祉用具販売	1	2	3	4	5	6	その他
12 在宅研修	1	2	3	4	5	6	その他
13 (介護予防)小規模多機能居宅介護	1	2	3	4	5	6	その他
14 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	2	3	4	5	6	その他
15 夜間対応型訪問介護	1	2	3	4	5	6	その他
16 (介護予防)認知症対応型訪問介護	1	2	3	4	5	6	その他
17 看護小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4	5	6	その他
18 介護予防型訪問サービス	1	2	3	4	5	6	その他
19 介護予防型通所サービス	1	2	3	4	5	6	その他
20 生活支援型訪問サービス	1	2	3	4	5	6	その他
21 生活支援型通所サービス	1	2	3	4	5	6	その他
22 その他の介護(予防)サービス	1	2	3	4	5	6	その他

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

問20 サービス提供事業所に関する情報収集や連絡・調整はどのようにしていますか。(○はいくつでも)

1. サービス提供事業所のパンフレットなどの収集
2. サービス提供事業所のホームページの閲覧
3. 地域単位の事業者情報誌などを閲覧
4. 市のホームページを閲覧
5. 介護サービス情報公表システムを閲覧
6. 事業者協議会に参加
7. 区の介護支援専門員の連絡会などに参加
8. 電話・面談などで直接、事業所に問い合わせ
9. その他 [ ]
10. 特に行っていない

問21 ケアプランの作成に当たり、医療機関などからの情報収集などは、どのようにしていますか。(○はいくつでも)

1. 主治医意見書を区役所から入手
2. 主治医連絡票などを利用して問い合わせ
3. 主治医へ電話・面談などで直接問い合わせ
4. ケアノート
5. その他 [ ]
6. 特に行っていません

問22 本人の残存能力の維持・向上につながる支援ができたと思うケアプランを、これまでにどの程度作成できたと考えますか。(○は1つ)

1. 1割以下 ⇒ 問22-1へ
2. 1～2割程度
3. 3～4割程度
4. 5～6割程度 ⇒ 問23へ
5. 7～8割程度
6. 9割以上

福岡市 高齢社会に関する調査（介護支援専門員調査）

【問22で「1」か「2」と答えた方にかがいます】

問22-1 そのように考える理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 対象者自身が、求めている支援以外は受け入れれない。または積極的に受け入れれない
2. 家族が必要と思うサービスのみを強く要望され、介護支援専門員の意見は求めない(受け入れない)
3. 「残存能力の維持向上につながる支援」について、介護支援専門員自身の知識または認識が不足している
4. プランが「残存能力の維持向上につながるが」の判断ができない、あるいは自信が持てない
5. 「残存能力の維持向上につながる」支援について相談できる人がいない
6. 「残存能力の維持向上につながる」サービスや地域情報について把握が不十分である
7. 対象者の生活圏域に介護サービス以外に利用できるインフォーマルサービスが不足している
8. その他 [ ]

ここから再びすべての方にかがいます

問23 ケアプランを作成する上で、分からないことや困ったことがあったとき、主に誰に相談していますか。(〇は1つ)

1. 同一法人の介護支援専門員
2. 他法人の介護支援専門員
3. 区の介護支援専門員の連絡会など
4. いきいきセンター・ふくおか(地域包括支援センター)
5. 区役所
6. 福岡市福祉局
7. 福岡県保健医療介護部
8. 国民健康保険団体連合会
9. その他 [ ]

10. 相談できる相手がいらない

福岡市 高齢社会に関する調査（介護支援専門員調査）

問24 どのようなことを相談していますか。(〇はいくつでも)

1. 多方面に問題を抱えている事例への対応に関すること
2. 利用者・家族等の意見調整に関すること
3. サービスの適否判断
4. 「3. サービスの適否判断」以外の介護支援専門員業務に関すること
5. 介護保険外のサービス利用に関すること
6. 介護報酬請求事務に関すること
7. その他 [ ]
8. 特に相談することはない

問25 ケアプランを作成する際に、何を重視してサービスを組み立てていますか。下記の項目から上位3つを選択し、その番号を記入してください。

- 1位 [ ]
- 2位 [ ]
- 3位 [ ]

1. 自立支援の視点
2. 本人の希望
3. 本人の残存能力
4. 課題分析の結果
5. 家族の希望
6. 主治医の意見
7. 事業所の意向
8. その他 [ ]

問26 あなたは利用者に対して、どのような基準を重視してサービス事業所を紹介していますか。(〇は2つまで)

1. 利用者の自宅から近いかどうか
2. 利用者・家族が望むサービス内容・プログラムであるかどうか
3. 本人の残存能力を引き出せるようなサービス提供を行っているか
4. 介護支援専門員からみて、サービスの質が高い事業所であるかどうか
5. 自分が勤務している居宅介護支援事業所の併設事業所であるかどうか
6. 利用者・家族が知っている、または希望する事業所であるかどうか
7. その他 [ ]

**3 介護予防・生活支援サービス事業についておたずねします**

※この項目の設問（問27～問30）は、要支援者のケアプランを作成した方のみお答えください  
要支援者のケアプランを作成していない方は、問31へ

**問27 訪問サービスについて、類型の位置付けの状況を教えてください。（〇は1つ）**

1. 全て介護予防型を位置付けた ⇒ 問27-1へ
2. 介護予防型と生活支援型のどちらも位置付けた ⇒ 問27-1 問27-2へ
3. 全て生活支援型を位置付けた ⇒ 問27-2へ
4. 訪問サービスを位置付けたことがない ⇒ 問28へ

**【問27で「1」か「2」と答えた方にかがいます】**

**問27-1 介護予防型を位置付けた理由は何ですか。（〇はいくつでも）**

1. 身体介護（入浴、排泄等）が必要
2. 日常生活に支障をきたす認知症の症状・行動、意識疎通困難がみられる
3. 精神疾患等の疾病がありヘルパーの交代が病状等の悪化につながる恐れがある
4. 退院直後や骨折等により一時的にサービス利用が必要
5. 本人・家族の希望（1～4に該当する場合を除く）
6. その他（ ）

**【問27で「2」か「3」と答えた方にかがいます】**

**問27-2 生活支援型を位置付けた理由は何ですか。（〇はいくつでも）**

1. 身体介護（入浴、排泄等）が不要
2. その他、介護予防型を位置付ける必要が無いと判断したから
3. 本人・家族の希望（1～2に該当する場合を除く）
4. その他（ ）

**ここから再びすべての方にかがいます**

**問28 通所サービスについて、類型の位置付けの状況を教えてください。（〇は1つ）**

1. 全て介護予防型を位置付けた ⇒ 問28-1へ
2. 介護予防型と生活支援型のどちらも位置付けた ⇒ 問28-1 問28-2へ
3. 全て生活支援型を位置付けた ⇒ 問28-2へ
4. 訪問サービスを位置付けたことがない ⇒ 問29へ

**【問28で「1」か「2」と答えた方にかがいます】**

**問28-1 介護予防型を位置付けた理由は何ですか。（〇はいくつでも）**

1. 身体介護（入浴、排泄等）が必要
2. 日常生活に支障をきたす認知症の症状・行動、意識疎通困難がみられる
3. 精神疾患等の疾病がありヘルパーの交代が病状等の悪化につながる恐れがある
4. 退院直後や骨折等により一時的にサービス利用が必要
5. 本人・家族の希望（1～4に該当する場合を除く）
6. その他（ ）

**【問28で「2」か「3」と答えた方にかがいます】**

**問28-2 生活支援型を位置付けた理由は何ですか。（〇はいくつでも）**

1. 身体介護（入浴、排泄等）が不要
2. その他、介護予防型を位置付ける必要が無いと判断したから
3. 本人・家族の希望（1～2に該当する場合を除く）
4. その他（ ）

**ここから再びすべての方にかがいます**

**問29 サービス選択のフローチャートを知っていますか。（〇は1つ）**

1. 知っている ⇒ 問29-1へ
2. 知らない ⇒ 問30へ

**【問29で「1」と答えた方にかがいます】**

**問29-1 サービス選択のフローチャートを活用していますか。（〇は1つ）**

1. 毎回活用している ⇒ 問30へ
2. 活用しているが毎回ではない ⇒ 問29-2へ
3. 活用したことがない ⇒ 問29-2へ

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

【問29-1で「2」か「3」と答えた方にうかがいます】  
 問29-2 活用しなかった理由は何ですか (〇はいくつでも)

1. 参考にならないから
2. 生活支援型の事業所が不足しているから
3. 本人・家族の希望を優先するため
4. その他 ( )

ここから再びすべての方にうかがいます

問30 生活支援型サービスの普及に有効な方法について、あなたの考えを教えてください。

(〇はいくつでも)

1. プランナーへの周知
2. 市民への広報
3. 生活支援型の利用料をさらに下げる
4. 提供事業者の増加
5. 人材の確保
6. サービス選択基準 (フローチャート) の活用促進
7. その他 ( )

4 他機関との連携についておたずねします

問31 主治医との連絡・報告を行っていますか。(〇はいくつでも)

1. ケアプランの新規作成及び変更時に行っている
2. 利用者の病気など緊急時に行っている
3. 上記の1・2以外に定期的に行っている
4. 行っていないことが多い ⇒ 問31-2へ

【問31で「1」～「3」と答えた方にうかがいます】

問31-1 主治医との連携で、苦慮していることはありますか。(〇はいくつでも)

1. 連絡する時間帯の判断に迷う
2. 連絡方法 (電話、メール、面談など) の判断に迷う
3. 知識不足のため、主治医の説明を理解できないことがある
4. その他 ( )
5. 苦慮していることはない

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

【問31で「4」と答えた方にうかがいます】

問31-2 主治医に連絡・報告を行っていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 連絡する時間がない
2. 主治医に時間をとってもらえない
3. 医師とのコミュニケーションを図ることに自信が持てない
4. その他 ( )
5. 必要がない

ここから再びすべての方にうかがいます

問32 個別や圏域での地域ケア会議に参加したことはありますか。(〇は1つ)

1. ある ⇒ 問32-1へ
2. ない ⇒ 問33へ

【問32で「1」と答えた方にうかがいます】

問32-1 参加後、業務の円滑化に役立ちましたか。(〇は1つ)

1. 専門職間の連携が進んだ
2. 医療機関との連携が進んだ
3. 利用者の納得を得やすくなった
4. 利用者の状況に合うケアプランを作成できるようになった
5. わからない
6. 特に役に立たなかった

ここから再びすべての方にうかがいます

問33 あなたは、8050問題など、対応の難しい複雑化した課題に関わることはなっ

た際、どのような機関に相談したり、連携を図ったりしたいですか。

(〇はいくつでも)

1. 地域包括支援センター (いきいきセンターふくおか)
2. 障がい者基幹相談支援センター
3. 児童相談所
4. 生活自立支援センター
5. 区役所・保健福祉センター
6. その他 ( )

5 処遇困難事例などへの対応についておたずねします

問34 処遇困難事例に対応する必要がある場合、区役所またはいきいきセンターへ行くか（地域包括支援センター）に相談していますか。（○は1つ）

- 1. よく相談している } ⇒ 問34-1
- 2. ときどき相談している } ⇒ 問34-1
- 3. 相談していない ⇒ 問35

【問34で「1」か「2」と答えた方にうかがいます】

問34-1 どのような場合にどのようなことを相談していますか。ご自由にお書きください。（自由記載）

ここから再びすべての方にうかがいます

問35 給付管理を行っている方のうち、成年後見制度の利用が必要だと思われる場合、どの相談窓口（誰）に相談していますか。（○はいくつでも）

- 1. 福岡市成年後見推進センター
- 2. 福岡県弁護士会 高齢者・障害者総合支援センターあいかやう
- 3. 成年後見センター・リーガルサポートセンターふくおか
- 4. 権利擁護センターはあとなほ福岡
- 5. 法テラス福岡（日本司法支援センター）
- 6. いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）
- 7. 区役所
- 8. 九州北部税理士会 成年後見センター
- 9. コスモスふくおか（コスモス成年後見サポートセンター福岡県支部）
- 10. NPOなど上記1～9以外の相談窓口
- 11. 知っている弁護士
- 12. 知っている司法書士
- 13. 知っている社会福祉士
- 14. 知っている税理士
- 15. 知っている行政書士
- 16. その他 [ ]

問36 次の表は、成年後見制度の利用が必要と考えられる方の状態像の例です。現在（回答時点）給付管理を行っている方のうち、次の表の状態像の例に移当する人数を、今後、成年後見制度の利用が必要になると思われる時期別に記入してください。

※1：対象者1人につき2つ以上の状態像に該当する場合は、最もあてはまる状態像にカウントしてください。

※2：現在、成年後見制度を申立て中、または利用等で課題が解決している方は、カウントしないでください。

※3：それぞれの状態像に該当する方で、把握している現状において、本人や家族による制度利用の手続きが非常に困難と思われる方の人数を、各記入欄の下端に内数として記入してください。

	成年後見制度の利用が必要と考えられる状態像	制度利用が必要になると思われる時期	
		1年以内	1～8年程度
1	本人の判断能力が不十分であるため、当座や介護・福祉サービスが必要と理解できない、担当があるなど支援が運来しにくい 上記状態像に該当する方のうち、本人や家族による制度利用の手続きが非常に困難と思われる方	人	人
2	本人の判断能力が不十分であるため、以下のようになんらかの管理が必要と判断されている ・商品やサービスを購入するなど、取手に見合った適切な支出ができない ・預貯金等の管理・積貯ができない ・保険金の受け取りができない ・税金や保険料、利用料などを適切に滞納、または負担があるが、適切な返済等の対応ができていない ・虫や鼠、鳥、有価証券等の管理が適切でない 上記状態像に該当する方のうち、本人や家族による制度利用の手続きが非常に困難と思われる方	人	人
3	本人の判断能力が不十分であるため、預金や年金を取り上げらるなど経済的虐待や金融搾取、その他の虐待（身体的・性的・心理的・ネグレクト等）を受けている、またはその疑いがある 上記状態像に該当する方のうち、本人や家族による制度利用の手続きが非常に困難と思われる方	人	人
4	本人の判断能力が不十分であるため、不測の処分や遺産分割協議、相続、訴訟手続きなどの法的行為を行えない、消費者被害や消費者被害者になる懸念がある、またはその疑いがある 上記状態像に該当する方のうち、本人や家族による制度利用の手続きが非常に困難と思われる方	人	人
5	本人の判断能力が不十分であるために、その他困難な事情があるが、原則に対応できない 上記状態像に該当する方のうち、本人や家族による制度利用の手続きが非常に困難と思われる方	人	人

福岡市 高齢社会に関する調査（介護支援専門員調査）

6 行政の役割についておたずねします

問37 介護の現場で抱えている課題や、今後、行政に期待する役割は何ですか。  
 (〇はいくつでも)

1. 相談機能の充実
2. AIなどの先進的技術の推進
3. 介護ロボット、福祉用具などの介護の身体的負担を軽減する機器等の普及
4. 介護人材の確保に向けた取り組みの充実
5. 研修機能の充実
6. サービス基礎の整備 ⇒ へ
7. 情報提供の充実
8. その他 [  ]

【問37で「6」と答えた方にうかがいます】

問37-1 特にどのサービスを整備する必要がある(需要に対して不足している)と思いませんか。(〇はいくつでも)

1. 訪問介護
2. (介護予防) 訪問入浴介護
3. (介護予防) 訪問看護
4. (介護予防) 訪問リハビリテーション
5. (地域密着型) 通所介護
6. (介護予防) 通所リハビリテーション
7. (介護予防) 福祉用具貸与
8. (介護予防) 居宅療養管理指導
9. (介護予防) 短期入所生活介護
10. (介護予防) 短期入所療養介護
11. (介護予防) 特定福祉用具販売
12. 住宅改修
13. (介護予防) 小規模多機能型居宅介護
14. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
15. 夜間対応型訪問介護
16. (介護予防) 認知症対応型通所介護
17. (介護予防) 認知症対応型共同生活介護

福岡市 高齢社会に関する調査（介護支援専門員調査）

18. 看護小規模多機能型居宅介護
19. (介護予防) 特定施設入居者生活介護
20. 介護老人福祉施設
21. 介護老人保健施設
22. 介護療養型医療施設
23. 介護医療院
24. 介護予防型訪問サービス
25. 介護予防型通所サービス
26. 生活支援型訪問サービス
27. 生活支援型通所サービス
28. その他 [  ]

質問は以上です。

～ 長時間ご協力いただき、本当にありがとうございました ～

# 令和4年度福岡市高齢者実態調査

## 令和5年7月

---

発行 福岡市  
企画 福岡市 福祉局 高齢社会部 高齢社会政策課  
〒810-8620 福岡市中央区天神1丁目8番1号  
電話 (092) 711-4595  
FAX (092) 733-5914

編集 株式会社東京商工リサーチ 福岡支社  
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4丁目9番2号  
八百治センタービル4F  
電話 (092) 431-2131

---

